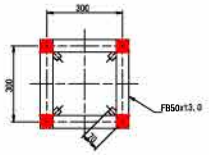
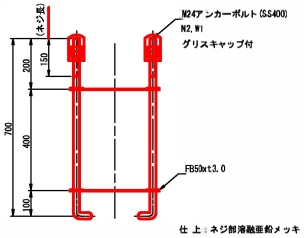
M24アンカーボルト　参考図

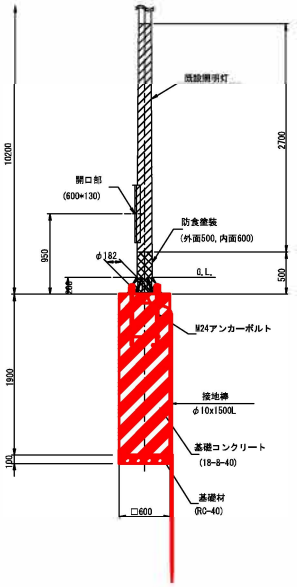
アンカーフレーム詳細　S=1:10



アンカーボルト詳細図　S=1:10



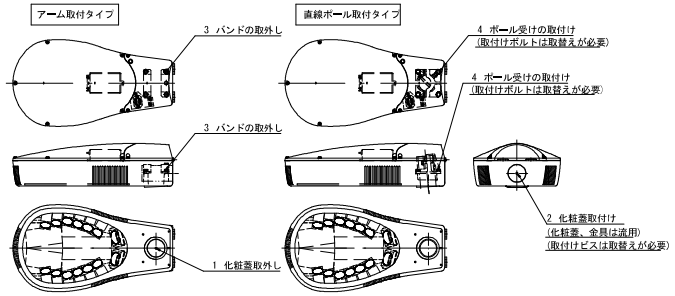
（参考）照明灯基礎部　S=1:30



①—1

照明柱参考姿図 S=1／80

アーム→直線 金具詳細図



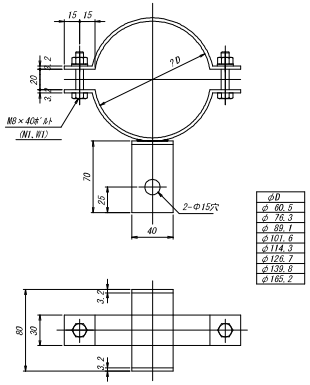
アームタイプから直線ポールタイプへの変更に必要な部品

ポール受け
(バンド、
取付けボルト含む)

化粧蓋取付用ビス
(M4皿ビス)

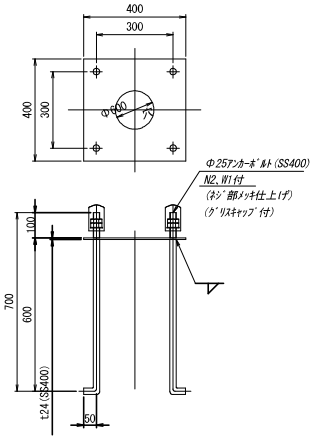
アンカーボルト

コ型バンド詳細図
S=1／5



φD
φ 60.5
φ 76.3
φ 89.1
φ 101.6
φ 114.3
φ 126.7
φ 139.8
φ 165.2

アンカーボルト詳細図
S=1／20



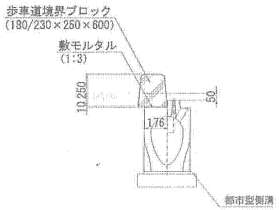
※仕上：溶融亜鉛メッキ（HDZ55）
※ベースピッチ・開口部の向き,高さ・ニップル・カップリングは、参考とする

①－2

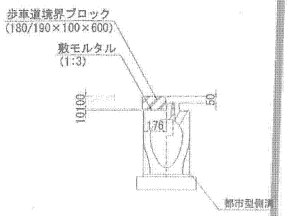
道路施設詳細図(3)

S=1:20

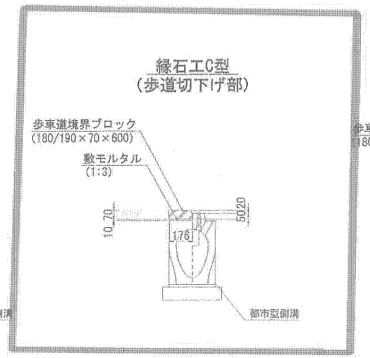
縁石工A型
(標準部(セミフラット))



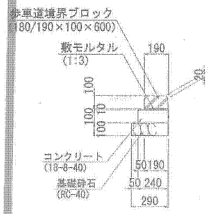
縁石工B型
(車両乗入部)



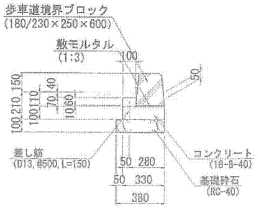
縁石工C型
(歩道切下げ部)



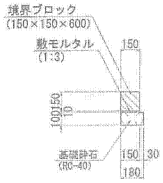
縁石工D型
(歩道切下げ部)



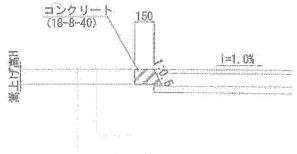
縁石工E型
(セミフラット)



地先境界工



嵩上げコンクリート

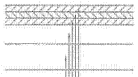


(m)

測　点	H	L
No.7～No.7+10.7付近(左)	0.118	10.7
No.9+8.8～No.10+10.5付近(左)	0.071	21.6
No.15～No.16+7.3付近(左)	0.064～0.140	27.3
No.2+16.5～No.3+12.5付近(右)	0.032	15.9
No.5+19.2～No.6+7.2付近(右)	0.069	8.0

舗装構成図

<車道舗装工>



【車道舗装】

表　層	開粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
中間層	密粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
基　層	粗粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
上層路盤	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ(HMS-25)	t=15cm
下層路盤	再生クラッシャーラン(RC-40)	t=20cm

<歩道舗装工>

【歩道舗装：透水性舗装】

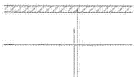
表　層	開粒度アスファルトコンクリート	t= 3cm
路盤工	再生クラッシャーラン(RC-30)	t=10cm
フィルター層	砂	t= 5cm

<大型車車両乗入れ舗装工>

【大型車車両乗入れ舗装】

表　層	密粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
基　層	粗粒度アスファルトコンクリート	t=10cm
路盤工	再生クラッシャラン(RC-30)	t=30cm

<車両乗入れ舗装工>



【車両乗入れ舗装】

表　層	密粒度アスファルトコンクリート	t= 5cm
路盤工	再生クラッシャラン(RC-30)	t=25cm

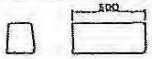
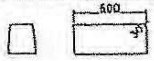
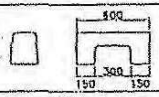
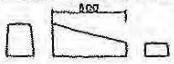
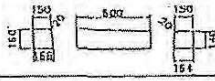
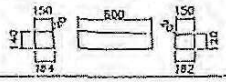
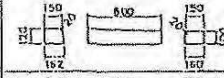
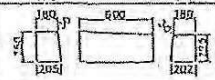
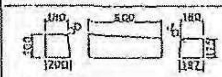
年　度	平成28年度	事業名	
路線名	主要地方道　岸和田港塔原線		
工事名			
地　名	岸和田市土生町地内		
図面名 / 縮　尺	道路施設詳細図(3)	1:20	
作成年月	平成 29年 3月	番号 / 全 21	
大阪府岸和田土木事務所		の内 12 号	

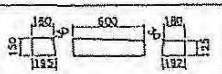
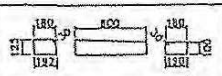
③－1

作成年月	1975年12月	改　訂	1984年 3月　1995年 5月　2000年 3月

コンクリート製品一覧表

図面番号	0−0−1

区　分	区　分		型　式	摘　要
歩車道境界	150/190×200×600 180/230×250×600 180/240×300×600		0−1型 0−2型 0−3型	一般部（セミフラット形式 ・フラット形式） 歩道すりつけ部
	150/190×200×600 180/230×250×600 180/240×300×600		0−4型 0−5型 0−6型	〃　（端部）
	150/170×200×600 180/205×250×600		0−7型 0−8型	一般部（マウンドアップ形式）
	150/190×200×600 180/230×250×600		0−9型 0−10型	一般部の集水桝部
	150/(190−170) ×(200−100)×600 180/(230−200) ×(250−100)×600		0−11型 0−12型	歩道切下げすりつけ部 車両出入口すりつけ部（端部）
	150/(170−168) ×(200−180)×600		0−13型 (1)	歩道すりつけ部
	150/(168−166) ×(180−160)×600		0−13型 (2)	〃
	150/(166−164) ×(160−140)×600		0−13型 (3)	〃
	150/(164−162) ×(140−120)×600		0−13型 (4)	〃
	150/(162−160) ×(120−100)×600		0−13型 (5)	〃
	180/(205−202) ×(250−225)×600		0−14型 (1)	歩道すりつけ部
	180/(202−200) ×(225−200)×600		0−14型 (2)	〃
	180/(200−197) ×(200−175)×600		0−14型 (3)	〃

区　分	区　分		型　式	摘　要
歩車道境界	180/(197−195) ×(175−150)×600		0−14型 (4)	歩道すりつけ部
	180/(195−192) ×(150−125)×600		0−14型 (5)	〃
	180/(192−190) ×(125−100)×600		0−14型 (6)	〃
	180/190×100×600		0−15型	歩道切下げ部
	40/180×100×600		0−16型	車両出入口部
境　界	180/180×100×600		0−17型	車両出入口部境界 中央分離帯切下げ部
	150/150×150×600		0−18型	官民境界JISA5307
	150/150×150×600		0−19型	植樹帯根固め
管　渠	φ200 ~φ2000 φ1000~φ3000			ソケット管 （第1種管）JISA5303 ソケット管 （第2種管）JISA5303
側　溝				PU型側溝JISA5305
視覚障害者誘導用ブロック	点状 300×300×66		点状ブロック	
	線状 300×300×66		線状ブロック	

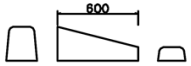
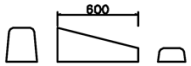
工　種	
種　別	
図面名	コンクリート製品一覧表

③−2

作成年月	1975年12月	改 訂	1984年 3月　1995年 5月　2000年 3月　2004年 5月　2017年 10月

図面番号	0－0－2

コンクリート製品一覧表

区　分	区　　分		形　式	摘　　要
歩車道境界	126.7/190×100×600		O－20型	車両出入口部
	(126.7～150)/190 ×(100～200)×600		O－21型	車両出入口すり付け部(端部)
	(126.7～180) /(190～230) ×(100～250)×600		O－22型	〃

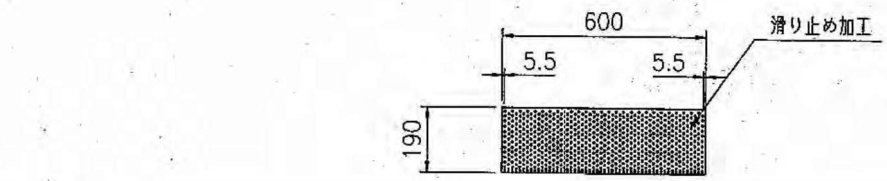
ETCSY006	平成20年 10月1日	G20080605−6 SY

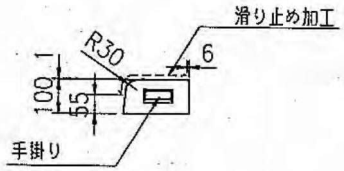
設計条件

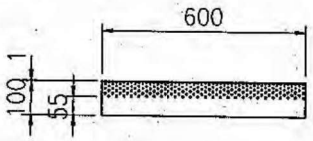
荷 重 条 件	T−25（平行）

片面歩車道境界ブロックB(切下げ)

S=1/20

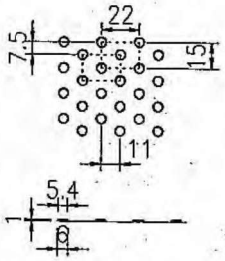


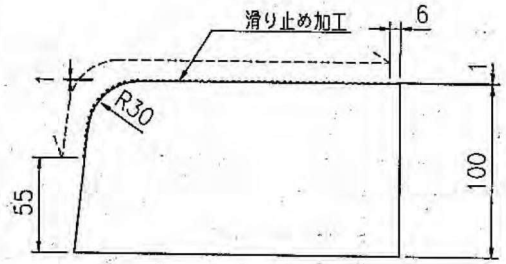




滑り止め加工 詳細図

S=1/5





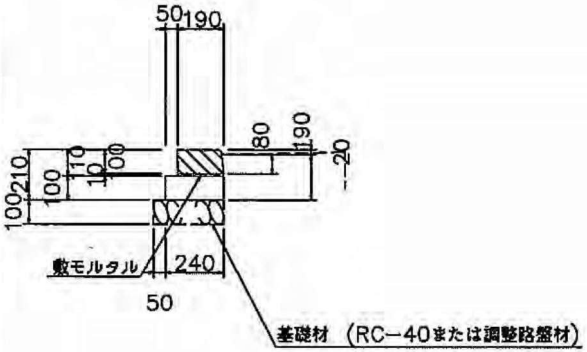
製品立積	0.011	(m³)

作成年月	1975年12月	改　訂	1984年 3月　2000年 3月　2004年 5月　2008年 10月

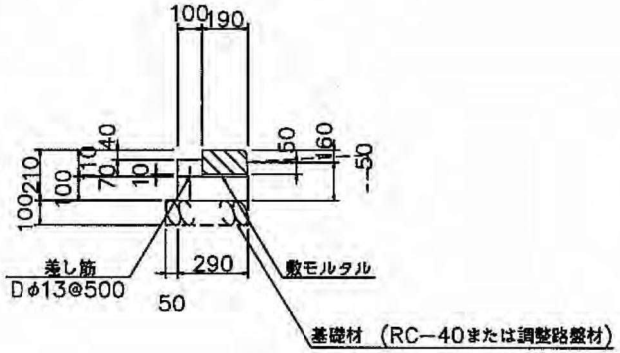
図面番号	1−2−1

歩道切下げ部、車両出入口部

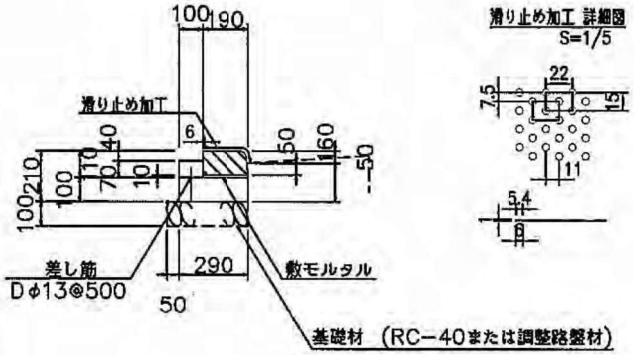
E型　（歩道切下げ部）



F型　（車両出入口部）



H型　（車両出入口部）



材　料　表　　（10m当り）

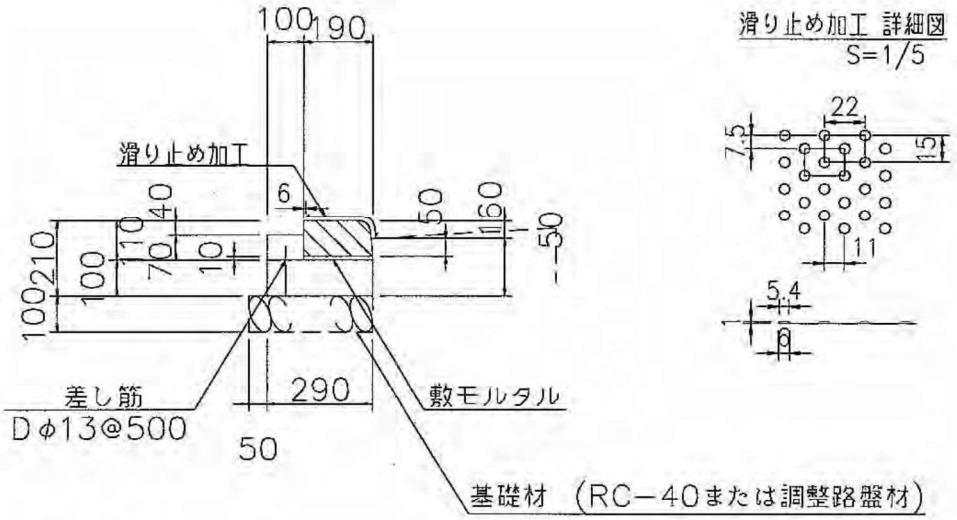
名　称	規　格	単位	数　量			摘　要
			E　型	F　型	H　型	
基礎材		m^2	2.90	3.40	3.40	
型　枠		m^2	2.00	2.70	2.70	
コンクリート	$\sigma ck=18N/mm^2$	m^3	0.24	0.36	0.36	
敷モルタル	1:3	m^2	1.90	1.90	1.90	据付
コンクリートブロック	180/190×100×600	個	16.5	16.5	16.5	O−15型
差し筋	Dφ13 L=150	kg	——	3.0	3.0	20本/10m
伸縮目地	目地板 t=10	m^2	0.02	0.03	0.03	

注）1.E型は歩道切下げ部、F型,H型は車両出入口部にそれぞれ使用。
2.基礎材はRC−40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC−40の場合で表示する。
3.伸縮目地は瀝青繊維質目地を使用するものとする。

工　種	歩車道境界工
種　別	縁石
図面名	E型 F型 H型
大阪府都市整備部	

算式根拠となる構造図

種別及び細別 ： 歩車道境界工 縁石 H型（車両出入口部）



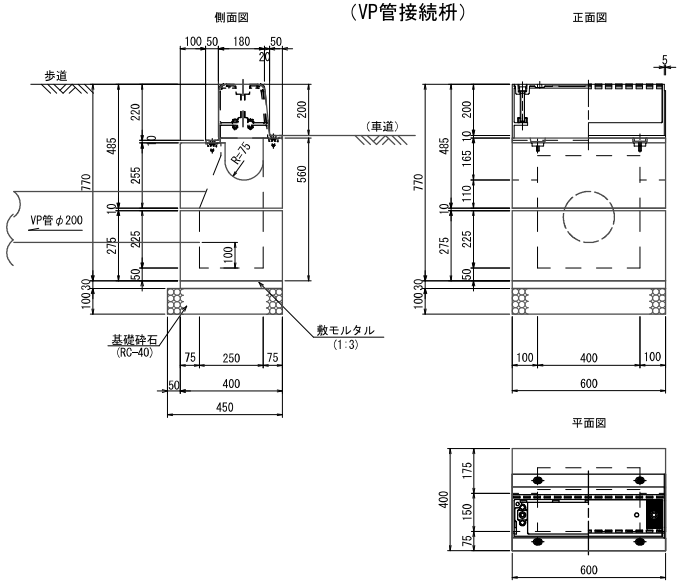
図面番号1-2-1

（10m当たり）

名　称	規格・形状	算　　式	単位	数量
基礎材	RC-40又は調整路盤材	0.34×10.0	m^2	3.400
型枠		(0.17+0.10)×10.0	m^2	2.700
コンクリート	σck=18N/mm^2	(0.10×0.29+0.07×0.10)×10.0	m^3	0.360
敷モルタル	1：3	0.19×10.0	m^2	1.900
コンクリートブロック	180/190×100×600	10.0/0.605	個	16.529
差し筋	DΦ13　L=150	0.15×0.995×20	kg	2.985
伸縮目地	目地板　t=10	0.10×0.29	m^2	0.029

小構造物図(2/2)

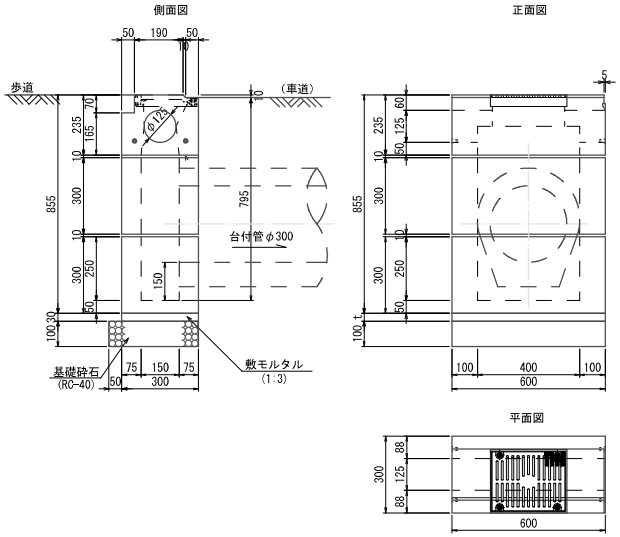
縁石桝B
（VP管接続枡）



材料表　（10箇所当り）

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m2	2.70	
敷モルタル	1:3	m2	2.40	
上部ブロック	150用	個	10.0	
上部ブロック	150蓋用	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

歩道切下桝・調整ブロック
（台付管接続枡）



材料表　（10箇所当り）

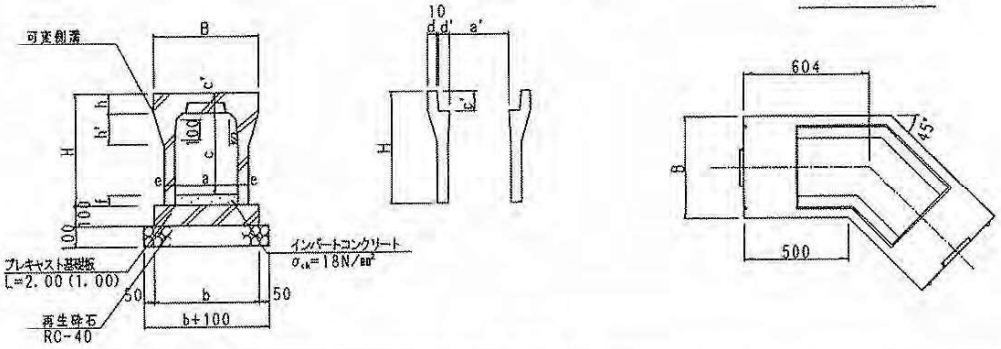
名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m2	2.10	
敷モルタル	1:3	m2	1.80	
上部ブロック	125用	個	10.0	
上部ブロック	歩道切下げ蓋用	個	10.0	
中間ブロック	調整ブロック	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

算式根拠となる構造図		
種別及び細別	可変側溝300×300（45° 用）	10箇所当り

可変側溝

S=1/20

45° 用

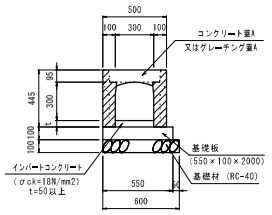


呼び名 (A×C)	規格寸法 (mm)													
	H	B	b	a	a'	c	c'	d	d'	e	f	h	h'	s
300×300	445	500	500	300	287	300	95	45	51.5	50	50	95	100	25
300×400	545	500	500	300	285	400	95	45	52.5	55	150~70	95	150	30
300×500	645	500	500	300	285	500	95	45	52.5	55	170~50	95	150	30

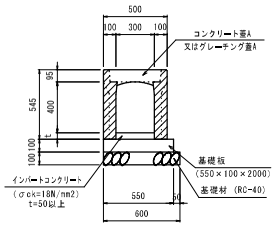
名称	規格	算式	単位	数量
再生砕石	RC-40 t=100	0.60×0.604×2×10	m^2	7.248
プレキャスト基礎板	t＝100	(0.604×2×10) ÷2.00	枚	6.040
インバートコンクリート	σck＝18N/mm2	0.30×0.05×0.604×2×10	m^3	0.181
可変側溝	300×300 45° 用		個	10.000

1工区 自由勾配側溝構造図(1)

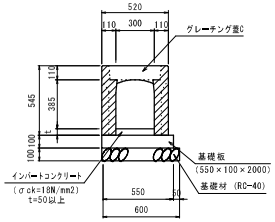
自由勾配側溝A型
（縦断用 B300×H300） S=1:20



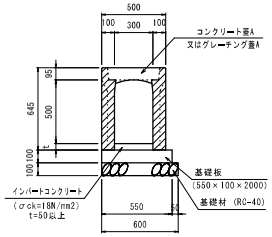
自由勾配側溝B型
（縦断用 B300×H400） S=1:20



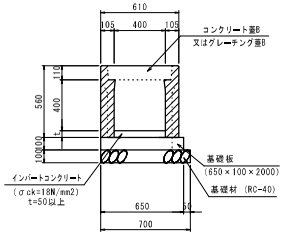
自由勾配側溝C型
（横断用 B300×H400） S=1:20



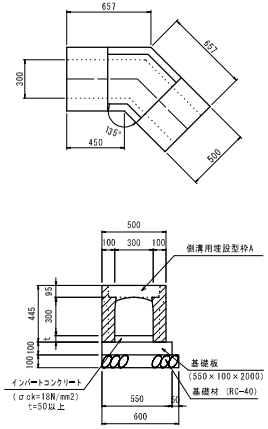
自由勾配側溝D型
（縦断用 B300×H500） S=1:20



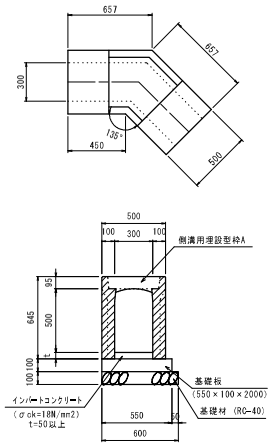
自由勾配側溝E型
（縦断用 B400×H400） S=1:20



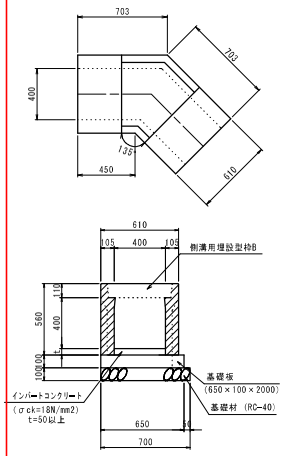
自由勾配側溝F-1型
（コーナー品 B300） S=1:20



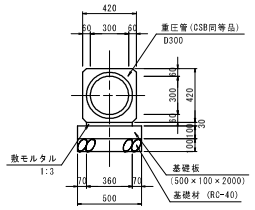
自由勾配側溝F-2型
（コーナー品 B300） S=1:20



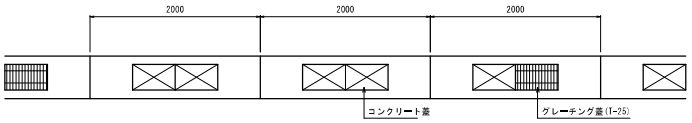
自由勾配側溝G型
（コーナー品 B400） S=1:20



道路横断管渠
（重圧管 D300） S=1:20



標準側溝蓋配置図
S=1:30



※上図は、標準的な配置図であり、民地からの流出管があるので現場に応じて配置すること。

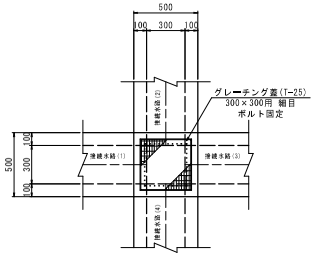
年 度	平成29年度	番 号	15 / 20
路 線 名	父鬼和気線		
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	1工区 自由勾配側溝構造図(1)		
縮 尺	図 示	作成年月	平成30年3月
大阪府鳳土木事務所			

1工区 集水桝構造図

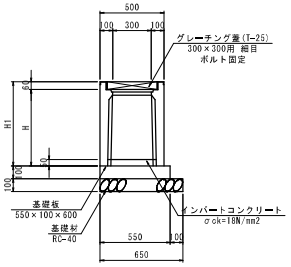
集水桝工A型
S=1:20

300×300

平面図



断面図

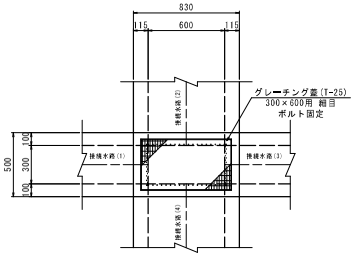


型番	測点	左右	集水桝規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	接続水路 (1)	接続水路 (2)	接続水路 (3)	接続水路 (4)
A-1型	NO.204+2.4	左	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.47 流入	既設水路 B250×H300 ▽93.39 流出	－ －	－ －
A-2型	NO.215+4.5	左	300×300×600	600	660	可変側溝 B300×H300 ▽92.80 流入	－ －	－ －	道路横断管渠 φ300 ▽92.75 流出
A-3型	NO.200+0.5	右	300×300×600	600	660	可変側溝 B300×H400 ▽92.49 流出	－ －	道路横断管渠 φ300 ▽92.53 流入	－ －
A-4型	NO.200+3.2	右	300×300×600	600	660	道路横断管渠 φ300 ▽92.58 流出	－ －	道路横断管渠 φ300 ▽92.58 流入	既設管渠 HPφ300 ▽92.64 流入
A-5型	NO.200+5.0	右	300×300×600	600	660	道路横断管渠 φ300 ▽92.62 流出	－ －	可変側溝 B300×H300 ▽93.68 流入	－ －
A-6型	NO.203+9.9	右	300×300×800	800	860	道路横断管渠 φ300 ▽93.40 流出	－ －	可変側溝 B300×H500 ▽93.40 流入	－ －
A-7型	NO.206+0.8	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.10 流入	－ －	可変側溝 B300×H500 ▽93.10 流出	既設水路 B300×H300 ▽93.22 流入
A-8型	NO.206+4.4	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.09 流入	－ －	可変側溝 B300×H500 ▽93.09 流出	既設水路 B240×H300 ▽93.25 流入
A-9型	NO.206+14.7	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽93.08 流入	－ －	可変側溝 B300×H500 ▽93.08 流出	既設水路 B200×H350 ▽93.18 流入
A-10型	NO.208+4.1	右	300×300×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽92.96 流入	－ －	可変側溝 B300×H500 ▽92.96 流出	既設管渠 HPφ300 ▽93.01 流入

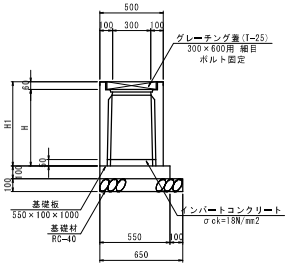
集水桝工B型
S=1:20

300×600

平面図



断面図

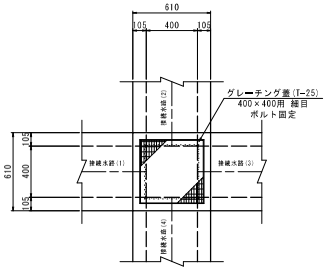


型番	測点	左右	集水桝規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	接続水路 (1)	接続水路 (2)	接続水路 (3)	接続水路 (4)
B-1型	NO.203+2.4	左	300×600×1200	1200	1260	－ －	既設水路 B400×H900 ▽92.95 流出	－ －	道路横断管渠 φ300 ▽93.01 流入
B-2型	NO.208+6.7	左	300×600×600	600	660	可変側溝 B300×H300 ▽93.06 流入	既設水路 B300×H400 ▽92.99 流出	－ －	－ －
B-3型	NO.208+11.2	右	300×600×800	800	860	可変側溝 B300×H500 ▽92.93 流入	－ －	可変側溝 B300×H500 ▽92.93 流出	既設水路 B550×H250 ▽92.95 流入
B-4型	NO.208+17.7	右	300×600×1000	1000	1060	可変側溝 B300×H500 ▽92.89 流入	道路横断管渠 φ450 ▽92.66 流出	－ －	可変側溝 B300×H300 ▽93.09 流入

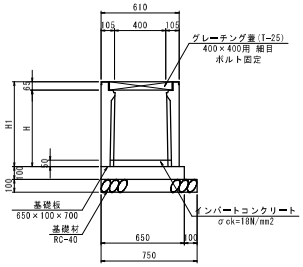
集水桝工C型
S=1:20

400×400

平面図



断面図

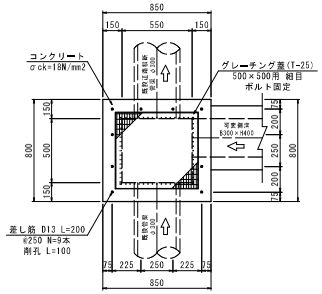


型番	測点	左右	集水桝規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	接続水路 (1)	接続水路 (2)	接続水路 (3)	接続水路 (4)
C-1型	NO.210+18.1	右	400×400×600	600	665	可変側溝 B300×H400 ▽93.14 流出	－ －	可変側溝 B400×H400 ▽93.14 流出	－ －
C-2型	NO.212+5.5	右	400×400×600	600	665	可変側溝 B400×H400 ▽92.99 流入	－ －	可変側溝 B400×H400 ▽92.99 流出	既設水路 B240×H200 ▽93.30 流入
C-3型	NO.215+4.4	右	400×400×600	600	665	可変側溝 B400×H400 ▽92.69 流入	道路横断管渠 φ300 ▽92.69 流入	可変側溝 B400×H400 ▽92.69 流出	－ －

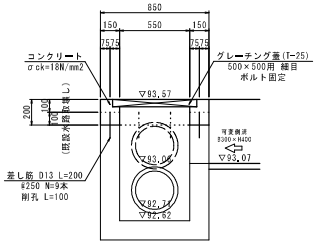
集水桝嵩上工
S=1:20

500×550 h=100

平面図



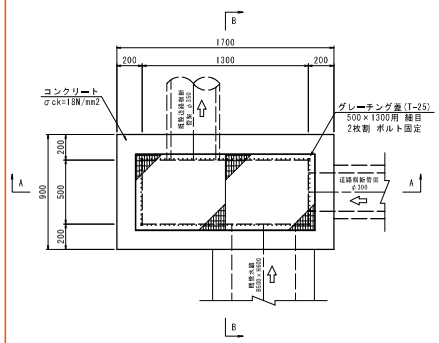
断面図



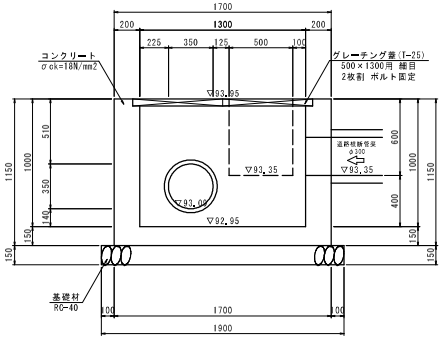
集水桝工D型
S=1:20

500×1300×1000

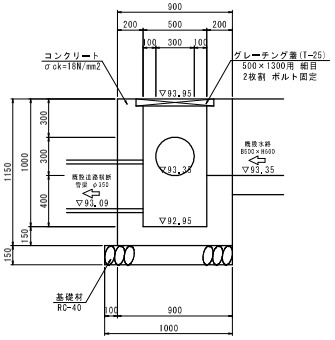
平面図



A-A断面図

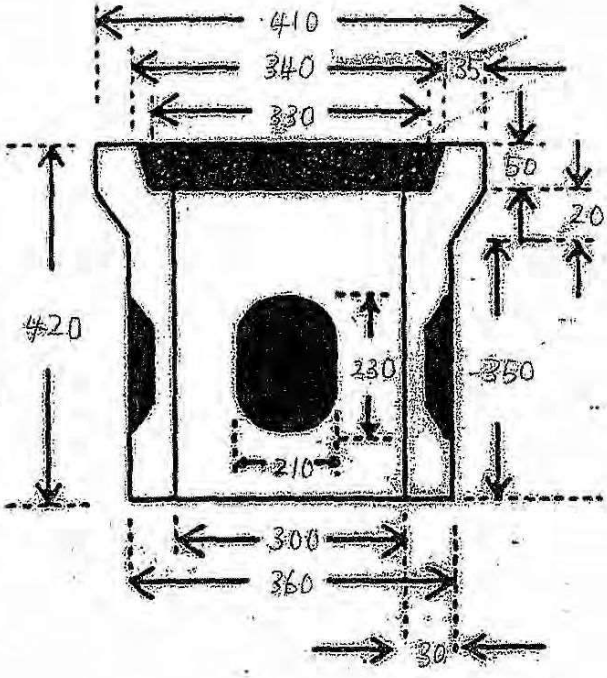


B-B断面図



年度	平成29年度	番号	17/20
路線名	父鬼和気線		
工事名			
所属地名			
図面名	1工区 集水桝構造図		
縮尺	図示	作成年月	平成30年3月
大阪府風土木事務所			

集水桝　300×300



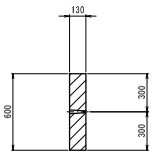
※ 同等品以上のものとする。

排水構造物工構造図

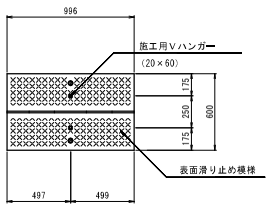
S=1:20

コンクリート蓋(スリット式) B300 L1000:標準

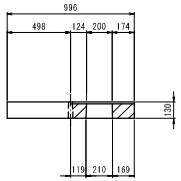
断面図



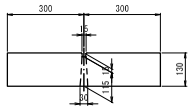
平面図



側面図（断面図）

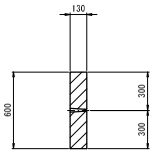


端部詳細図 S=1:10

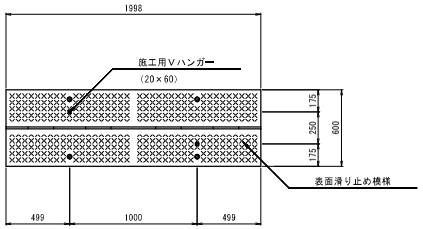


コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:標準

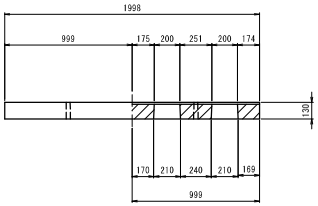
断面図



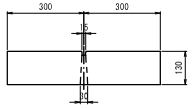
平面図



側面図（断面図）

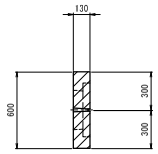


端部詳細図 S=1:10

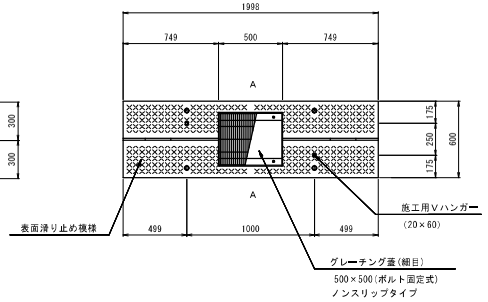


コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000:管理孔付

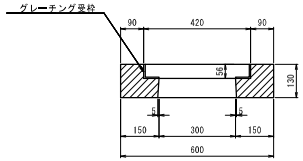
断面図



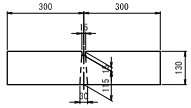
平面図



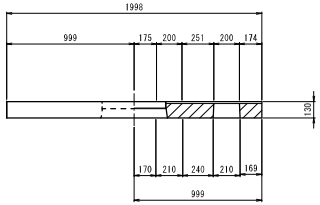
A－A断面図 S=1:10



端部詳細図 S=1:10



側面図（断面図）



設計条件

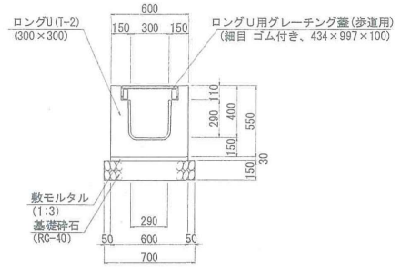
規格		車道縦断用（乗入兼用）
形状		蓋固定式
自動車荷重	総重量	245KN
	後輪一輪荷重	50KN
	衝撃係数	i＝0.3
コンクリート	設計基準強度	35N/mm2
	設計圧縮応力度	12.5N/mm2
	設計せん断応力度	0.52N/mm2
鉄筋	材質	SD295A同等以上
	許容引張応力応力度	176N/mm2
	許容せん断応力度	78N/mm2

1.0m:製品参考質量 183kg
2.0m:製品参考質量 367kg
管理孔付:製品参考質量 315kg （グレーチング重量は含まず）

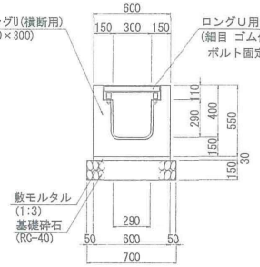
道路施設詳細図(2)

S=1:20

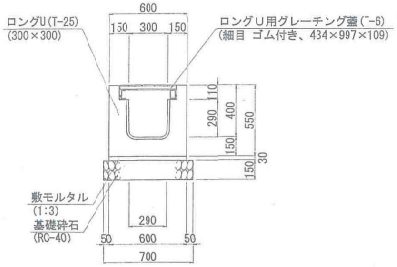
U型側溝(1)
(標準部)



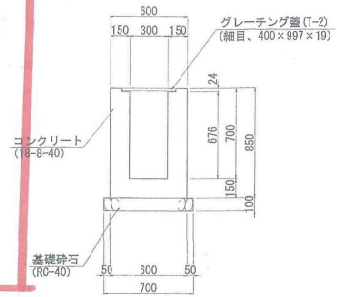
U型側溝(2)
(大型車車両乗入部)



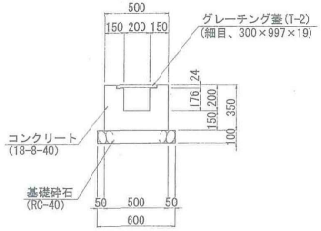
U型側溝(3)
(車両乗入部)



U型側溝(4)
(現場打ちU型側溝 300×700)

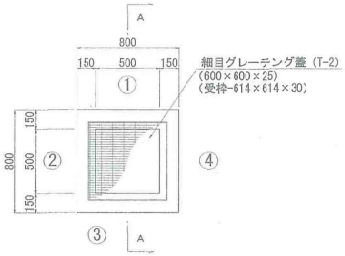


U-200×200
(現場打ちU型側溝)

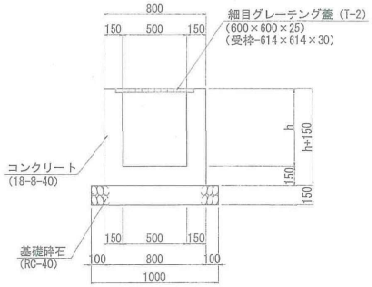


集水桝(1)

平 面 図

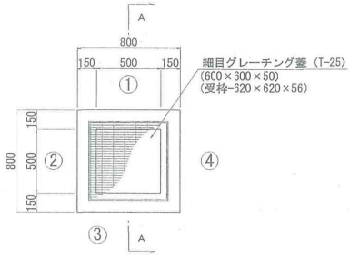


A－A

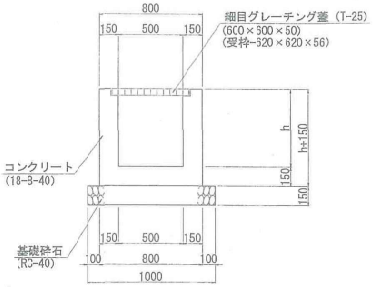


集水桝(2)

平 面 図



A－A



集水桝(1)

桝測点	呼び寸法	桝天端高 (m)	h (m)	開口部 ① 種類 (底高)	開口部 ② 種類 (底高)	開口部 ③ 種類 (底高)	開口部 ④ 種類 (底高)	摘要
No. 6+7.65 (右側)	500×500×600	25.070	0.600	管渠工 HPφ300 (24.670) 下流			U型側溝(1) 300×300 (24.670)	
No. 8+3.93 (右側)	500×500×900	25.652	0.900	管渠工 HPφ300 (25.052)			U型側溝(4) 300×700 (24.952) 下流	
No. 15+5.92 (右側)	500×500×500	27.562	0.500		既設側溝 U-200×200 (27.362) 下流		現場打ち側溝 U-200×200 (27.362)	
No. 20+17.84 (右側)	500×500×600	28.623	0.600		U型側溝(1) 300×300 (29.223) 下流			

集水桝(2)

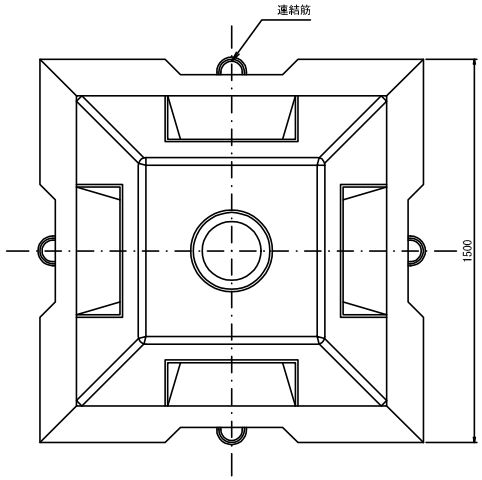
桝測点	呼び寸法	桝天端高 (m)	h (m)	開口部 ① 種類 (底高)	開口部 ② 種類 (底高)	開口部 ③ 種類 (底高)	開口部 ④ 種類 (底高)	摘要
No. 8+5.09 (右側)	500×500×900	25.599	0.900	管渠工 HPφ300 (24.899) 下流			U型側溝(4) 300×700 (24.899)	
No. 15+12.83 (右側)	500×500×500	27.682	0.500		現場打ち側溝 U-200×200 (27.482) 下流		既設側溝 U-200×200 (27.482)	
No. 15+17.14 (右側)	500×500×600	27.758	0.600			既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流	U型側溝(1) 300×300 (27.358)	

年度	平成28年度	事業名	
路線名	主要地方道 岸和田港塔原線		
工事名			
地名	岸和田市土生町地内		
図面名	道路施設詳細図(2)		
縮尺	1:20		
作成年月	平成 29年 3月	整理番号	全 葉 21
大阪府岸和田土木事務所			の内 1 号

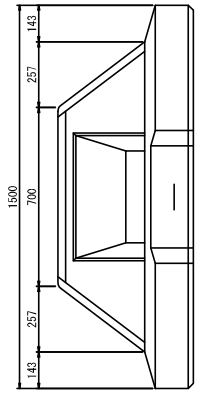
スクエア 製品図

1Ｔ型 1010kg

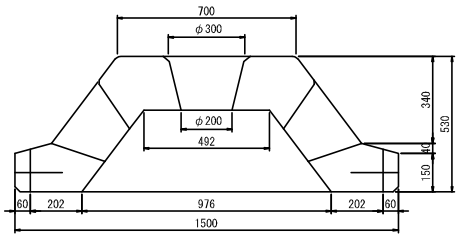
平面図



側面図

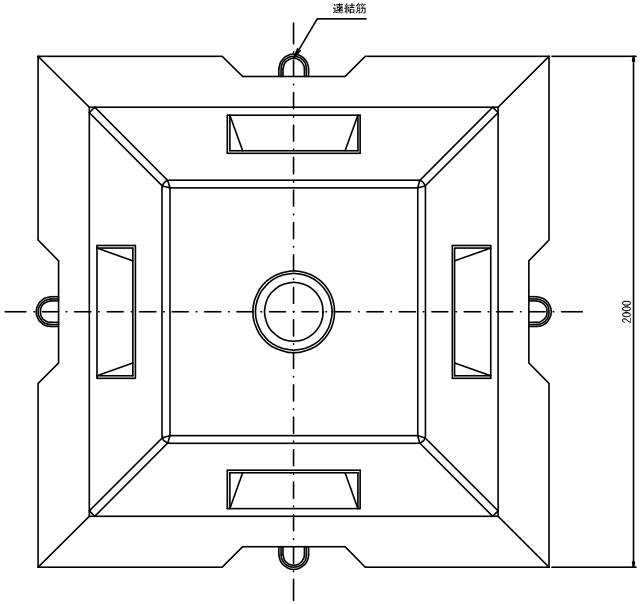


断面図

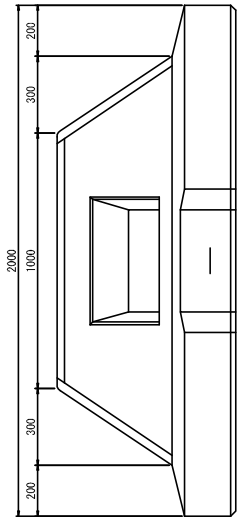


2Ｔ型 2010kg

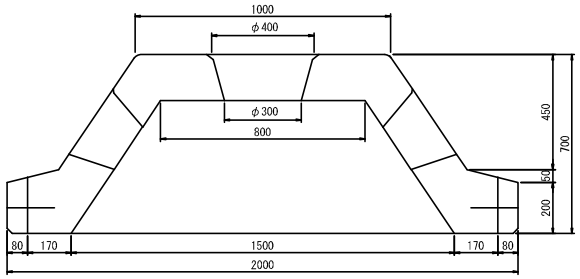
平面図



側面図



断面図



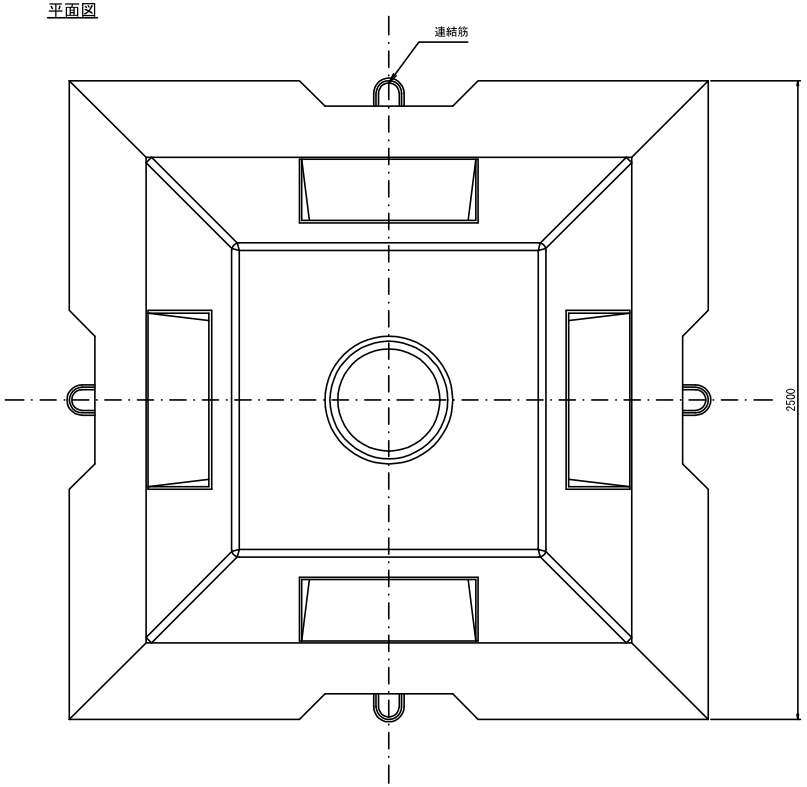
製品名	スクエア １Ｔ型・２Ｔ型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員ＣＡＤダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。

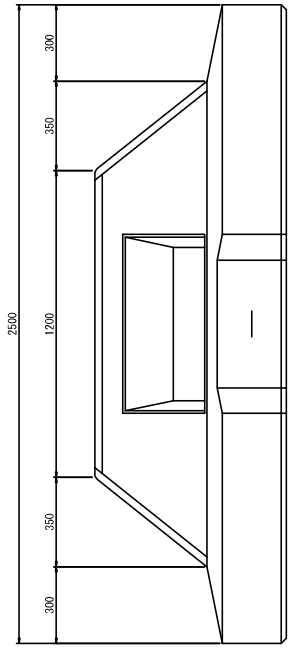
スクエア 製品図

３Ｔ型 3260kg

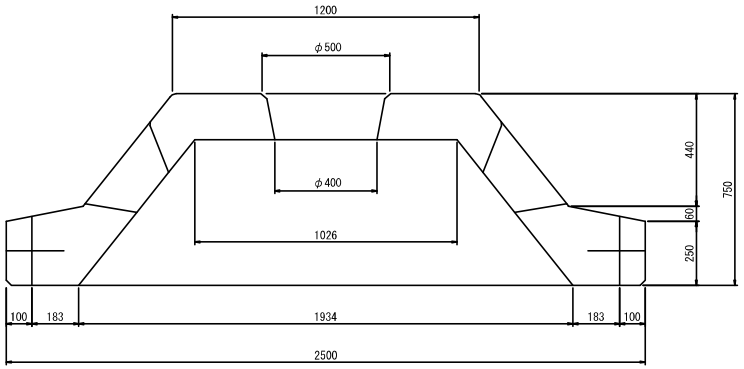
平面図



側面図



断面図



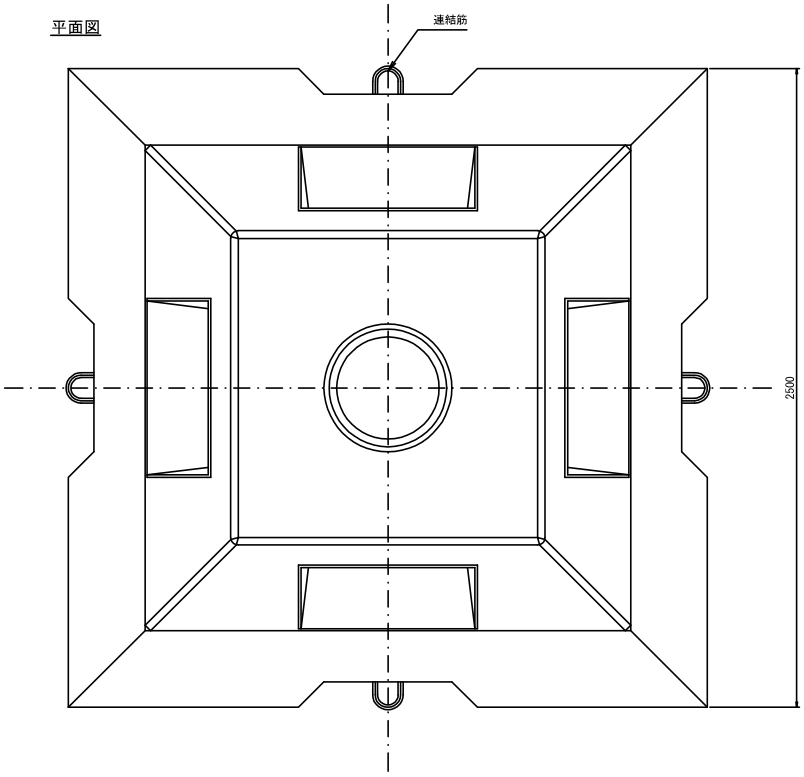
製品名	スクエア ３Ｔ型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員ＣＡＤダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。

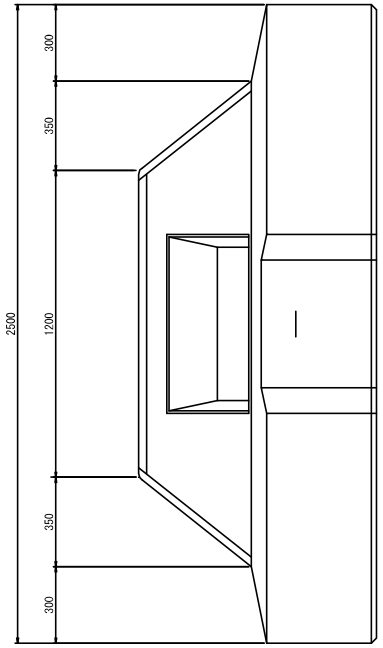
スクエア 製品図

4Ｔ型 4120kg

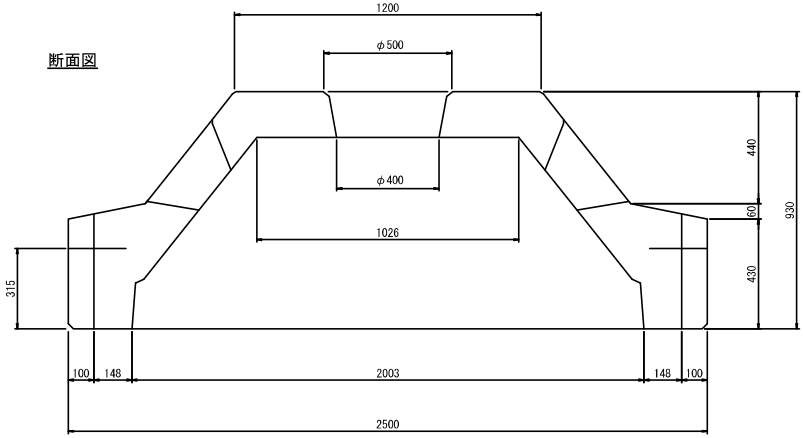
平面図



側面図

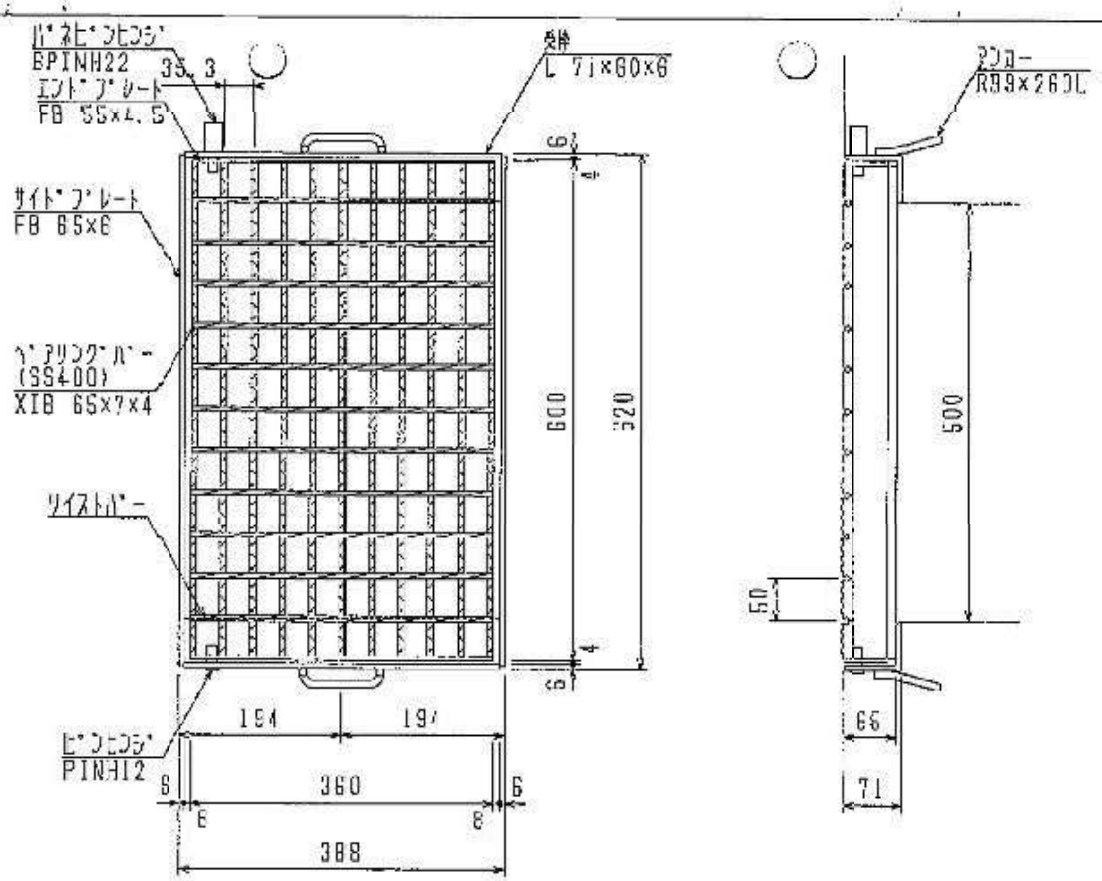


断面図



製品名	スクエア 4Ｔ型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員ＣＡＤダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。



記事

1. 型式　XSXE65　イボイボ50

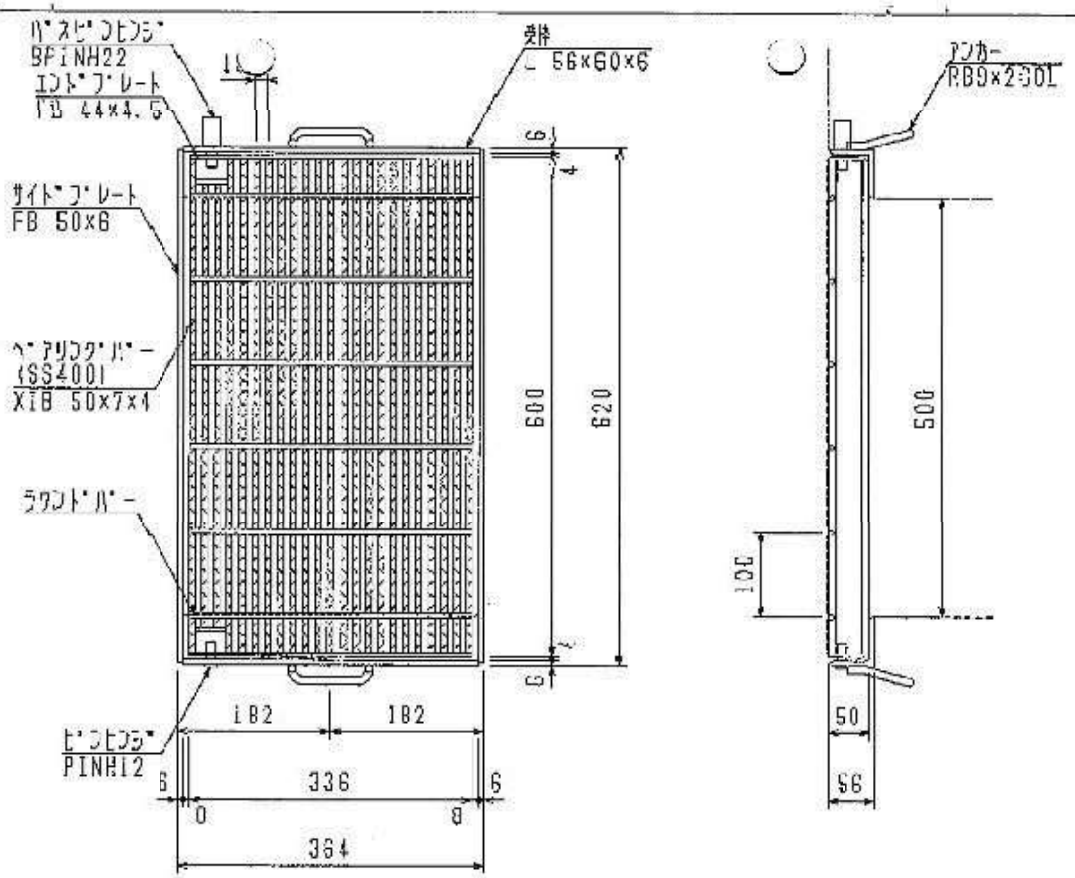
2. 表面処理

グレーチング：亜鉛メッキ

受　枠　：黒ペイント

承認者			工事番号
検図者			
作図者		荷重：T－25 桝穴：350×500用 110°閉閉式	図面番号
製図日	2013/09/02		
尺度	1/9		
営業所図番			

株式会社　ダイクレ



記事	
1. 型式	HM50 イボイボ細目
2. 表面処理	
グレーチング	亜鉛メッキ
受枠	黒ペイント

承認者			工事番号
検図者			
作図者		荷重：T-25	図面番号
製図日	2013/09/02	桝穴：350×500用	
尺度	1/8	110° 弱閉式	
営業所図番			

株式会社 ダイクレ

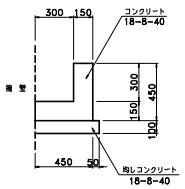
路面排水工詳細図 4/4　S=1/20

側 溝 工・集水桝工

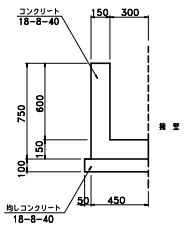
側 溝 工

L型側溝

L-300×300

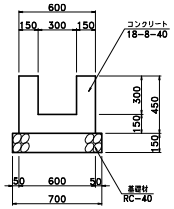


L-300×600

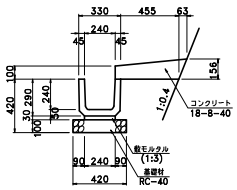


U型側溝

U1型300×300

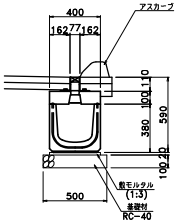


PU 240

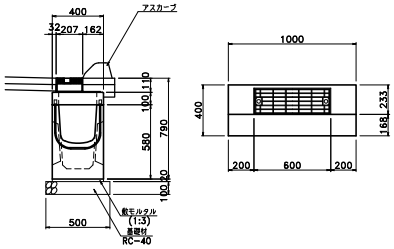


スリット側溝

U 300型
（中央分離帯用）

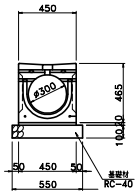


集水桝U 300型

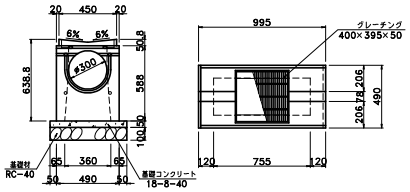


円形側溝

φ 300型
（街路横断部用）

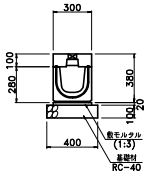


集水桝φ 300型

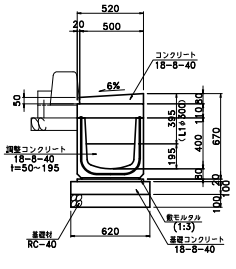


L型側溝

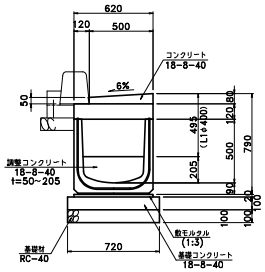
U 200型
（歩道橋用）



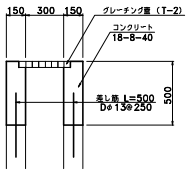
LU400型



LU500型

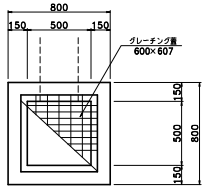


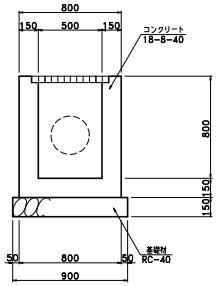
側溝かさ上



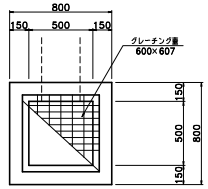
集 水 桝 工

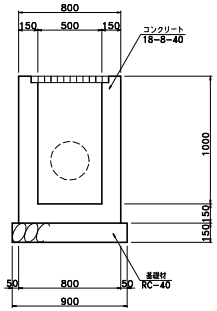
集水桝A型





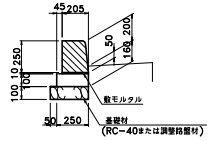
集水桝B型



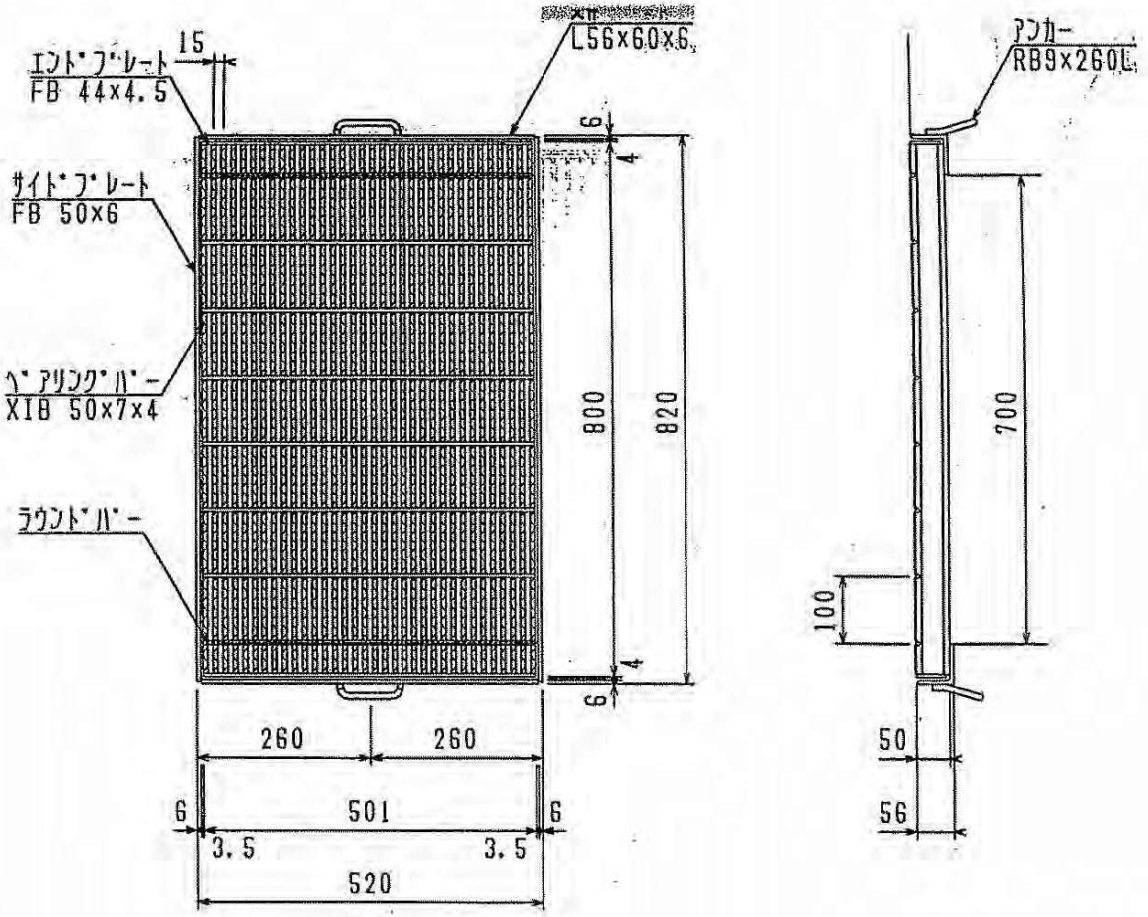


マウンドアップ形式.一般部

B 型



年　度	平成14~15年度	番 号	69/73
路 線 名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工 事 名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	路面排水工詳細図 4/4		
縮　尺	図 示	作成年月	平成16年 3月
大阪府枚方土木事務所			



記　事

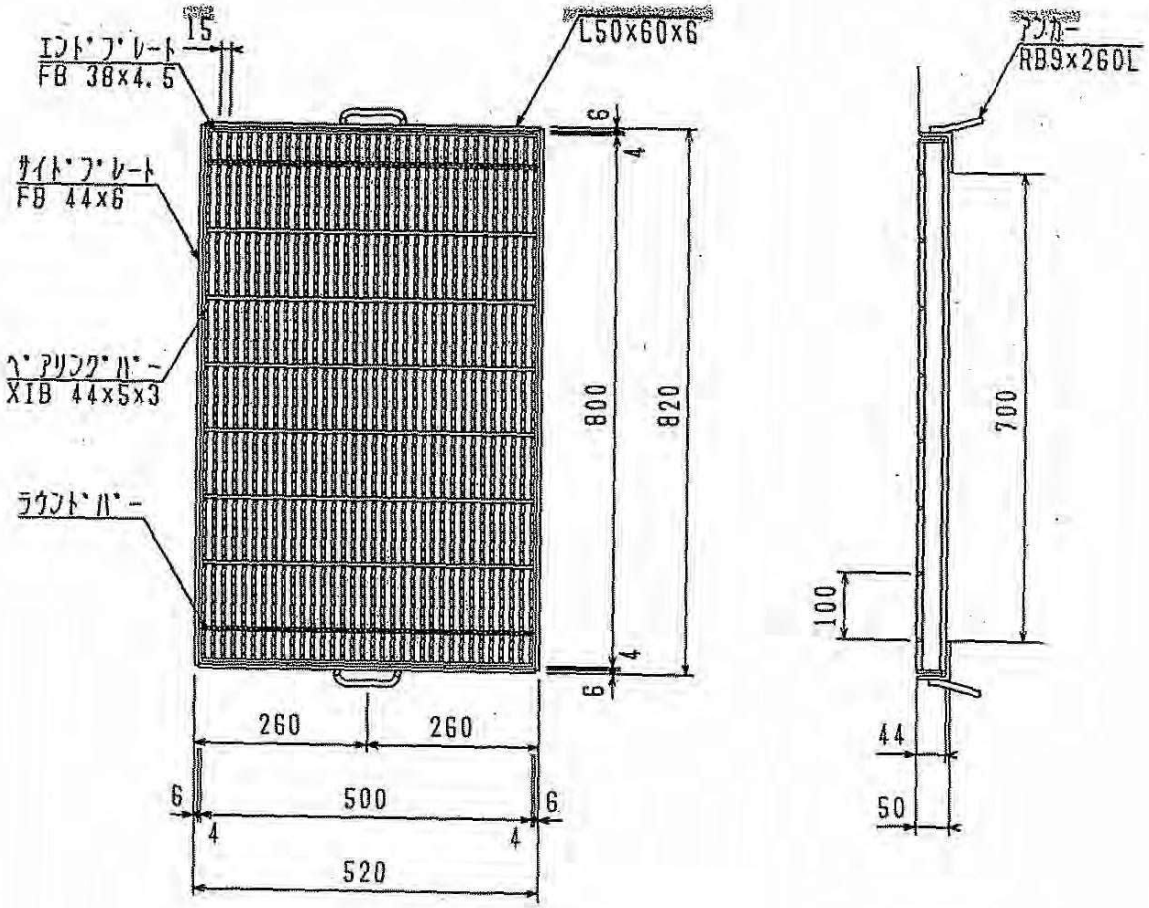
1．型式　　HD50　イボイボ細目

2．表面処理

グレーチング：亜鉛メッキ

受　　枠　　：黒ペイント

承認者			工事番号
検図者			
作図者		桝穴500x700用 T－25　落とし込み 受枠＝2CA2FB	図面番号
製図日	2005/07/22		
尺度	1/11		
		営業所図番	株式会社　ダイクロ



記　事

1．型式　　HD44　イボイボ細目

2．表面処理

グレーチング：亜鉛メッキ

受　　枠　　：黒ペイント

承認者			工事番号
検図者			
作図者		桝穴500x700用 T－6　落とし込み 受枠＝2CA2FB	図面番号
製図日	2005/07/22		
尺度	1/11		
		営業所図番	

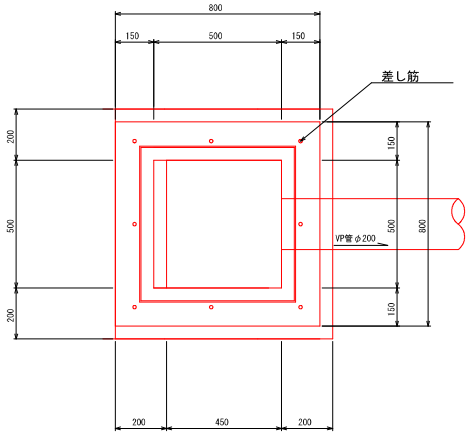
株式会社　ダイクレ

グレーチング蓋　参考図

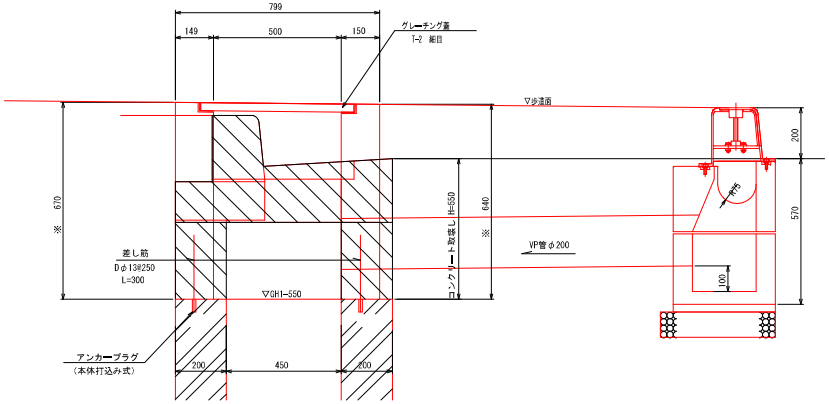
嵩上げ桝用グレーチング蓋

500×500(T-2) 細目

平面図

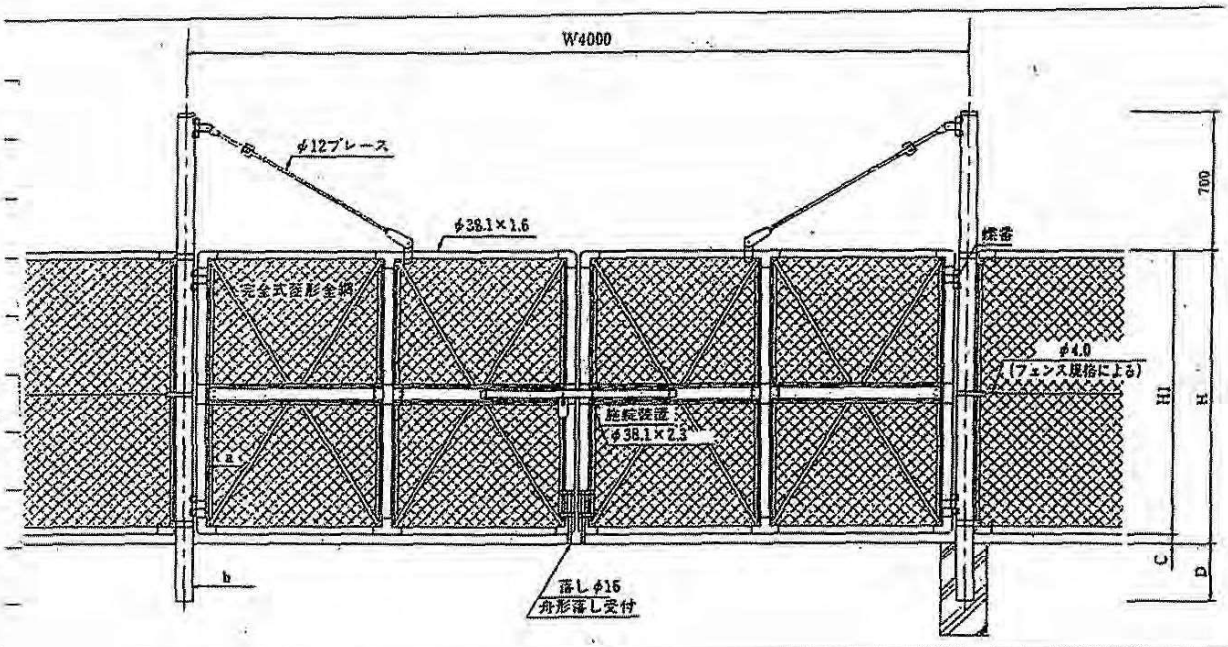


側面図（参考）



※は参考値（現況及び計画より確認）

○ 門扉部 (W=4000mm)



H = 1800mm　　基礎部 □500mm × 700mm

H_1 = 1750mm

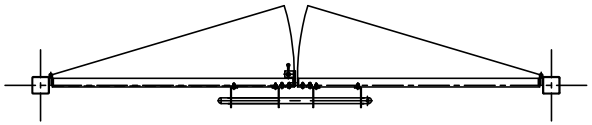
a = φ50.8×1.6

b = φ89.1×3.2

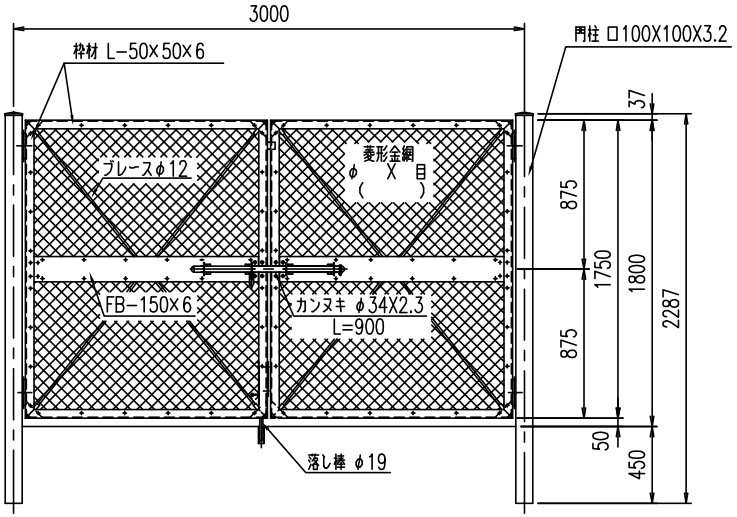
C = 50mm

D = 500mm

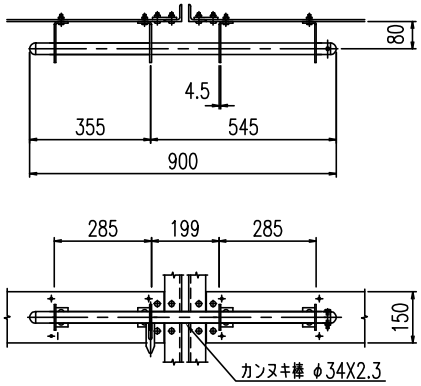
平 面 図 S=1/20



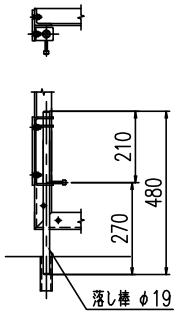
正 面 図 S=1/20



カンヌキ取付図 S=1/10



落し棒取付図 S=1/10

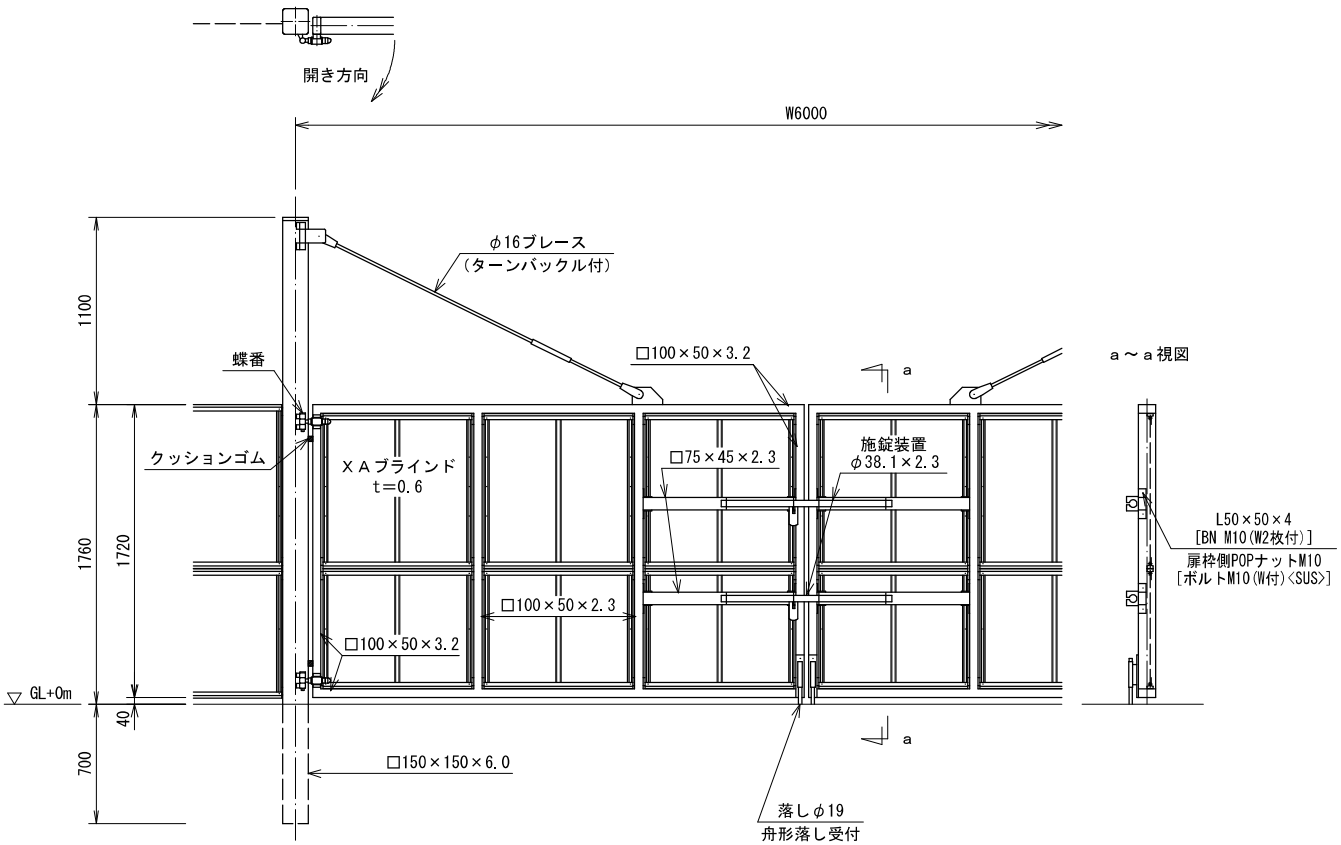


型式	VH−G3A型 H180	設計番号	Vhg3ah18

JFE 建材フェンス 株式会社

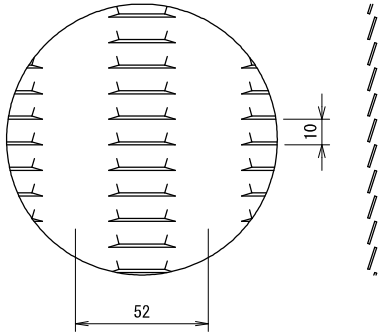
目かくしフェンス両開き門扉Ｈ１８００×Ｗ６０００　S=1:30

（昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 ＧＬ＋０ｍ に依る）



ＸＡブラインド　S=1:2

t=0.6



設計条件

設計荷重・・・昭和５７年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

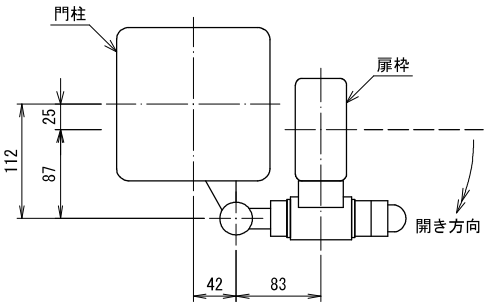
備考

1．外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、門柱及び扉枠は溶融亜鉛めっきの上液体塗装、ブレースは溶融亜鉛めっきの上着色処理、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、一部のボルト・ナット、施錠装置、落し及びボルト式蝶番は溶融亜鉛めっきのみとする。

2．本図門扉は施錠側１８０°開き、施錠側落しとする。

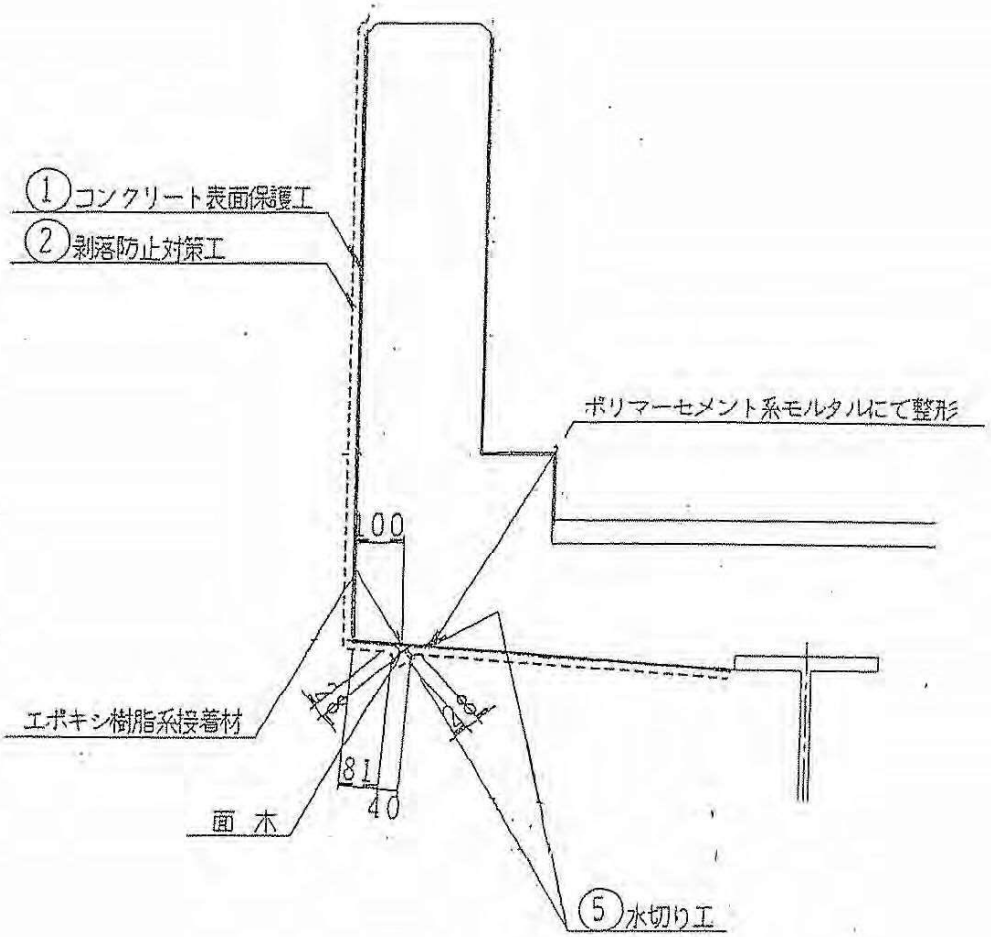
3．扉枠にはめっきの為、湯抜穴を適所（見苦しくない位置）に設けるものとする。

門柱・扉枠位置関係図

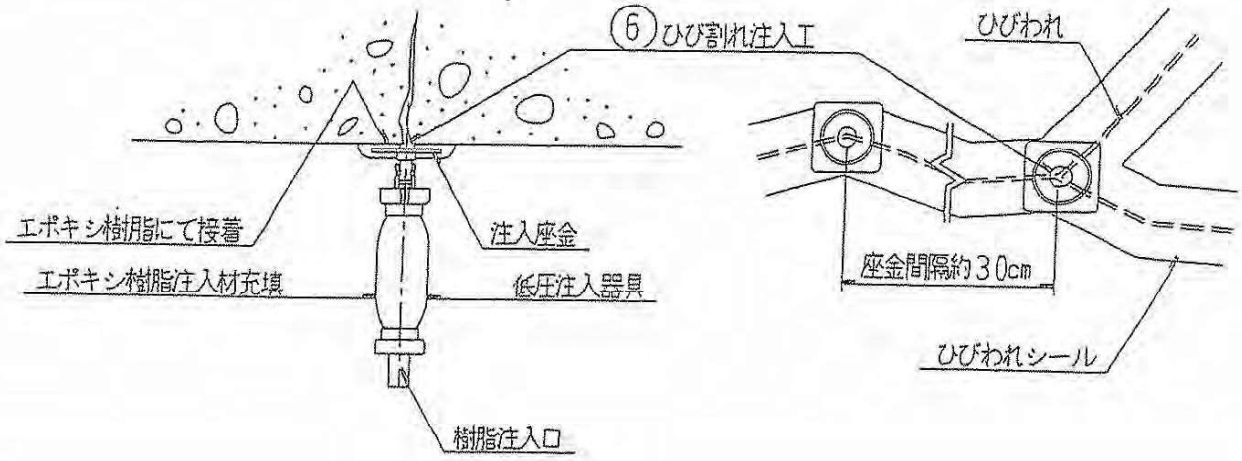


特／標／Ｚ９４０６４

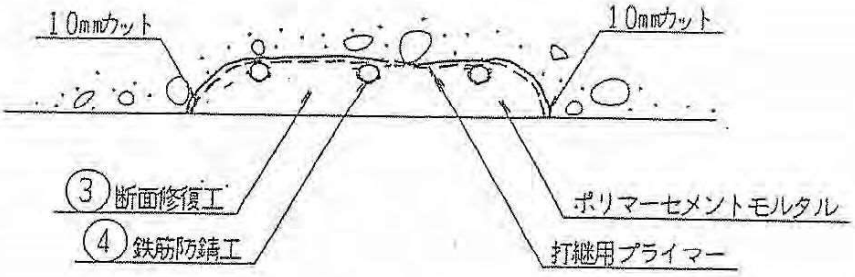
コンクリート剥落防止対策工の種別（工法概要図）



ひびわれ注入詳細図

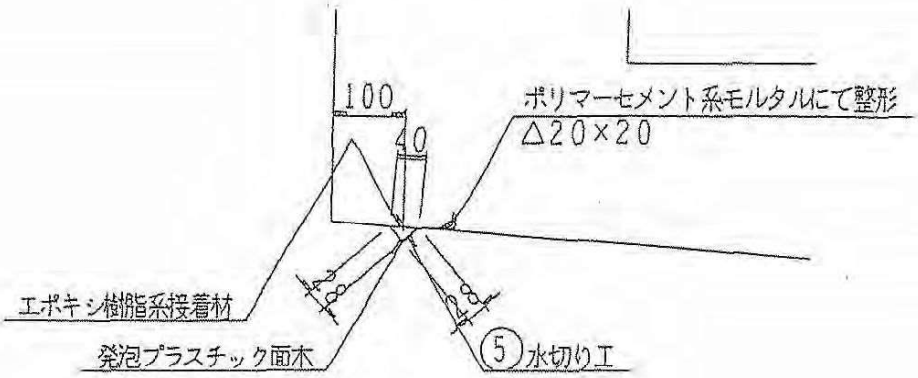


断面復旧工詳細図



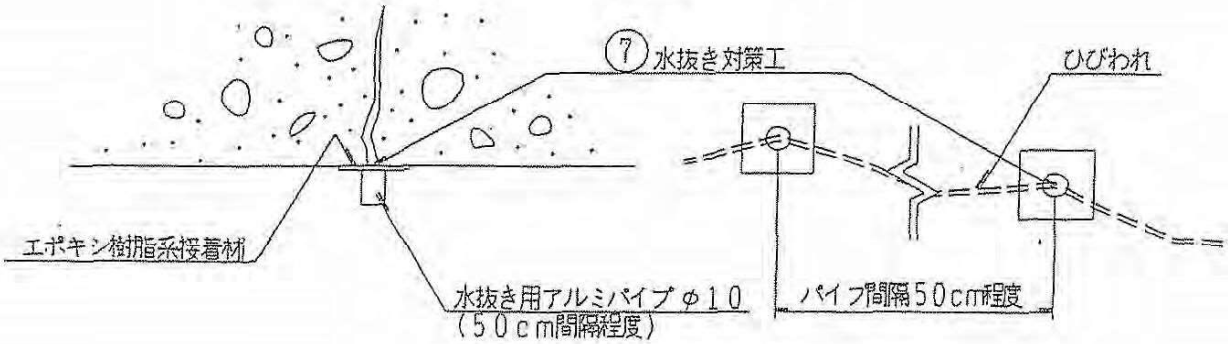
注）1 既設鉄筋は下地処理後、防錆材を塗布すること。
2 既設と補修境界部に10mm深さのカッターを入れること。

水切り工詳細図

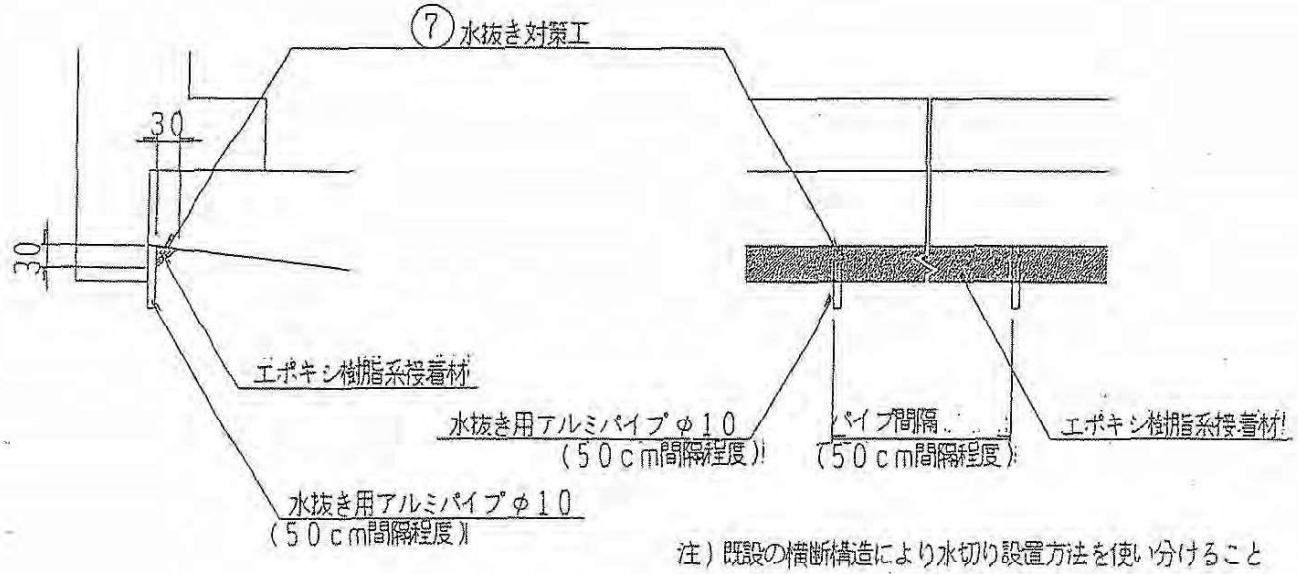


水抜きパイプ設置詳細図

（漏水を伴うひび割れや打ち継ぎ目部）



（既設の水切り部に沿って水抜きパイプを設置する場合）



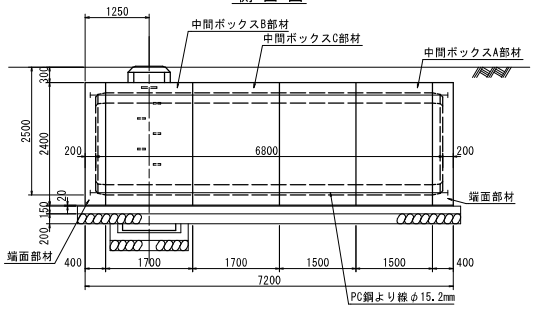
注）既設の横断構造により水切り設置方法を使い分けること

防火水槽構造図

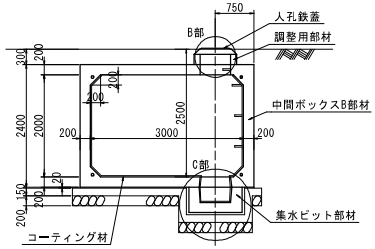
組立図

S=1：50

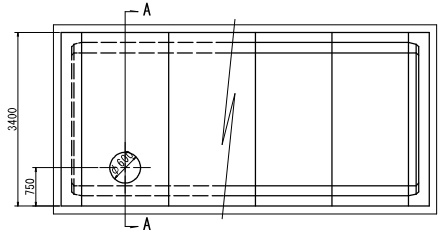
側面図



A-A 断面図



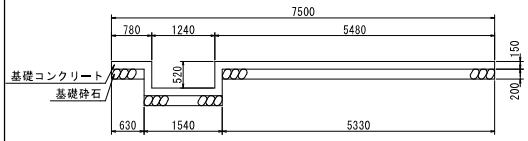
平面図



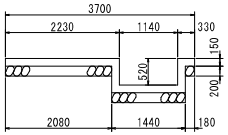
基礎図

S=1：50

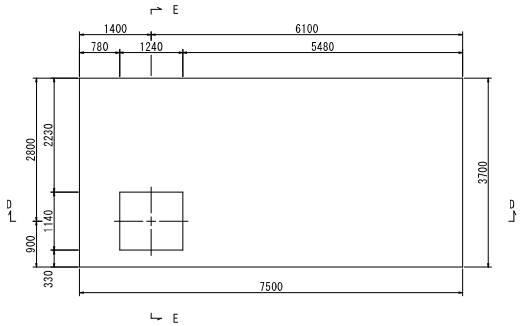
D-D 断面図



E-E 断面図



基礎平面図



止水仕様(防水工)材料表

	種別		算式	数量
本体	コーティング材		(2.60+2x1.60+4√2x0.20)x(6.40−2x0.20) + (3.00x2.00−4x0.20^2/2)x2 +0.60xπx0.50x 1 + (2.60+2x1.60+4√2x0.20)x 5x(0.0454−0.015) +0.60xπx 1x(0.0454−0.015)	61.0m2
	コーキング材1		(2x2.60+2x1.60+4√2x0.20) x 5−0.64xπx 1	49.7m
	シール材	中間ボックス、端面部材	(2x2.80+2x1.70+2xπx0.2)x5	51.3m
		集水ピット部材	(4x0.84+0.2)x 1	3.6m
		調整用部材	(2xπx0.34+0.2)x 2x 1	4.7m
集水ピット連結部	コーキング材1		0.04/3x(πx0.07^2/4+πx0.06^2/4+ √πx0.07^2/4xπx0.06^2/4) x 4	0.001m3
	パッキン材		——	4ケ

基礎数量表

種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	(7.50x3.70+(1.24+1.14+2x0.15)x0.52x2)x0.15	4.581m3	σck=18.0 N/mm2
基礎型枠	2x(7.50+3.70)x0.15+(4x(1.24+1.14)+8x0.15)x0.52	8.934m2	
基礎砕石	7.50x3.70	27.750m2	t=0.20m
敷モルタル	(7.20x3.40−1.24x1.14)x0.02	0.461m3	

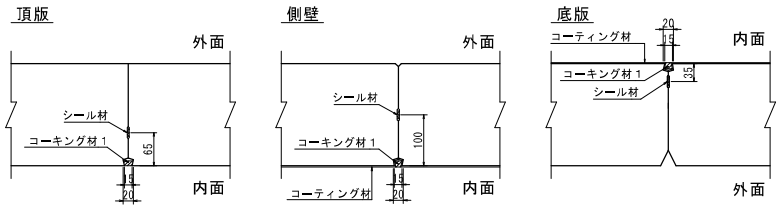
防火水槽明細書

型式番号	耐−00001−1号		
型式記号	T40−I−A−0.0/1.0		
容量	40.16 m3		
設計荷重	10.0 kN/m2		
設置場所	I 型		
土被り厚	0.300 m		
形状	横置ボックスカルバート型		
材料	規格または算式	数量	備考
中間ボックスA部材	3.4m x 2.4m x 1.5m	2 個	
中間ボックスB部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個	
中間ボックスC部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個	
端面部材	3.4m x 2.4m x 0.4m	2 個	
集水ピット部材	PH500(1.04m x 1.04m x 0.50m)	1 個	
調整用部材	φ0.83m, RH200	1 個	
PC鋼より線	φ15.2mm, L= 7.8m	4 本	SWPR7B
定着具	アンカープレート, グリップ	8 組	端面部材用
グラウト	0.12/3xπx(0.08^2+0.08x0.07+0.07^2)x8 +0.02xπx0.08^2x8+6.920xπ/4x0.035^2x4	0.047 m3	σck=30 N/mm2
緊結ボルト	M16,L=0.300m(ナット, 座金付)	3 組	
人孔鉄蓋	φ600	1 組	
六角ボルト	M20,L=200mm(ワッシャー付)	4 組	
Gキャップ E	−	8 組	

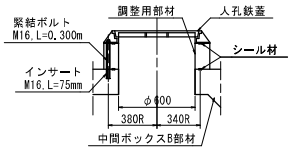
※内面防水は、コーティング仕様とする。

※日本消防設備安全センターの認定品である。

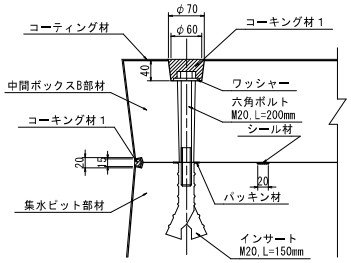
継手部詳細図 S=1:5



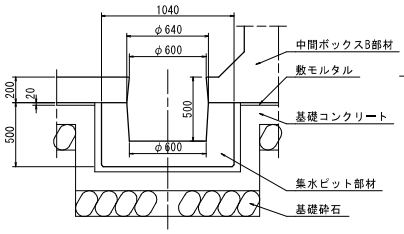
B部詳細図 S=1:20



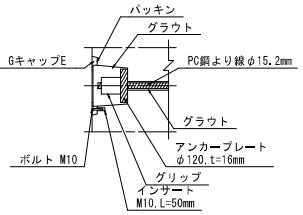
集水ピット連結部詳細図 S=1:5



C部詳細図 S=1:20



PC鋼より線定着部詳細図 S=1:10

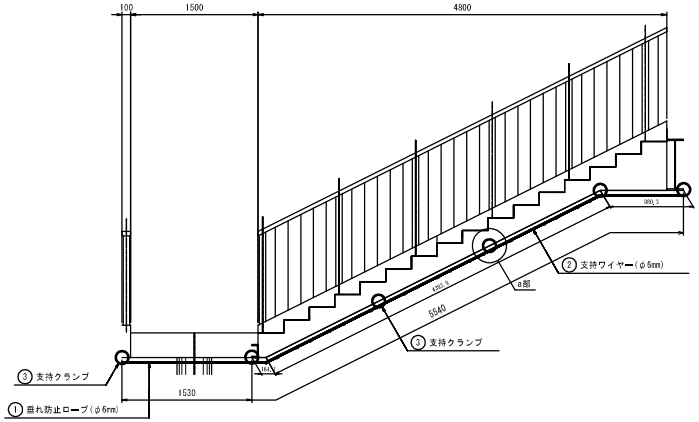


[redacted]

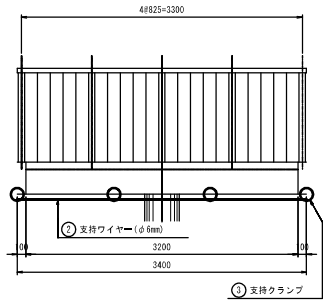
剥落防止ネット工計画図

断面図　S=1:30　（海側）

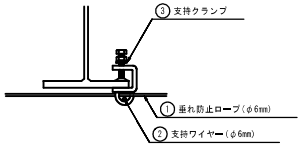
1 － 1



3 － 3



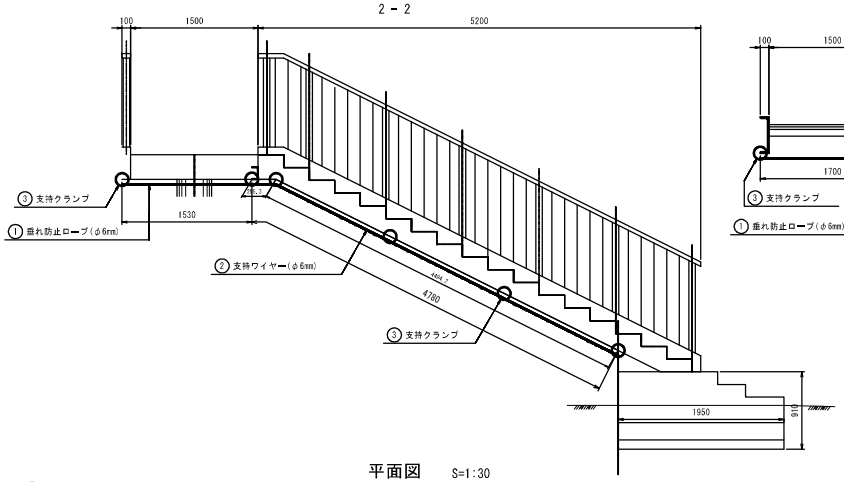
a部詳細



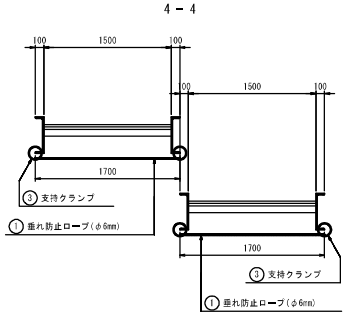
剥落防止ネット標準材料表

番号	材料名称	寸法	材質	単位	数量	摘要
①	垂れ防止ロープ	φ6(三つ打ち)	ナイロン　6mm	m	13.6	麻生中歩道橋
②	支持ワイヤー	φ6(4号6×24)	JIS G 3525 G種メッキ	m	37.3	麻生中歩道橋
③	支持クランプ			個	28	麻生中歩道橋
④	削孔式打込みアンカー	M10×70		本	——	——
⑤	支持アイボルト	M10(ネジ部18mm)		個	——	——
⑥	接続金具	φ6(内径50mm)	AK 1001	個	6	麻生中歩道橋
⑦	ワイヤークリップ	φ6(内径50mm)	JIS B 2809　メッキ	個	24	麻生中歩道橋
⑧	編み込みロープ	φ3.5(三つ打ち)		本	——	——
⑨	周囲ロープ	φ6(三つ打ち)	ナイロン　6mm	m	37.3	麻生中歩道橋
⑩	剥落防止ネット	10mm目合い(黒)	ナイロン(防炎加工) 1590dt/8本 10mm目	m2	22.7	麻生中歩道橋
⑪	干渉部縦和材	15R×30	発砲面木	m	——	——
⑫	発砲面木接着剤		エポキシ樹脂系接着剤	m	——	——

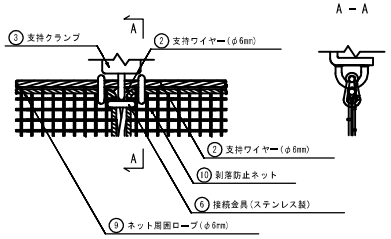
2 － 2



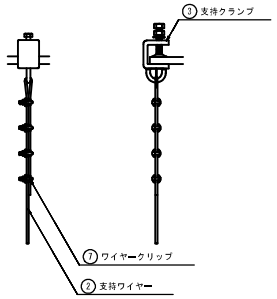
4 － 4



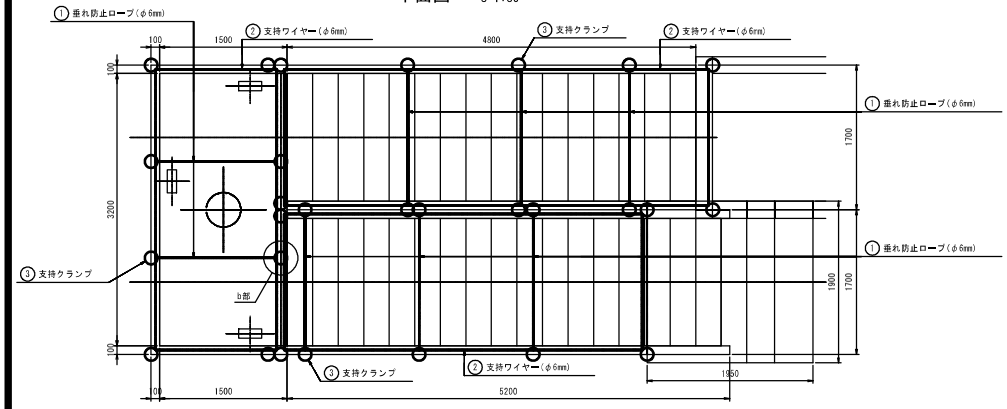
b部詳細



支持ワイヤー終末処理詳細



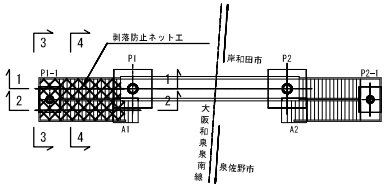
平面図　S=1:30



麻生中歩道橋
剥落防止ネット工数量表

		単位	海側
階段部	上段	m2	9.4
	下段	m2	8.1
踊場部		m2	5.2
合計		m2	22.7

位置図　S=1:200



注）この図面は、橋梁台帳および建設時一般図をもとに構造寸法を再現したものである。

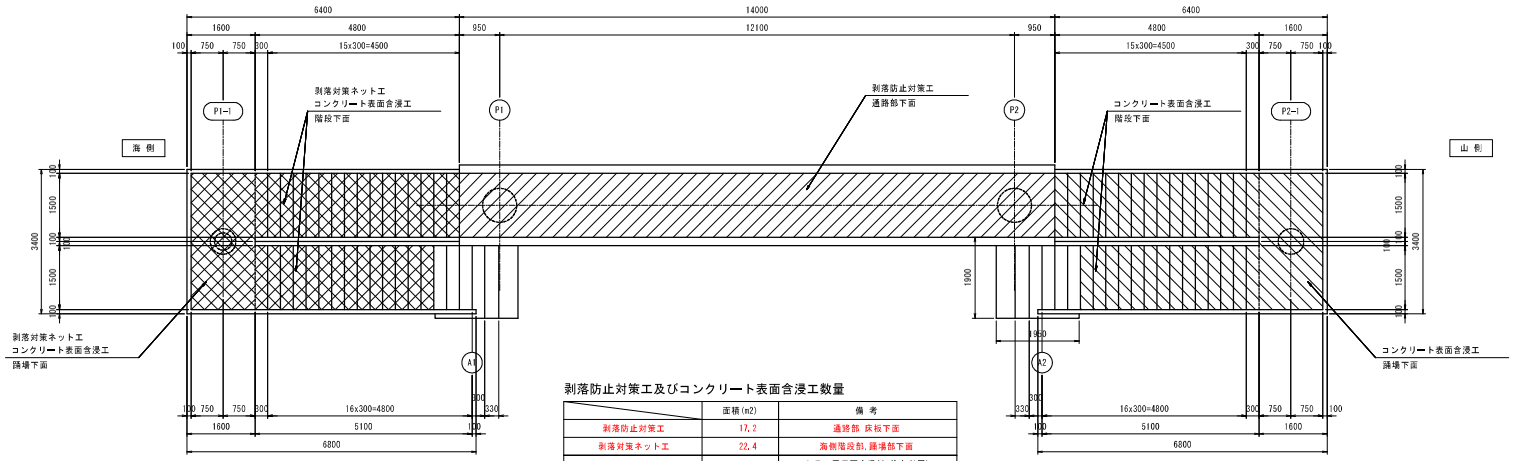
年度	平成　年度	事業名	
所属地名			
路線名			
委託名			
図面種別	剥落防止ネット工計画図		
設計	縮尺	番号	
	図示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成　年　月	

補修詳細図(その1)

S=1:60

剥落防止対策工及びコンクリート表面含浸工

平 面 図



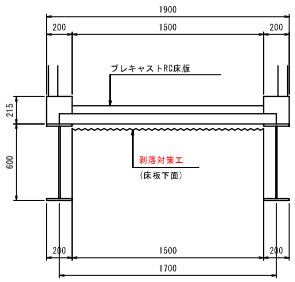
剥落防止対策工及びコンクリート表面含浸工数量

	面積(m2)	備 考
剥落防止対策工	17.2	通路部 床板下面
剥落対策ネット工	22.4	海側階段部,踊場部下面
コンクリート表面含浸工	35.2	シラン系表面含浸材 塗布(1層) 標準使用量 0.3リットル/m2

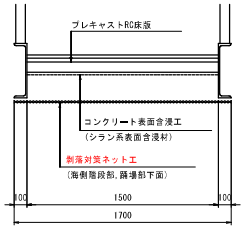
断 面 図

S=1:20

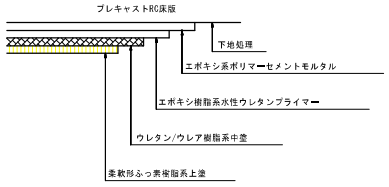
通路部



階段部,踊場部

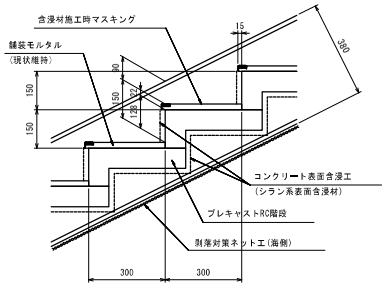


剥落対策工詳細図



コンクリート表面含浸工詳細図

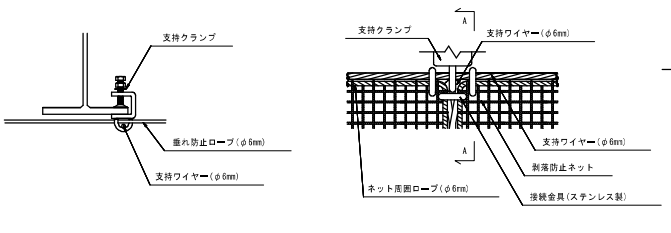
S=1:10



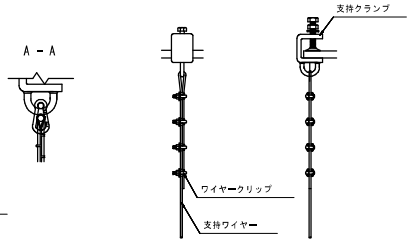
※プレキャストRC階段の断面修復後、
コンクリート表面含浸材を塗布する。

剥落防止ネット詳細図

支持クランプ取付要領



支持ワイヤー終末処理詳細



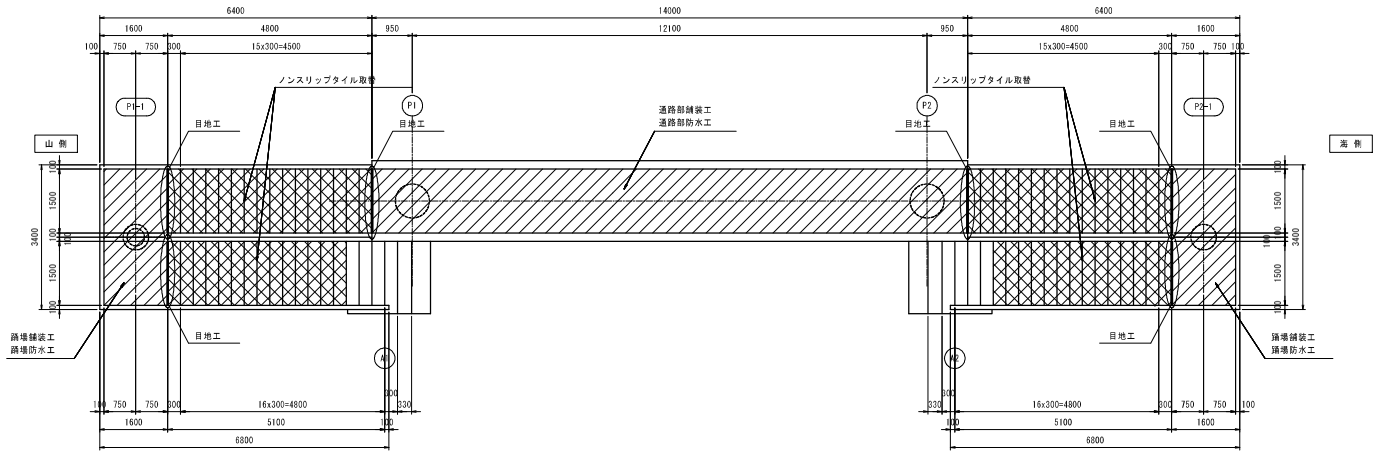
年 度	平成 年度	事 業 名	
所属地名			
路 線 名			
委 託 名			
図面種別	補修詳細図(その1)		
設 計	縮 尺	番 号	
	図 示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

補修詳細図(その2)

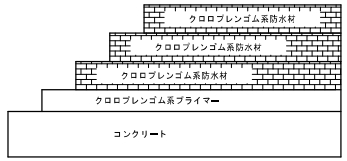
S=1:60

橋面防水工及びノンスリップタイル取替工

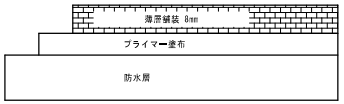
平 面 図



塗膜系床版防水層(ゴム溶剤型)の層構成

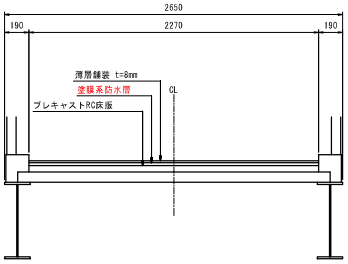


エポキシ樹脂薄層の層構成

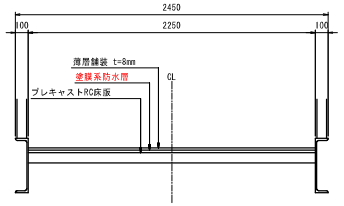


防水層範囲 S=1:20

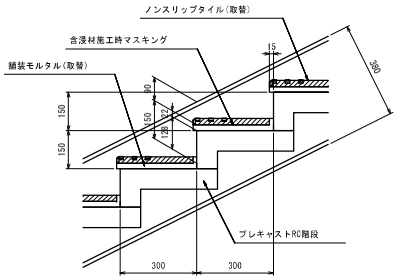
通路部



踊場部

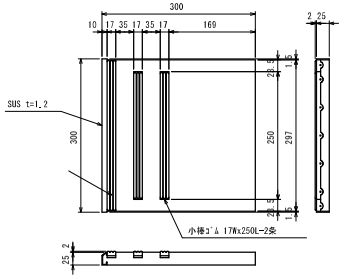


ノンスリップタイル取替工詳細図 S=1:10

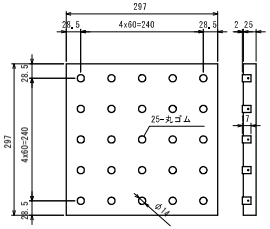


ノンスリップタイル詳細図 S=1:5

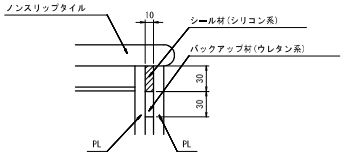
階段部



階段踊り場部



階段取付部目地工詳細 S=1:3



※構造目地部の漏水対策が必要なため、
建設時と同等の目地工を再建する

名 称		単 位	数 量	備 考
通路部舗装工面積		m2	20.6	
通路部防水層面積		m2	20.6	塗膜系
踊場舗装工面積		m2	9.5	
踊場防水層面積		m2	9.5	塗膜系
ノンスリップタイル取替		m2	27.0	
目地工	目地工延長	m	9.0	
	シール材体積	リットル	2.7	シリコン系,t=10mm(階段取付部)
	バックアップ材延長	リットル	2.7	ウレタン系,t=10mm(階段取付部)

注記

1.補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。

2.施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

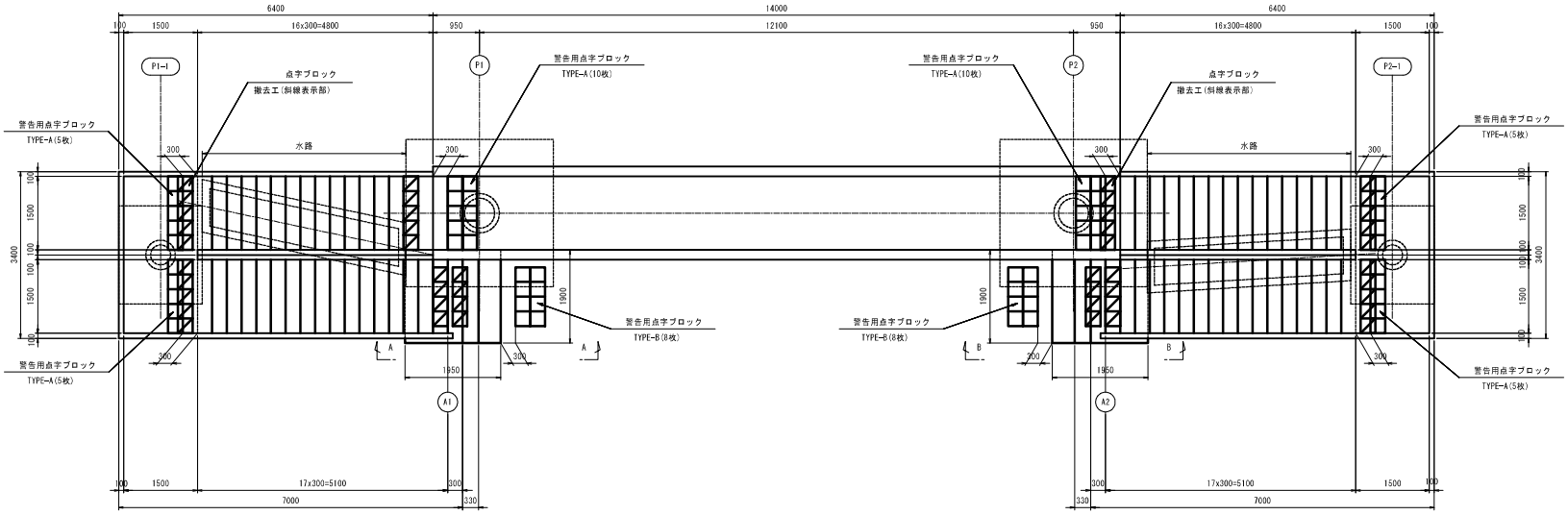
年 度	平成 年度	事 業 名	
所属地名			
路 線 名			
委 託 名			
図面種別	補修詳細図(その2)		
設 計	縮 尺	番 号	
	図 示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

補修詳細図(その4)

S=1:50

点字ブロック設置工

平面配置図

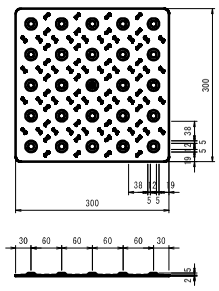


視覚障害者警告用点字ブロック

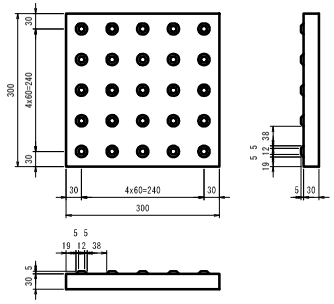
S=1:5

TYPE-A

のり付点字タイル　　＜JIS規格適合製品＞

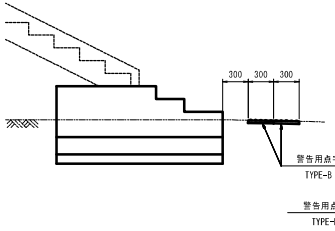


TYPE-B



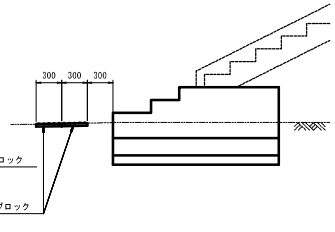
A－A

S=1:30



B－B

S=1:30



注記

1.補修箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。

2.施工に際しては、必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で行うこと。

点字ブロック数量

		数量(枚)	備考
点字ブロック撤去工		46	既設部(平面配置図の斜線表示部)
点字ブロック設置工	TYPE-A	40	材質:合成ゴム(t=2mm),接着剤仕様
	TYPE-B	16	材質:コンクリート(t=30mm)

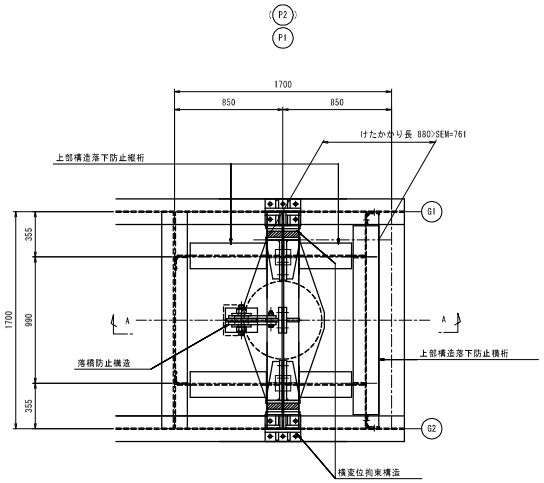
麻生中步道橋

年度	平成 年度	事業名	
所属地名			
路線名			
委託名			
図面種別	補修詳細図(その4)		
設計	縮尺	番号	
	図示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

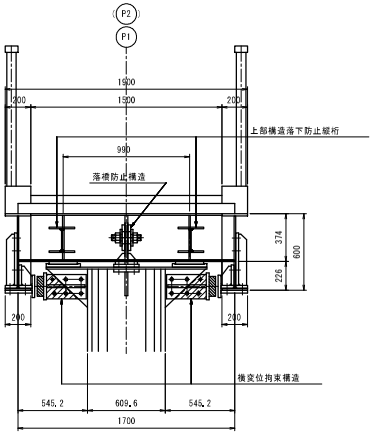
麻生中歩道橋 落橋防止システム構造図

S=1:20

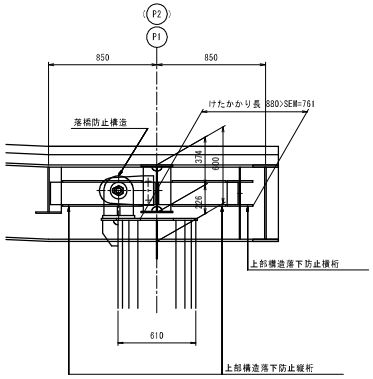
平 面 図



支点上断面図



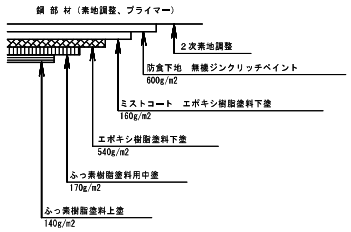
A － A



塗装仕様

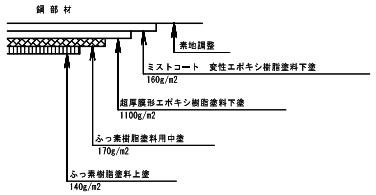
一般部外面塗装仕様

（Ｃ－５塗装系）



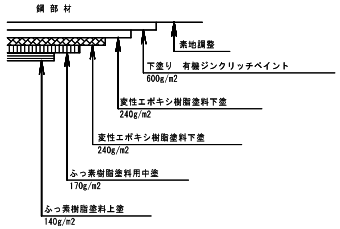
高力ボルト連結部塗装仕様

（Ｆ－１１塗装系）



溶接部塗装仕様

（Ｆ－１３塗装系）



注記

1.落橋防止システムを設置するうえで、
排水管が支障がある場合は撤去、復旧を行うこと。

麻生中歩道橋

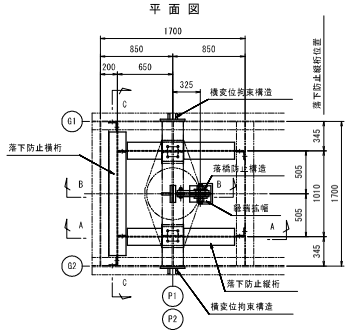
年 度	平成 年度	事 業 名	
所属地名	大阪府貝塚市麻生中		
路 線 名	主要地方道 大阪和泉泉南線		
委 託 名			
図面種別	落橋防止システム構造図		
設 計	縮 尺	番 号	
	図 示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

落橋防止システム詳細図(その1)

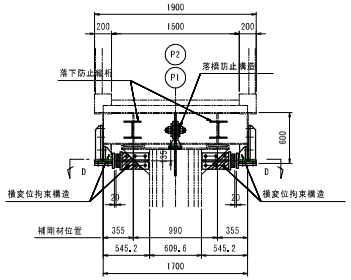
S=1:30

取付位置図

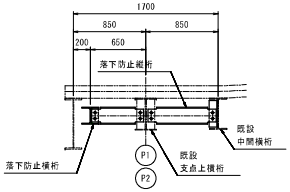
平面図



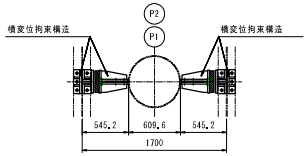
支点上断面



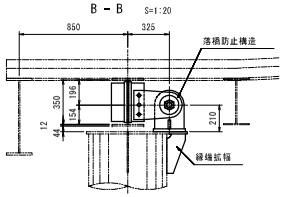
A－A



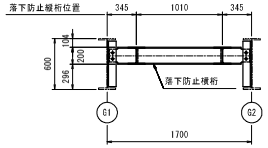
D－D



B－B S=1:20



C－C

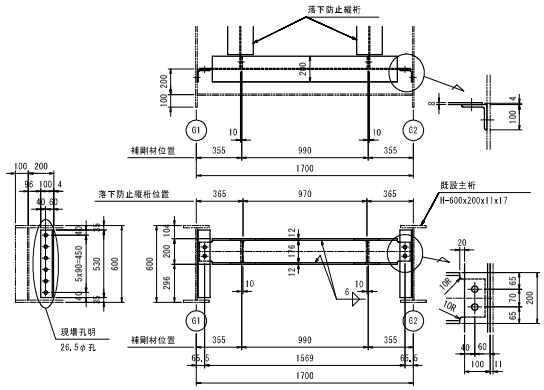


耐震補強工数量表

		単位	数量	備考
現場溶接延長	実長	m	3.334	
	換算長	m	23.464	6mmすみ肉換算
現場孔明工	26.5φ	箇所	124	

落下防止横桁 S=1:20

(製作数:2)

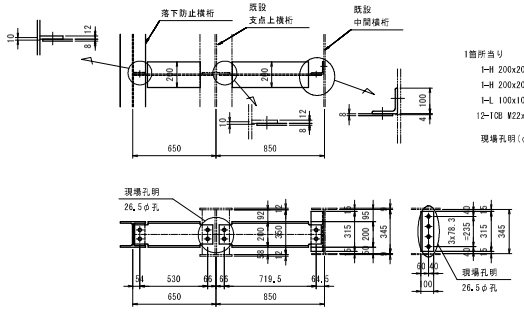


1箇所当り
2-FLG PL 200x12x1449
1-WEB PL 176x8x1649
2-PL 90x12x176
2-L 100x100x10x530(SS400)
4-TOB M22x55(S10T)

現場孔明(φ26.5) 12ヶ所

落下防止縦桁 S=1:20

(製作数:4)

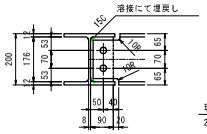


1箇所当り
H 200x200x8x12x610(SS400)
H 200x200x8x12x800(SS400)
L 100x100x10x315(SS400)
12-TOB M22x55(S10T)

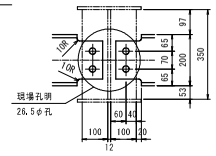
現場孔明(φ26.5) 8ヶ所

縦桁取付部詳細図 S=1:10

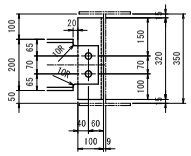
落下防止横桁



既設支点上横桁

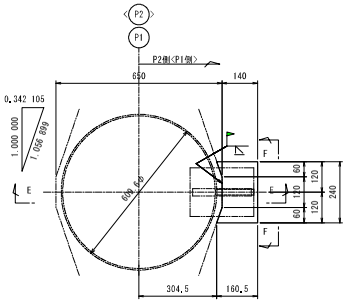


既設中間横桁



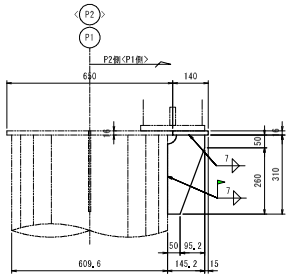
縁端拡幅 S=1:10

(製作数:2)

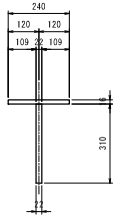


1箇所当り
1-FLG PL 161x16x240
1-RIB PL 145x22x310

E－E S=1:10



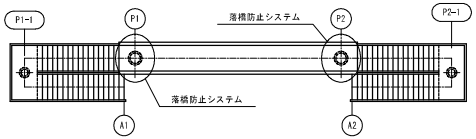
F－F S=1:10



注記

1. 補強箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
2. 施工に際しては、必ず現地にて補強箇所及び数量を確認の上で行うこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
4. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
5. ◆印は、TOB M22(S10T)示す。

配置図



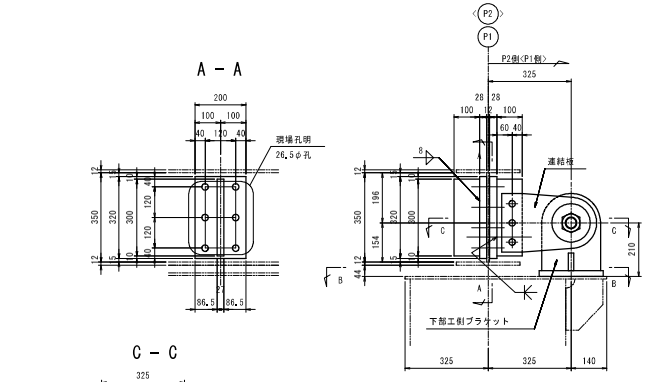
年度	平成 年度	事業名	
所属地名			
路線名			
委託名			
図面種別	落橋防止システム詳細図(その1)		
設計	縮尺	番号	
	図示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

落橋防止システム詳細図(その2)

S=1:10

落橋防止構造詳細図

(製作数:2)

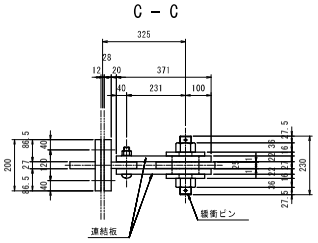


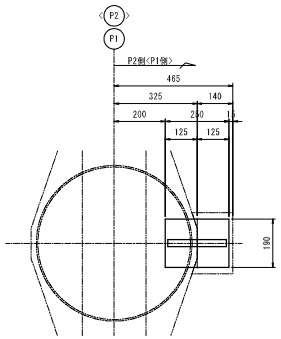
1箇所当り
2-BASE PL 200x28x320
2-PL 100x27x300
6-TCB M22x105(S10T)

現場孔明(φ26.5) 6ヶ所

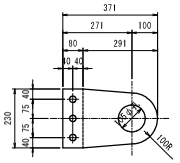
2-PL 230x22x371
1-PL 303x25x230
1-BASE PL 190x22x250
2-RIB PL 70x22x70
3-TCB M22x110(S10T)

1-緩衝ピン φ46x230(S45CN)
2-WASHER PL φ150x16(SS400)
2-NUT M45(1種)(SS400)
2-割りピン φ8×80(SUS304)

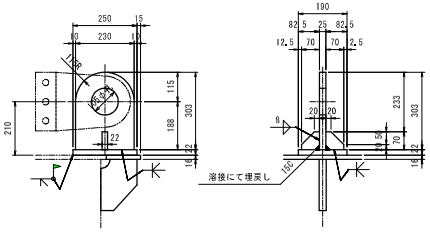




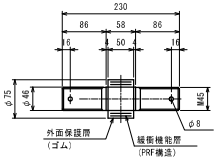
連結板



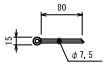
下部工側ブラケット詳細図



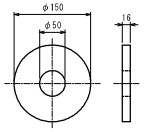
緩衝ピン詳細 S=1:5



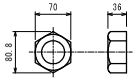
割りピン



座金



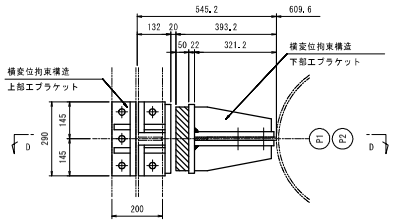
ナット



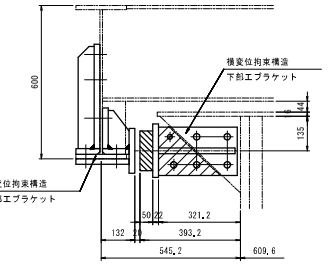
横変位拘束構造詳細図

(製作数:4)

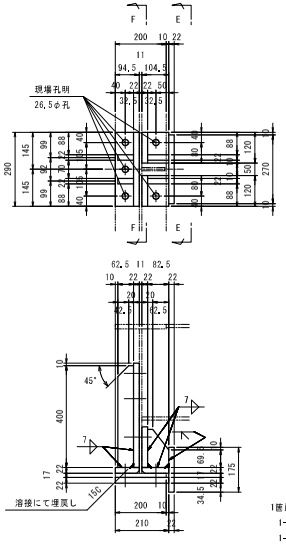
平面図



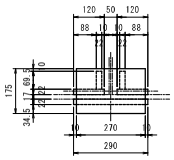
D－D



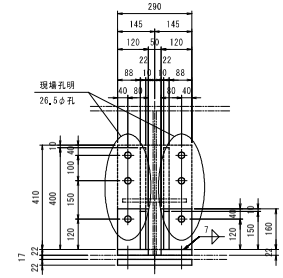
上部エブラケット詳細図



E－E



F－F



1箇所当り
1-FLG PL 175x22x270
1-BASE PL 210x22x290
1-BASE PL 95x22x290
2-BASE PL 105x22x120
1-BASE PL 410x22x290
2-BASE PL 160x22x120
2-RIB PL 63x22x400
2-RIB PL 83x22x150
4-TCB M22x70(S10T)
2-TCB M22x90(S10T)
5-TCB M22x100(S10T)

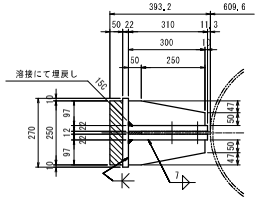
現場孔明(φ26.5) 11ヶ所

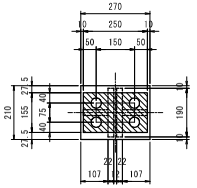
下部エブラケット詳細図

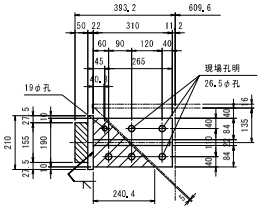
1箇所当り
2-BASE PL 190x22x310
1-FLG PL 210x22x270
2-RIB PL 97x22x300
1-FILL PL 190x12x240(SS400)
5-TCB M22x95(S10T)
※ 1-BN M16x85(2-W)(SS400)

1-緩衝材 155x50x250
(クロロプレンゴム 硬度55°±5°)
※ 4-BN M16x80(2-W)(SS400)

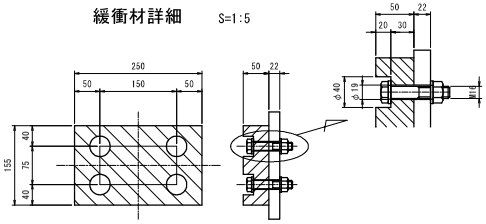
現場孔明(φ26.5) 3ヶ所





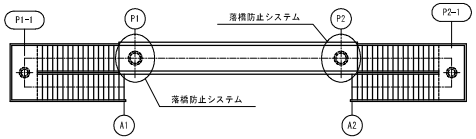


緩衝材詳細 S=1:5



注記
1. 補強箇所は、必ず現地確認の上で施工を行うこと。
2. 施工に際しては、必ず現地にて補強箇所及び数量を確認の上で行うこと。
3. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
4. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
5. ⊕印は、TCB M22(S10T)示す。
6. ※印付部材は、溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35とする。

配置図



年度	平成 年度	事業名	
所属地名			
路線名			
委託名			
図面種別	落橋防止システム詳細図(その2)		
設計	縮尺	番号	
	図示	／	
大阪府岸和田土木事務所		平成 年 月	

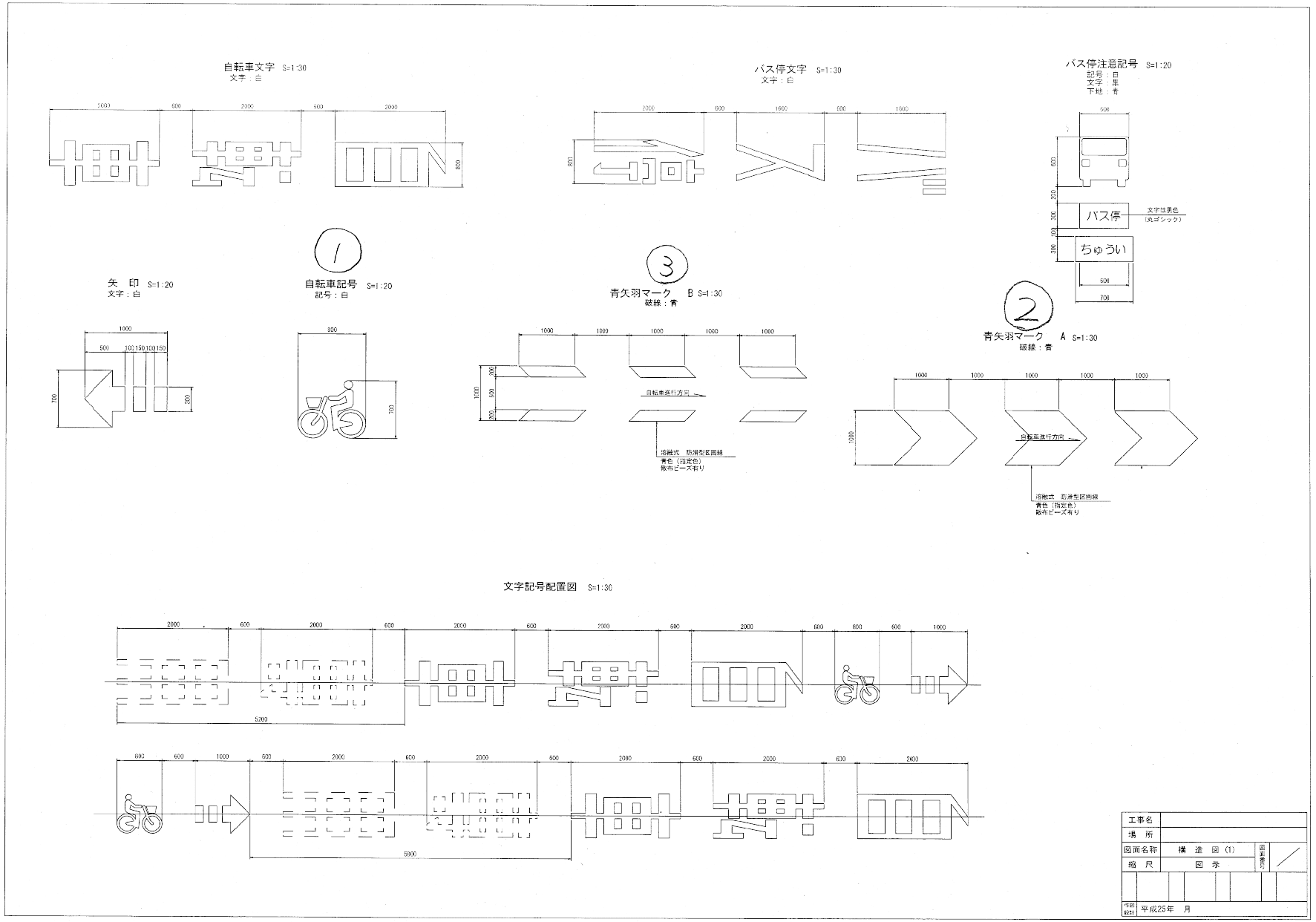
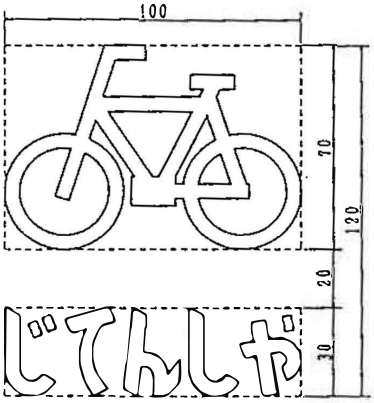

自転車文字 S=1:30
文字：白
バス停文字 S=1:30
文字：白
バス停注意記号 S=1:20
記号：白
文字：黒
下地：青
バス停
ちゅうい
文字は黒色
(丸ゴシック)
矢 印 S=1:20
文字：白
自転車記号 S=1:20
記号：白
青矢羽マーク B S=1:30
破線：青
自転車進行方向
溶融式 防滑型区画線
青色（指定色）
散布ビーズ有り
青矢羽マーク A S=1:30
破線：青
自転車進行方向
溶融式 防滑型区画線
青色（指定色）
散布ビーズ有り
文字記号配置図 S=1:30
5200
5800
工事名
場 所
図面名称 構 造 図 (1)
縮 尺 図 示
図面番号
作図設計 平成25年 月

図 3.2－L

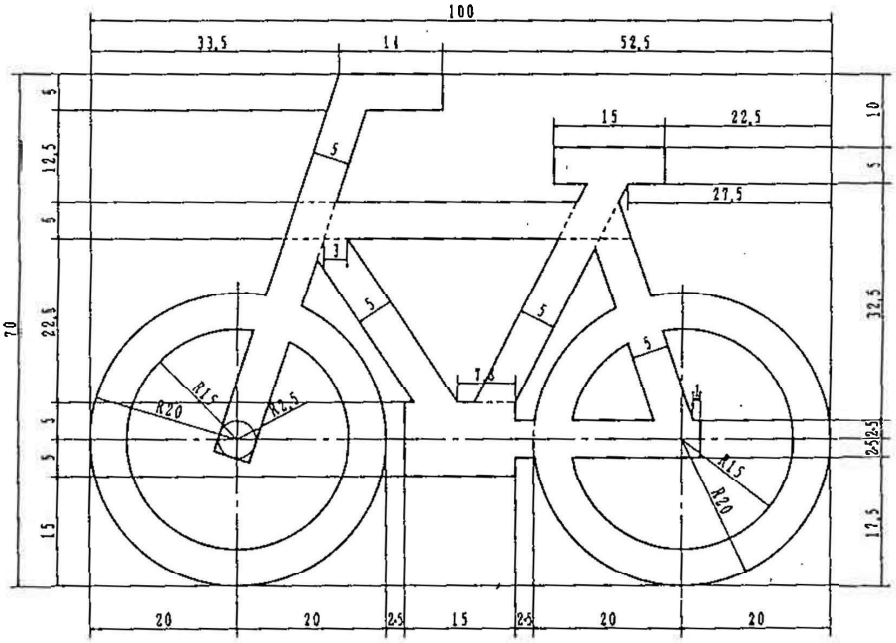
自転車図示標示と文字標示の組合せ

（東京警視庁指定）

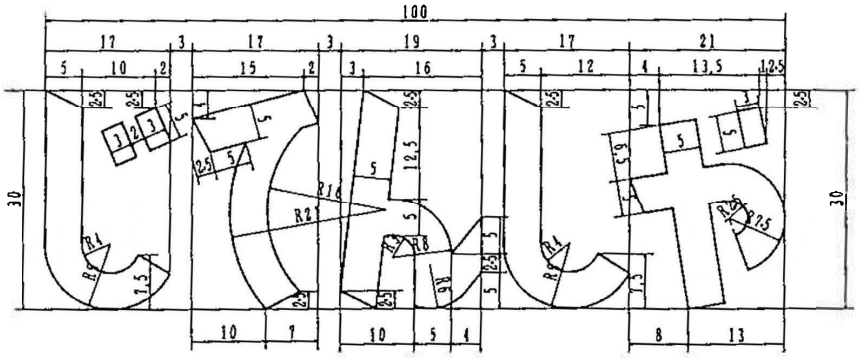
Le=2.27m
Lp=2.6m



Le=1.53m
Lp1.8m

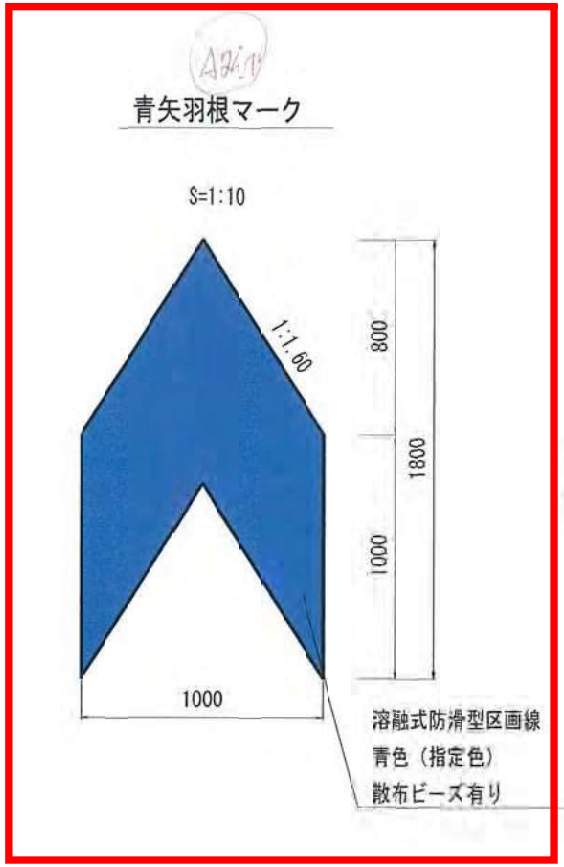


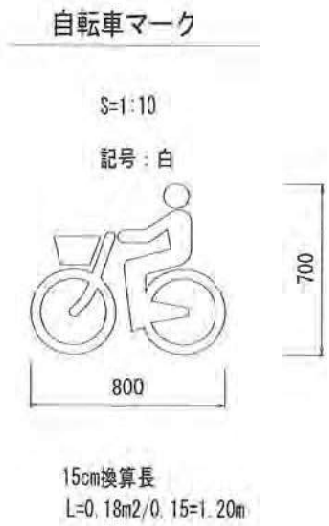
Le=0.74m
Lp=0.8m



矢羽根等寸法図

Aタイプ





備考：矢羽根、矢印自転車マーク、のすきなどは、次の資料による。

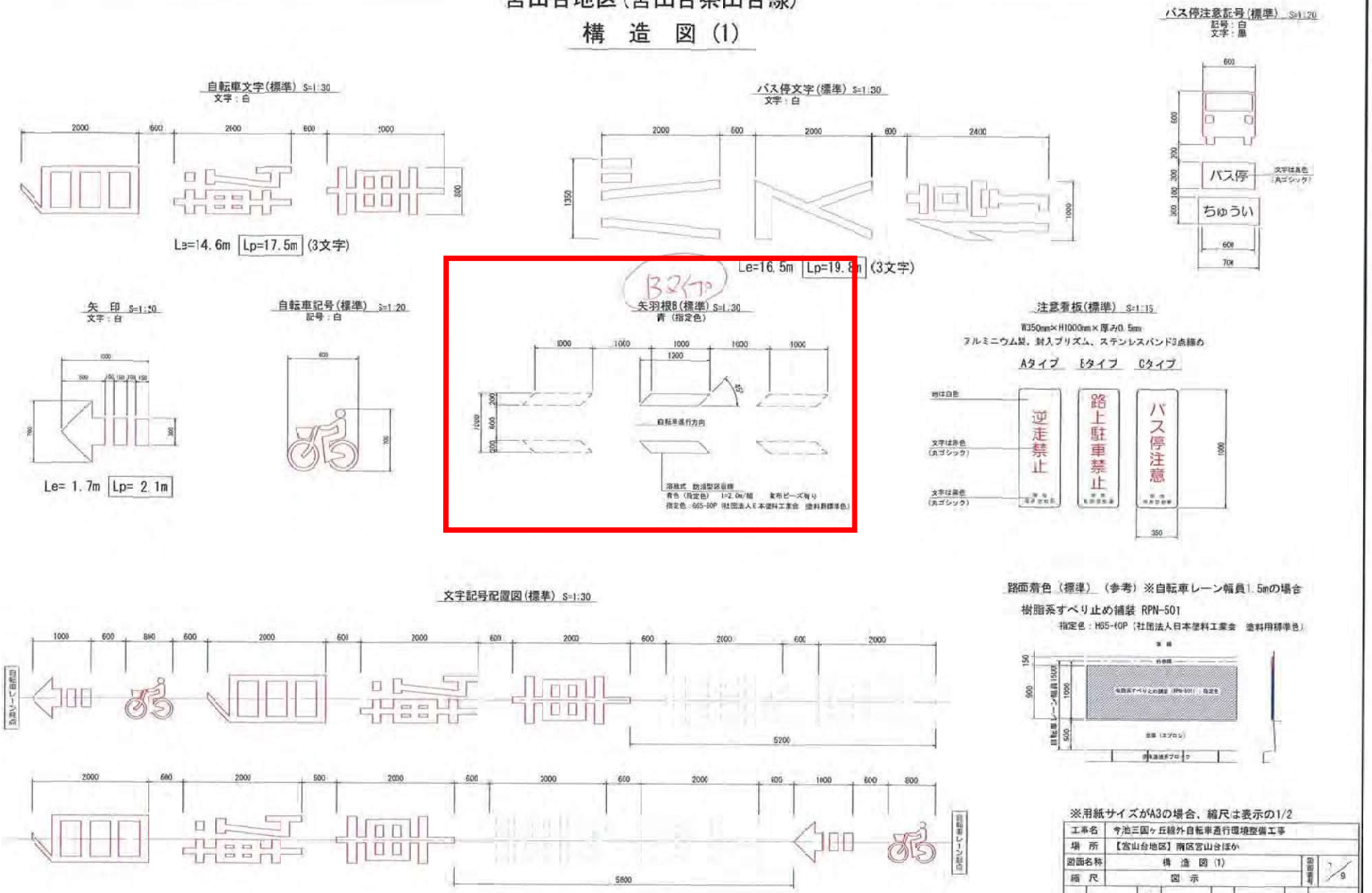
○矢羽根
・単路部：10m間隔　「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン H28.7」II-7
　交差点部：2m間隔　「自転車通行を考えた交差点設計の手引き」p107
　形状：府内施工済みに整合

○自転車マーク・矢印
・単路部：30m間隔　「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン H28.7」II-5参考
・交差点部：交差点前後に1箇所設置　「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン H28.7」II-53
・形状：府内施工済みに整合

年度	平成29年度	図面番号	21 / 23
工事名	自転車通行空間整備工事		
施工箇所	京大津市助松町地内　外		
図面名	矢羽根寸法図		
縮尺	1:250	作成年月日	平成29年7月
大阪府　風土木事務所			

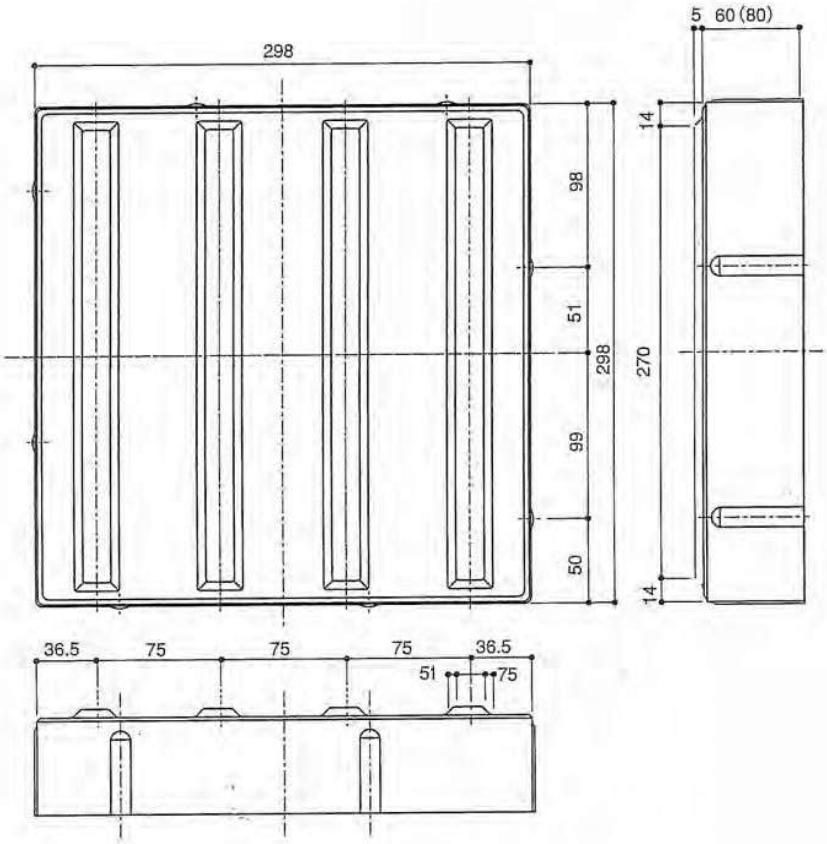
Bタイプ

宮山台地区（宮山台茶山台線）
構　造　図（1）



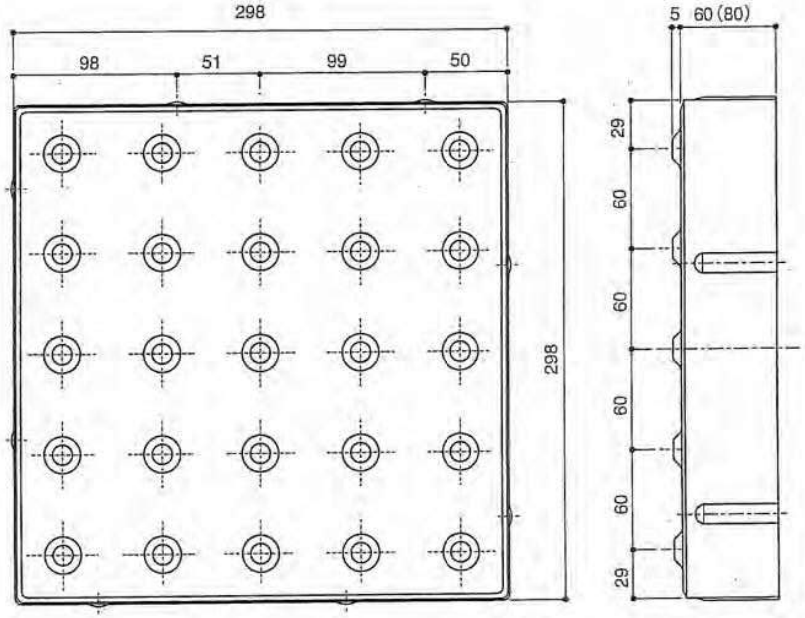
※用紙サイズがA3の場合、縮尺は表示の1/2

工事名	今池三国ヶ丘線外自転車通行環境整備工事		
場　所	【宮山台地区】南区宮山台ほか		
図面名称	構　造　図（1）	図面番号	7/9
縮　尺	図　示		
課長	課長補佐	係長	担当
作図・設計	平成28年11月	自転車環境整備課	



誘導表示平板　NO．03-1（乾式成型不透水タイプ）

NO．04-1（乾式成型透水タイプ）



位置表示平板　NO．03-2（乾式成型不透水タイプ）

NO．04-2（乾式成型透水タイプ）

*JIS T9251:2001　による

⚠ 警告

施工の際は部材の固定を確実に行なってください。
固定が十分でないと、倒壊、欠落等の危険があります。

File name	Date	
Scale=1/5	視覚障害者用誘導ブロック（乾式成型透水・不透水タイプ）	6

耐久性にすぐれた点字シートの貼付施工タイプ

ステップガイド点字シート

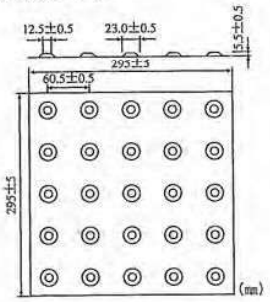
下地塗料（アクリダイトVH-Y）を塗布したあと、点字シートを設置する貼付タイプで、きれいに仕上がり、耐久性・強度ともにすぐれています。

点状●輪荷重による変形がなく、路面の凹凸にも追随し、美しく仕上げることができます。

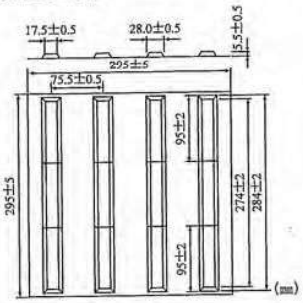
線状●輪荷重による変形がなく、狭い現場にも対応でき、しかもガス・水道工事などの道路復旧も容易に行えます。

形状・寸法及びその配列 ※製品寸法

●TJタイプ



●SJタイプ



製品規格

●点字シート

項　　目	品　質　規　格
密度（23℃）	1.7 ±0.2g/cm³
圧縮強さ(23℃)	0.802kN/cm²以上
曲げ強度(23℃)	4.903MPa以上
引張強度(23℃)	2.942MPa以上
耐摩耗性	200mg以下
すべり抵抗値	50（BPN）以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相（色差）	標準黄色見本との色差（ΔE）3.0以内

●アクリダイトVH-Y

項　　目	品　質　規　格
密度（23℃）	1.7±0.2g/cm³
可使時間(23℃)	5～15分
硬化時間(23℃)	45分以内
圧縮強さ(23℃)	0.802kN/cm² 以上
粘度（23℃）	3,000～7,000Pa·s
引張接着強さ	0.049kN/cm²以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相（色差）	標準黄色見本との色差（ΔE）3.0以内

●色　黄色を標準色とする。
[日塗工No.22-80V(No.308) マンセル値(参考)2.5Y8/12]

設置方法

下地施工

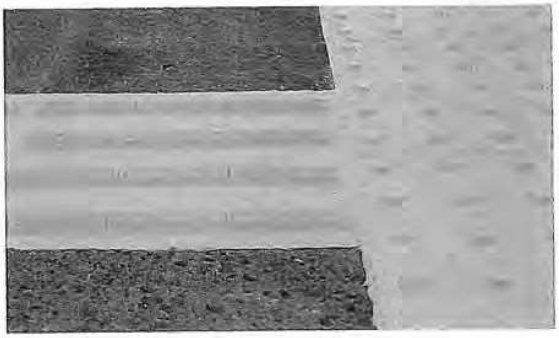
マスキング後、下地塗料をコテ等で塗布します。

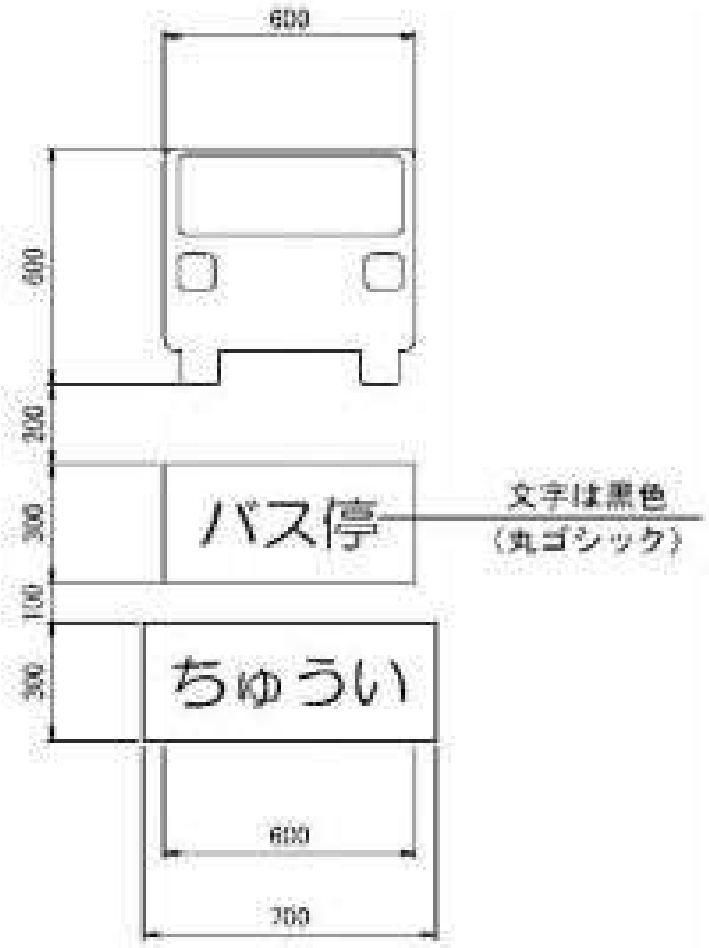
点字シート貼付

点字シートを貼付した後、刷毛等でなじませます。

完成

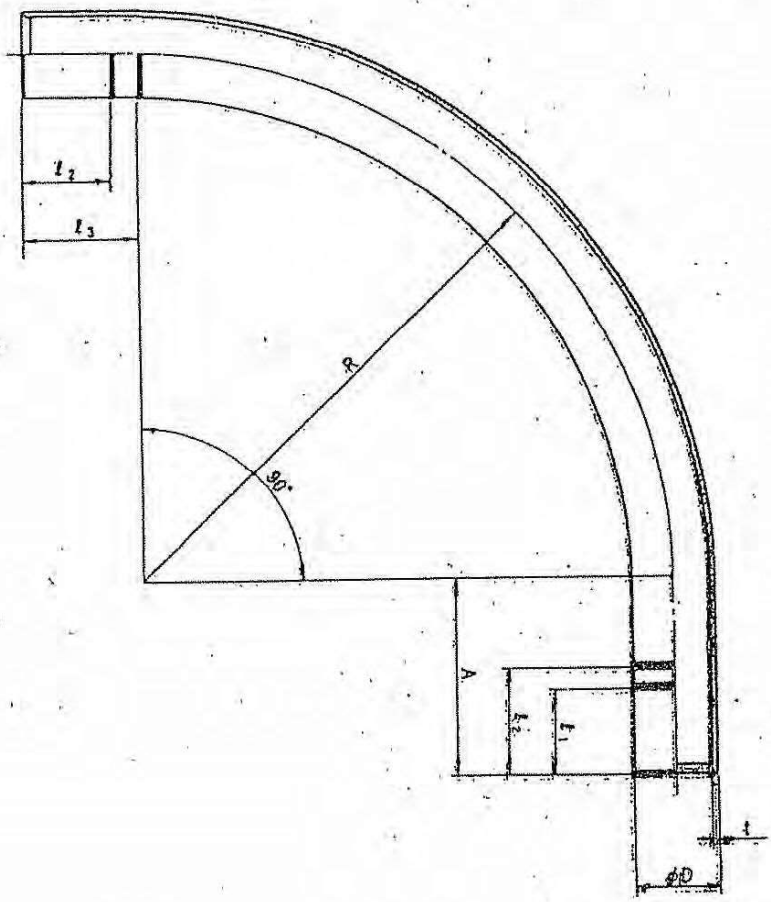
すみやかにテープを除去し、下地塗料の硬化を確認し、トップコートを上塗りして完成です。




600
600
200
300
150
300
バス停
ちゅうい
文字は黒色
（丸ゴシック）
600
700

自転車マーク（矢印およびピクト）
（大阪府自転車通行空間法定外表示実施要領（改定版）H29.3版）

電共 PV管



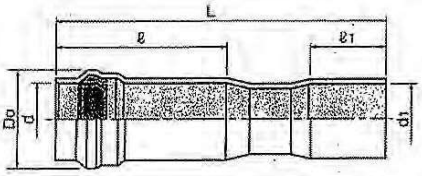
単位：mm

対象品	呼び径	D	t	A	l_1	l_2	l_3	R
	25	34.0±0.3	3.0±0.30	400	65	85	115	500
	50	60.0±0.5	4.5±0.40	400	100	120	150	500
	75	96.0±0.6	6.5±0.55	400	130	150	190	1000

備考　クボタ規格品。

Vカン Pツギテ（ビニル管差込み継手）

品番8082



単位:mm

呼び径	ゴム輪受口部			接着受口部		全長
	Do（参考）	d（基本寸法）	ℓ（標準）	d1（基本寸法）	ℓ1（標準）	L（参考）
25	50	34.6	115	34.55	40	163
50	84	61.0	144	60.8	63	277
75	129	97.3	175	96.8	75	257

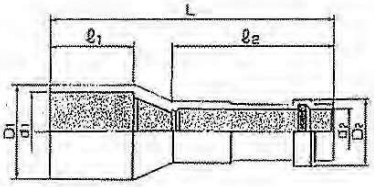
No. 13
No. 12

備考：1. 呼び径75は、日本通信電材（株）製で、上図と形状が異なります。
2. 呼び径25は、上図と形状が異なります。

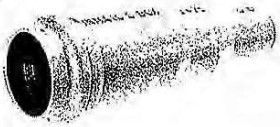
異径管差込み継手

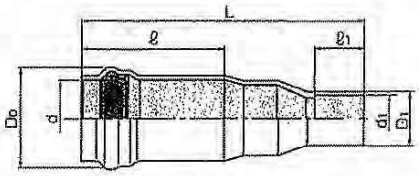
品番8711

（25㎜−50㎜）



（75㎜−50㎜）





（25㎜−50㎜）

単位:mm

接着受口部			ゴム輪受口部			全長
D1（参考）	d1（基本寸法）	ℓ1（標準）	D2（参考）	d2（基本寸法）	ℓ2（標準）	L（参考）
70	60.8	63	50	34.6	122.5	214.5

（75㎜−50㎜）

単位:mm

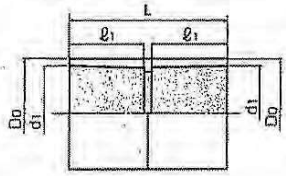
ゴム輪受口部			接着受口部			全長
Do（参考）	d（基本寸法）	ℓ（標準）	D1（参考）	d1（基本寸法）	ℓ1（標準）	L（参考）
129	97.3	182	70	60.8	63	360

備考：ゴム輪は75㎜差込み継手硬質塩化ビニル管（P−Vカン）のゴム輪と同じです。

75mmビニル管ソケット

品番8080

日本通信電材（株）製



単位:mm

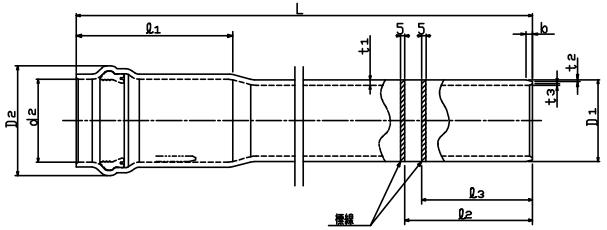
呼び径	Do（参考）	d1（基本寸法）	ℓ1（標準）	全長 L（参考）
75	110	96.8	75	157

※管枕などの関連部材はP.33以降に掲載しています。

管路材構造図（3）

（通信、道路用ＰＶ管）

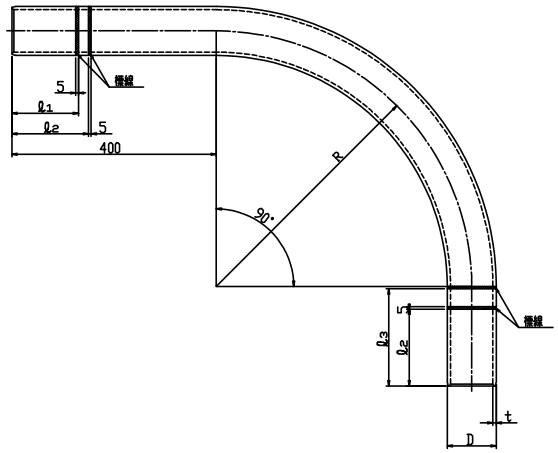
直　管



単位：mm

呼び径	管体部			受口部			差口部					参考質量 kg/本
	L	D1	t1	D2	d	ℓ1	b	ℓ2	ℓ3	t2	t3	
25	4075	34	3.0	50	34.6	115	6	85	65	1.5	1.0	1.8
50	4110	60	4.5	84	61.0	144	6	120	100	1.5	1.5	4.7
75	5690	96	6.5	129	97.3	182	8	150	130	2.0	2.0	15.0

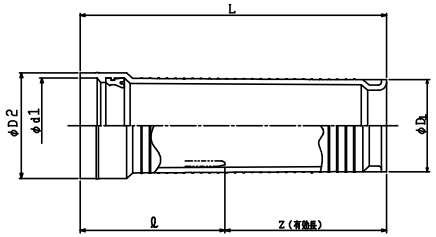
90P－V曲管



単位：mm

呼び径	D	t	ℓ1	ℓ2	ℓ3	R
25	34	3.0	65	85	115	500
50	60	4.5	100	120	150	500
75	96	6.5	130	150	190	1000

ダクトスリーブ

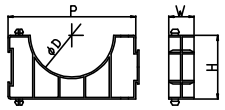


単位：mm

呼び径	φD1	φD2	φd1	L	Z	ℓ
25	28	36.5	37.0	258	140	110
50	78	83	65.3	325	160	140
75	110	124	112.0	360	190	170

管　枕

Ｐ－Ｖ管φ７５用

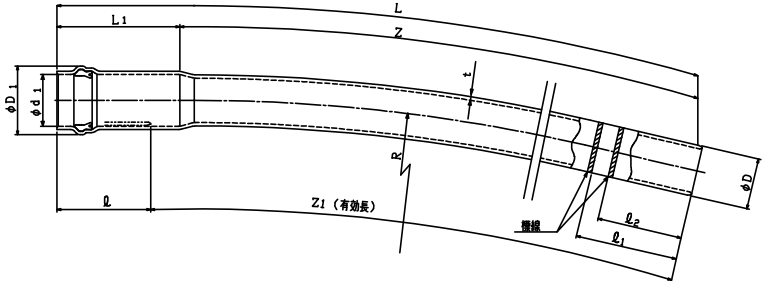


単位：mm

呼び径	D	P	W	H
75×130P	97	130	30	65
50×95P	61	95	30	47.5

※　管枕の設置間隔は、管路１本当り２ヶ所設置を標準とする。

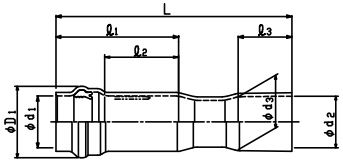
曲　管



単位：mm

呼び径	D	D1	d1	L	L1	Z	Z1	t	ℓ	ℓ1	ℓ2	R
50	60	84	61.0	1110	144	966	1000	4.5	110	120	100	5000
75	96	129	97.3	1140	182	958		6.5	140	150	130	10000

Ｖ管Ｐ継手



単位：mm

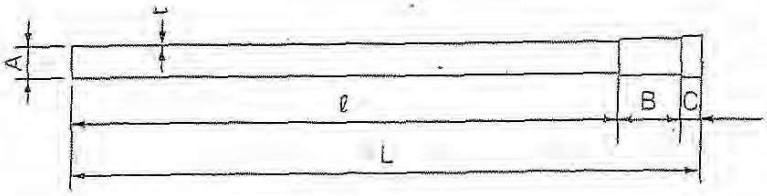
呼び径	L	D1	d1	d2	d3	ℓ1	ℓ2	ℓ3
50	277	84	61.0	60.3	59.2	144	63	63
75	257	129	97.3	96.8	94.9	175	75	75

※　当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年　度	平成　年度	番　号	32/53
路線名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工事名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	管路材構造図(3)		
縮　尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

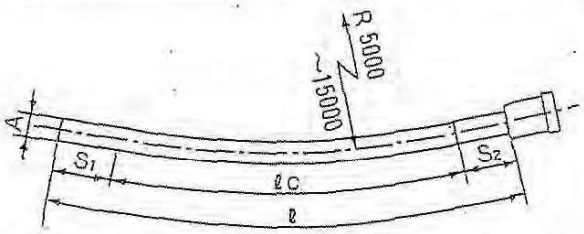
1 軽量ケーブル保護鋼管（KGP）・直管

寸法単位：mm



寸法 / 管の呼び径	管の外径	管の肉厚	接合部		有効長	全長	重量
	A	t	B	C	ℓ	L	kg/本
80	89.1	3.0	150	75	3,500	3,725	25.3
100	114.3	3.0	150	75	3,500	3,700	32.3
125	139.8	3.0	175	75	3,500	3,750	40.5
150	165.2	3.3	250	60	3,500	3,810	53.0

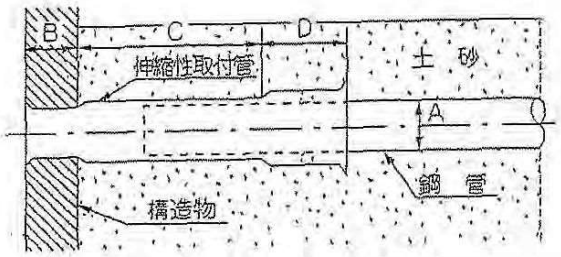
2 軽量ケーブル保護鋼管（KGP）・曲管



寸法 / 管の呼び径	管の外径	直線部		曲線部	有効長
	A	S_1	S_2	ℓc	ℓ
80	89.1	325	175	1,000	1,500
100	114.3	325	175	1,000	1,500
125	139.8	325	175	1,000	1,500
150	165.2	600	600	800	2,000

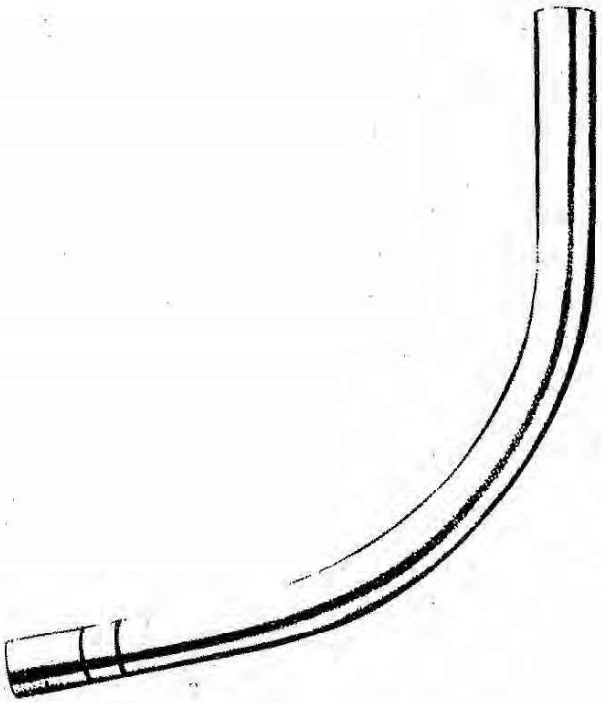
ケーブル保護伸縮性取付管（GPT）

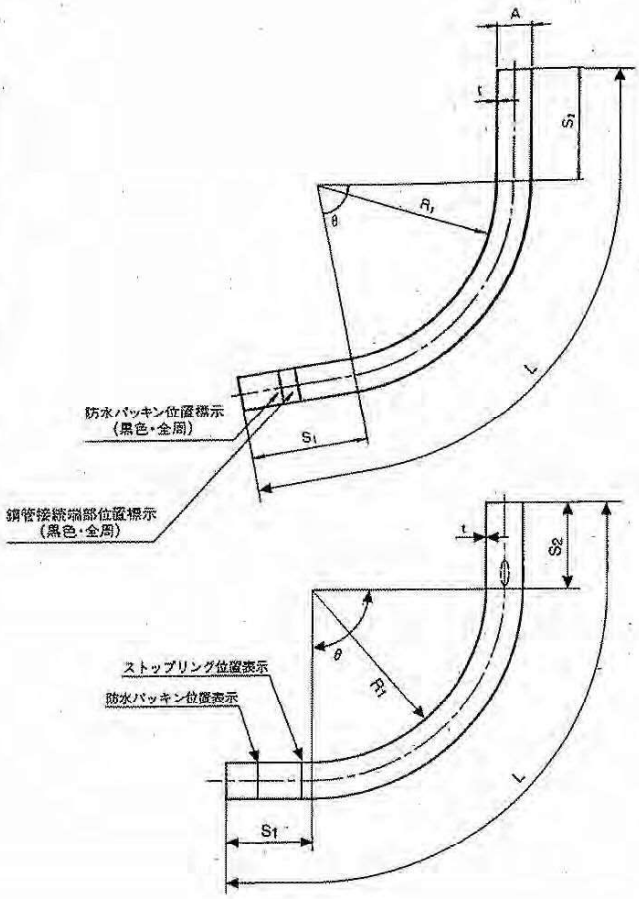
単位mm



管の呼び径	接続鋼管の外径	構造物取付部	伸縮部	防水パッキン移動部
	A	B	C	D
80	89.1	140	450	225
100	114.3	140	450	225
125	139.8	140	475	225

ケーブル保護ベンド管





寸法表

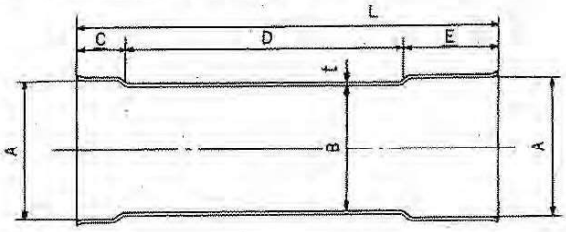
単位：mm

商品コード	寸法 管の呼び径	管の外径 A	直線部 S_1	直線部 S_2	曲げ半径 R_1	曲げ角度 θ°	管の厚さ t	有効長 L	メッキ付着量 g/m²	概算重量（メッキ含み）kg/m	規格仕様 関係電力
No.7 50730	80	89.1	300	300	600	90	2.3	1,612	600	5.2	関西
50737									550		CCBOX
50630	100	114.3	300	300	600	90	2.6	1,632	600	7.5	関西
No.6 50637			300	300	600				550		CCBOX
53380			500	500	800	90	3.3	2,346	600	8.6	受注生産扱い
50056	125	139.8	500	500	800	80	3.0	2,215	600	10.8	関西
50057									550		CCBOX
50058			300	500	500	90		1,695	600		受注生産扱い
50066			530	230	1,200			2,754	600		
56050	125	131.4	500	300	800	88	3.2	2,130	600	10.7	中部
特注	80	89.1	300	300	1,300	90	3.3	2,642	600	7.4	中国
53490	100	114.3	500	500				3,042		9.5	受注生産扱い
53690	150	165.2	800	800				3,642		13.9	
55030	100	114.3	250	250	1,200	90	3.3	1,385	600	7.4	四国
55040					1,300			2,542			受注生産扱い
55050					1,500			2,856			
55080	150	165.2	310	310	1,200			2,505		13.9	
55090					1,300			2,662			
55100					1,500			2,976			
53570	80	89.1	500	500	1,200	90	3	2,885	550	7.4	北陸
53560	100	114.3								8.6	受注生産扱い
53550	125	139.8								10.8	

（注）ベンド部については、ご要望に応じた半径（500R以上）、角度（θ）に加工いたします。

鋼管用継手

ケーブル保護鋼管用継手A



寸法表　　単位：mm

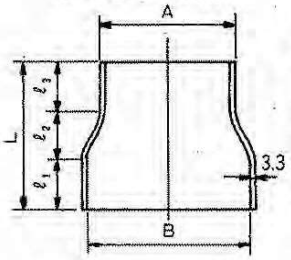
商品コード	寸法 / 管の呼び径	A	B	C	D	E	t	L	規格仕様 関係電力
50740	80	96.0	91.2	40	200	80	2.3	320	関　西 CCBOX
50640	100	123.4	116.4	50	250	100	2.6	400	関　西 CCBOX
50082	125	152.0	142.0	50	300	100	3.3	450	関　西 CCBOX

No.9

No.8

（注）継手には、各サイズに応じた防水パッキン、ストップリングが2組宛付属しています。（P30・31）
・配管用炭素鋼鋼管（SGP）とケーブル保護鋼管（KGP）の外径が同じですのでSGPとの接続も可能です。

ケーブル保護鋼管用継手B
（立上り管用）

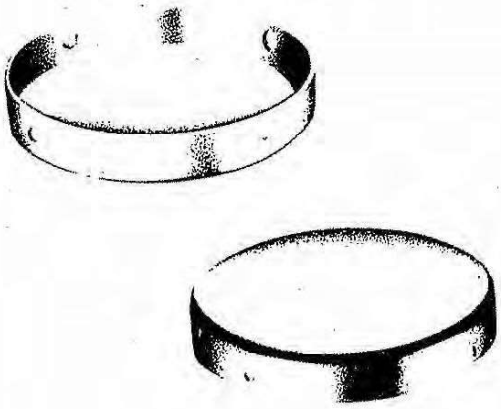


寸法表　　単位：mm

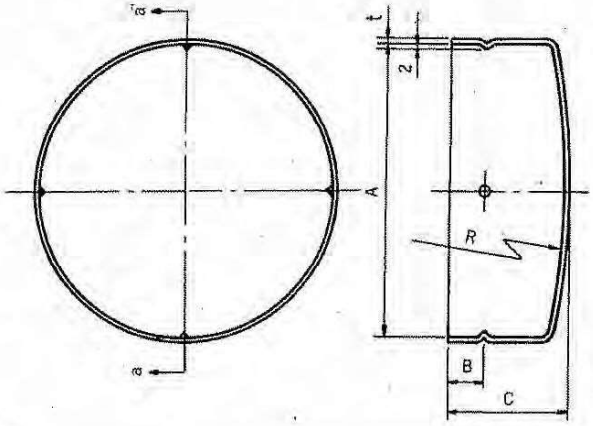
商品コード	寸法 / 管の呼び径	A	B	ℓ1	ℓ2	ℓ3	L	規格仕様 関係電力
50090	125－100	114.3	142	40	40	40	120	関　西

鋼管用キャップ

鉄製キャップ



a —a' 断面



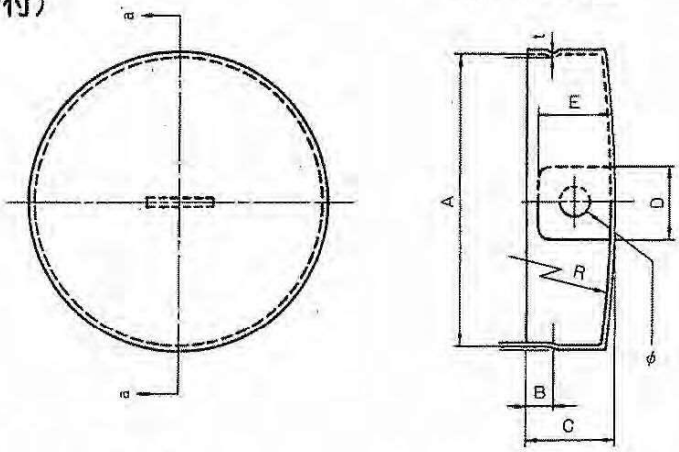
寸法表　　単位：mm

商品コード	寸法 / 管の呼び径	A	B	C	t	R	規格仕様 関係電力
56500	80	92	10	30	1.6	300	関　西
56520	100	118	15	50	1.6	300	
50120	125	142	10	30	1.6	300	関　西
53330	150	168	15	50	1.6	600	

No.15
No.14

鉄製キャップ（フック付）
（ケーブル引込用呼び線引留フック付）

a —a' 断面



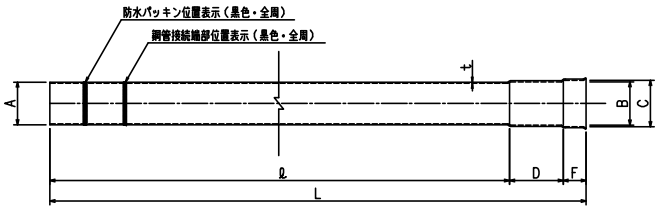
寸法表　　単位：mm

商品コード	寸法 / 管の呼び径	A	B	C	D	E	t	R	φ
56501	80	92	10	30	40	40	1.6	300	18
56521	100	118	15	50	40	40	1.6	500	18
56510	125	142	10	30	40	40	1.6	300	18
53331	150	168	15	50	40	40	1.6	600	18

管路材構造図（１）

（電力用亜鉛メッキ鋼管）

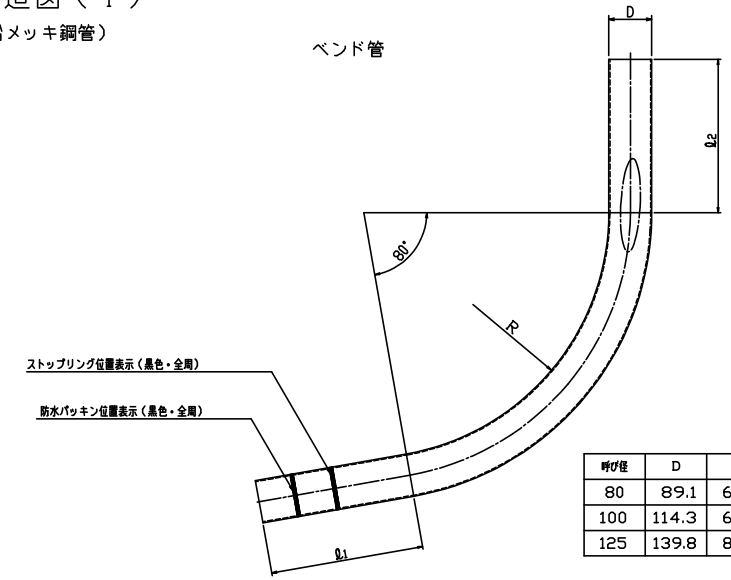
直　管



単位：mm

寸法 / 呼び径	管の外径	接合部				管の厚さ	有効長	全長	めっき付着量
	A	B	C	D	E	t	ℓ	L	g/m²
80	89.1	91.2	96.0	150	75	3.0	3500	3725	600
100	114.3	116.4	123.4	150	75			3700	550
125	139.8	142.0	152.0	175	75			3750	600

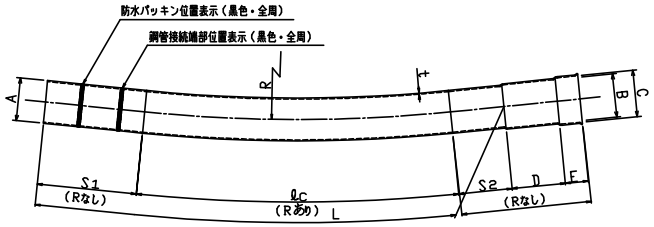
ベンド管



単位：mm

呼び径	D	R	ℓ1	ℓ2
80	89.1	600	300	300
100	114.3	600	300	300
125	139.8	800	500	500

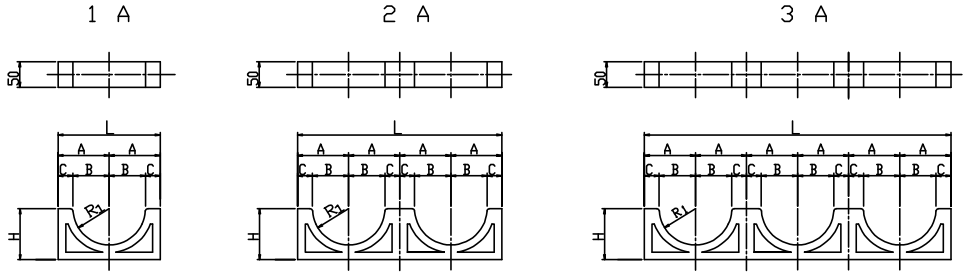
曲　管



単位：mm

寸法 / 呼び径	管の外径	接合部				直線部		管の厚さ	曲げ半径	有効長
	A	B	C	D	E	S1	S2	t	R	L
80	89.1	91.2	96.0	150	75	325	175	3.0	5000	1500
100	114.3	116.4	123.4	150	75					
125	139.8	142.0	152.0	175	75					

管　枕

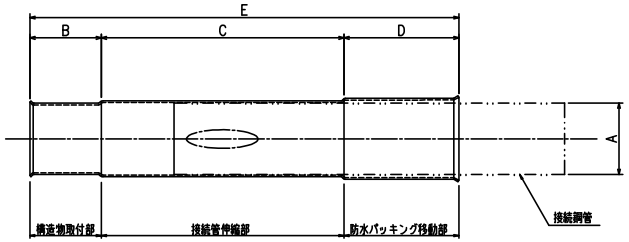


単位：mm

管の呼び径・型別 / 寸法		A	B	C	H	L	R_1
125	1 A	95	71	24	85	190	71
	2 A	95	71	24	85	380	71
	3 A	95	71	24	85	570	71

※　管枕の設置間隔は、管路１本当り２ヶ所設置を標準とする。

伸縮性取付管（ダクトスリーブ）



単位：mm

寸法 / 呼び径	接続鋼管	構造物取付部	接合鋼管伸縮部	防水パッキング移動部	全長
	A	B	C	D	E
80	89.1	140	450	225	815
100	114.3	140	450	225	815
125	139.8	140	475	225	840

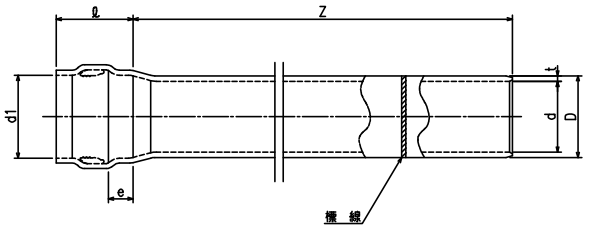
※　当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年　度	平成　年度	番　号	30/53
路線名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工事名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	管路材構造図(1)		
縮　尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

管路材構造図（２）

（電力用合成樹脂管）

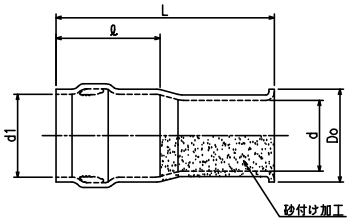
直　管



単位：mm

呼び径	D	d	d1	t	ℓ	e	Z
75	89.0	77	90.2	5.9	125	61	5000
100	114.0	100	115.5	7.1	135	64	
125	142.5	125	144.2	8.5	140	67	

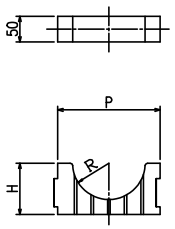
ダクトスリーブ



単位：mm

呼び径	d1	d	Do	ℓ	Z
75	90.2	77	100	260	450
100	115.5	100	130	280	
125	142.5	125	165	295	

管　枕

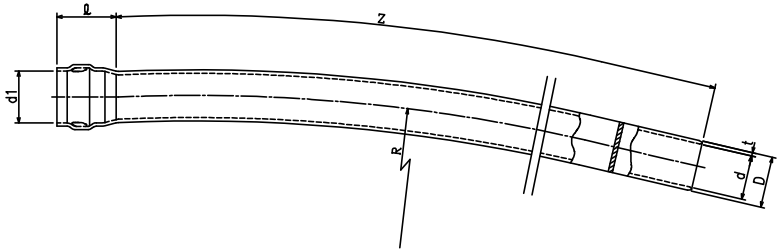


単位：mm

呼び径	形状	R	P	H
100	1A	71.5	185	92.5
125	1A	71.5	185	92.5

※　管枕の設置間隔は、管路１本当り２ヶ所設置を標準とする。

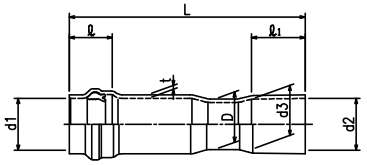
曲　管



単位：mm

呼び径	D	d	d1	t	ℓ	e	Z	R
75	89.0	77	90.2	5.9	125	61	1000	5000 10000
100	114.0	100	115.5	7.1	135	64		
125	142.5	125	144.2	8.5	140	67		

異種管継手



単位：mm

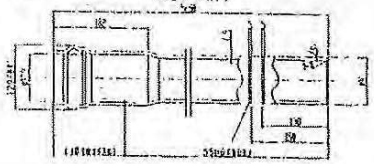
呼び径	L	ℓ	ℓ1	D	d1	d2	d3	t
75	400	120	150	89.0	90.2	91.3	89.3	5.9
100	655	130	210	114.0	115.5	117.7	113.5	7.1
125	655	135	210	142.5	144.2	142.4	138.2	8.5

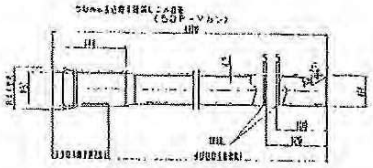
※　当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

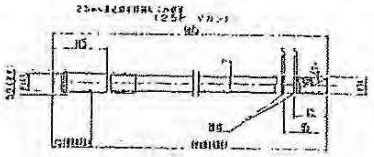
年　度	平成　　年度	番　号	31/53
路 線 名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工 事 名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	管路材構造図(2)		
縮　尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

PV管 構造図-2

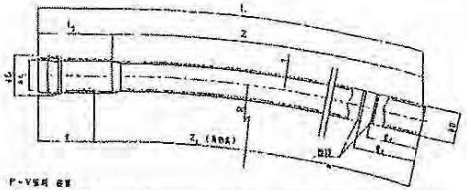
直管







曲管

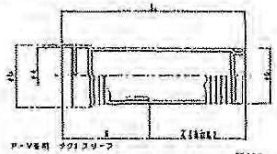


P-V管用 曲管

呼び径	D	G	d	L	L1	Z	Z	t	t	t1	t1	R
50	60	84	61.0	1110	144	966	1000	4.5	110	120	100	5000
75	96	129	97.3	1140	182	956		6.5	140	150	130	10000

※5mR設置の場合、4号マントレルを通常テスト(指定)は、適用しません。

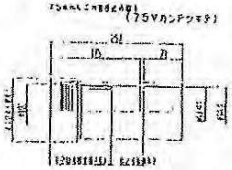
ダクトスリーブ

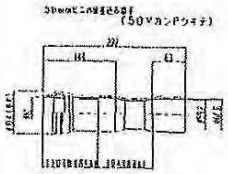


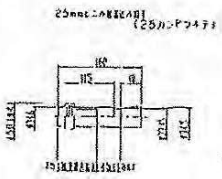
P-V管用 ダクトスリーブ

呼び径	φD1	φD2	φd1	L	Z	t
25	48	52	40.0	258	118	113
50	76	83	65.3	325	160	140
75	110	124	112.0	360	190	170

V管P継手





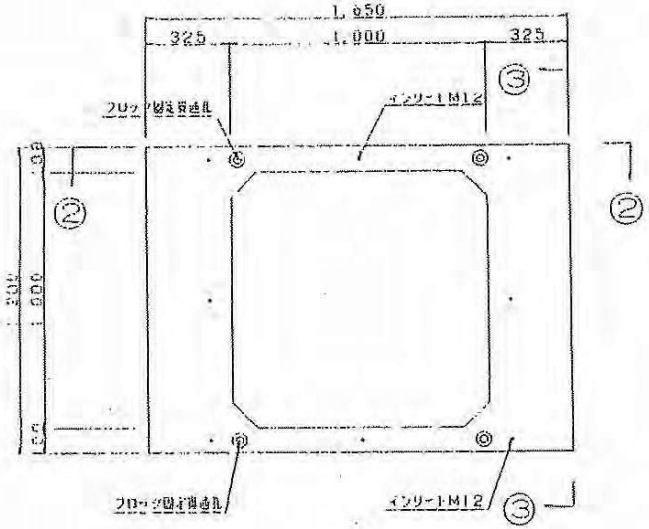


平成 14 年度	図面番号	18/24	
事業名			
建設省	一般国道 308号		
工事名	地線共同溝整備工事（第2工区）		
施工場名	東大阪市長田東2丁目		
図面名	平成	図面番号	第 —

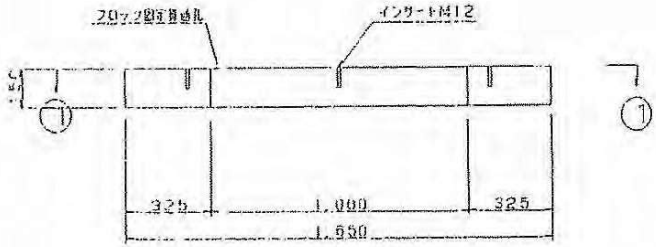
機器据付用ブロック(I-100)構造図 S=1/10

平面図

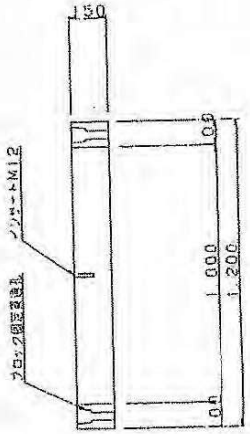
①-①



②-②

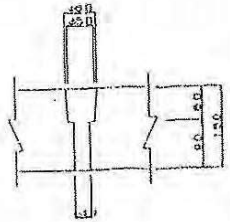


③-③



ブロック固定貫通孔詳細図

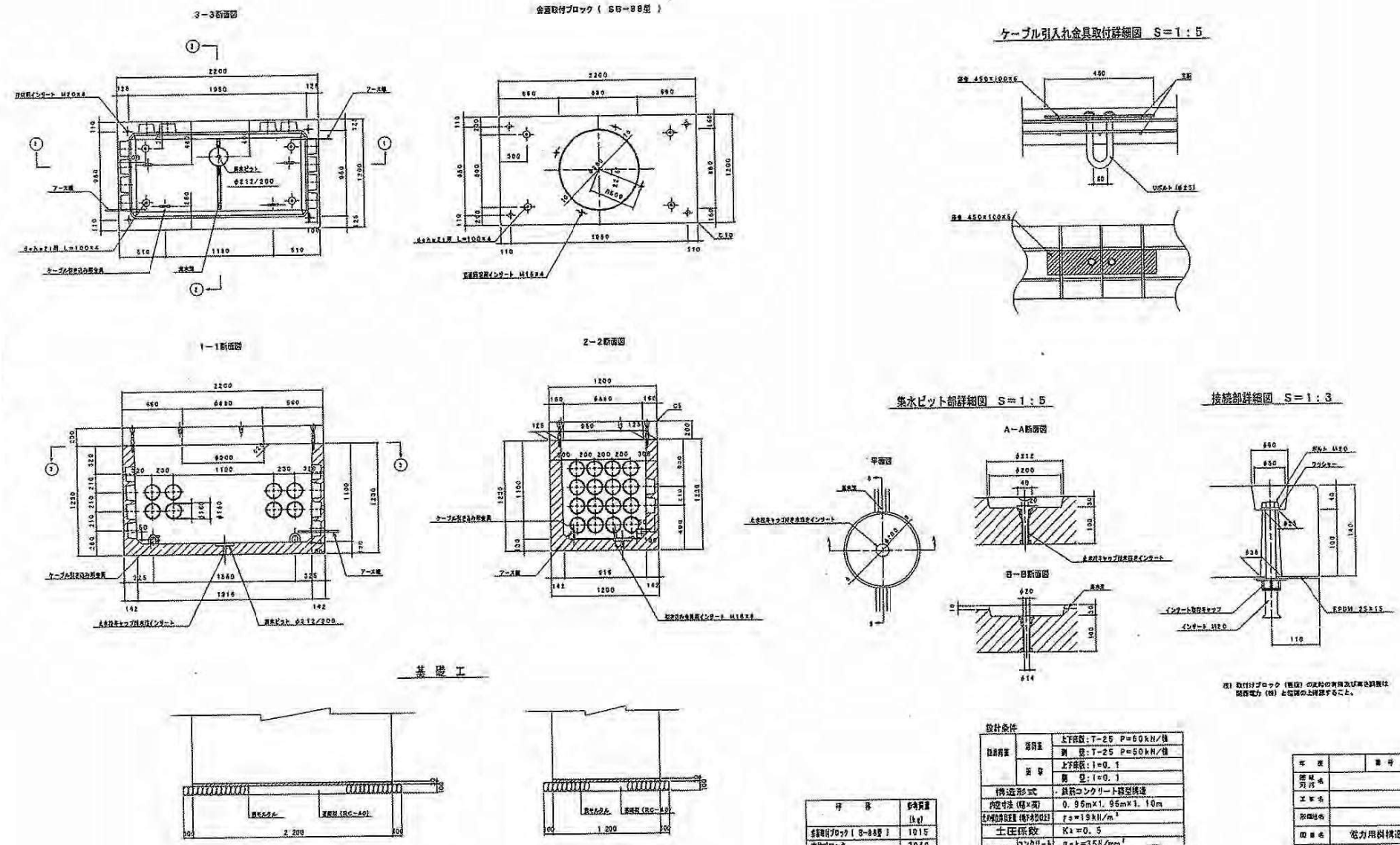
S=1/5



平成 14 年度		図面番号	10/24
事業名			
路線名	一般国道 308号		
工事名	電線共同溝整備工事（第2工区）		
施工地名	東大阪市長田東2丁目		
図面名	機器据付ブロック I-100 構造図	縮尺	S=1/10

電力用桝構造図（1）　S＝1：20

（プレハブ基礎2型　950×1950×1100）



呼　　称	参考質量 (kg)
金蓋取付ブロック（ B－88型 ）	1015
本体ブロック	3040
合　　計	4055

設計条件

設計荷重	活荷重	上下床板：T－25　P＝50kN/枚
		側　壁：T－25　P＝50kN/枚
	振　動	上下床板：I＝0．1
		側　壁：I＝0．1
構造形式		鉄筋コンクリート箱型構造
内空寸法（幅×高）		0．95m×1．95m×1．10m
土の単位体積重量（地下水位以上）		γs＝19kN/m³
土圧係数		Ka＝0．5
使用材料	コンクリート	σck＝35N/mm²
	鉄　筋	SD295A

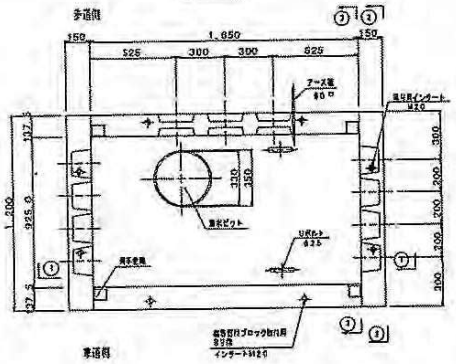
年　度		番　号	11／30
地域・河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	電力用桝構造図（1）		
縮　尺	図示	作成年月	平成　年　月

添交②

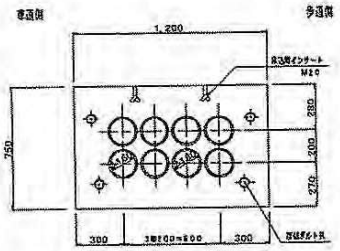
電力用桝構造図（1）　S＝1：15

（プレハブ基礎1型　900×1650×550）

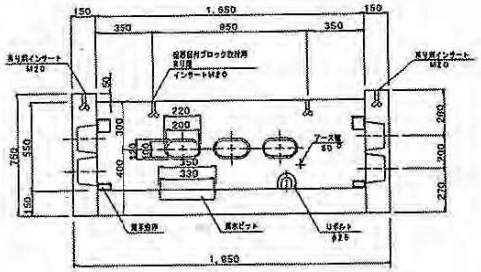
平面図



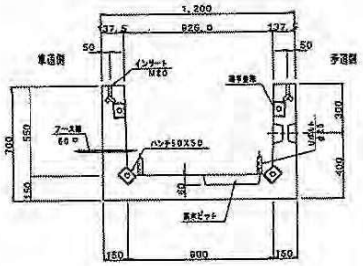
②－② 断面図



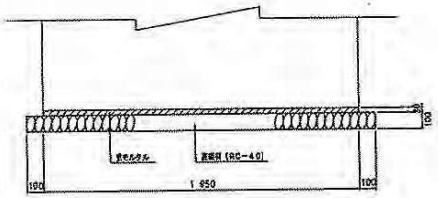
①－① 断面図

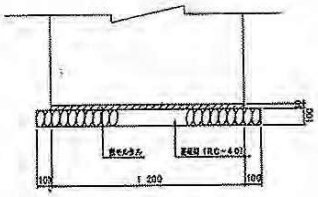


③－③ 断面図



基礎工





設計条件		
活荷重		245kN (P=50kN)
衝撃係数		i=0.1
土圧係数		k=0.308
土被り		0.25m
構造		鉄筋コンクリートU形構造
(許容応力度)		
コンクリート	設計基準強度	σck= 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca= 11N/mm²
	剪断応力度	τa = 0.5N/mm²
鉄筋	引張応力度	σsa=160N/mm²

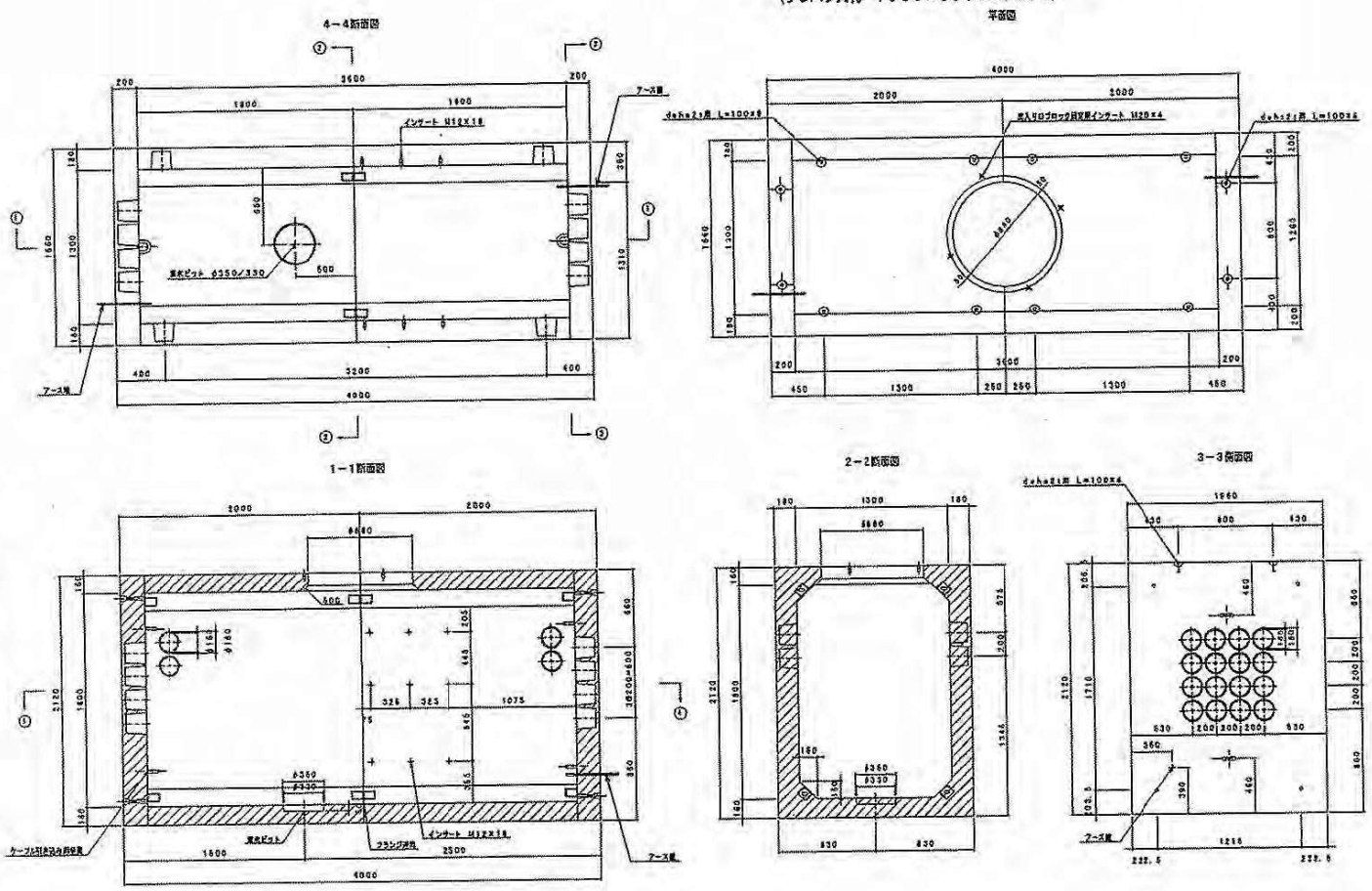
注）取付けブロック（基礎）の式枠の有無及び高さ図表は関西電力（株）と協議の上相談すること。

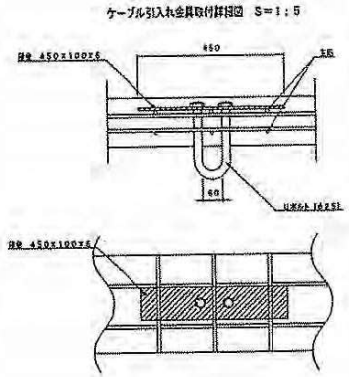
年度		番号	14／31
施設別名			
工事名			
所属地名			
図面名	電力用桝構造図（1）		
縮尺	図示	作成年月	平成　年　月

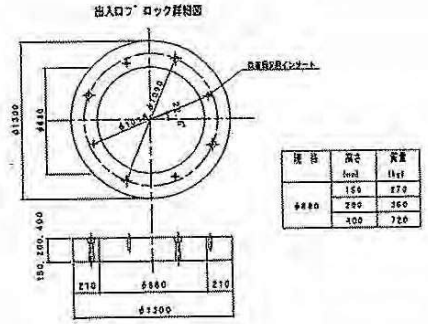
添交③

電力用桝構造図（3）　S＝1：20

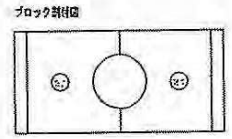
（プレハブ入孔　1300×3600×1800）







規格	高さ (mm)	質量 (kg)
φ880	150	270
	200	360
	400	720

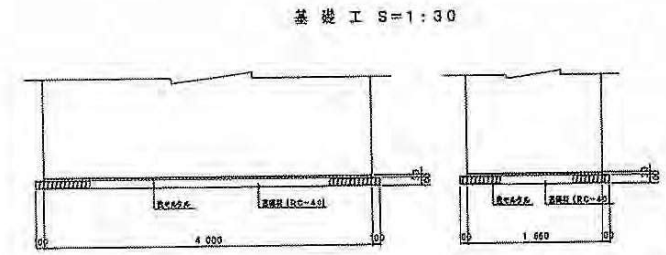


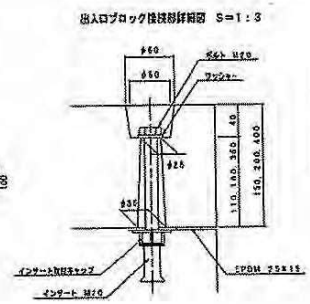
ブロック構成表

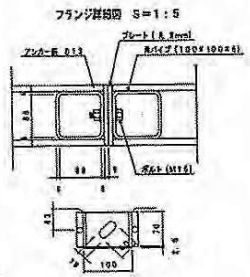
呼称	質量 (kg)	数量 (個)
B1ブロック	5335	1
B2ブロック	5310	1
端面板	1605	2
合計	13855	

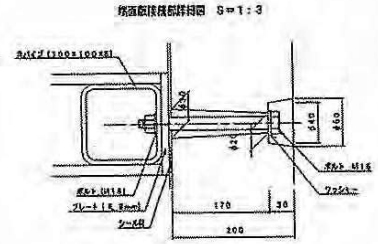
設計条件

設計荷重	活荷重	上下床板：T－25　P＝100kN/㎡
		側　型：T－25　P＝ 50kN/㎡
	衝撃	上下床板：i＝0.4
		側　型：i＝0.4
最小土被り		0.4m
構造形式		鉄筋コンクリート箱型構造
内空寸法（幅×高）		1.30m×3.60m×1.8m
土の単位体積重量（地下水位以上）		γ_s＝19kN/m³
使用材料	コンクリート	σ_{ck}＝35N/mm²
	鉄筋	SD295A









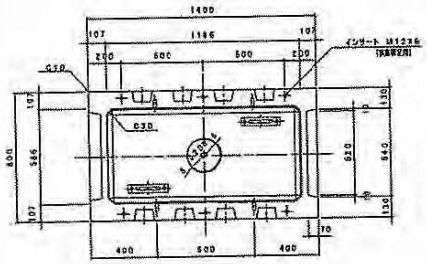
年度		番号	16／30
開始月日			
工事名			
所属名			
図面名	電力用桝構造図（3）		
縮尺	図番	作成年月	平成　年　月

決定④

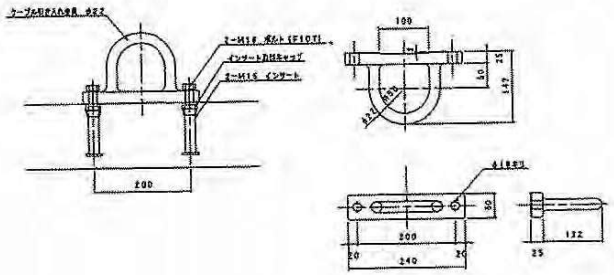
電力用桝構造図（2）　S＝1：15

（分岐桝　600×1200×550）

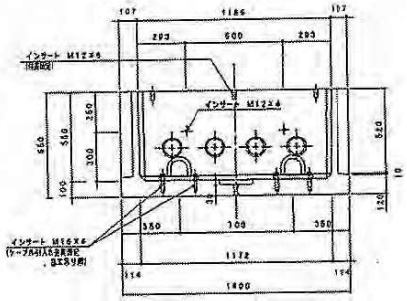
平面図



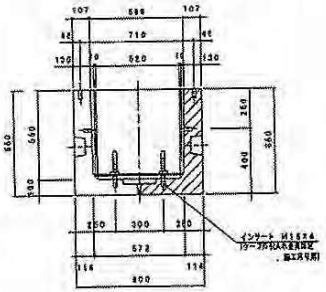
ケーブル引入れ金具取付詳細図　S＝1：5



側面図

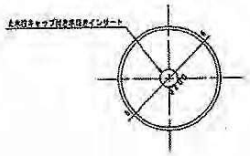


正面図

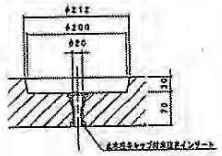


集水ピット部詳細図　S＝1：5

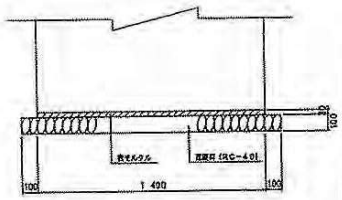
平面図

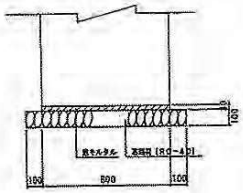


断面図



基礎工





単位	参考質量 (kg)
本体ブロック	790

設計条件

設計荷重	活荷重	上下床版：T-25　P=50kN/枚
		側　型：T-25　P=50kN/枚
	衝撃	上下床版：i=0.1
		側　型：i=0.0
構造形式		鉄筋コンクリートU型構造
内空寸法（幅×長×高）		0.60m×1.20m×0.55m
土の単位体積重量（地下水位以上）		γ_s=19kN/m^3
土圧係数		K_a=0.308
使用材料	コンクリート	σ_{ck}=35N/mm^2
	鉄　筋	SD295A

注）取付けブロック（基礎）の支柱の有無及び高さ詳細は関西電力（株）と協議の上確認すること。

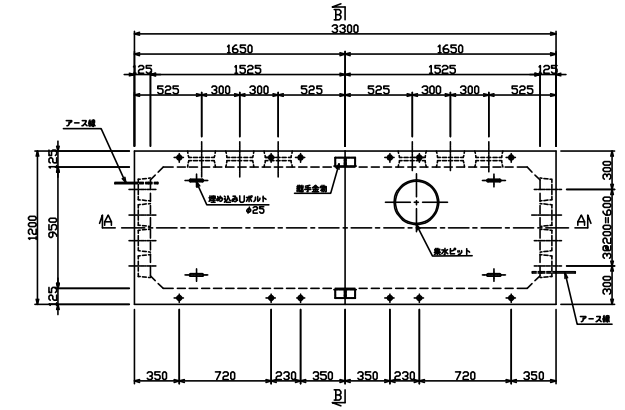
年度		番号	15／30
部局別名			
工事名			
所属地名			
図面名	電力用桝構造図（2）		
縮尺	図表	作成年月	現在年月
大阪府茨木土木事務所			

茨支 5

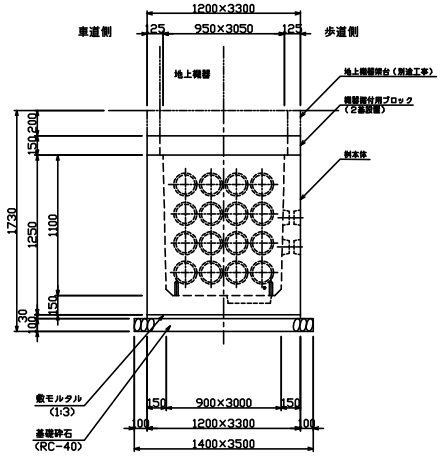
E 1 桝 構 造 図 S=1:20

（950×3050×1100 機器桝）

平 面 図

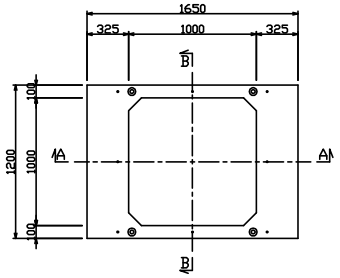


設 置 断 面 図

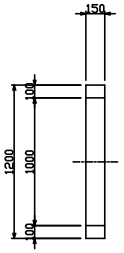


機 器 据 付 用 ブ ロ ッ ク

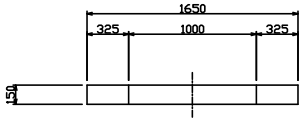
平 面 図



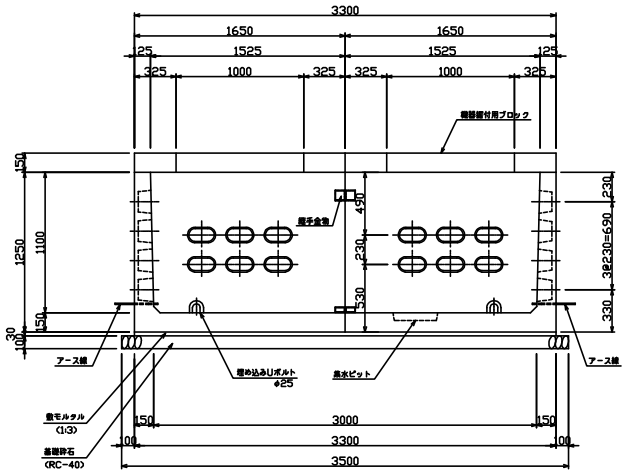
B － B 断 面 図



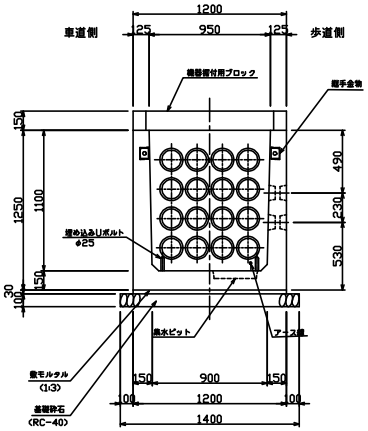
A － A 断 面 図



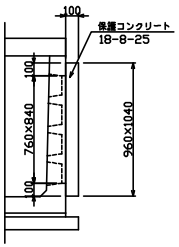
A － A 断 面 図



B － B 断 面 図



保護コンクリート



設計条件

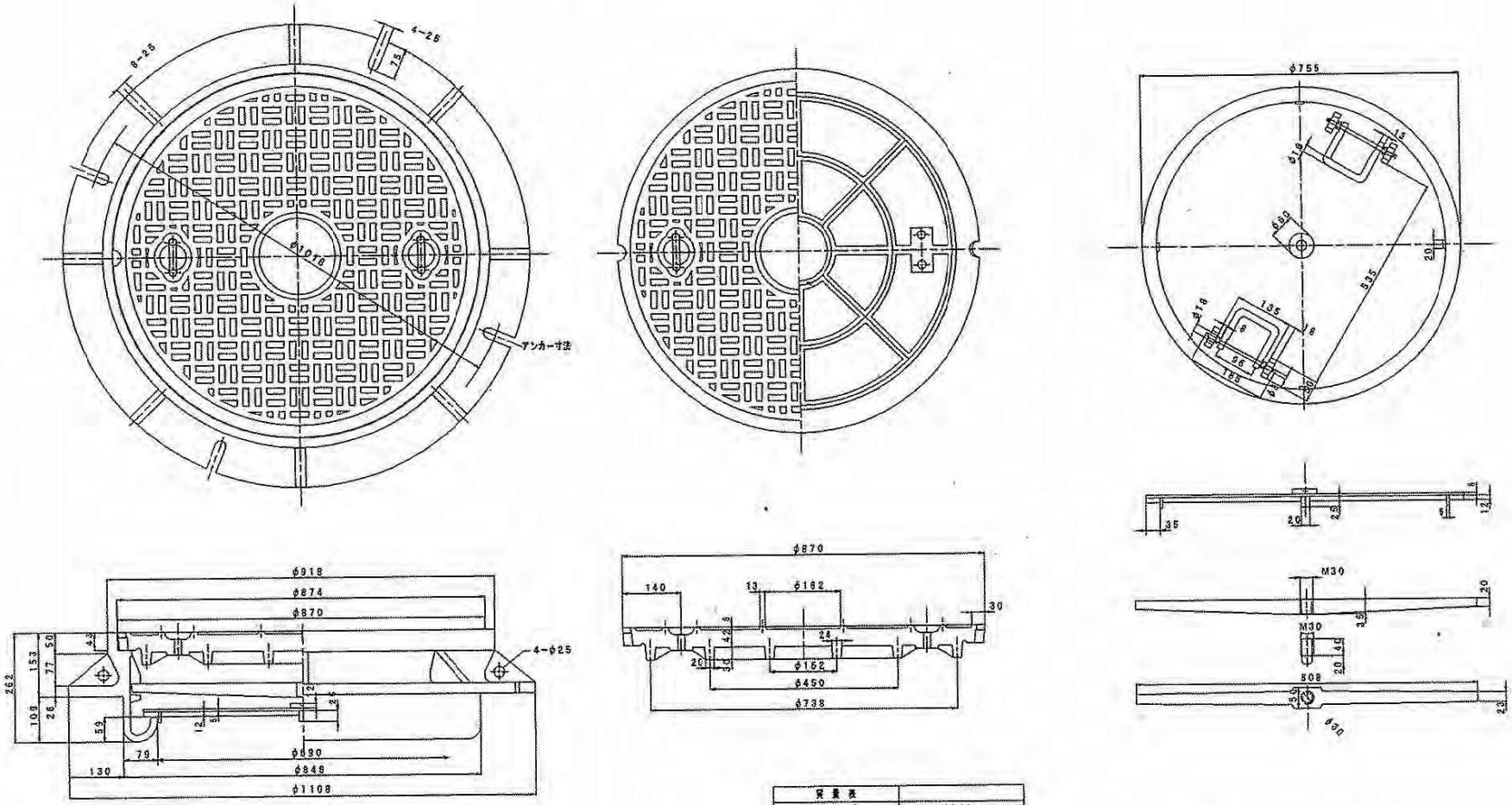
施 設 荷 重		245kN (P=50kN)
衝 撃 係 数		歩道 i = 0.1
構 造 形 式		側溝コンクリートU形構造
内 空 寸 法		950W × 3050L × 1100H
土 被 り		0.30m
土 圧 係 数		k = 0.308
（ 許 容 応 力 度 ）		
コンクリート	設計基準強度	σck = 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca = 11N/mm²
	せん断応力度	τa = 0.5N/mm²
鉄 筋	引張応力度	σsa = 180N/mm²

※ 特記事項

1． 桝本体のアース線2ヶ所に、A種及びB種接地に対応する接地棒をGL−75cmの深さ以上に設置すること。（10Ω以下）

年 度	平成 年度	番 号	34/53
路 線 名	都市計画道路 枚方大和高田線 外		
工 事 名			
所属地名	枚方市 茄子作東町 外		
図面種別	E1桝構造図		
縮 尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

電力用桝蓋構造図　S＝1：5
（歩道・車道部兼用）



質量表	
上　蓋	220kg
下枠（付属品含む）	260kg

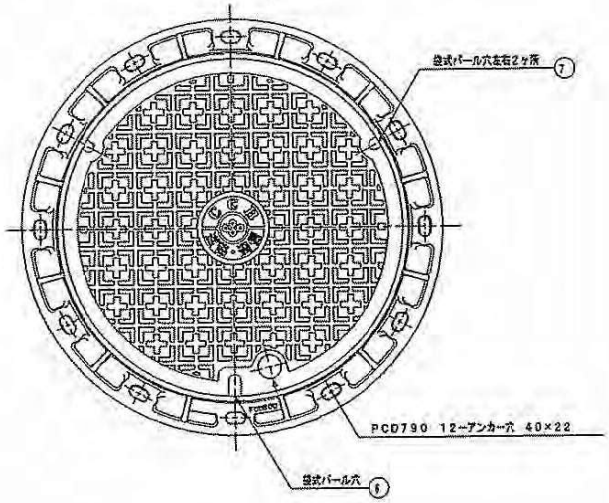
設計条件表

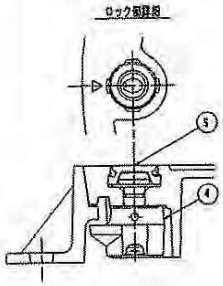
設計荷重	活荷重	245kN（25tf） 輪荷重98kN（10tf）
	衝撃	I＝0.4
	支間	L＝820mm
構造形式		鋼板製鉄蓋（FC）

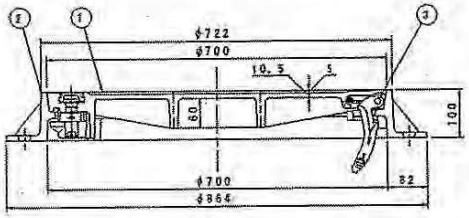
年度		番号	11／30
部署 河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	電力用桝蓋構造図		
縮尺	図示	作成年月	平成　年　月

渋支 ⑦

道路及び通信用桝蓋構造図　S＝1：5
（車道部）







記事　適　用：車道用 T−25
　　鋳荷重：98kN（10tf）
　　衝撃係数：0.4
　　破壊荷重：700kN以上

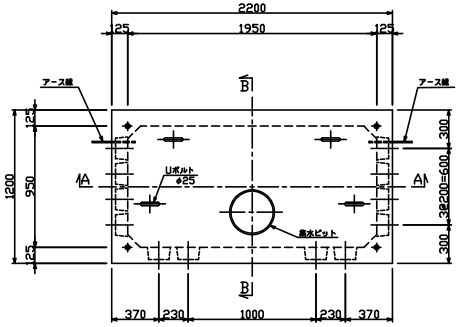
品番	部品名称	材質	個数	備考
7	ゴムキャップ	CR	2	CP2
6	ゴムキャップ	CR	1	CP1
5	ゴムキャップ	CR	1	R−1
4	ロック金具	FCD600 SUS304	1	O−86
3	蝶番金物	FCD600	1	B7
2	受枠	FCD600	1	
1	蓋	FCD700	1	

年度		番号	20／30
所属名			
工事名			
所属地名			
図面名	道路及び通信用桝蓋構造図		
縮尺	図形	作成年月	平成　年　月

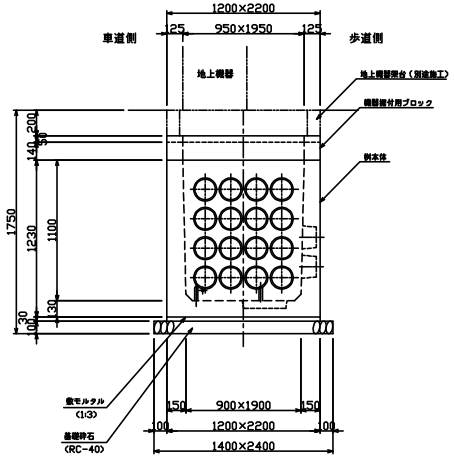
E 2 桝 構 造 図 S=1:20

（950×1950×1100 機器桝）

平 面 図

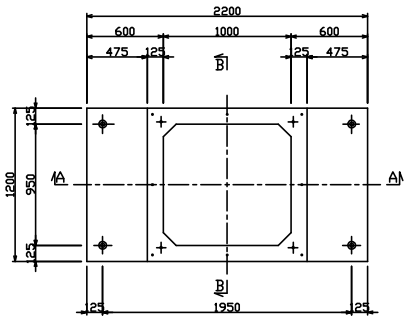


設 置 断 面 図

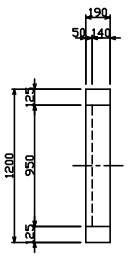


機 器 据 付 用 ブ ロ ッ ク

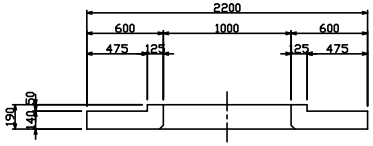
平 面 図



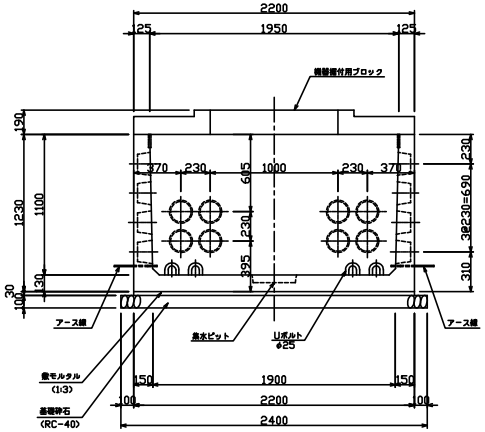
B － B 断 面 図



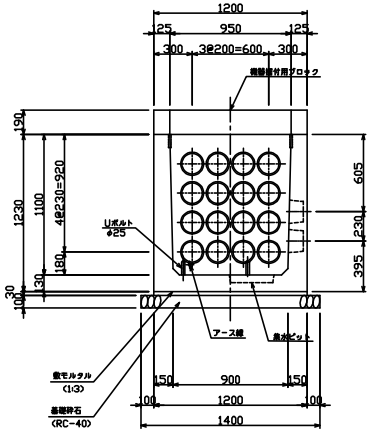
A － A 断 面 図



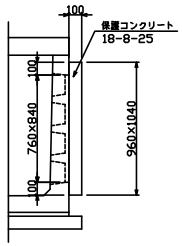
A － A 断 面 図



B － B 断 面 図



保護コンクリート



設計条件

活荷重		245kN (P=50kN)
衝撃係数		歩道 i = 0.1
構造形式		鉄筋コンクリート箱型構造
内空寸法		950W × 1950L × 1100H
土被り		0.34m
土圧係数		k = 0.5
（許容応力度）		
コンクリート	設計基準強度	σck = 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca = 11N/mm²
	せん断応力度	τa = 0.5N/mm²
鉄筋	引張応力度	σsa = 180N/mm²

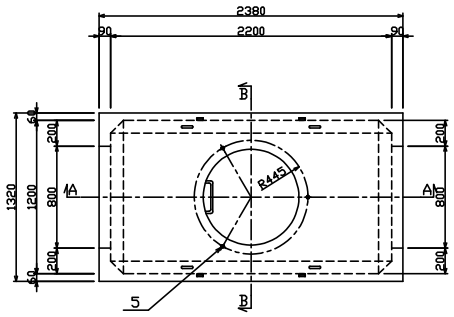
※ 特記事項

1. 桝本体のアース線2ヶ所に、A種及びB種接地に対応する接地棒をGL−75cmの深さ以上に設置すること。（10Ω以下）

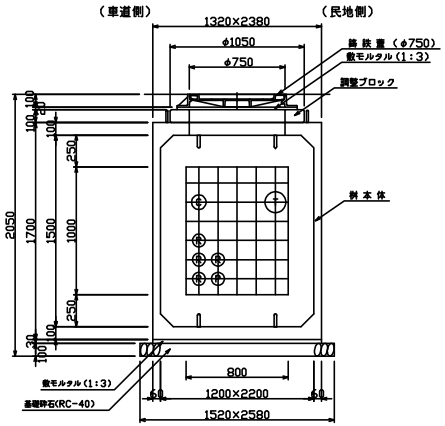
年度	平成 年度	番号	35/53
路線名	都市計画道路 枚方大和高田線 外		
工事名			
所属地名	枚方市 茄子作東町 外		
図面種別	E2桝構造図		
縮尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

RT 桝 構 造 図 S=1:20
（1200×2200×1500　歩道用）

平 面 図

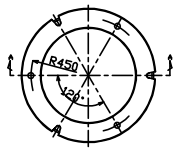


設 置 断 面 図

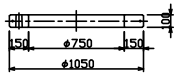


調 整 ブ ロ ッ ク

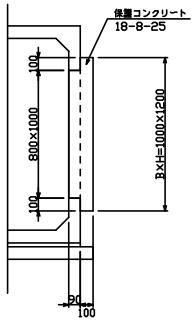
平 面 図



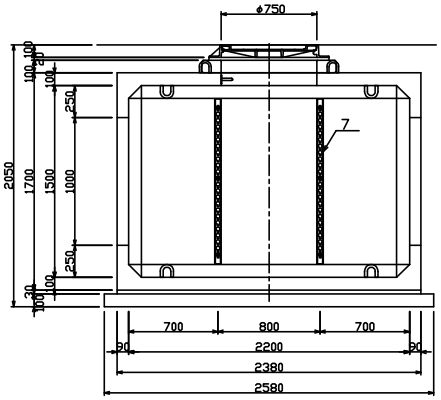
A−A　断面図



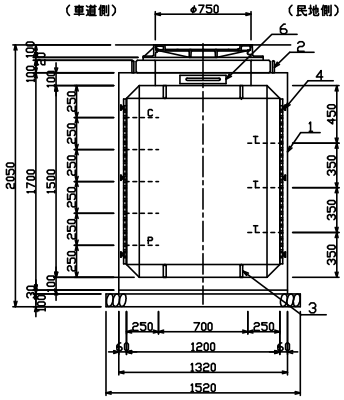
保護コンクリート



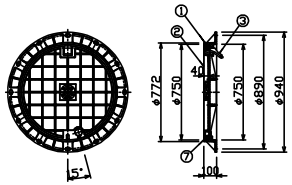
A − A 断 面 図



B − B 断 面 図



化 粧 鋳 鉄 蓋 構 造 図
（φ750　歩道用）



鉄蓋マーク

鋳鉄蓋条件	
規　格	T-25（舗装用）
総 荷 重	1輪 97(49KN)
衝 撃 係 数	i=0.1
活 荷 重	53.9KN
設 計 荷 重	1.3m

重量表		
蓋鋳物部（本体部）		47.2kg
(有)鋳物枠部（本体部、B）		35kg
鋳物部材（鋳物枠部）	合計	82.2kg
受枠部品（1組分）		45kg
総重量	鋳物部	92.2kg
	鋳物枠部 合計	127.2kg

部番	品　名	個数	重量	材質	備考
1	蓋枠	1	45	FCD600-3	
2	蓋	1	45.5	FCD700-2	
3	蝶番金具	1	0.7	FCD450-10	
4	蝶番フック	1	1.0	FCD450-10	
5	蝶番ピン	1		SC513	
6	ゴムキャップ	1		CR	
7	ゴムキャップ	1		CR	

設計条件

設計荷重	活荷重	1輪　50kN
	衝　撃	i = 0.1
構造形式		工場製品　レジンコンクリート箱型構造
内空寸法		1200W × 2200L × 1500H
土の単位重量		γs = 19kN/m³
土圧係数		Ka≦0.5
使用材料	レジンコンクリート	設計基準曲げ強度 σbk = 18.0MPa

符号	名　称	数量	規　格	備考
①	本　体	1	レジンコンクリート	
②	吊下げフック	4	レジンコンクリート	φ16
③	プーリングボルト	8	SS400亜鉛メッキ	φ22
④	筋金物取付用インサート	12	SUS304	M12
⑤	鉄蓋用 インサート	3	SUS304	M16
⑥	脱着式ステップ	1	SS400亜鉛メッキ	φ16
⑦	筋金物（L=1290）	4	SS400亜鉛メッキ	

参考質量：3200kg

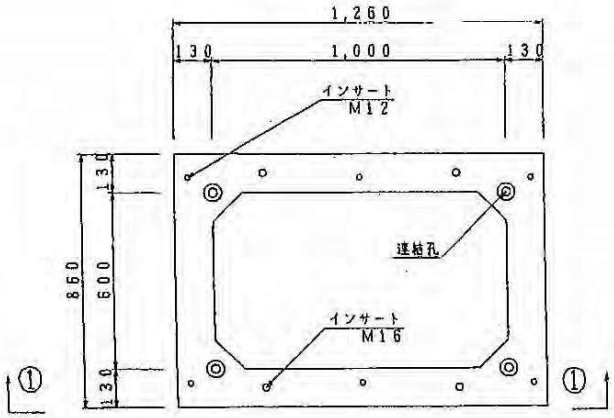
年　度	平成　年度	番　号	36/53
路線名	都市計画道路　枚方大和高田線　外		
工事名			
所属地名	枚方市　茄子作東町　外		
図面種別	RT桝構造図		
縮　尺	1:20	作成年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所			

③

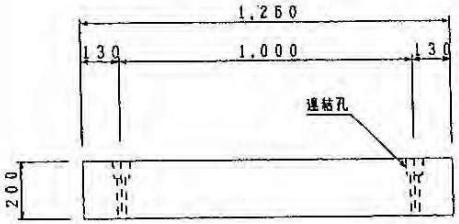
5 － 15

機器据付けブロックS－100
（H＝200）

平　面　図



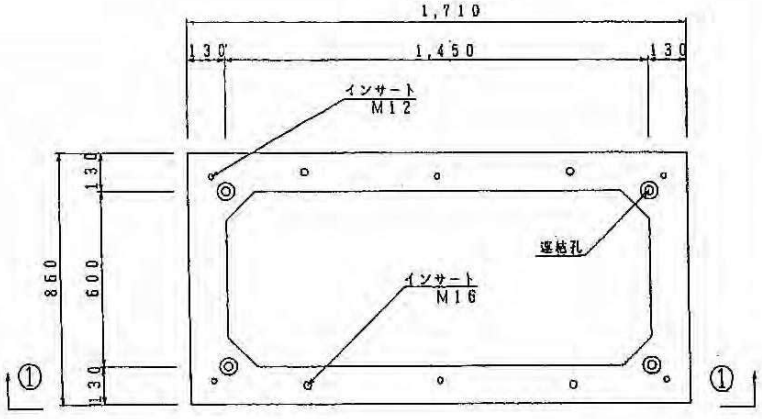
正面図 ①－①



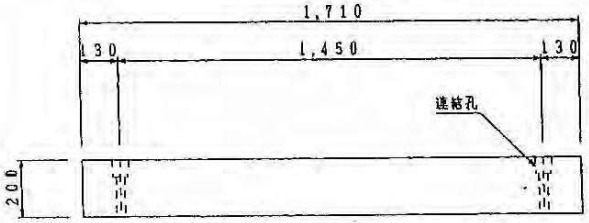
5 － 16

機器据付けブロックS－145
（H＝200）

平　面　図



正面図 ①－①



株式会社 日本ネットワークサポート

5 － 15' 5 － 16

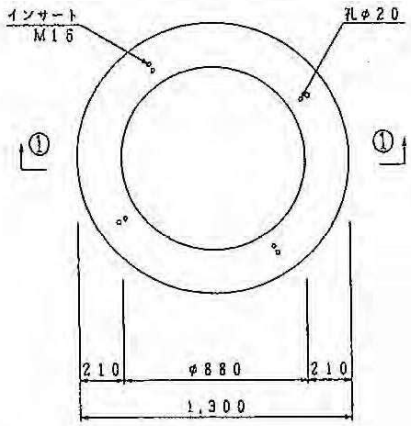
④

首座ブロック（配電用）

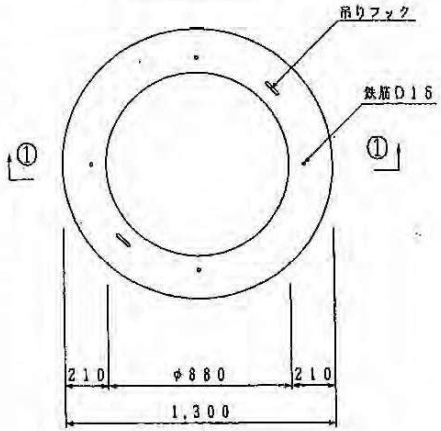
8 － 16
（H＝２００用）

8 － 17 8 － 18 8 － 19
（H＝４００，６００，８００用）

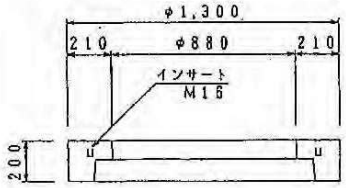
平 面 図



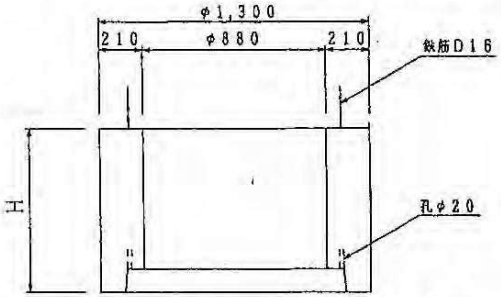
平 面 図



断面図 ①－①



断面図 ①－①



＊但し、H＝４００，６００，８００

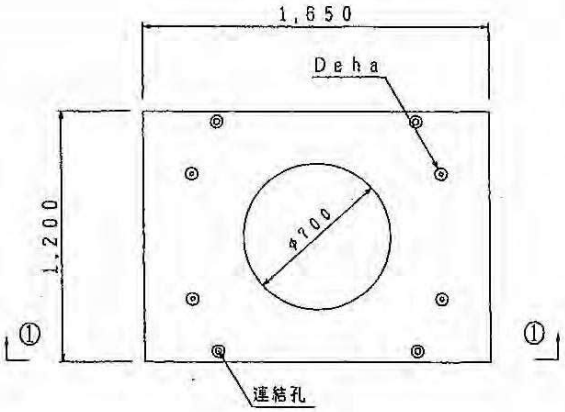
株式会社 日本ネットワークサポート

8 － 16 ～ 8 － 19

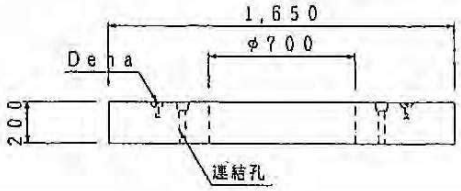
金蓋取付用ブロックⅠ－１００(φ700)構造図

1 － 23

平　面　図



正面図　①－①

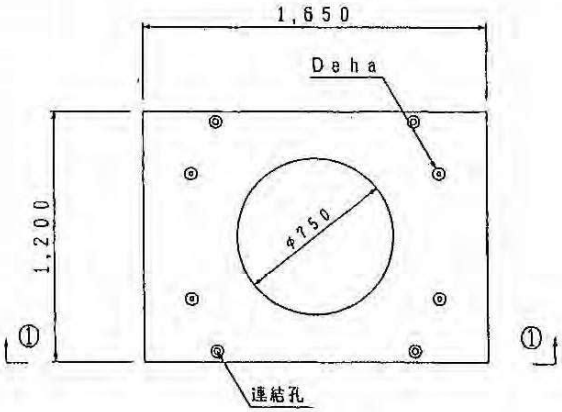


⑤

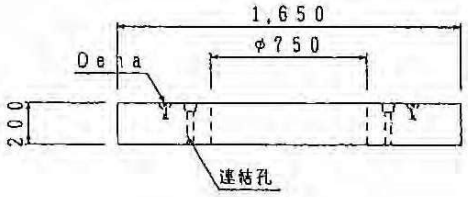
金蓋取付用ブロックⅠ－１００(φ750)構造図

1 － 24

平　面　図



正面図　①－①



株式会社　日本ネットワークサポート

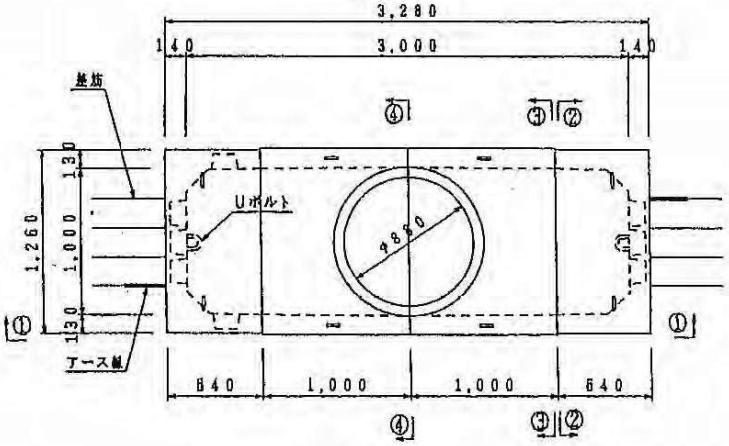
⑥

プレハブ人孔A5型構造図

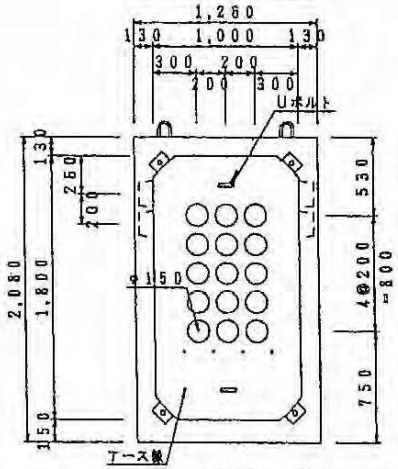
1.0X1.8X3.0m

設計条件		
活荷重		245kN(P=50kN)
衝撃係数		車道:i=1.1,歩道:i=1.1
土圧係数		k=0.5
土被り		0.4m~2.0m
構造		鉄筋コンクリート箱形構造
(許容応力度)		
コンクリート	設計基準強度	σck=30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca=11N/mm²
	剪断応力度	τa=0.5N/mm²
鉄筋	引張応力度	σsa=180N/mm²

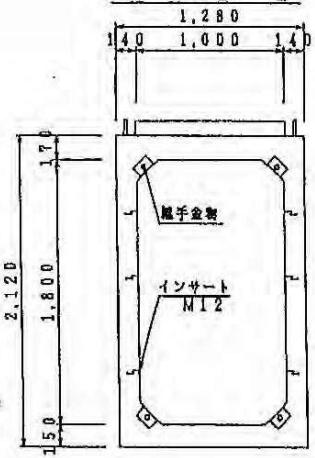
平面図



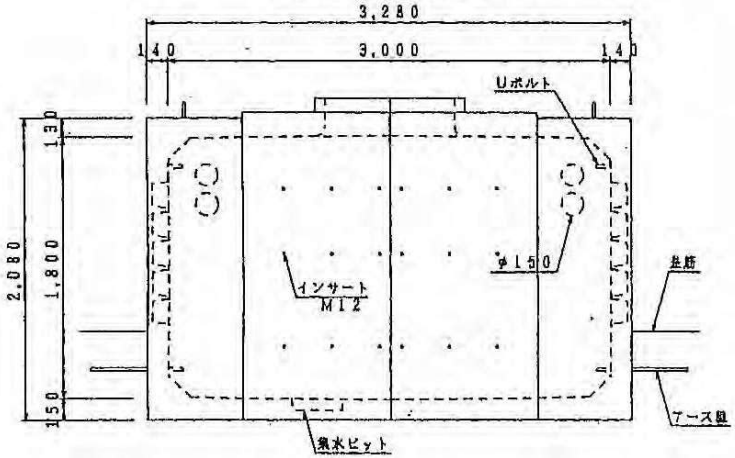
断面②-②



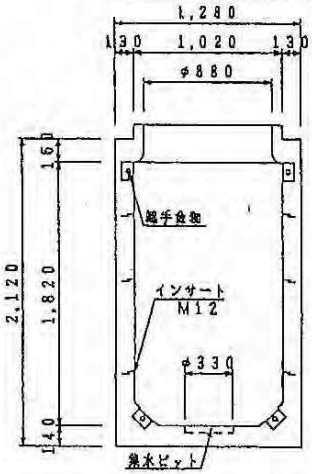
断面③-③



側面図 ①-①



断面④-④



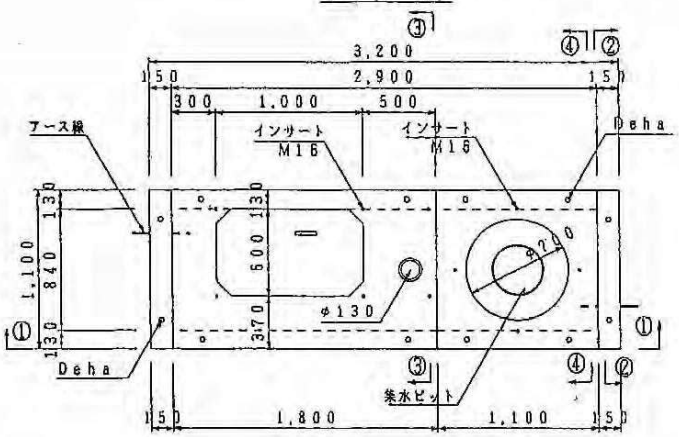
株式会社 日本ネットワークサポート

⑦

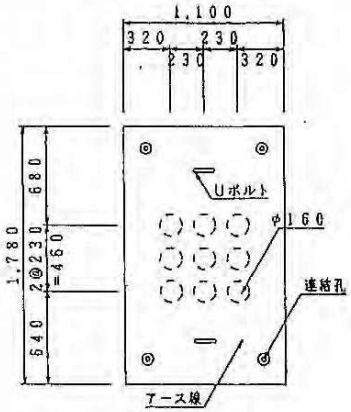
プレハブ基礎S1型

設計条件		
活荷重		245kN(P=50kN)
衝撃係数		歩道：i=0.1
土圧係数		k=0.5
土被り		0.30m
構造		鉄筋コンクリート箱形構造
(許容応力度)		
コンクリート	設計基準強度	σck=30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca=11N/mm²
	剪断応力度	τa=0.5N/mm²
鉄筋	引張応力度	σsa=180N/mm²

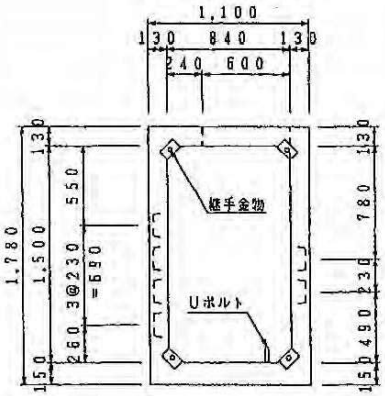
平面図



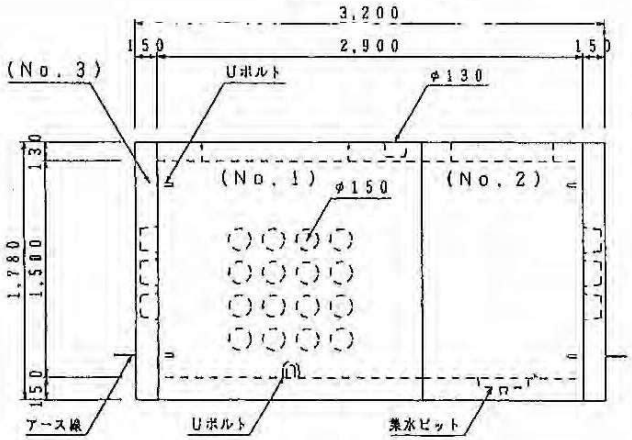
断面②－②



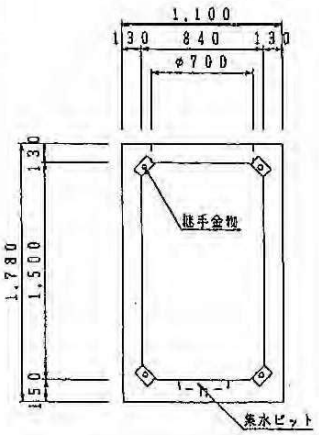
断面③－③



正面図 ①－①



断面④－④



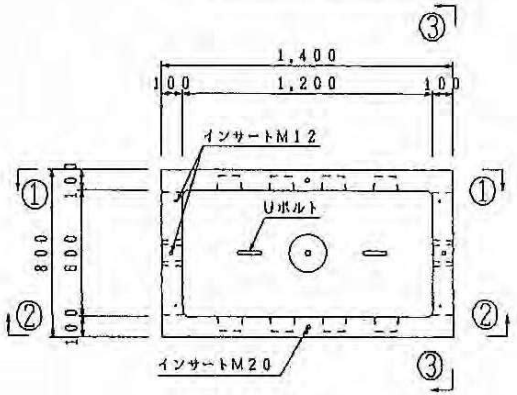
株式会社 日本ネットワークサポート

⑧

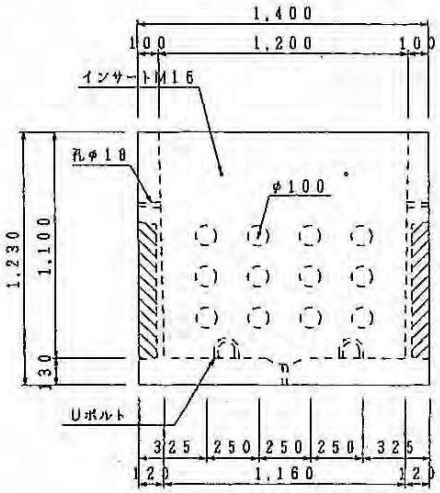
通信用ハンドホール（Type１４）構造図

設計条件		
活荷重		245N(P=50kN)
衝撃係数		車道：i=0.4
土圧係数		k=0.308
土被り		0.15m
構造		鉄筋コンクリート箱型構造
（許容応力度）		
コンクリート	設計基準強度	σck=30N/mm2
	曲げ圧縮応力度	σca=11N/mm2
	剪断応力度	τa=0.5N/mm2
鉄筋	引張応力度	σsa=180N/mm2

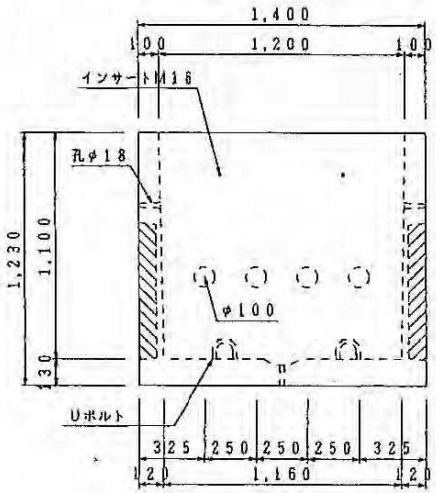
平面図



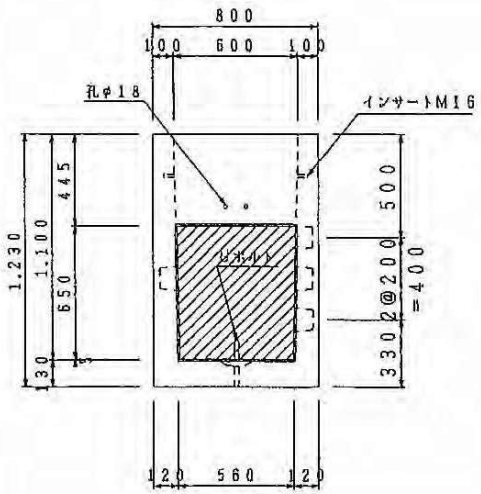
正面図 ①－①



正面図 ②－②



側面 ③－③

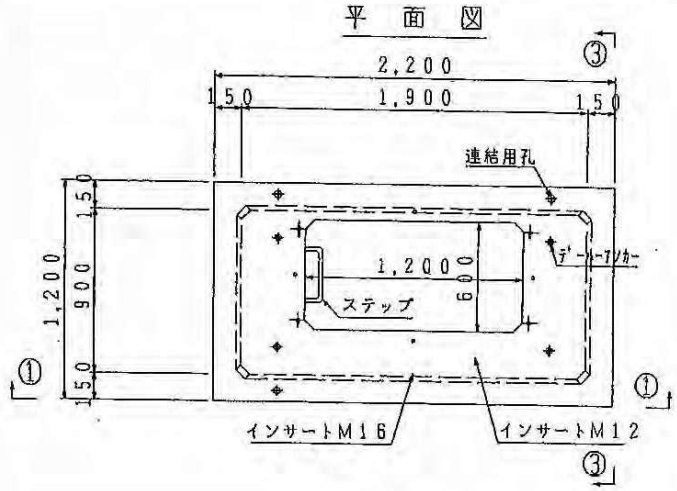


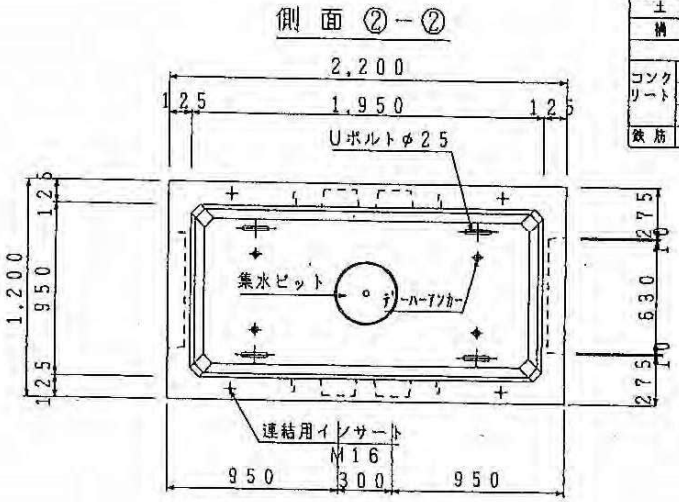
株式会社 日本ネットワークサポート

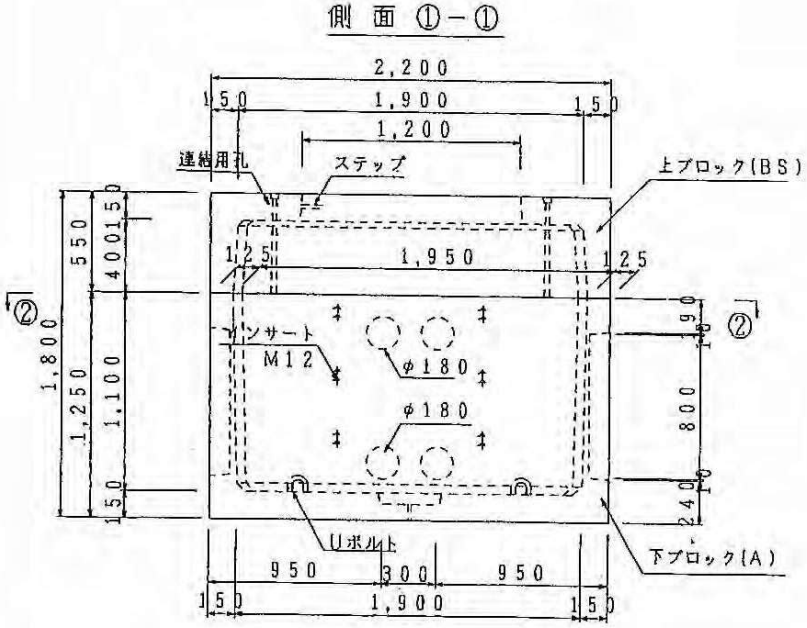
9

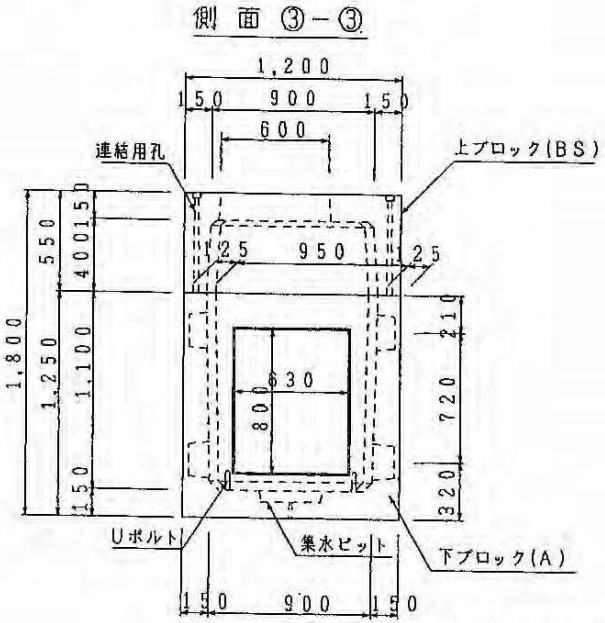
T桝（Type－4）構造図

設計条件		
活荷重		245kN（P＝50kN）
衝撃係数		歩道：i＝0.1 車道：i＝0.4
土圧係数		k＝0.50
土被り		
構造		
（許容応力度）		
コンクリート	設計基準強度	σck＝30N/mm2
	曲げ圧縮応力度	σca＝11N/mm2
	剪断応力度	τa＝0.5N/mm2
鉄筋	引張応力度	σsa＝180N/mm2









株式会社 日本ネットワークサポート

電力ケーブル用

電共 MCCP SVP管

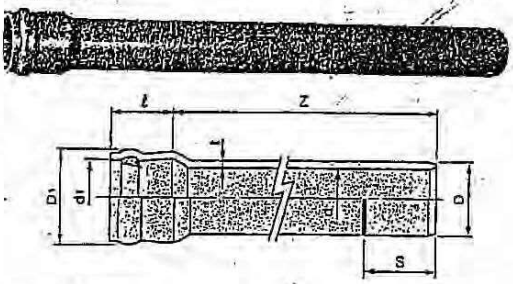
SVP

Super Impact Vinyl Pipe

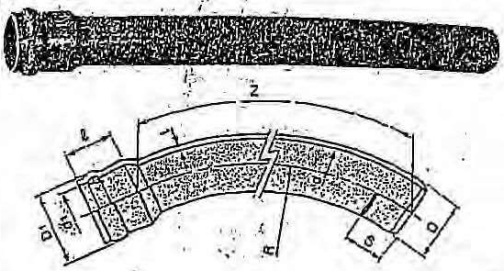
耐熱・耐衝撃性硬質塩化ビニル管 SVP

11

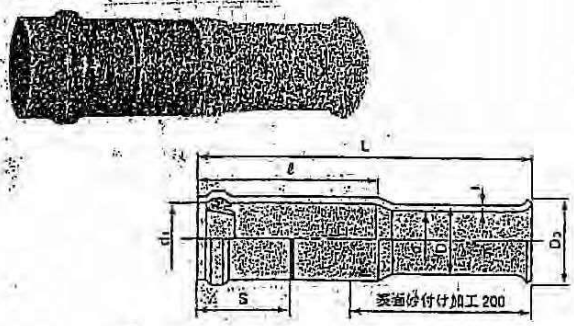
RR直管



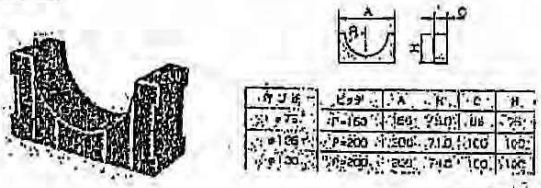
RR曲管



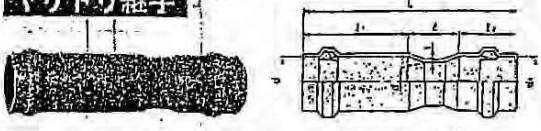
ダクトスリーブ



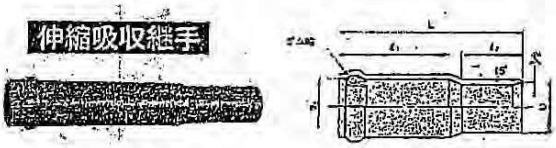
管台



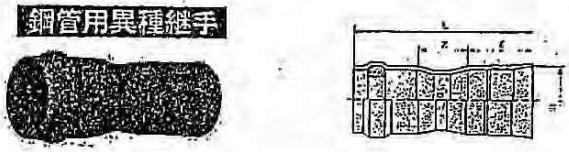
ヤリトリ継手



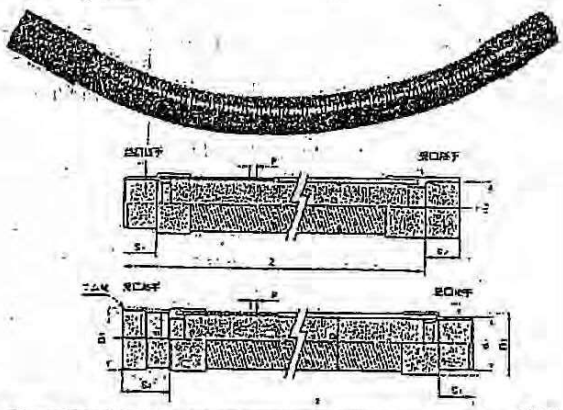
伸縮吸収継手



鋼管用異種継手

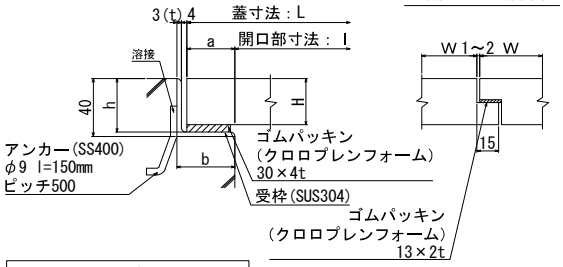


EEVP



合成木材蓋：単板蓋タイプ

蓋型式：タイプI

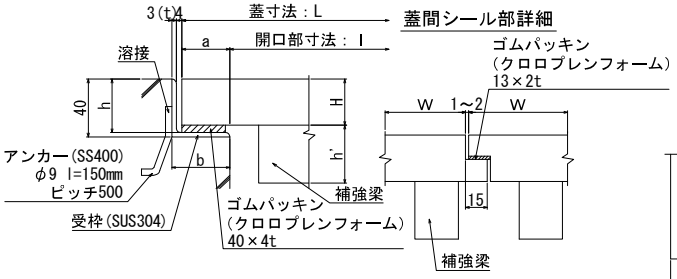


合成木製蓋（単板蓋タイプ）形式選定表

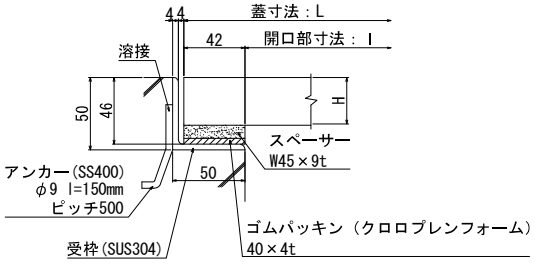
タイプ区分		蓋形式 (L×W×H)	開口部寸法 l (mm)	受枠寸法 a	h	h'	b	t	参考蓋重量 (kg/m²)
I	①	(　～1066)×600×33.5	～1000	33	37	—	40	3	20
	②	(1067～1266)×600×33.5	1001～1200	33	37	—	40	3	22
II 補強梁付	③	(1267～1666)×600×33.5	1201～1600	33	37	40	40	3	23
	④	(1667～2066)×600×33.5	1601～2000	33	37	60	40	3	24

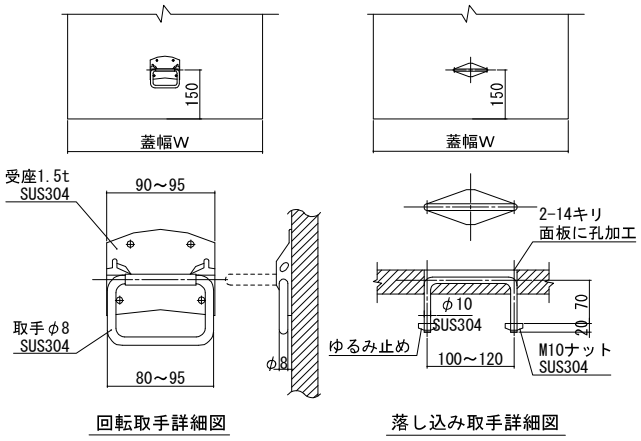
注　1)受枠寸法のｈにはパッキン厚を含む。
　　2)蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300～600mmとする。
　　3)受枠がL50×50×4tの場合、蓋裏面にスペーサー(W45×9t)を接着して対応する。（参考図-1参照）
　　4)タイプ②については、補強梁付きも可能とする。（タイプII参照）

蓋型式：タイプII
単板蓋（補強梁付きの場合）



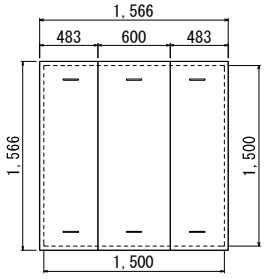
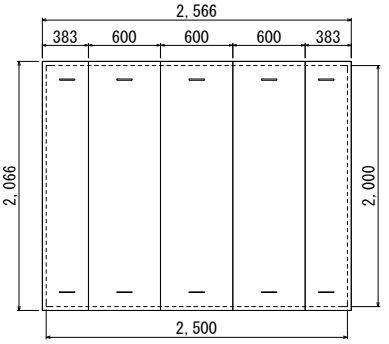
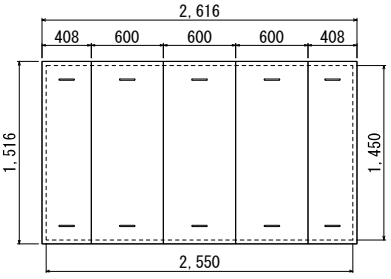
参考図ー１
単板蓋（受枠50mmの場合）





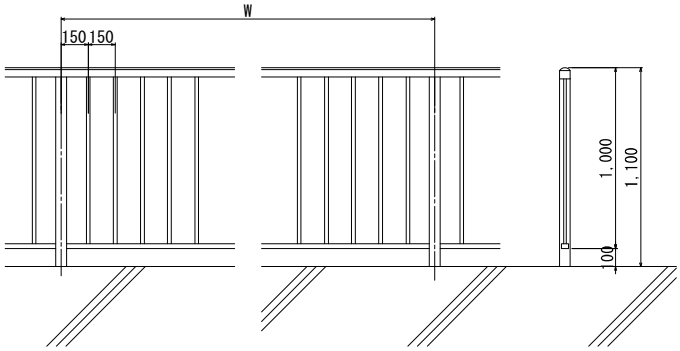
回転取手詳細図　　落し込み取手詳細図

合成木材蓋 リスト

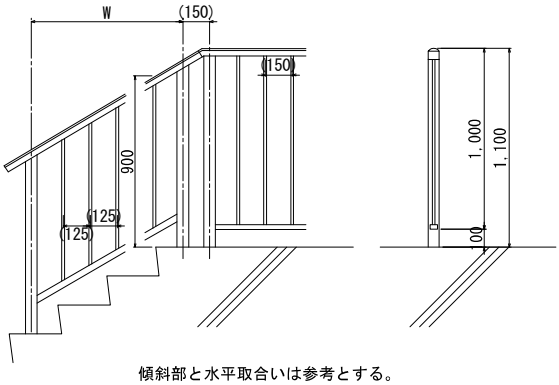
	F-1 , F-3	F-2	F-4
開口寸法	1500×1500	2000×2500	1450×2550
蓋 割付			

手すり：アルミニウム製（取合い）

アルミニウム製手摺り(一般部)

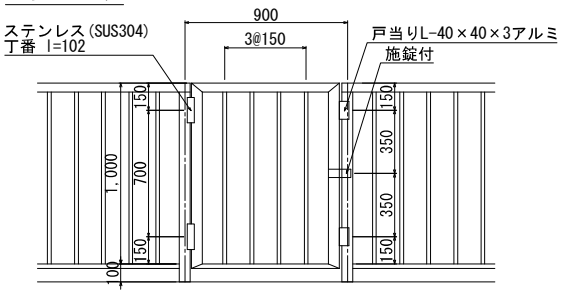


アルミニウム製手摺り(階段部)



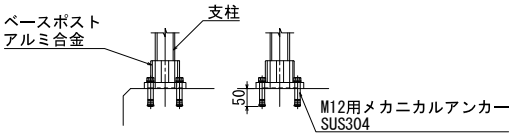
傾斜部と水平取合いは参考とする。

手摺り用扉



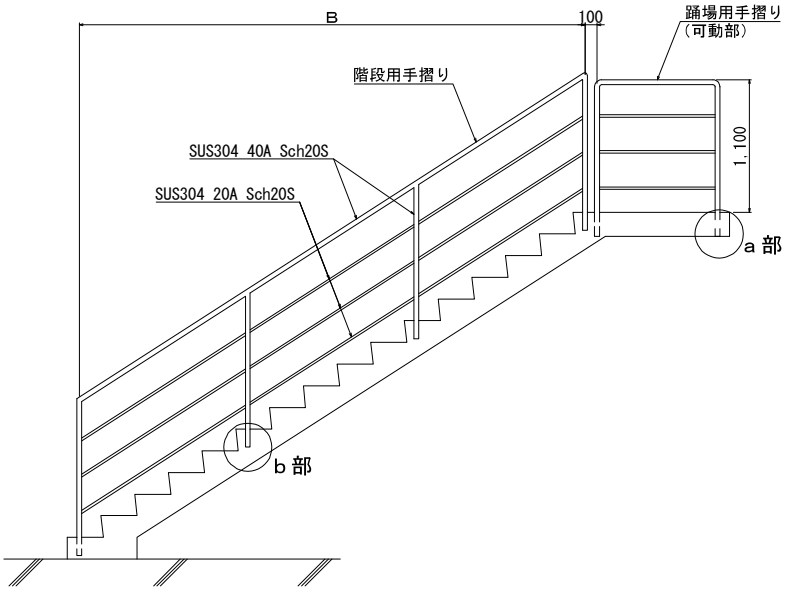
柱脚の定着方法

ベースポストタイプ

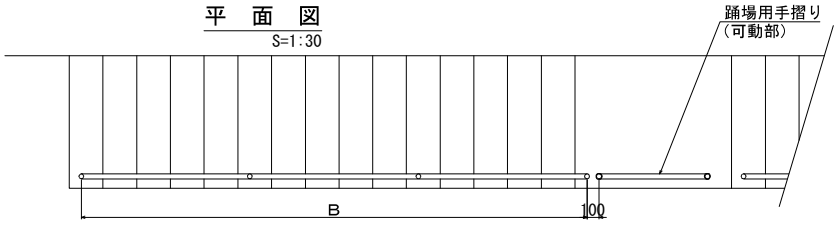


池内階段手摺り（SUS304）

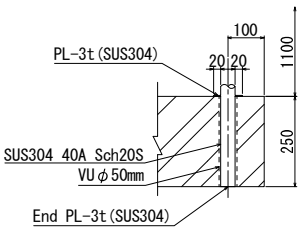
断　面　図
S=1:30



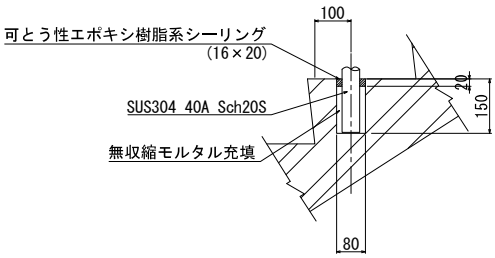
平　面　図
S=1:30



a 部詳細図（可動部）
S=1:10

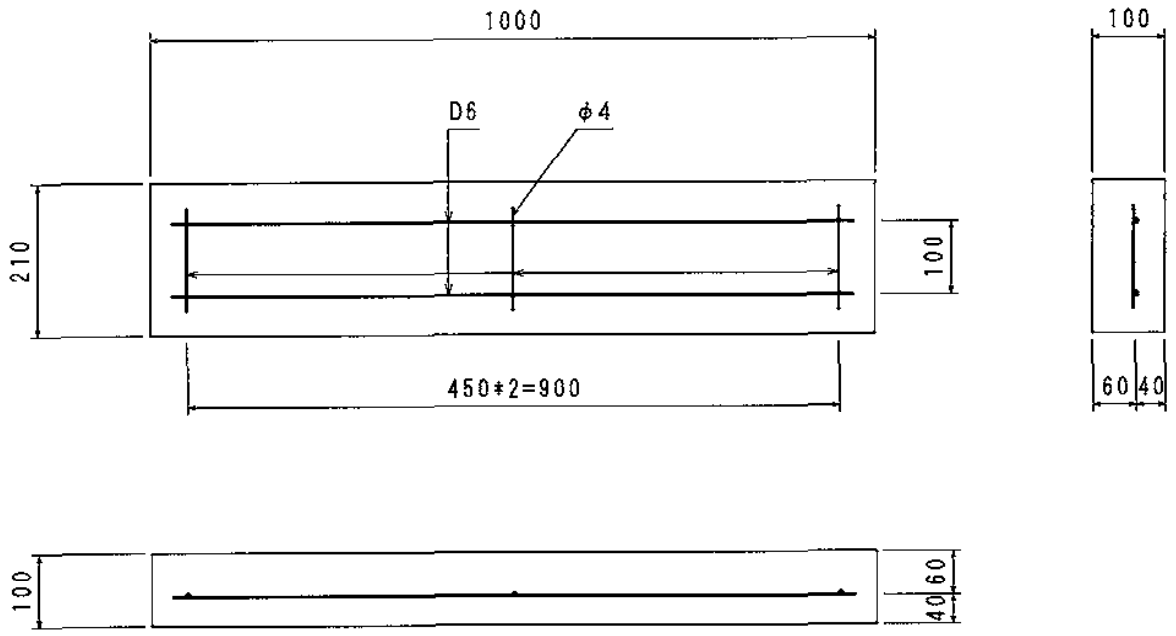


b 部詳細図（固定部）
S=1:10



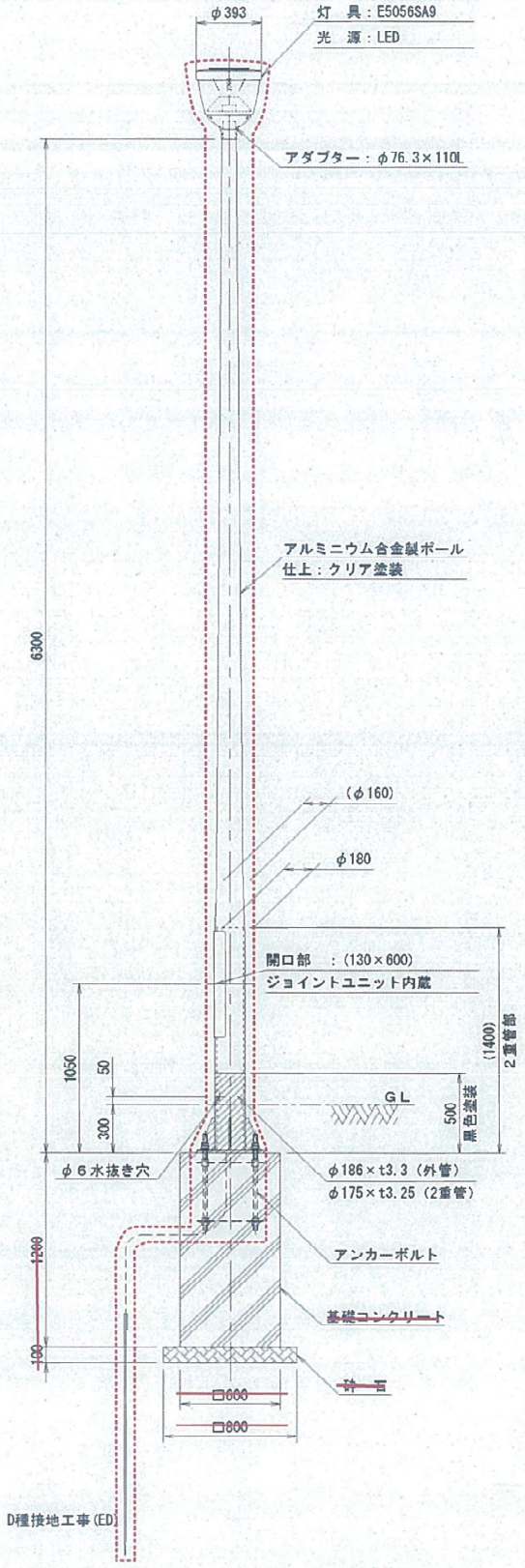
・手摺りのスパンは２ｍ未満とする。
・手摺りの支柱はＢ＜４ｍのとき１本，Ｂ≧４ｍのときは２本とし、支柱間隔は均等割とする。

基礎ブロック 210*1000*100



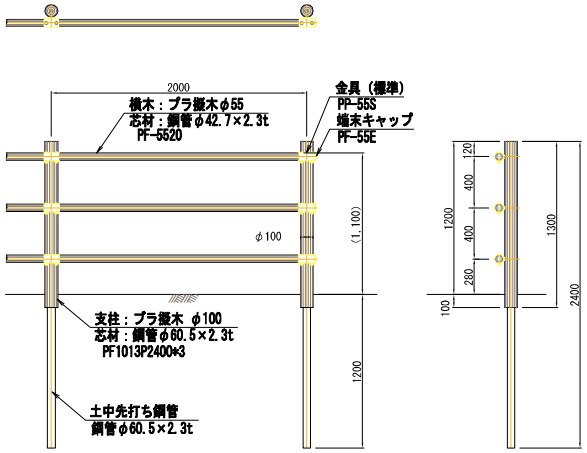
		参考重量	51 kg
		縮　尺	S＝1/10
名　称	基礎ブロック 210*1000*100		

照明灯


φ393
灯　具：E5056SA9
光　源：LED
アダプター：φ76.3×110L
アルミニウム合金製ポール
仕上：クリア塗装
6300
(φ160)
φ180
開口部　：(130×600)
ジョイントユニット内蔵
(1400)
2重管部
1050
50
300
GL
500
黒色塗装
φ6水抜き穴
φ186×t3.3（外管）
φ175×t3.25（2重管）
アンカーボルト
1200
基礎コンクリート
100
砕　石
□600
□800
D種接地工事(ED)

取付里道 構造図

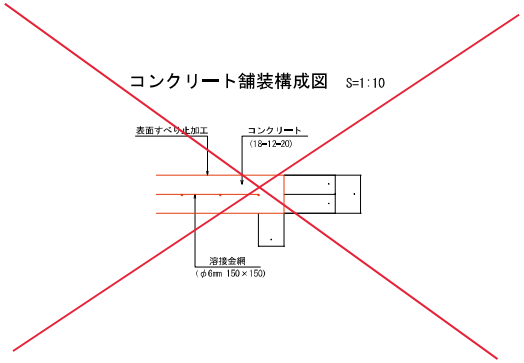
転落防止柵　S=1:20



材料表　10m当り

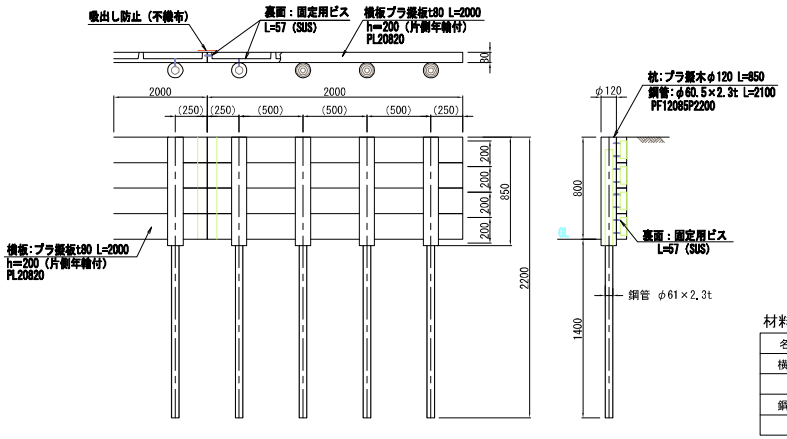
名　称	規　格	単位	数　量	備　考
転落防止柵	プラ擬 H=1200	m	10.00	土中用

コンクリート舗装構成図　S=1:10



土留め工　S=1:20

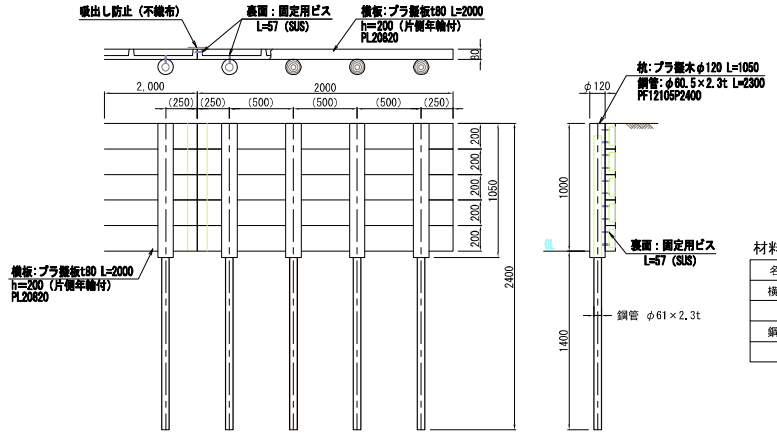
土留め工(A)



材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
横　板	プラ擬板t80 L=2000	枚	20.00	
杭	プラ擬木φ120 L=850	本	20.00	
鋼　管	φ60.5×2.3t L=2100	本	20.00	

土留め工(B)



材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
横　板	プラ擬板t80 L=2000	枚	25.00	
杭	プラ擬木φ120 L=1050	本	20.00	
鋼　管	φ60.5×2.3t L=2300	本	20.00	

[redacted]

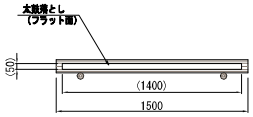
階段工構造図(6)

階段工(R)

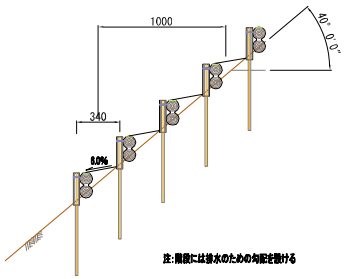
S=1:20

標準図

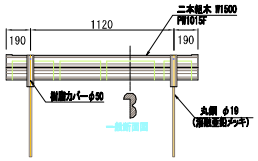
平面図



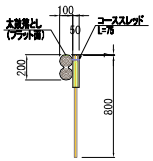
側面図



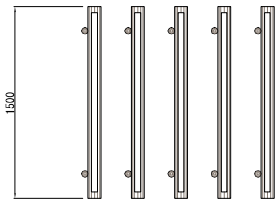
正面図



断面図



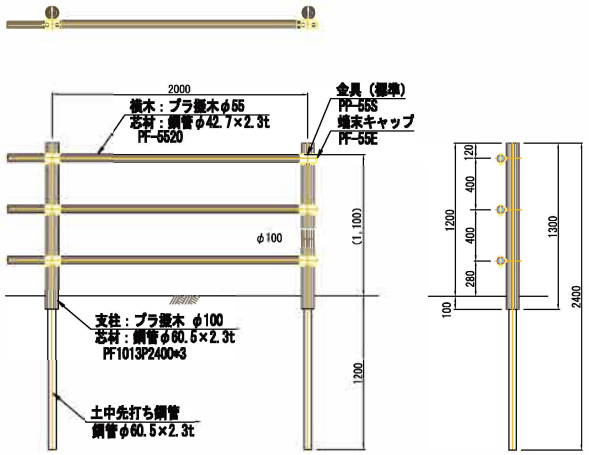
平面図



[redacted]

取付里道 構造図

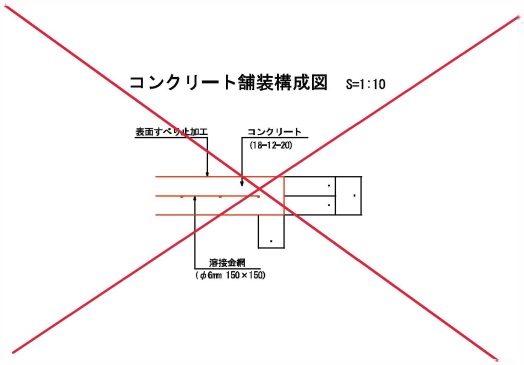
転落防止柵　S=1:20



材料表　10m当り

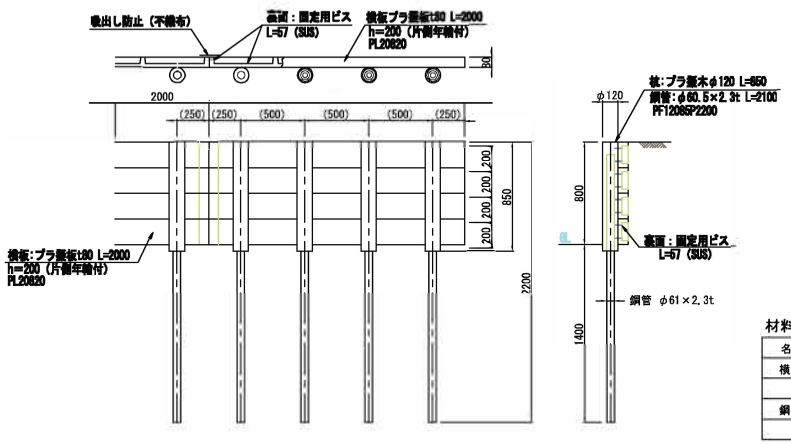
名　称	規　格	単位	数　量	備　考
転落防止柵	プラ製 H=1200	m	10.00	土中用

コンクリート舗装構成図　S=1:10



土留め工　S=1:20

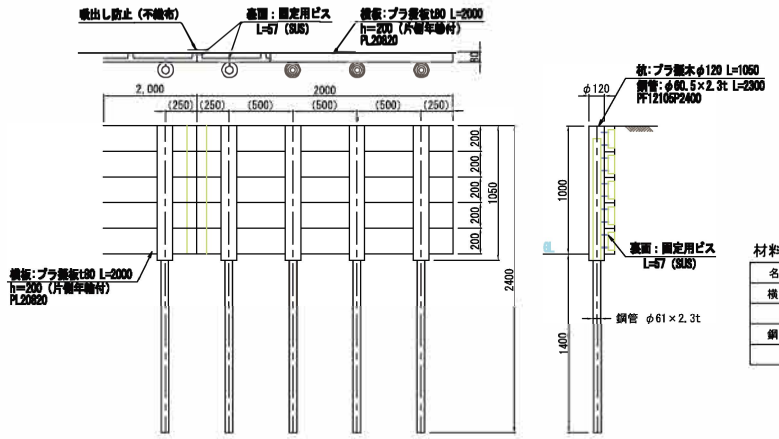
土留め工(A)



材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
横　板	プラ製板t20 L=2000	枚	20.00	
杭	プラ製木φ120 L=850	本	20.00	
鋼　管	φ60.5×2.3t L=2100	本	20.00	

土留め工(B)



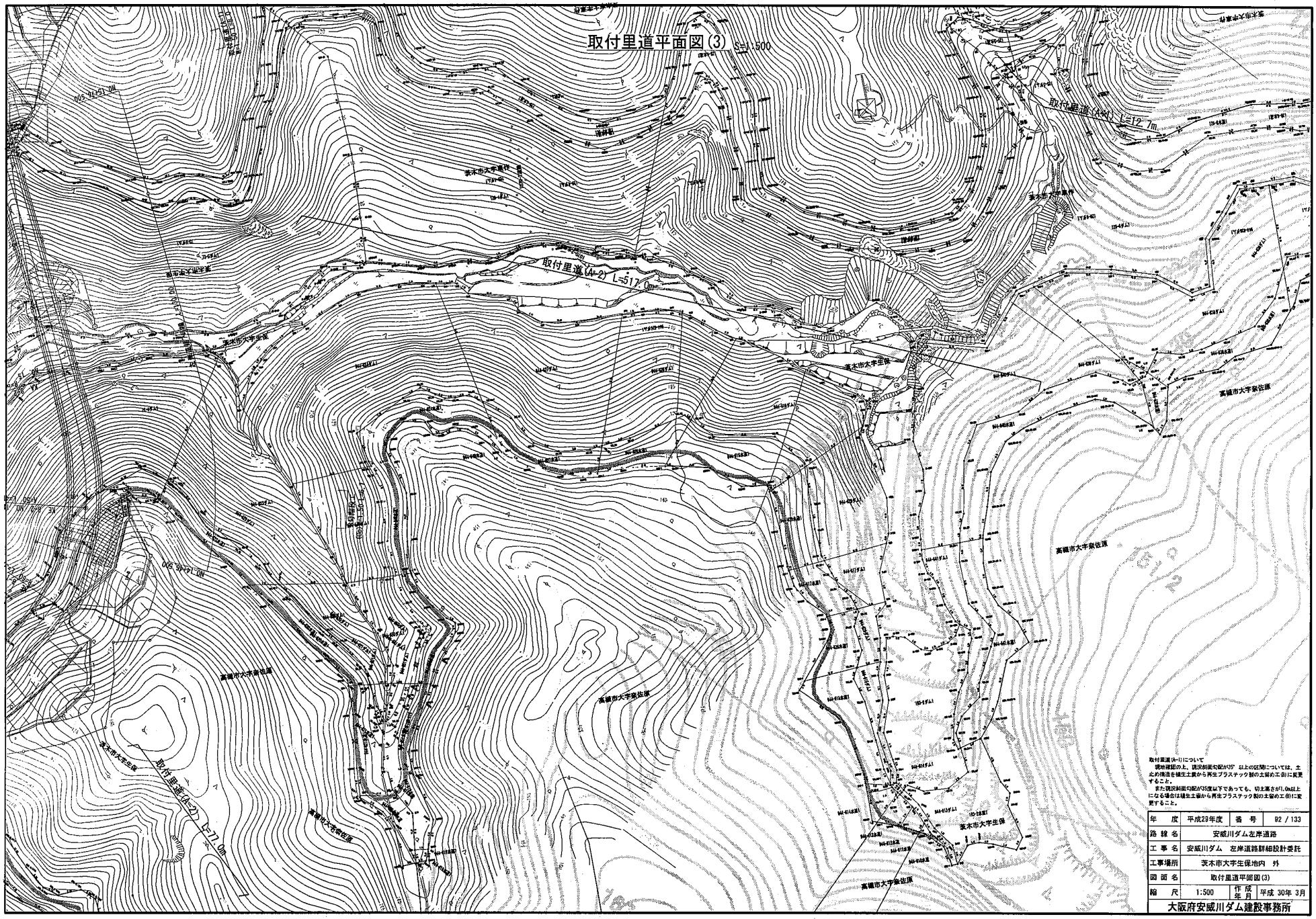
材料表　10m当り

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
横　板	プラ製板t20 L=2000	枚	25.00	
杭	プラ製木φ120 L=1050	本	20.00	
鋼　管	φ60.5×2.3t L=2300	本	20.00	

[redacted]

取付里道平面図(2) S=1:500

取付里道平面図(3) (S=1:500)



取付里道(A-1)について
現地確認の上、現況斜面勾配45°以上の区間については、土止め擁壁を植生土嚢から再生プラスチック製の土留め工(B)に変更すること。
また現況斜面勾配45度以下であっても、切土高さが1.0m以上になる場合は植生土嚢から再生プラスチック製の土留め工(B)に変更すること。

年度	平成29年度	番号	92 / 133
路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム 左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市大字生保地内 外		
図面名	取付里道平面図(3)		
縮尺	1:500	作成年月	平成 30年 3月

大阪府安威川ダム建設事務所

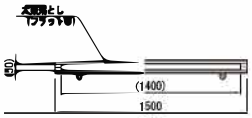
階段工構造図(6)

階段工(R)

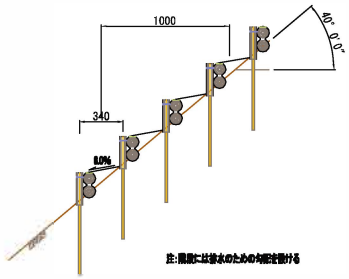
S=1:20

標準図

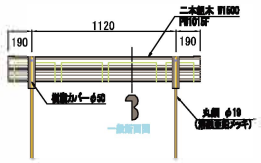
平面図



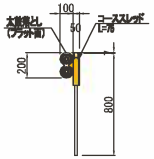
側面図



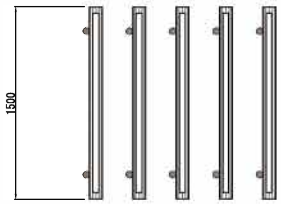
正面図



断面図



平面図

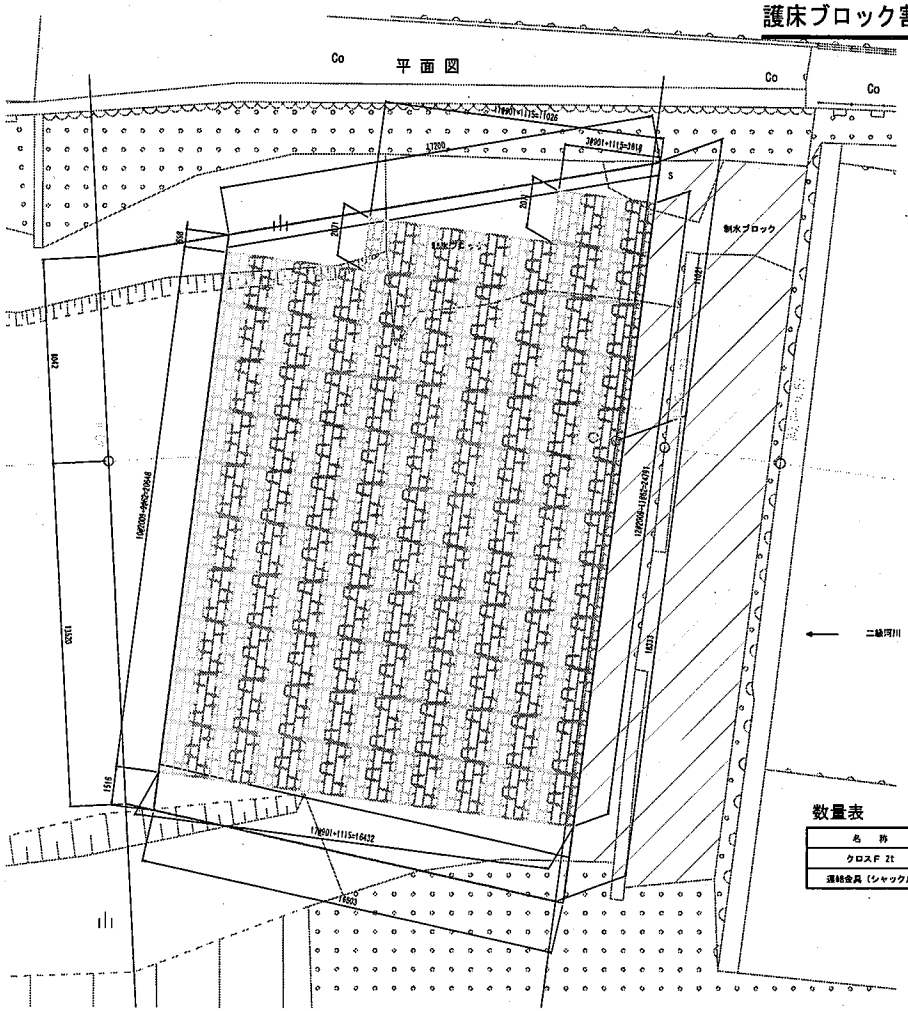


年　度	平成29年度	番　号	104 / 133
路 線 名	安威川ダム左岸道路		
工 事 名	安威川ダム　左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市大字生保地内　外		
図 面 名	階段工構造図(5)		
縮　尺	1:20	作成年月	平成 30年 3月
大阪府安威川ダム建設事務所			

護床ブロック割付工構造図

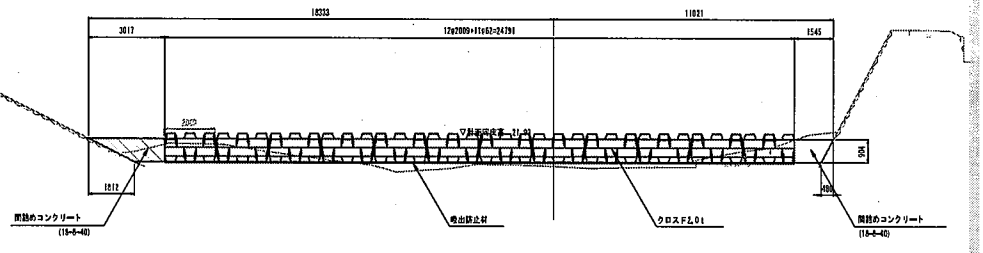
S=1:100

平面図



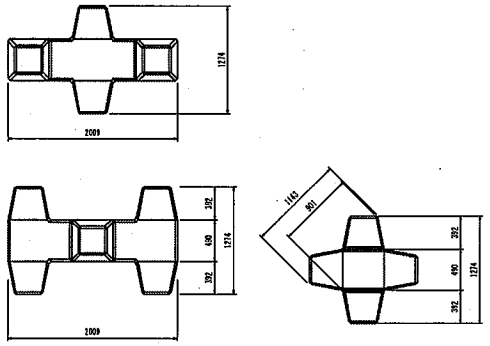
横断図

(NO.5)

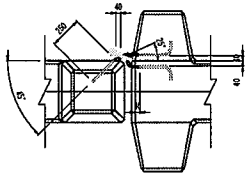


製品詳細図 S=1:30

クロスF 2t



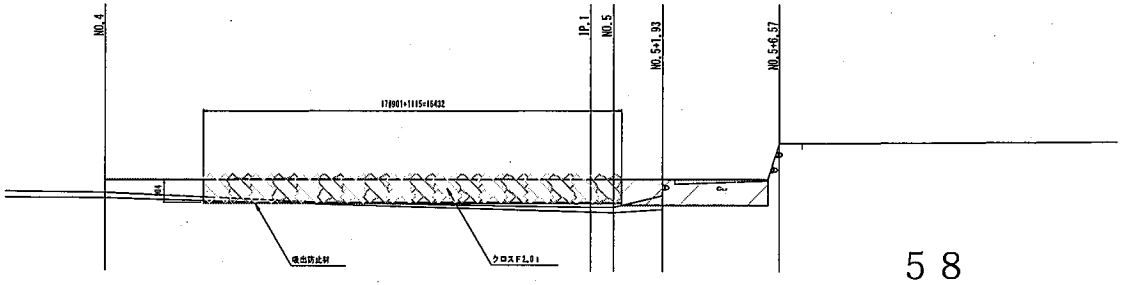
連結詳細図 S=1:20



数量表

名　称	単位	数　量
クロスF 2t	個	196
連結金具（シャックル）	個	178

縦断図

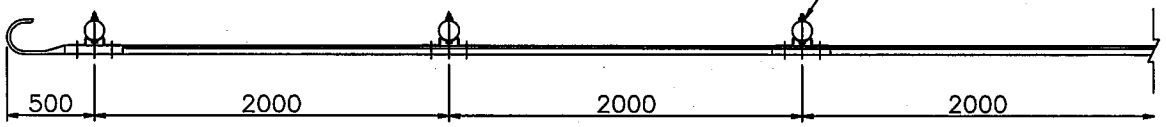


(参考図)

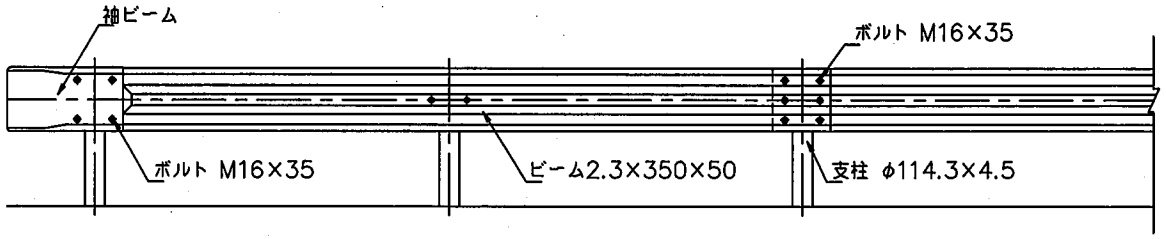
年度	令和元年度	作成年月	令和2年2月
河川名	[redacted]		
委託名	[redacted]		
履行場所	[redacted]		
図面名	護床ブロック割付工構造図		
縮尺	1:100	番号	3/3
大阪府高土木事務所			

Gr−C−2B
~~Gr−C−2B−S~~

平面図

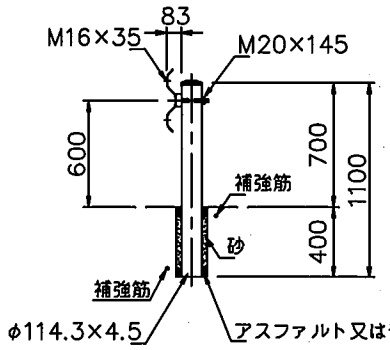


正面図

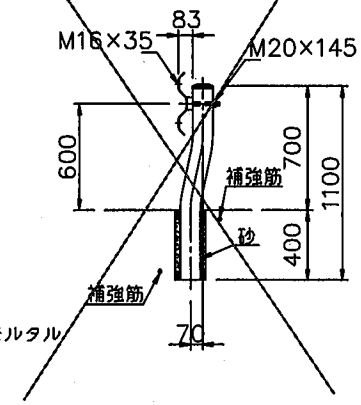


側面図

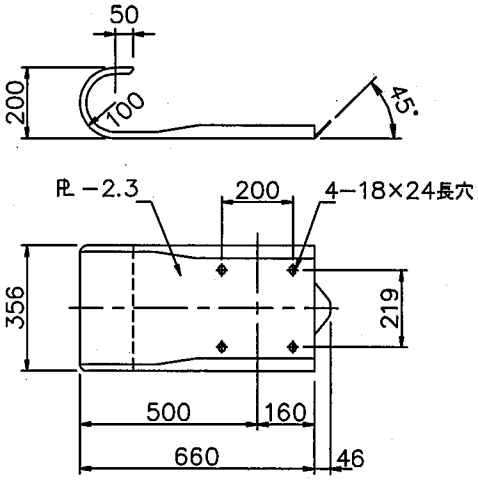
Gr−C−2B



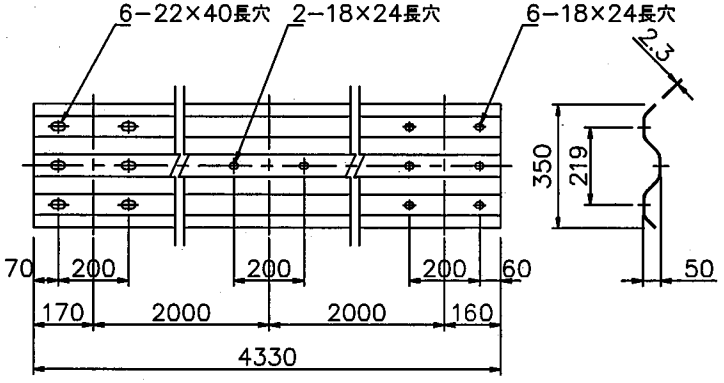
Gr−C−2B−S



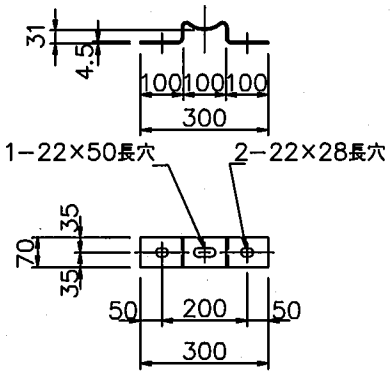
袖ビーム



ビーム

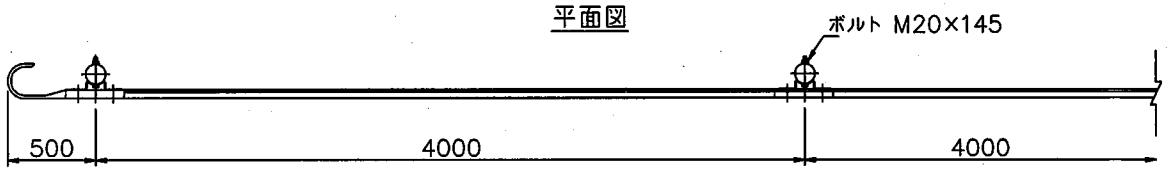


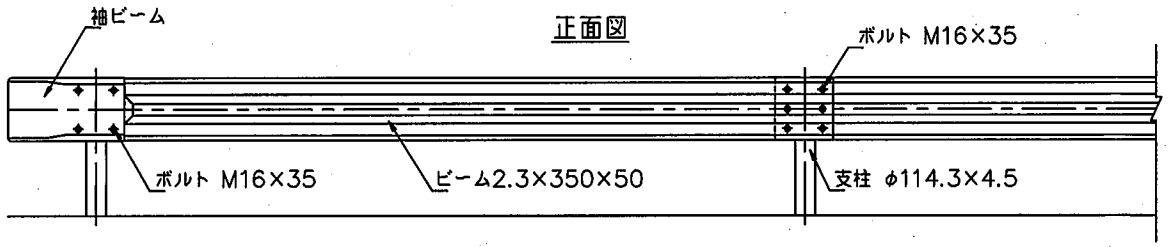
ブラケット

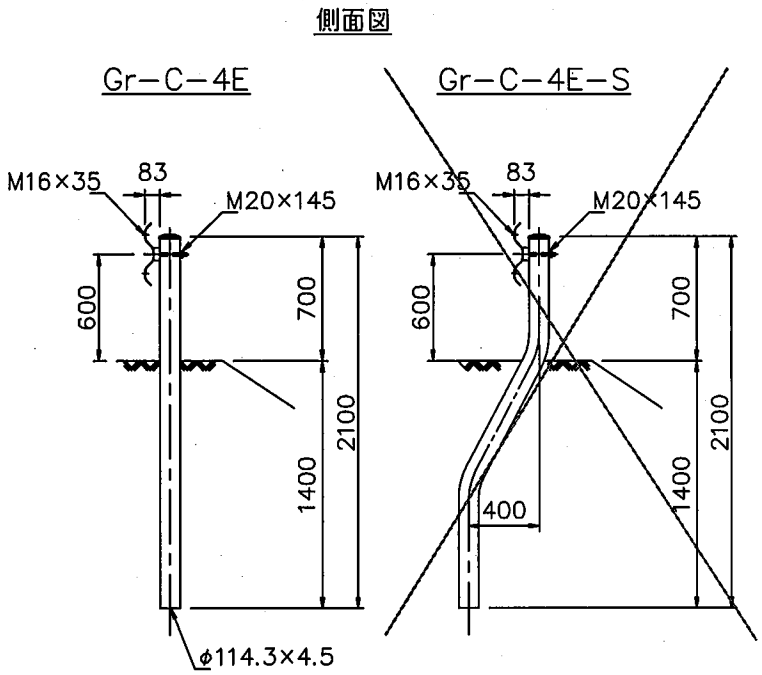


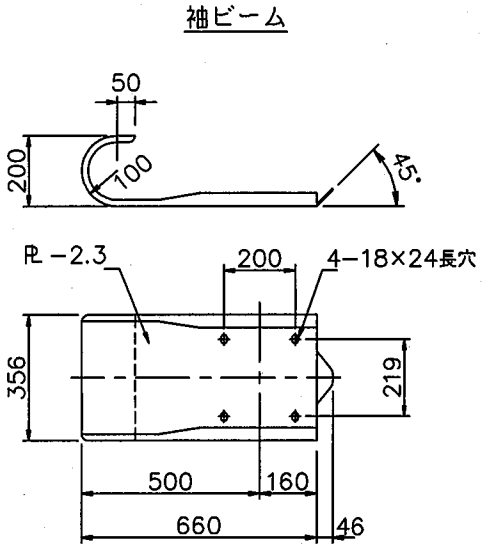
（注）補強筋配置の詳細は別図−1に示す

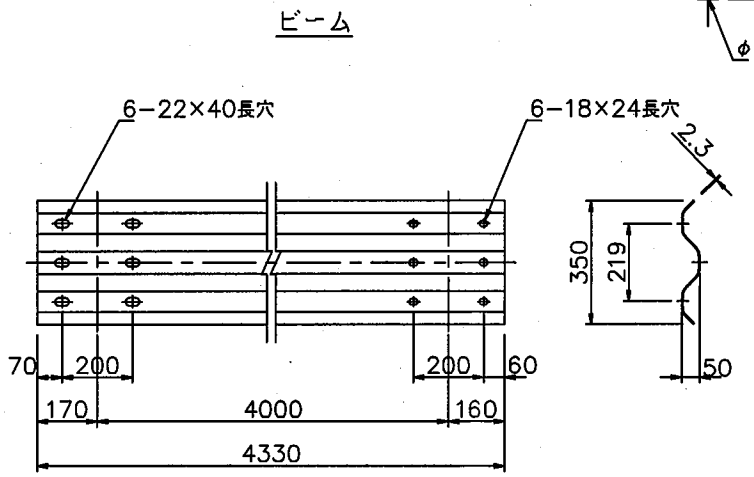
Gr−C−4E
~~Gr−C−4E−S~~

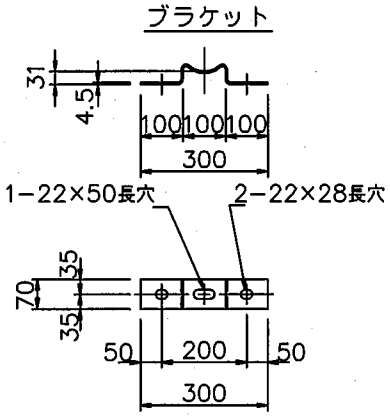








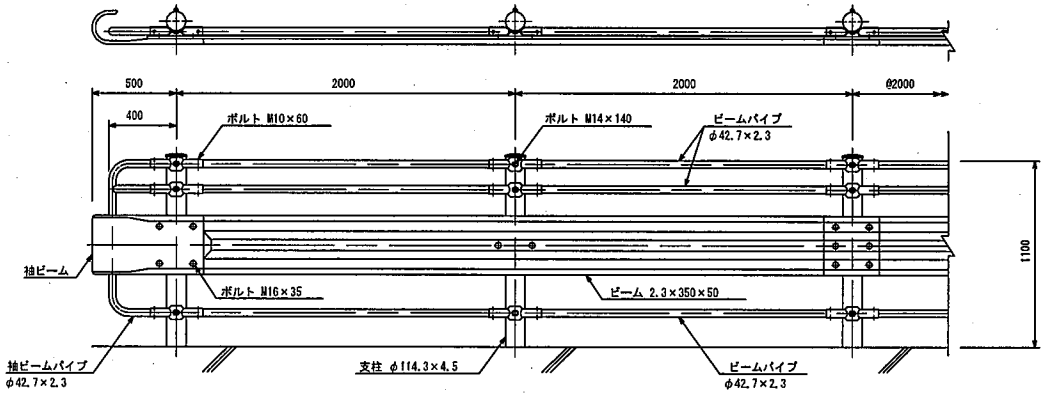




ガードレール工構造図
（参考図） Gr(P)-C-2B/Gr(P)-C-4E

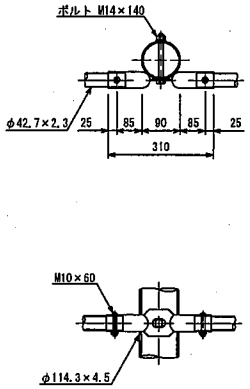
ガードレール構造図

組 立 図

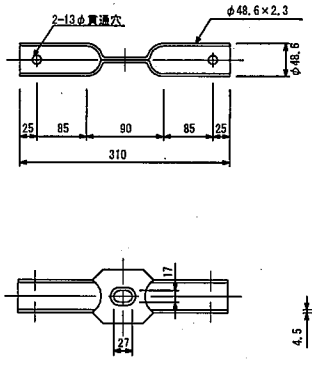


種類	埋込深さ（mm）
Gr（P）-C-2B （構造物用）	400
Gr（P）-C-4E（土中用）	1,400

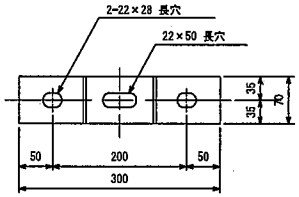
ビームパイプ接合部



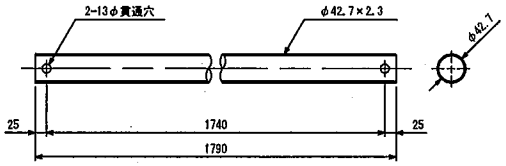
セーフティブラケット



ガードレールブラケット



ビームパイプ

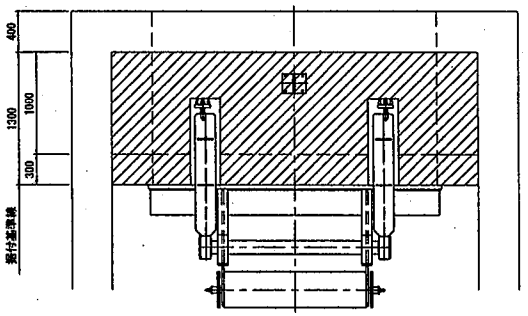


ゲート一般図 S=1:25
(可動制限装置無)

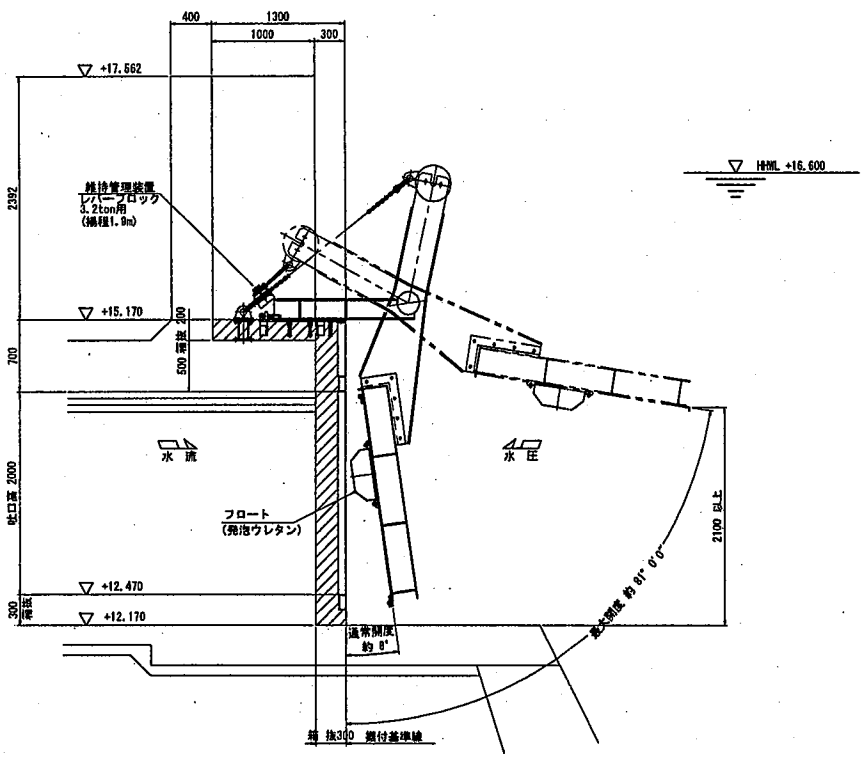
注記
・▨ は２次コンクリートを示す。
・特記以外の材質は全てSUS304とする。

設計要項	
型式	ステンレス製オートゲート
純径間×吐口高	2.80m × 2.00m
設置数	1門
設計水深	前面：4.130m 後面：0m
水密方式	後面4方ゴム水密
開閉方式	内外水位差による自動開閉
開閉角度	通常時開扉角度 約 8°
	最大開扉角度 約 61°
傾み度	1/600 以下
適用基準書	ダム・堰施設技術基準（案）

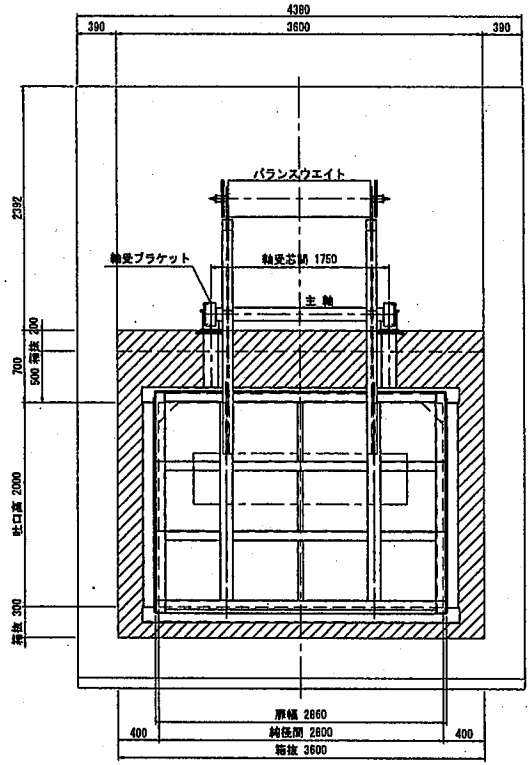
平面図 S=1:25



側面図 S=1:25



正面図 S=1:25



年度	令和元年度	図面番号	/
河川名	[redacted]		
工事名	[redacted]		
所属地名	[redacted]		
図面名	ゲート一般図		
縮尺	S=1:25	作成年月	令和 2年3月
大阪府富田林土木事務所			

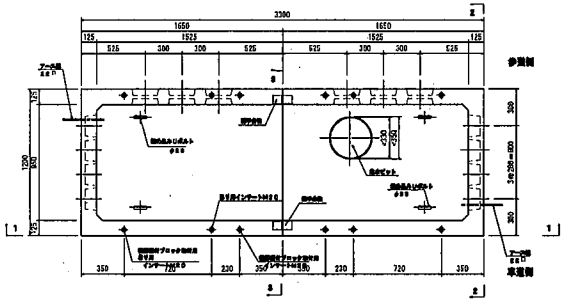
E1桝構造図

S=1:20

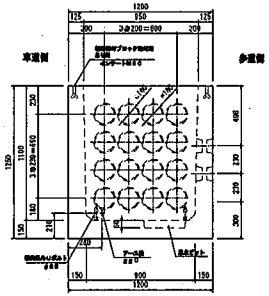
機器2基（W900×H1100×L3000）

[redacted]

平面図



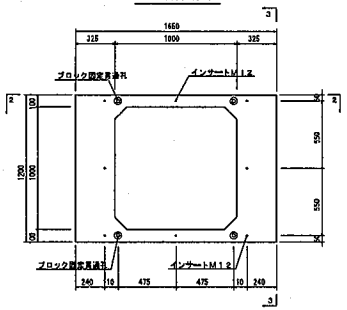
2-2断面図



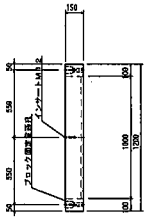
設計条件		
活荷重		245kN（P=50kN）
衝撃係数		歩道：i=0.1
土圧係数		k=0.308
構造		鉄筋コンクリートU形構造
（許容応力度）		
コンクリート	設計基準強度	σck= 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σcn= 11N/mm²
	剪断応力度	τa = 0.5N/mm²
鉄筋	引張応力度	σsa= 180N/mm²

機器据付ブロック

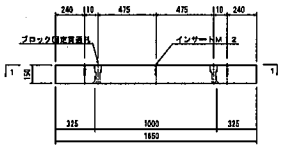
1-1断面図



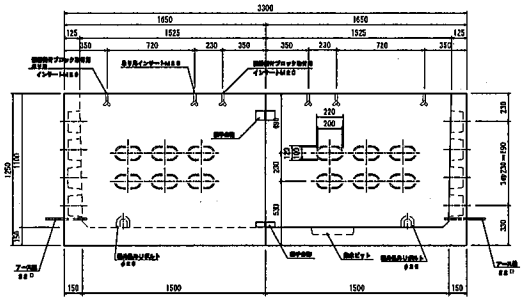
3-3断面図



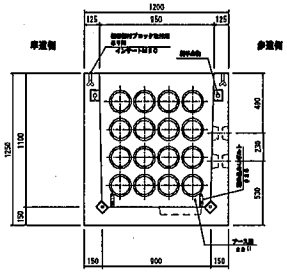
2-2断面図



1-1断面図

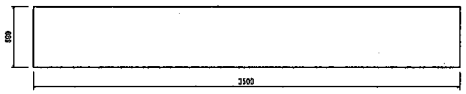


3-3断面図

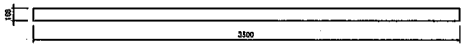


基礎ブロック

平面図



正面図



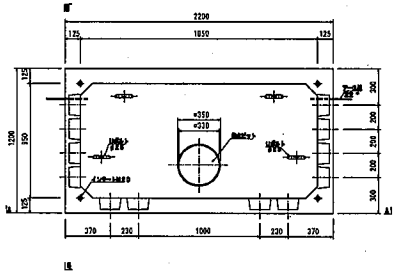
年度	令和2年度	作成年月	令和2年 10月
地名	[redacted]		
路線名	[redacted]		
工事名			
図面種別	E1桝構造図		
縮尺	1/20	設計	図番 24/75
風土木事務所			

E2桝構造図　S=1:20

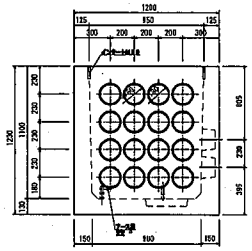
機器1連（H900×H1100×L1100）

機器桝

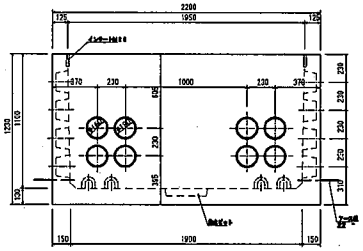
平面図



断面 B－B

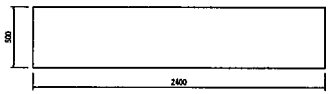


断面 A－A

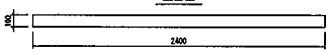


基礎ブロック

平面図

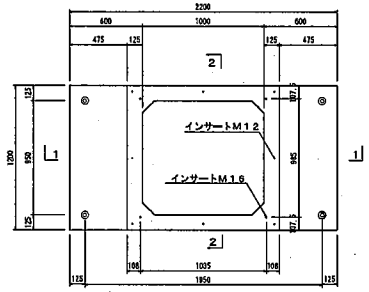


正面図

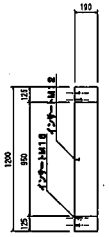


機器据付ブロック

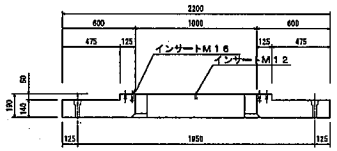
平面図



断面2－2



断面1－1

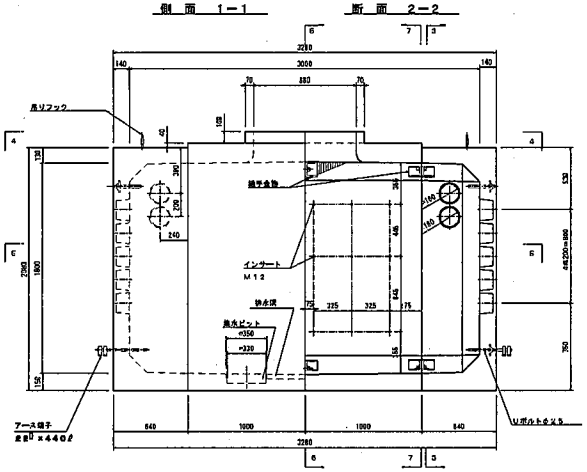


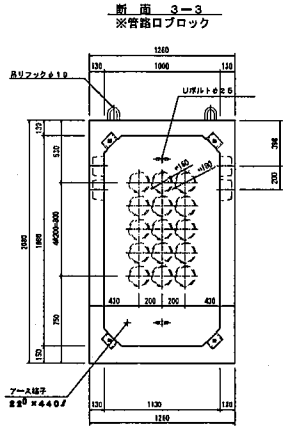
設計条件	
消費量	ｚ45kg（P＝50kN）
管理係数	歩道：ｉ＝0.1
静止土圧係数	k＝0.5
不適切	
構造	機器コンクリート基礎構造
（許容応力度）	
コンクリート	設計基準強度	σck＝30N/mm²
	長期圧縮応力度	σca＝11N/mm²
	同断応力度	τa＝0.5N/mm²
鋼筋	引張応力度	σsa＝180N/mm²

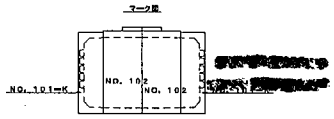
年度	令和2年度	作製年月	令和2年 10月
地名	[redacted]		
路線名	[redacted]		
工事名			
図面種別	E2桝構造図		
縮尺	1/20	設計	番号 24/75
鳳土木事務所			

E3桝構造図 S=1:20

プレハブ人孔A５型(W1000×H1800×L3000)



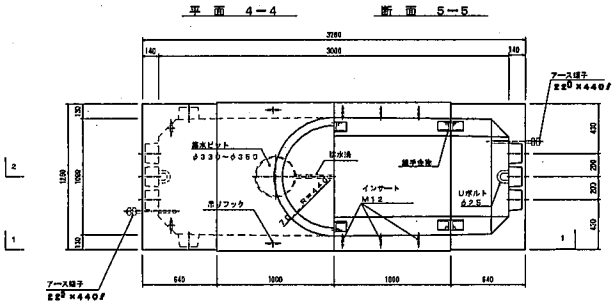


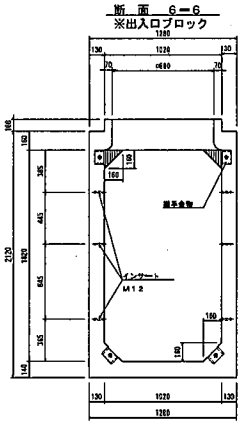


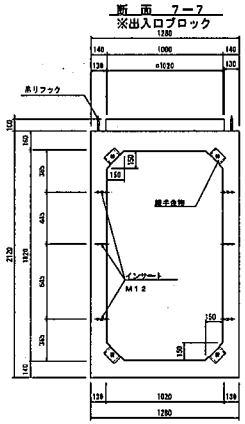
設計条件		
設計震度		2.45G(T=0.4s)
側圧係数		原位:1:0.4, 歩道:1:0.4
許容土圧係数		k=0.5
構造		鉄筋コンクリート箱形構造
(許容応力度)		
コンクリート	設計基準強度	σck= 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca= 11N/mm²
	許容応力度	τa = 0.5N/mm²
鉄筋	引張応力度	σsa= 160N/mm²

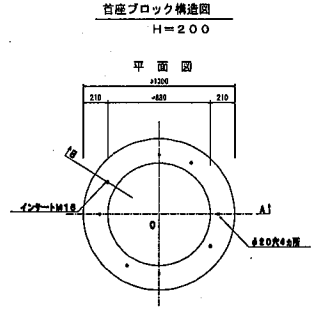
使用本数

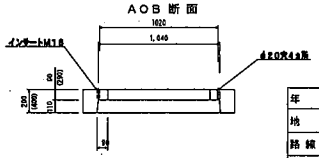
項目	製品重量 (t)	備考
管路口ブロック	2.04	NO. 101−K
出入口ブロック	2.19	NO. 102
出入口ブロック	2.19	NO. 102
中間ブロック		
管路口ブロック	2.04	NO. 101−K
合計	8.46	











※ ( ) 内は H=400

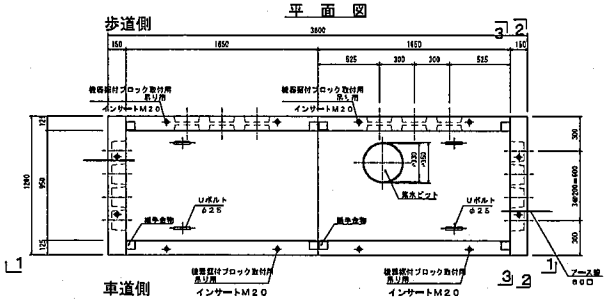
年度	令和2年度	作成年月	令和2年 10月
地名	[redacted]		
路線名	[redacted]		
工事名			
図面種別	E3桝構造図		
縮尺	1:20	設計	番号 24/75
風土木事務所			

E4桝構造図 S=1:20

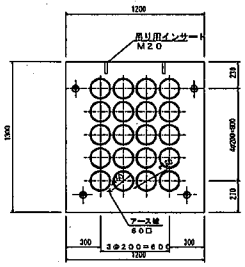
プレハブ基礎I型UタイプH1100-2連（W900×H1100×L3300）

[redacted]

平　面　図



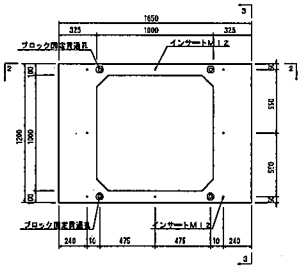
2－2断面図



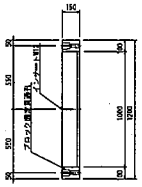
設　計　・　条　件		
活荷重		T－245（P＝60kN）
衝撃係数		歩道：i＝0．1
土圧係数		k＝0．308
土被り		
構造		鉄筋コンクリートU形構造
（許容応力度）		
コンクリート	設計基準強度	σck＝ 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca＝ 11N/mm²
	斜断応力度	τa ＝ 0．5N/mm²
鉄筋	引張応力度	σsa＝180N/mm²

I型機器据付用ﾌﾞﾛｯｸI－100構造図

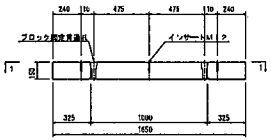
1-1断面図



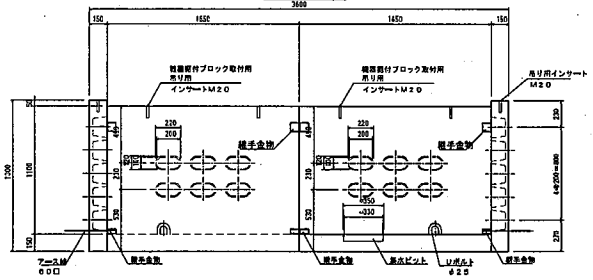
3-3断面図



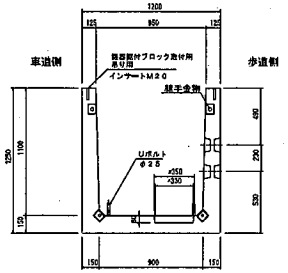
2-2断面図



1－1断面図



3－3断面図



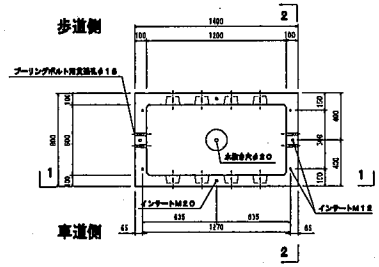
年度	令和2年度	作成年月	令和2年 10月
地名	[redacted]		
路線名	[redacted]		
工事名			
図面種別	E4桝構造図		
縮尺	1:20	設計	番号 24/75
風土木事務所			

0桝構造図 S=1:20

(W600×H1100×L1200)

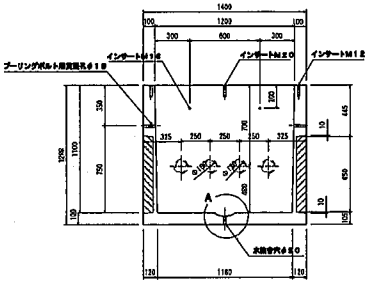
[redacted]

平面図



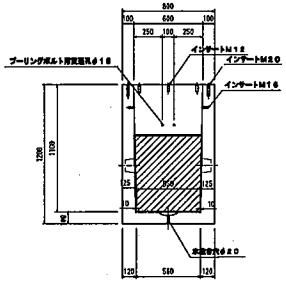
設計条件		
活荷重		245kN(P=50kN)
衝撃係数		歩道：i=0.1
土圧係数		k=0.5
構造		鉄筋コンクリート路肩構造
(許容応力度)		
コンクリート	設計基準強度	σck= 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca= 11N/mm²
	剪断応力度	τa = 0.54N/mm²
鉄筋	引張応力度	σsa=180N/mm²

断面 1−1



A部詳細図

断面 2−2



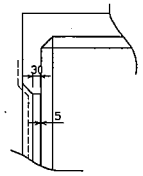
年度	令和1年度	作成年月	令和2年 10月
地名	[redacted]		
路線名	[redacted]		
工事名			
図面種別	0桝構造図		
縮尺	1:20	設計	資料 24/75
鳳土木事務所			

R桝構造図　S=1:20

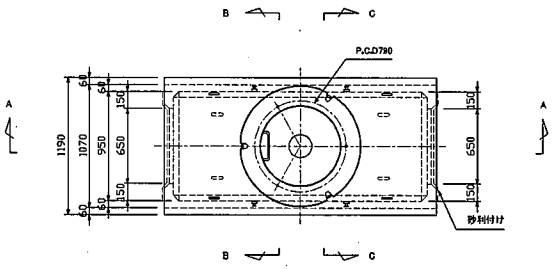
(950×2200×1500)

[redacted]

ノックアウト部詳細



平面図



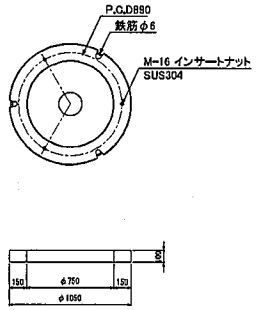
別部品

符号	名称	数量	規格	備考
—	昇降用梯子	1	SS400亜鉛メッキ	

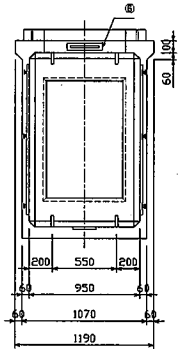
設計条件

設計荷重	活荷重	245kN (1輪 50kN)
	衝撃	i = 0.1
構造形式		工場製品 レジンコンクリート製箱型構造
内空寸法		950ᵂ × 2200ᴸ × 1500ᴴ
土の単位重量		γs = 19kN/m³
土圧係数		Ks = 0.5
使用材料	レジンコンクリート	設計基準曲げ強度 σbk = 14.0MPa

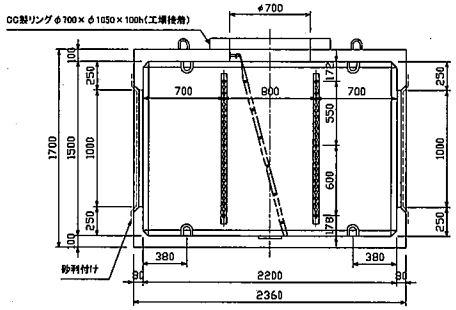
セメント製築造ブロック



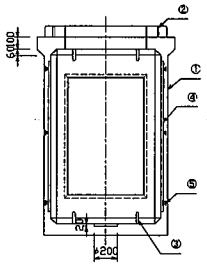
B-B断面図



A-A断面図



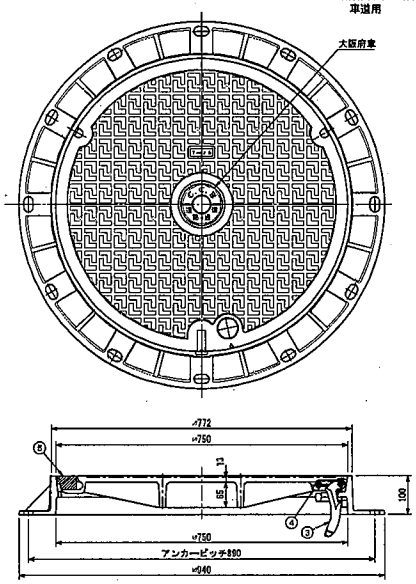
C-C断面図

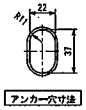


年度	令和2年度	作成年月	令和2年 9月
地名	[redacted]		
路線名	[redacted]		
工事名			
図面種別	R桝構造図		
縮尺	1:20	設計	審査
風土木事務所			13/75

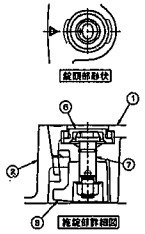
鉄蓋構造図 (1)

通信桝蓋構造図
車道用　S=1/6





アンカー穴寸法

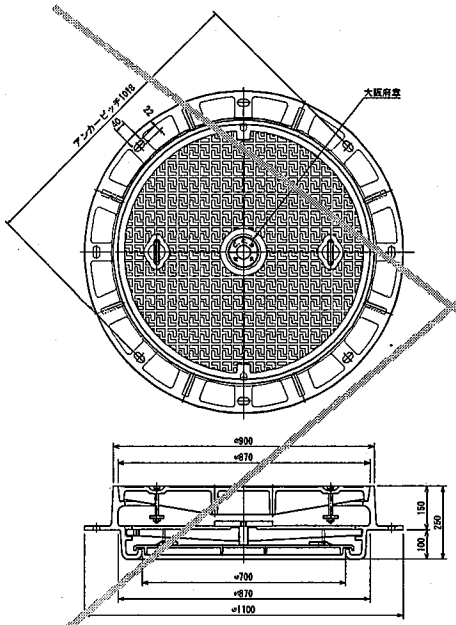


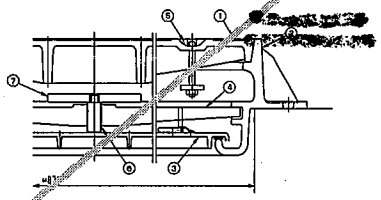
参考重量
蓋：68kg
受枠：50kg

8	回転錠	FCD600	1	
7	ピン	ステンレス	1	Oリング
6	キャップ	EPDM	1	
5	ゴム栓	EPDM	1	
4	蝶番押え	NBR	1	
3	蝶番金物	FCD600	1	ダブルストッパー付
2	受枠	FCD600	1	
1	蓋	FCD700	1	
品番	部品名	材質	個数	備考

車道用・T－25	
一軸荷重	100kN
衝撃係数	0.4

電力桝蓋構造図
S=1/6



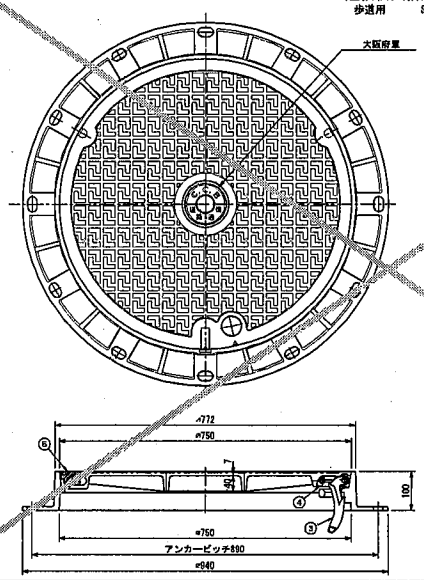


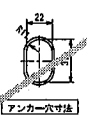
設計重量
蓋：110kg
受枠：158kg
中蓋：35kg

8	回転錠	FCD600	1	
7	ピン	ステンレス	1	Oリング
	キャップ	EPDM	1	
5	ゴム栓	EPDM	1	
4	蝶番押え	NBR	1	
3	蝶番金物	FCD600	1	ダブルストッパー付
2	受枠	FCD600	1	
1	蓋	FCD700	1	
品番	部品名	材質	個数	備考

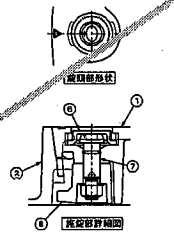
車道用・T－25	
一軸荷重	100kN
衝撃係数	0.4

通信桝蓋構造図
歩道用　S=1/6





アンカー穴寸法



参考重量
蓋：44kg
受枠：50kg

8	回転錠	FCD600	1	
7	ピン	ステンレス	1	Oリング
	キャップ	EPDM	1	
5	ゴム栓	EPDM	1	
4	蝶番押え	NBR	1	
3	蝶番金物	FCD600	1	ダブルストッパー付
2	受枠	FCD600	1	
1	蓋	FCD700	1	
品番	部品名	材質	個数	備考

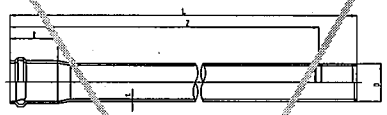
歩道用・T－25	
一軸荷重	50kN
衝撃係数	0.1

年度	令和2年度	作成年月	令和2年 9月
地名	[redacted]		
路線名	[redacted]		
工事名			
図面種別	鉄蓋構造図(1)		
縮尺	図示	設計	番号 13/75
鳳土木事務所			

管路材詳細図(1)

VP(フリーアクセス)・ボディ管・ECVP

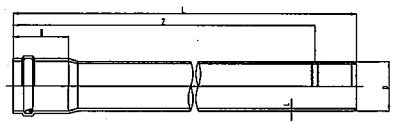
共用FA管（VP管　直管）



単位：mm

呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
	R(最大)	D	t(最小)	Z	L
150	223	165	8.9	1,000	5,165

ボディ管（VP管　直管）

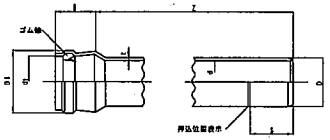


単位：mm

呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
	R(最大)	D	t(最小)	Z	L
200	250	216	10.3	2,500 5,000	2,690 5,190
250	270	267	12.7	2,500 5,000	2,710 5,210

ゴム輪受口片受直管（ECVP）

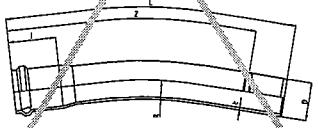
φ100＝φ125はSVPと寸法が同一のため本図を共用とする。



単位：mm

呼び径	D 基本寸法	D 製品許容差	D1 (参考値)	d (参考値)	d1±0.5	R≧	S±5	Z標	t
75	89.0	±0.3	120.7	77	90.2	120	120	5,000	5.9±0.6
100	114.0	±0.4	150.0	100	115.5	120	122		7.1±0.8
125	142.5	±0.5	182.4	125	144.2	135	138		8.5±0.8
150	170.5	±0.6	213.0	150	172.7	142	145		10.0±0.8

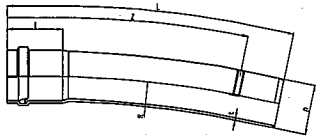
共用FA管（VP管　曲管）



単位：mm

呼び径	受口長	外径	厚さ	曲率半径	有効長	全長
	R(最大)	D	t(最小)	R	Z	L
150	226	165	8.9	5,000 10,000	1,000	1,165

ボディ管（VP管　曲管）

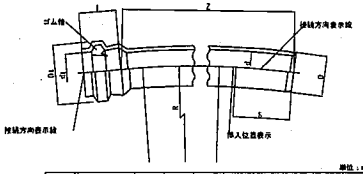


単位：mm

呼び径	長さ	外径	厚さ	曲率半径	有効長	全長
	R(最大)	D	t(最小)	R	Z	L
200	250	216	10.3	5,000 10,000	1,000	1,190
250	270	267	12.7			1,210

ゴム輪受口片受曲管（ECVP）

φ100＝φ125はSVPと寸法が同一のため本図を共用とする。

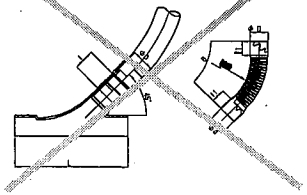


単位：mm

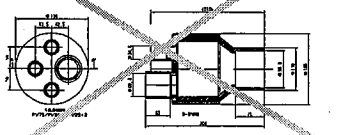
呼び径	D 基本寸法	D 製品許容差	D1 (参考値)	d (参考値)	d1±0.5	R≧	S±5	Z標	t	L±50
75	89.0	±0.3	120.7	77	90.2	120	120	1,000	5.9±0.6	5,000 10,000
100	114.0	±0.4	150.0	100	115.5	130	122		7.1±0.8	
125	142.5	±0.5	182.4	125	144.2	135	138	2,000	8.5±0.8	
150	170.5	±0.6	213.0	150	172.3	142	145		10.0±0.8	

注・外径D は、挿込み長さ3部にのみ適用します。

共用FA分岐管



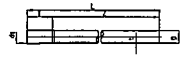
引込分散継手



単位：mm

呼び径	本体部				曲管部				
	B(基本寸法)	I(参考)	t(参考)	L(参考)	θ(参考)	R(参考)	d(参考)	B1(参考)	B2(参考)
150×50	60	65	5.0	440	65°	300	60.8	60	63
150×75	96	—	8.5	486	45°	300	96.8	96	75

さや管（SU管　直管）

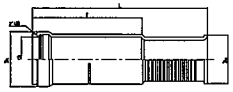


単位：mm

呼び径	受口内径	受口長	外径	厚さ	有効長	全長
	d1	l	D	t	Z	L
20	34.4	110	34	2.9	5,000	5,110
50	54.4		54			

ダクトスリーブ（ECVP）

φ100＝φ125はSVPと寸法が同一のため本図を共用とする。



単位：mm

呼び径 (参考値)	D1	d	L	D1
100	117.0	141.2±0.5	230.0±2	450±2	139.0±0.5

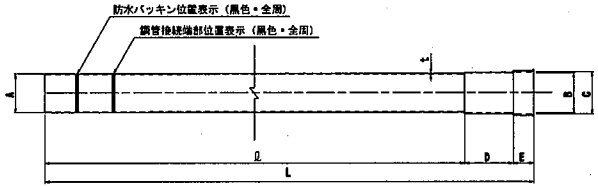
注：附帯条件記入欄は実用上差し支えのない範囲とする。

年度	令和02年度
作成年月	令和02年 9月
地名	[redacted]
路線名	[redacted]
工事名	
図種別	管路材詳細図(1)
縮尺	NS
設計	
番号	13/75
風土木事務所	

管路材詳細図(2)

KGP・PV

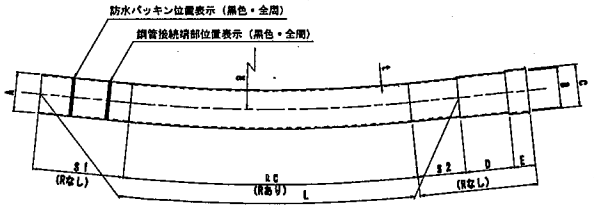
ケーブル保護鋼管直管（KGP）



単位：mm

寸法 / 呼び径	管の外径 A	接合部 B	C	D	E	管の厚さ t	有効長 ℓ	全長 L	ふっ素樹脂塗 g/m2	概算質量（ふっ素含む） kg/m
80	89.1	91.2	98.0	150	75	3.0	3500	3725	600	7.4
100	114.3	116.4	123.4	150	75			3725	550	8.6
125	139.8	142.0	152.0	175	75			3750	600	10.8

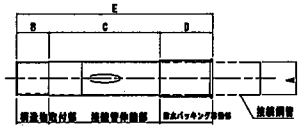
ケーブル保護鋼管曲管（KGP）



単位：mm

寸法 / 呼び径	管の外径 A	接合部 B	C	D	E	直線部 S1	S2	管の厚さ t	曲げ半径 R	有効長 L	概算質量（ふっ素含む） kg/m
80	89.1	91.2	98.0	150	75	225	175	3.0	5000	1500	7.4
100	114.3	116.4	123.4	150	75						8.6
125	139.8	142.0	152.0	175	75						10.8

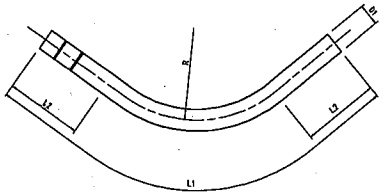
伸縮性取付管（KGP）



単位：mm

寸法 / 呼び径	接続鋼管 A	鋼造物取付部 B	防水用管取付部 C	防水パッキング管路部 D	全長 E
80	89.1	140	450	225	815
100	114.3	140	450	225	815
125	139.8	140	475	225	840

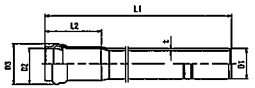
KGP ベンド管



呼径	L1	L2	D1	t	R
125	2215	500	140	3.0	600
100	1632	300	114	2.8	600
80	1612	300	89	2.3	600

（単位：mm）

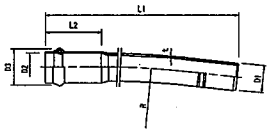
P-V 直管



呼径	L1	L2	D1	D2	D3	t
75	5090	182	96	97.3	129	6.5
50	4110	144	60	61	84	4.5
25	4075	115	34	34.6	50	3.0

（単位：mm）

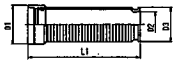
P-V 曲管



呼径	L1	L2	D1	D2	D3	t	R
75	1140	182	96	97.3	129	6.5	5000, 10000
50	1110	144	60	61	84	4.5	5000, 10000

（単位：mm）

P-V ダクトスリーブ



呼径	L1	D1	D2	D3
75	260	124	83	110
50	225	83	61	76
25	158	52	28	48

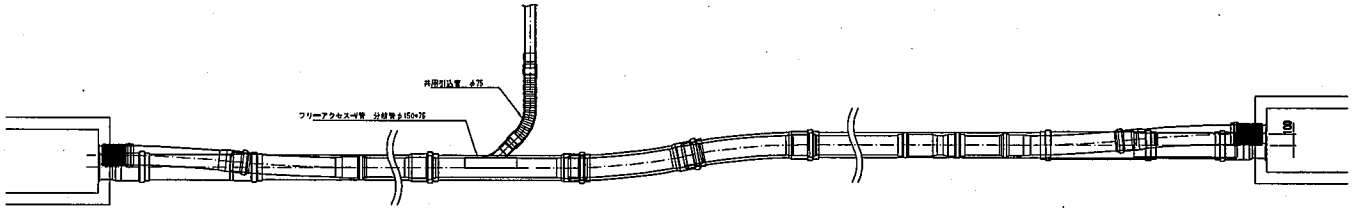
（単位：mm）

年度	令和2年度	作成年月	令和2年 9月
地名	[redacted]		
路線名	[redacted]		
工事名			
図面種別	管路材詳細図(2)		
縮尺	NS	設計	番号 13/75
風土木事務所			

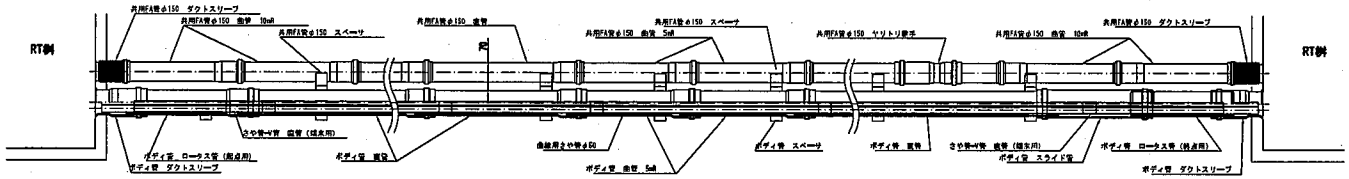
共用FA・ボディ管 標準構成図

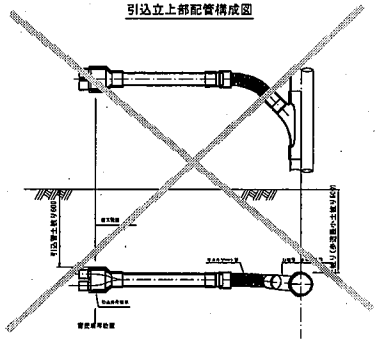
[redacted]

平 面 図



側 面 図





ボディ管φ150とさや管の組合せ

さや管		
	φ50	2
	φ30	3
断面図		

ボディ管φ200とさや管の組合せ

さや管					
	φ50	3	4	5	6
	φ30	9	7	5	2
断面図					

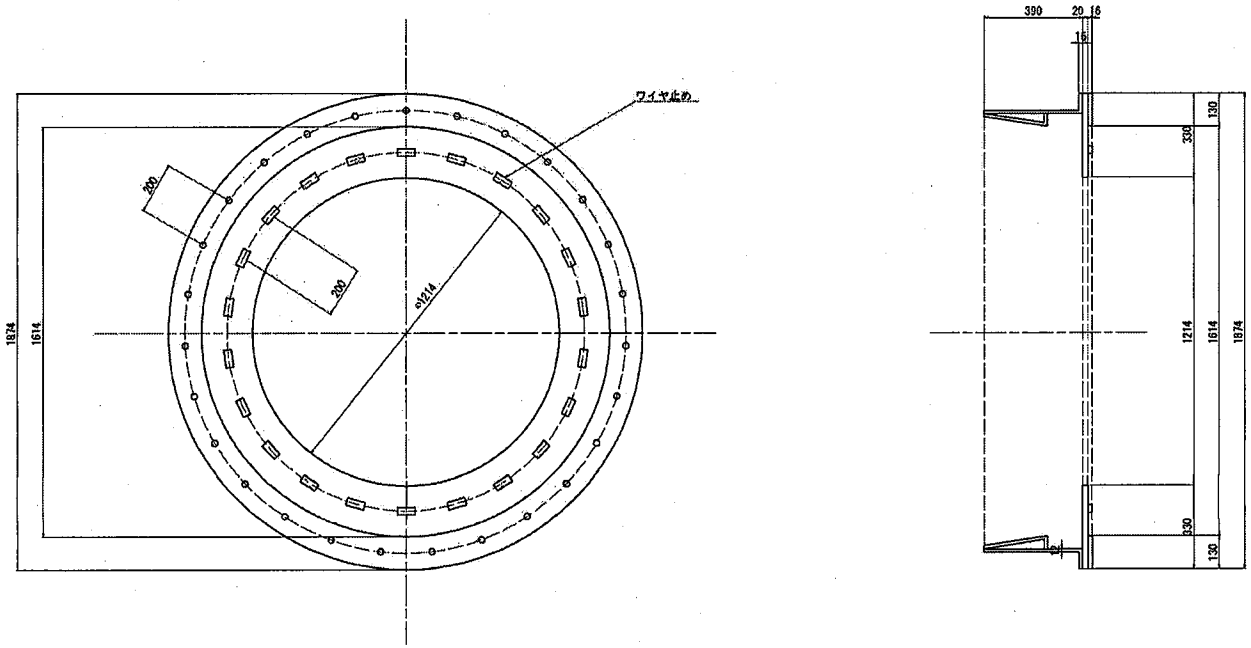
ボディ管φ250とさや管の組合せ　　使用パターン

さや管						
	φ50	4	5	6	7	8	9
	φ30	17	15	10	8	4	2
断面図							

年度	令和2年度	作成年月	令和2年 9月
地名	[redacted]		
路線名	[redacted]		
工事名			
図面種別	共用FA・ボディ管 標準構成図		
縮尺	NS	設計	番号 13/75
風土木事務所			

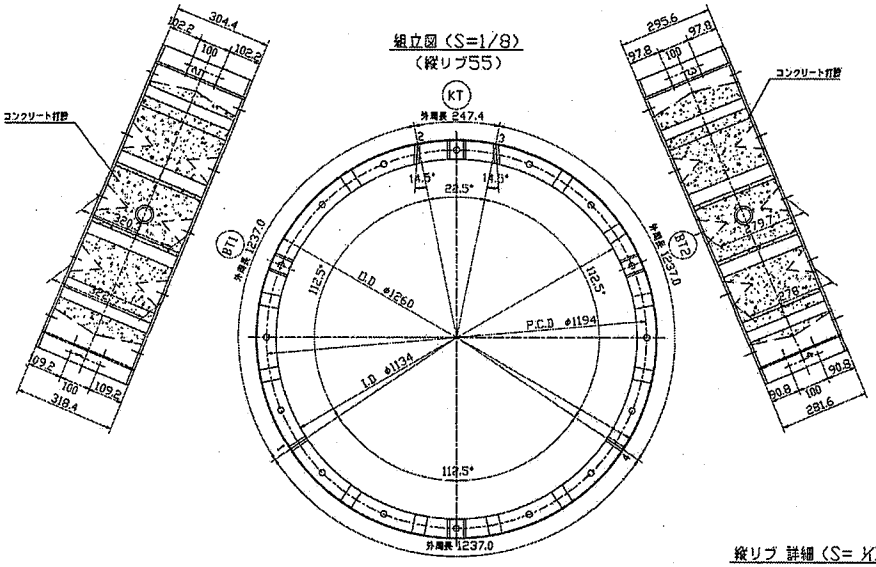
到達坑口参考図

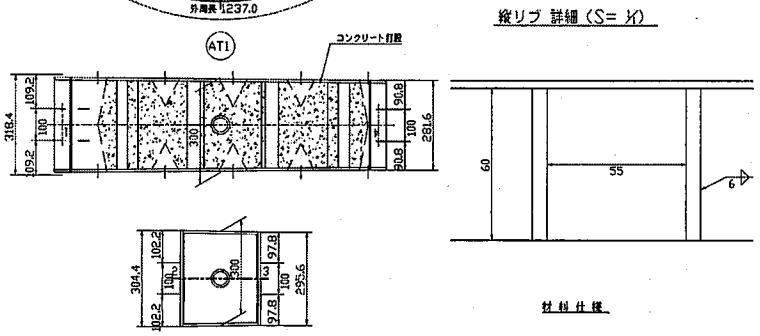
縮尺 1:10



[redacted]

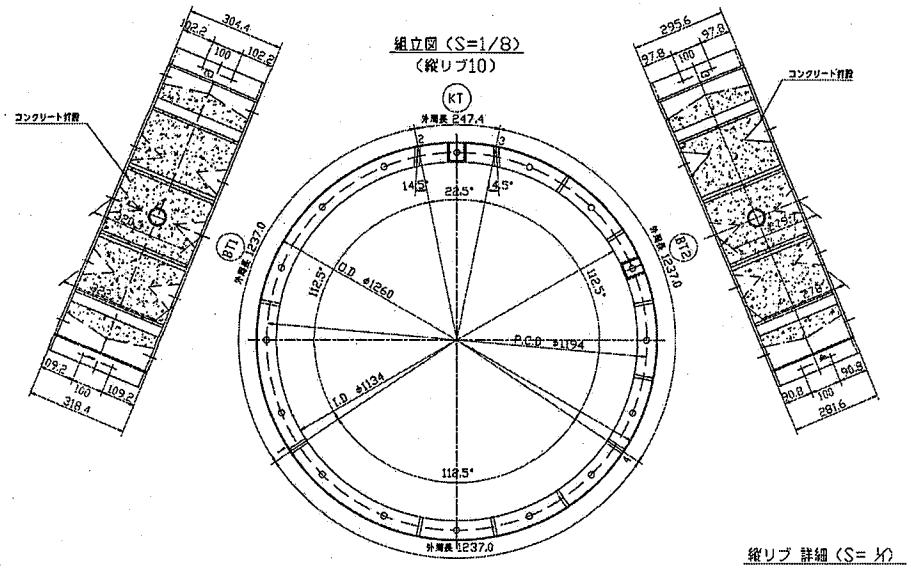
スチールセグメント(R=10、テーパー44mm) φ1260X300X63 縦リブ10mm, 55mm

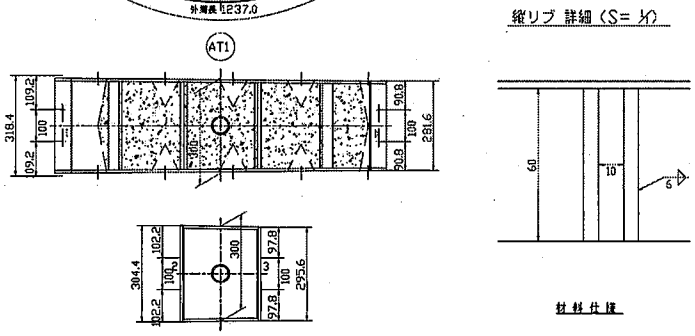




材料仕様

スキンプレート	PL-3
主 桁	PL-8X60
縦リブ	PL-55X60
継手板 A	PL-8X60
継手板 BK	PL-8X60

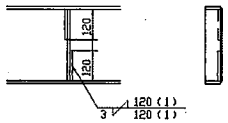




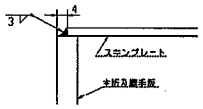
材料仕様

スキンプレート	PL-3
主 桁	PL-8X60
縦リブ	PL-10 X60
継手板 A	PL-8X60
継手板 BK	PL-8X60

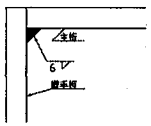
縦リブ-スキンプレート 溶接



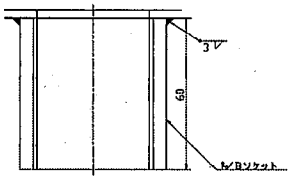
スキンプレート-主桁及継手板 溶接



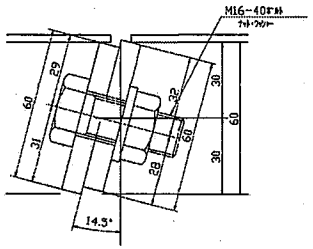
主桁-継手板 溶接



注入孔 詳細 (S= 1/1)



B・K継手部 詳細(S= 1/1)



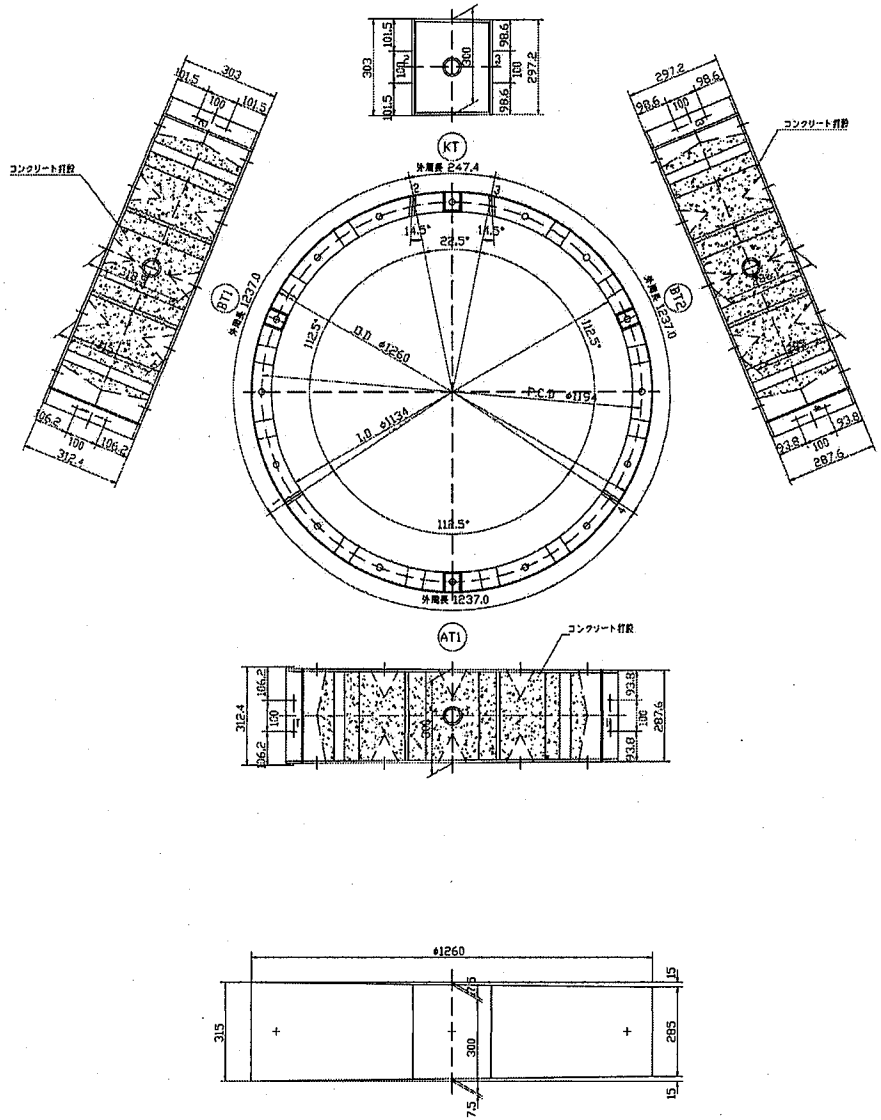
仕 様

外径	φ1260
幅	322-278(テーパー量44)
高さ	63
分割数	4 分割
付属品	注入孔
	ボルト(M16-40)(4.6)
材質	SM490A
塗装	外面サビ止1回

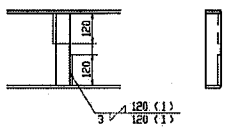
[redacted]

スチールセグメント(R=15、テーパー30mm) φ1260X300X63 縦リブ55mm

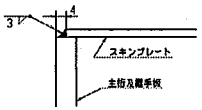
組立図 (S=1/8)



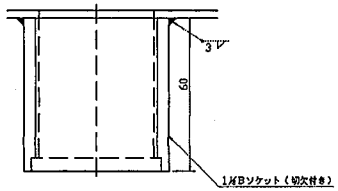
縦リブ－スキンプレート 溶接



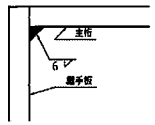
スキンプレート－主桁及継手板 溶接



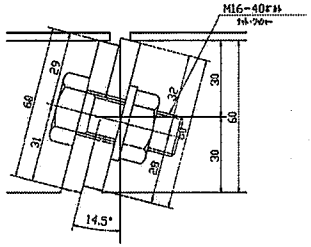
注入孔 詳細 (S= 1/1)



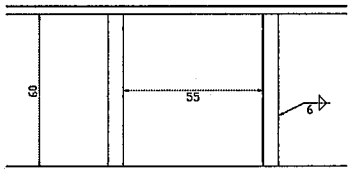
主桁－継手板 溶接



B・K継手部 詳細(S= 1/1)



縦リブ 詳細 (S= 1/1)



材料仕様

スキンプレート	PL-3
主 桁	PL-8X60
縦リブ	PL-55X60
継手板 A	PL-8X60
継手板 BK	PL-8X60

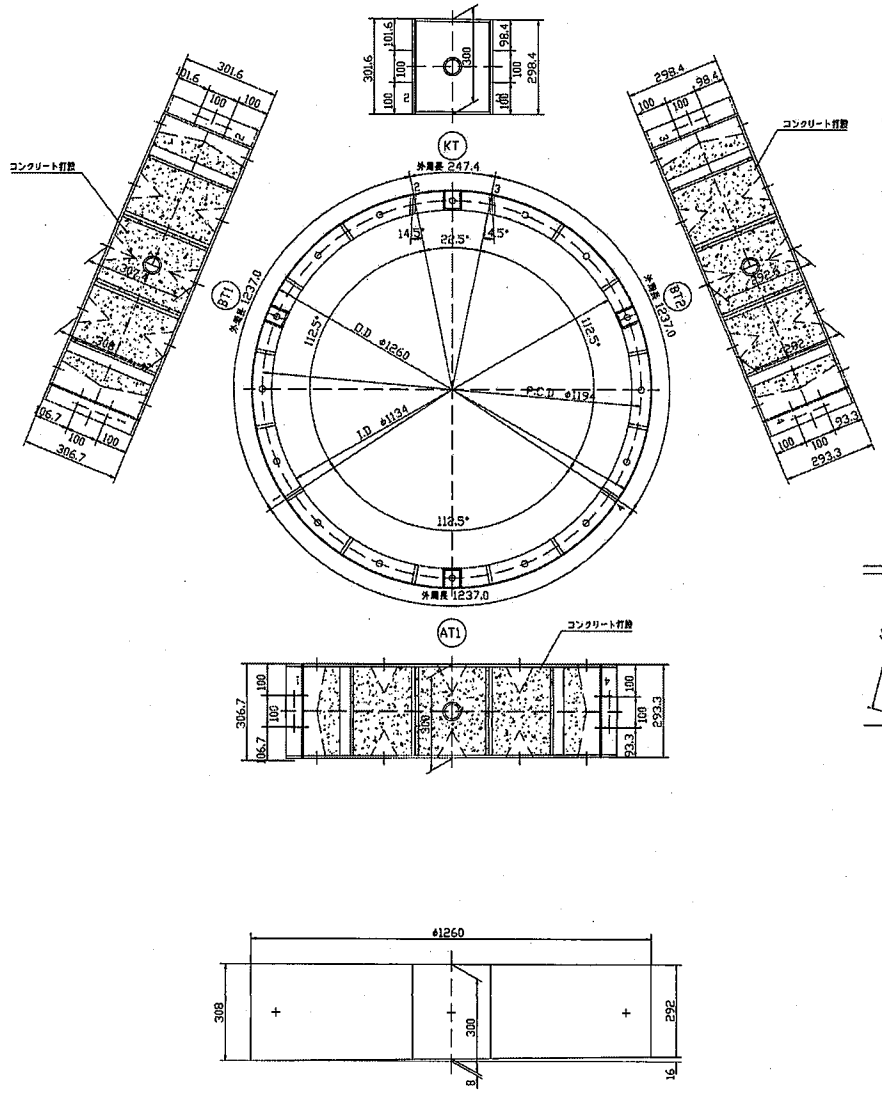
仕 様

外径	φ1260
幅	315-285(テーパー量30)
高さ	63
分割数	4 分割
付属品	注入孔 1/4Bソケット(切欠付き)
	ボルト(M16-40)(4.6)
材質	SM490A
塗装	外面サビ止塗

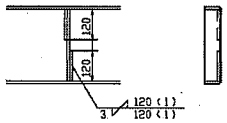
[redacted]

スチールセグメント(R=30、テーパー16mm) φ1260X300X63 縦リブ10mm

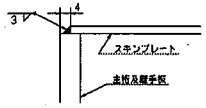
組立図 (S=1/8)



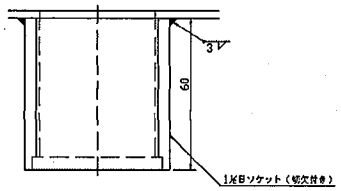
縦リブ-スキンプレート 溶接



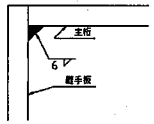
スキンプレート-主桁及継手板 溶接



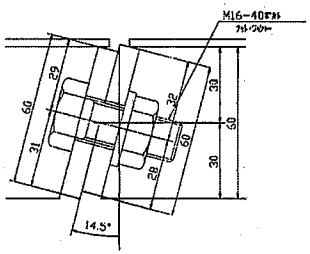
注入孔 詳細 (S= 1/1)



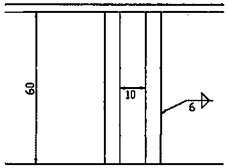
主桁-継手板 溶接



B・K継手部 詳細(S= 1/1)



縦リブ 詳細 (S= 1/1)



材料仕様

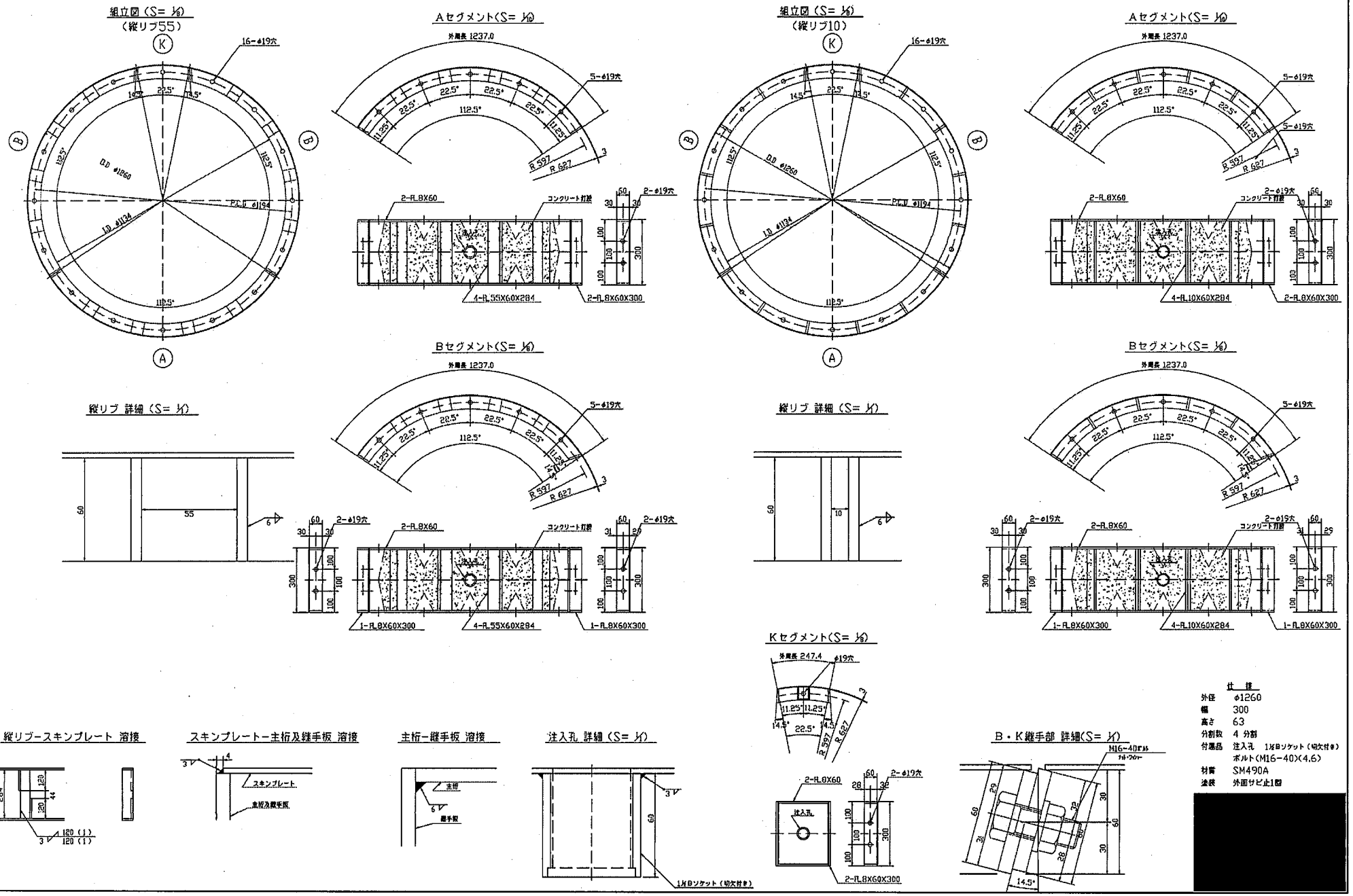
スキンプレート	PL-3
主 桁	PL-8X60
縦リブ	PL-10 X60
継手板 A	PL-8X60
継手板 BK	PL-8X60

仕 様

外径	φ1260
幅	308-292(テーパー量16)
高さ	63
分割数	4 分割
付属品	注入孔 1¼Bソケット(切欠付き) ボルト(M16-40)(4.6)
材質	SM490A
塗装	外面サビ止1回

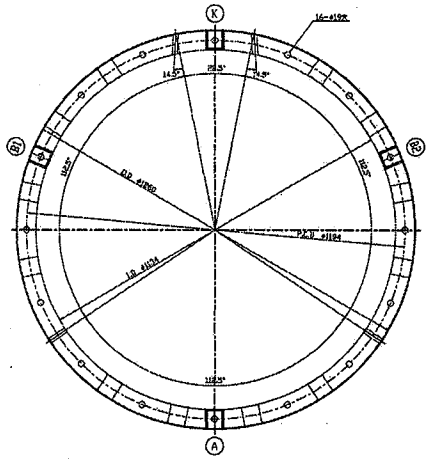
[redacted]

スチールセグメント(普通) φ1260X300X63 縦リブ10mm, 55mm

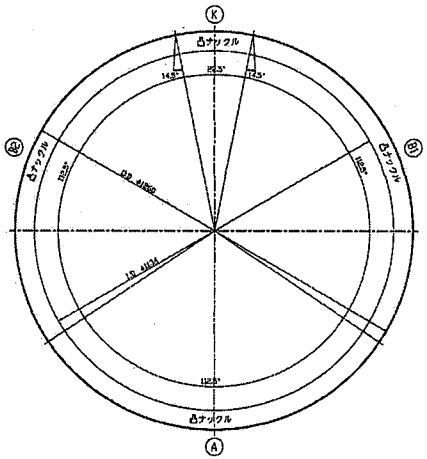


スチールセグメント（ナックル凸） φ1260X300X63 縦リブ55mm

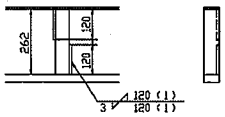
坑口側組立図(S= 1/8)



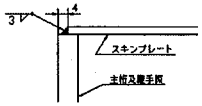
切刃側組立図(S= 1/8)



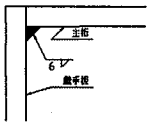
縦リブ－スキンプレート 溶接



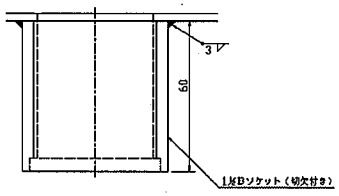
スキンプレート－主桁及継手板 溶接



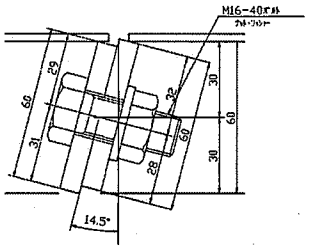
主桁－継手板 溶接



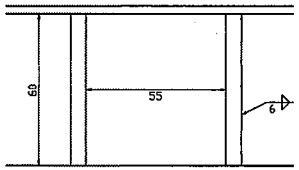
注入孔 詳細（S= 1/1）



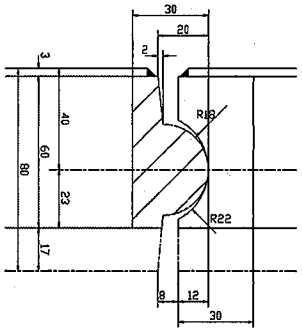
B・K継手部 詳細(S= 1/1)



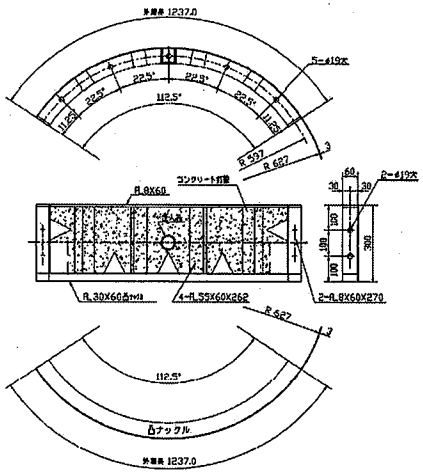
縦リブ 詳細（S= 1/1）



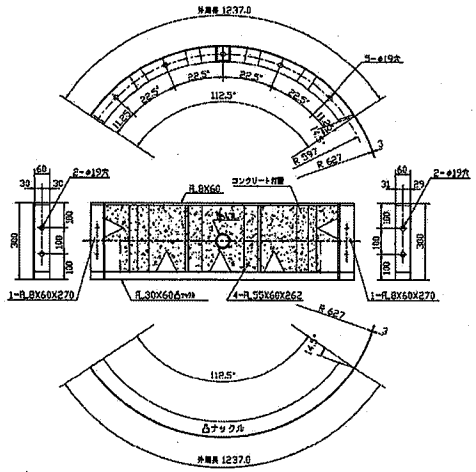
ナックル部詳細(S= 1/1)



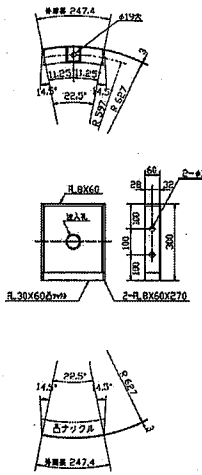
Aセグメント(S= 1/10)



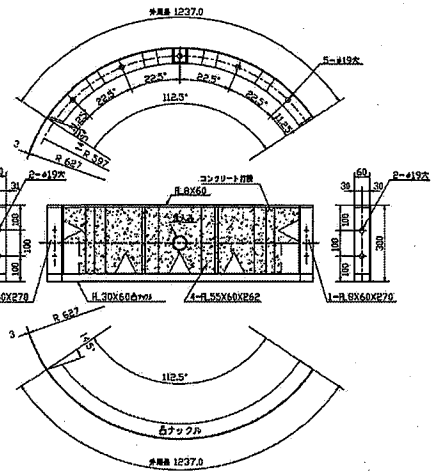
B1セグメント(S= 1/10)



Kセグメント(S= 1/10)



B2セグメント(S= 1/10)



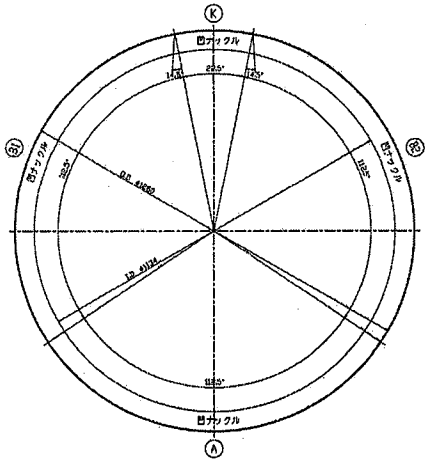
仕 様

外径	φ1260
幅	300
高さ	63
分割数	4 分割
付属品	注入孔 1/8Bソケット（切欠付き） ボルト(M16-40)(4.6)
材質	SM490A
塗装	外面ｾﾒﾝﾄ止1回

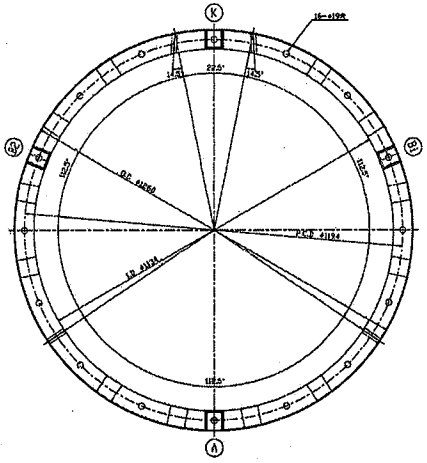
[redacted]

スチールセグメント(ナックル凹) φ1260X300X63 縦リブ55mm

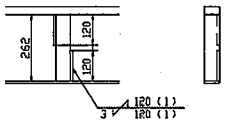
坑口側組立図(S= 1/6)



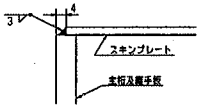
切刃側組立図(S= 1/6)



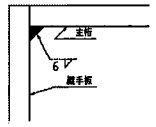
縦リブ-スキンプレート 溶接



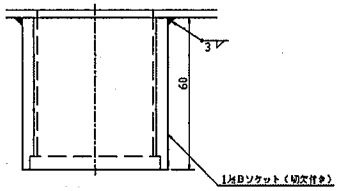
スキンプレート-主桁及継手板 溶接



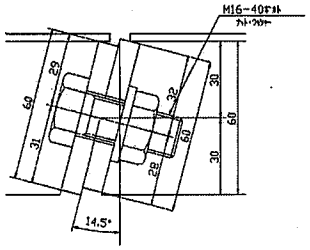
主桁-継手板 溶接



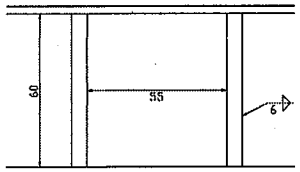
注入孔 詳細 (S= 1/1)



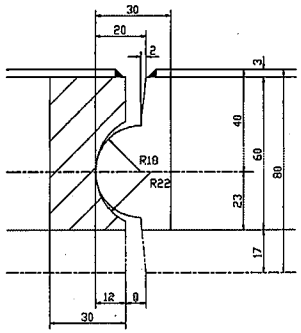
B・K継手部 詳細(S= 1/1)



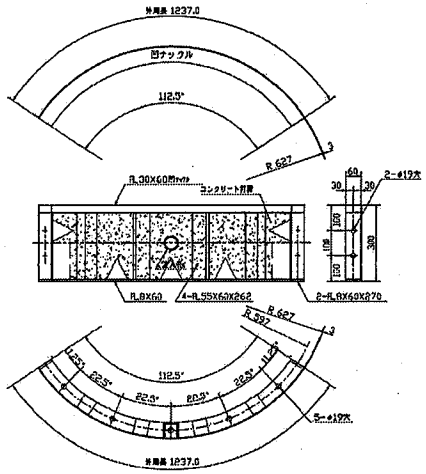
縦リブ 詳細 (S= 1/1)



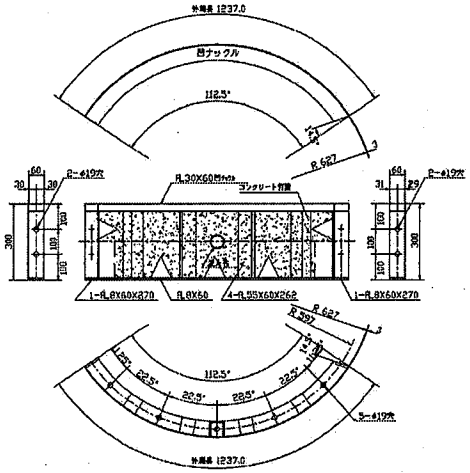
ナックル部詳細(S= 1/1)



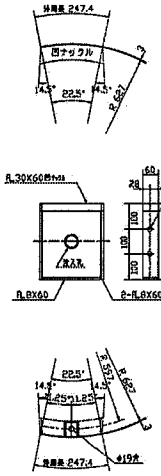
Aセグメント(S= 1/10)



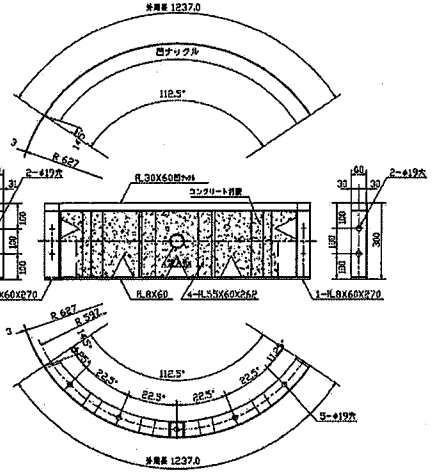
B1セグメント(S= 1/10)



Kセグメント(S= 1/10)



B2セグメント(S= 1/10)



仕 様

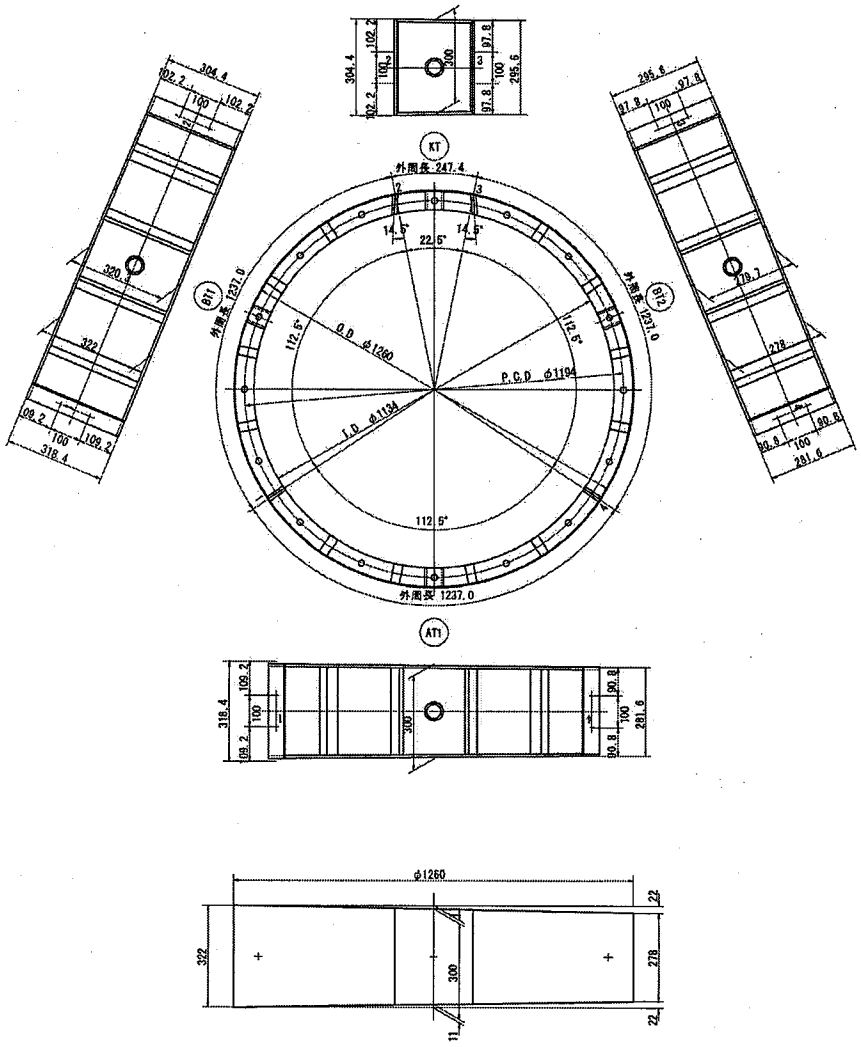
外径	φ1260
幅	300
高さ	63
分割数	4 分割
付属品	注入孔 1/4Bソケット(切欠付き) ボルト(M16-40)(4.6)
材質	SM490A
塗装	外面サビ止1回

[redacted]

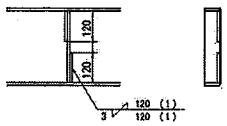
シールド工法用鋼製セグメント構造一般図(2)　縮尺 1:8

スチールセグメント(R=10_28タイプ) φ1260X300X63 44テーパー

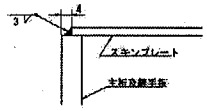
スチールセグメント(R=10_28タイプ)　縮尺 1:8



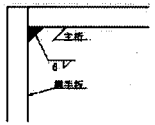
縦リブ-スキンプレート 溶接　縮尺 1:8



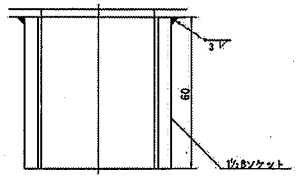
スキンプレート-主桁及継手板 溶接　縮尺 1:8



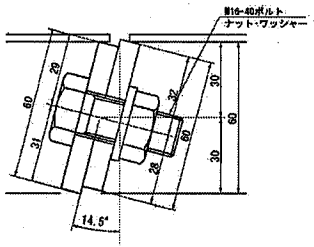
主桁-継手板 溶接　縮尺 1:8



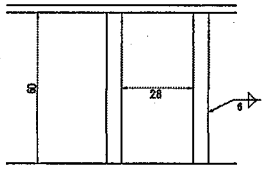
注入孔 詳細　縮尺 1:1



B-K継手部 詳細　縮尺 1:1



縦リブ 詳細　縮尺 1:1



材料仕様

スキンプレート	PL－3
主　桁	PL－8 X 60
縦リブ	PL－10 X 60
継手板 A	PL－6 X 60
継手板 BK	PL－6 X 60

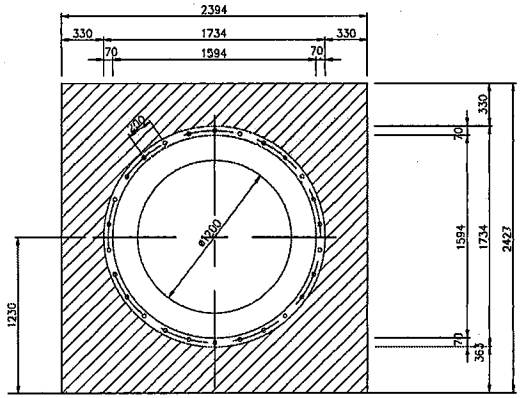
仕 様

外径	φ1260
幅	322-278(テーパー量44)
高さ	63
分割数	4 分割
付属品	注入孔
	ボルト(M16-40) (4.6)
材質	SM490A
塗装	外面サビ止1回

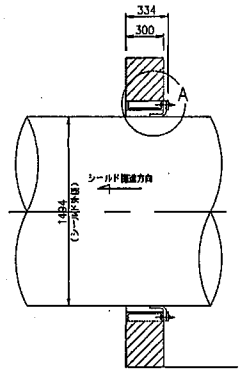
[redacted]

発進坑口構造図

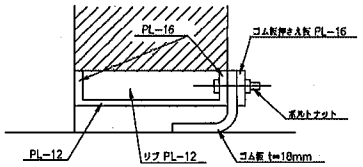
エントランス
S=1/20



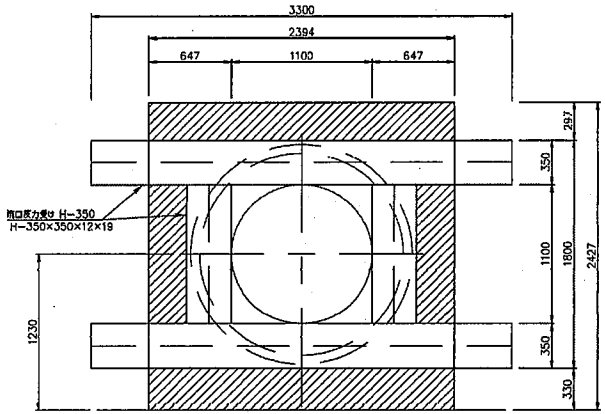
エントランス側面図
S=1/20



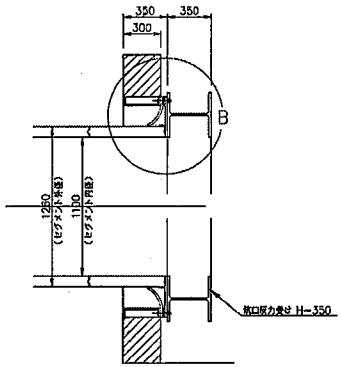
A部詳細図
S=1/5



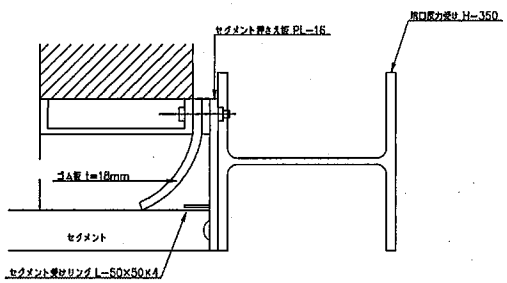
坑口反力受
S=1/20



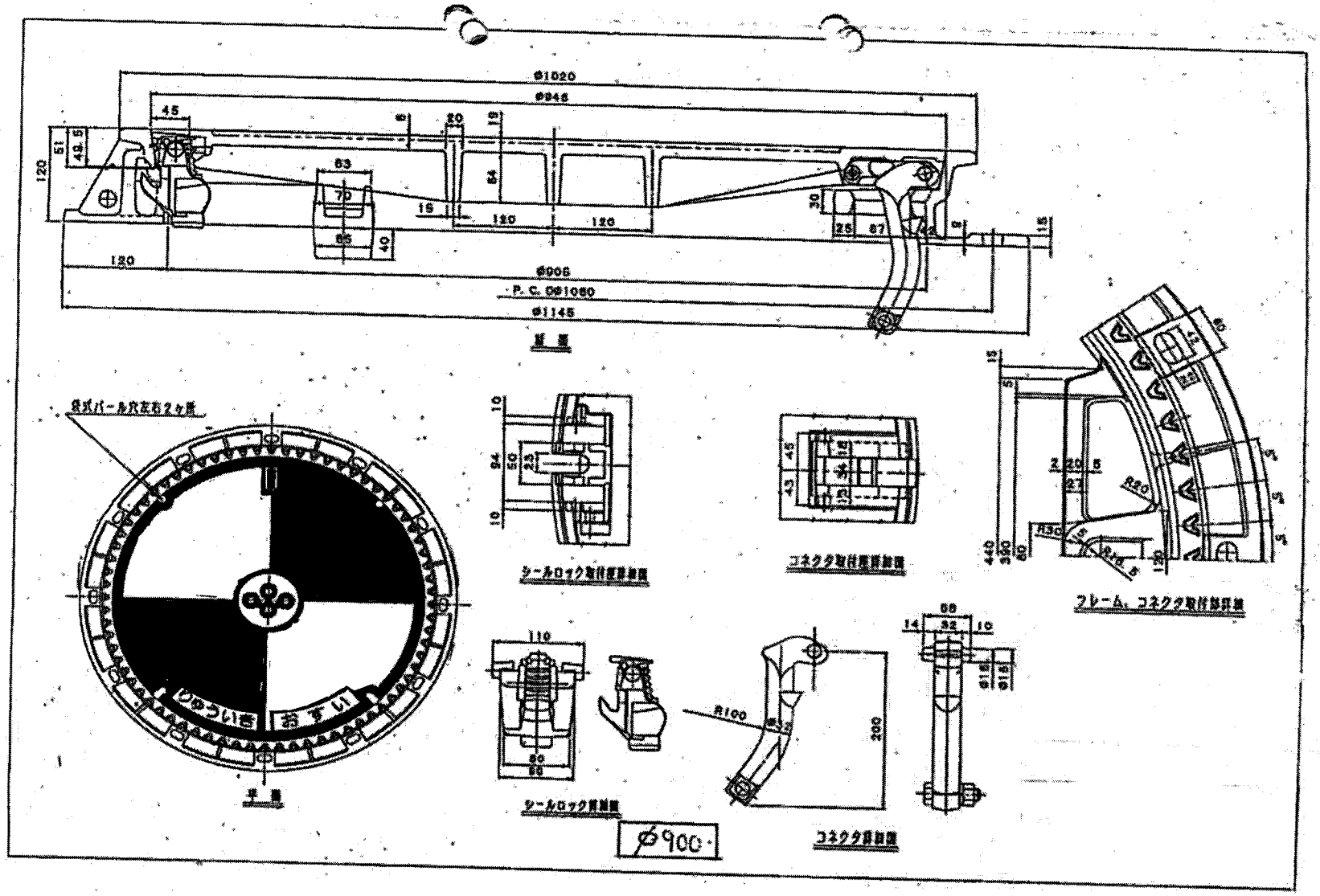
坑口反力受け側面図
S=1/20



B部詳細図
S=1/5



[redacted]

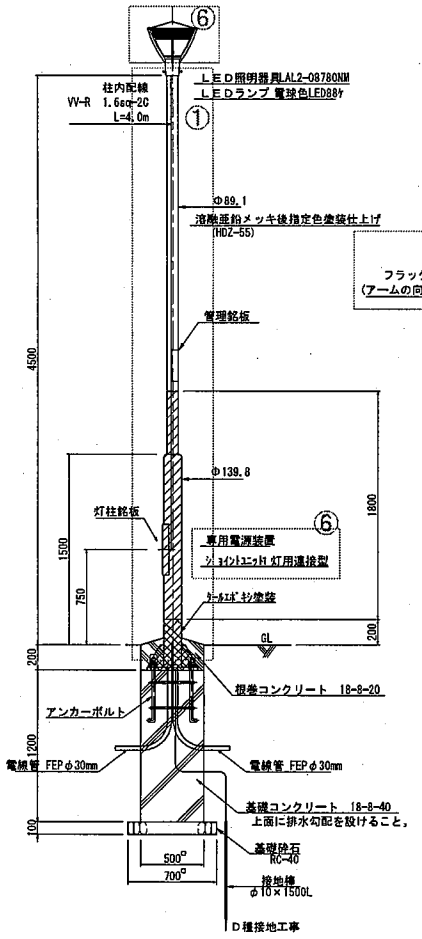


Ø1020
Ø945
Ø906
P. C. DØ1060
Ø1145
シールロック取付部詳細図
コネクタ取付部詳細図
フレーム、コネクタ取付部詳細
シールロック詳細図
コネクタ詳細図
Ø900

構 造 図 (2)

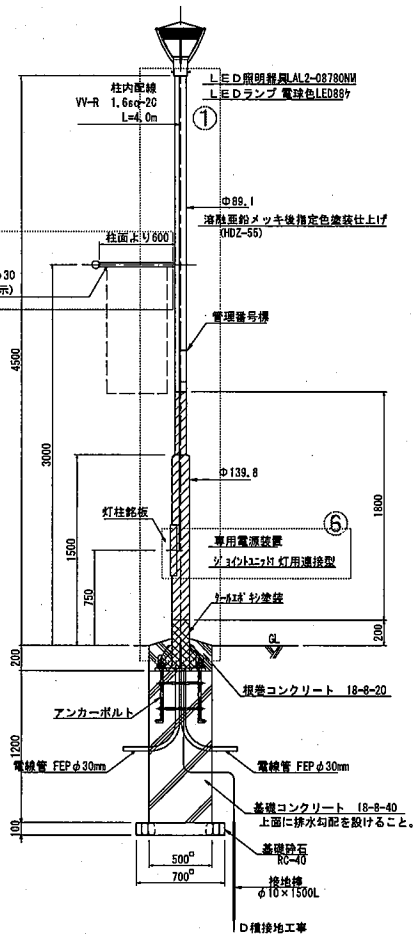
照明灯基礎、照明灯-1
S=1:20

断 面 図



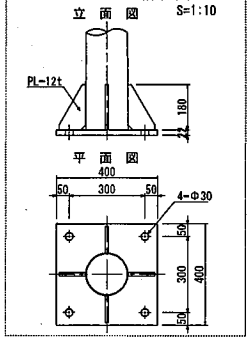
照明灯基礎、照明灯-2
S=1:20

断 面 図

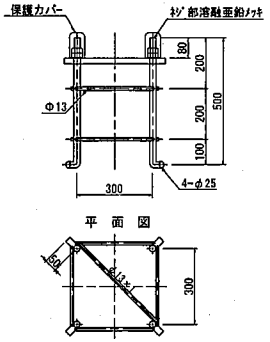


※照明灯-1、-2とも基礎は同等とする。

ベースプレート詳細図 ①
S=1:10



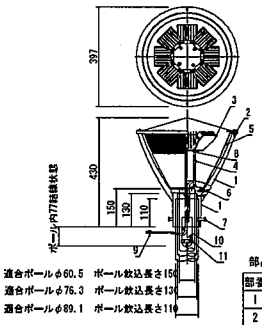
アンカーボルト詳細図 ③
S=1:10



LED照明器具参考図 ⑥
S=1:10

器具形式：LAL2-08780NM-10D10　適合ランプ：電球色LED80W

詳 細 図



電気特性

定格電圧		100V	200V
入力電流	点灯初期時	0.73A	0.38A
	6万時間経過時	0.87A	0.45A
	6万時間平均	0.80A	0.42A
入力電力	点灯初期時	72W	71W
	6万時間経過時	87W	85W
	6万時間平均	79W	78W
入力容量	点灯初期時	72.6VA	75.9VA
	6万時間経過時	87.2VA	90.3VA
	6万時間平均	79.9VA	83.1VA
力率		90%以上(最大値)	
周波数		50/60Hz	

部品表

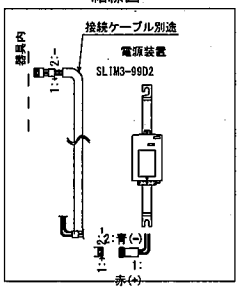
部番	部品名称	材質	処理	個数	備考
1	ホルダー・支柱	ADC12	塗装	1	
2	笠	アルミ	塗装	1	t1.0
3	LEDモジュール			1s	
4	内部支柱	SMRM		2	
5	グローブ	耐候性ポリカ	フロスト	1	
6	パッキン (1)	シリコンゴム	黒色	1	t2.0
7	六角ボルト	SUS304		4	M8×30
8	ナット	SUS304		2	M6
9	防水コネクタ	樹脂		1	2p
10	アース端子			1	M4
11	ケーブル押さえ	ファイバー		1s	

LED仕様

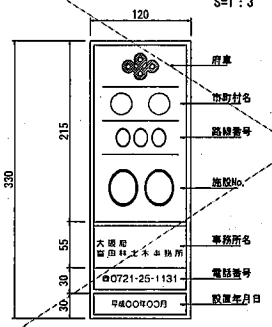
LED色	電球色LED
相関色温度	3000K
平均演色評価数	Ra80
LED設計寿命	60,000時間
電源設計寿命	60,000時間
LED粒数	80粒
定格光束(器具光束)	7810lm

適合ポール	φ89.1、φ76.3、φ60.5
器具質量	5kg
仕上げ	アクリル樹脂焼付け塗装
受圧面積	0.08m²

結線図

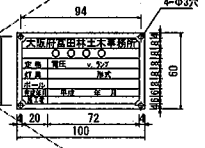


管理銘板詳細図
S=1:3



仕 様
- 基板は、ビニールテープ製、長さ330mm巾120mmとし、白地に緑、文字は青。
- 数字は、反射シート(JIS Z9117-1級)の抜形数字を貼付する。

灯柱銘板詳細図
S=1:2

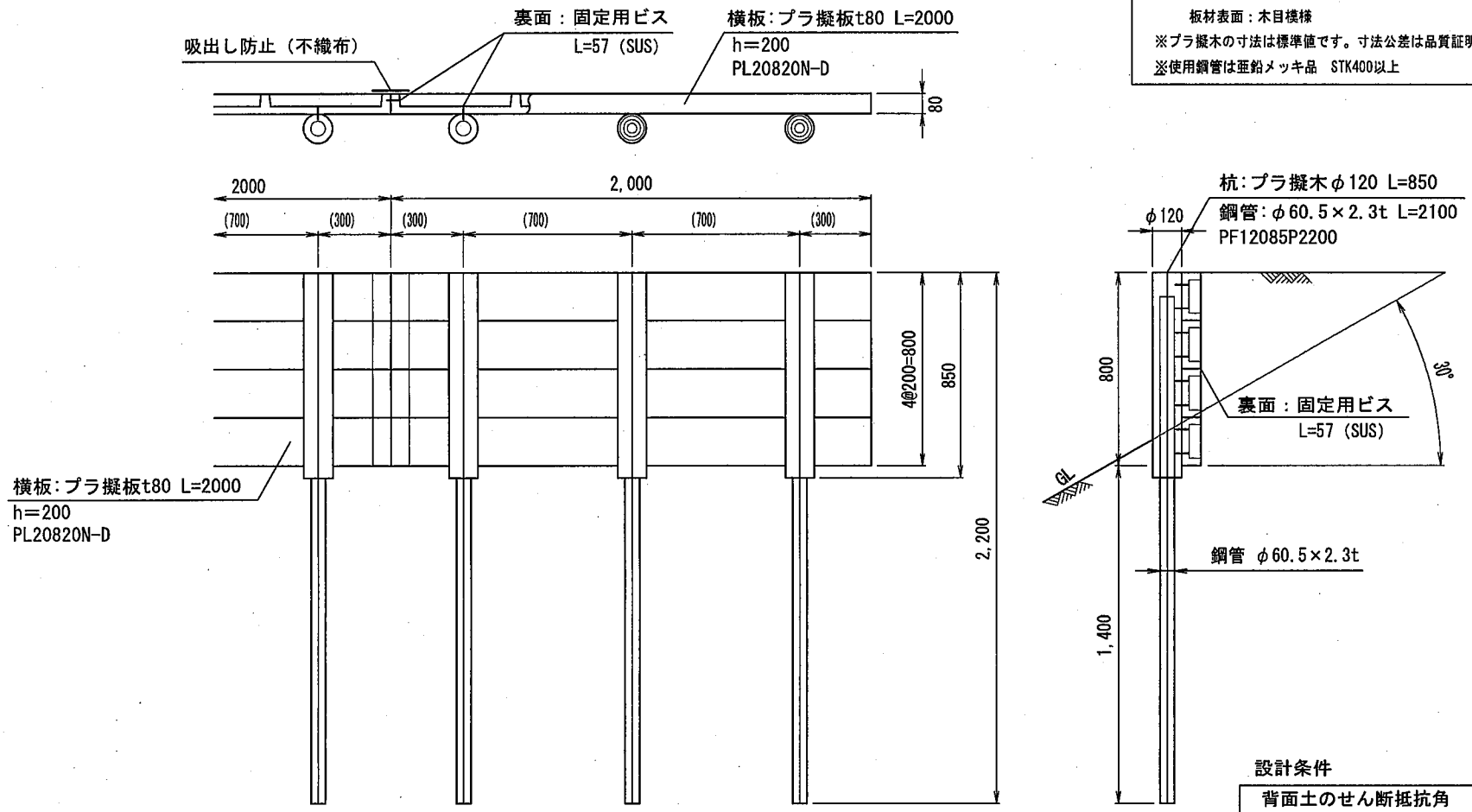


仕 様
- 取付ピッチ 54x94(Φ3x4)
- 文字は丸ゴシック体とする。
- 材質は、黄銅板t0.6mm厚ニッケル鍍金仕上げとする。
- 文字は、黒地に白文字浮き出しとする。
- 取付は真鍮製ビスでかしめ止めとする。

平成 30 年度	図面番号	5/7	
路線名	[redacted]		
委託名	[redacted]		
委託場所	[redacted]		
図面名	構造図 (2)	縮尺	図示
事務所名	大阪府富田林土木事務所		

プラ擬木 板柵土留H800（谷側 30度、40度）
S=1:25

【特記】
※プラ擬木は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）
※賠償責任保険加入品
※プラ擬木 色：ダークブラウン
丸太外観：クヌギ肌模様
板材表面：木目模様
※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。
※使用鋼管は亜鉛メッキ品　STK400以上



設計条件

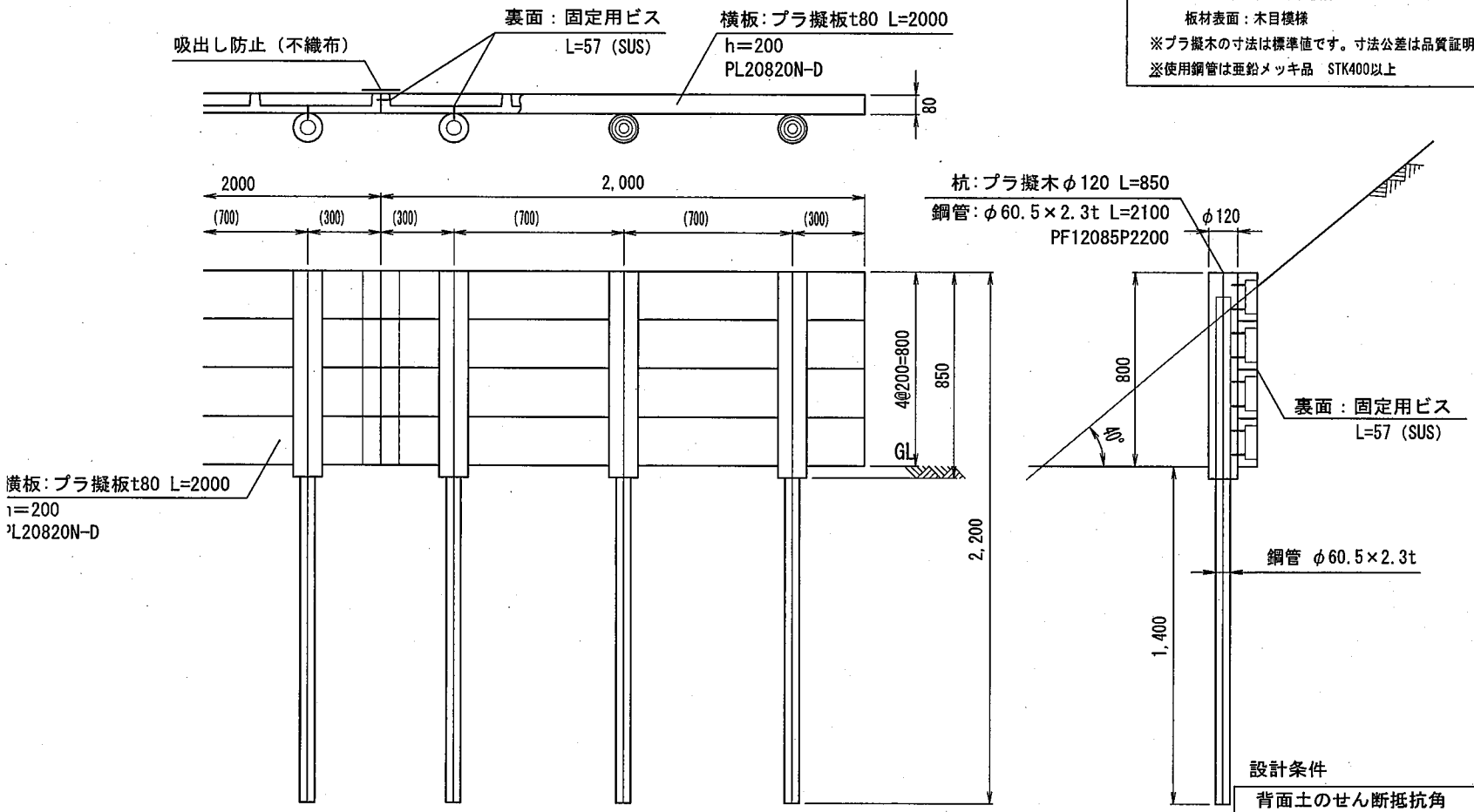
背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	5.00kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

施工時の注意：
※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。
※打込み鋼管の天端は、GL+700mmです。（樹脂カバー天端-100mm）
※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。

プラ擬木 板柵土留H800（山側 40度）
S=1:25

【特記】
※プラ擬木は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）
※賠償責任保険加入品
※プラ擬木 色：ダークブラウン
　丸太外観：クヌギ肌模様
　板材表面：木目模様
※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。
※使用鋼管は亜鉛メッキ品　STK400以上



設計条件

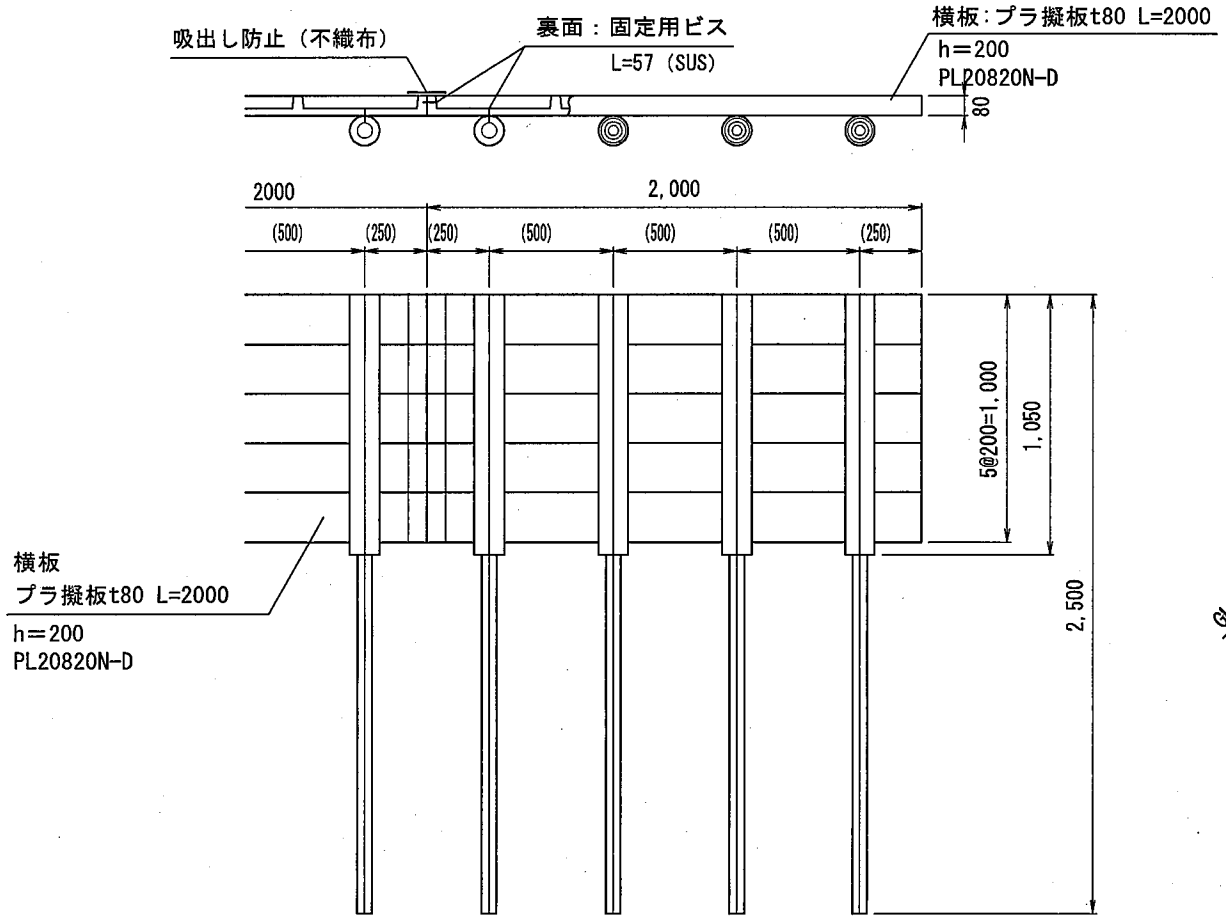
背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m³
背面土の粘着力	0.00kN/m²
載荷重	5.24kN/m²
杭根入れ地盤の平均N値	5

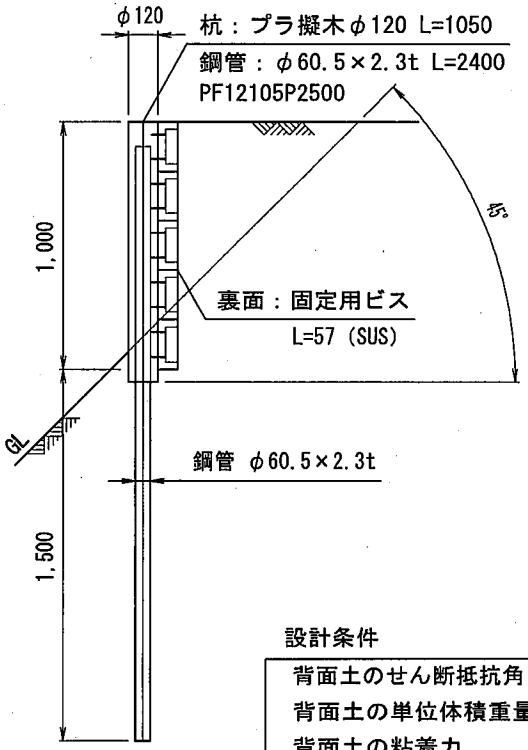
施工時の注意：
※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。
※打込み鋼管の天端は、GL+700mmです。（樹脂カバー天端-100mm）
※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。

プラ擬木 板柵土留H1000（谷側 45度）

S=1:30





【特記】
- ※プラ擬木は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）
- ※賠償責任保険加入品
- ※プラ擬木 色：ダークブラウン
  - 丸太外観：クヌギ肌模様
  - 板材表面：木目模様
- ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。
- ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上

設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	5.00kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

※地盤条件などにより、
部材サイズ等が変更されます。

施工時の注意：

※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。

※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。

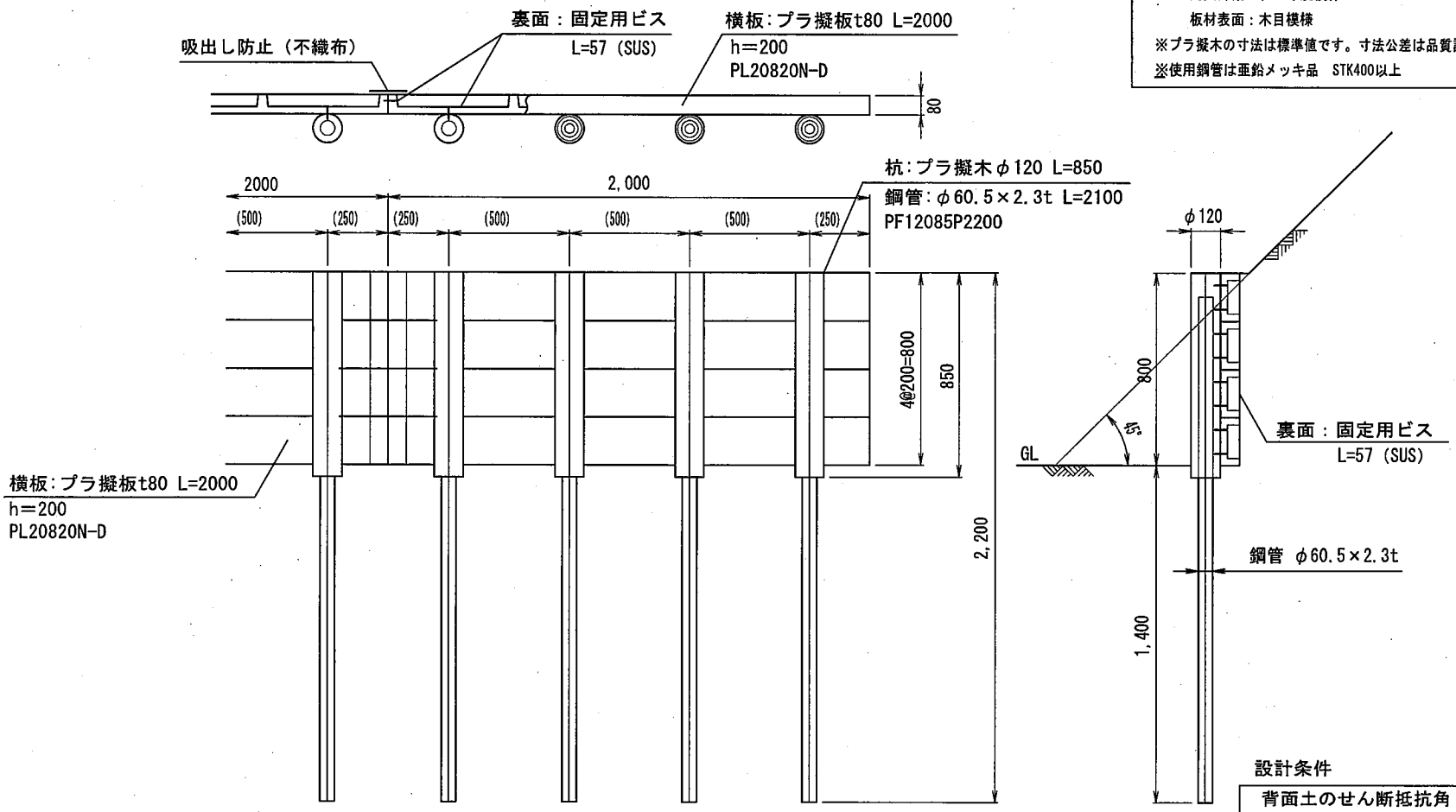
※打込み鋼管の天端は、GL+900mmです。（樹脂カバー天端-100mm）

※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

【特記】
※プラ擬木は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）
※賠償責任保険加入品
※プラ擬木 色：ダークブラウン
丸太外観：クヌギ肌模様
板材表面：木目模様
※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。
※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上

プラ擬木 板柵土留H800（山側 45度）

S=1:25



設計条件

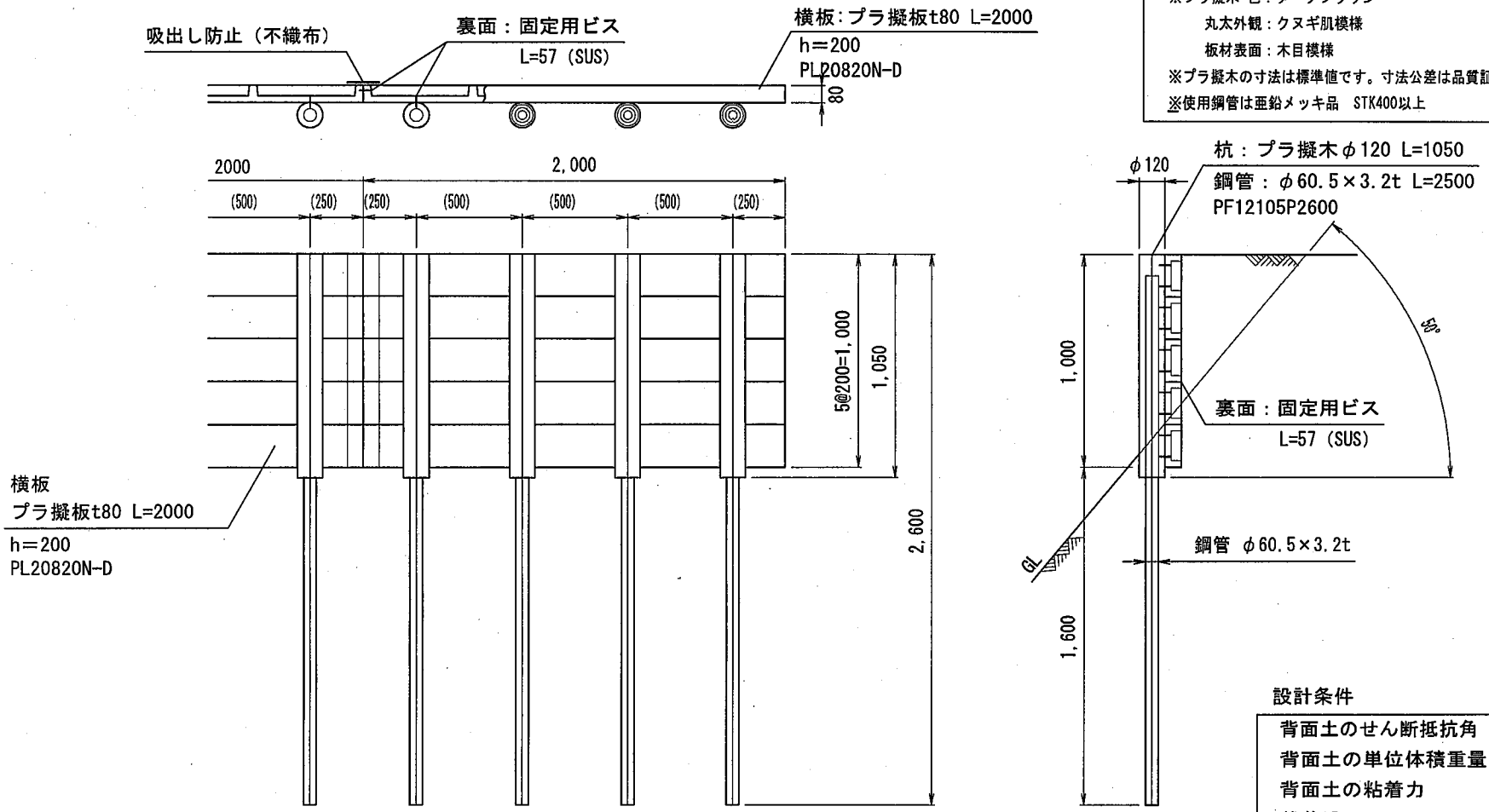
背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m³
背面土の粘着力	0.00kN/m²
載荷重	9.5kN/m²
杭根入れ地盤の平均N値	5

施工時の注意：
※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。
※打込み鋼管の天端は、GL+700mmです。（樹脂カバー天端-100mm）
※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

※地盤条件などにより、部材サイズ等が変更されます。

プラ擬木 板柵土留H1000（谷側 50度）

S=1:30



【特記】
- ※プラ擬木は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）
- ※賠償責任保険加入品
- ※プラ擬木 色：ダークブラウン
  - 丸太外観：クヌギ肌模様
  - 板材表面：木目模様
- ※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。
- ※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上

設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	5.00kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

※地盤条件などにより、
部材サイズ等が変更されます。

施工時の注意：

※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。

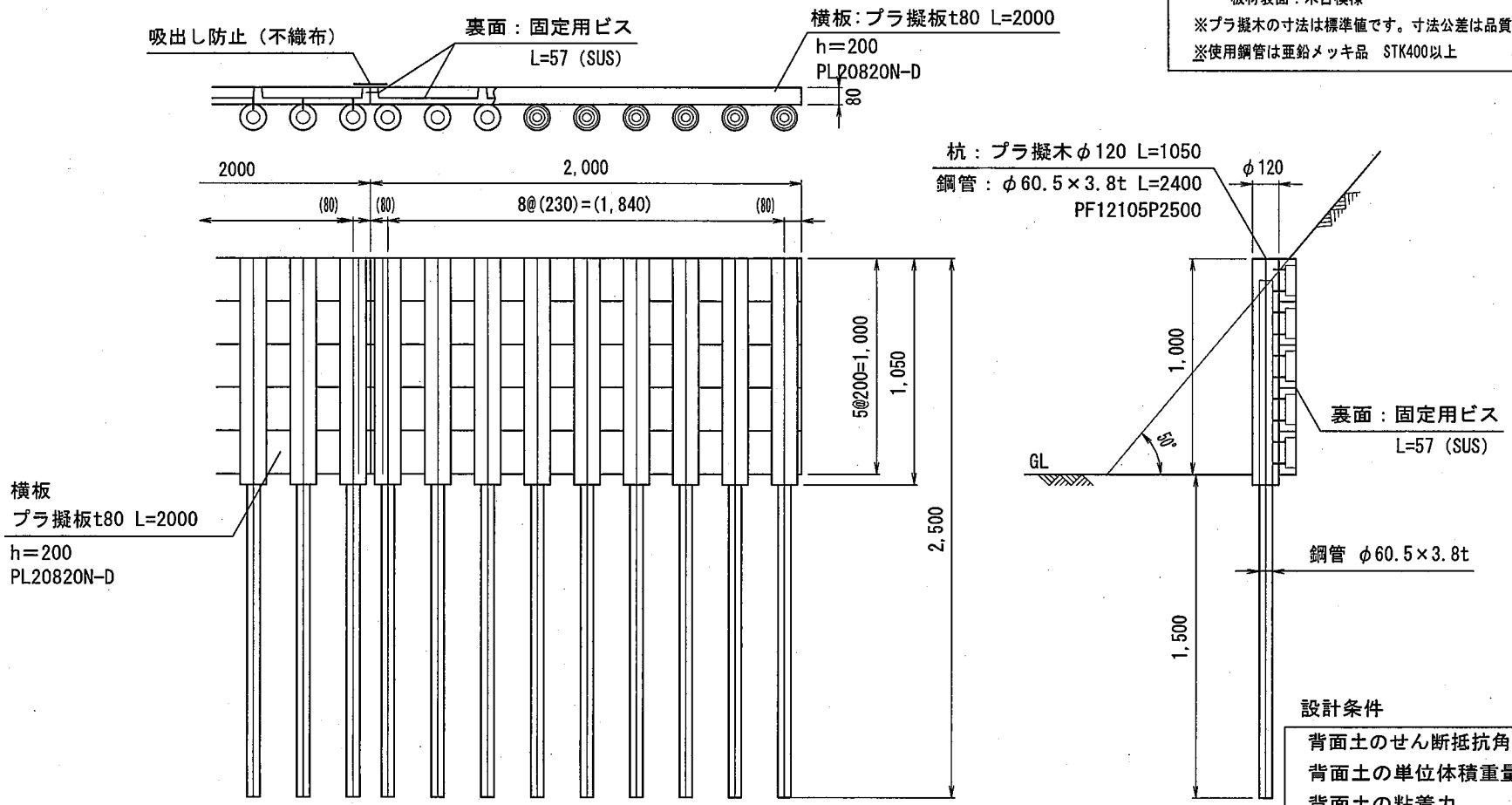
※設置条件により、補強等が必要となる場合がございます。

※打込み鋼管の天端は、GL+900mmです。（樹脂カバー天端-100mm）

※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

プラ擬木 板柵土留H1000（山側 50度）
S=1:30

【特記】
※プラ擬木は、エコマーク認定品（樹脂部はリサイクルプラスチック）
※賠償責任保険加入品
※プラ擬木 色：ダークブラウン
丸太外観：クヌギ肌模様
板材表面：木目模様
※プラ擬木の寸法は標準値です。寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。
※使用鋼管は亜鉛メッキ品 STK400以上



設計条件

背面土のせん断抵抗角	30°
背面土の単位体積重量	19.0kN/m
背面土の粘着力	0.00kN/m
載荷重	36.9kN/m
杭根入れ地盤の平均N値	5

※地盤条件などにより、
部材サイズ等が変更されます。

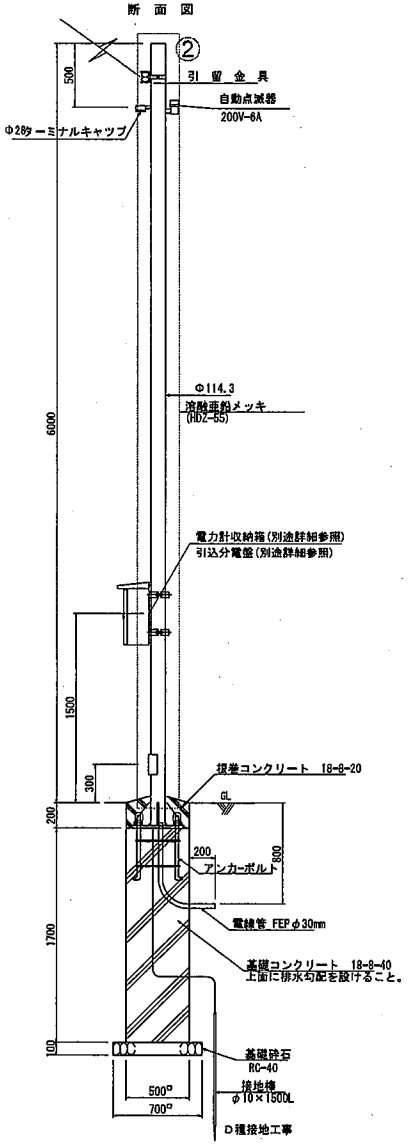
※杭打込み時は鋼管を打込み、後から擬木をかぶせてください。
施設管理者により、補強等が必要となる場合がございます。

※打込み鋼管の天端は、GL+900mmです。（樹脂カバー天端-100mm）
※2mスパン内で杭配置を変更する場合は、監督員と施工協議の上、決定してください。

構 造 図 (1)

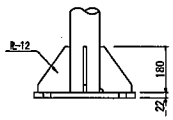
引 込 柱
S=1:20

断 面 図

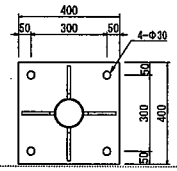


ベースプレート詳細図
S=1:10 ②

立 面 図

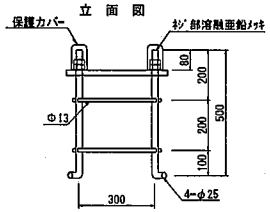


平 面 図

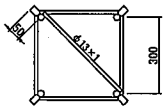


アンカーボルト詳細図
S=1:10 ③

立 面 図

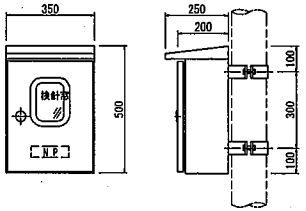


平 面 図



電力量計収納箱(参考図)
S=1:10 ④

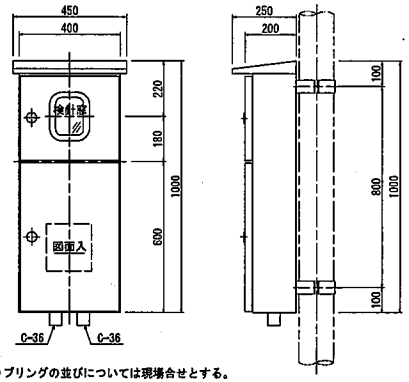
正 面 図　　側 面 図



収納箱仕様
1. 箱 体 SPCC 2.3t 防水構造
2. 扉 SPCC 2.3t パッキン貼り付
3. ハンドル施錠式
4. 防 錆 亜鉛溶射 (ZnT550)
5. 塗 装 メラミン樹脂焼付仕上
6. 塗装色 指定色

分電盤(参考図)
S=1:10 ⑤

正 面 図　　側 面 図



※ カップリングの並びについては現場合せとする。

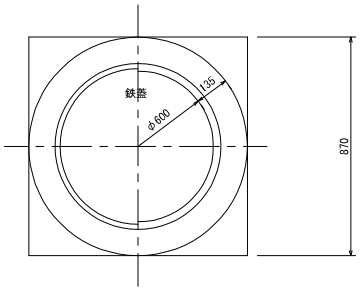
分電盤仕様
1. 箱 体 SPCC 2.3t 防水構造
2. 扉 SPCC 2.3t パッキン貼り付
3. ハンドル施錠式
4. 防 錆 亜鉛溶射 (ZnT550)
5. 塗 装 メラミン樹脂焼付仕上
6. 塗装色 指定色

平成 30 年度	図面番号	4/7	
路線名	[redacted]		
委託名	[redacted]		
委託場所	[redacted]		
図面名	構 造 図 (1)	縮 尺	図示
事務所名	大阪府宮田林土木事務所		

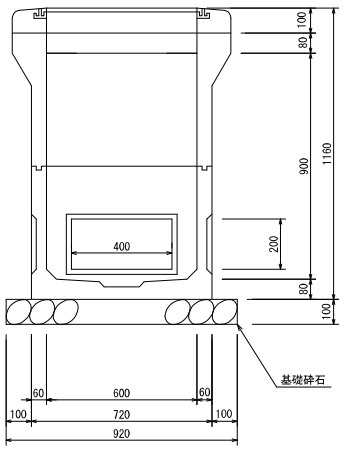
信号用ハンドホール構造図　S=1:10

（600×600×900）

平　面　図

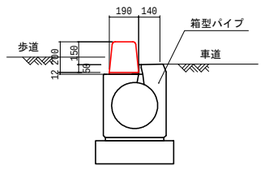


断　面　図



構造図　S=1:20

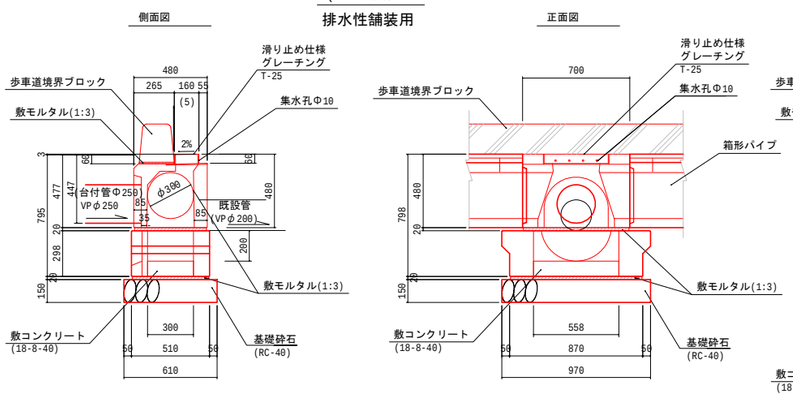
箱型パイプ



側溝用桝1

(h=750用)

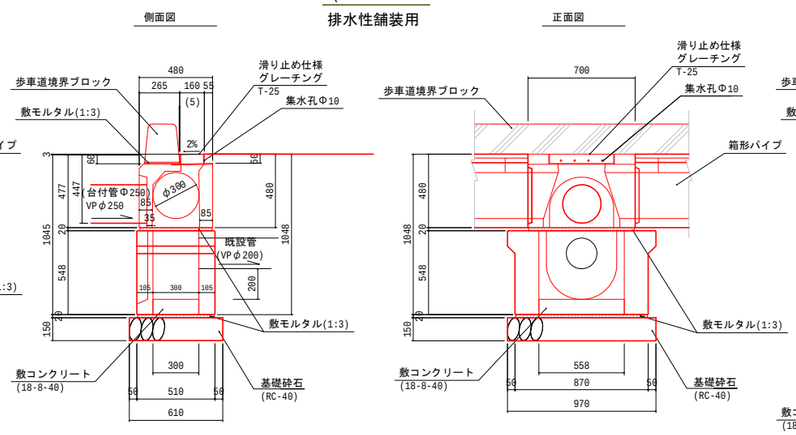
排水性舗装用



側溝用桝2

(h=1000用)

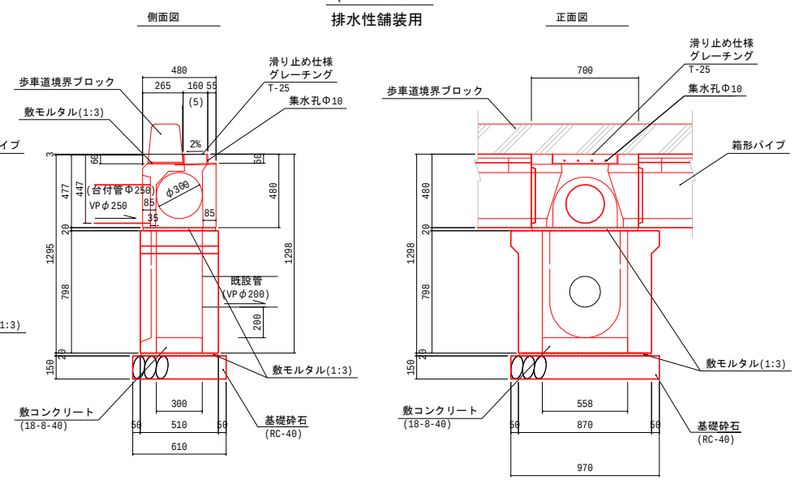
排水性舗装用



側溝用桝3

(h=1250用)

排水性舗装用



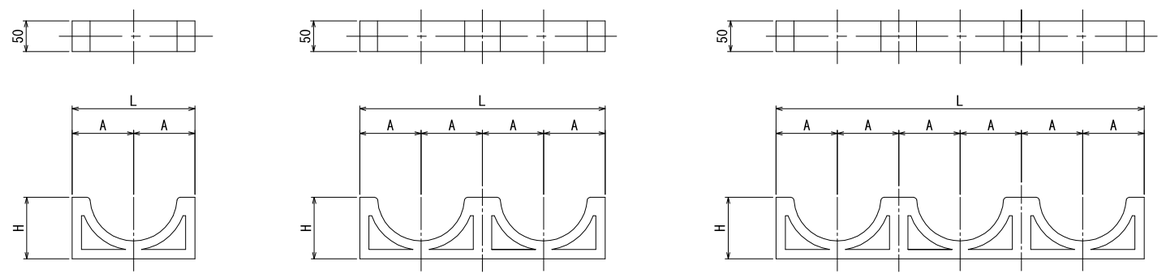
※　桝深さは、既設管の深さに応じ決定する。
※　歩道乗入部は、接続管を台付管とする。

管路材構造図（2）　S=NON

（電力用亜鉛メッキ鋼管:KGP）

官　　枕

1　A　　2　A　　3　A



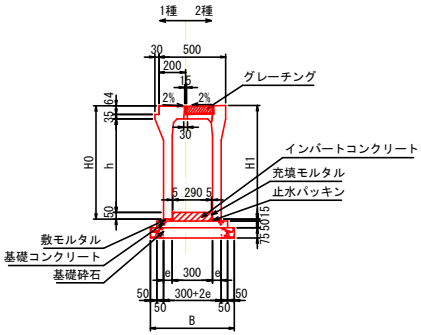
単位：mm

管の呼び径・型別 ＼ 寸法		A	H	L
100	1 A	90	90	180
	2 A	90	90	360
	3 A	90	90	540

※　当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

スリット付自由勾配側溝　街渠縦断用　標準断面図

幅300サイズ



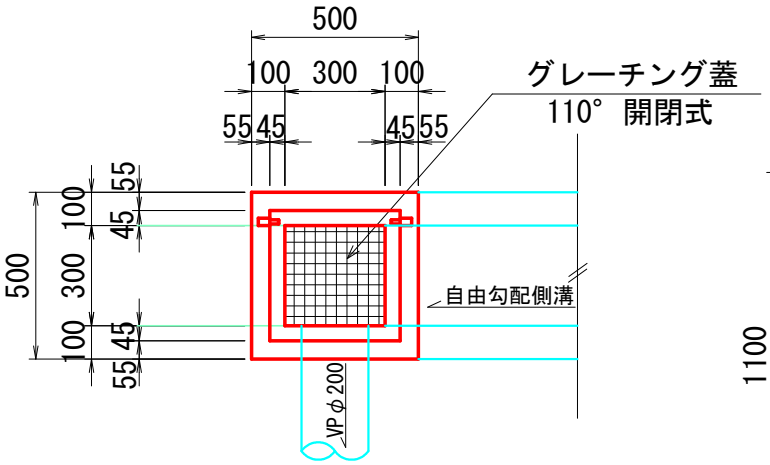
数量表

10m当り

呼　名（幅×深）	h (mm)	H0 (mm)	H1 (mm)	e (mm)	B (mm)	1種 参考重量 (kg)	2種 参考重量 (kg)	インバートコンクリート (m²)	インバート型　枠 (m²)	充　填 モルタル (m²)	敷モルタル (m²)	基　礎 コンクリート (m²)	基礎コンクリート型　枠 (m²)	基礎砕石 (m²)
300× 300	300	449	451	50	600	416	381	0.189	1.300	0.007	0.015	0.250	1.000	6.000
300× 400	400	549	551	55	610	496	461				0.017	0.255		6.100
300× 500	500	649	651			546	511							
300× 600	600	749	751	65	630	654	619				0.020	0.265		6.300
300× 700	700	849	851			714	679							
300× 800	800	949	951	75	650	849	814				0.023	0.275		6.500
300× 900	900	1049	1051			918	883							
300×1000	1000	1149	1151	85	670	1080	1045				0.026	0.285		6.700
300×1100	1100	1249	1251			1158	1123							

プレキャスト集水桝

平面図



［適用範囲］

1. コンクリート活荷重は、Ｔ－２５とし道路と平行に載荷する。

［仕　様］

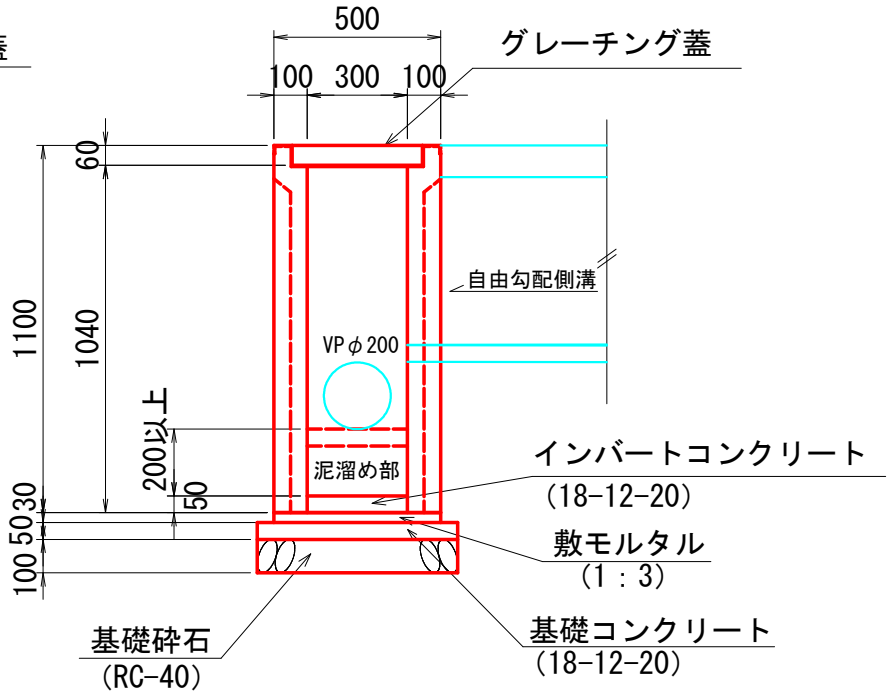
1. コンクリート

設計基準強度	σck	30N／mm²
許容曲げ圧縮応力度	σca	10N／mm²
許容せん断応力度	τa	0.45N／mm²

2. 鉄　筋

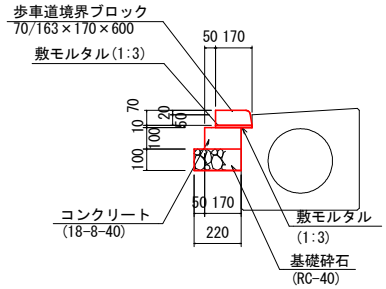
許容引張応力度（SD295A）	σsa	160N／mm²

側面図



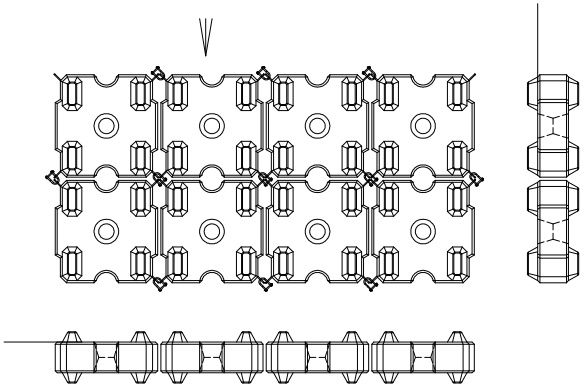
縁石Eb型

（一般部）



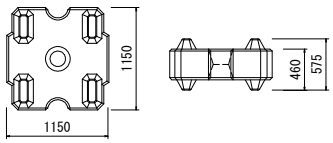
リーフロックＩ型１．０ｔ標準図

標準配列図　S=1:30

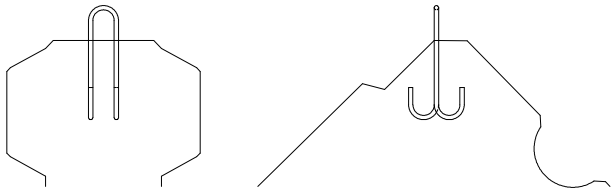


注：必要に応じて吸出防止材を設置する。

規格寸法図　S=1:30



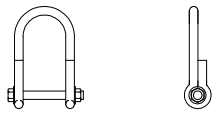
連結鉄筋（フック）詳細図　S=1:10



（1個当り）

名　　称	規　格	単位	数　量	摘　要
連結鉄筋	鉄筋φ16	kg	1.91	全長121cm

連結金具（シャックル）詳細図　S=1:5



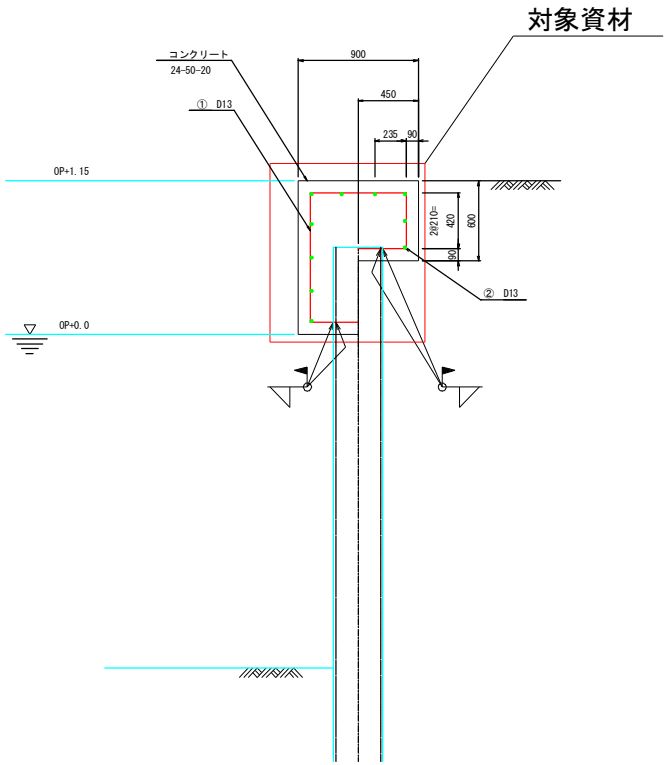
（1個当り）

名　　称	規　格	単位	数　量	摘　要
連結金具（シャックル）	鉄筋φ16	kg	1.18	全長60cm

笠コンクリート詳細図

S=1:20

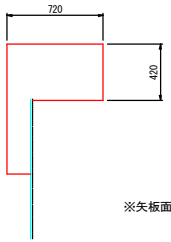
現場打ち断面図



ハット形鋼矢板45H

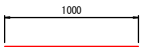
配筋加工図

①D13×2815 n=4（1m当り）

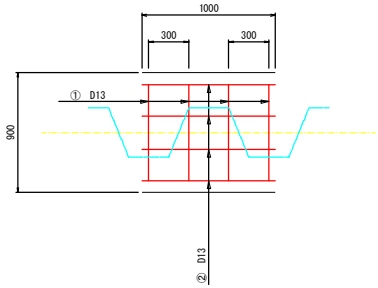


※矢板面の偏心に合わせて施工する。

②D13×1000 n=11（1m当り）



平面図



鉄筋表

1m当り

記　号	径	長さ [mm]	本数 [本]	単位重量 [kg/m]	1本当り 重　量 [kg/本]	重　量 [kg]	摘　要
①	D13	2815	3.33	0.995	2.80	9.33	
②	D13	1000	10.00	0.995	1.00	10.00	
合計						19.33	

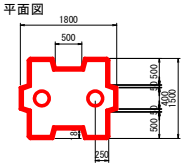
※採用した笠コンクリートブロックの寸法の記載をお願いします。（mあたりで換算するため）
※同等品以上のプレキャストコンクリートブロックとする。
※伸縮目地は10mに1箇所設置する。
※1個当りに必要な中詰め材（水中コンクリート）の参考数量を記載すること。

根固めブロック構造図　S=1:50

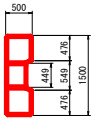
護 床 ブ ロ ッ ク 2t型

標 準 型

平面図



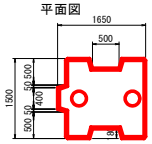
側面図



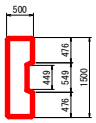
正面図

端 部 型

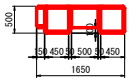
平面図



側面図



正面図



（注記）各護床ブロックは連結金具にて連結すること。

参考図３

令和3-4年度	図面番号	3/13	
河川名	二級河川　石津川		
工事名	護岸補強工事Ｒ３－１工区（津久野大橋上下流）		
施工地名	堺市西区鶴田町地内		
図面名	根固めブロック構造図	縮尺	1:50
大 阪 府 鳳 土 木 事 務 所			

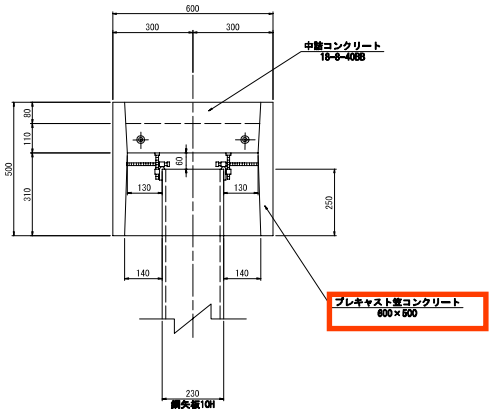
添付図-1

護 岸 工 詳 細 図

【参考】

プレキャスト笠コンクリート構造図

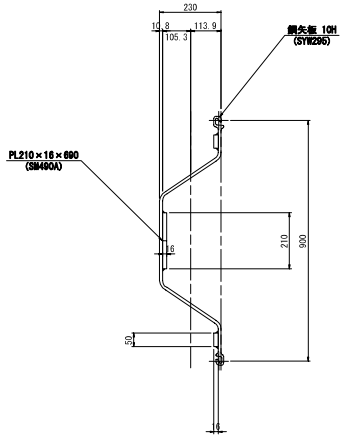
(600×500)　S=1:10



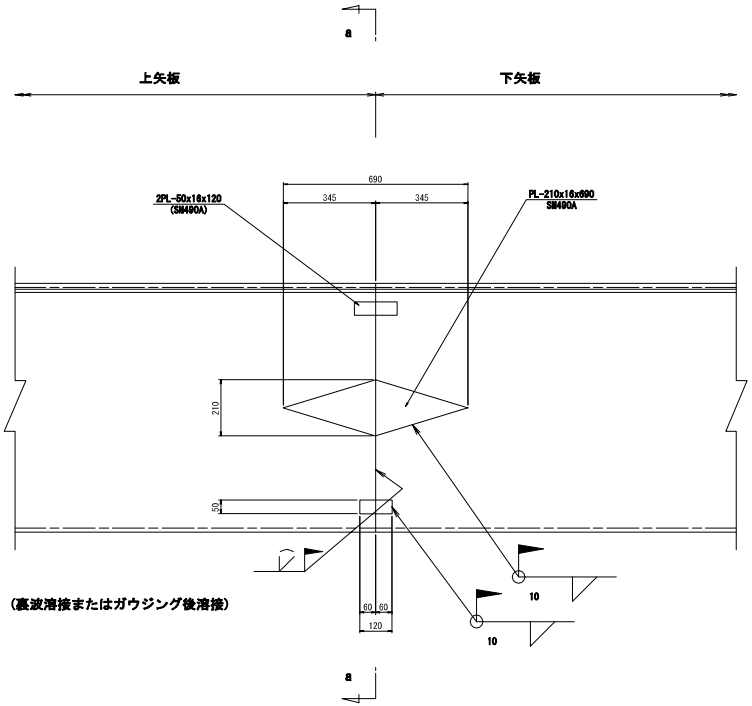
鋼矢板(ハット10H型)継手詳細図

S=1:10

a－a 断面



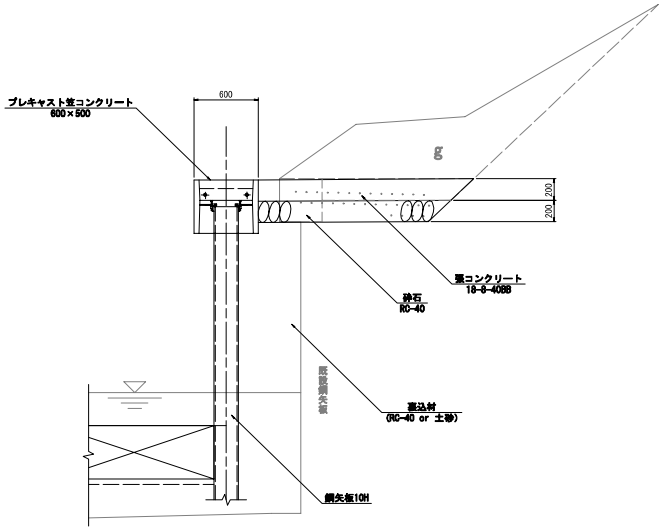
b－b 断面



(備考) 現場溶接継手位置仕様は鋼管杭・鋼矢板技術協会の鋼矢板の溶接継ぎ標準仕様に準拠

低 水 護 岸 構 造 図

S=1:25



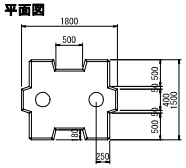
【参考】

護 床 ブ ロ ッ ク 2t型

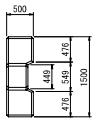
S=1:50

標 準 型

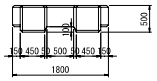
平面図



側面図

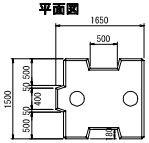


正面図

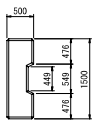


端 部 型

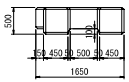
平面図



側面図



正面図

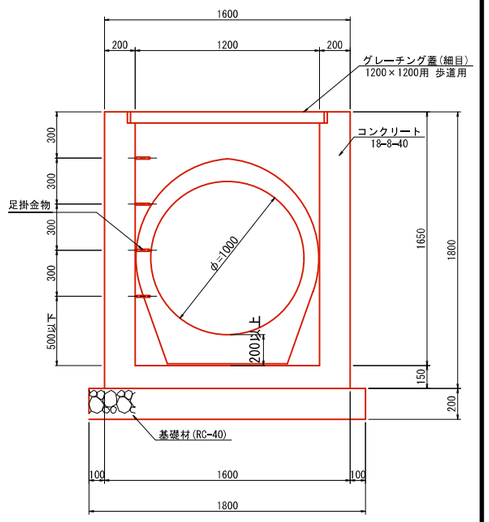


(注記) 各護床ブロックは連結金具にて連結すること。

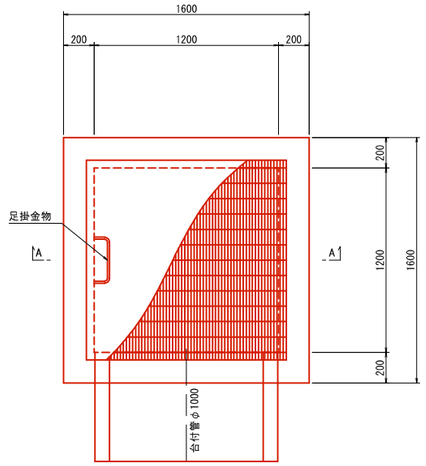
構造図(3)　S=1:20

集水桝D

A － A

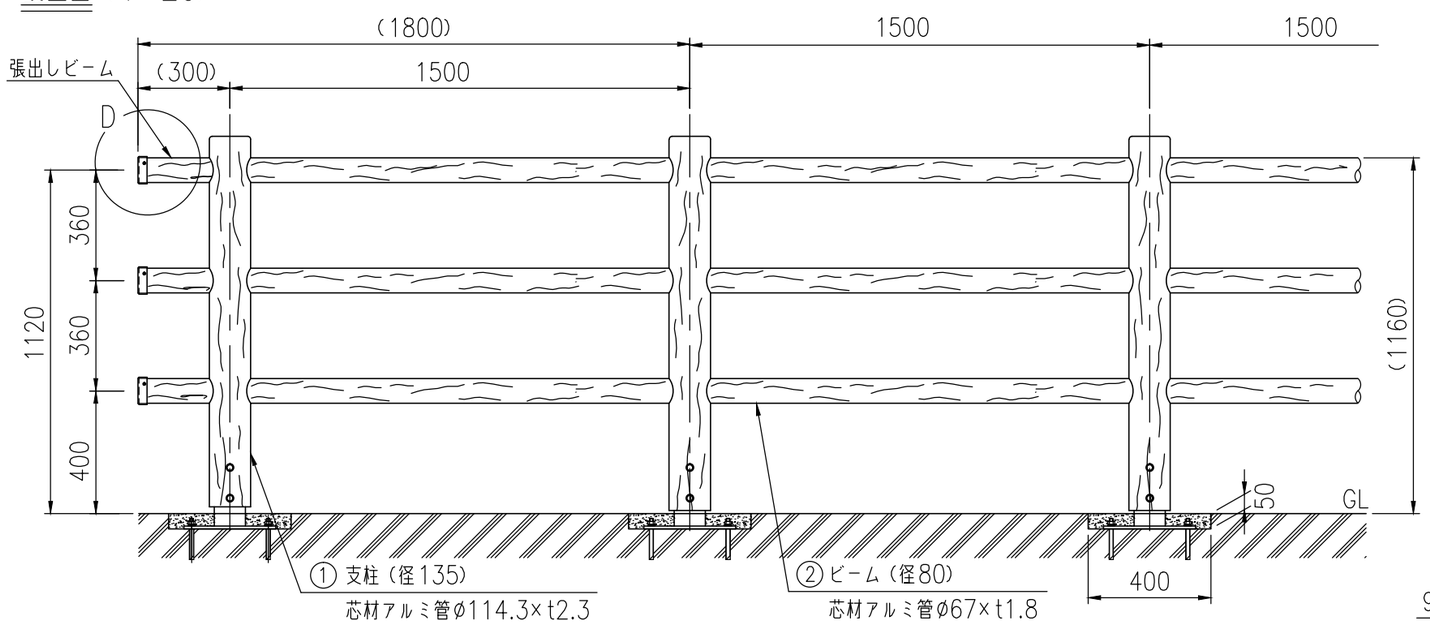


平面図

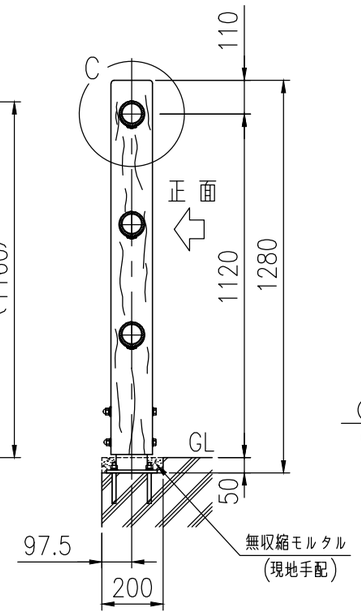


タイプ	テンダーウッド レコオーク超軽量横木柵
品　番	RAC−3121−15PLトク
図面番号	ARE170092

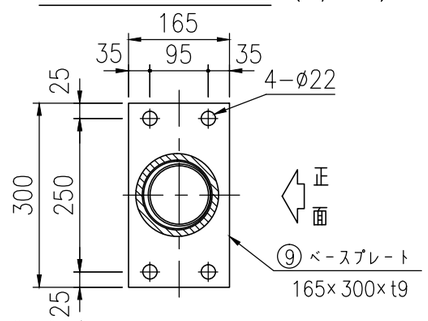
設置図（1／20）

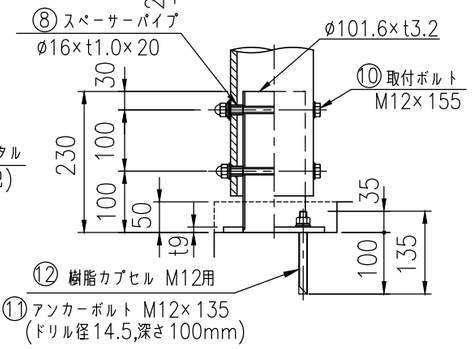


<連続基礎式>
RAC−3121−15PLトク

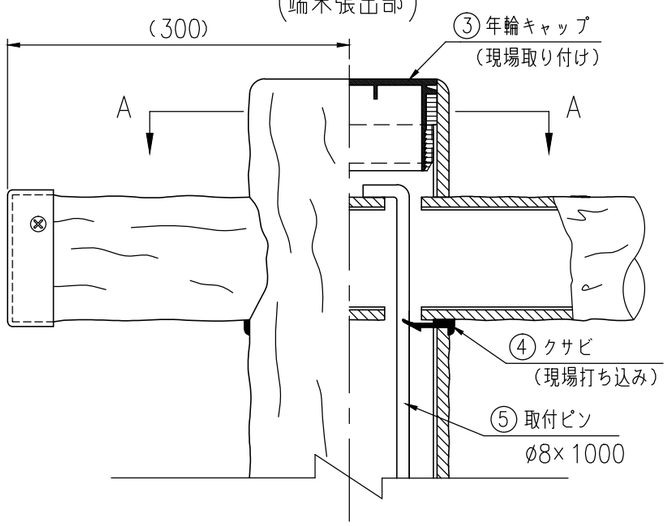


ベースプレート詳細図（1/10）

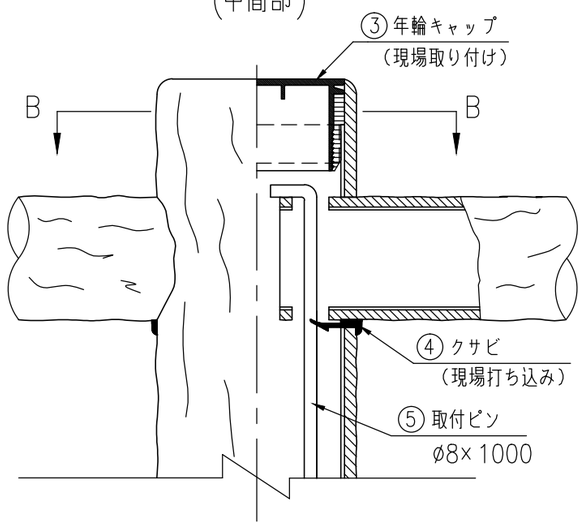




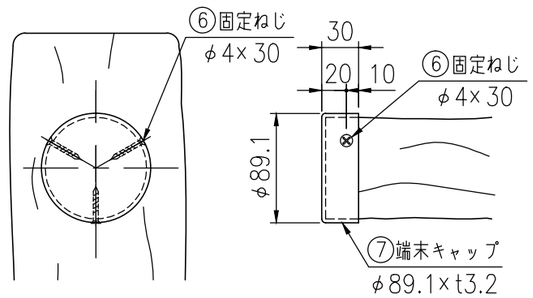
取付部詳細（1／4）
(端末張出部)



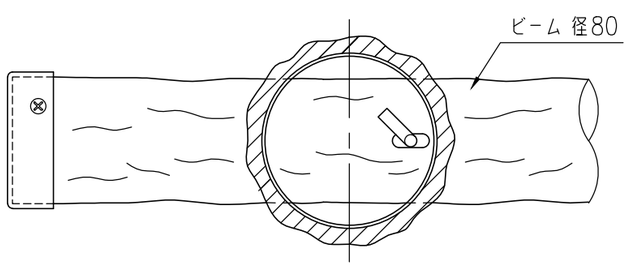
取付部詳細（1／4）
(中間部)



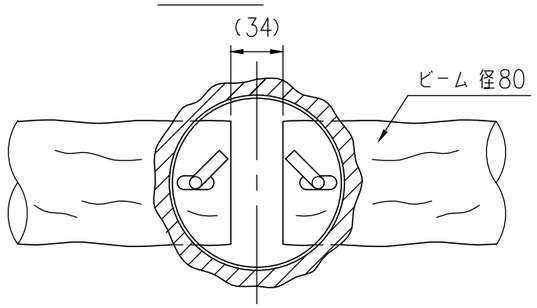
D部詳細図（1/5）



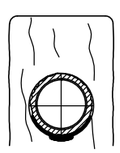
A−A断面（1／4）



B−B断面（1／4）



C部詳細図（1／8）



※特注項目

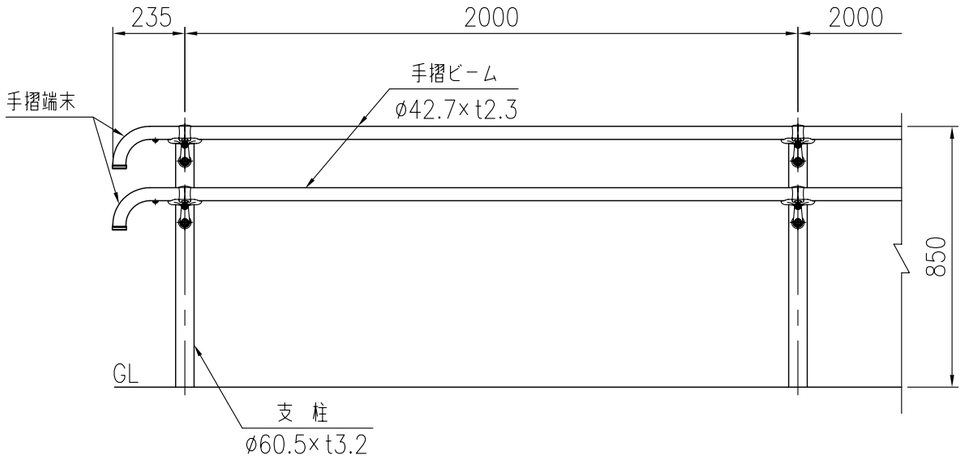
1	端末張出しビーム
2	端末キャップ
3	支柱長さトク
4	ベースプレートt165×300×t9
5	樹脂アンカー M12

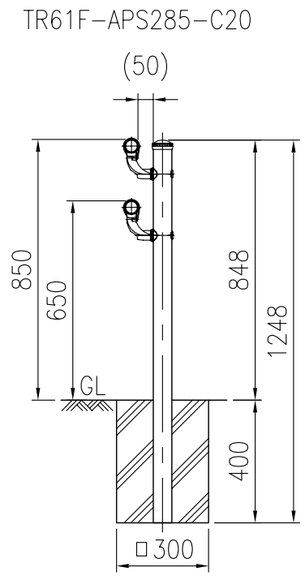
※注記：支柱及び横木の外径は凸部の平均値です。
：仕様は予告なく変更することがあります。
：端末張出しビームは、支柱にビームを通してから支柱の根固めを行ってください。
※基礎は（水平・垂直）地耐力200kN/m²の場合の参考寸法です。

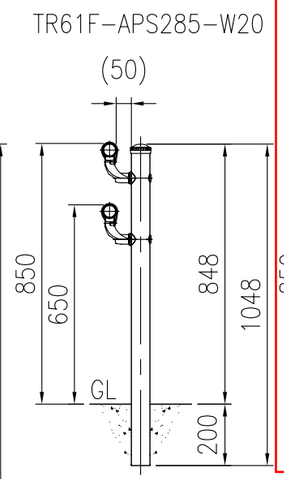
部材表

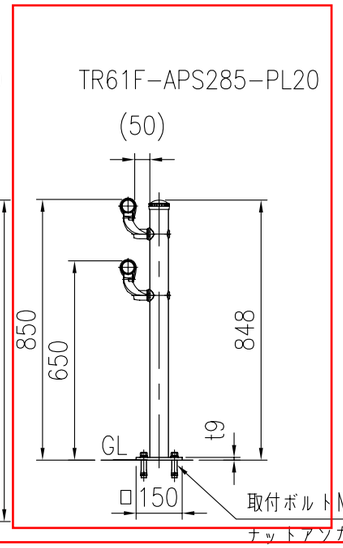
部番	部材名	材質	摘要
1	支柱	A6063S−T5+再生ポリエチレン	アルミ+樹脂被覆
2	ビーム	A6063TE−T5+再生ポリエチレン	アルミ+樹脂被覆
3	年輪キャップ	ポリエチレン	
4	クサビ	ポリエチレン	クロ
5	取付ピン	SS400	亜鉛めっき
6	固定ねじ(φ4×30)	SUS	十字穴付皿ドリルネジ
7	端末キャップ	STK400,SS400	亜鉛めっき+塗装
8	スペーサーパイプ	SUS	
9	ベースプレート t9.0	SS400, STK400	溶融亜鉛めっき
10	取付ボルトM12×155	強度区分4.6,溶融亜鉛めっき+塗装	B1,袋N1,W2,大W1,SW1
11	アンカーボルトM12×135	4.6相当	溶融亜鉛めっき
12	樹脂カプセル	M12用	

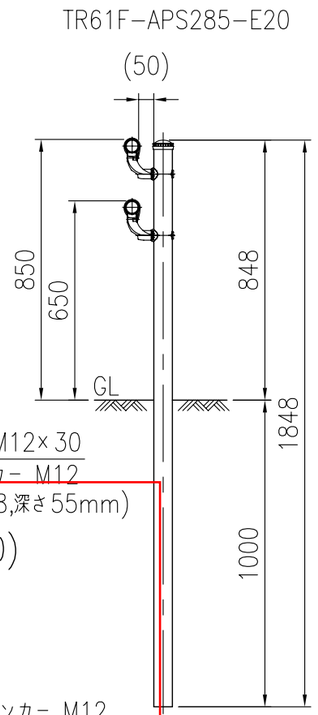
設置図 (1/20)



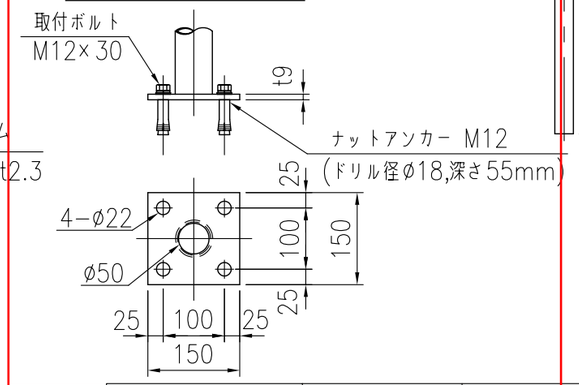




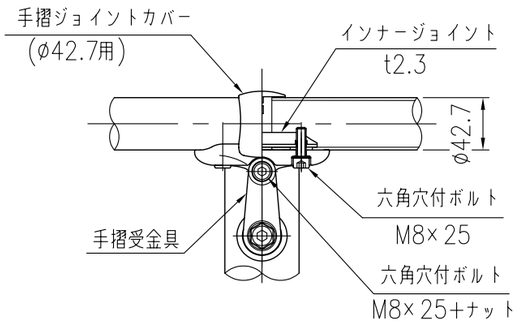


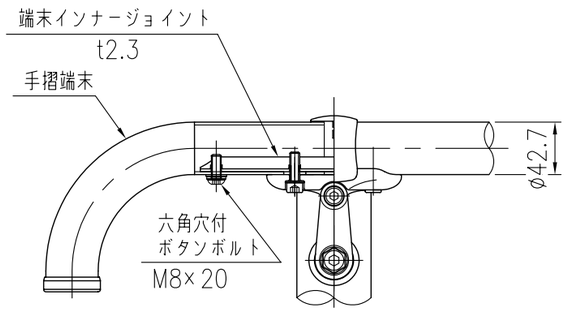


ベースプレート詳細図 (1/10)

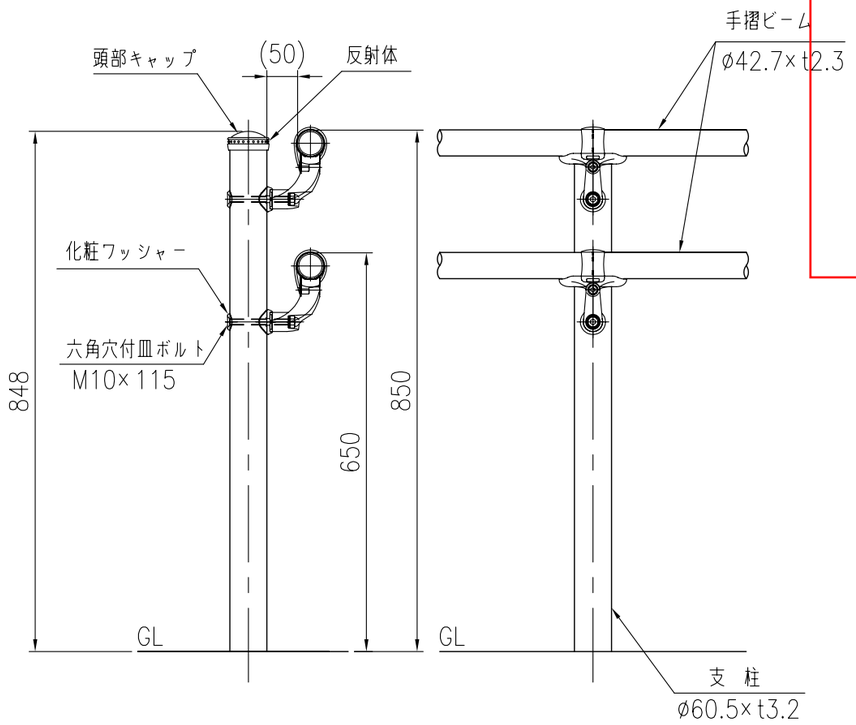


取付部詳細図 (1/5)





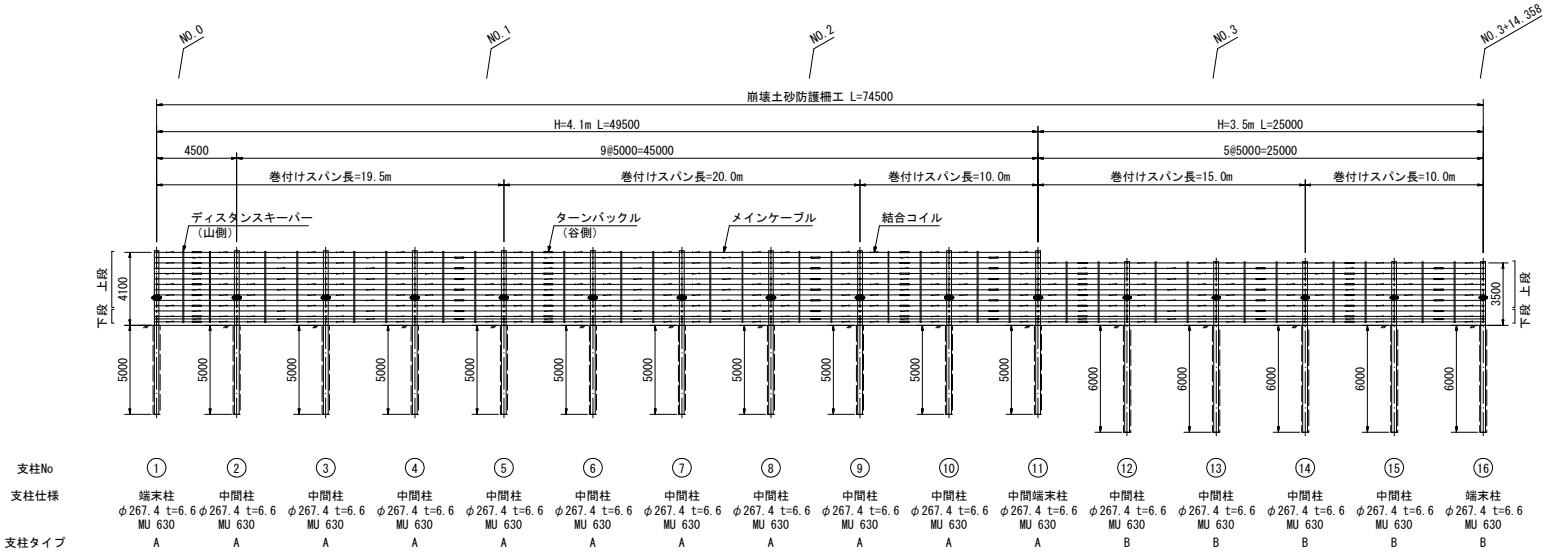
支柱図 (1/10)



品 名	材 質	摘 要
支 柱	STK400	亜鉛めっき＋静電粉体塗装
手摺ビーム	STK400	亜鉛めっき＋静電粉体塗装
頭部キャップ	PE	着色樹脂
反射体	ガラスビーズ	ベース 黒・反射体 黄
手摺端末	STK400	亜鉛めっき＋静電粉体塗装
手摺受金具	アルミ合金	焼付塗装
インナージョイント	SGH400相当	高耐食溶融めっき鋼板
端末インナージョイント	SGH400相当	高耐食溶融めっき鋼板
手摺ジョイントカバー	PC	ポリカーボネート
六角穴付ボルト	SUS	M8×25
六角穴付ボルト	SUS	M8×25+ナット
六角穴付ボタンボルト	SUS	M8×20
六角穴付皿ボルト	SUS	M10×115 ＋ 袋ナット
化粧ワッシャー	SUS	
ナットアンカー		溶融亜鉛めっき M12
取付ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12×30

崩壊土砂防護柵工展開図(1)　S=1：150

参考図



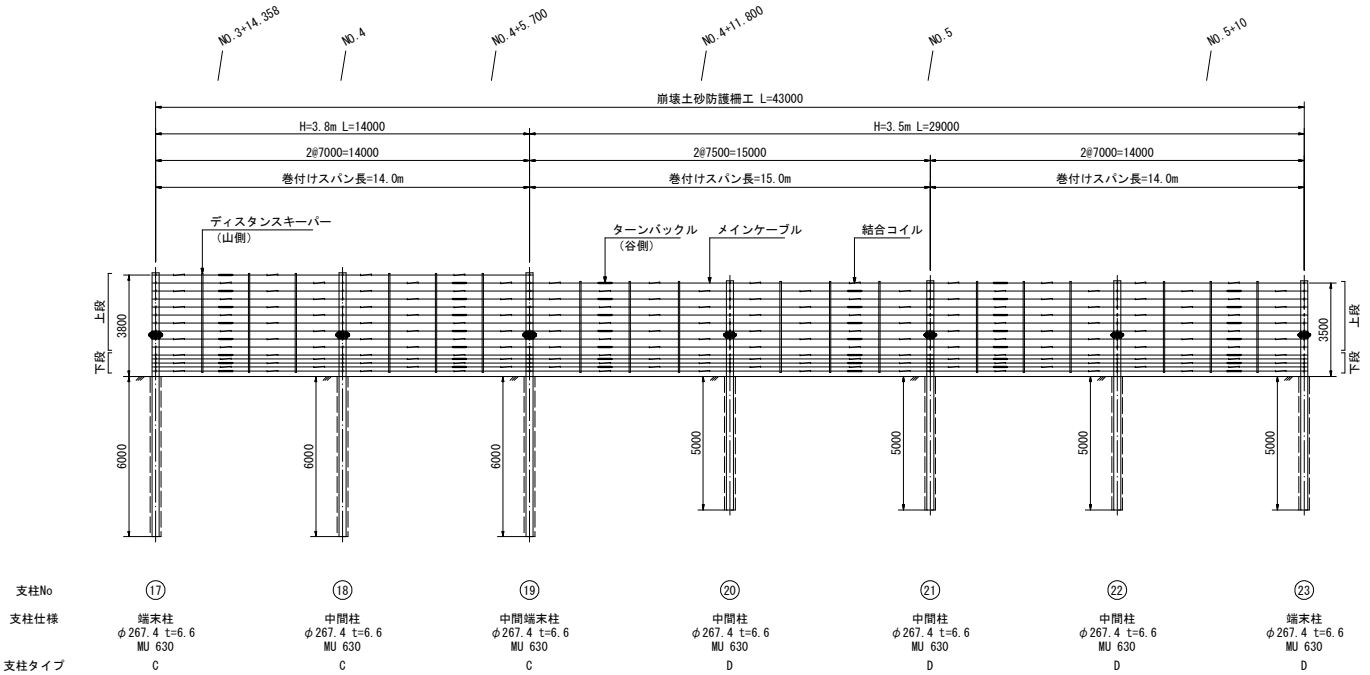
崩壊土砂防護柵工数量表

名　　称	仕　様　・　寸　法	単位	数　量	摘　　要
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9580mm	本	1	分割支柱　タイプB
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9180mm	本	1	分割支柱　タイプA
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9580mm	本	4	分割支柱　タイプB
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9180mm	本	9	分割支柱　タイプA
中間端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9180mm	本	1	分割支柱　タイプA
ディスタンスキーパー	H=4.1m用	セット	20	
ディスタンスキーパー	H=3.5m用	セット	10	
ターンバックル	W5/8*18	個	51	
ターンバックル	W7/8*18	個	20	
ひし形金網	φ4×50mm	m2	290.45	
メインケーブル	7×19 φ18 L=40.70m	本	4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=39.70m	本	4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=30.70m	本	4	
メインケーブル	7×19 φ18 L=20.70m	本	8	
メインケーブル	7×19 φ12 L=40.68m	本	11	
メインケーブル	7×19 φ12 L=39.68m	本	11	
メインケーブル	7×19 φ12 L=30.68m	本	9	
メインケーブル	7×19 φ12 L=20.68m	本	20	
結合コイル	φ4×φ50×P50-400	個	330	

※1　支柱間隔は斜長距離
※2　図中の測点位置は、計画時の目安
※3　展開図は谷側から山側を見ての表示

崩壊土砂防護柵工展開図(2)　S=1：100

参考図



崩壊土砂防護柵工数量表

名　　称	仕　様　・　寸　法	単位	数　量	摘　　要
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8580mm	本	1	分割支柱　タイプD
端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9880mm	本	1	分割支柱　タイプC
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=8580mm	本	3	分割支柱　タイプD
中間柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9880mm	本	1	分割支柱　タイプC
中間端末柱	φ267.4 t6.6 D32×12 L=9880mm	本	1	分割支柱　タイプC
ディスタンスキーパー	H=3.8m用	セット	6	
ディスタンスキーパー	H=3.5m用	セット	12	
ターンバックル	W5/8*18	個	28	
ターンバックル	W7/8*18	個	15	
ひし形金網	φ4×50mm	m2	154.7	
メインケーブル	7×19 φ18 L=30.70m	本	5	
メインケーブル	7×19 φ18 L=28.70m	本	10	
メインケーブル	7×19 φ12 L=30.68m	本	9	
メインケーブル	7×19 φ12 L=28.68m	本	19	
結合コイル	φ4×φ50×P50-400	個	172	

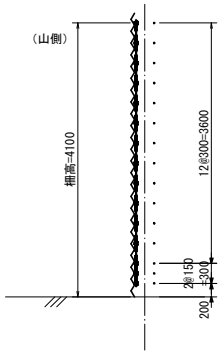
※１　支柱間隔は斜長距離
※２　図中の測点位置は、計画時の目安
※３　展開図は谷側から山側を見ての表示

崩壊土砂防護柵構造図(1)　S=1:40

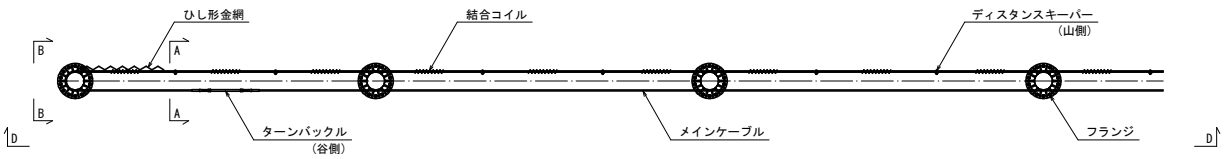
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 4.1 m）

参考図

A － A 矢視図



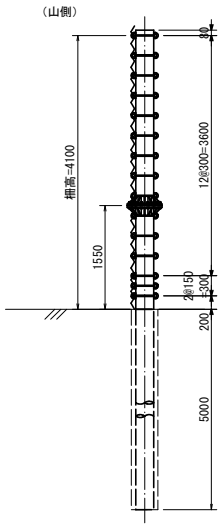
C － C 矢視図



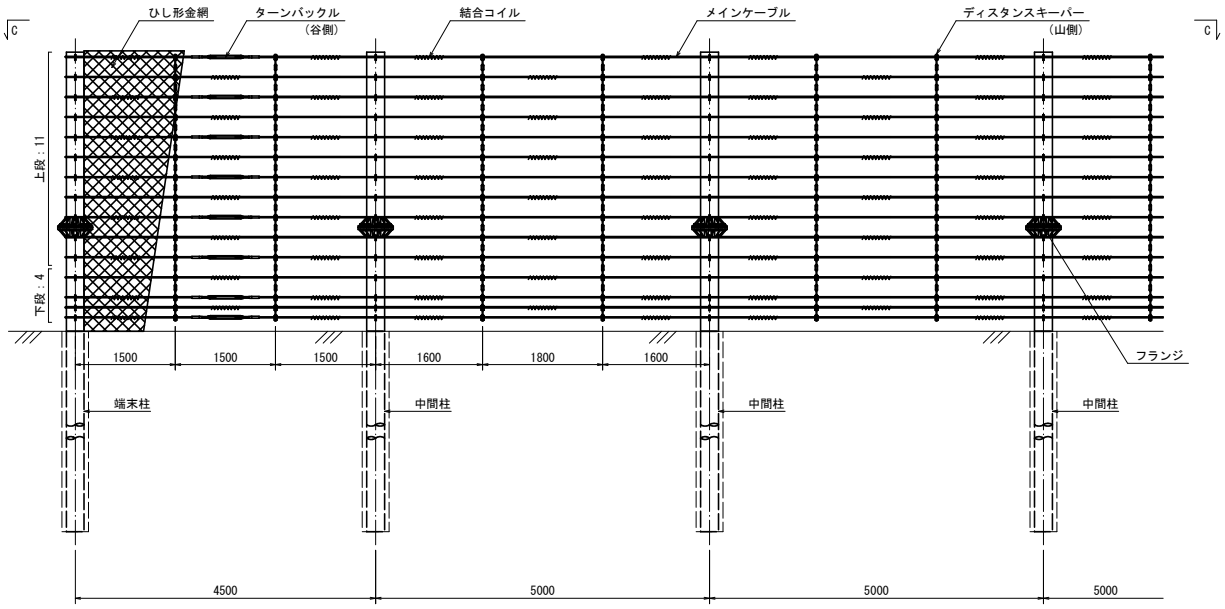
部材仕様一覧

部材名称	仕様	
端末および中間柱 分割支柱<支柱タイプA>	φ＝267.4 mm　t= 6.6 mm (Mu=630 kN-m) L＝5000 ＋ 4100 ＋ **80** ＝ 9180 mm	
メインケーブル	上段	φ＝12 mm　7×19
	下段	φ＝18 mm　7×19
ひし形金網	φ＝4 mm　50×50mm	

B － B 矢視図



D － D 矢視図



メインケーブル配置

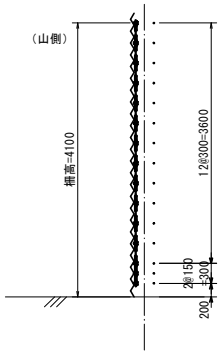
巻きつけスパン数	備考
4スパン巻き	

崩壊土砂防護柵構造図(2)　S=1:40

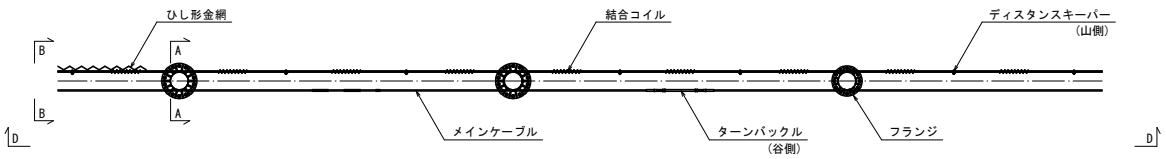
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 4.1 m ～ 3.5 m）

参考図

A － A 矢視図



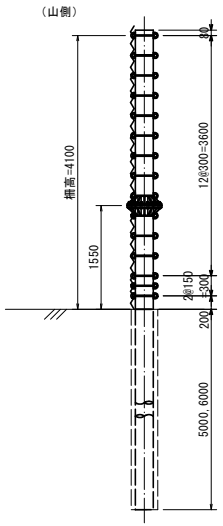
C － C 矢視図



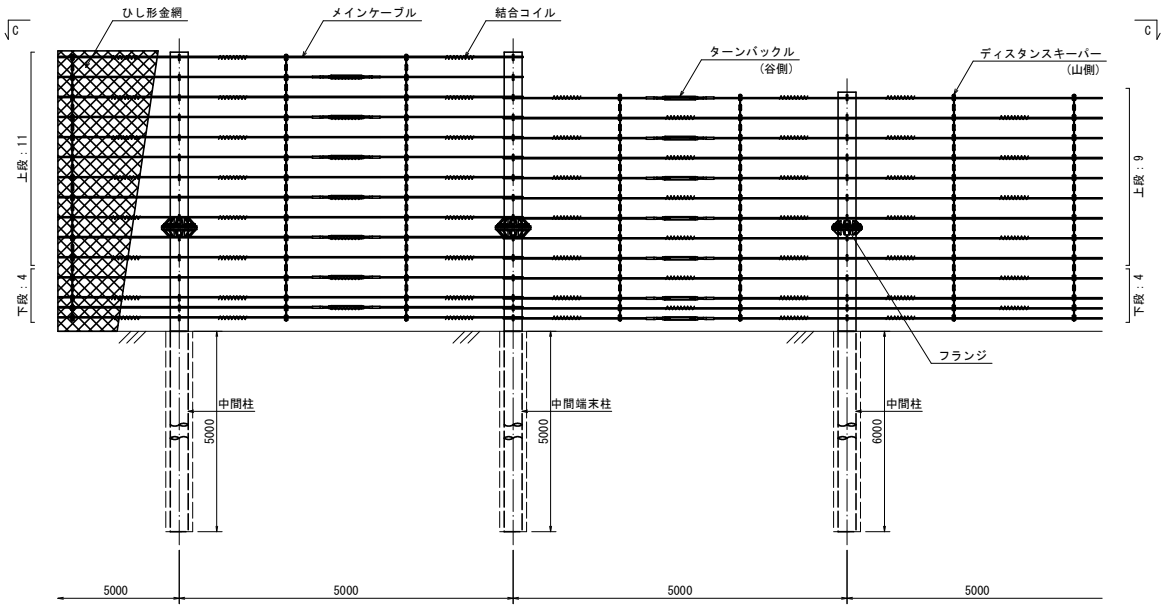
部材仕様一覧

部材名称	仕様	
中間および中間端末柱 分割支柱〈支柱タイプA〉	φ=267.4mm　t= 6.6　mm (Mu=630　kN-m) L=5000 + 4100 + **80**　= 9180　mm	
中間柱 分割支柱〈支柱タイプB〉	φ=267.4mm　t= 6.6　mm (Mu=630　kN-m) L=6000 + 3500 + **80**　= 9580　mm	
メインケーブル	上段	φ=12mm　7×19
	下段	φ=18mm　7×19
ひし形金網	φ=4　mm　50×50mm	

B － B 矢視図



D － D 矢視図



メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
2スパン巻き	
3スパン巻き	

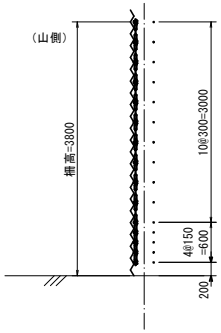
崩壊土砂防護柵構造図(3)

S=1:40

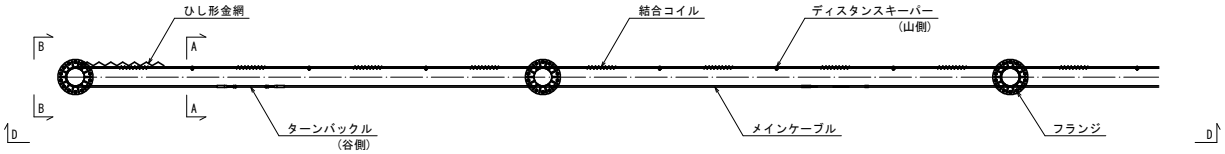
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 3.8 m ～ 3.5 m）

参考図

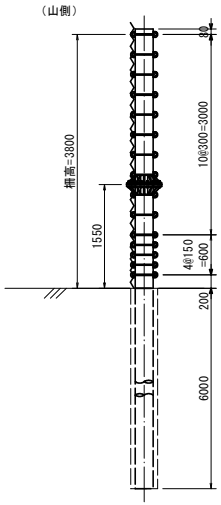
A － A 矢視図



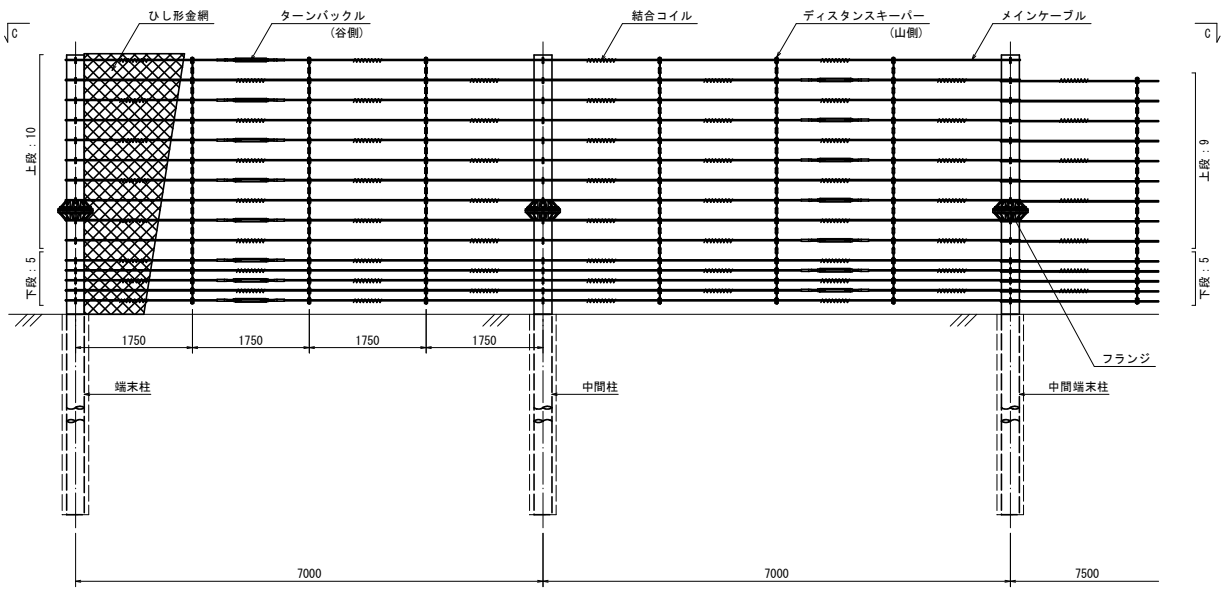
C － C 矢視図



B － B 矢視図



D － D 矢視図



部材仕様一覧

部材名称	仕様	
端末柱・中間柱 および中間端末柱 分割支柱<支柱タイプC>	φ=267.4 mm　t= 6.6 mm (Mu=630 kN-m) L=6000 + 3800 + **80** = 9880 mm	
メインケーブル	上段	φ=12mm　7×19
	下段	φ=18mm　7×19
ひし形金網	φ=4 mm　50×50mm	

メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
2スパン巻き	

特記事項

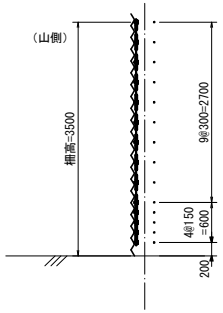
崩壊土砂防護柵構造図(4)

S=1:40

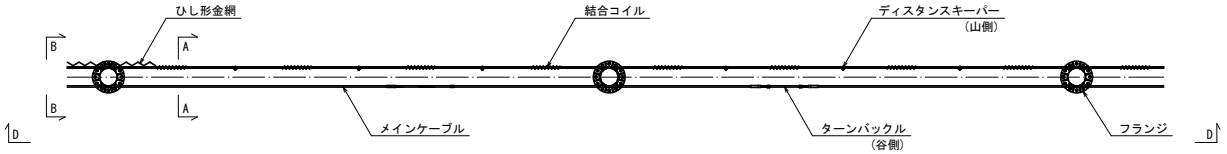
(スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 3.5 m)

参考図

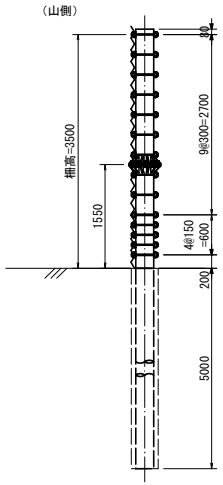
A － A 矢視図



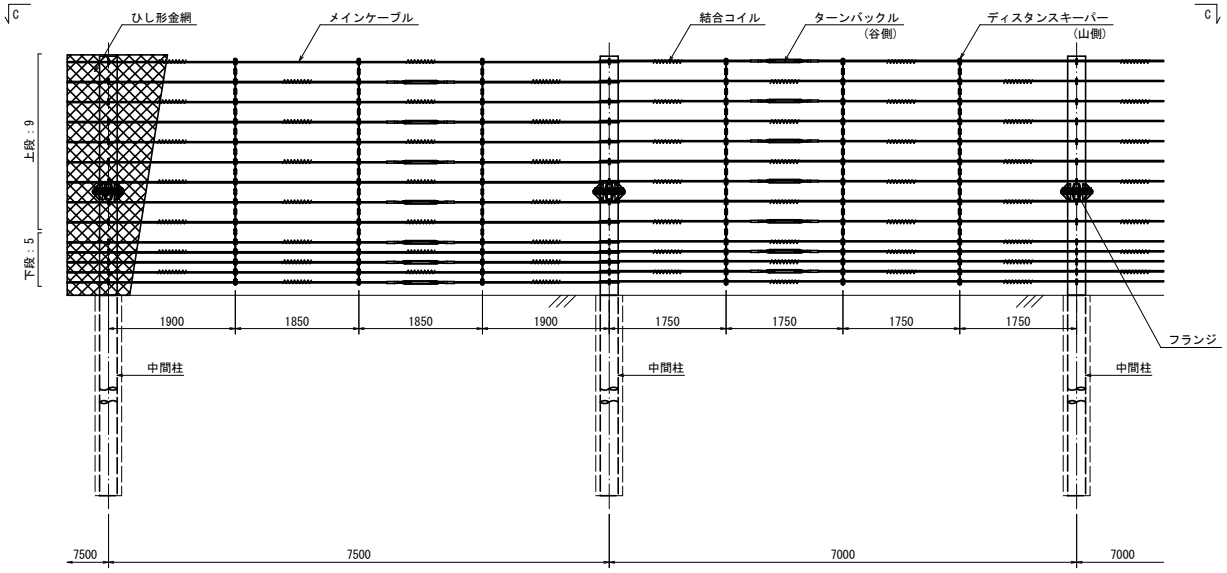
C － C 矢視図



B － B 矢視図



D － D 矢視図



部材仕様一覧

部材名称	仕様	
中間柱 分割支柱<支柱タイプD>	φ=267.4 mm　t= 6.6 mm (Mu=630 kN-m) L=5000 + 3500 + **80** = 8580 mm	
メインケーブル	上段	φ=12 mm　7×19
	下段	φ=18 mm　7×19
ひし形金網	φ=4 mm　50×50mm	

メインケーブル配置

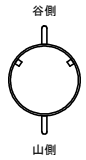
巻きつけスパン数	備考
2スパン巻き	

崩壊土砂防護柵部材詳細図(1)

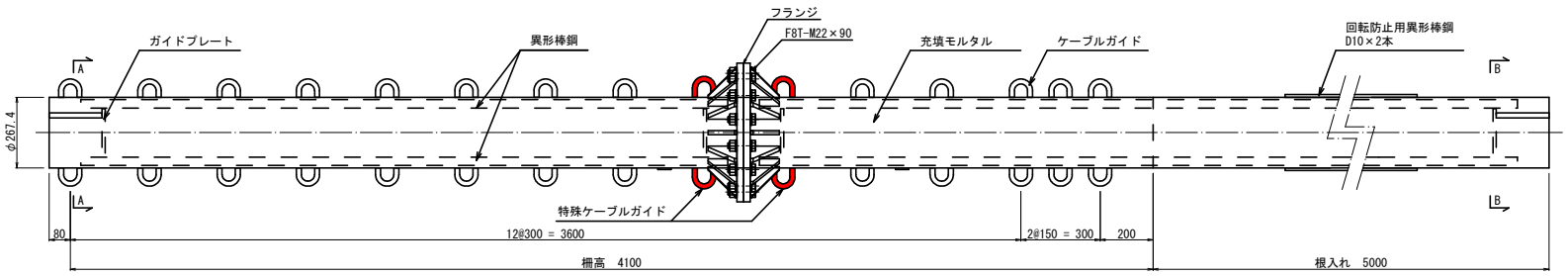
端末柱・中間および中間端末柱 ?支柱タイプA?
(スロープガードフェンス Eタイプ／柵高 H= 4.1 m)

参考図

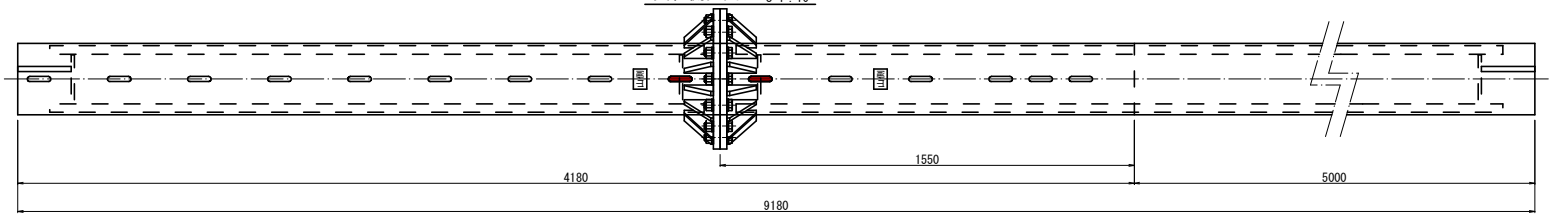
支柱平面図 S=1：10



支柱正面図 S=1：10

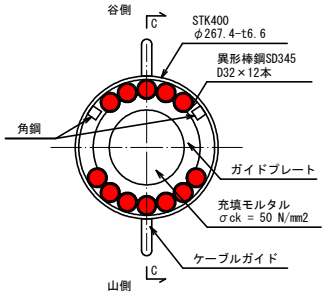


支柱側面図 S=1：10

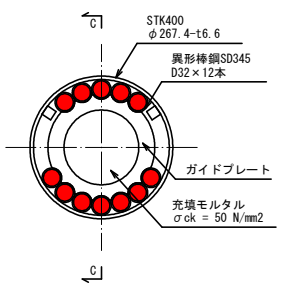


支柱断面図 S=1：5

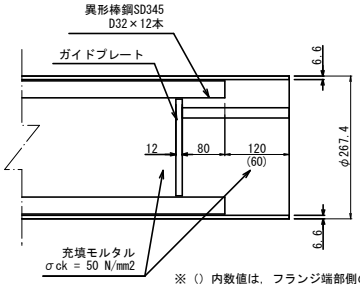
A － A 矢視図



B － B 矢視図

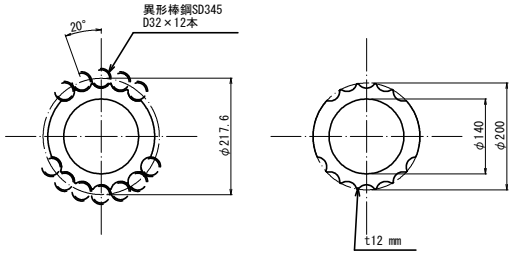


C － C 矢視図

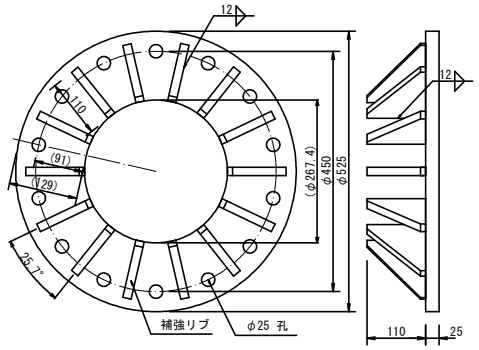


※（）内数値は，フランジ端部側の寸法を示す．

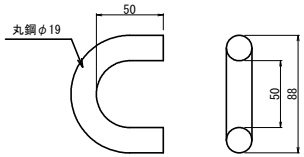
ガイドプレート詳細図 S=1：5



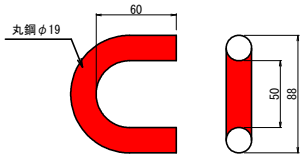
フランジ詳細図 S=1：5



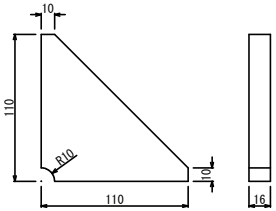
ケーブルガイド詳細図 S=1：2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1：2



補強リブ詳細図 S=1：2

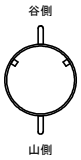


崩壊土砂防止柵部材詳細図(2)

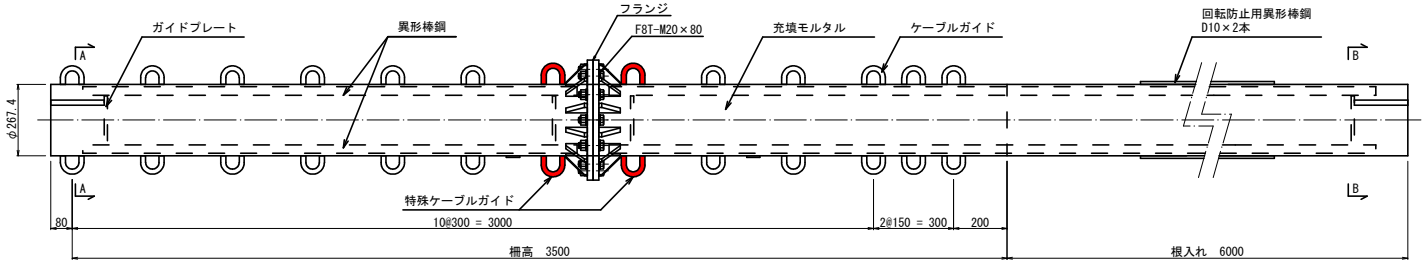
端末および中間柱 〈支柱タイプB〉
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 3.5 m）

参考図

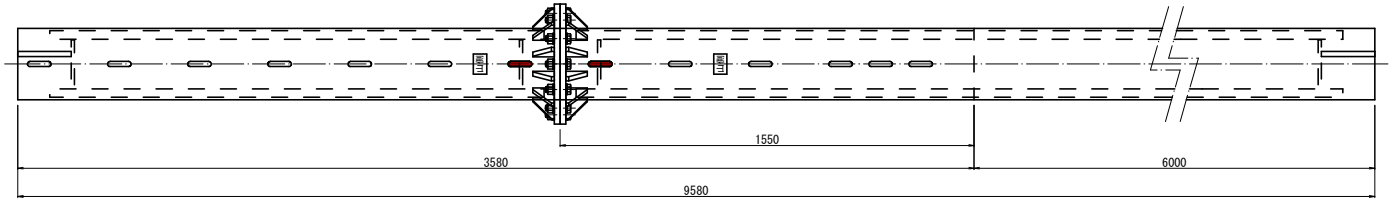
支柱平面図 S=1：10



支柱正面図 S=1：10

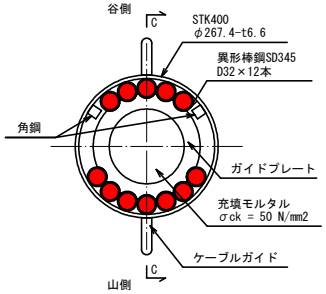


支柱側面図 S=1：10

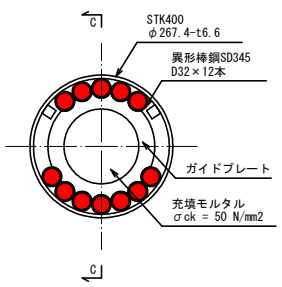


支柱断面図 S=1：5

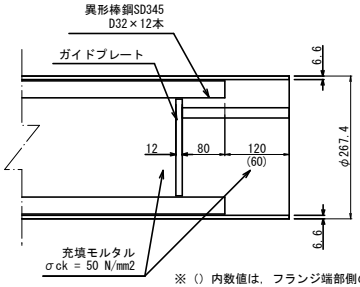
A － A 矢視図



B － B 矢視図

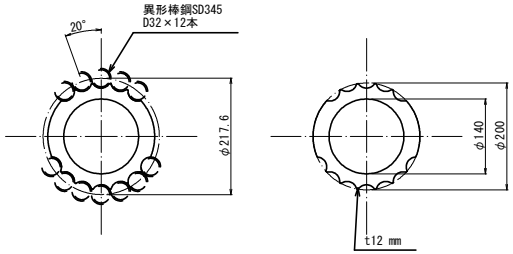


C － C 矢視図

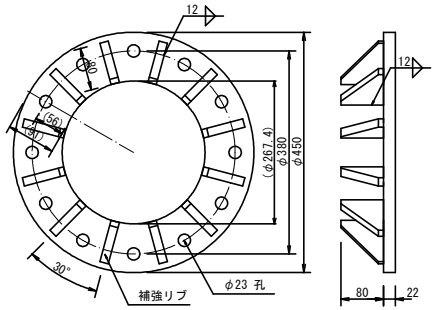


※（）内数値は，フランジ端部側の寸法を示す．

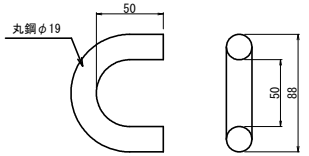
ガイドプレート詳細図 S=1：5



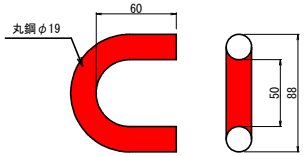
フランジ詳細図 S=1：5



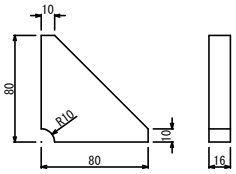
ケーブルガイド詳細図 S=1：2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1：2



補強リブ詳細図 S=1：2

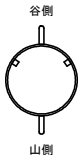


崩壊土砂防護柵部材詳細図(3)

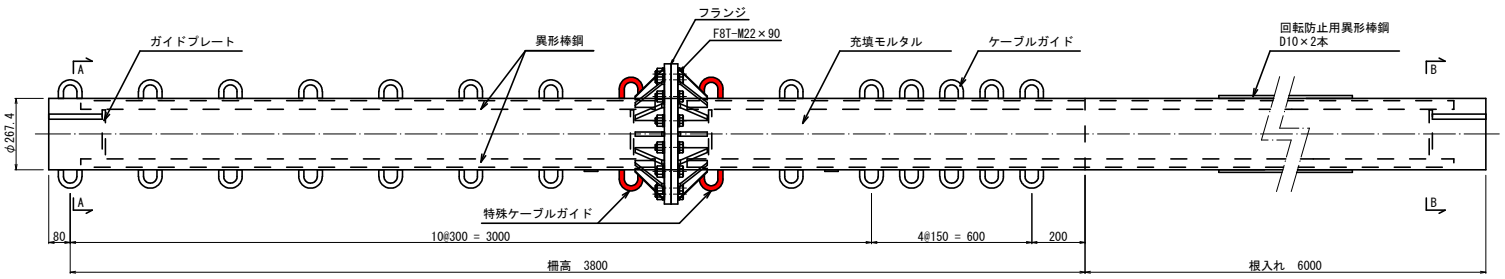
端末柱・中間および中間端末柱〈支柱タイプC〉
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 3.8 m）

参考図

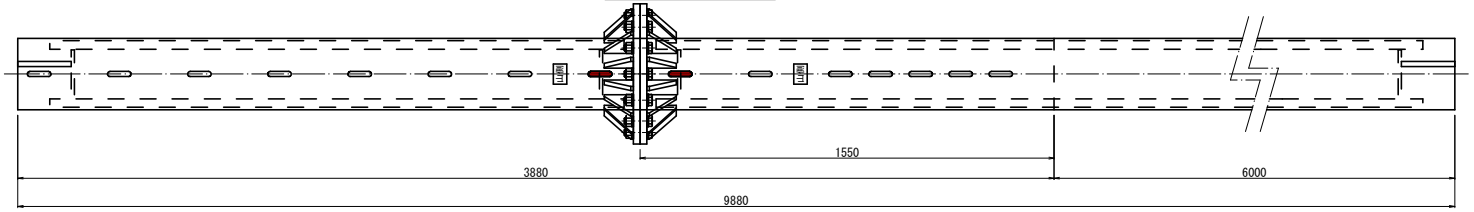
支柱平面図 S=1：10



支柱正面図 S=1：10

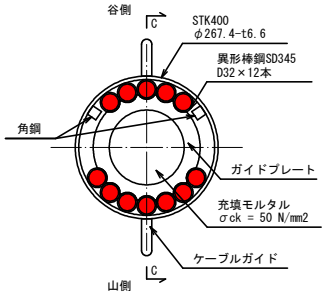


支柱側面図 S=1：10

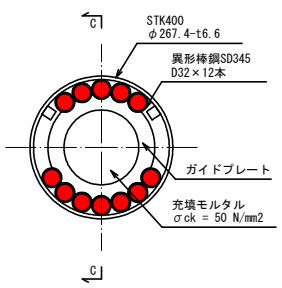


支柱断面図 S=1：5

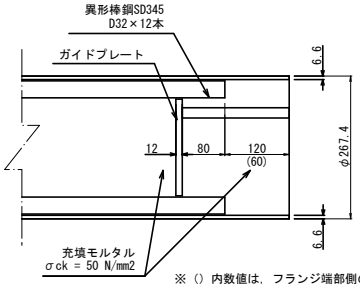
A － A 矢視図



B － B 矢視図

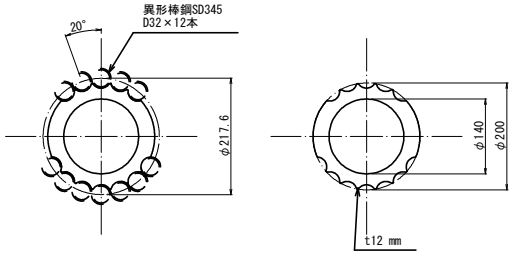


C － C 矢視図

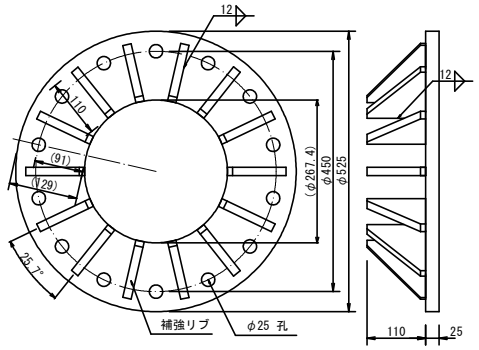


※（）内数値は，フランジ端部側の寸法を示す．

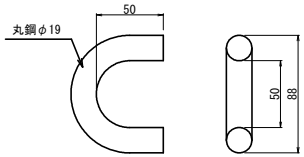
ガイドプレート詳細図 S=1：5



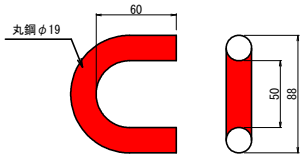
フランジ詳細図 S=1：5



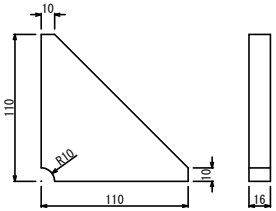
ケーブルガイド詳細図 S=1：2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1：2



補強リブ詳細図 S=1：2

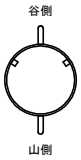


崩壊土砂防護柵部材詳細図(4)

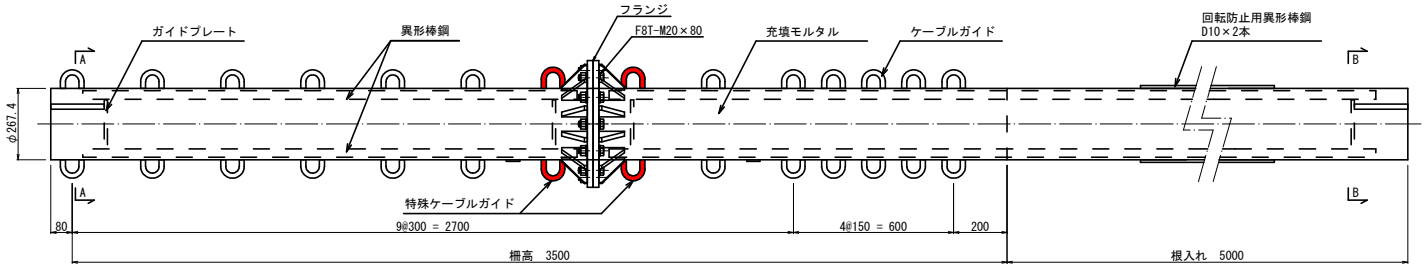
端末および中間柱 〈支柱タイプD〉
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 3.5 m）

参考図

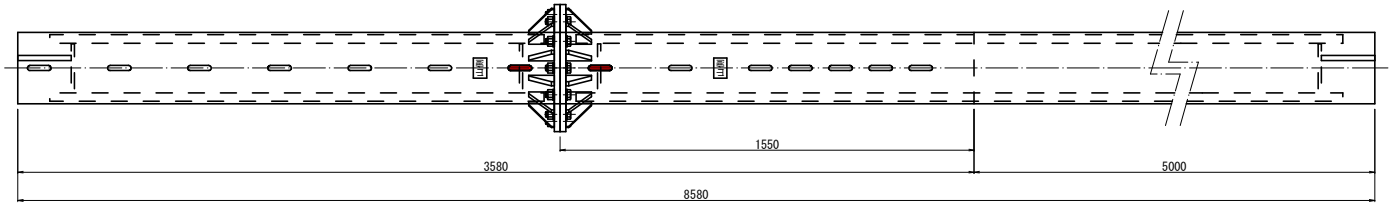
支柱平面図 S=1：10



支柱正面図 S=1：10

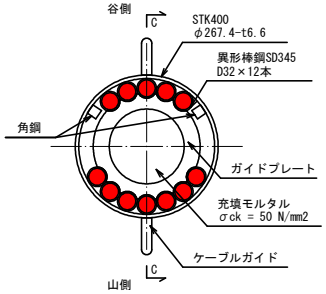


支柱側面図 S=1：10

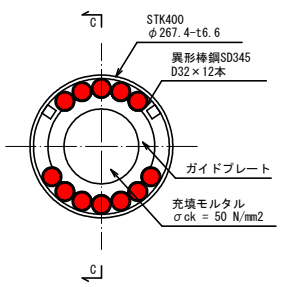


支柱断面図 S=1：5

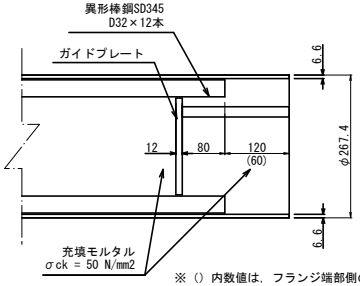
A － A 矢視図



B － B 矢視図

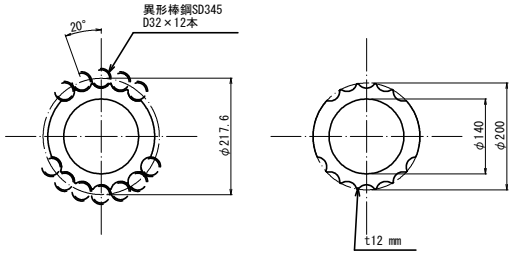


C － C 矢視図

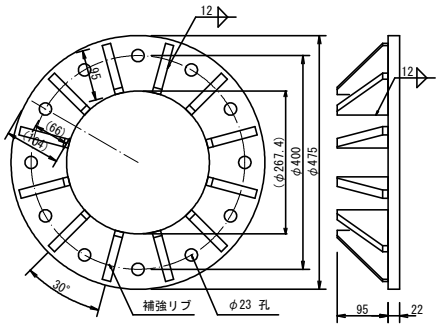


※（）内数値は，フランジ端部側の寸法を示す．

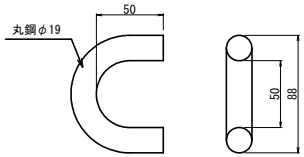
ガイドプレート詳細図 S=1：5



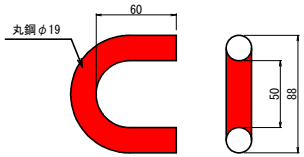
フランジ詳細図 S=1：5



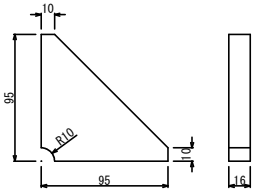
ケーブルガイド詳細図 S=1：2



特殊ケーブルガイド詳細図 S=1：2



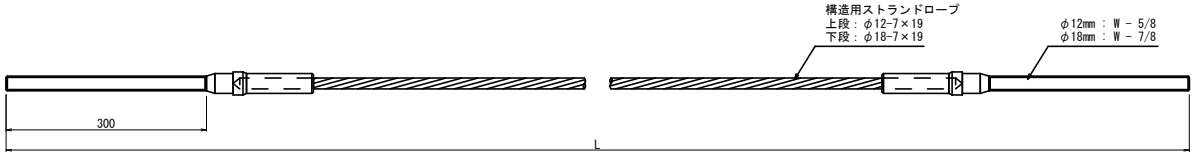
補強リブ詳細図 S=1：2



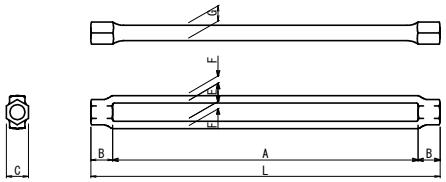
崩壊土砂防護柵部材詳細図(5)　参考図

（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 3.5 m , 3.8 m , 4.1 m）

メインケーブル概要図　S=1：4



ターンバックル詳細図　S=1：4



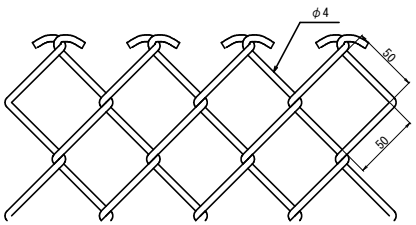
ターンバックル寸法

枠長(公差±3%)		頭部長	頭平長	ーン間隔	ーン厚	ーン幅	備考
A Inches (mm) / D Inches	L (L=A+B+B)	B	C	E	F	G	
	18″						
	457						
5/8	507	25	25	21	9	19	φ12mm用
7/8	523	33	33	27	11	23	φ18mm用

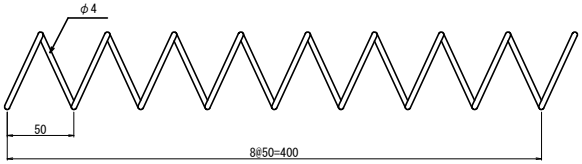
メインケーブル配置

巻きつけスパン数	備考
4スパン巻き	
3スパン巻き	
2スパン巻き	

ひし形金網　詳細図　S=1：2



結合コイル　詳細図　S=1：2

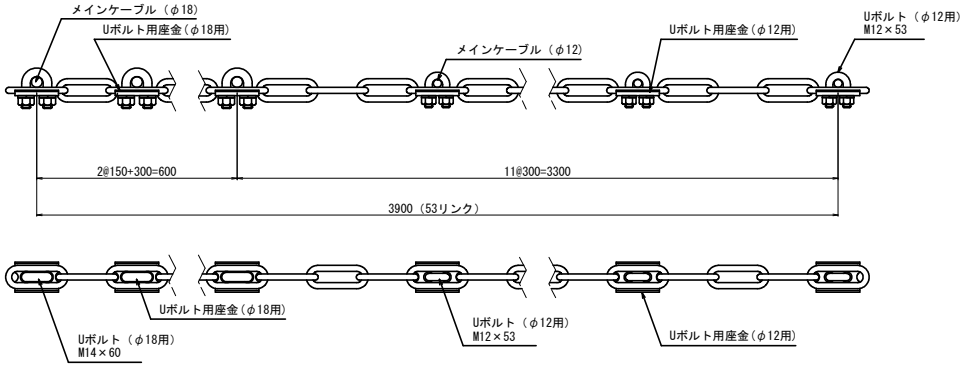


崩壊土砂防護柵部材詳細図(6)

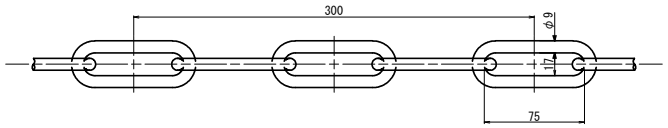
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 4.1 m）

参考図

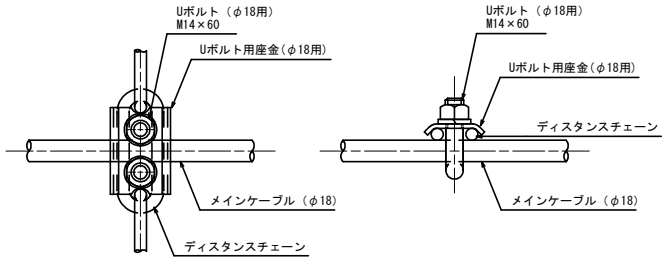
ディスタンスキーパー構造図 S=1：4



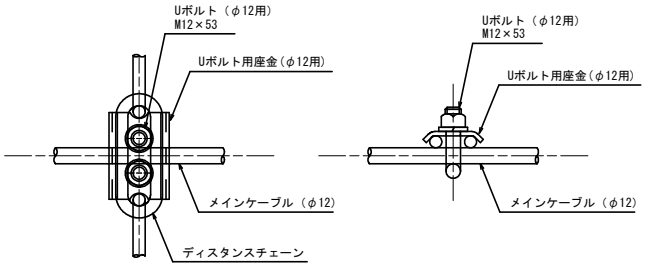
ディスタンスチェーン詳細図 S=1：2



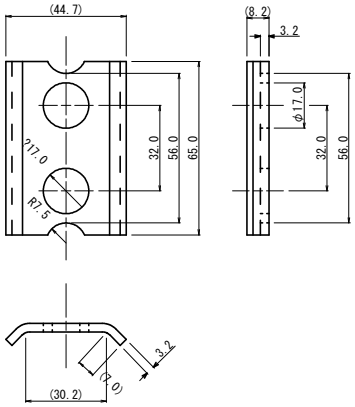
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1：2



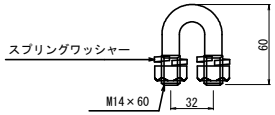
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1：2



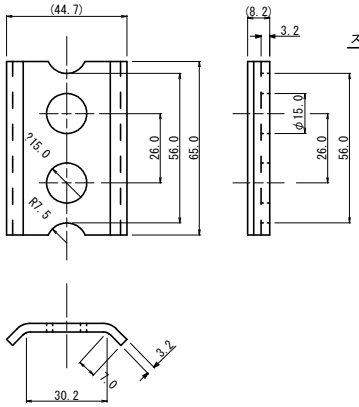
Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1：1



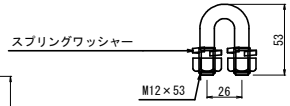
Uボルト(φ18用)詳細図 S=1：2



Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1：1



Uボルト(φ12用)詳細図 S=1：2

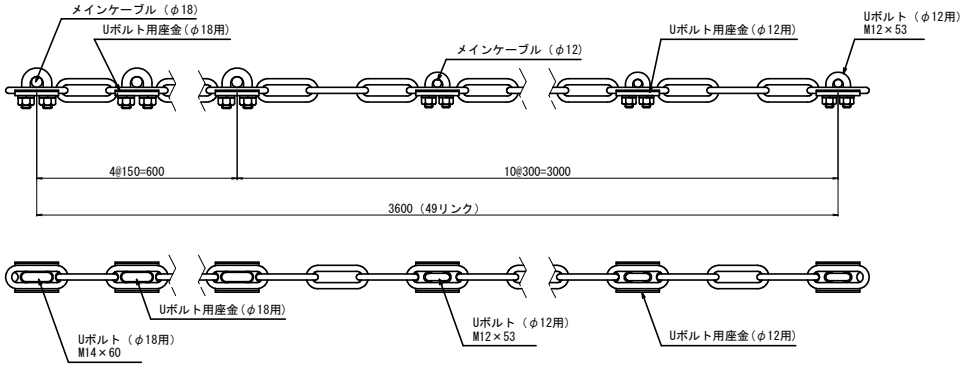


崩壊土砂防護柵部材詳細図(7)

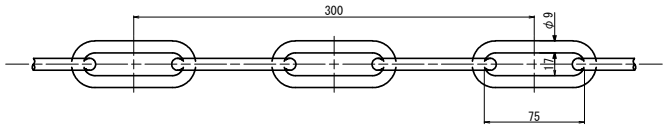
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 3.8 m）

参考図

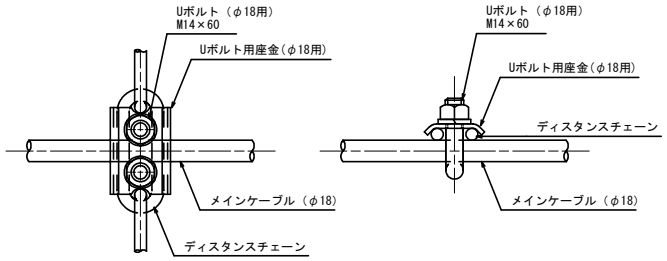
ディスタンスキーパー構造図 S=1：4



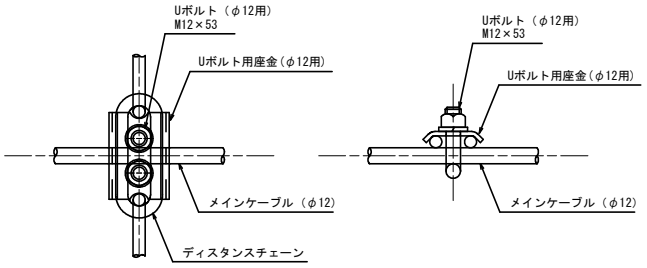
ディスタンスチェーン詳細図 S=1：2



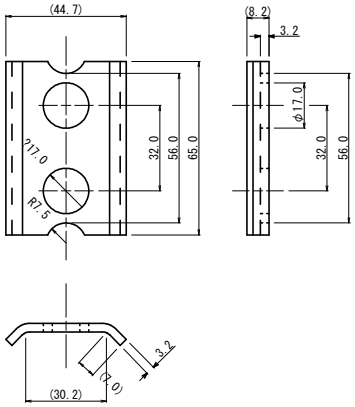
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1：2



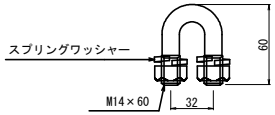
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1：2



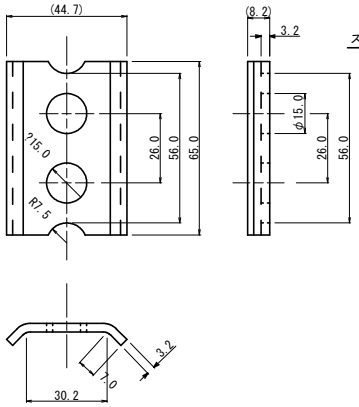
Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1：1



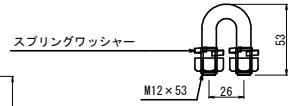
Uボルト(φ18用)詳細図 S=1：2



Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1：1



Uボルト(φ12用)詳細図 S=1：2

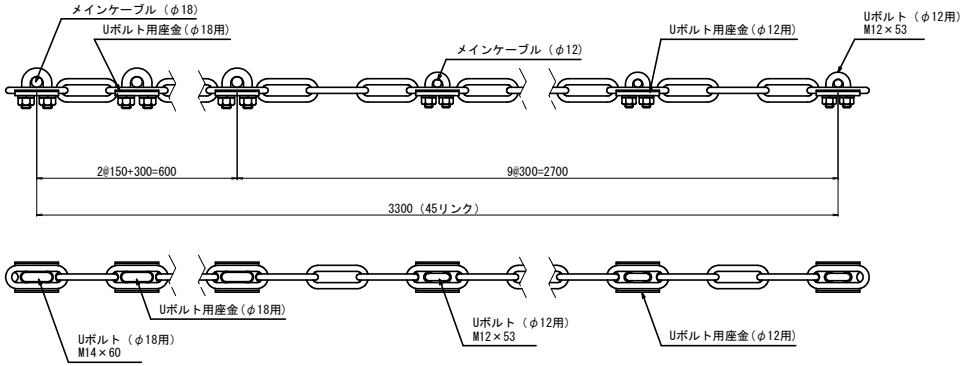


崩壊土砂防護柵部材詳細図(8)

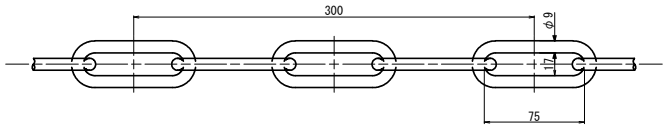
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 3.5 m）
〈起点側区間〉

参考図

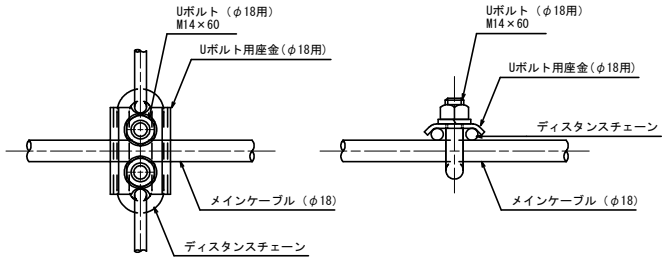
ディスタンスキーパー構造図 S=1：4



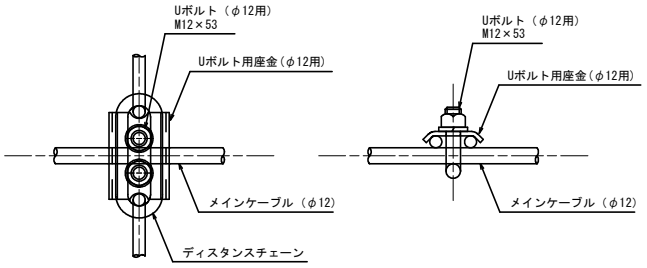
ディスタンスチェーン詳細図 S=1：2



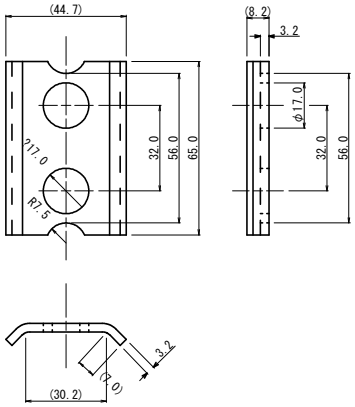
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1：2



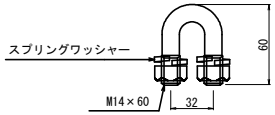
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1：2



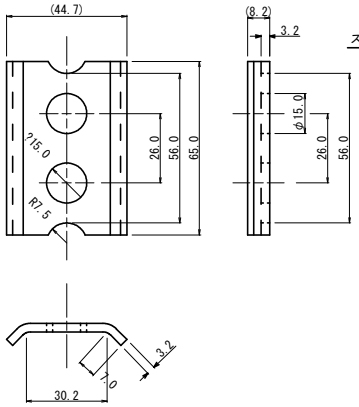
Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1：1



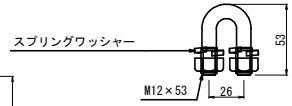
Uボルト(φ18用)詳細図 S=1：2



Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1：1



Uボルト(φ12用)詳細図 S=1：2

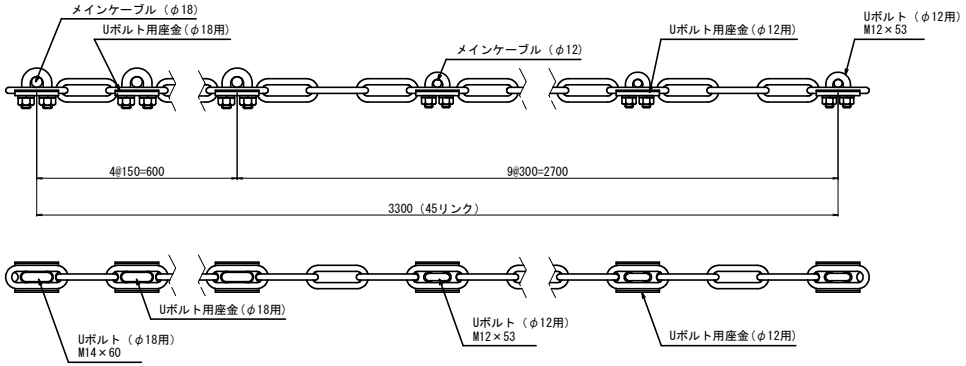


崩壊土砂防護柵部材詳細図(9)

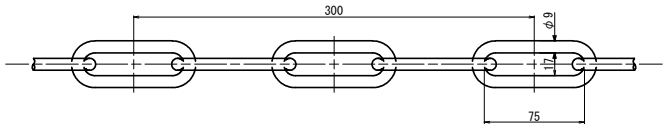
（スロープガードフェンス　Eタイプ／柵高 H= 3.5 m）
〈終点側区間〉

参考図

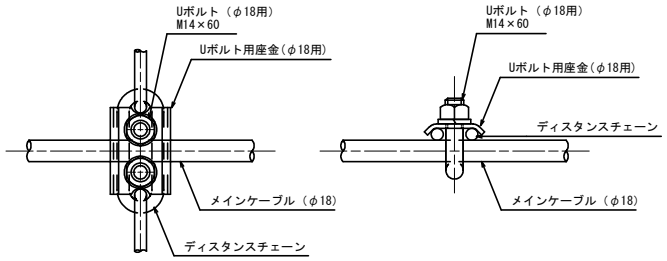
ディスタンスキーパー構造図 S=1：4



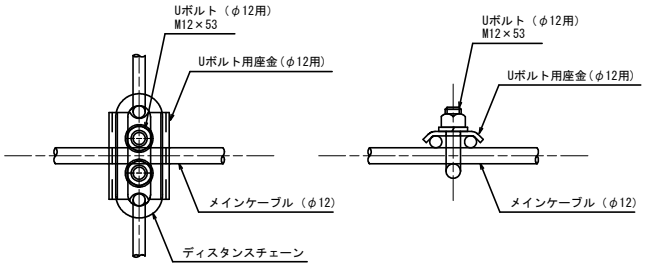
ディスタンスチェーン詳細図 S=1：2



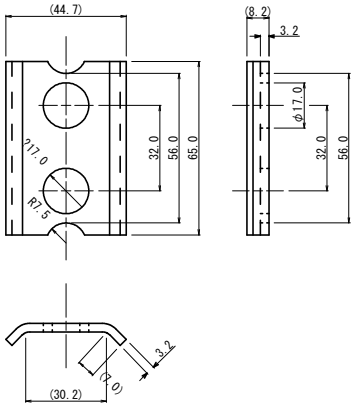
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1：2



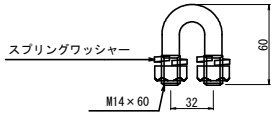
ディスタンスチェーン組合せ図 S=1：2



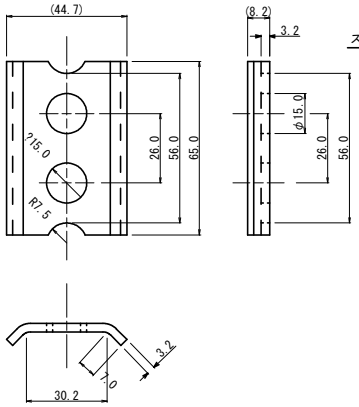
Uボルト用座金(φ18用)詳細図 S=1：1



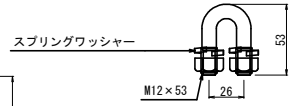
Uボルト(φ18用)詳細図 S=1：2



Uボルト用座金(φ12用)詳細図 S=1：1



Uボルト(φ12用)詳細図 S=1：2

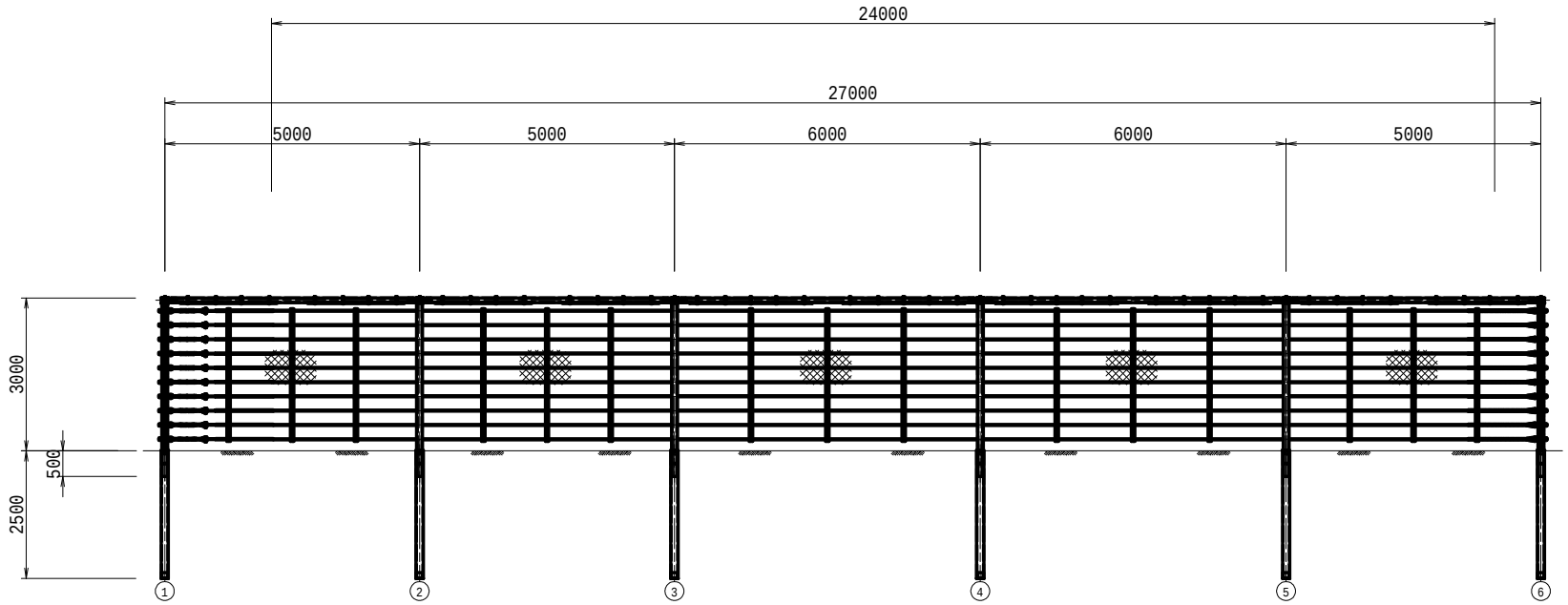


鋼管杭式落石防護柵展開図(1) S=1:50 【参考図】
区間①

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 G/O 18φ 18本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	26.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	4
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	2
	89.1φ×3.2-4748	本	3
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	15
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	6
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m^2	28.9
結合コイル	3.2φ×50×300	個	52
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	27

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
1	-187,611.008	-79,675.880
2	-187,608.241	-79,680.044
3	-187,606.480	-79,684.724
4	-187,603.774	-79,690.079
5	-187,602.001	-79,695.811
6	-187,601.847	-79,700.808

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

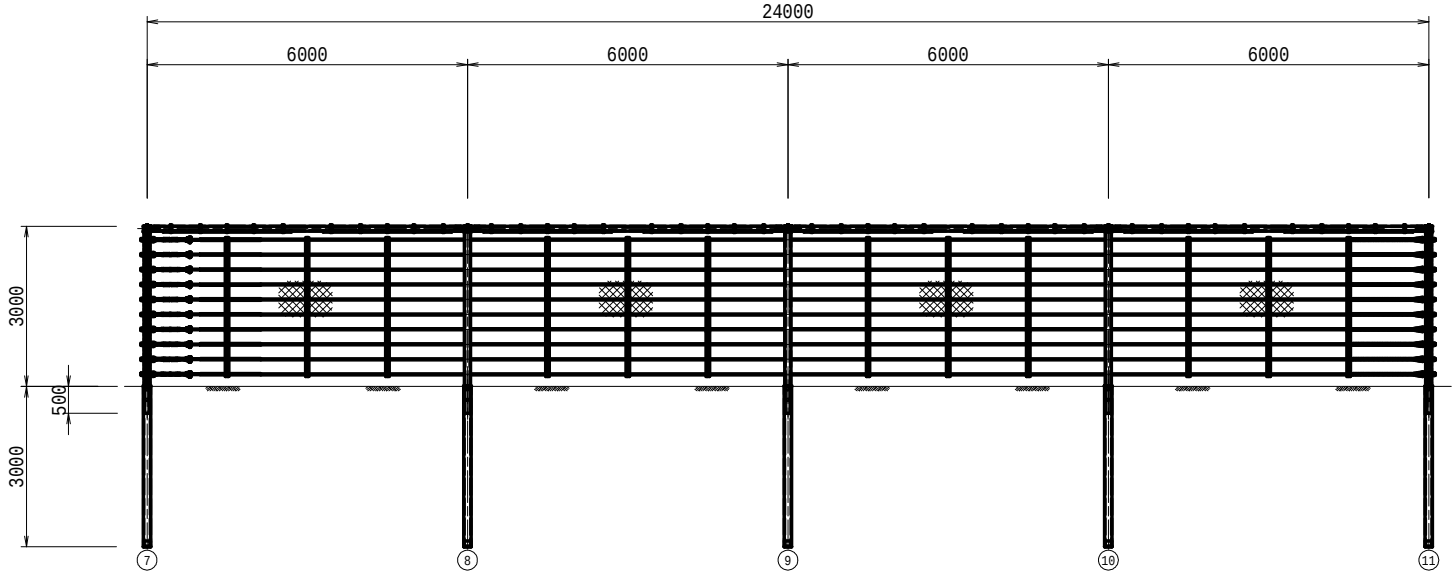
年 度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵展開図(1)		
縮 尺	1:50	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(2) S=1:50 【参考図】
区間②

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 G/O 18φ 16本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	24.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	3
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	4
	89.1φ×3.2-4748	本	0
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	12
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-3000	本	5
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m^2	26.6
結合コイル	3.2φ×50×300	個	48
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	25

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
7	-187,599.244	-79,698.984
8	-187,597.295	-79,704.658
9	-187,595.250	-79,710.301
10	-187,593.541	-79,716.051
11	-187,592.627	-79,721.982

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

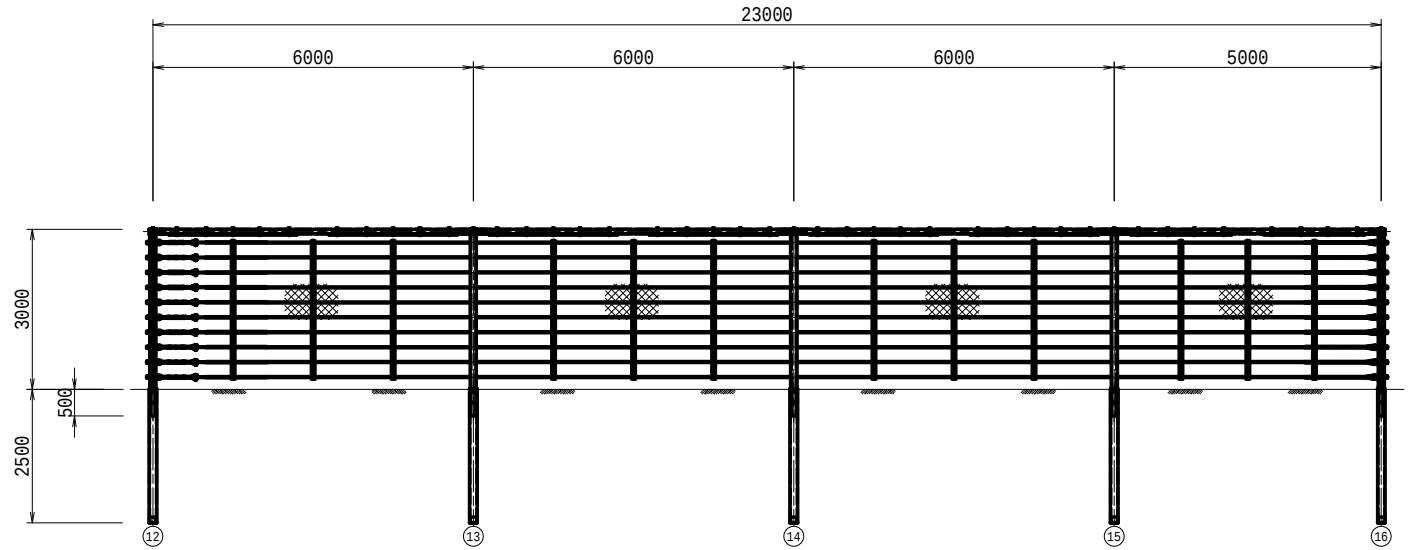
年 度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵展開図(2)		
縮 尺	1:50	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(3) S=1:50【参考図】
区間③

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 G/O 18φ 16本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	23.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	3
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	3
	89.1φ×3.2-4748	本	1
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	12
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	5
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m^2	25.5
結合コイル	3.2φ×50×300	個	46
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	24

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
12	-187,990.997	-79,720.482
13	-187,989.317	-79,726.242
14	-187,987.637	-79,732.002
15	-187,986.519	-79,737.897
16	-187,984.516	-79,742.479

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

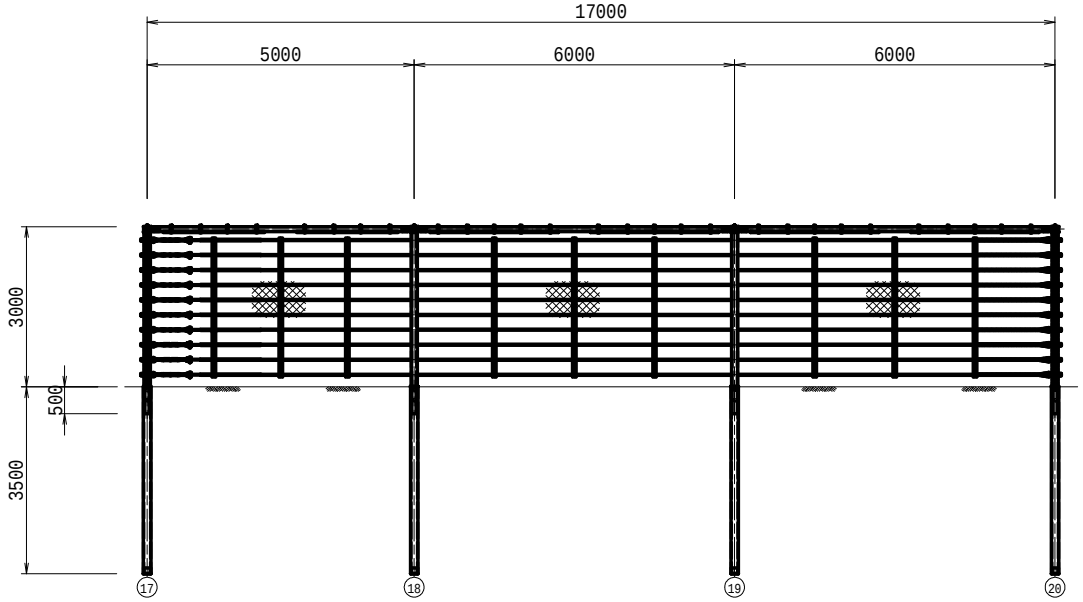
年 度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵展開図(3)		
縮 尺	1:50	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(4) S=1:50 【参考図】
区間④

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 G/O 18φ 18本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	17.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	2
	89.1φ×3.2-4748	本	1
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	9
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-3500	本	4
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m^2	18.9
結合コイル	3.2φ×50×300	個	34
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	18

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
17	-187,989.525	-79,741.176
18	-187,985.430	-79,744.045
19	-187,983.478	-79,749.719
20	-187,981.527	-79,755.392

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

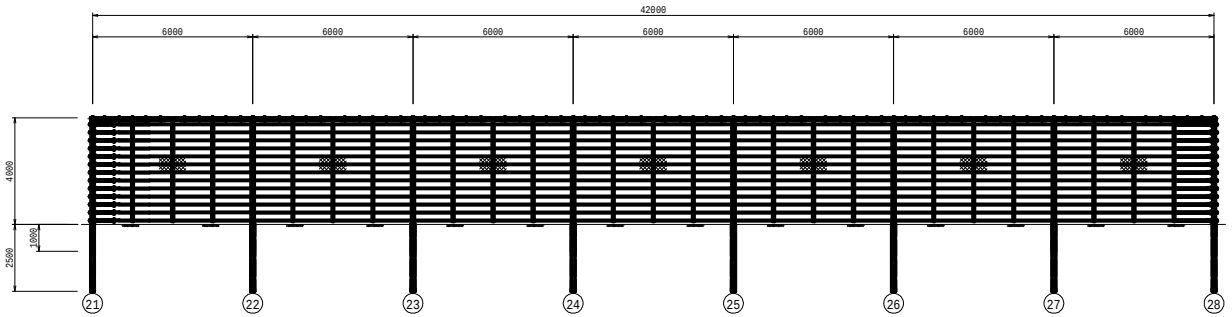
年 度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵展開図(4)		
縮 尺	1:50	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(5) S=1:50 【参考図】
区間⑤

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 G/O 18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=3.85m	m	42.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-5000	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-5000	本	6
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	7
	89.1φ×3.2-4748	本	0
間隔保持材構成	PL-65×4.5-980	本	21
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	8
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m^2	46.6
結合コイル	3.2φ×50×300	個	42
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	43

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
21	-187,980.368	-79,753.694
22	-187,927.999	-79,759.208
23	-187,925.633	-79,764.722
24	-187,922.976	-79,770.101
25	-187,920.140	-79,775.389
26	-187,918.069	-79,781.020
27	-187,915.634	-79,786.504
28	-187,913.199	-79,791.987

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

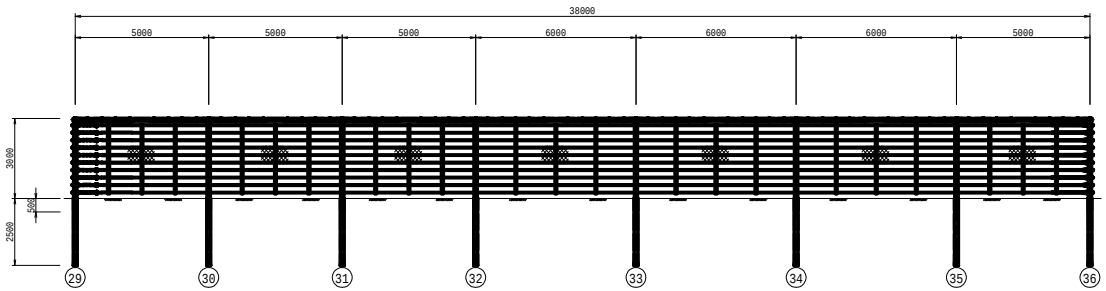
年 度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵展開図(5)		
縮 尺	1:100	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵展開図(6) S=1:100 【参考図】
区間⑥

数量表

名称	規格寸法	単位	数量
ケーブル構成	3×7 G/O 18φ 10本 Z-GS3 3.2φ×50×50 H=2.85m	m	38.0
端末支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	2
中間支柱構成	114.3φ×8.0-3500	本	6
サポート構成	89.1φ×3.2-5748	本	3
	89.1φ×3.2-4748	本	4
間隔保持材構成	PL-65×4.5-920	本	21
ターンバックルJ&E	25φ×350	箇所	1
鋼管杭	139.8φ×6.0t-2500	本	8
金網(Z-GS3・ナックル)	3.2φ×50×50	m^2	42.2
結合コイル	3.2φ×50×300	個	76
十字形ピンアンカー	13φ×500	本	39

[道路側視]



杭中心座標一覧表

杭番号	x	y
29	-187,914.001	-79,791.725
30	-187,911.446	-79,796.016
31	-187,908.992	-79,800.314
32	-187,906.337	-79,804.613
33	-187,903.216	-79,809.770
34	-187,900.749	-79,715.214
35	-187,898.263	-79,820.675
36	-187,896.192	-79,825.226

※杭中心座標は、参考値である。現地状況に応じて変更可であるが、隣接区間とのラップ長を確保すること。

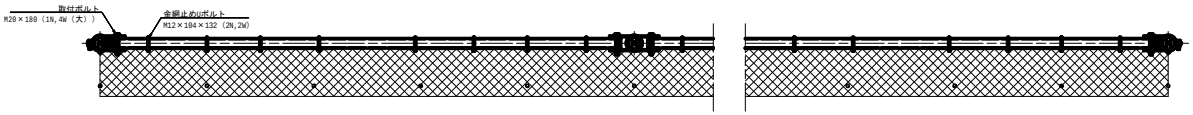
年 度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵展開図(6)		
縮 尺	1:100	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵構造図(1) S=1:25 【参考図】

（柵高3.0m、支柱間隔5.0m）

平面図　S=1/25

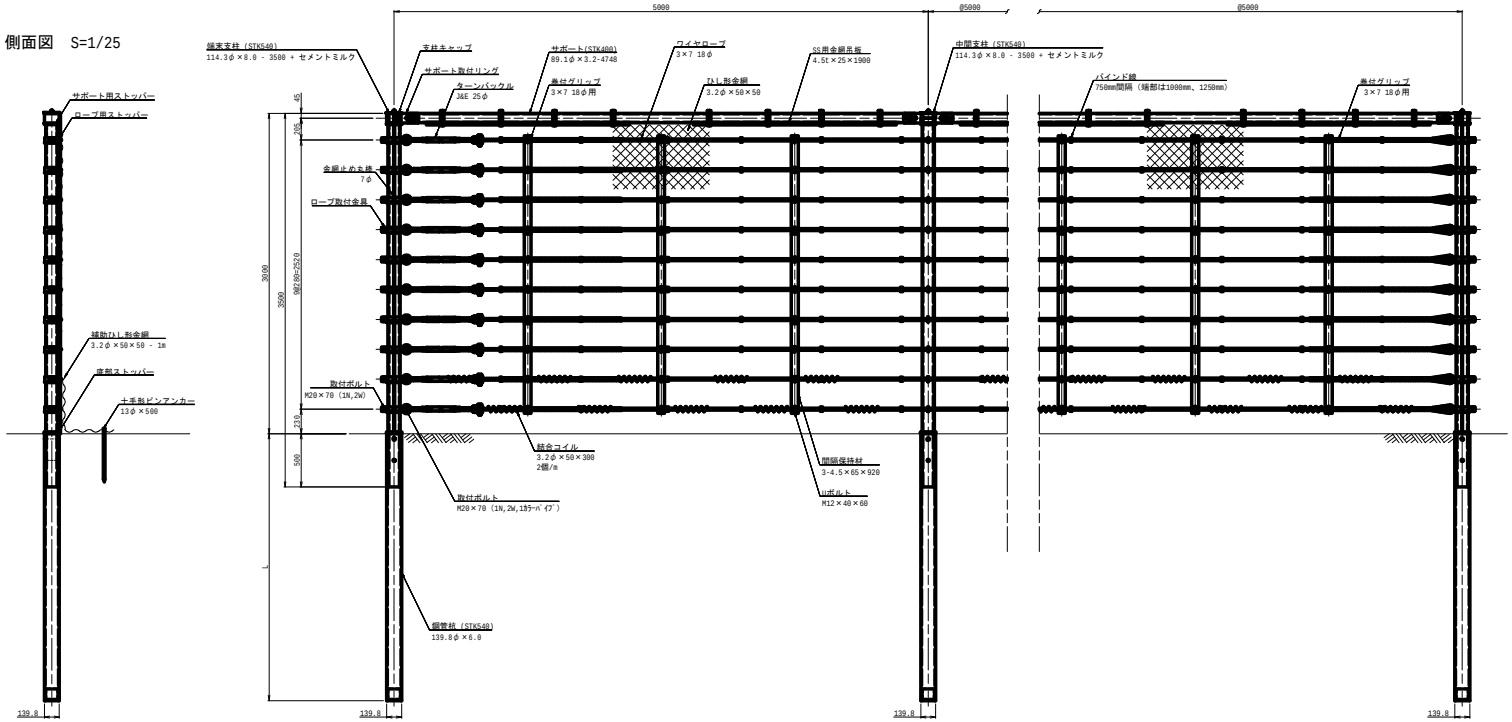
（道路側）



（山　側）

正面図　S=1/20

側面図　S=1/25



年　度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵構造図(1)		
縮　尺	1:25	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

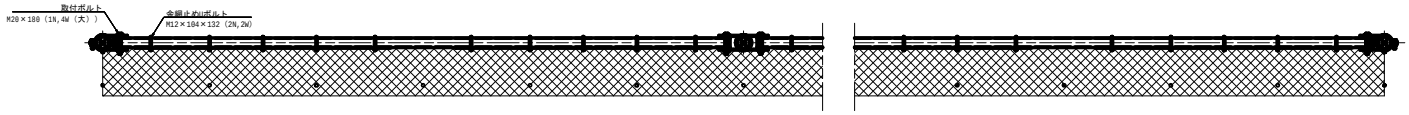
R4_33

鋼管杭式落石防護柵構造図(2) S=1:25 【参考図】

（柵高3.0m、支柱間隔6.0m）

平面図 S=1/25

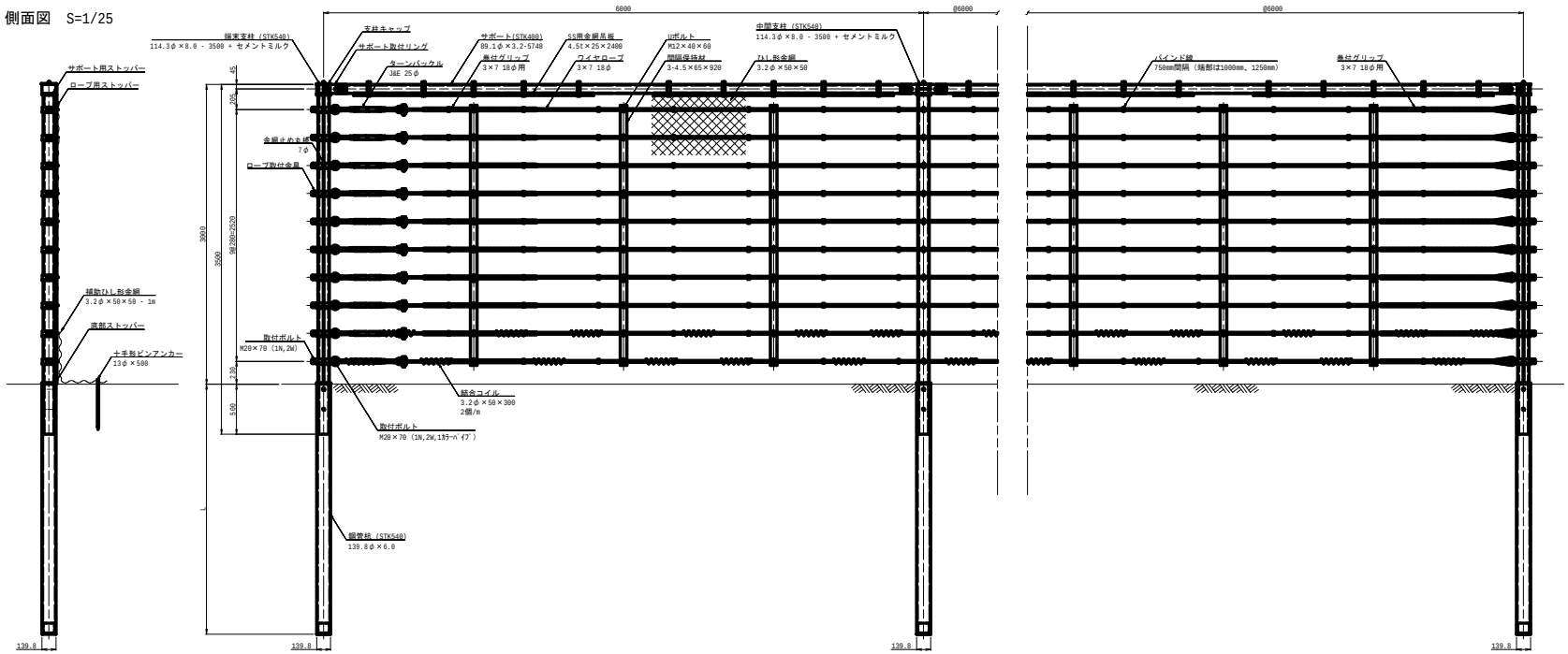
（道路側）



（山 側）

正面図 S=1/20

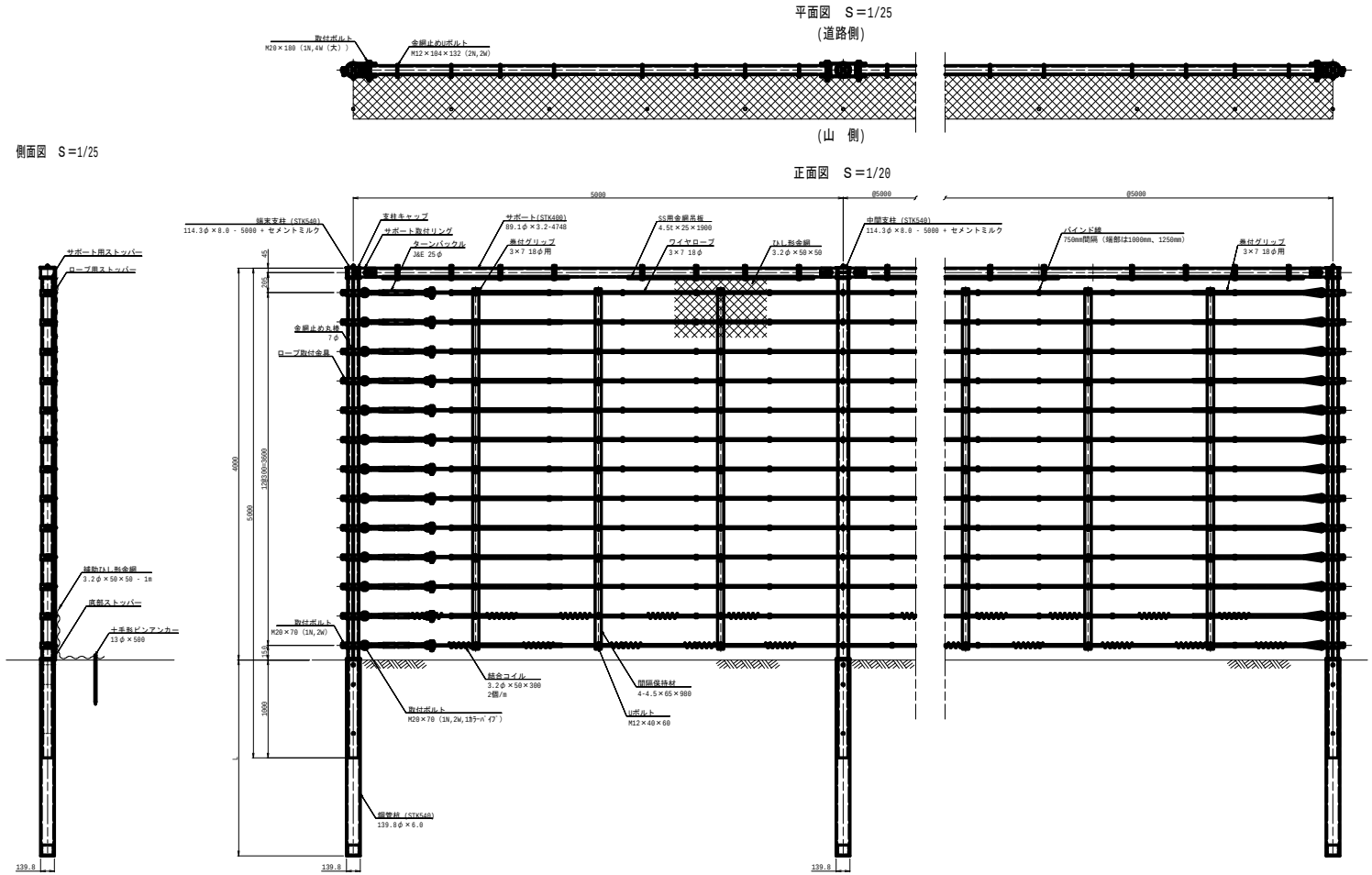
側面図 S=1/25



年 度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵構造図(2)		
縮 尺	1:25	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵構造図(3) S=1:25 【参考図】

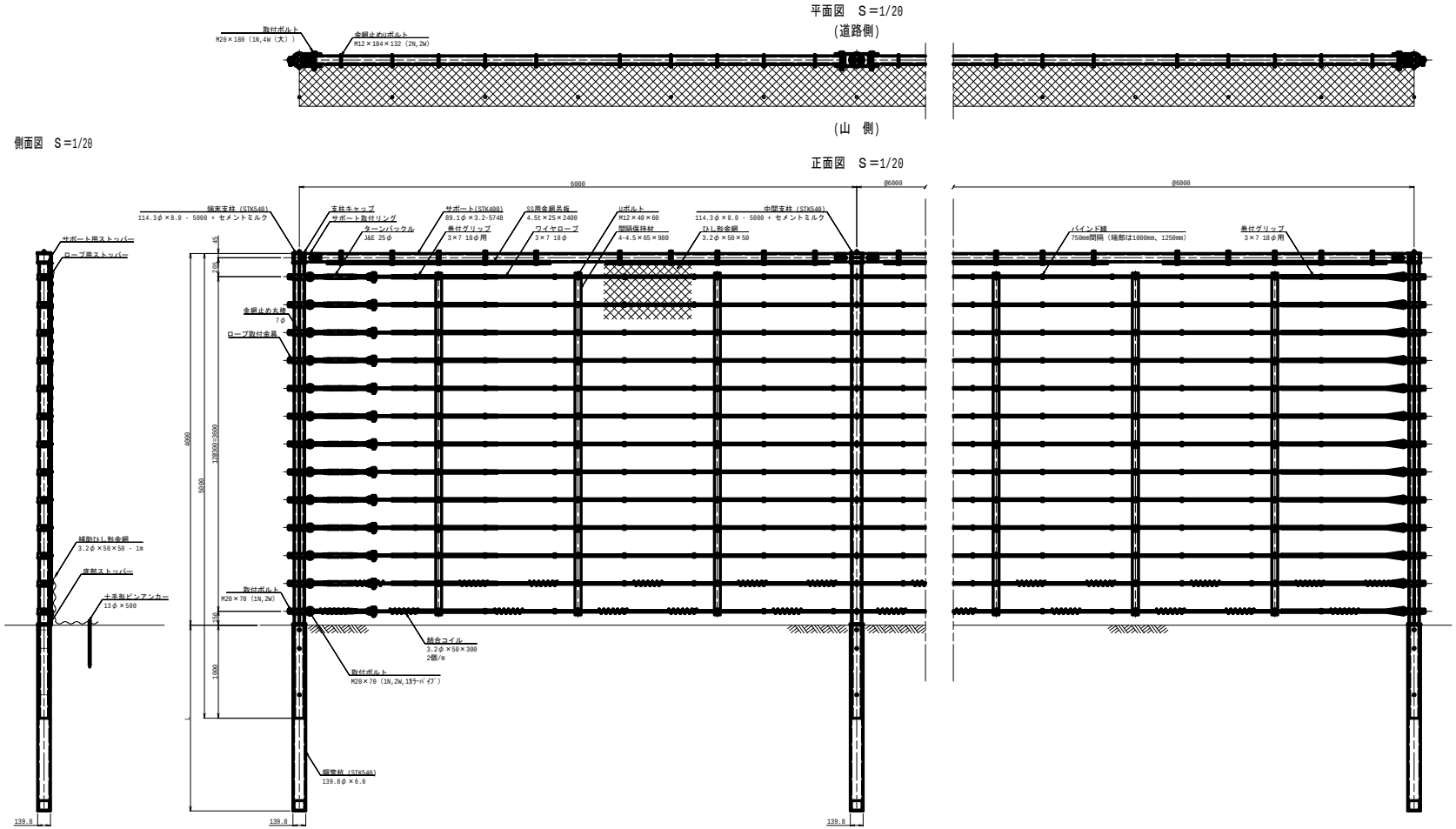
（柵高4.0m、支柱間隔5.0m）



年 度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵構造図(3)		
縮 尺	1:25	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

鋼管杭式落石防護柵構造図(4) S=1:25 【参考図】

（柵高4.0m、支柱間隔6.0m）

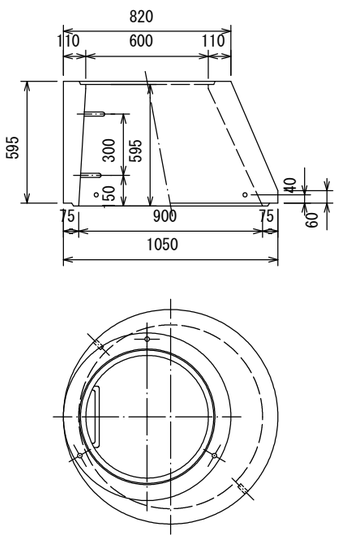


年 度		番号	／
路 線 名			
工 事 名			
所属地名			
図 面 名	鋼管杭式落石防護柵構造図(4)		
縮 尺	1:25	作成年月	令和 3年 3月
大阪府岸和田土木事務所			

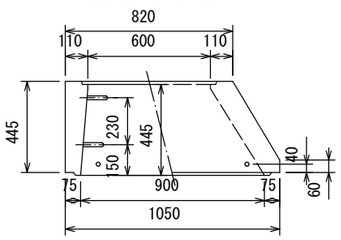
組立マンホール構造図（内径９００mm）

斜　　壁

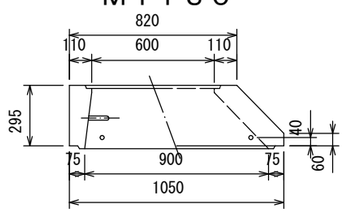
M１T６０



M１T４５

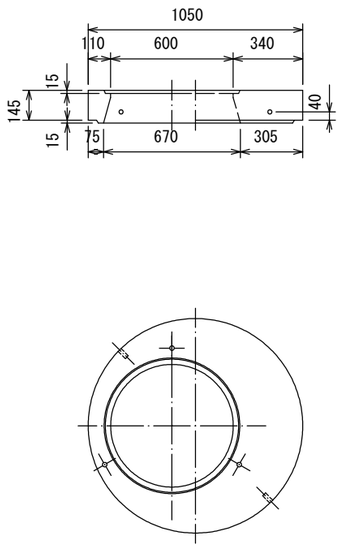


M１T３０



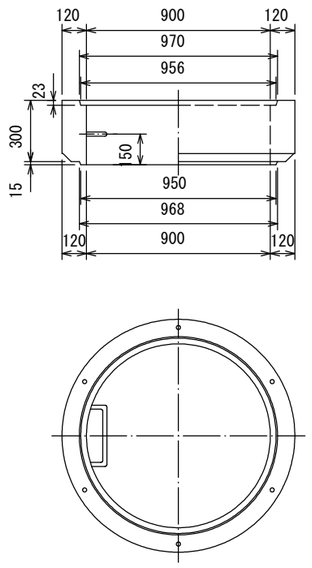
床版斜壁

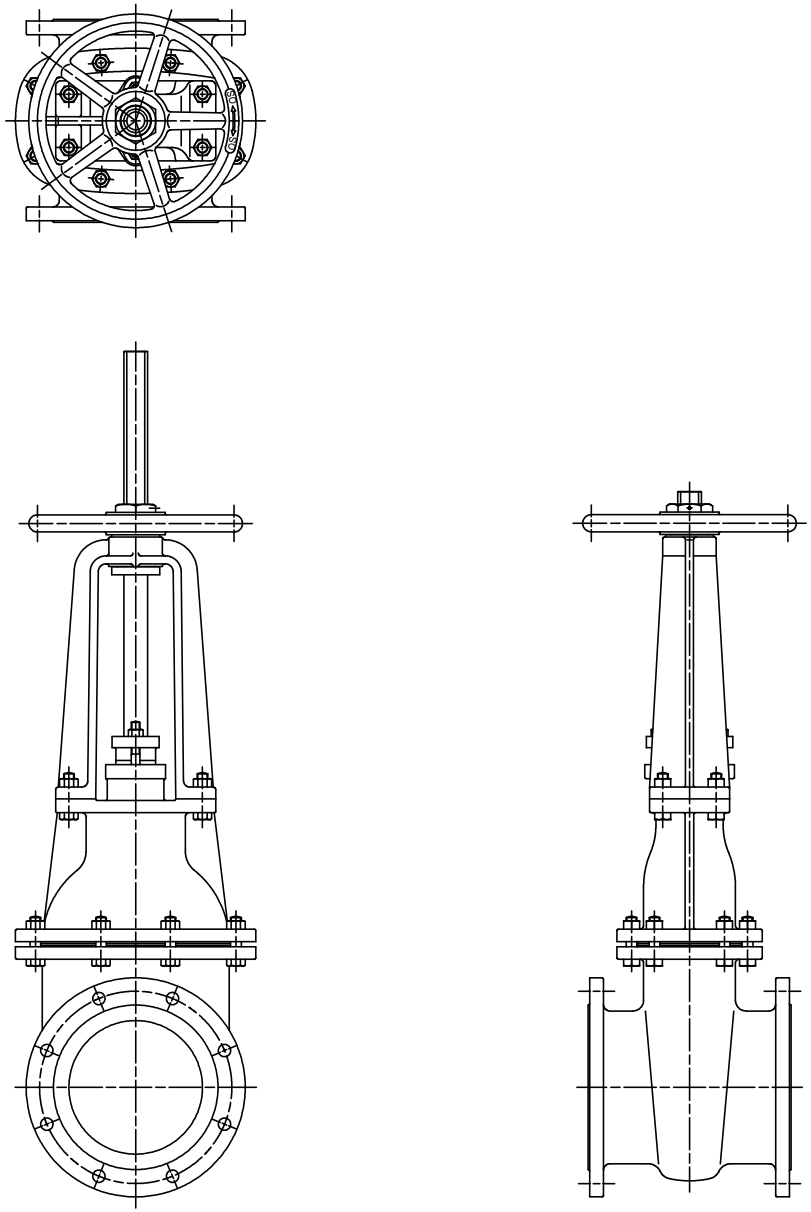
M１TP



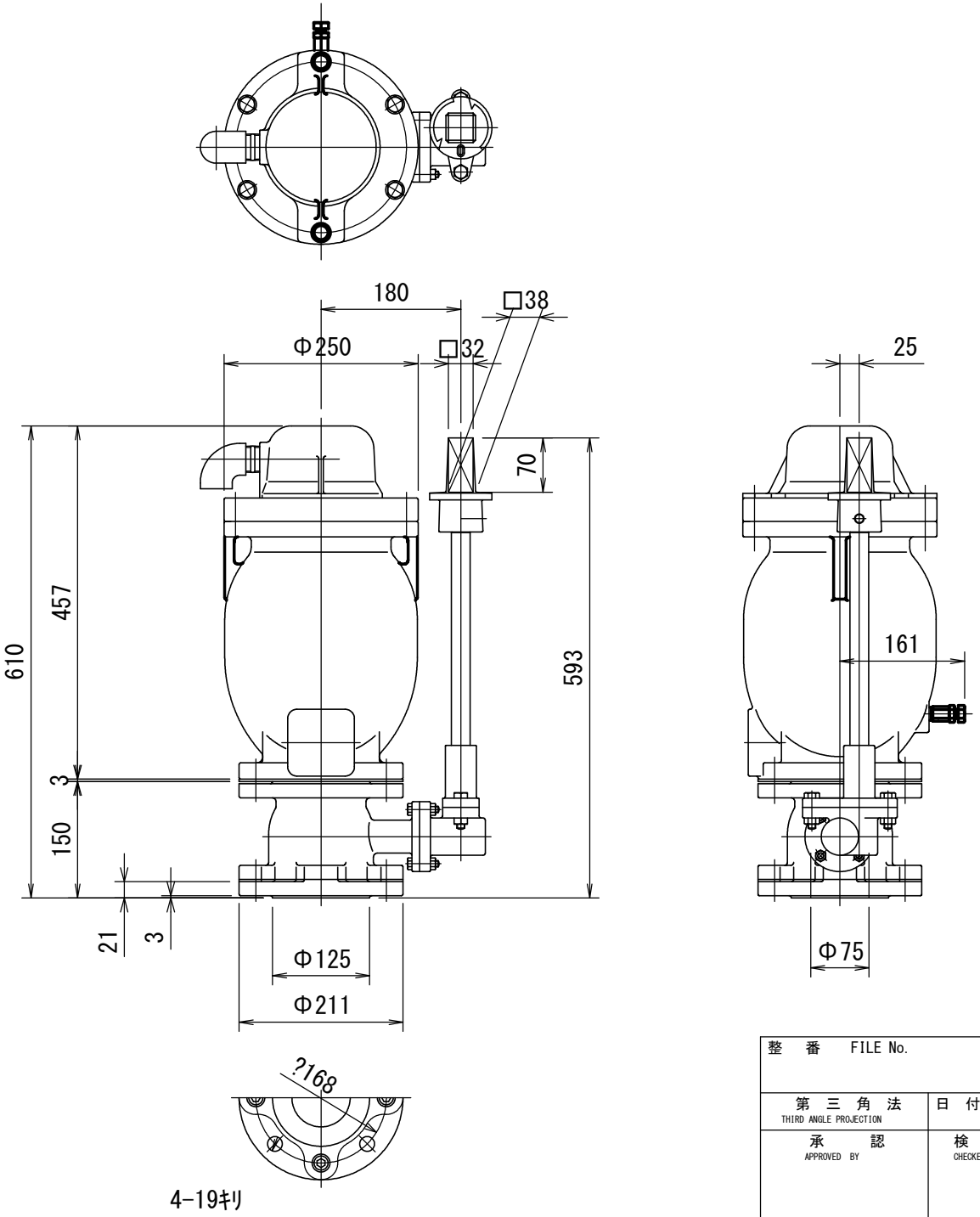
斜　　壁

M１T３９





ＪＩＳ　Ｂ　２０６２　準拠　φ２５０
外ねじ仕切弁
ＳＯ－０１２５０／９

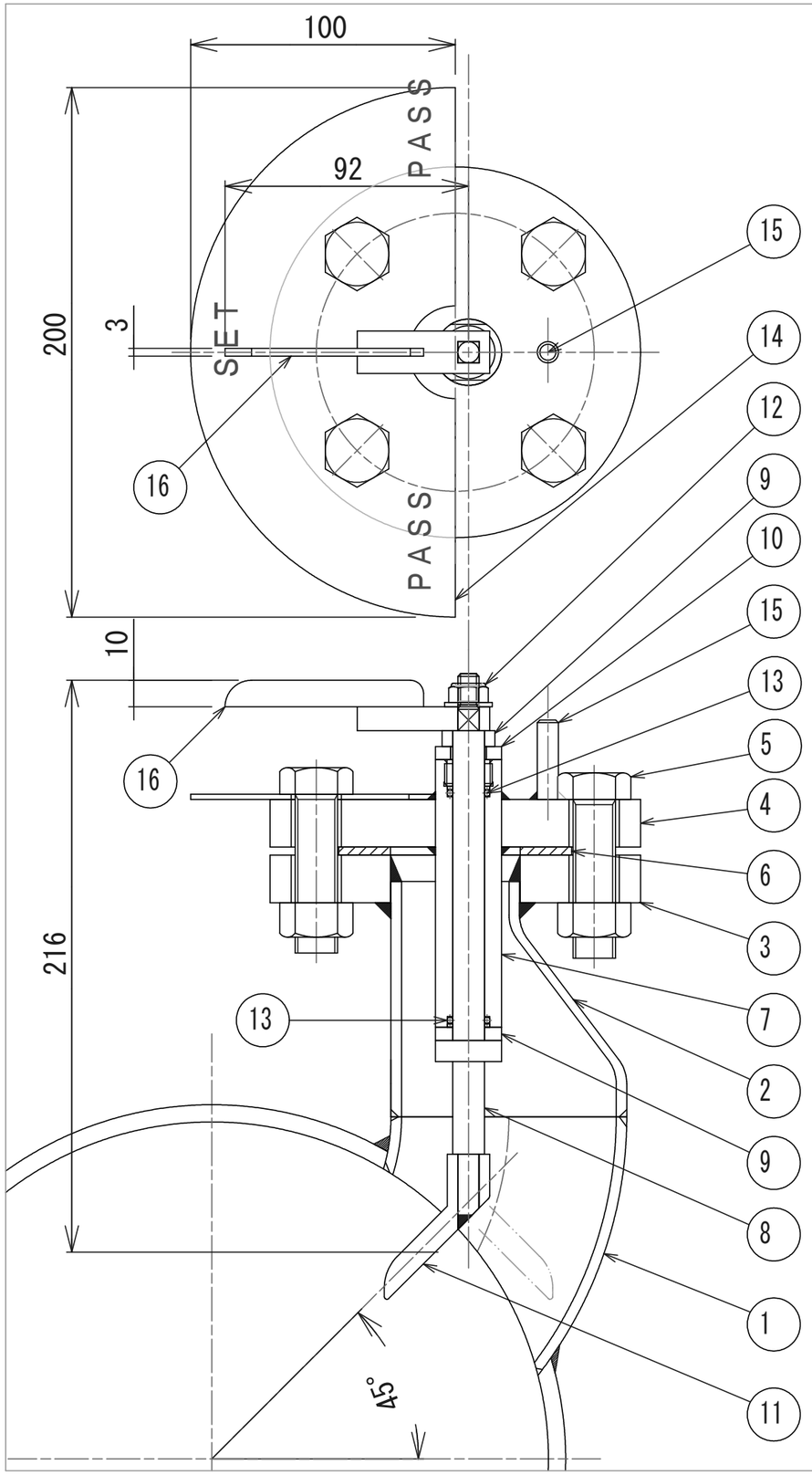


来歴 CAREER				
符号 MARKS	改訂理由 ALTERATION	日付 DATE	担当 DESIGNED BY	承認 APPROVED BY
△				
△				
△				

整番 FILE No.			製番 ORDER No.
第三角法 THIRD ANGLE PROJECTION	日付 DATE	尺度 SCALE 1:6	形式 TYPE 納入先 CUSTOMER. 所属
承認 APPROVED BY	検図 CHECKED BY	担当 DESIGNED BY / 製図 DRAWN BY	図名 TITLE 下水用空気弁組立図
			図番 DWG. No.

R4_39

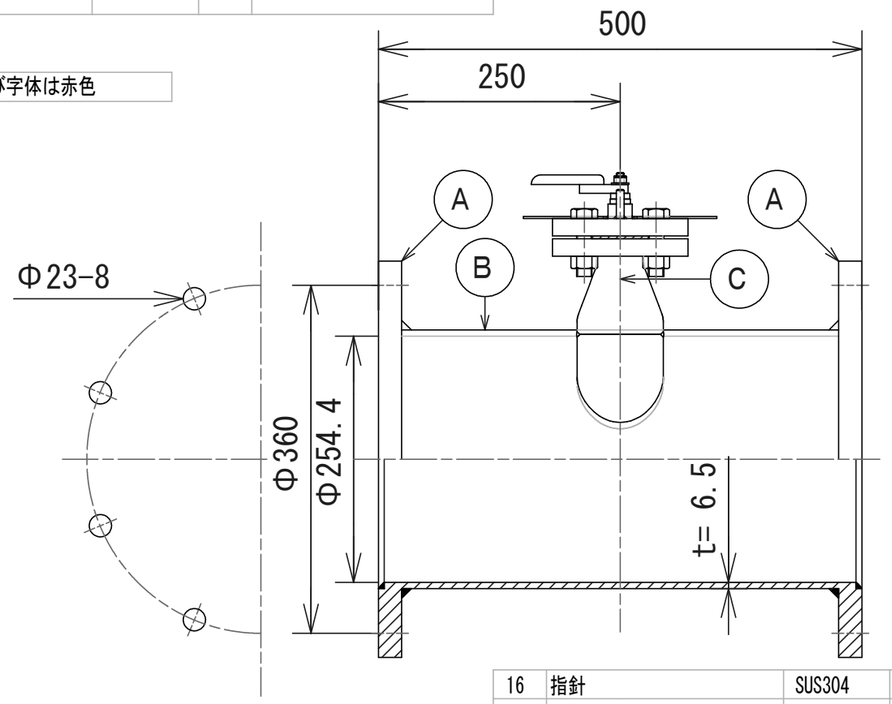
A3 (297×420)



ノズルリスト				
番号	名　称	材　質	数量	備　考
A	φ250 フランジ	SUS304	2	水協規格7.5k FF PL
B	φ250 パイプ	SUS304	1	SCH 20S
C	ピグ通過検知部	SUS304	1	

設　計　条　件	
設計圧力	0.74 MPa
試験圧力	水圧（耐圧）1.11 MPa，　気密無し
表面処理	内外面　酸洗い

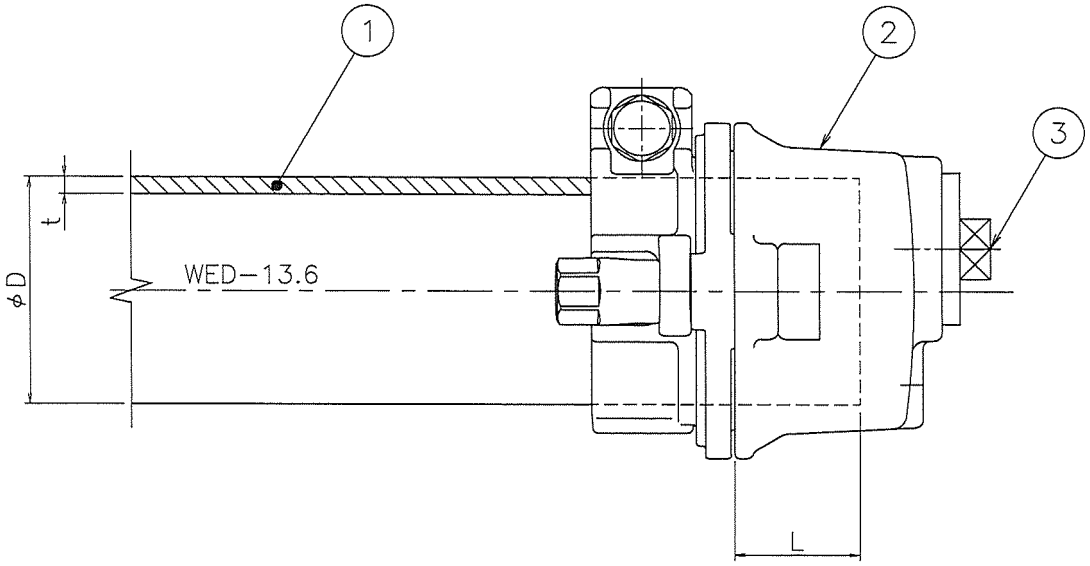
指針及び字体は赤色



番号	名　称	材　質	数量	備　考
16	指針	SUS304	1	
15	ストッパー	SUS304	1	φ8×30L
14	大型表示板	SUS304	1	2t
13	“O”リング	バイトン	2	
12	U-ナット	SUS304	1	M8　W付
11	検出爪	↕	1	
10	プラグ	SUS304	1	
9	ワッシャ	テフロン	2	
8	回転軸	SUS304	1	
7	スリーブ	SUS304	1	
6	パッキン	テフロン	1	3t
5	ボルト・ナット	SUS304	4	M16×65L
4	カバーフランジ	↑	1	40A JIS 20K
3	ノズルフランジ	↕	1	40A JIS 20K
2	保護管	↓	1	80A×40A RESCH20
1	保護管	SUS304	1	80A SCH20 45°　ロング
番号	名　称	材　質	数量	備　考

客先名	製作数　1台
工事件名	図面番号
機器名称　ピグ通過確認装置	縮尺　通過検知部 :NONE 通過確認装置:1/6
照査　担当　製図	設計年月日

参考図



■下水道用
■設計内圧　：　075MPa
■使用流体温度　：　40℃以下

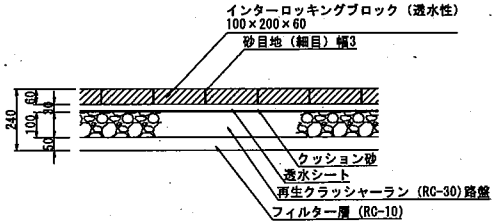
呼び径	φD	t	L	プラグサイズ
W40	50	3.7	22	25A
W50	63	4.7	43	
W75	90	6.7	49	50A
W100	125	9.2	63	

品番	品　名	材　質	数量	記　事
3	プラグ	−	−	
2	スッポンジョイント	鋳物	1	
1	導管	高密度PE（二層）	−	管構成材

構造図（17）

透水性インターロッキング舗装-1a

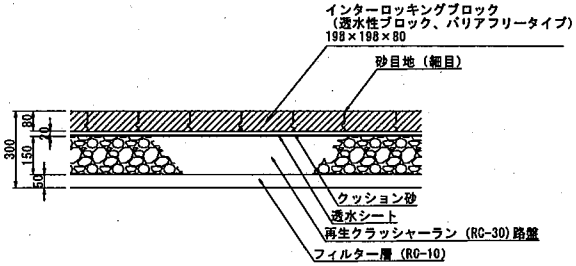
S=1:10



断面図

透水性インターロッキング舗装-2

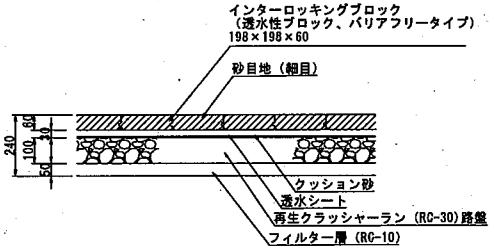
S=1:10



断面図

透水性インターロッキング舗装-1b

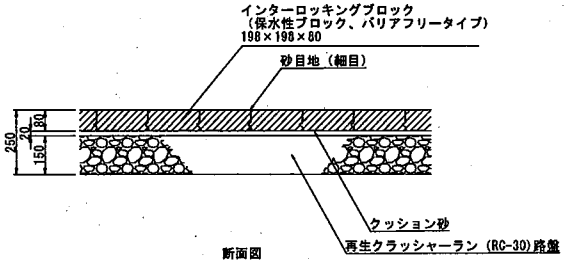
S=1:10



断面図

保水性インターロッキング舗装

S=1:10



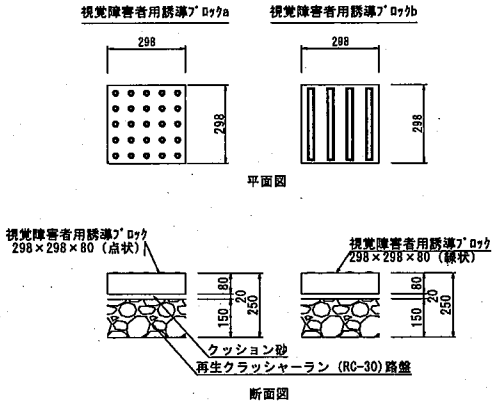
断面図

[redacted]

構造図（18）

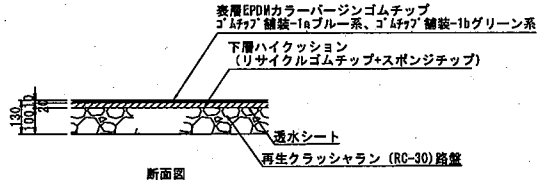
視覚障がい者用誘導ブロックa, b

S=1:10



ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ舗装-1a, 1b

S=1:20

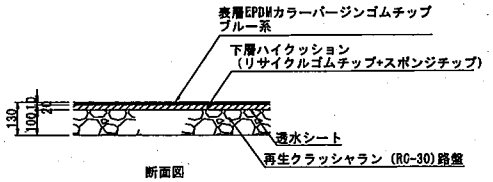


特記仕様

- 透水シートは、透水係数 10^{-2}(cm/sec)以上、引張り強さ 245N/5cm以上(JIS L 1096) とする。
- （一社）日本公園施設業協会、ＳＰＬマーク表示認定製品とする。
- （一社）日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ舗装-2

S=1:20

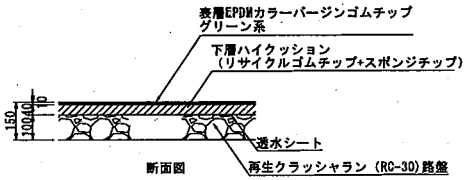


特記仕様

- 透水シートは、透水係数 10^{-2}(cm/sec)以上、引張り強さ 245N/5cm以上(JIS L 1096) とする。
- （一社）日本公園施設業協会、ＳＰＬマーク表示認定製品とする。
- （一社）日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ舗装-3

S=1:20



特記仕様

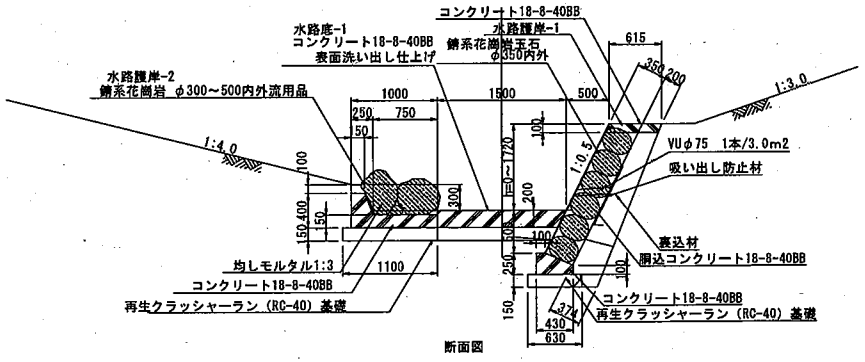
- 透水シートは、透水係数 10^{-2}(cm/sec)以上、引張り強さ 245N/5cm以上(JIS L 1096) とする。
- （一社）日本公園施設業協会、ＳＰＬマーク表示認定製品とする。
- （一社）日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

[redacted]

構造図（30）

水路護岸-1、-2、水路底-1

S=1:30



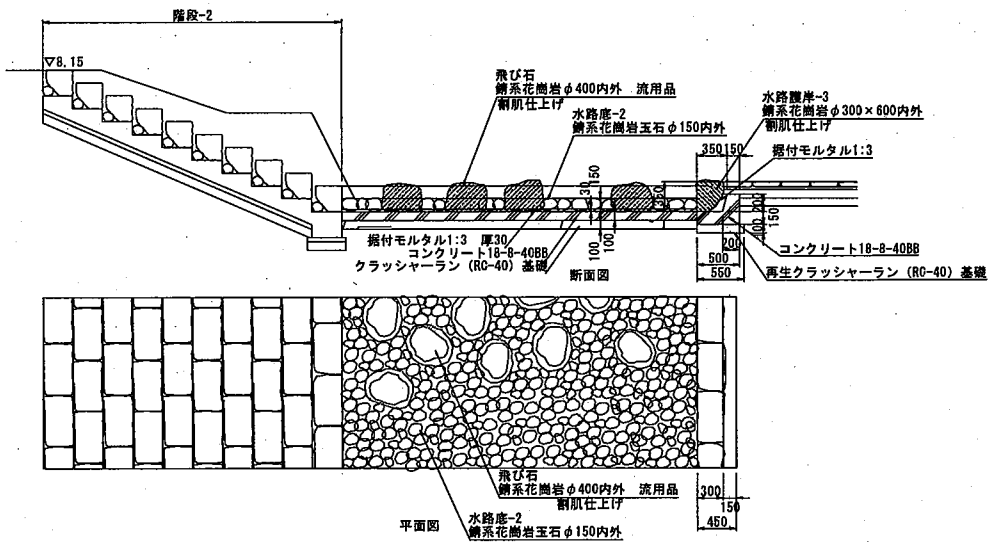
断面図

特記仕様

- 水路護岸-1、-2の伸縮目地は樹脂発泡体 t=10とし、@10.0mを標準とする。
- 水路底-1の伸縮目地は杉板t9mmとし、@5.0mを標準とする。

水路護岸-3、水路底-2、飛び石

S=1:30

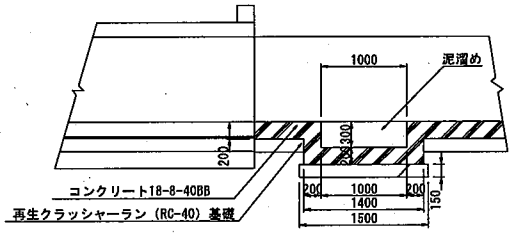


特記仕様

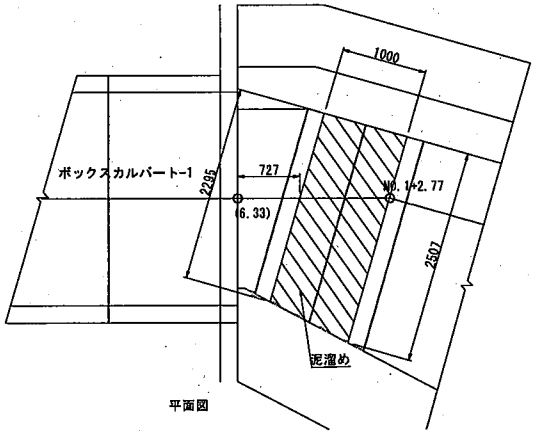
- 水路護岸-3の伸縮目地は樹脂発泡体 t=10とし、@10.0mを標準とする。
- 水路底-2の伸縮目地は杉板t9mmとし、@5.0mを標準とする。

泥溜め工

S=1:30



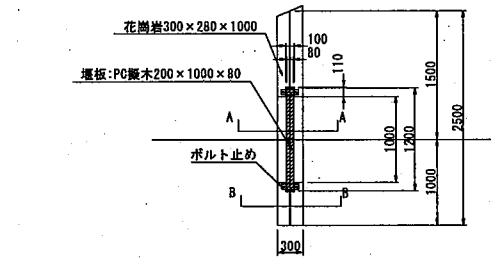
断面図

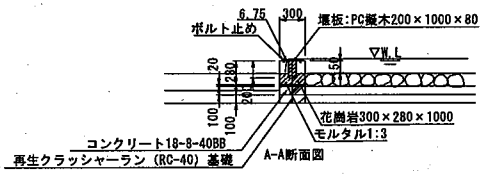


平面図

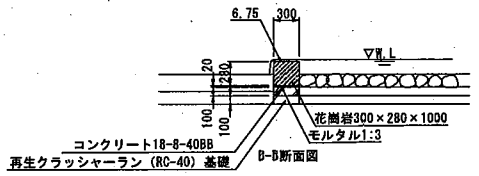
堰板工

S=1:30





A-A断面図

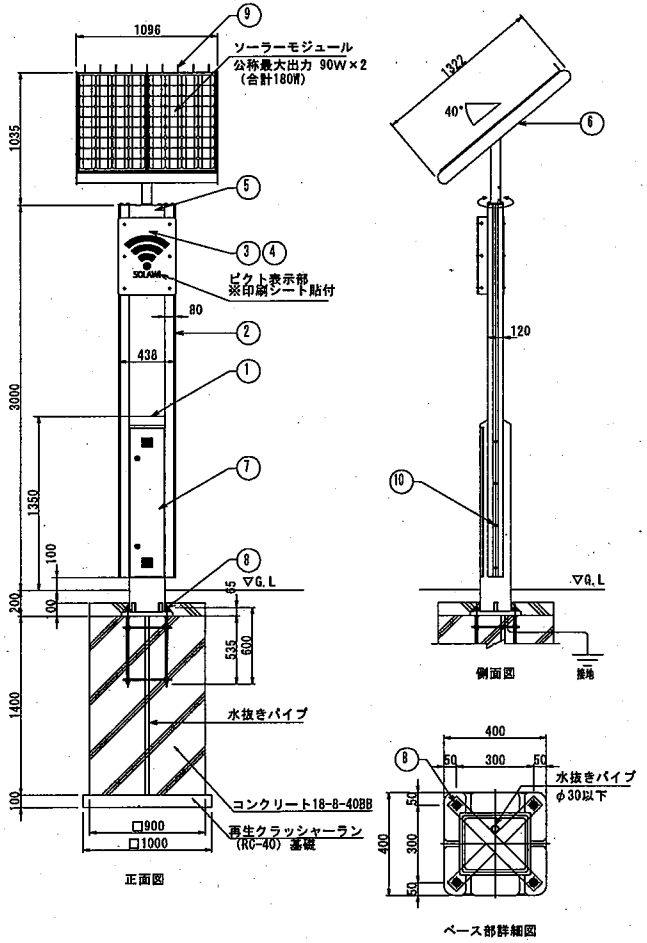


B-B断面図

構造図（15）

ソーラーWi-Fi

S=1:20

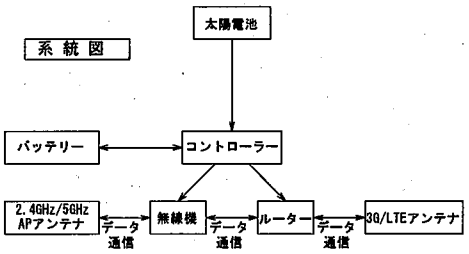


長期許容地耐力が100kN/m2以上の場所に設置すること。

一　般　仕　様	
型式	SOLAWI-IF5
Wi-Fi通信可能距離	約100m 地域変動有り
通信周波数帯	2.4GHz/5GHz デュアルバンド
Wi-Fi機材消費電力	無線機 7.5W ・ ルーター 3W
無日照保証期間	4日間

※上記設定の設置条件
　ソーラーモジュールが南［東南・西南］向きで
　周りに高い建物のない場所。
※支柱フタは藍色市松模様仕上。
※ソーラー取付台及び支柱は白色塗装仕上。
※ポール及びフリージョイントは藍色塗装仕上。
※アンカーボルトは溶融亜鉛メッキ仕上。
※取付ボルト類はSUSとする。
※製品は、メーカーの指定する損害賠償責任保険
　に加入しているものとする。
※設計条件

系統図



詳　細　仕　様	
○コントローラー（1台）	
負荷動作	24時間
充電制御	過充電・過放電防止制御
定格電圧	DC12V
消費電流	5mA
適合バッテリー	鉛蓄電池（12V系）
○ソーラーモジュール（2台）	
公称最大出力	90W（合計180W）
公称電圧	12V
○蓄 電 池（3台）	
公称電圧	12V
定格容量	114Ah（38Ah[20時間率] x 3）
備考	密閉型鉛蓄電池(サイクルユース)

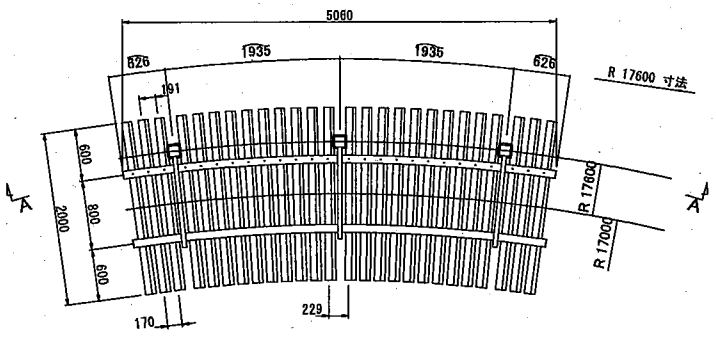
No	品　名	材　質	数量	記　事
1	支　柱	AC4C-F	1	□-276×240
2	ポ　ー　ル	A6005CS-T5	2	120×80
3	アンテナ（1）	-	1	3G/LTEアンテナ
4	アンテナ（2）	-	1	2.4GHz/5GHzデュアル
5	フリージョイント	SUS304	1	□-100×100×3.0
6	ソーラー取付台	SUS304	1	FB-3×100
7	点 検 フ タ	SUS304	1	PL-2.0t
8	アンカーボルト	SS400	1	4-M16×600(B,2N,W)
9	鳥 よ け	SUS	9	φ3
10	六角穴付きﾎﾞﾀﾝﾎﾞﾙﾄ	SUS	8	M12×90(B,N,2W,SW)

[redacted]

構造図（56）

パーゴラ

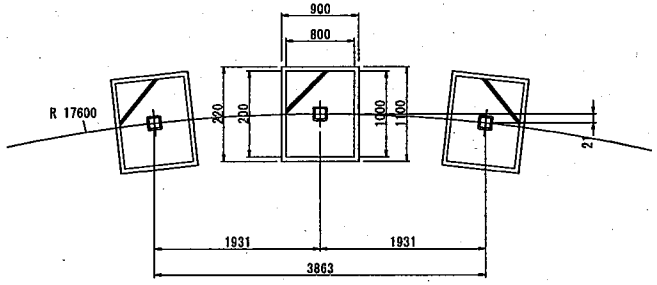
S＝1：30



平面図

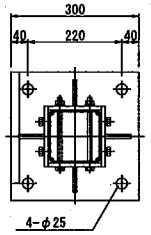
支柱	：□120×120×3.0t	A6005CS-T5
支柱化粧材	：L75×75×20t	再生木材
ルーバー	：□120×40	A6063S-T5 / 再生木材表層
吊材	：［150×90×4.5t	A6005CS-T5
梁	：□120×50	A6005CS-T5
取付ボルト	：六角穴付きボタンボルト	SUS M10
アンカーボルト	：全ネジボルト M16	SS 400 M16 溶融亜鉛メッキ

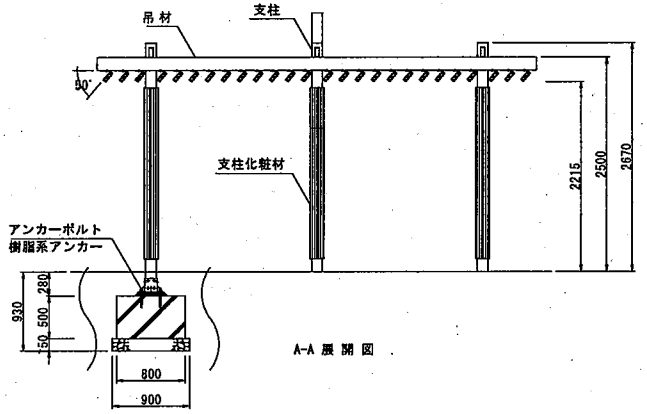
※ アルミ形材は陽極酸化塗装複合皮膜（マットブラウン色）とする。（芯材を除く）
※ 再生木材はサンディング仕上げ（ダークカラー）とする。
※ 製品は、メーカーの指定する損害賠償責任保険に加入しているものとする。
※ 改良の為、一部仕様変更する場合が有ります。



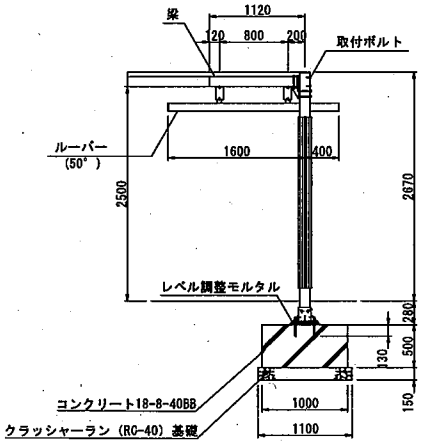
基礎伏図

ベース部詳細





A-A 展開図



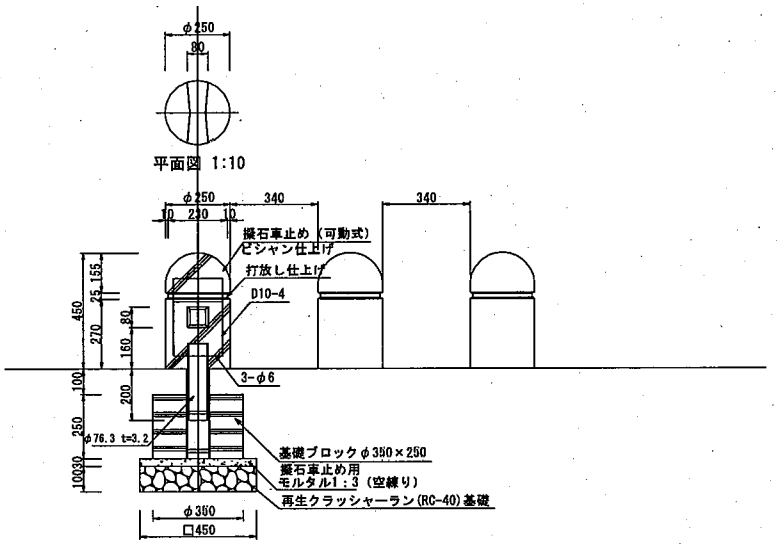
側面図

長期許容地耐力が50kN/m2以上の場所に設置すること。

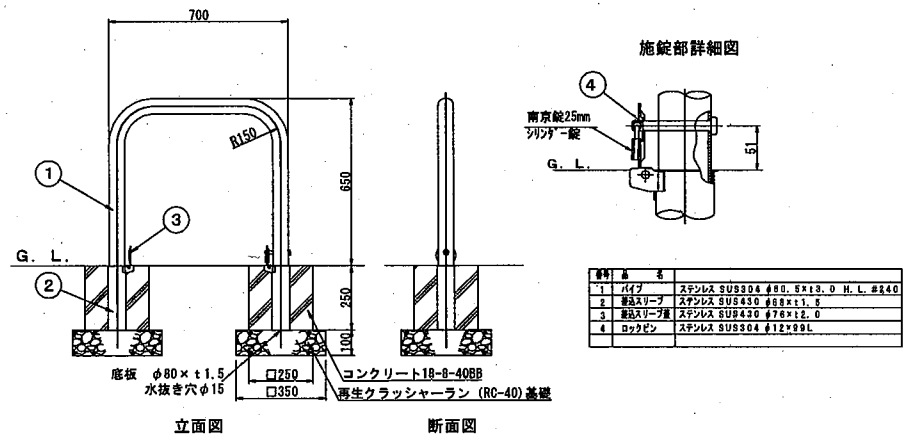
[redacted]

構造図（47）

車止め-1
S=1:10

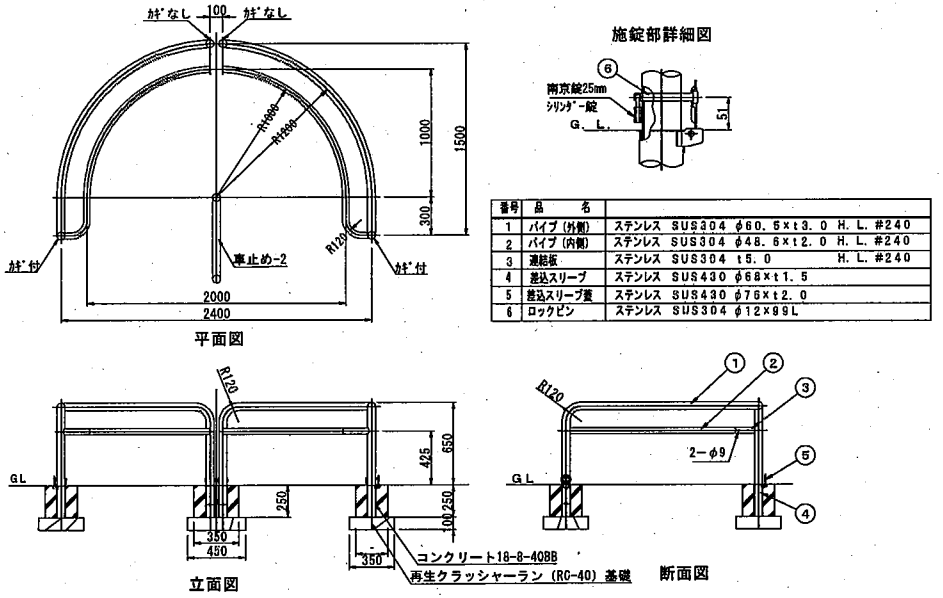


車止め-2
S=1:10



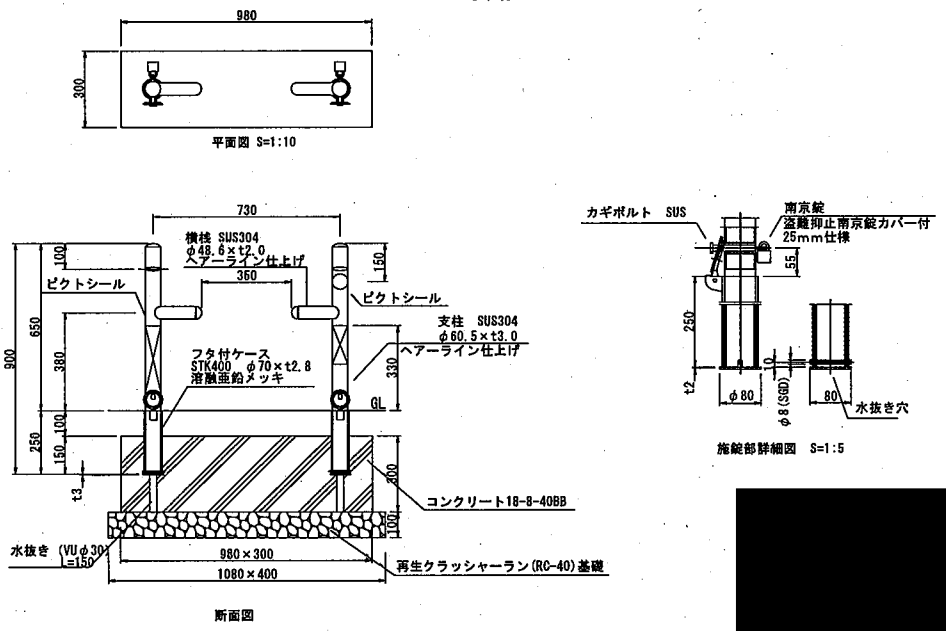
番号	品名	
1	パイプ	ステンレス SUS304 φ60.5×t3.0 H.L.#240
2	差込スリーブ	ステンレス SUS430 φ68×t1.5
3	差込スリーブ蓋	ステンレス SUS430 φ76×t2.0
4	ロックピン	ステンレス SUS304 φ12×99L

車いすゲート
S=1:20



番号	品名	
1	パイプ（外側）	ステンレス SUS304 φ60.5×t3.0 H.L.#240
2	パイプ（内側）	ステンレス SUS304 φ48.6×t2.0 H.L.#240
3	連結板	ステンレス SUS304 t5.0 H.L.#240
4	差込スリーブ	ステンレス SUS430 φ68×t1.5
5	差込スリーブ蓋	ステンレス SUS430 φ76×t2.0
6	ロックピン	ステンレス SUS304 φ12×99L

自転車ゲート
S=1:10



[redacted]

遊戯施設整備工構造図

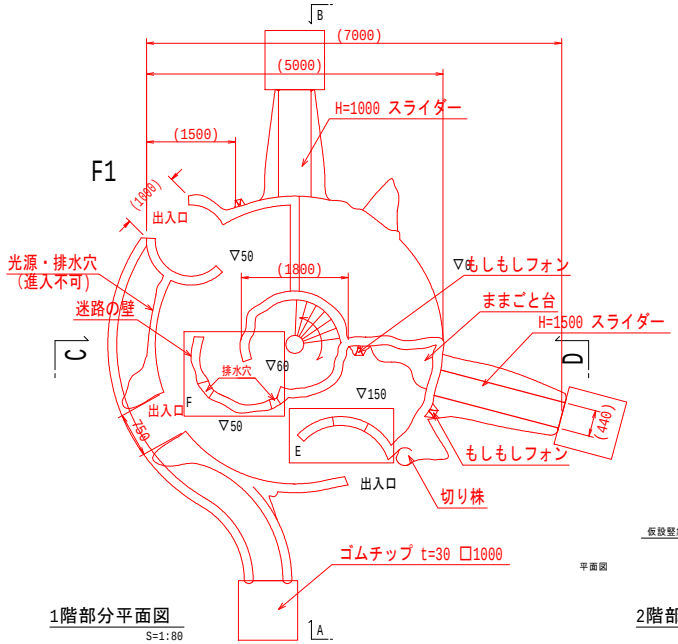
（複合遊具（1））　S=図示

総重量68587kg

条件：　地耐力５０KN/m２の支持地盤確認の上施工を行う事

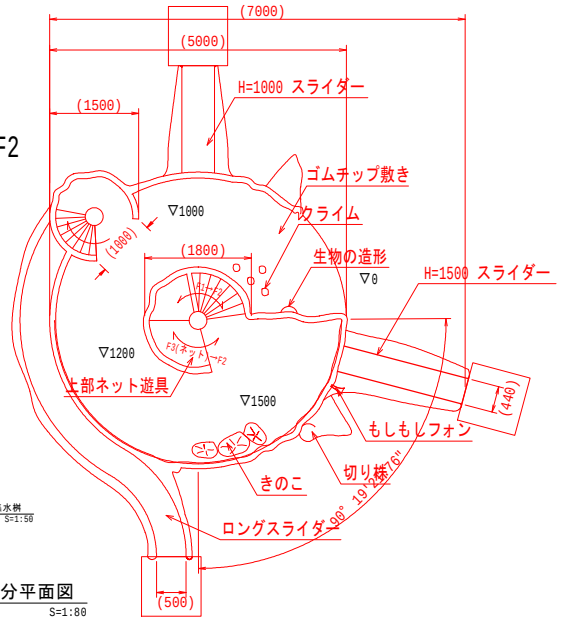
仕様

・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする



1階部分平面図

S=1:80

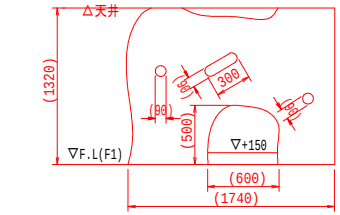


2階部分平面図

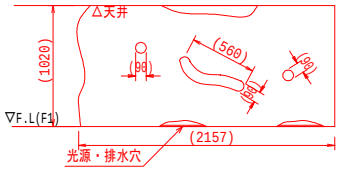
S=1:80

仮設竪集水桝
S=1:50

平面図



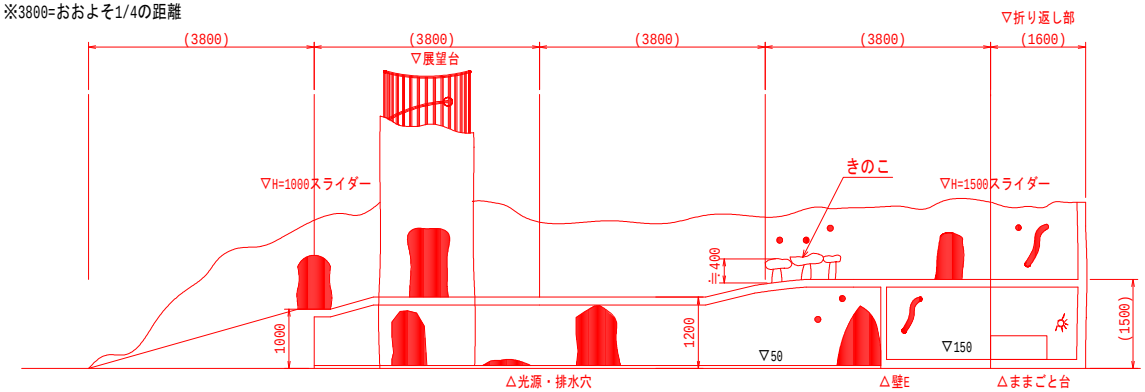
E部展開図 1:40



F部展開図

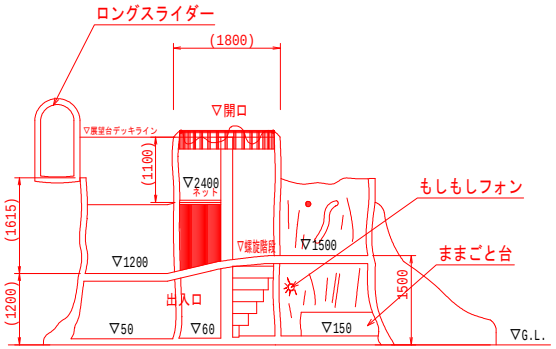
S=1:40

※3800=おおよそ1/4の距離



内部展開図

1:80

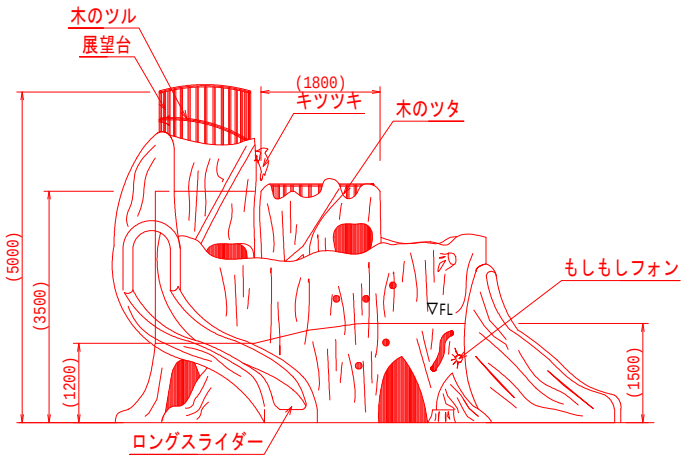


C-C断面図

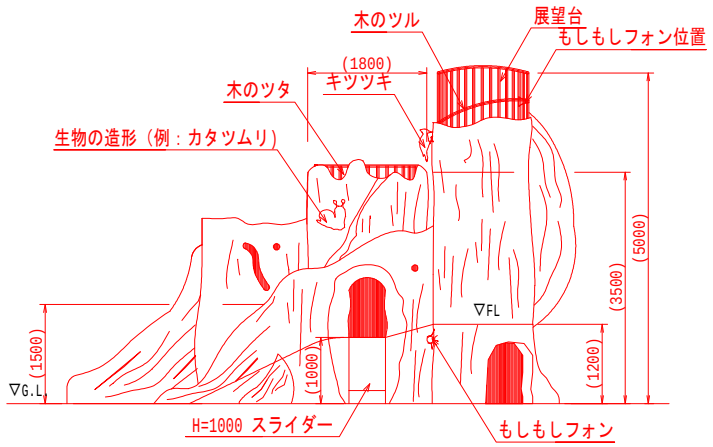
1:80

[redacted]

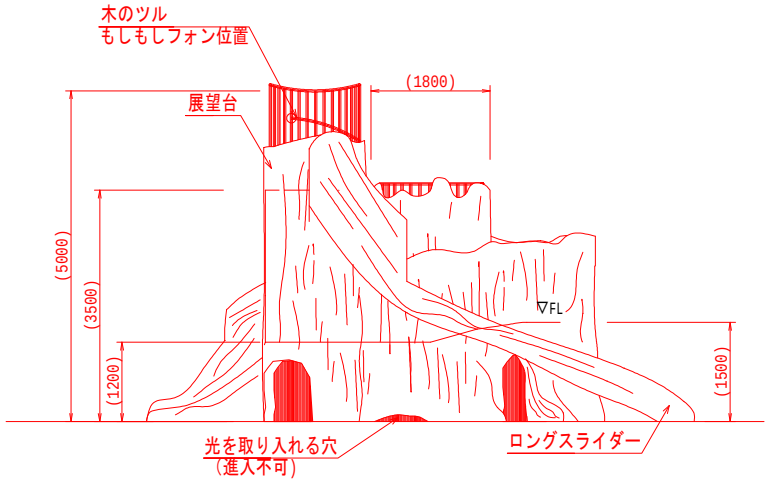
遊戯施設整備工構造図
（複合遊具（2））



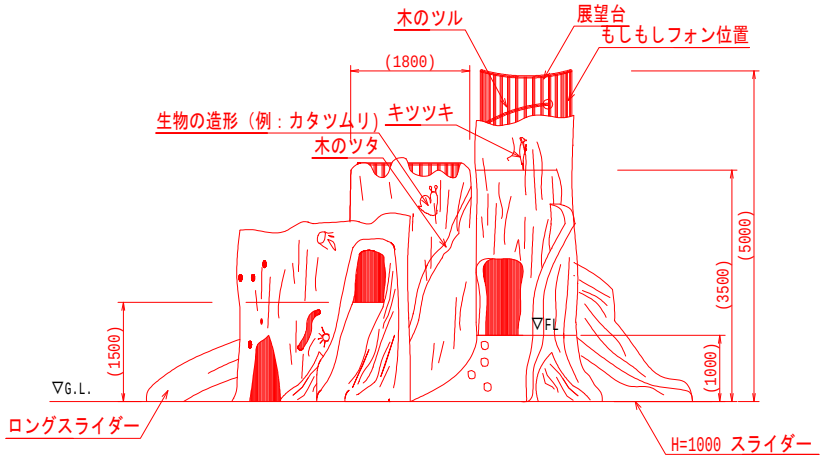
A視立面図
S=1:80



B視立面図
S=1:80



C視立面図
S=1:80



D視立面図
S=1:80

仕様

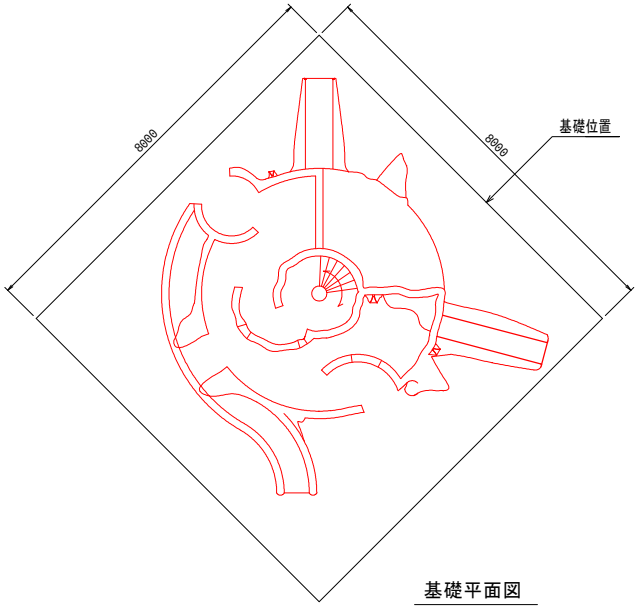
・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

総重量68587kg
条件： 地耐力５０KN/ｍ２の支持地盤確認の上施工を行う事

[redacted]

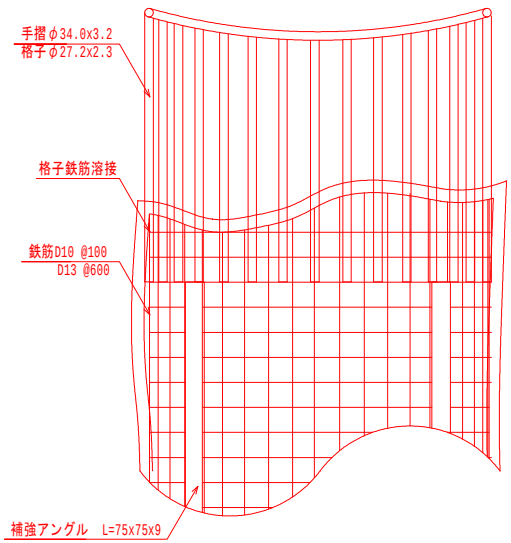
遊戯施設整備工構造図

（複合遊具（3））　S=図示



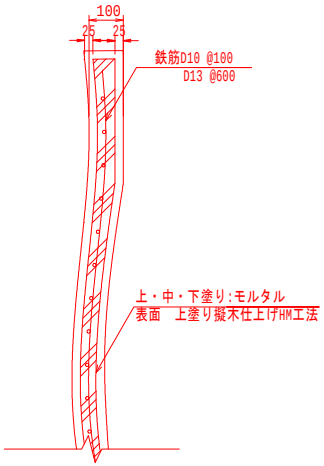
基礎平面図

S=1:100



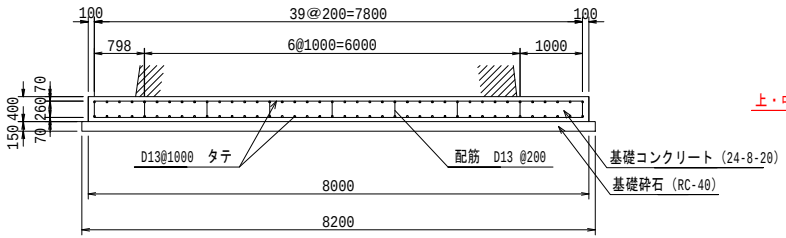
展望台デッキ取付図

S=1:20

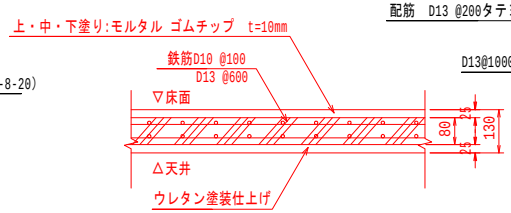


上部壁部詳細図

S=1:15

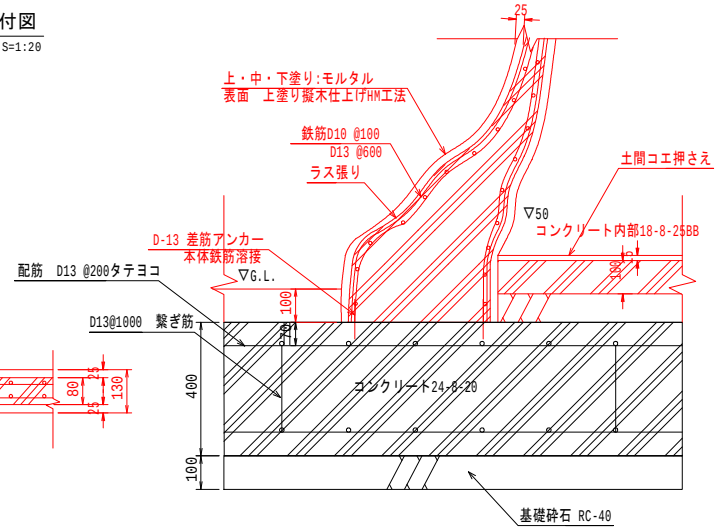


基礎工敷設断面図　（A－A）1:100



天井・床　詳細図

S=:15



地際詳細図

S=1:15

総重量68587kg

条件：　地耐力５０KN/m２の支持地盤確認の上施工を行う事

仕様

・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

[redacted]

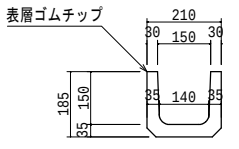
遊戯施設整備工構造図

（法面遊具　（1））　S=図示

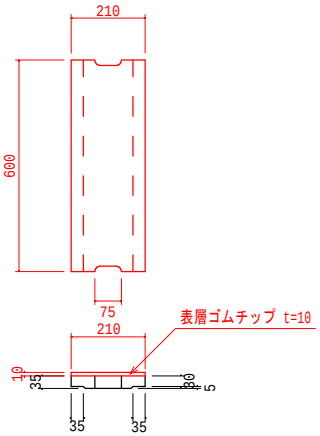
総重量総重量19595kg
条件：　地耐力５０KN/m２の支持地盤確認の上施工を行う事

仕様

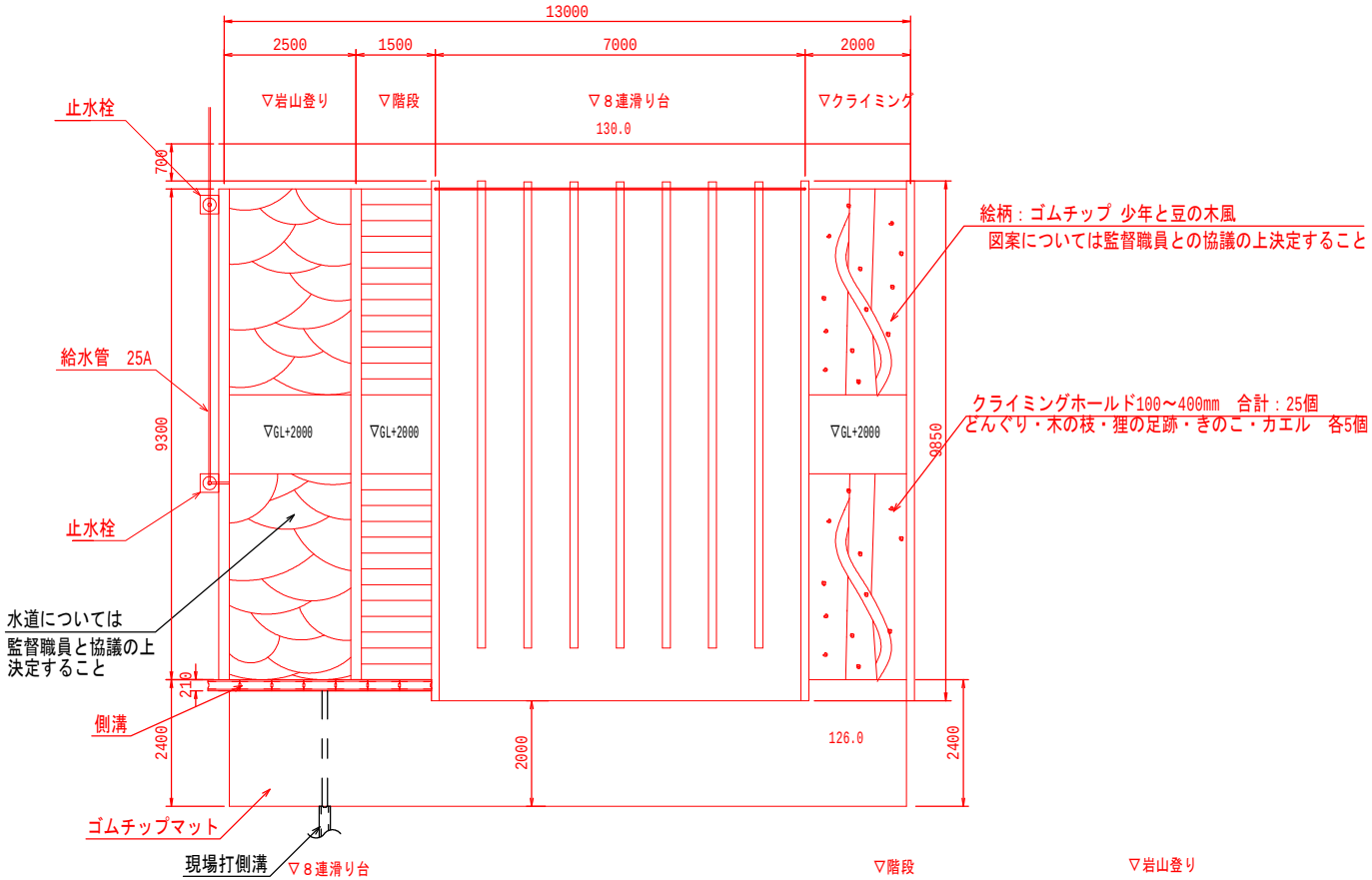
・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

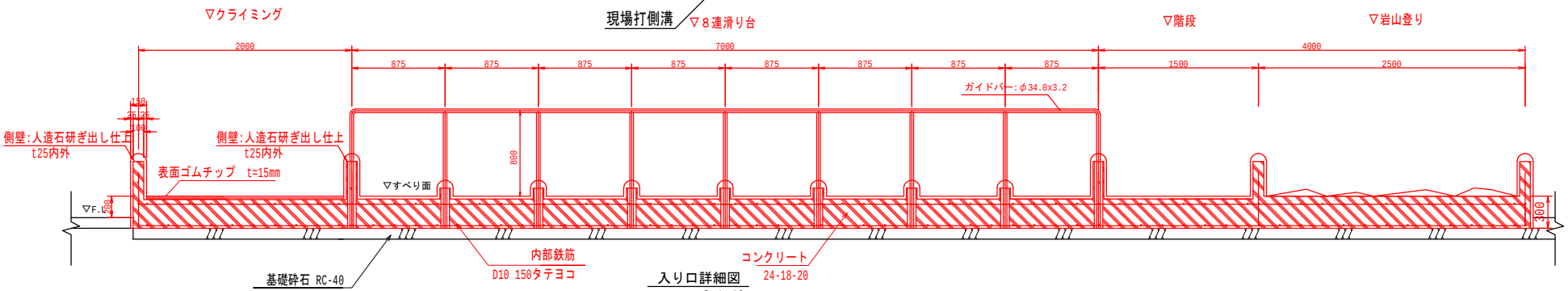


側溝詳細図
S=1:15



側溝蓋詳細図
S=1:15



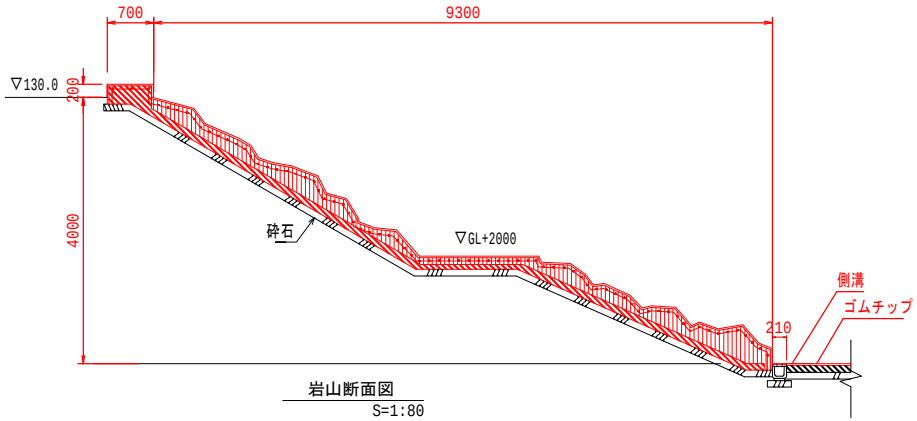


入り口詳細図
S=1:40

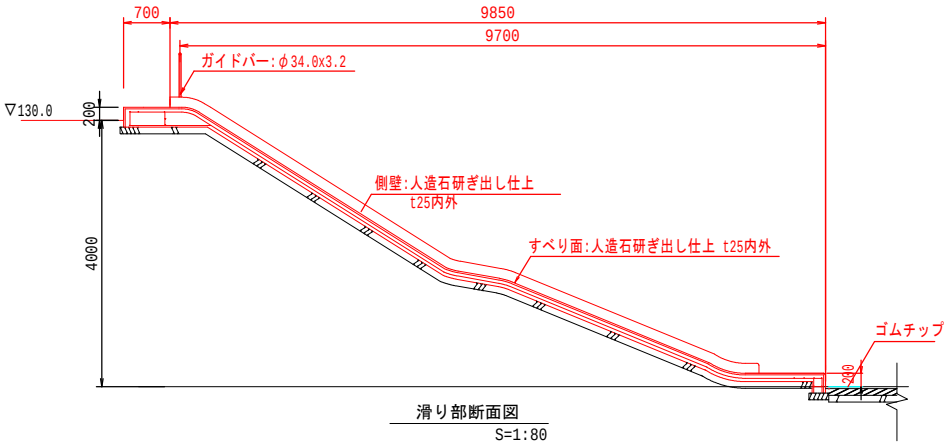
[redacted]

遊戯施設整備工構造図

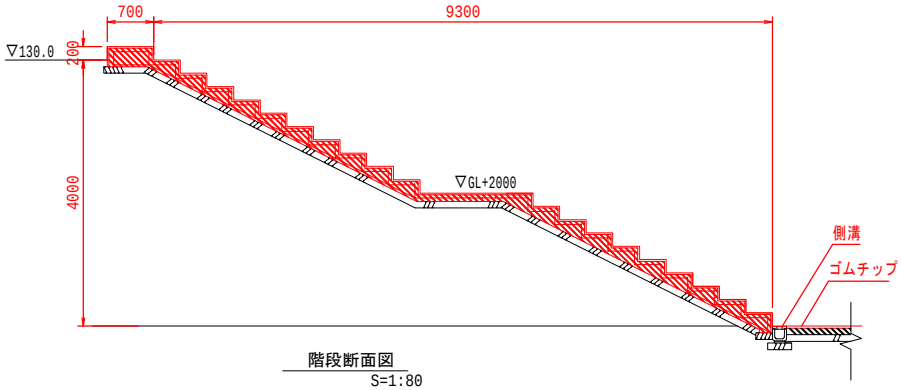
（法面遊具（2））　S=図示



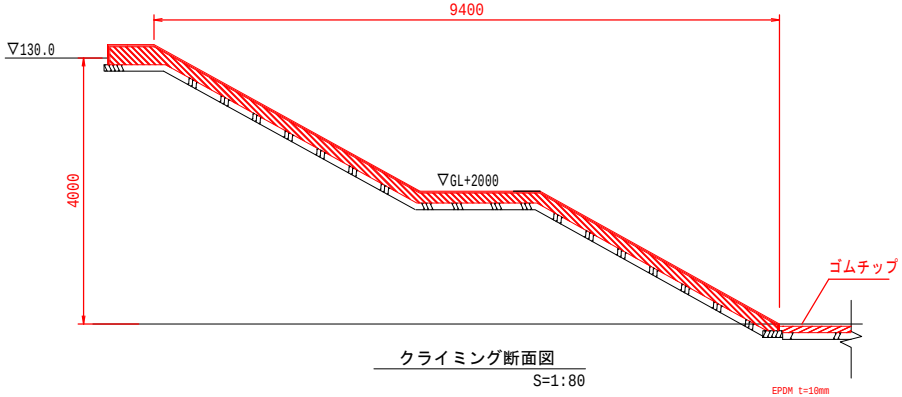
岩山断面図
S=1:80



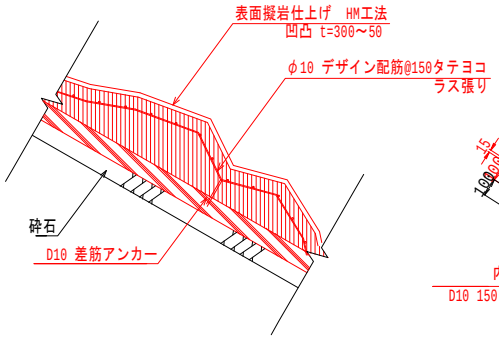
滑り部断面図
S=1:80



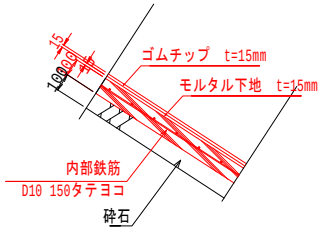
階段断面図
S=1:80



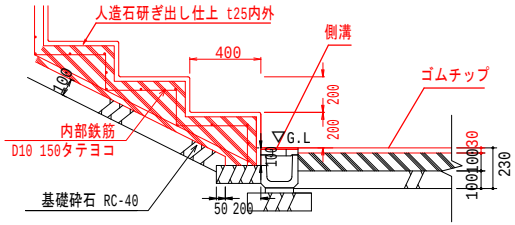
クライミング断面図
S=1:80



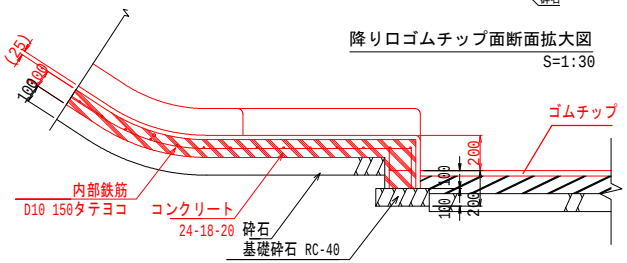
岩山のぼり詳細断面図
S=1:30



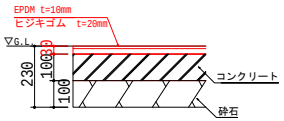
ゴムチップ面断面拡大図
S=1:30



階段面断面拡大図
S=1:30



スベリ面断面拡大図
S=1:30



降り口ゴムチップ面断面拡大図
S=1:30

仕様

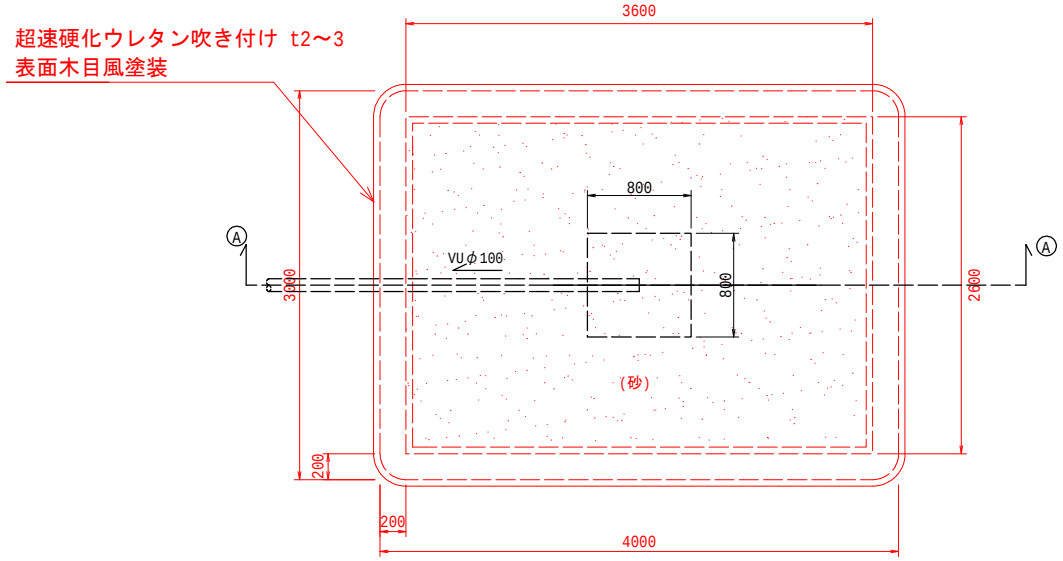
・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする

総重量総重量19595kg
条件：　地耐力５０KN/m２の支持地盤確認の上施工を行う事

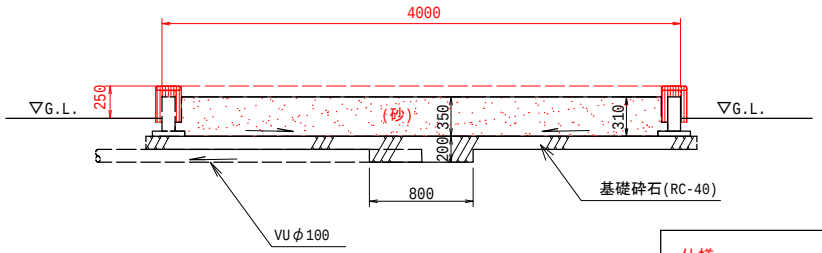
[redacted]

遊戯施設整備工構造図

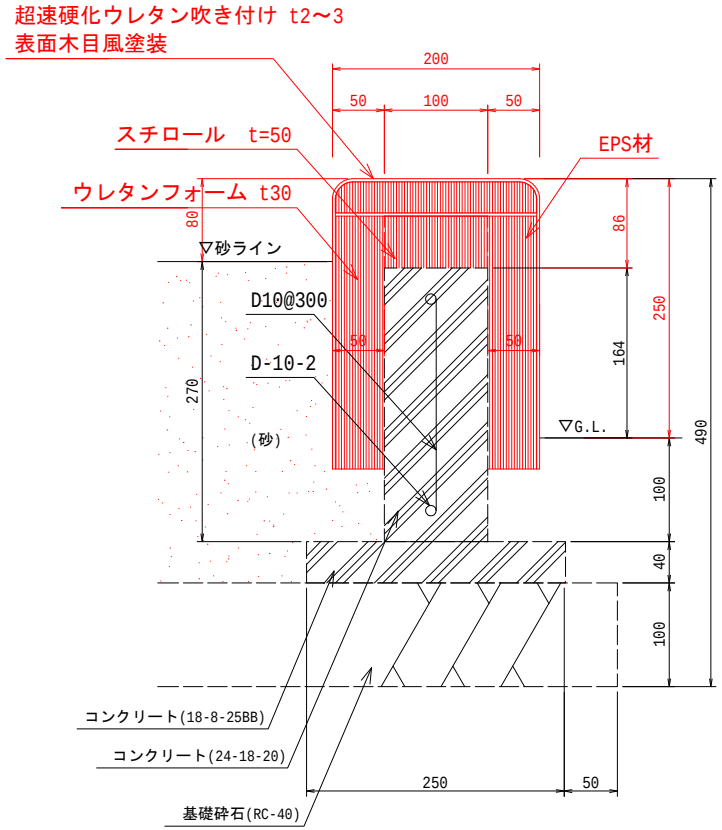
（砂場）　S=図示



平面図
S=1:40



A-A断面図
S=1:40



断面詳細図
S=1:5

仕様
・表面　超速硬化ウレタン吹き付け仕上げ

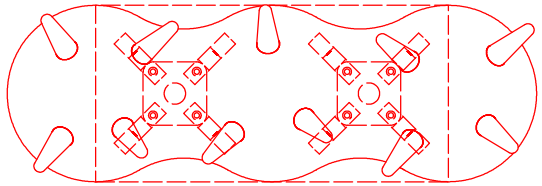
・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
・本製品は、(社)日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
・本製品は、(社)日本公園施設業協会 JPFA-SP-S:2014に準拠する。
・本製品は、(社)日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・本製品は、(社)日本公園施設業協会SPマークを表示する。

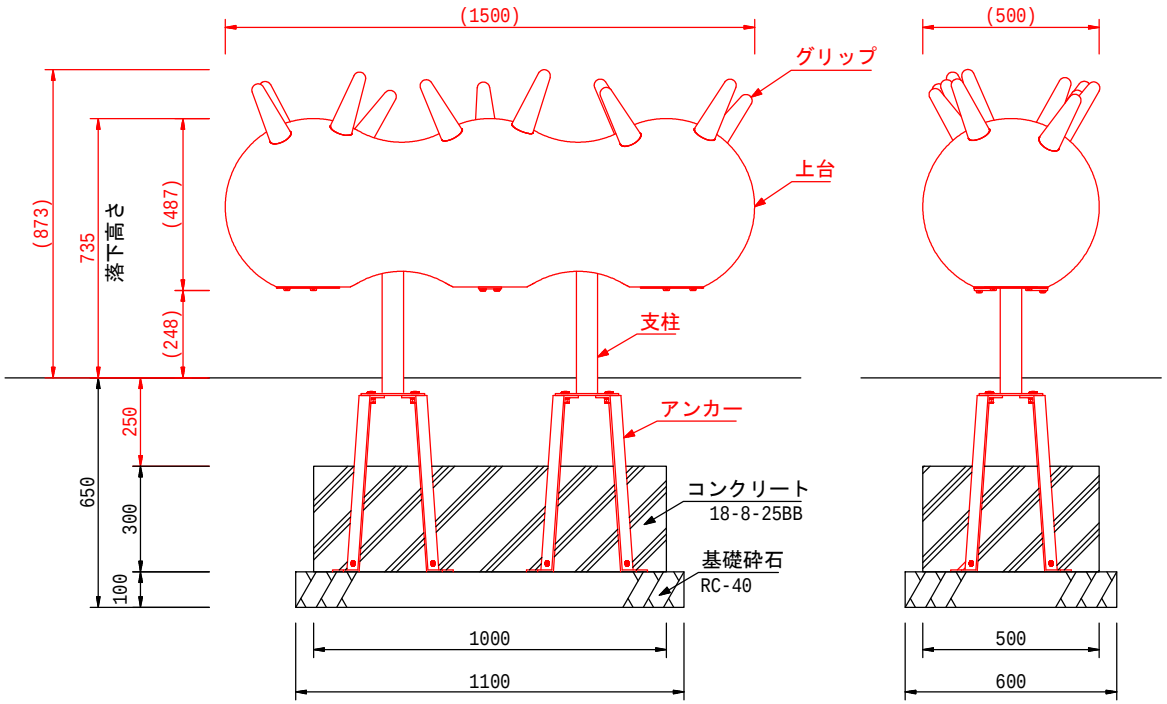
年　度	令和２年度	番　号	５１／７７
公園名	錦織公園		
工事名	桜木の里改修整備（第２期工事）		
施行箇所	富田林市錦織地内		
図面名	遊戯施設整備工構造図（砂場）		
縮尺	図示		
大　阪　府　富　田　林　土　木　事　務　所			

遊戯施設整備工構造図

（揺動系遊具１）

S=図示





外観図

S=1:5

上台　　：FRP成形品 合成樹脂塗装（ターコイズ）
グリップ：EPDM成形品（パープル）
支柱　　：φ60.5Xt3.8 鋼管
　　溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装（ライトグレー）
機構部　：マルチリンク機構（ストッパーゴム付）
アンカー：t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ

質量　　：72kg

設置上の注意

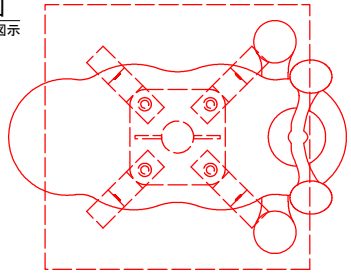
- 本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
- 落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
- 基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
- 本製品はおおむね3才～12才を対象とする。
- 本製品はJPFA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
- 本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

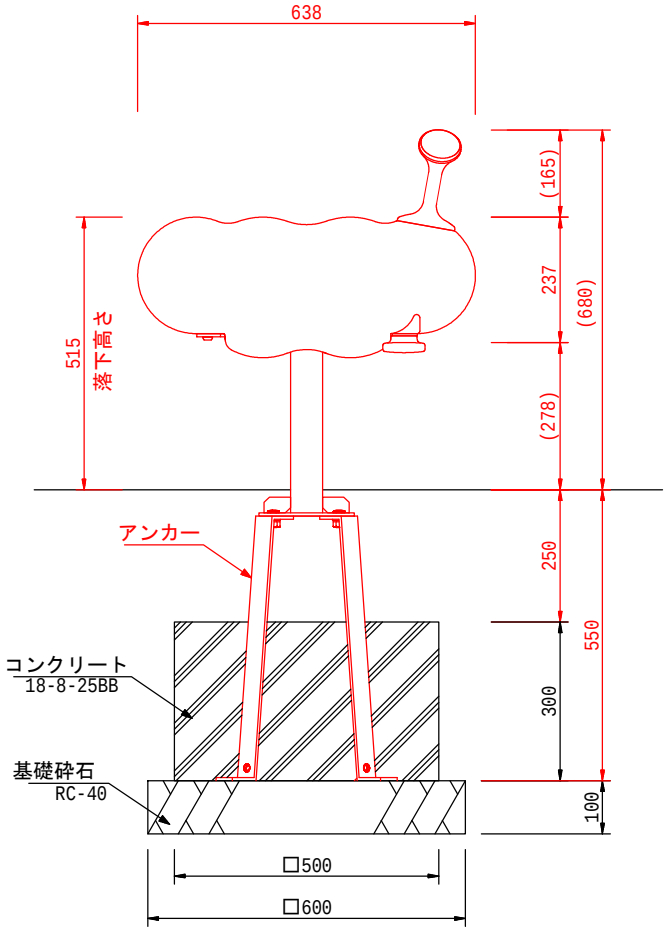
[redacted]

遊戯施設整備工構造図

（揺動系遊具２）

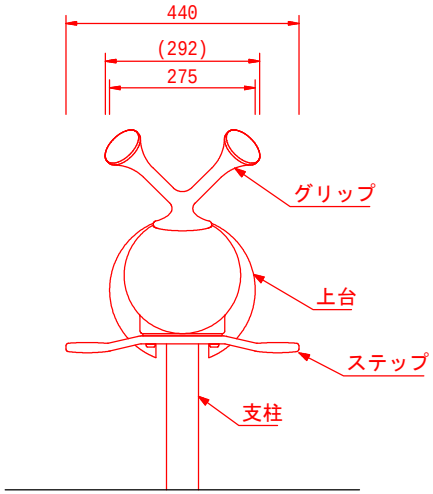
S=図示





外観図

S=1:10



上台　　：FRP成形品 合成樹脂塗装（インディゴブルー）
グリップ：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（オレンジ）
ステップ：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（オレンジ）
支柱　　：φ60.5Xt3.8鋼管
　　溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装（ライトグレー）
機構部　：マルチリンク機構（ストッパーゴム付）
アンカー：t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ

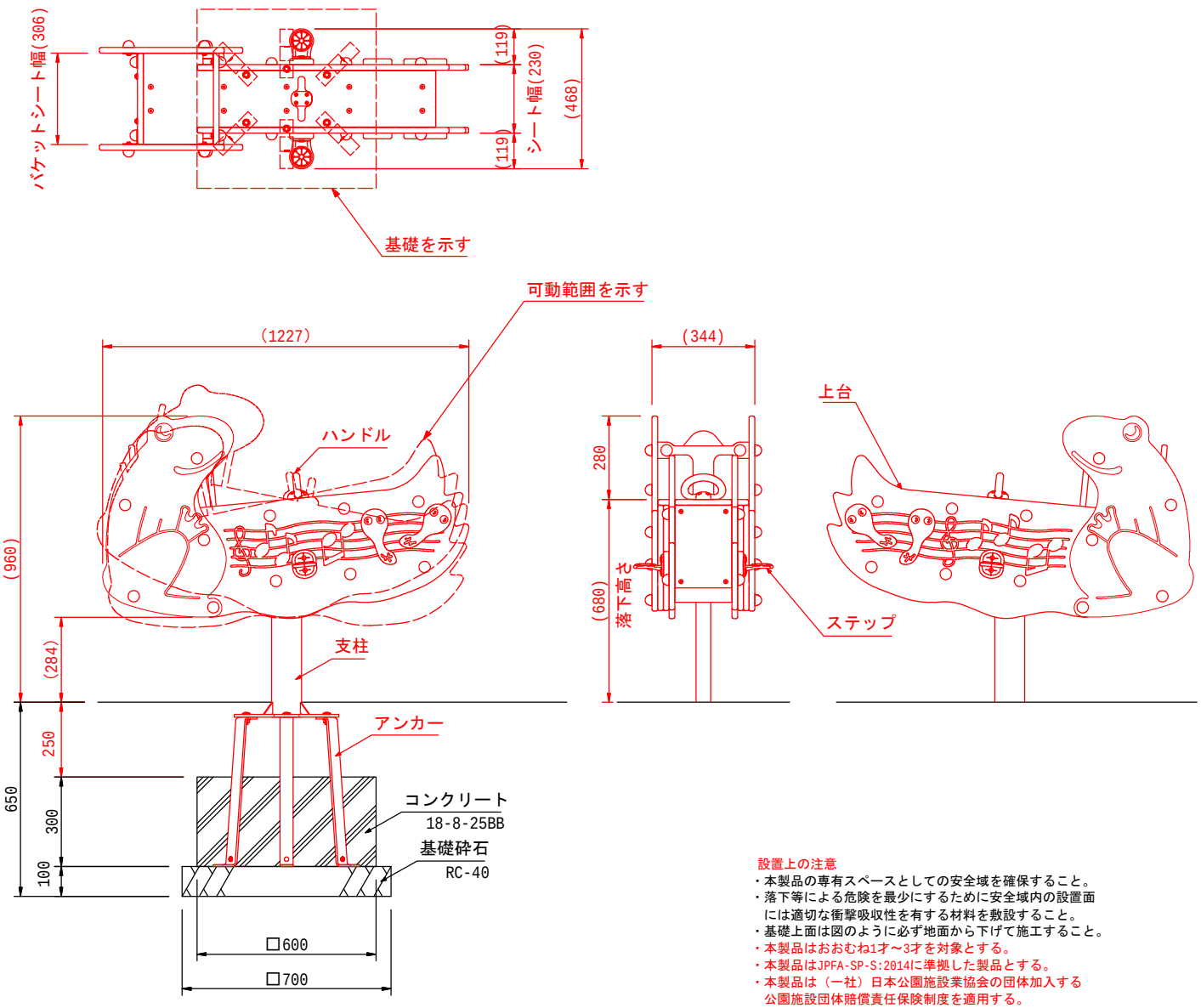
質量　　：23kg

設置上の注意
・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面
　には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
・本製品はおおむね3才～6才を対象とする。
・本製品はJPFA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会の団体加入する
　公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

[redacted]

遊戯施設整備工構造図

（揺動系遊具３）　S=図示



外観図
S=1:15

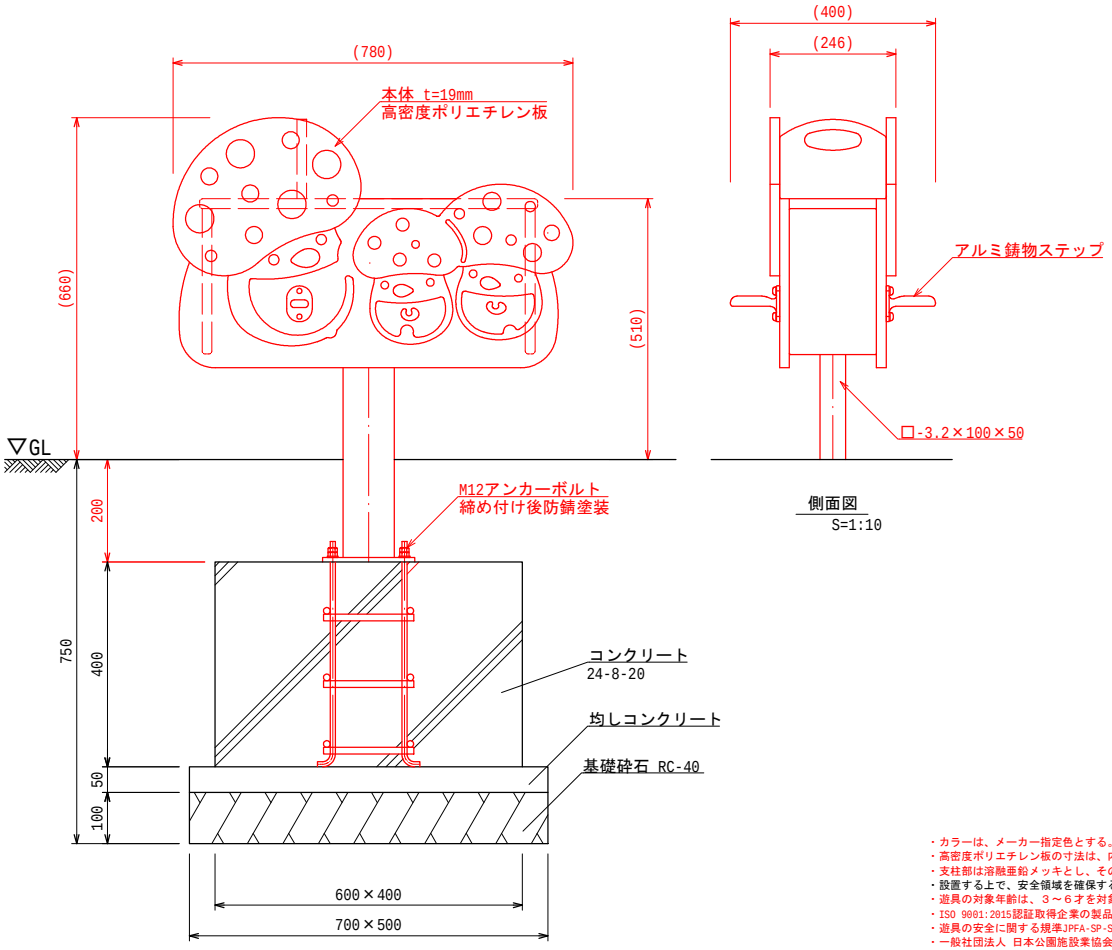
上台　：t19 HPEパネル
ハンドル：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（イエロー）
ステップ：アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装（ライトグレー）
支柱　：100×50×t3.2角鋼管
　　溶融亜鉛メッキ 合成樹脂塗装（ライトグレー）
機構部　：マルチリンク機構
　　（セーフティカバー・ストッパーゴム付）
アンカー：t6X44 平鋼 溶融亜鉛メッキ
質量　：75kg

設置上の注意
・本製品の専有スペースとしての安全域を確保すること。
・落下等による危険を最少にするために安全域内の設置面には適切な衝撃吸収性を有する材料を敷設すること。
・基礎上面は図のように必ず地面から下げて施工すること。
・本製品はおおむね1才～3才を対象とする。
・本製品はJPFA-SP-S:2014に準拠した製品とする。
・本製品は（一社）日本公園施設業協会の団体加入する公園施設団体賠償責任保険制度を適用する。

[redacted]

遊戯施設整備工構造図

（揺動系遊具４）　S=図示



立面図
S=1:10

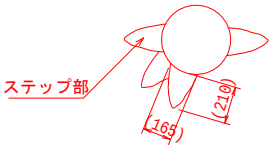
側面図
S=1:10

・カラーは、メーカー指定色とする。
・高密度ポリエチレン板の寸法は、内外寸法とする。
・支柱部は溶融亜鉛メッキとし、その他の鋼材は電気亜鉛メッキとする。
・設置する上で、安全領域を確保する事とする。
・遊具の対象年齢は、３～６才を対象とする。
・ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
・遊具の安全に関する規準JPFA-SP-S:2014に適合した製品とする。
・一般社団法人 日本公園施設業協会 SPマーク表示認定企業の製品とする。
・一般社団法人 日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
・本製品の設計図面の変更、模倣を禁止する。

[redacted]

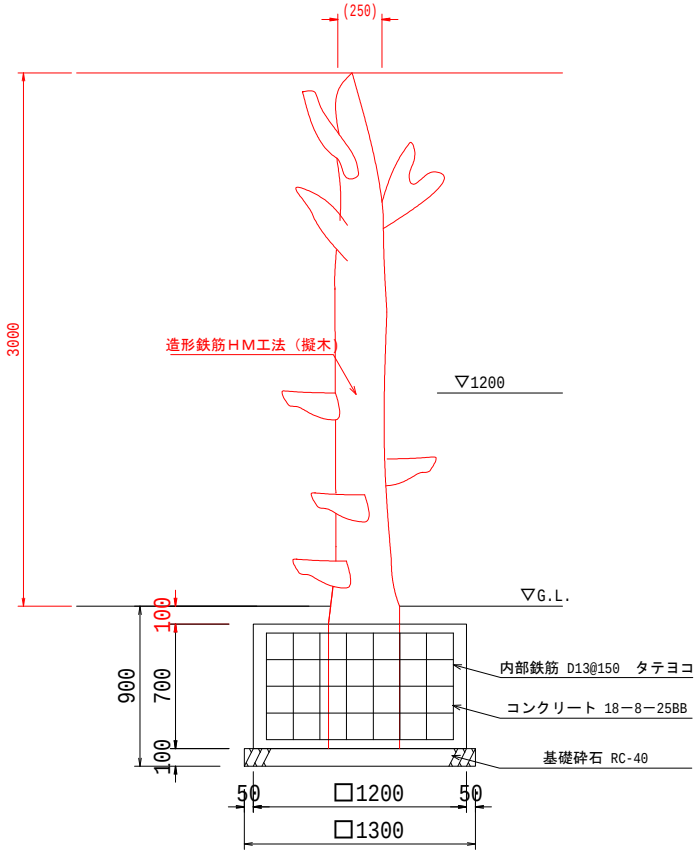
遊戯施設整備工構造図

（木登りＡ）　S=図示



ステップ部平面図

S=1:30



（Ａ）

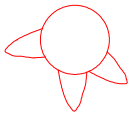
仕様

・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

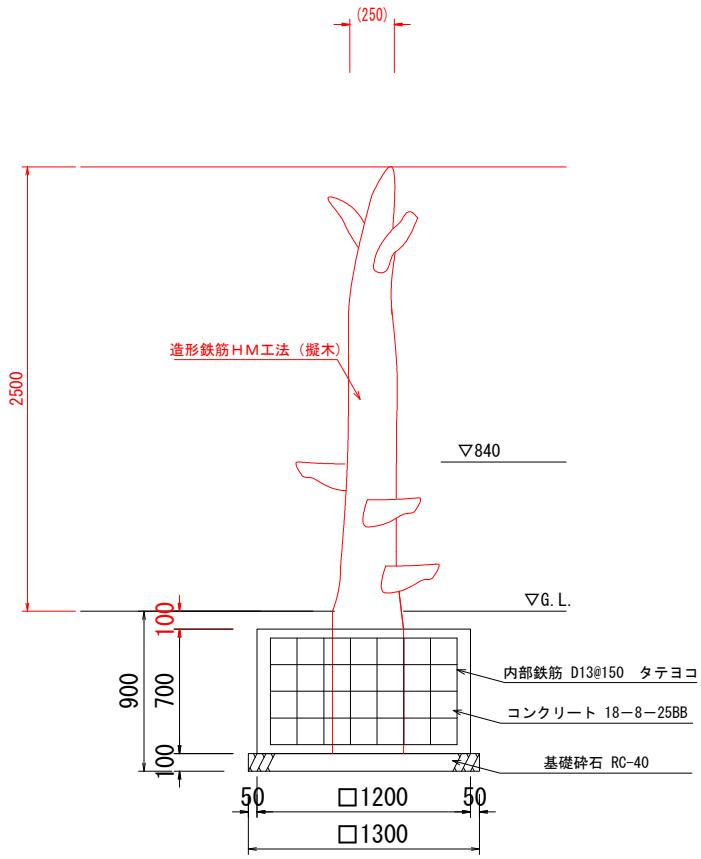
[redacted]

遊戯施設整備工構造図

（木登りＢ）　S=図示



ステップ部平面図
S=1:30



（Ｂ）

立面図
S=1:30

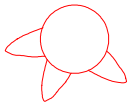
仕様

・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

[redacted]

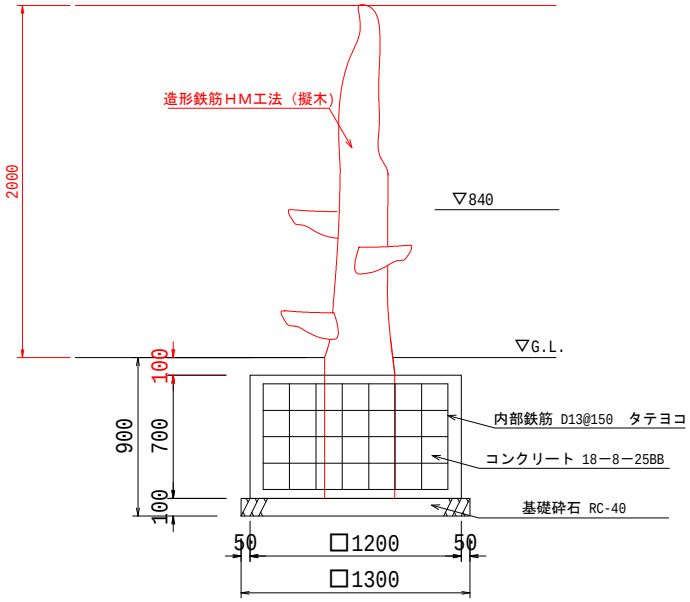
遊戯施設整備工構造図

（木登りＣ）　S=図示



ステップ部平面図

S=1:30



（Ｃ）

仕様

・本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。

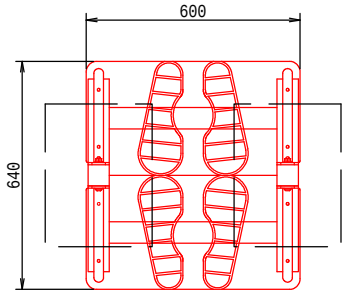
[redacted]

遊戯施設整備工構造図

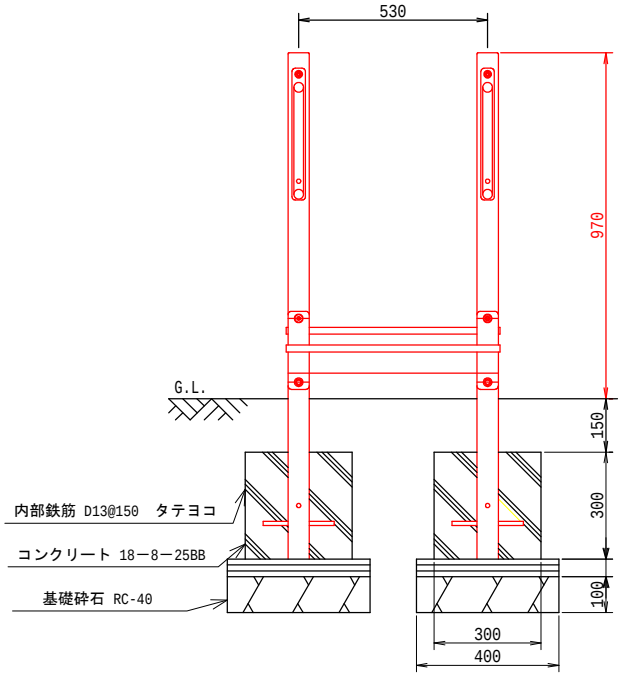
（健康遊具Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ）

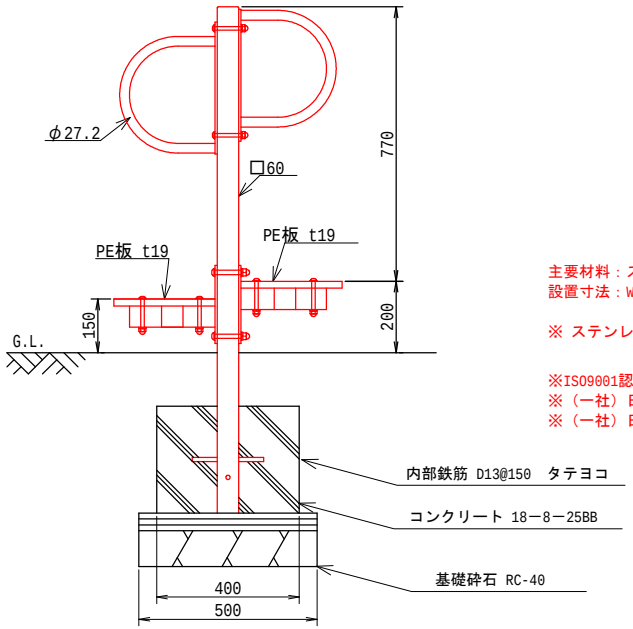
健康遊具Ａ

S=1:30



平面図





主要材料：スチール/ステンレス、ポリエチレン板
設置寸法：W600 × D640 × H970

※ ステンレス仕様はミガキ（無塗装）とする。

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

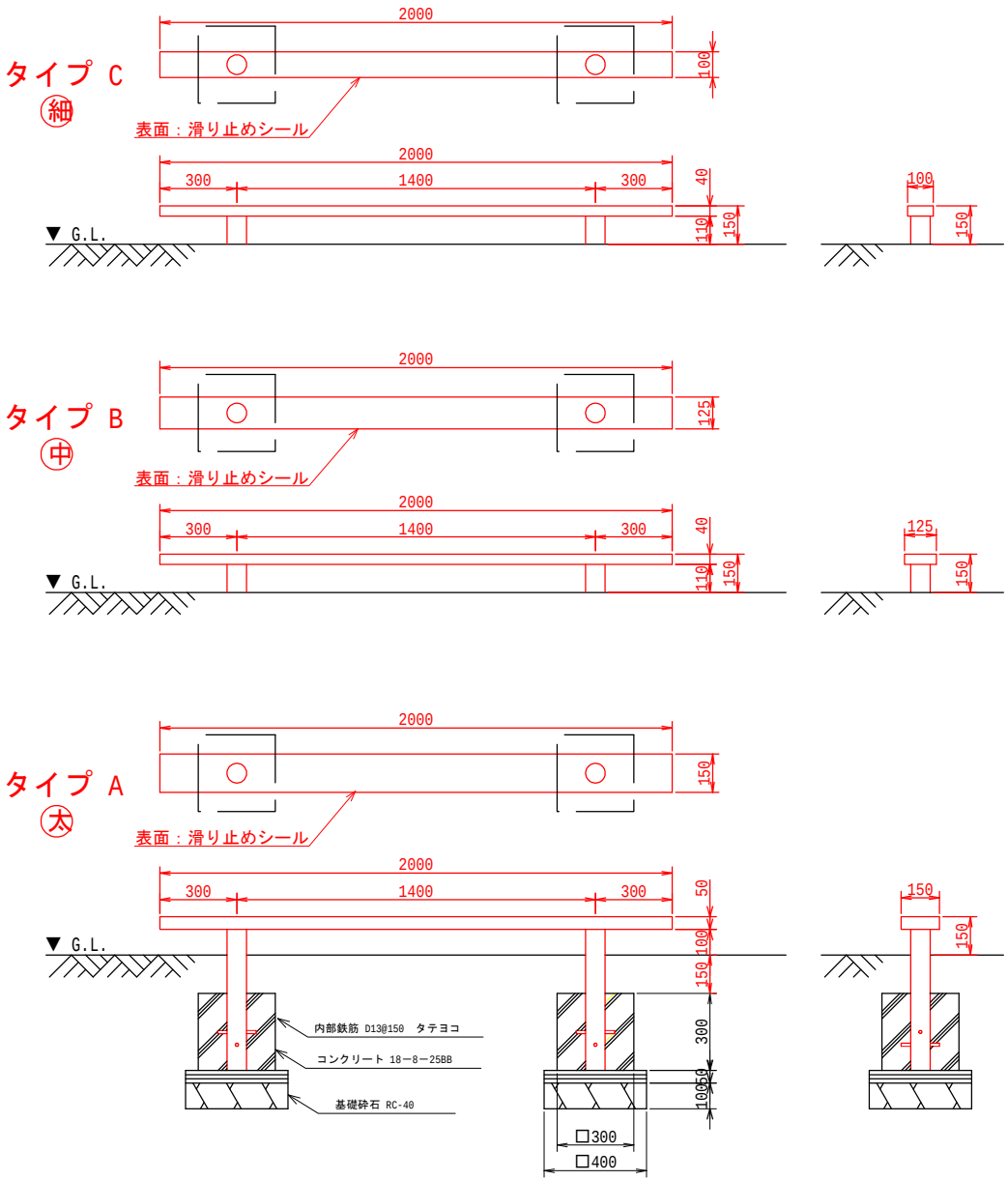
[redacted]

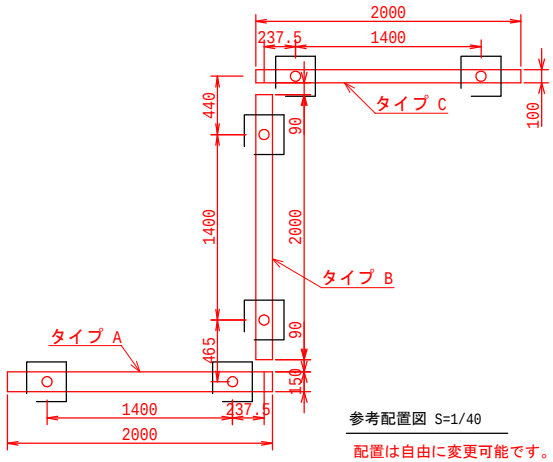
遊戯施設整備工構造図

（健康遊具Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ）

健康遊具Ｂ

S=1:20





参考配置図 S=1/40

配置は自由に変更可能です。

主要材料：スチール/ステンレス
設置寸法：W2000 × D150 × H150（太）
W2000 × D125 × H150（中）
W2000 × D100 × H150（細）

※ ステンレス仕様はミガキ（無塗装）とする。

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

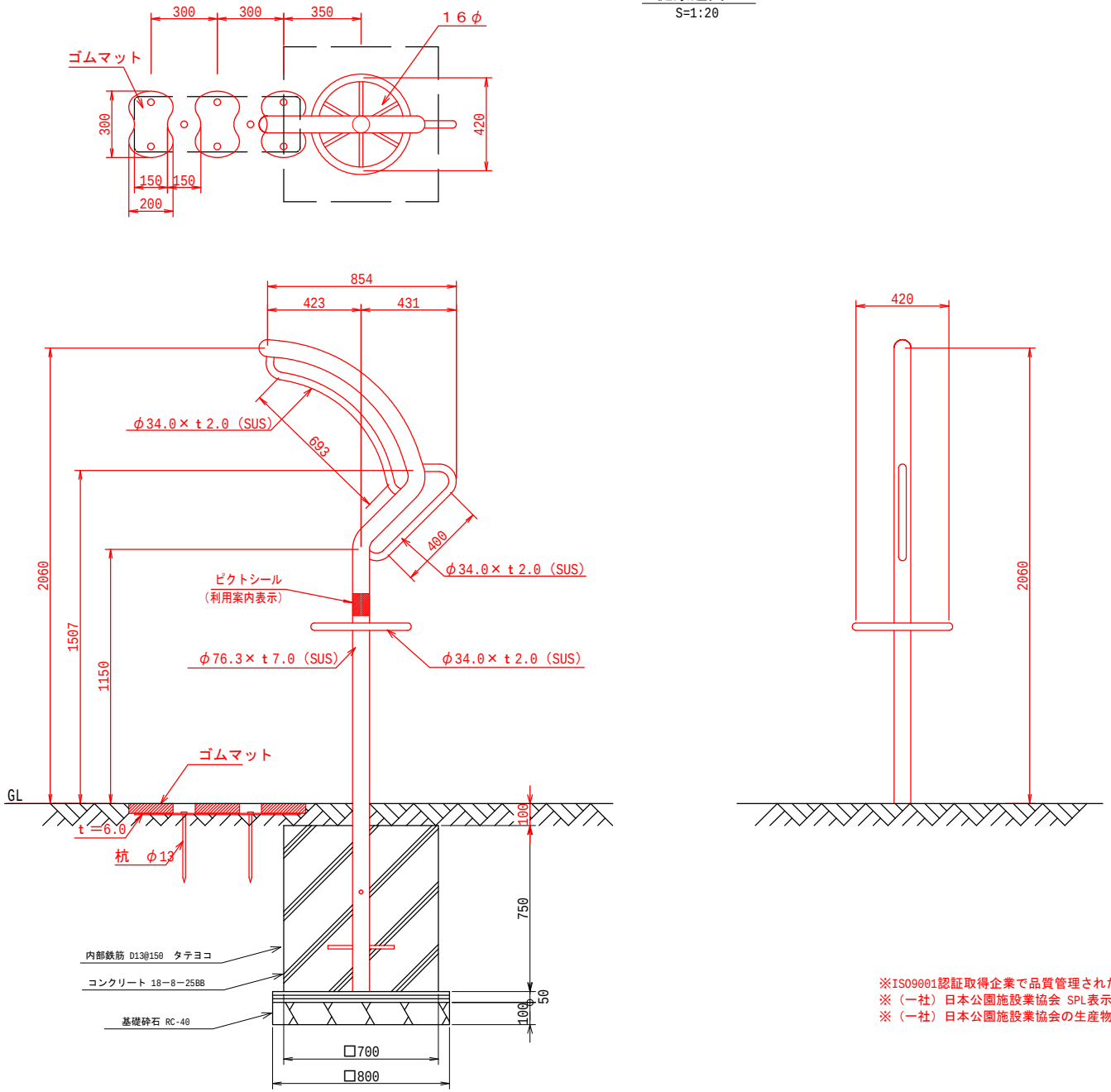
[redacted]

遊戯施設整備工構造図

（健康遊具Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ）

健康遊具Ｃ

S=1:20

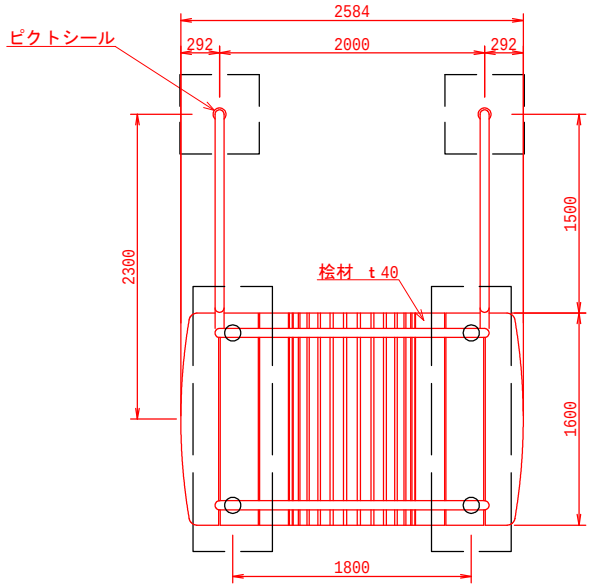


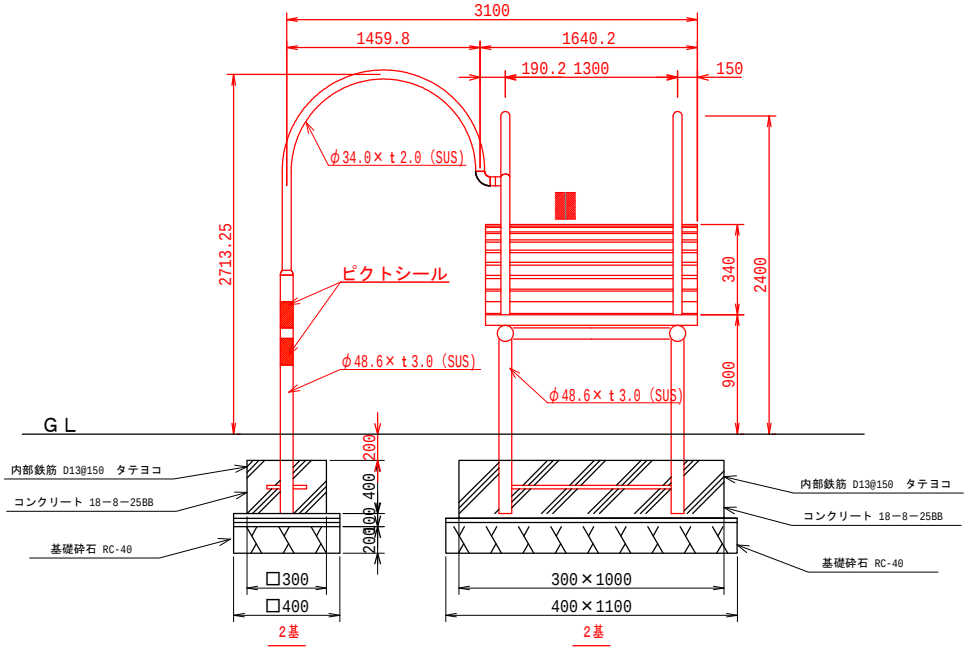
※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

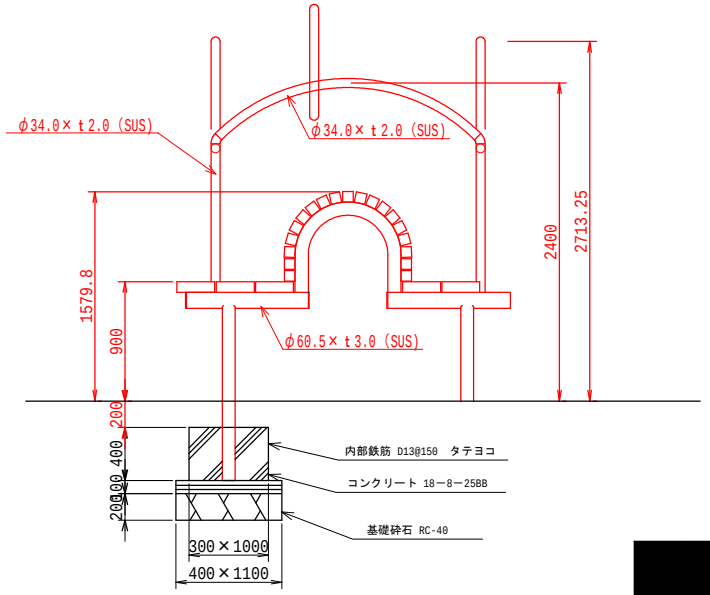
[redacted]

遊戯施設整備工構造図
（健康遊具Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ）

健康遊具Ｄ
S=1:40





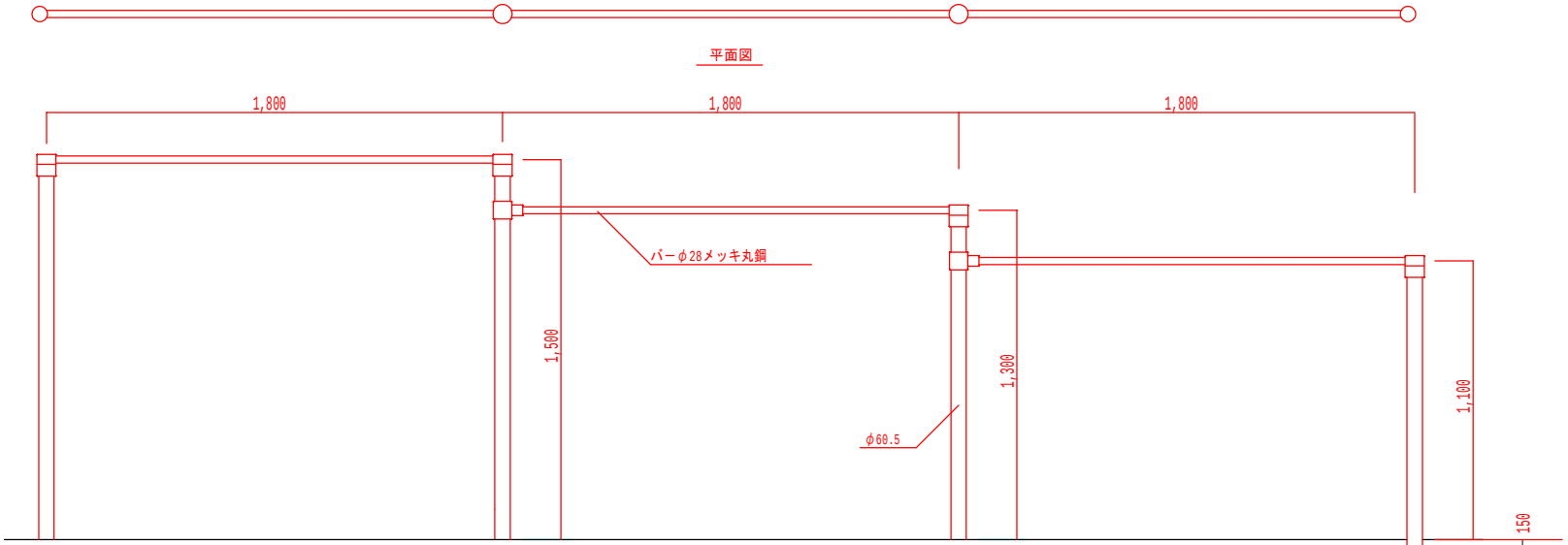


※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

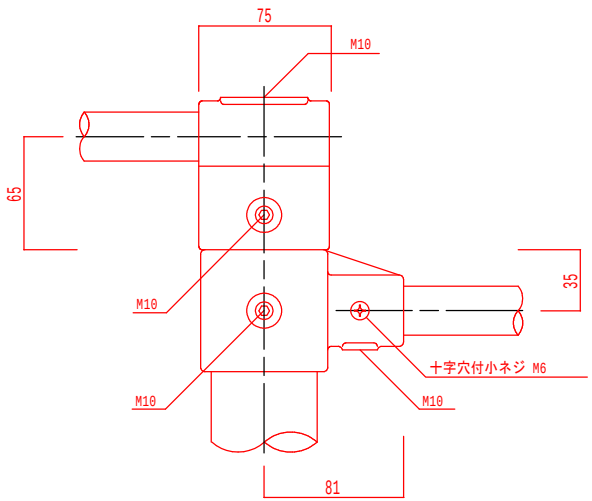
[redacted]

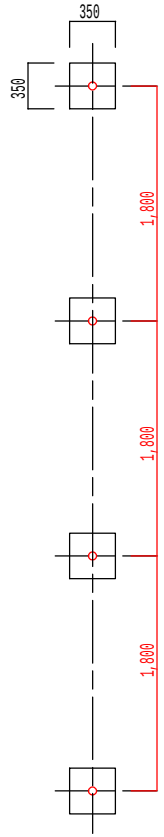
遊戯施設整備工構造図

（鉄棒３連）　S=図示



指定外ボルトは六角穴付止めネジ使用とする。





基礎伏図　S=1/40

※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。

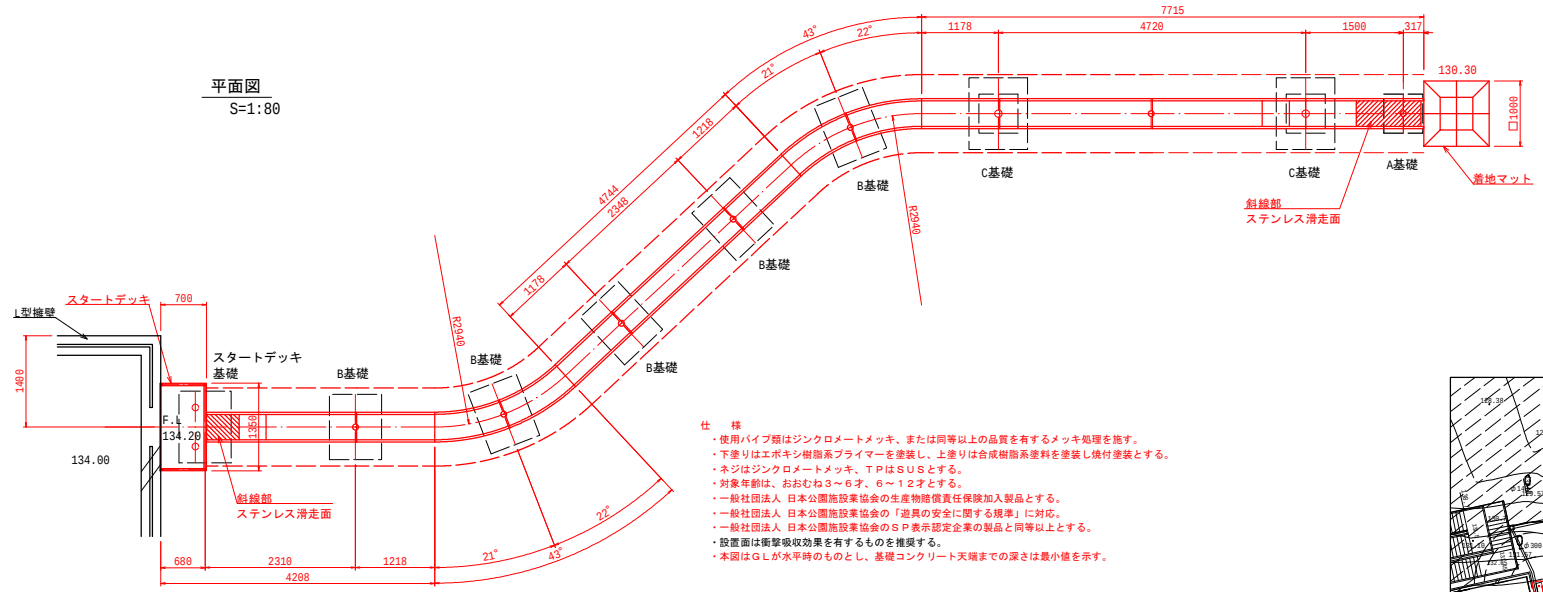
[redacted]

遊戯施設整備工構造図

（ローラーコースター（1））S=図示

平面図

S=1:80

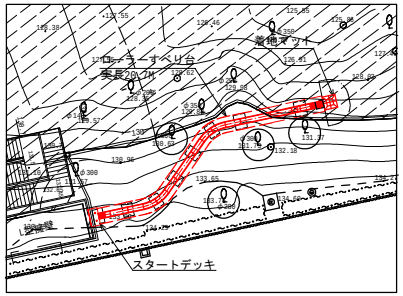


仕　様

・使用パイプ類はジンクロメートメッキ、または同等以上の品質を有するメッキ処理を施す。
・下塗りはエポキシ樹脂系プライマーを塗装し、上塗りは合成樹脂系塗料を塗装し焼付塗装とする。
・ネジはジンクロメートメッキ、ＴＰはＳＵＳとする。
・対象年齢は、おおむね３～６才、６～１２才とする。
・一般社団法人 日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険加入製品とする。
・一般社団法人 日本公園施設業協会の「遊具の安全に関する規準」に対応。
・一般社団法人 日本公園施設業協会のＳＰ表示認定企業の製品と同等以上とする。
・設置面は衝撃吸収効果を有するものを推奨する。
・本図はＧＬが水平時のものとし、基礎コンクリート天端までの深さは最小値を示す。

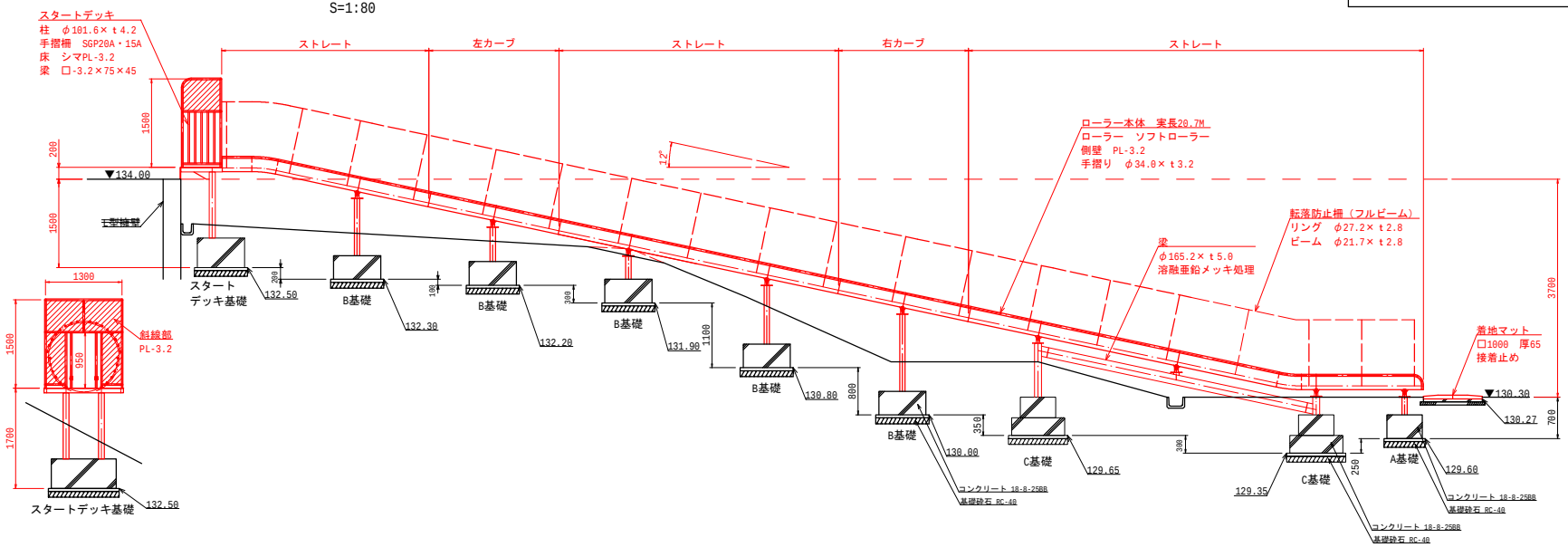
平面配置図

S=1:400



側面展開図(センターライン)

S=1:80



[redacted]

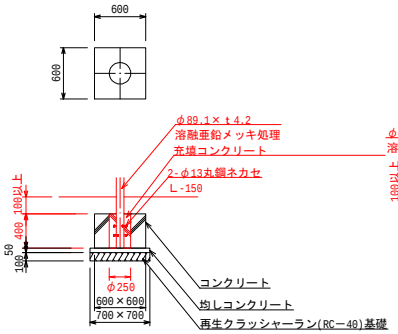
遊戯施設整備工構造図

（ローラーコースター（2））S=図示

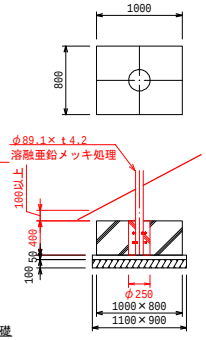
基礎詳細図

S=1:60

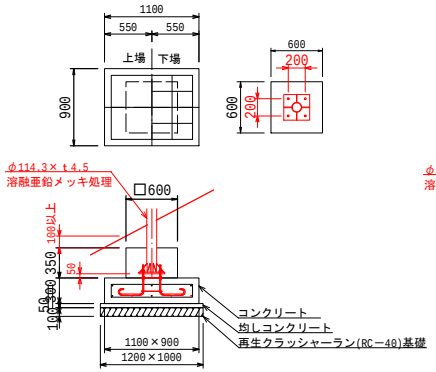
A基礎



B基礎

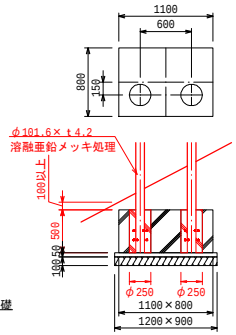


C基礎



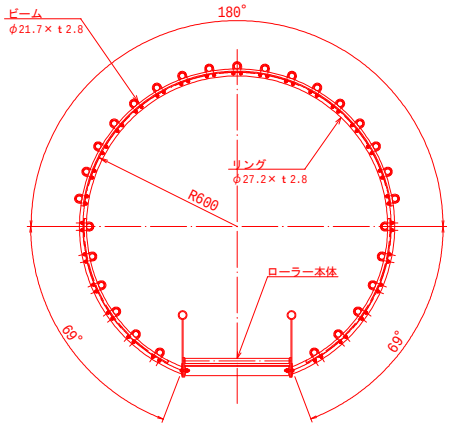
~~基礎~~
上場筋　タテ　3-D10・ヨコ　3-D10
下場筋　タテ　5-D13・ヨコ　5-D13
支柱
φ114.3×t4.5
ベースプレート
300×300×t16
アンカーボルト
4-M16Wナット（フック付）

スタートデッキ基礎



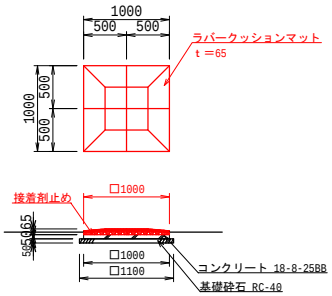
転落防止柵断面図

S=1:20



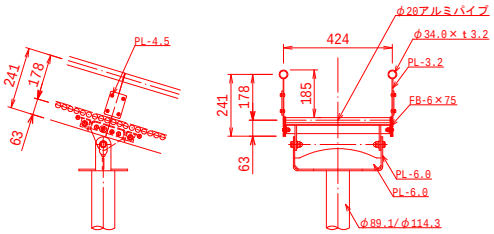
着地マット詳細図

S=1:60



ローラー断面詳細図

S=1:20



＊マットの基礎は、スライダー設置後に施工すること。

・　カラーは、メーカー標準色とする。

・　一般社団法人 日本公園施設業協会、ＳＰＬマーク表示認定製品とする。

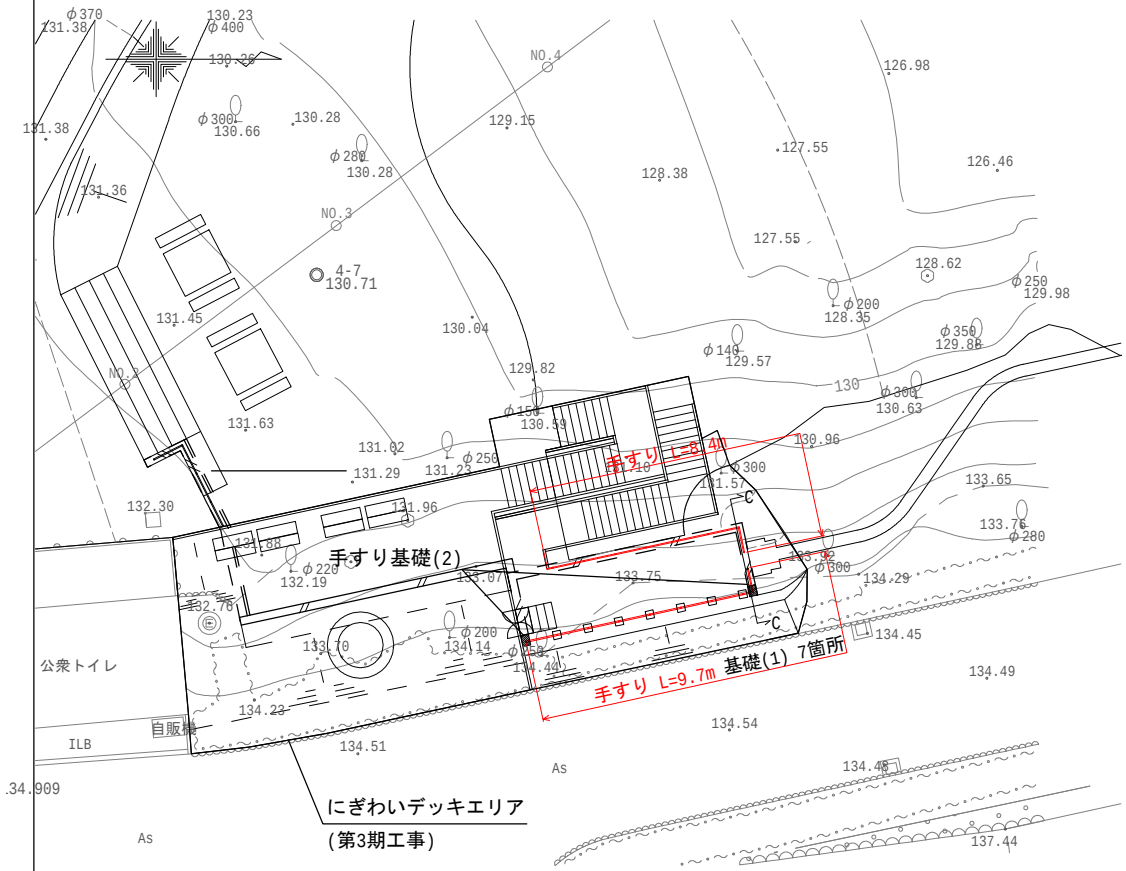
・　一般社団法人 日本公園施設業協会、団体賠償責任保険に加入した製品とする。

[redacted]

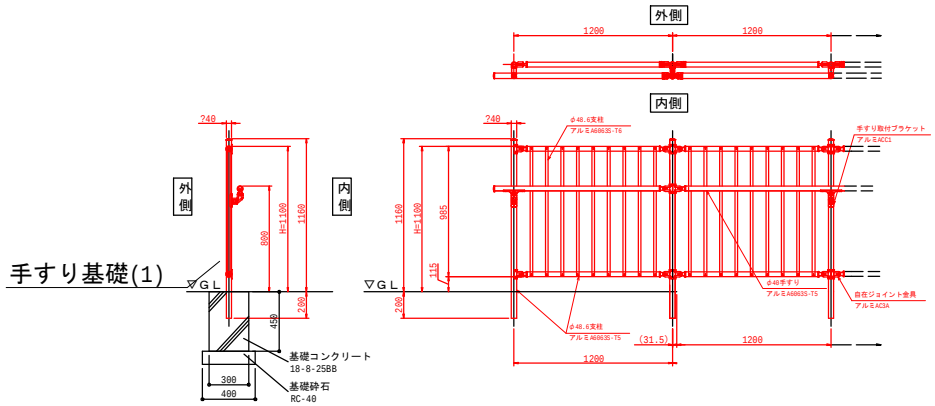
管理施設工構造図

(ローラーコースターまち手すり)　S=図示

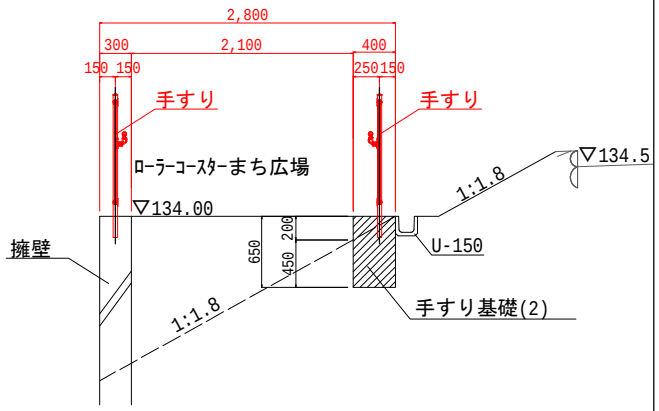
配置図
S=1:200



コースターまち手すり
S=1:40



C-C断面図
S=1:50

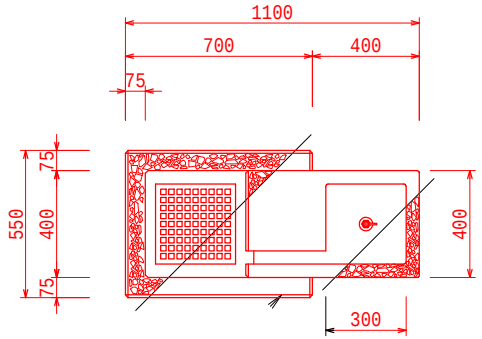


仕様
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S：2014に準拠とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマークWO表示認定企業の製品とする。

[redacted]

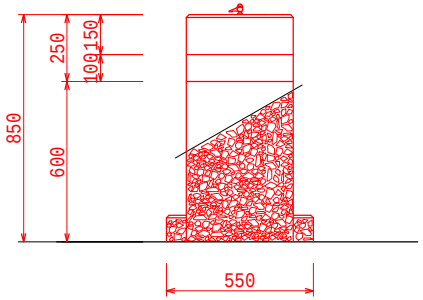
サービス施設工構造図

（水飲み）　S=図示



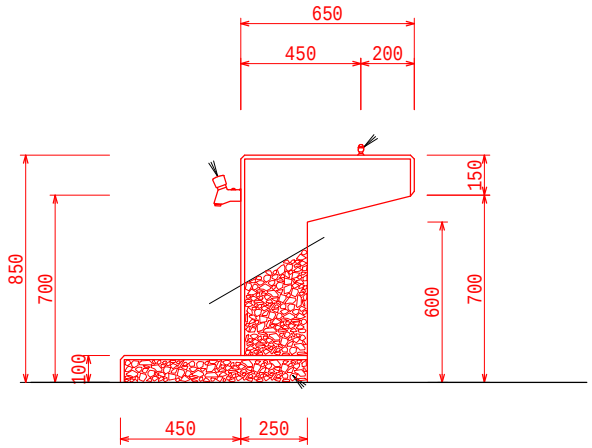
平面図

S=1:20



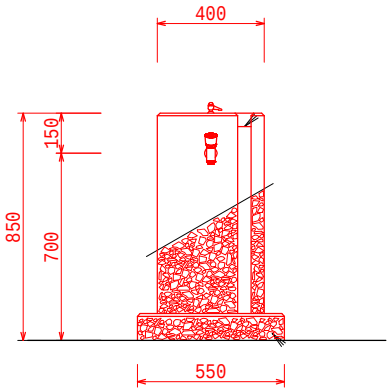
右側面図

S=1:20



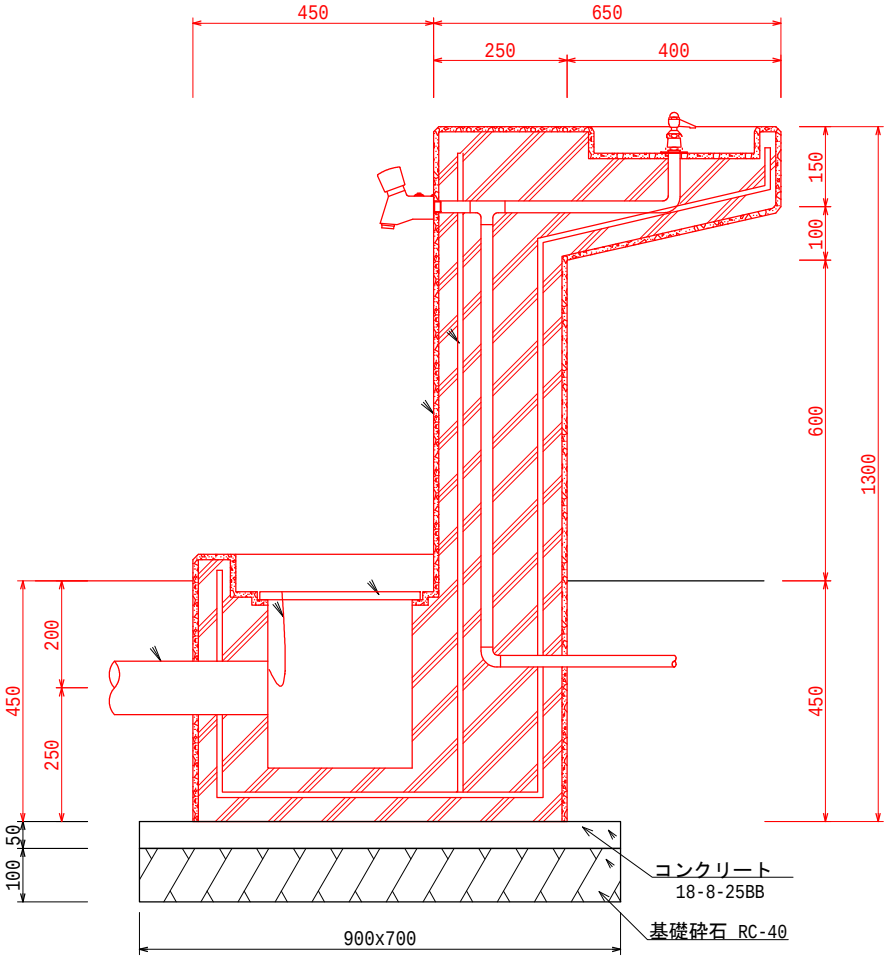
立面図

S=1:20



左側面図

S=1:20



断面構造図

S=1:10

・ISO 9001:2015認証取得企業の製品とする。
・一般社団法人 日本公園施設業協会 SPLマーク表示認定企業の製品とする。
・一般社団法人 日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
・本製品の設計図面の変更、模倣を禁止する。

※凍結の恐れのある場所では、破裂の危険がありますので、別途水抜き栓を設置してください。
※給水管・配水管の向きは現場打ち合わせにて決定致します。

特記仕様

本　体　　鉄筋デザイン組コンクリート構造
鋼　材　　ＪＩＳ規格品
仕上げ　　クラッシュタイル貼り仕上

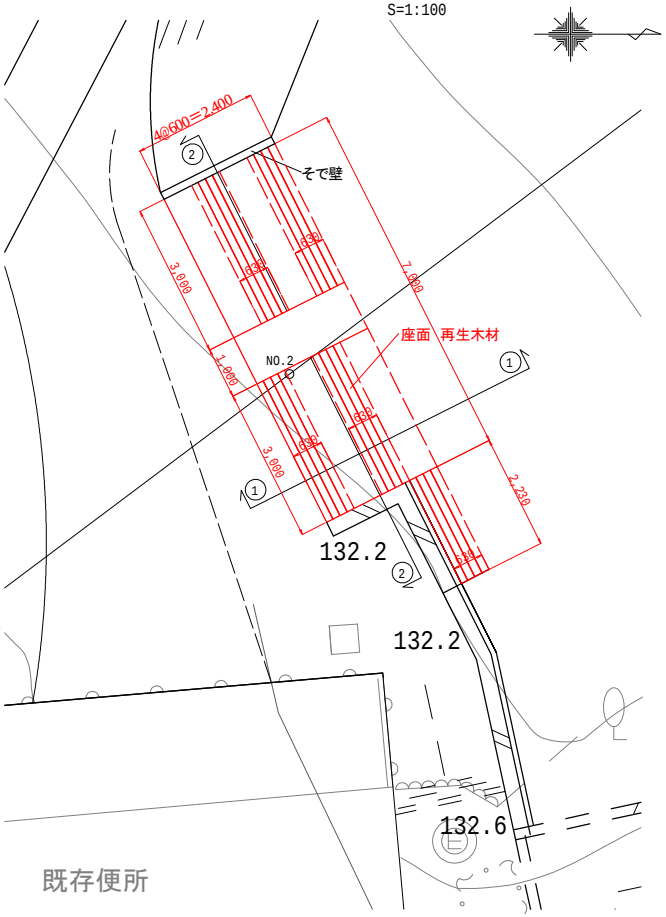
[redacted]

サービス施設工構造図

(観覧ベンチ)　S=図示

平面図

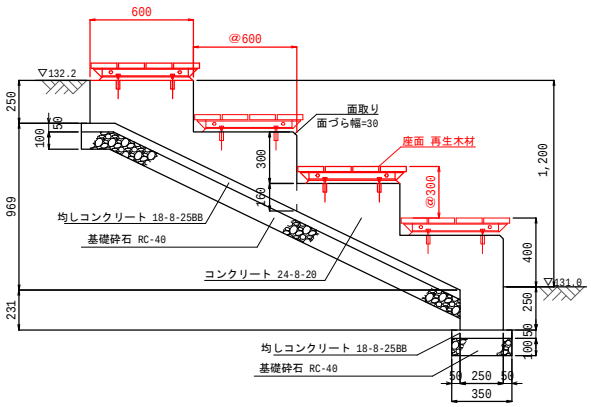
S=1:100



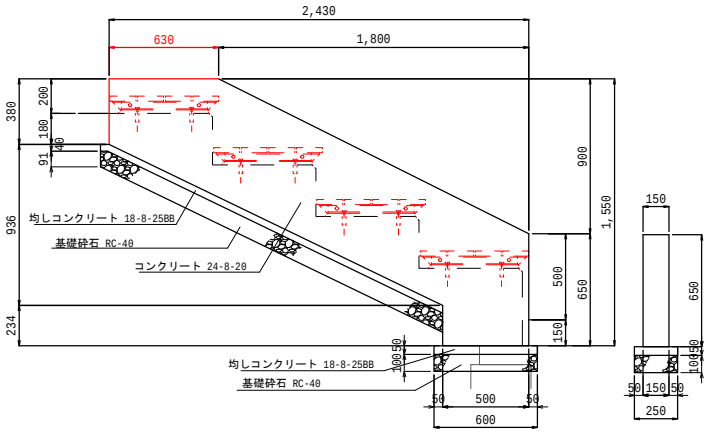
①-①断面図

S=1:20

観覧ベンチ

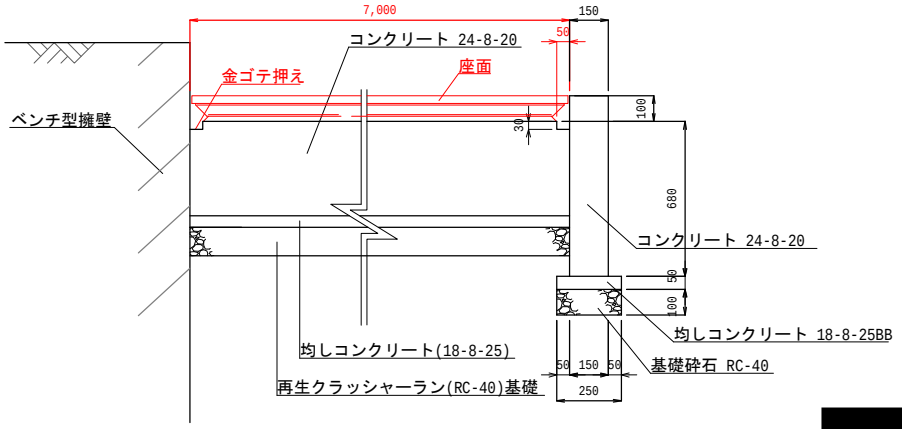


そで壁



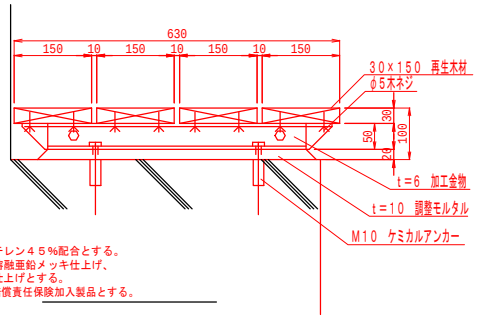
②-②断面図

S=1:20



座面詳細図

S=1:10



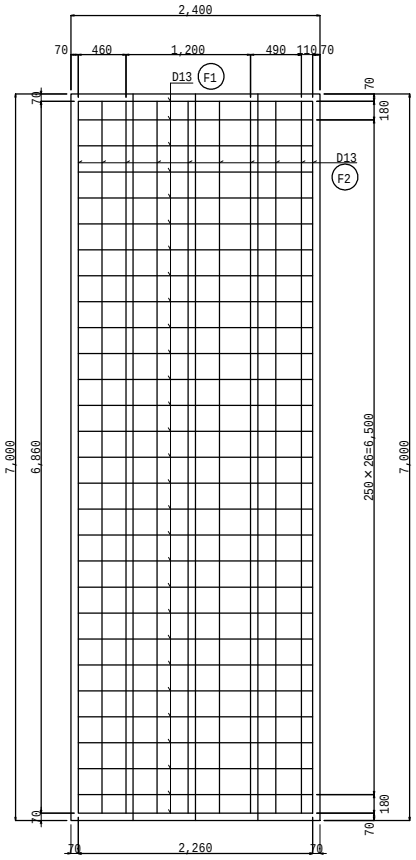
仕　様
1）再生木材は廃木粉５０％＋廃ポリエチレン４５％配合とする。
2）特記なき限りボルト、ワッシャ類は溶融亜鉛メッキ仕上げ、
　鋼材類は錆止めの上、ウレタン塗装仕上げとする。
3）一般社団法人 日本公園施設業協会の賠償責任保険加入製品とする。

[redacted]

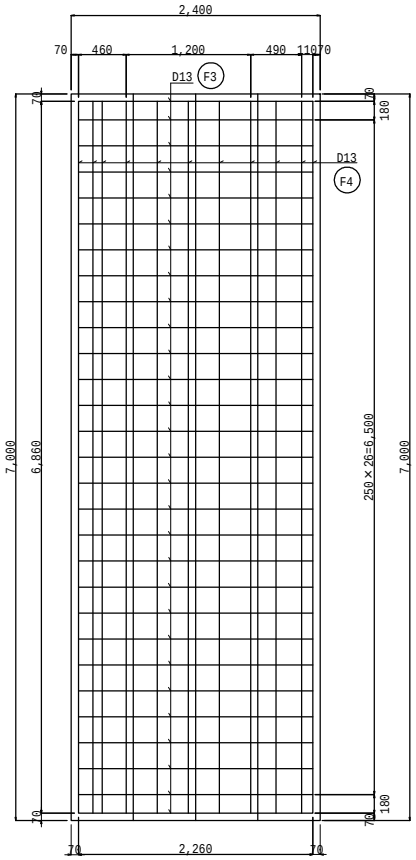
サービス施設工構造図

(観覧ベンチ 配筋図)　S=図示

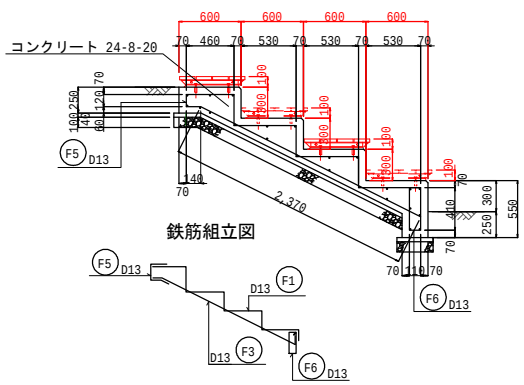
平面図上面
S=1:50



平面図下面
S=1:50

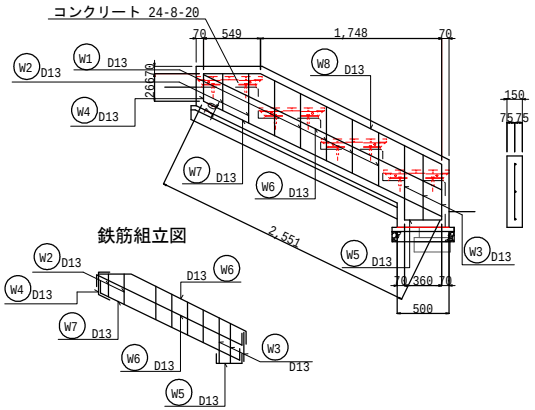


①-①断面面
S=1:50



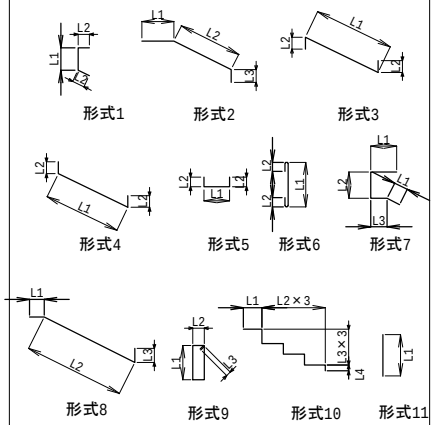
鉄筋組立図

②-②断面面
S=1:50



鉄筋組立図

鉄筋加工表



種別	形式	径	本数	長さ	L1	L2	L3	L4
W1	6	D13	5	537	525	60		
W2	6	D13	2	954	834(平均長)	60		
W3	6	D13	3	748	628(平均長)	60		
W4	1	D13	1	566	266	150		
W5	5	D13	1	660	360	150		
W6	3	D13	1	2851	2551	150		
W7	4	D13	1	2851	2551	150		
W8	2	D13	1	2653	549	1954	150	
F1	10	D13	29	3310	460	600	300	150
F2	11	D13	10	6860	6860			
F3	8	D13	10	2660	140	2370	150	
F4	11	D13	10	6860	6860			
F5	7	D13	29	560	150	120	140	
F6	9	D13	29	1220	410	110	90	

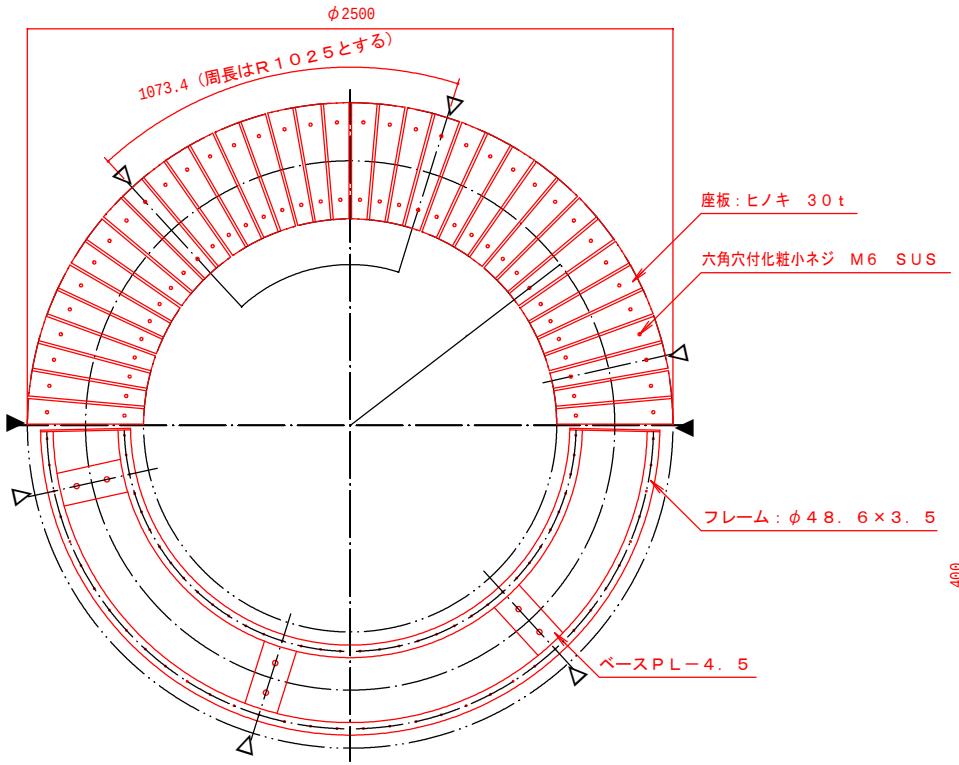
鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
W1	D13	537	5	0.995	0.534	3	
W2	D13	954	2	0.995	0.949	2	(平均長)
W3	D13	748	3	0.995	0.744	2	(平均長)
W4	D13	566	1	0.995	0.563	1	
W5	D13	660	1	0.995	0.657	1	
W6	D13	2851	1	0.995	2.837	3	
W7	D13	2851	1	0.995	28.010	28	
W8	D13	2653	1	0.995	2.640	3	
F1	D13	3310	29	0.995	3.293	96	
F2	D13	6860	10	0.995	6.826	68	
F3	D13	2660	10	0.995	2.647	26	
F4	D13	6860	10	0.995	6.826	68	
F5	D13	560	29	0.995	0.557	16	
F6	D13	1220	29	0.995	1.214	35	
					D13	352 kg	
					合計	352 kg	

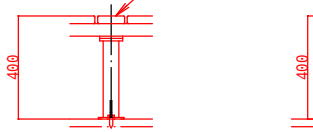
[redacted]

サービス施設工構造図
（サークルベンチ）　S=図示

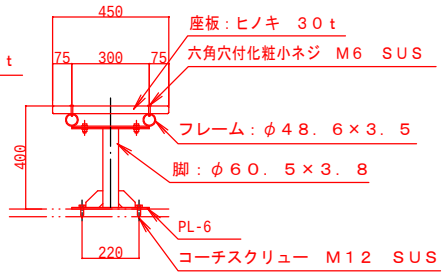
・木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
・木材角面は、全てＲ面取りとする。
・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉体塗装（ダークグレー）仕上げとする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
・本製品は、ＩＳＯ９００１認証取得企業製品とする。



平面図
S=1:20
▼ジョイント位置
▽脚位置



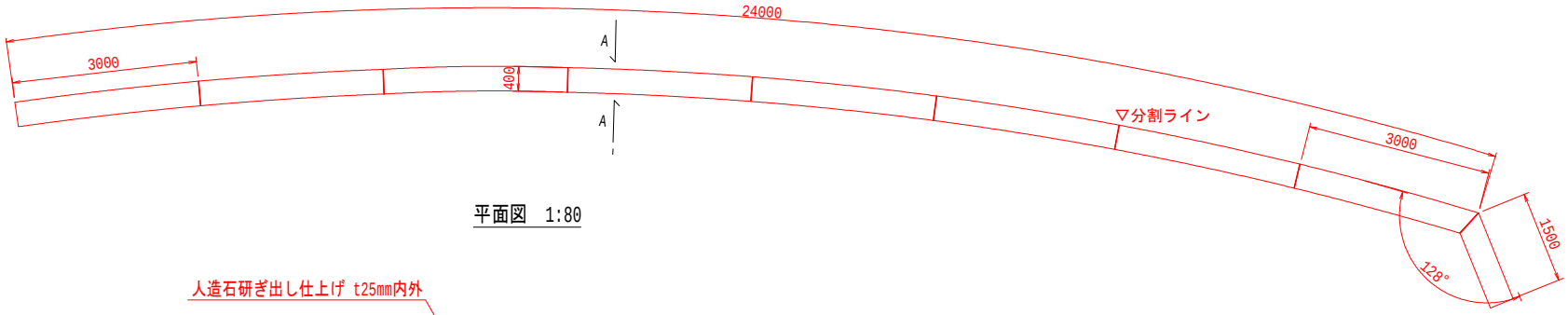
立面図
S=1:20



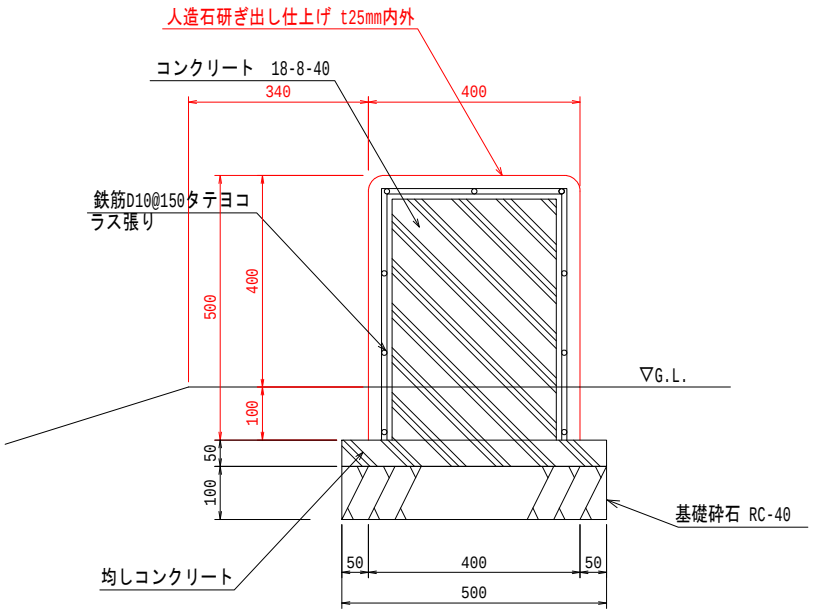
断面図
S=1:20

[redacted]

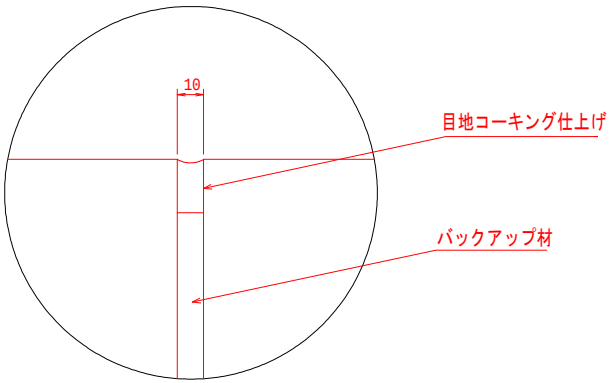
遊戯施設整備工構造図
（腰掛ベンチ）　S=図示



平面図　1:80



A-A断面詳細図　1:80

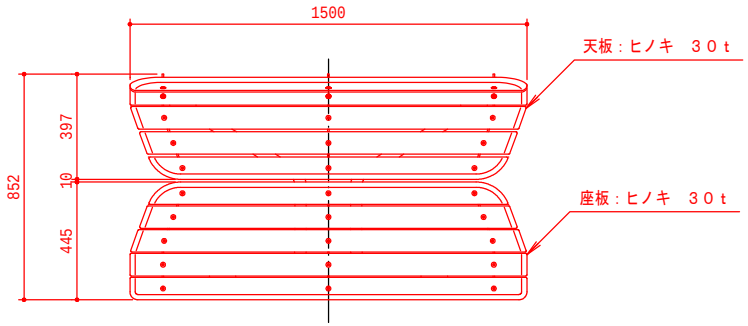


分割化ライン詳細図　1:2

仕様
- 本製品製作工場は、ISO9001:2015認証工場の製品とする。
- 本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
- 本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SP･SPLマーク表示認定企業の製品とする。
- 本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会SPLマークを表示する。

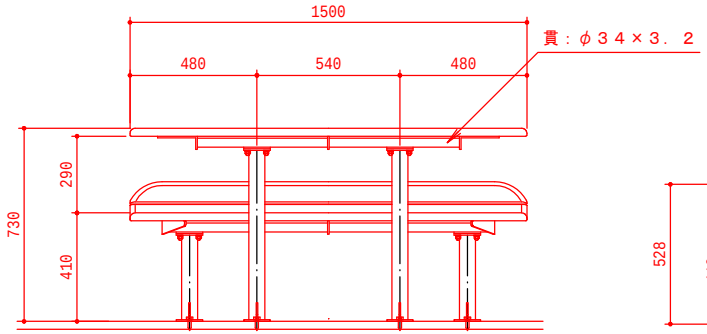
[redacted]

サービス施設工構造図
（カウンターベンチ）　S=図示

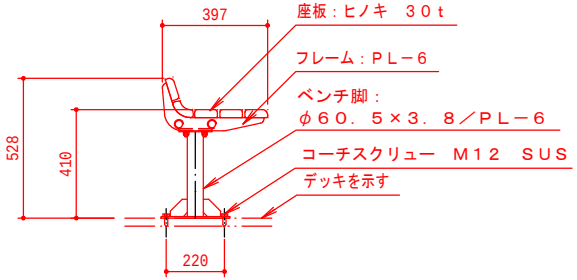


平面図
S=1:20

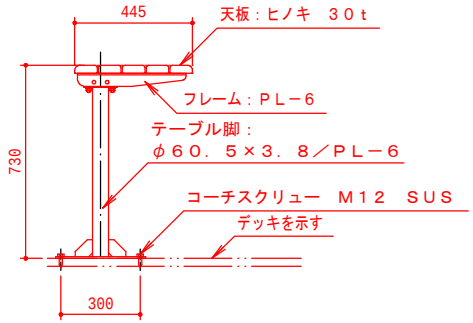
・木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
・木材角面は、全てＲ面取りとする。
・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉体塗装（ダークグレー）仕上げとする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
・本製品は、ＩＳＯ９００１認証取得企業製品とする。



立面図
S=1:20



ベンチ側面図
S=1:20



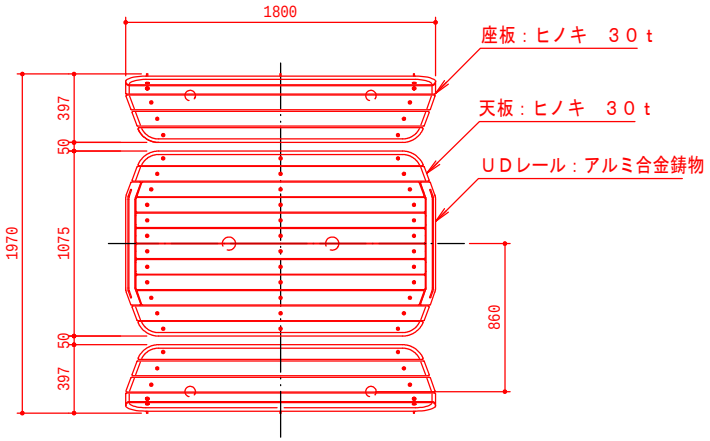
テーブル側面図
S=1:20

[redacted]

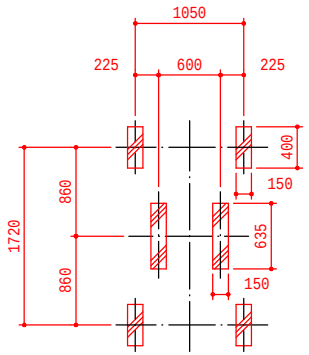
サービス施設工構造図

（テーブルベンチ）　S=図示

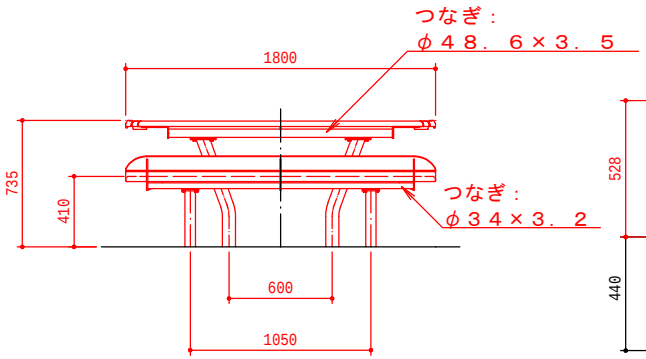
木材防腐処理は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
木材角面は、全てＲ面取りとする。
鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉体塗装（ダークグレー）仕上げとする。
アルミ合金鋳物は、ＡＣ３Ａとし、ウレタン樹脂塗料塗装（ダークグレー）仕上げとする。
本製品は、一般社団法人 本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
本製品は、ＩＳＯ９００１認証取得企業製品とする。



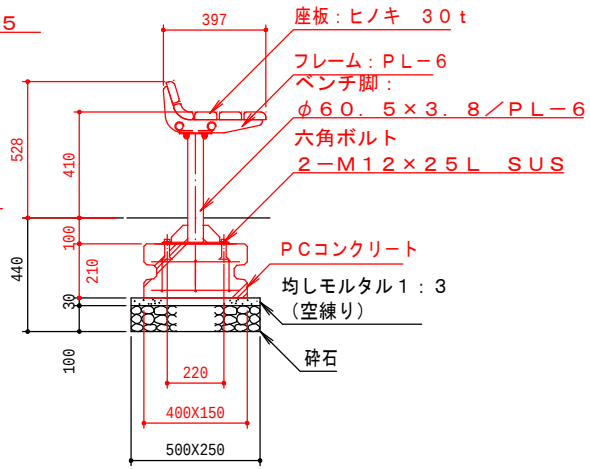
平面図
S=1:30



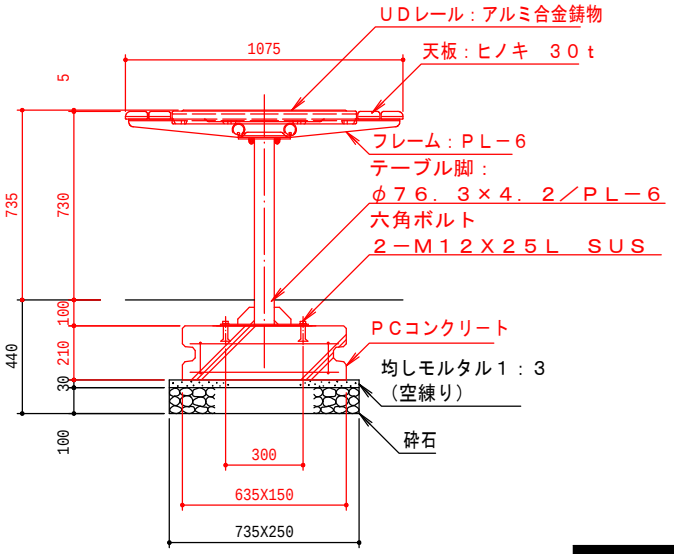
基礎伏図
S=1:50



立面図
S=1:30



ベンチ側面図
S=1:20

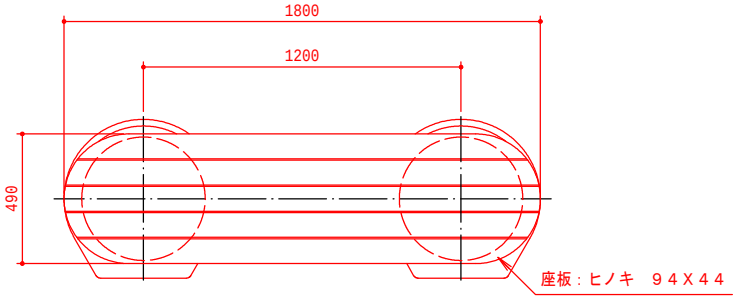


テーブル側面図
S=1:20

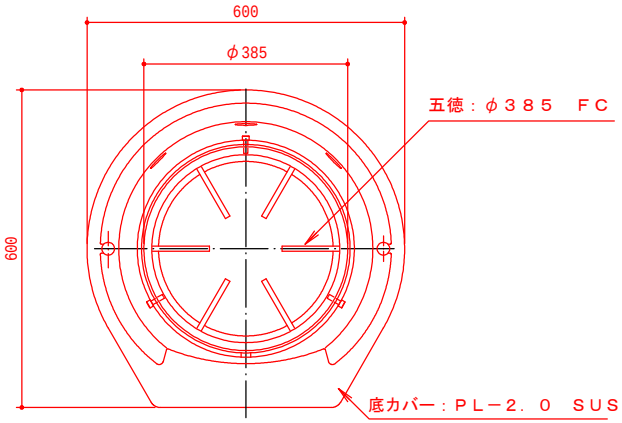
[redacted]

サービス施設工構造図

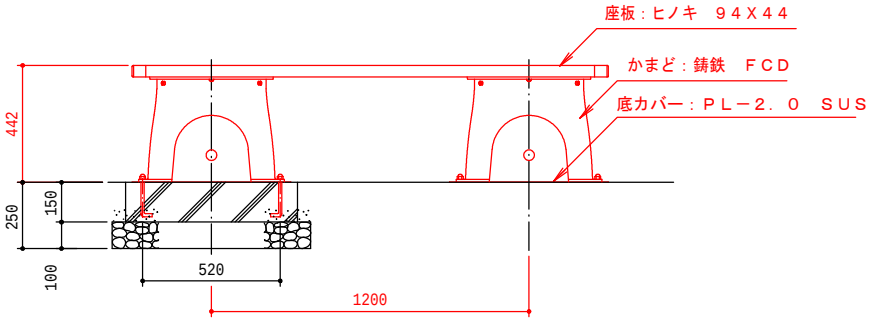
（かまどベンチ）　S=図示



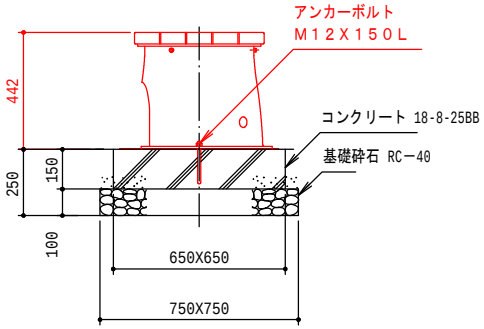
平面図
S=1:20



かまど使用時平面図
S=1:10



正面図
S=1:20

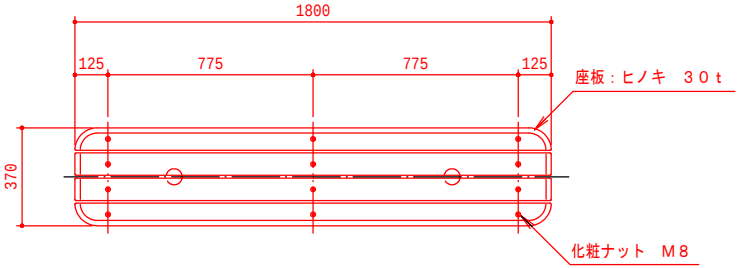


側面図
S=1:20

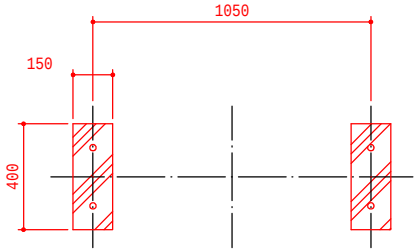
・木材は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（色：チョコレート）塗装仕上げとする。
・木材角面は、全てＲ面取りとする。
・かまどは、鋳鉄ＦＣＤとし、ポリエステル粉体塗装（ダークグレー）仕上げとする。
・五徳は、鋳鉄ＦＣとし、ポリエステル粉体塗装（ダークグレー）仕上げとする。
・底カバーは、ステンレス（ＳＵＳ３０４）とし、２Ｂ材とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
・本製品は、ＩＳＯ９００１認証取得企業製品とする。

[redacted]

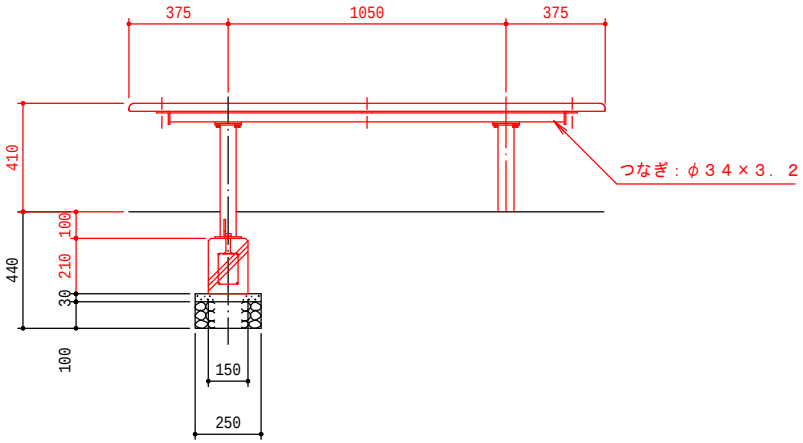
サービス施設工構造図
（ベンチ）　S=図示



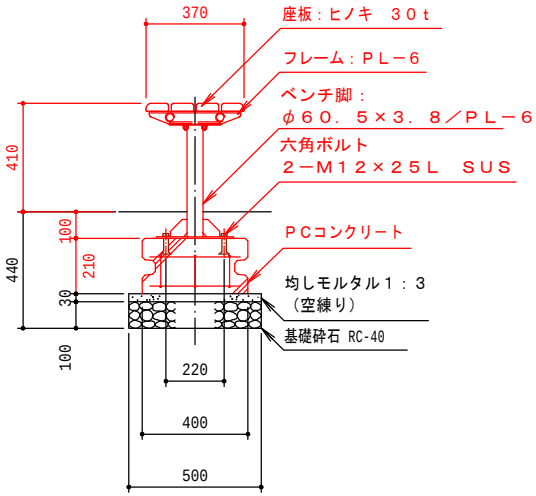
平面図
S=1:20



基礎伏図
S=1:20



正面図
S=1:20



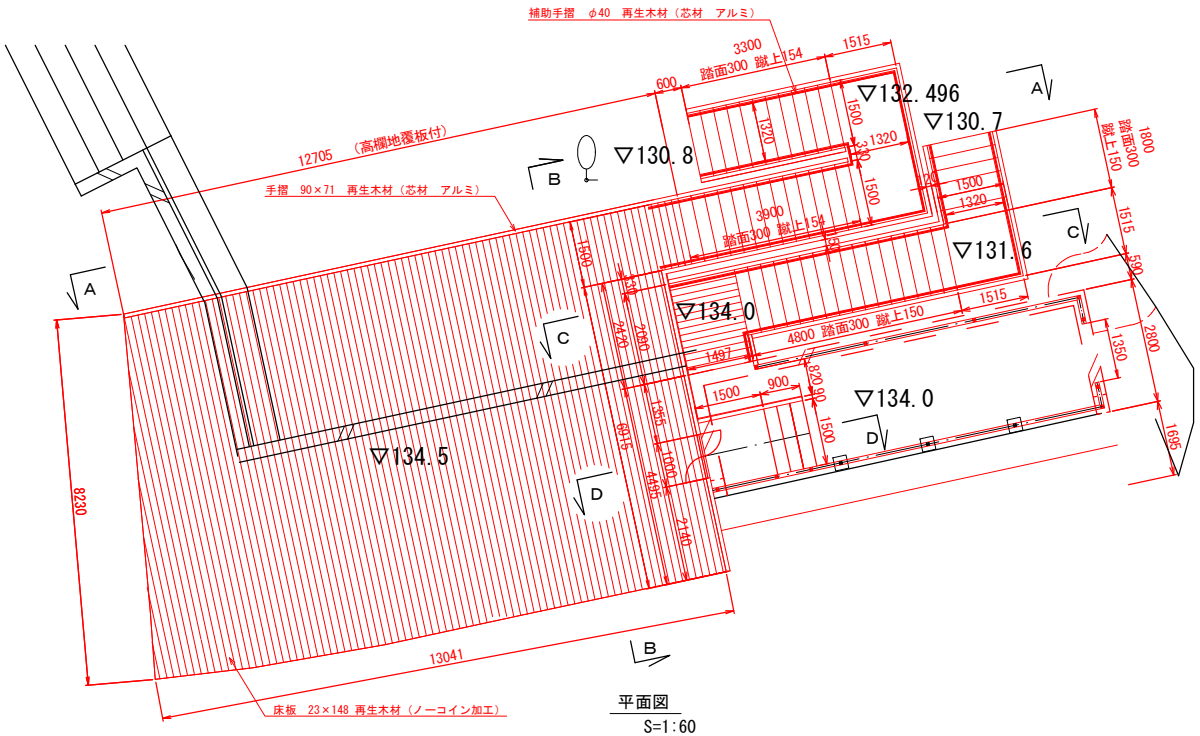
側面図
S=1:20

・木材は、低毒性木材防腐剤加圧注入処理とする。
・木材は、ヒノキ（一等材）とし、カンナ・ペーパーがけの上、木材保護着色塗料（チョコレート）塗装仕上げとする。
・木材角面は、全てＲ面取りとする。
・鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、ポリエステル樹脂粉体塗装（ホワイト）仕上げとする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会賠償責任保険加入製品とする。
・本製品は、ＩＳＯ９００１認証取得企業製品とする。

[redacted]

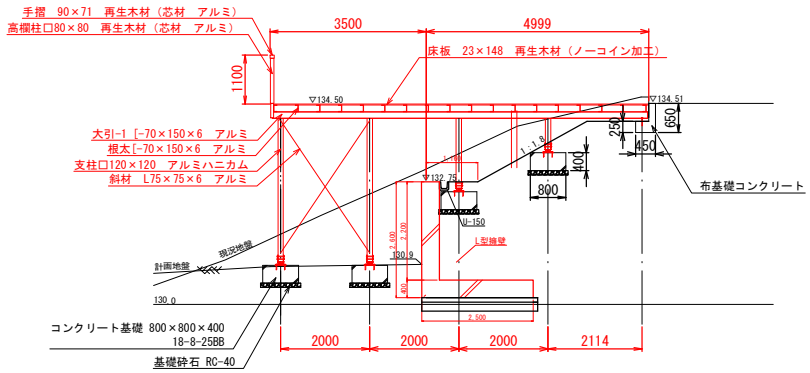
園路広場整備工構造図

（にぎわいデッキ(1)）　　S=図示



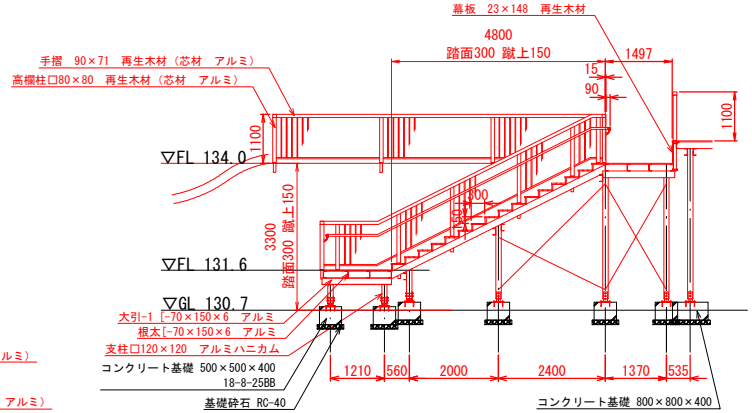
平面図

S=1:60



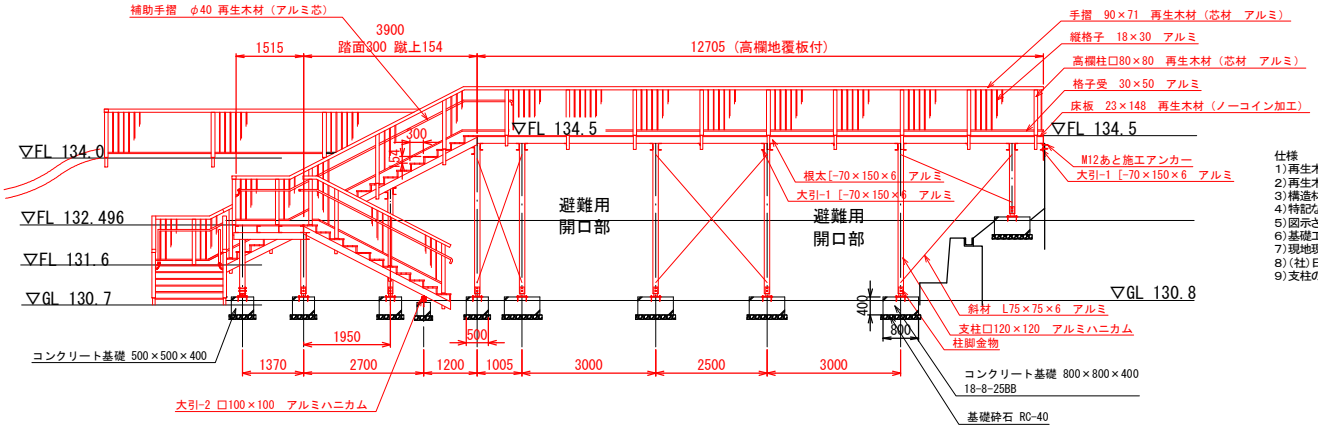
断面図(B-B)

S=1:60



矢視図(C-C)

S=1:60



立面図(A-A)

S=1:60

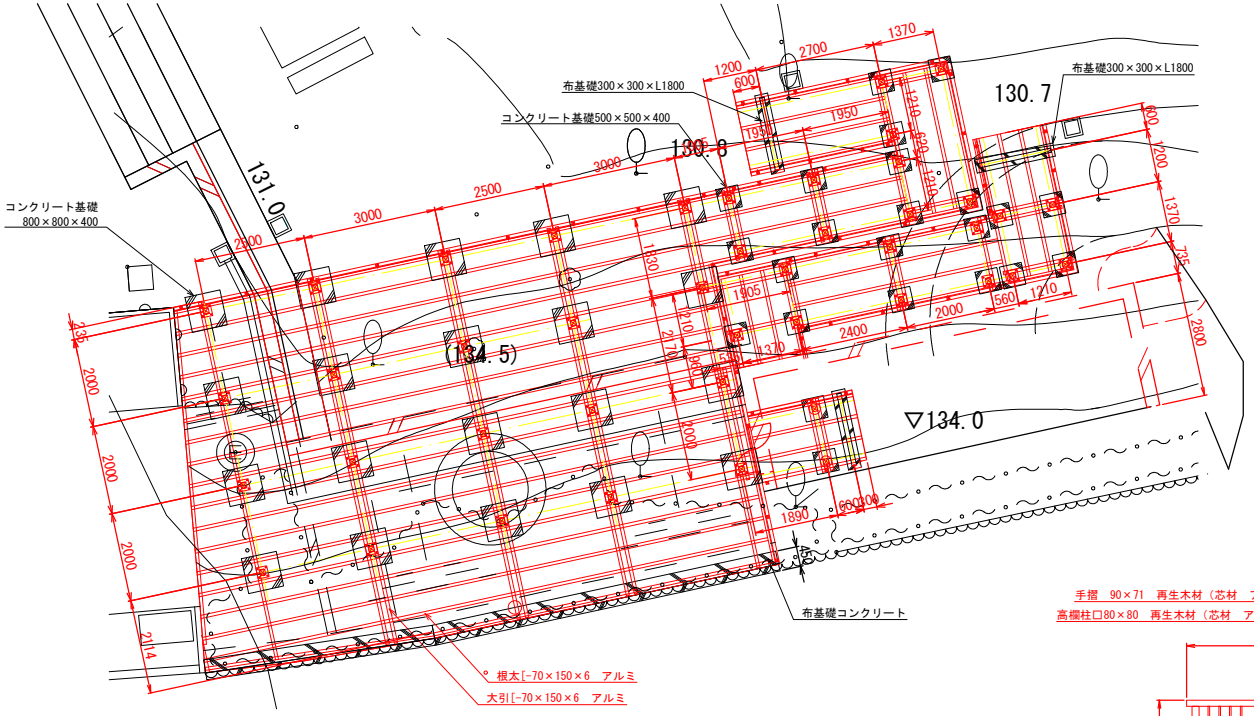
仕様

1）再生木材は再生ポリエチレン45%、木粉比率50%以上の配合比率とする。
2）再生木材の比重は1.3以上とする。
3）構造材アルミ合金材質はA6063S－T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理（マットブラウン色）を施した材料とする。
4）特記なき限りボルト、ワッシャ類は溶融亜鉛めっき仕上げ、若しくは同等以上とする。（ビス類を除く）
5）図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
6）基礎工法（PINFOUNDATION工法）はNETIS登録実績技術（国土交通省新技術）とする。
7）現地現況位置の地盤調査を実施して、監督員と協議の上、打込みピン長さを決定すること。
8）（社）日本公園施設業協会SP、SPL表示認定企業の製造製品とする
9）支柱の長さは現況地盤により、変更することとする。

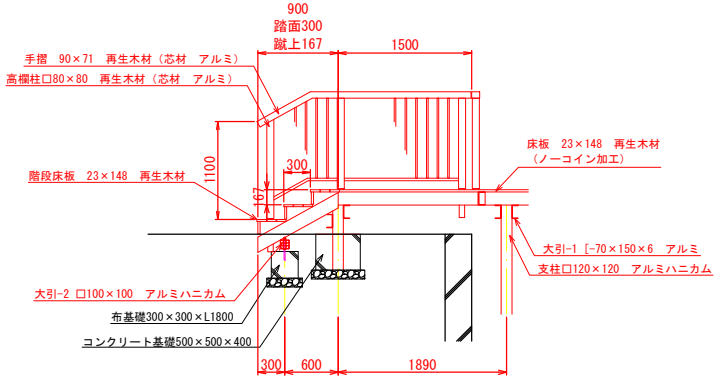
[redacted]

園路広場整備工構造図

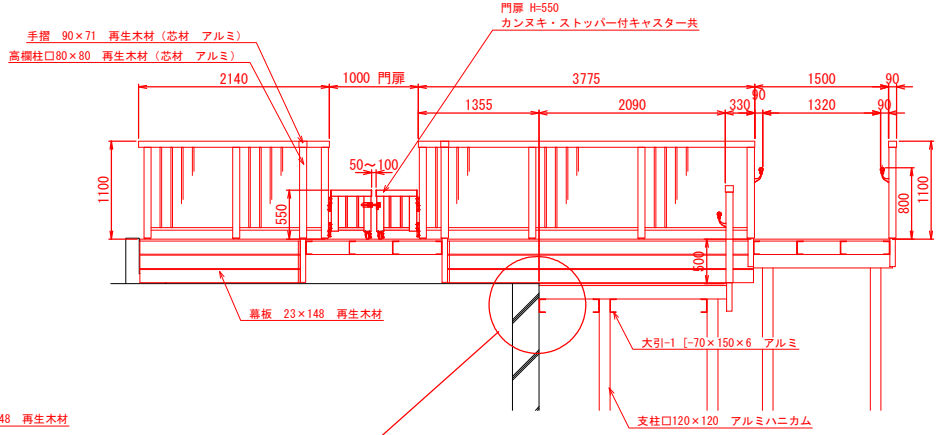
（にぎわいデッキ(2)）　S=図示



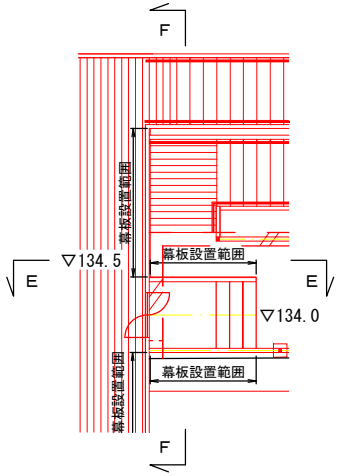
根太伏図
S=1:60



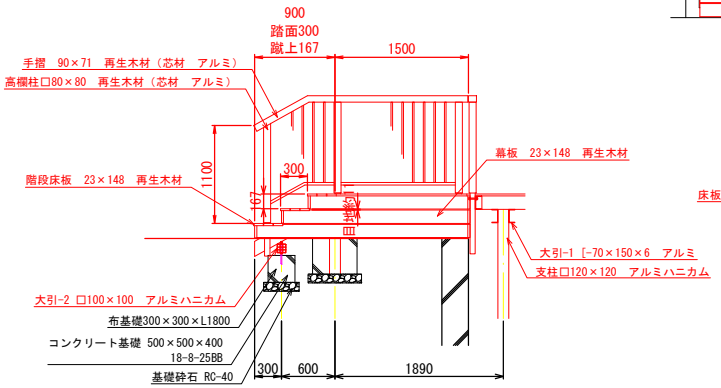
矢視図(D-D)
S=1:60



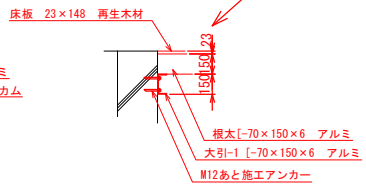
矢視図(F-F)
S=1:30



接続部平面図
S=1:30



拡大図(E-E)
S=1:30

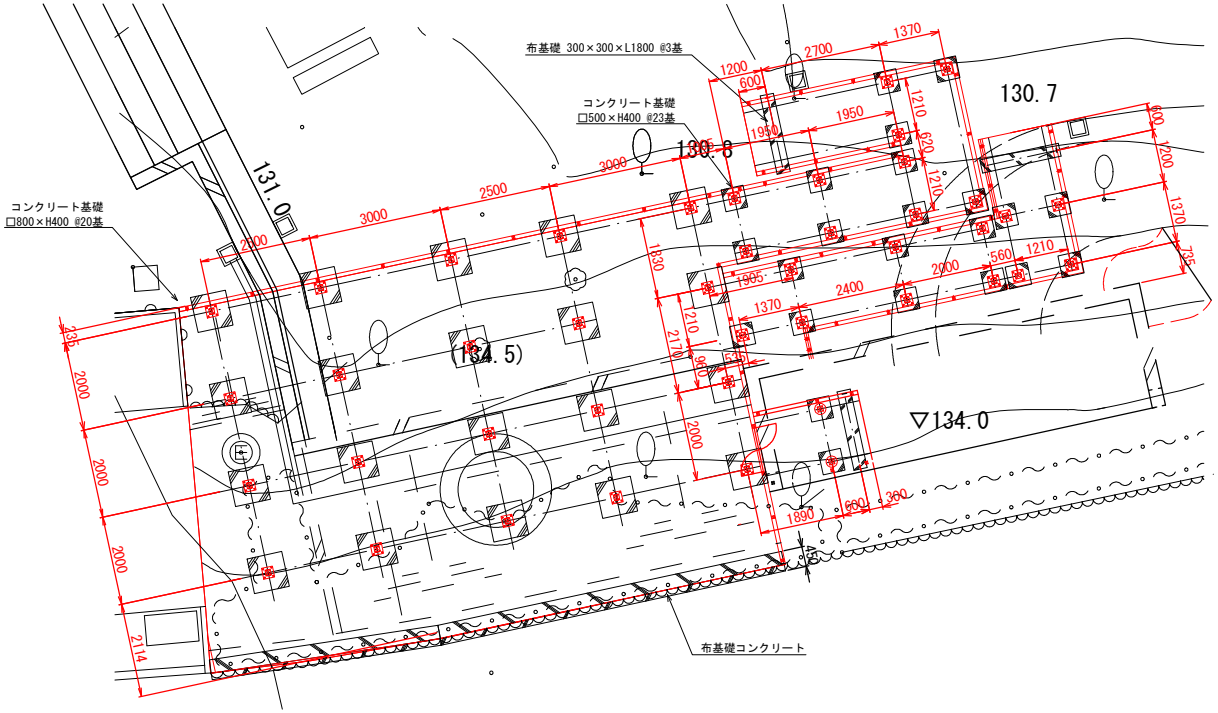


拡大図(F-F)
S=1:20

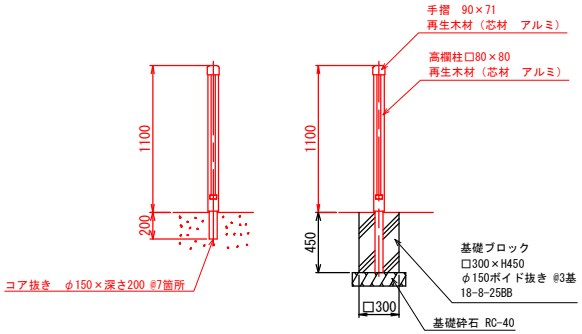
[redacted]

園路広場整備工構造図

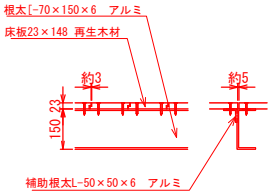
（にぎわいデッキ(3)）　S=図示



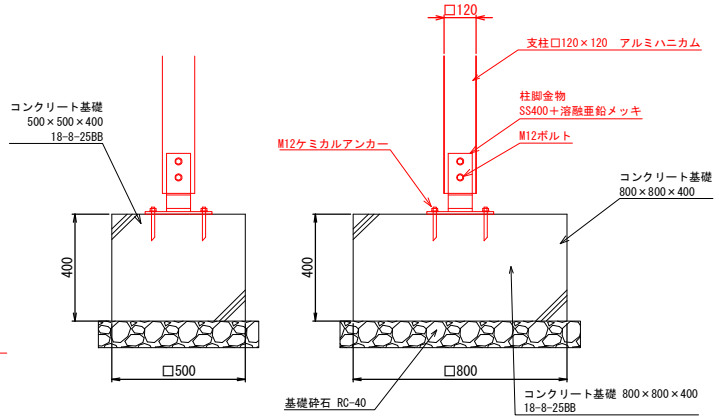
基礎伏図
S=1:60



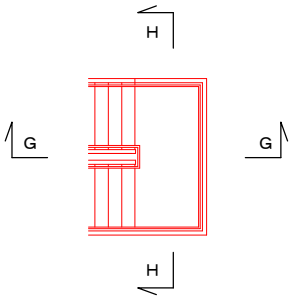
高欄詳細図
S=1:20



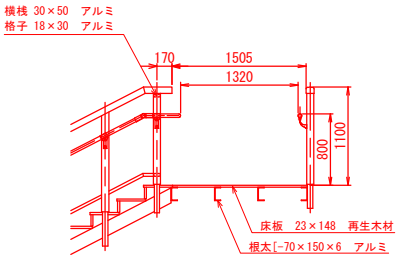
床版取付詳細図
S=1:10



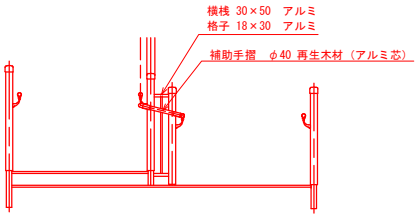
コンクリート基礎詳細図
S=1:10



階段踊り場平面図
S=1:60



矢視図(H-H)
S=1:30

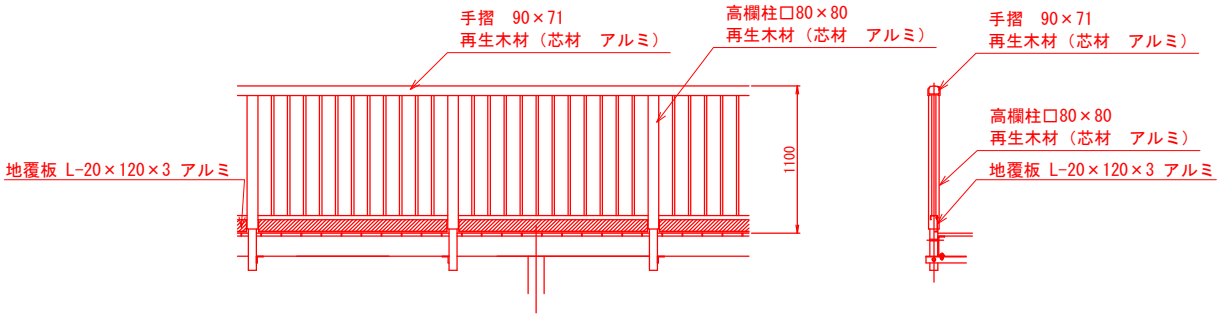


矢視図(H-H)
S=1:30

[redacted]

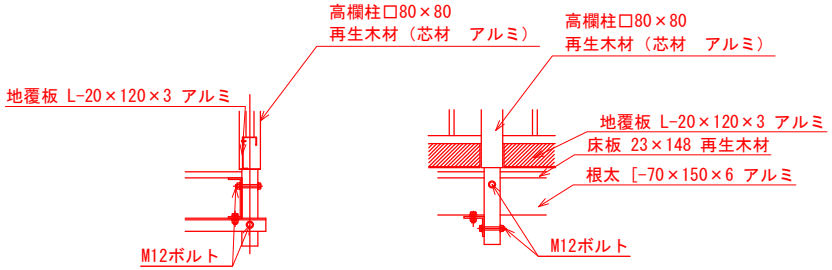
園路広場整備工構造図

（にぎわいデッキ(4)）　S=図示



高欄（地覆板）標準図

S=1:20



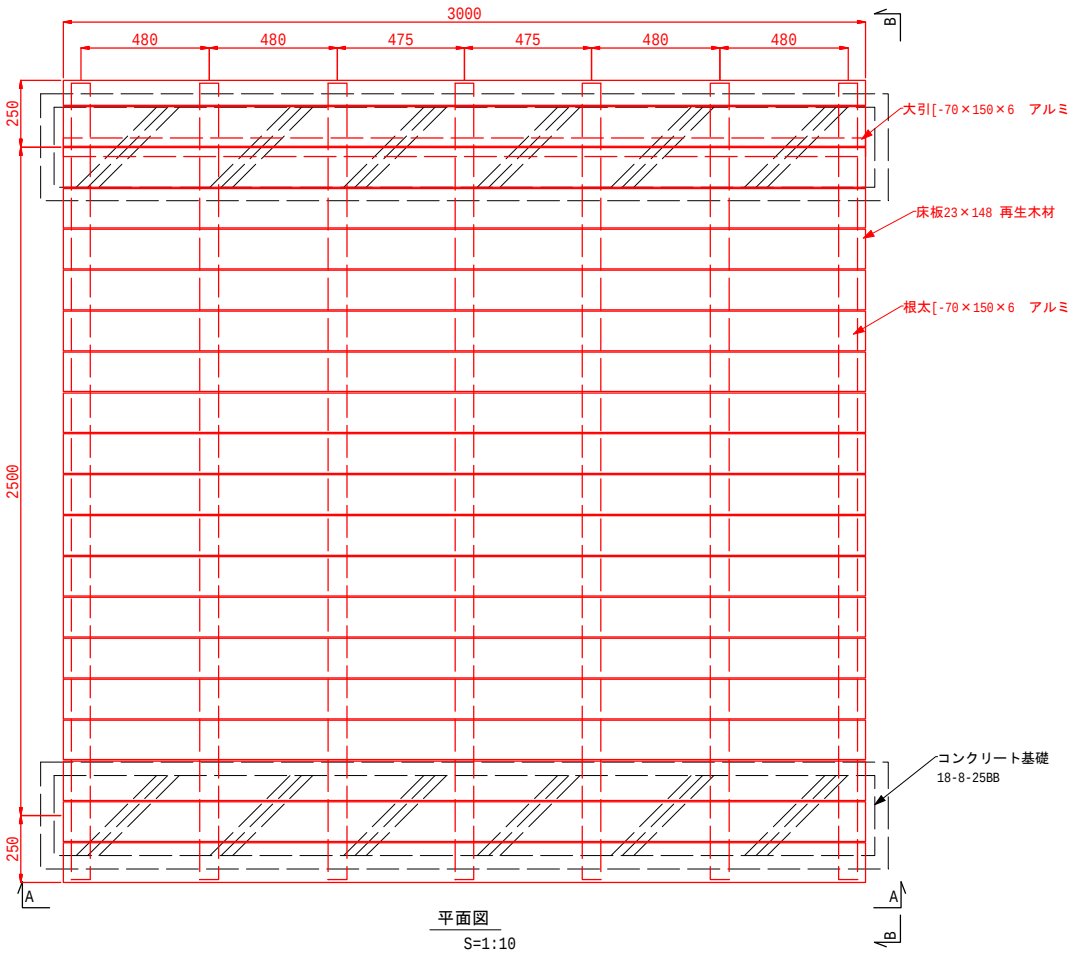
高欄・地覆板　取付詳細図

S=1:10

[redacted]

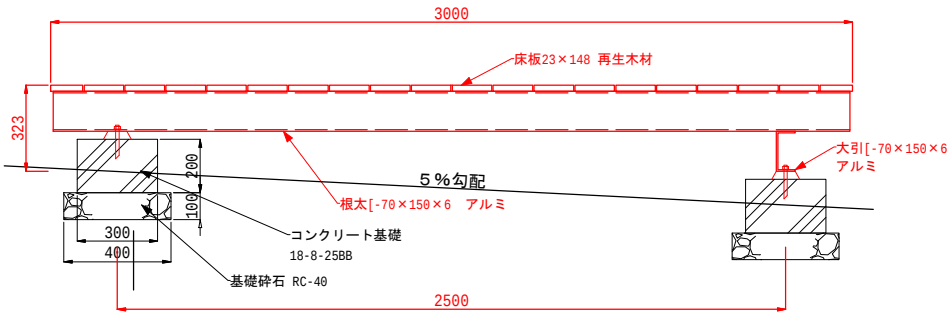
園路広場整備工構造図

（木製デッキ）　S=図示



平面図

S=1:10

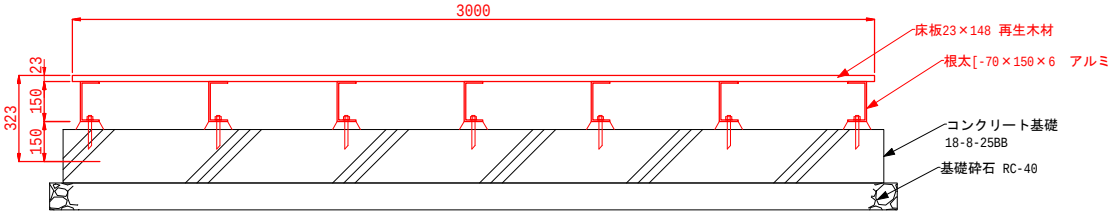


断面図(B-B)

S=1:10

仕様

1)再生木材は再生ポリエチレン45 %、木粉比率50 %以上の配合比率とする。
2)再生木材の比重は1.3以上とする。
3)構造材アルミ合金材質はA6063S－T5以上の強度を有するものとし、アルマイト処理(マットブラウン色)を施した材料とする。
4)特記なき限りボルト、ワッシャ類は溶融亜鉛めっき仕上げ、若しくは同等以上とする。(ビス類を除く)
5)打込みピンはSTK400 (一般構造用炭素鋼鋼管)＋HDZ40 (亜鉛付着量)とする。
6)柱脚ブラケットはSS400 (一般構造用圧延鋼材)＋HDZ55 ＋塗装(19-20　Bこげ茶)とする。
7)図示された製品は賠償責任保険加入製品とする。
8)(一社)日本公園施設業協会SP、SPL表示認定企業の製造製品とする。
9)支柱の長さは現況地盤により、変更することとする。



断面図(A-A)

S=1:10

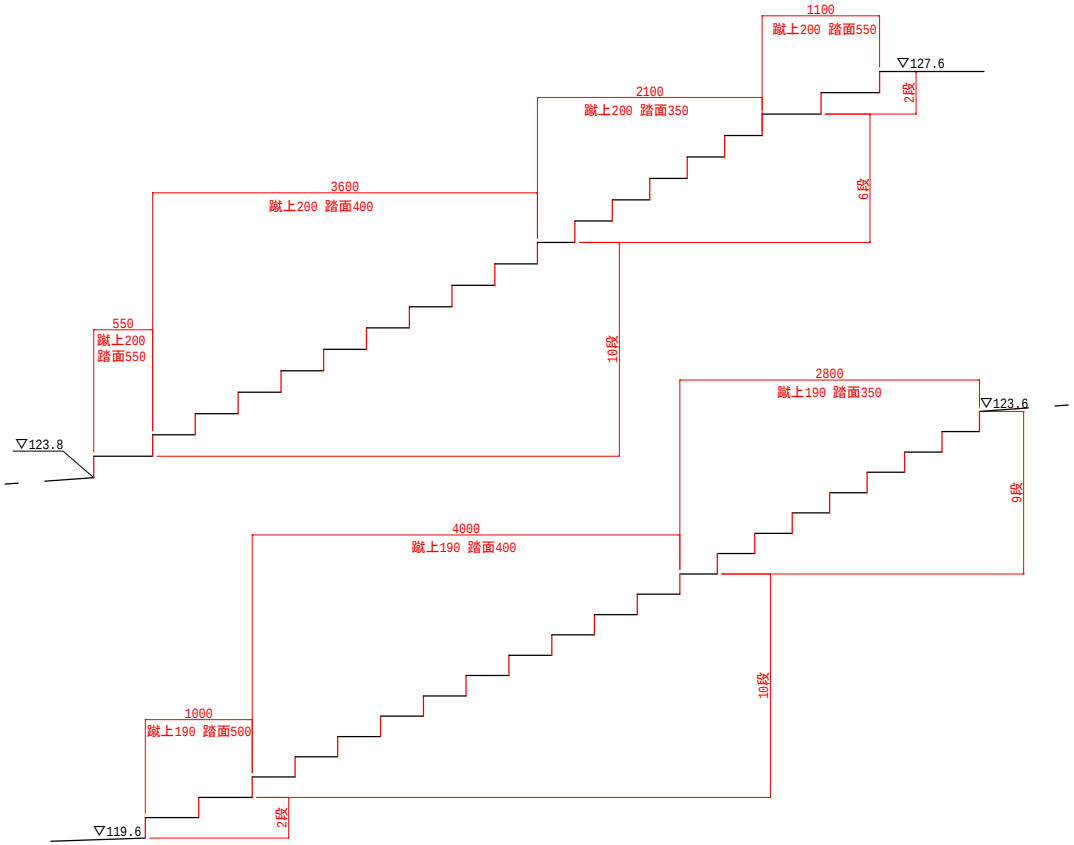
[redacted]

園路広場整備工構造図

(擬木階段1)　S=図示

擬木階段1

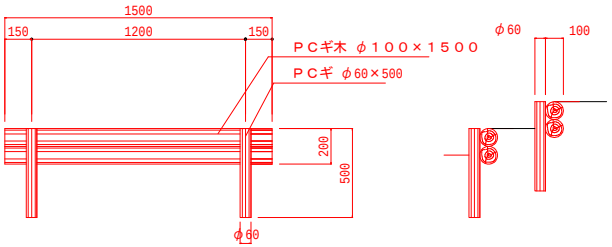
縦断図 S=1:50



詳細図

S=1:30

平　面　図



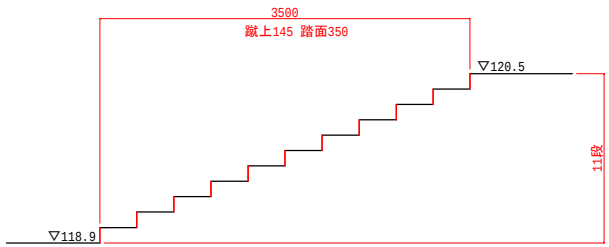
正面図　　側面図

※ 表示寸法は標準寸法であり製作上収まり等により変更することがあります。

[redacted]

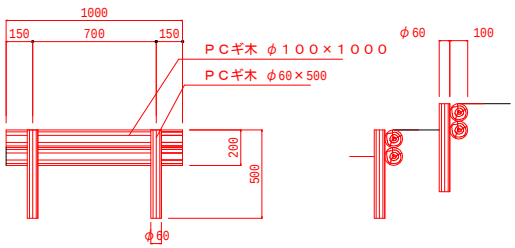
園路広場整備工構造図
(擬木階段2)　S=図示

擬木階段２
縦断図 S=1:50



詳細図
S=1:30

平　面　図



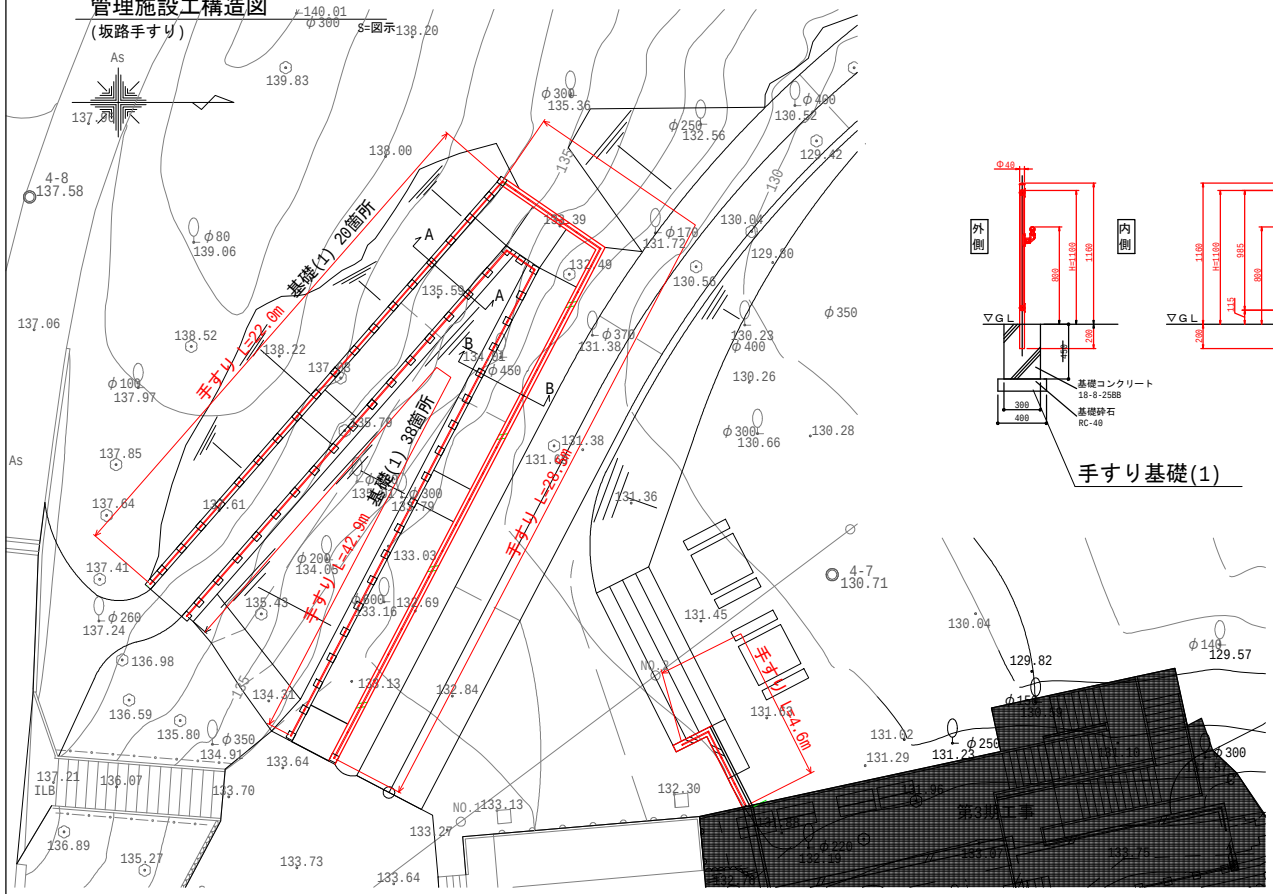
正面図　　側面図

※ 表示寸法は標準寸法であり製作上収まり等により変更することがあります。

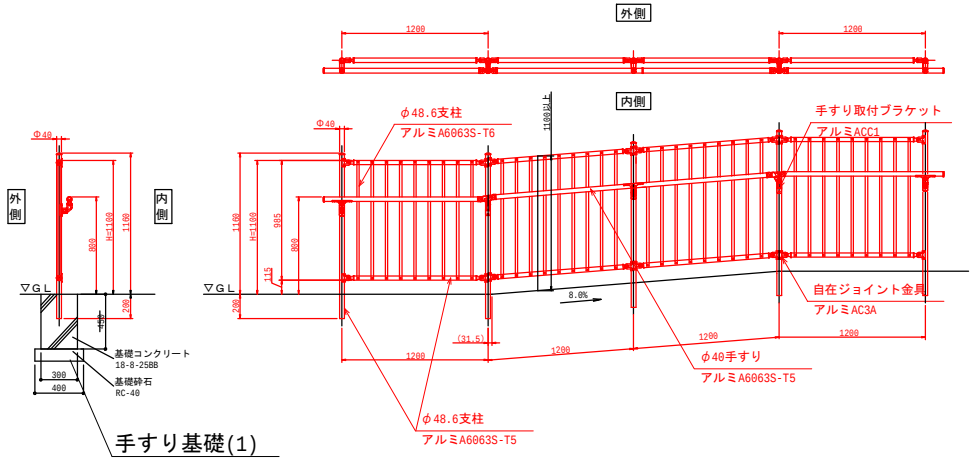
[redacted]

管理施設工構造図
（坂路手すり）

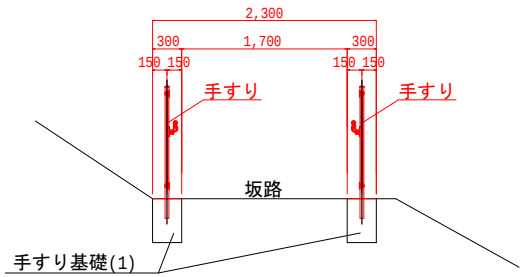
配置図
S=1:200



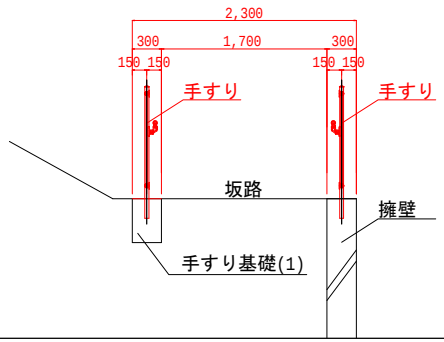
坂路手すり
S=1:40



A-A断面図
S=1:50



B-B断面図
S=1:50



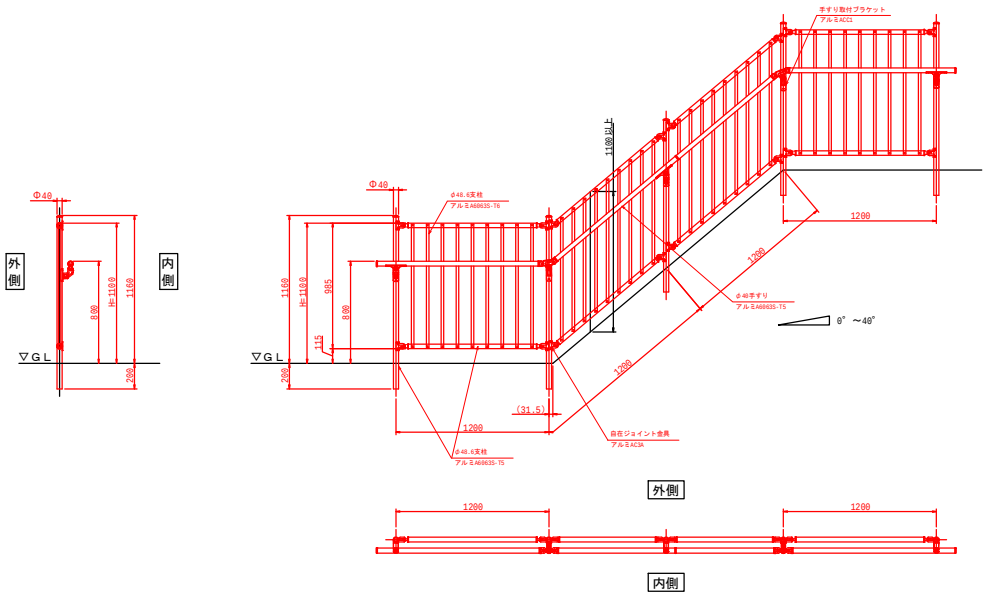
仕様
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S：2014に準拠とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマークWo表示認定企業の製品とする。

[redacted]

管理施設工構造図

(エントランス手すり)

内観姿図・側面図・柱位置図
S=1:40



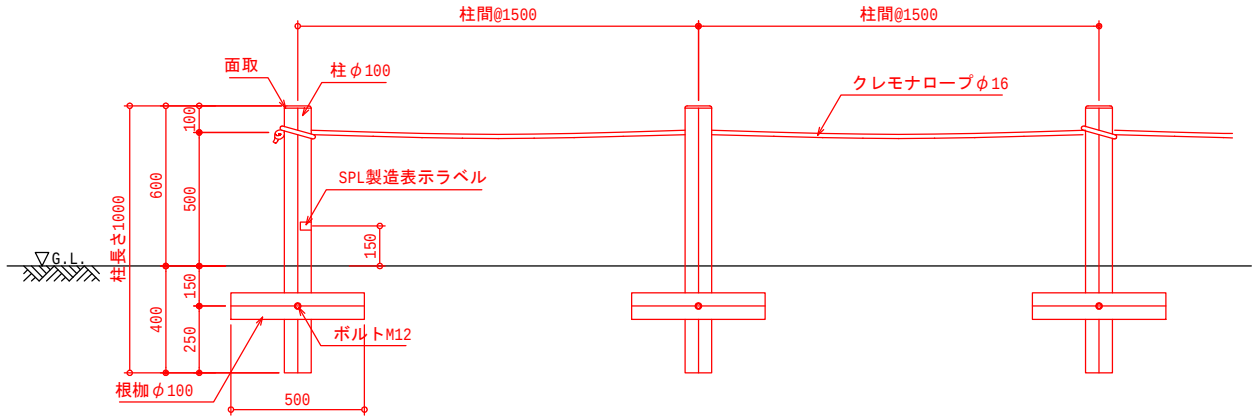
仕様
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 遊具の安全に関する基準JPFA-SP-S：2014に準拠とする。
・本製品は、一般社団法人 日本公園施設業協会 SP・SPLマークWO表示認定企業の製品とする。

(参考図)

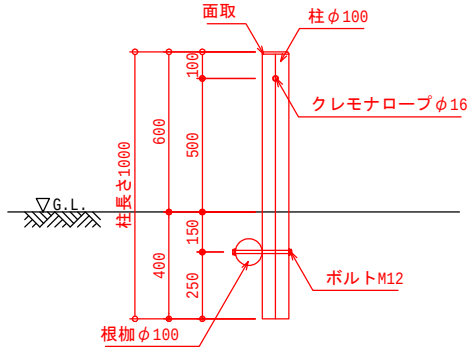
[redacted]

管理施設工構造図

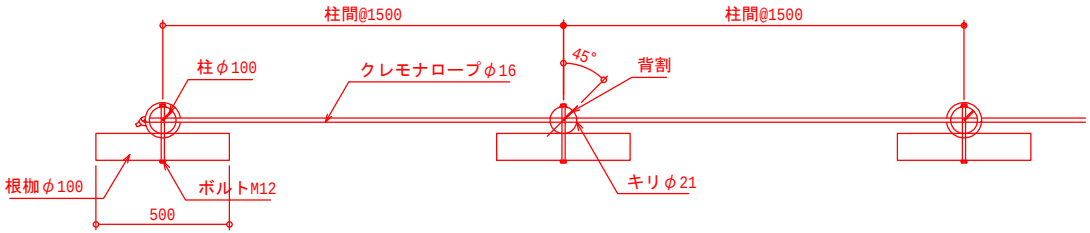
（ロープ柵）　S=図示



立面図
S=1:20



断面図
S=1:20



平面図
S=1:20

木材
- 木材は杉材（丸太材はﾛｰﾀﾘｰ加工）を使用する。
- 木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。
- 木材は全て加工後、AZNA ﾍﾟﾝﾀｷｭｱECO30木材保存剤を加圧注入処理する。
- 加圧注入方法はJIS A 9002による。
- 本製品はAQ認証取得工場にて製作するものとする。
- 木材の見え掛り部は面取を行なう。
- 柱は背割を行なう。背割深さは木材の1/2までとする。
- 柱の地際部は上下10ｃｍの範囲にサンプレザーOGR塗布とする。

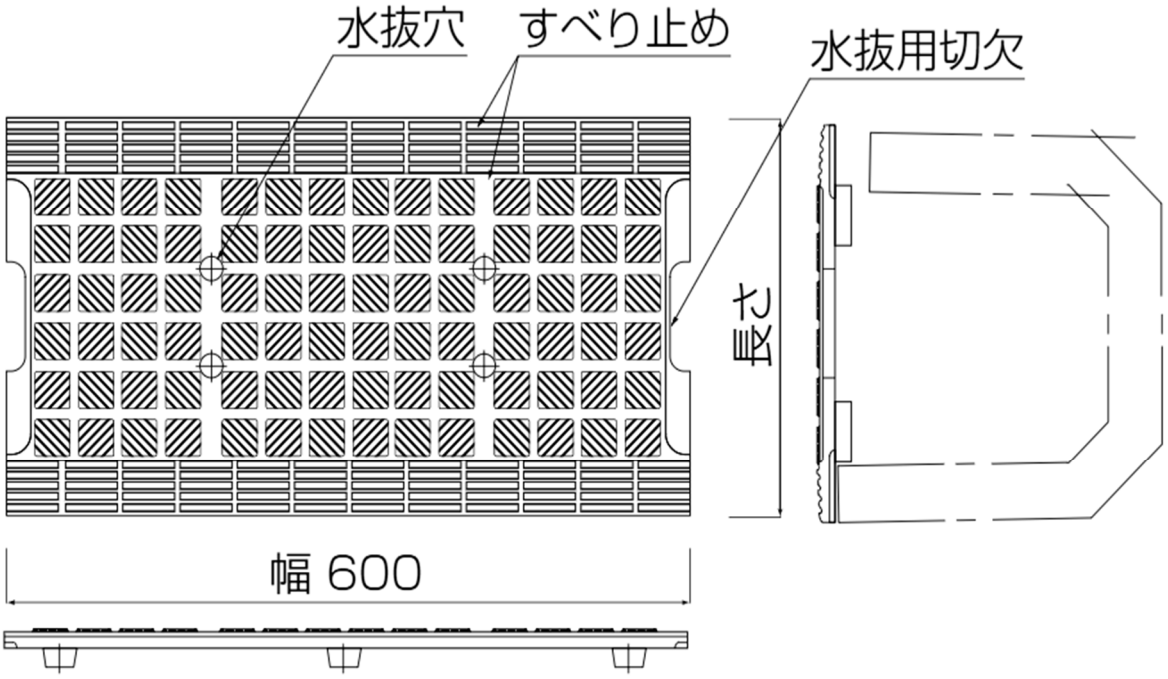
ボルト類
- ボルトは図示無き限り、溶融亜鉛めっきとする。

- 製品保証は2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。
- 本製品は（一社）日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。
- 本製品は（一社）日本公園施設業協会のSP表示認定企業にて製作とする。
- SPL製造表示ラベルの表示を行う。（１ヶ所）

[redacted]

側溝蓋（U-180用）

ソフトカバーゴム蓋



【別紙-1】

高耐久ポーラスアスファルト（13）仕様

○標準粒度範囲

混合物の種類		高耐久ポーラスアスファルト（13）
最大粒径		13mm
百分率（%）通過質量	19.0mm	100
	13.2mm	90～100
	4.75mm	11～35
	2.36mm	10～20
	75μmm	3～7
アスファルト量		4.0～6.0

○混合物性状

項目		目標値
突固め回数		50回
空隙率	%	20%程度
安定度	KN	4.9以上
フロー値	1/100cm	20～40
カンタブロ損失量	%	20以下
残留安定度	%	85%以上（96時間水浸）
塑性変形輪数	回/mm	5,000回以上
透水係数	mm/sec	1×10^{-2}以上
浸透水量	ml/15秒	1,000以上

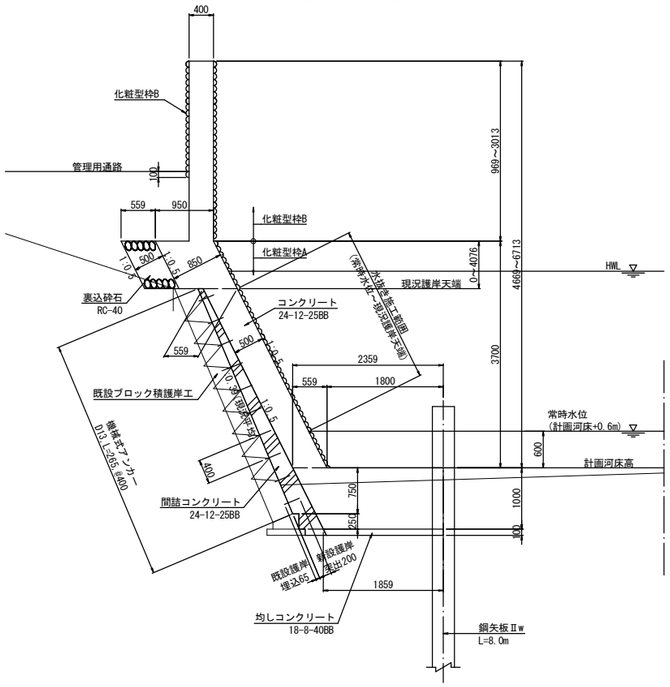
○アスファルトの性状

項目		基準値
針入度	1/10mm	40以上
軟化点	℃	80以上
伸度（15℃）	cm	50以上
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	65以上
タフネス	N・m	20以上
引火点	℃	260以上

護岸工詳細図

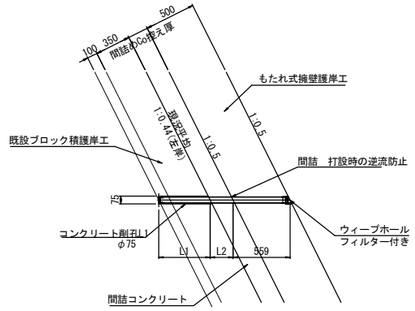
もたれ式擁壁護岸工
S=1:50

<左岸①-1, 左岸①-2>



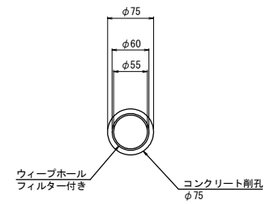
水抜き工 詳細図
S=1:30

<左岸①, 右岸①>控え500

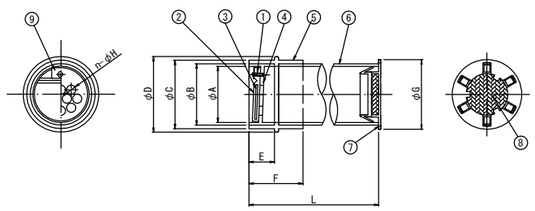


※)水抜き施工範囲(常時水位～現況護岸天端)に、1箇所/2m2とする。
※)施工時に必要長の確認を行い、監督職員と協議を行う事。
※)既設護岸削孔後　ウィープホール設置後　護岸部コンクリートを打設する。

水抜き部正面図
S=1:5



ウィープホール詳細図
S=1:3



単位mm

水抜きす法	A	B	C	D	E	F	G	L	n-H	孔口断面
φ50用	55	60	67	76	25	53	68	壁厚	7-φ6.5 1-φ21.6	764mm2

番号	名　称	数量	材　質
1	ビ ス	1	SUS304
2	ゴ ム 弁	1	EPDM
3	インサート板	1	40,50,65=SUS304 75,100=GFC
4	弁 座	1	ABS
5	ﾘﾌﾞ付ｿｹｯﾄ	1	ABS
6	本 体	1	H-PVC
7	フィルター	1	40,65,100=ABS 50,75=PE
8	不 織 布	1	合成繊維
9	特殊座金	1	SUS304

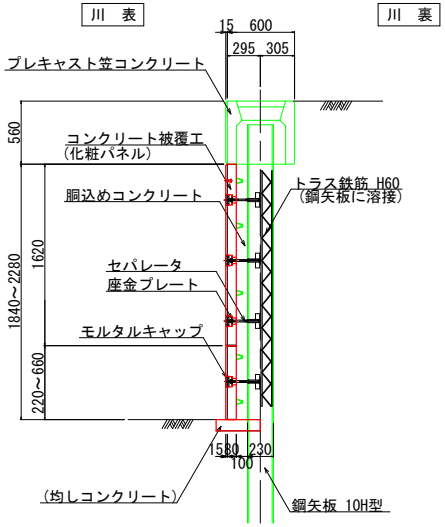
年　度		図面番号	/
河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	護岸工詳細図		
縮　尺	S=1:50,30,5	作成年月	
大阪府富田林土木事務所			

参考図面２

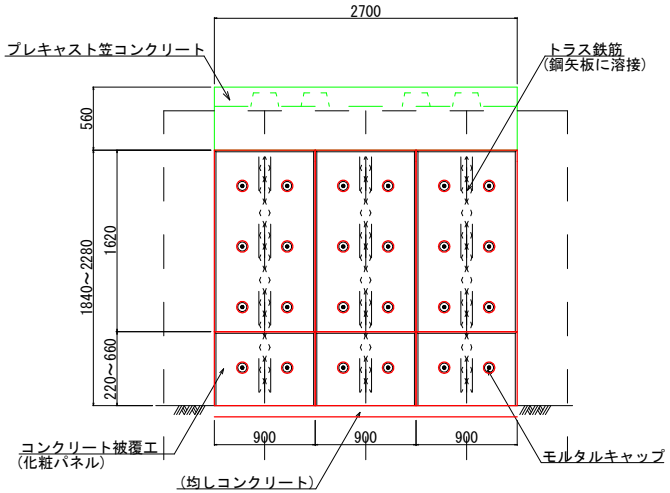
化粧パネル構造図（参考）

(H=1840～2260) S=1：50(A3)

断 面 図

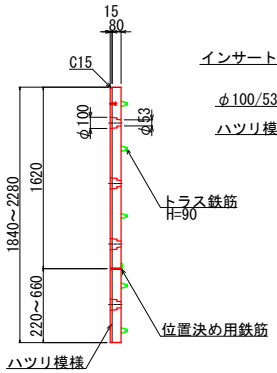


正 面 図

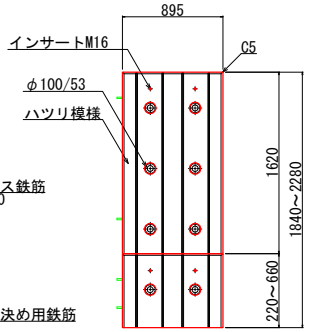


製品単体図

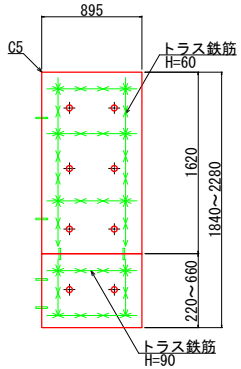
側 面 図



正 面 図

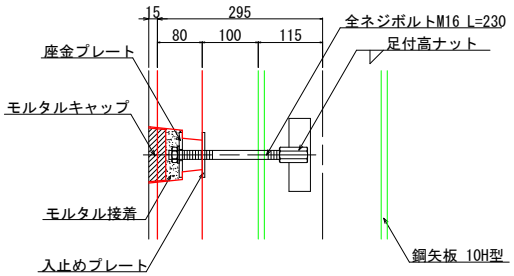


背 面 図

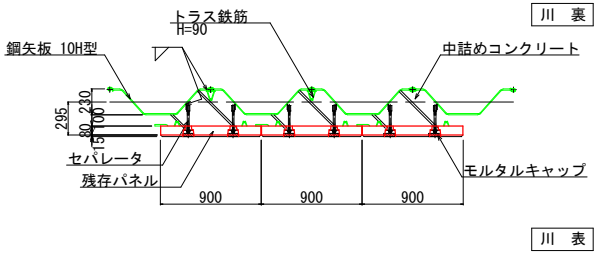


取付け金具詳細図

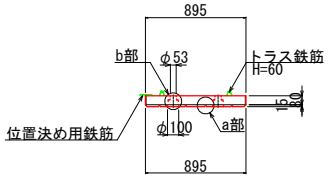
S=1:10



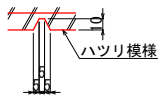
平 面 図



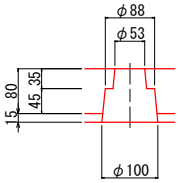
断 面 図



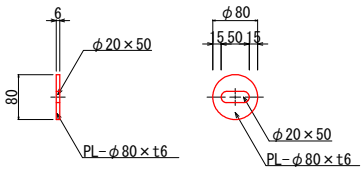
a部詳細図



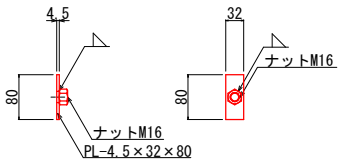
b部詳細図



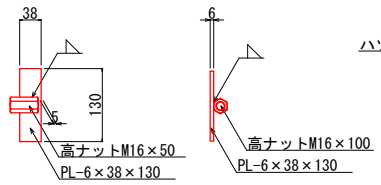
座金プレート



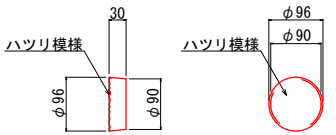
入止めプレート



足付高ナット



モルタルキャップ



参考図２

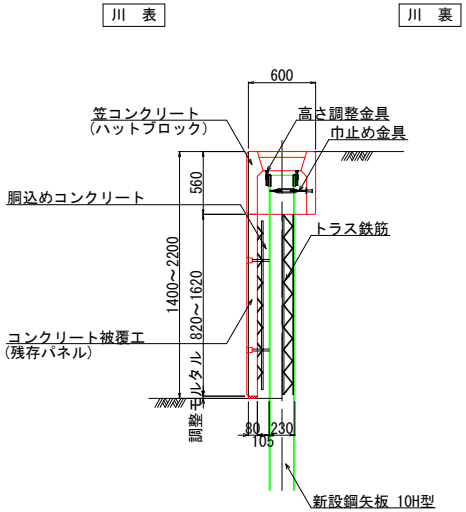
令和3-4年度		図面番号	2/13
河川名	二級河川　石津川		
工事名	護岸補強工事Ｒ３－１工区（津久野大橋上下流）		
施工地名	堺市西区鶴田町地内		
図面名	化粧パネル構造図(2)	縮尺	1:50
大 阪 府 鳳 土 木 事 務 所			

護岸工構造図　S=1：50(A3)

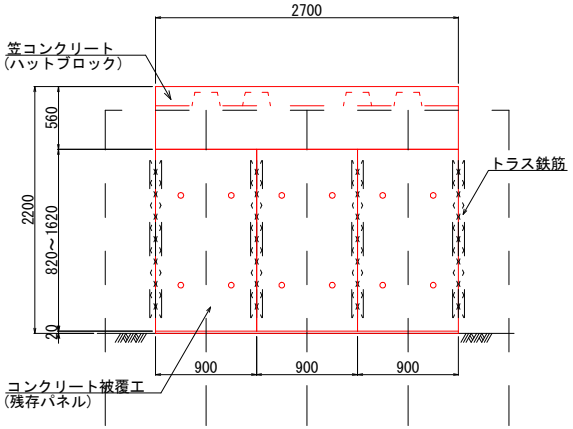
（鋼矢板新設区間）

笠コンクリート	ハットブロック
コンクリート被覆工	残存パネル

断 面 図



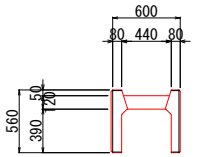
正 面 図



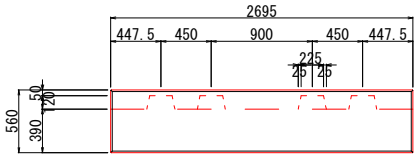
製品単体図

ハットブロック

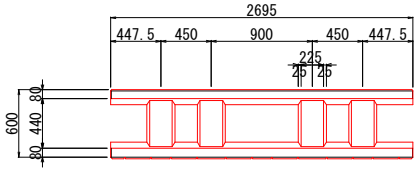
側 面 図



正 面 図

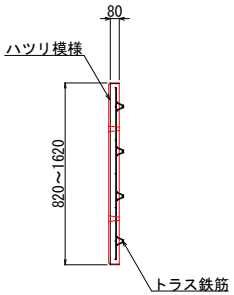


平 面 図

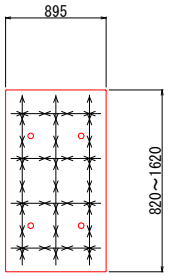


残存パネル

側 面 図

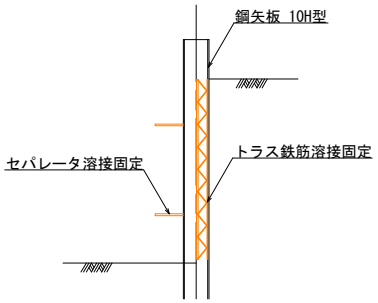


背 面 図

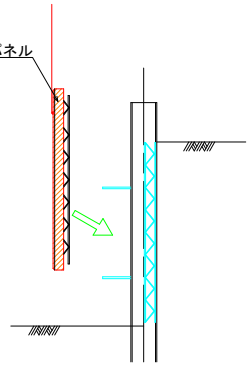


施工手順(案)

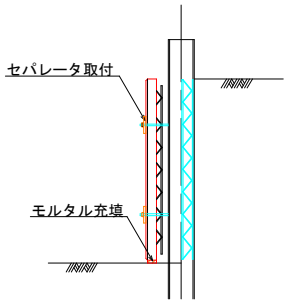
①セパレータ・トラス鉄筋溶接



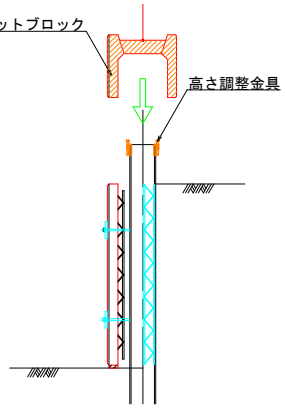
②残存パネル据付



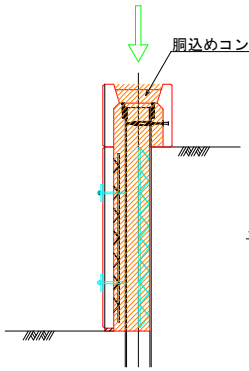
③セパレータ取付



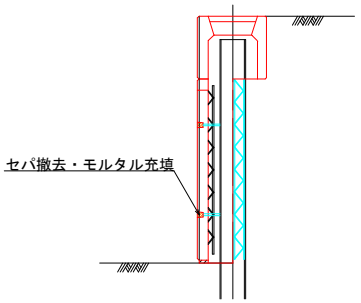
④ハットブロック据付



⑤コンクリート打設



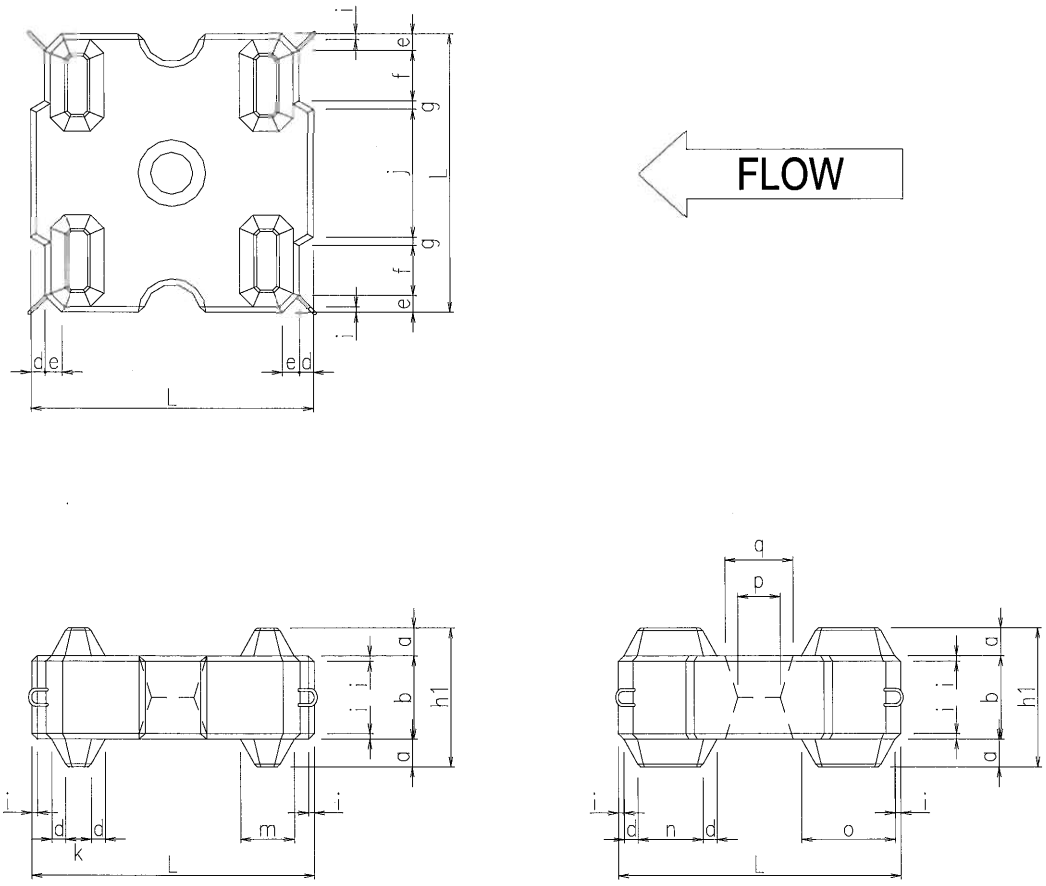
⑥モルタル充填 → 完成



リーフロックの安定検討　（　Ⅰ型　2.0t型　）

【群体モデル】

1. 形状寸法図



○寸法表

単位:mm

呼び名	a	b	d	e	f	g	h1	I	j	k	L	m	n	o	p	q
2.0t型	145	435	73	87	261	44	725	29	666	130	1450	276	333	479	218	348

R5_1

7.2 護床工の安定計算

護床工の安定検討として、流体力に掃流されないための護床工の必用重量を算定する。

根固工の必要質量の算定は、【建設省河川砂防技術基準(案)同解説　設計編［Ⅰ］】p. 43「滑動・転倒-層積み」モデルに基づき行なう。

滑動および転倒に対する安定条件より、根固工の必要質量は次式により与えられる。

$$W > \alpha \cdot \left(\frac{\rho_w}{\rho_b - \rho_w} \right)^3 \cdot \frac{\rho_b}{g^2} \cdot \left(\frac{V_d}{\beta} \right)^6$$

$$= 0.54 \times 10^{-3} \times \left(\frac{1000}{2300 - 1000} \right)^3 \times \frac{2300}{9.8^2} \times \left(\frac{4.800}{2.0} \right)^6$$

$$= 1.125 \ (\mathrm{kN}) = 0.115 \ (\mathrm{t})$$

ここに　W　：　ブロックの必要質量(空中)　(t)

V_d　：　設計流速　(4.800 m/s) ※

ρ_w　：　水の密度　(1000 kg/m^3)

ρ_b　：　コンクリートの密度　(2300 kg/m^3)

表　1-9　異型コンクリートブロックの係数 a の参考値[4)]

ブロック種別	模型ブロックの比重	a	β
対称突起型	$\rho_b/\rho_w = 2.22$	1.2	1.5
平面型	$\rho_b/\rho_w = 2.03$	0.54	2.0
三角錐型	$\rho_b/\rho_w = 2.35$	0.83	1.4
三点支持型	$\rho_b/\rho_w = 2.25$	0.45	2.3
長方形	$\rho_b/\rho_w = 2.09$	0.79	2.8

出典：建設省河川砂防技術基準(案)同解説　設計編［Ⅰ］P44

※：護床工設置箇所における最大流速を示す。

以上の計算結果では、流速に対して安定するための必用重量は 0.115t となる。

しかし、護床コンクリートブロック重量については、一般的には周辺で使用されている護床工の重量を考慮して設定している。

本設計区間下流部の多段式落差工で使用されている護床コンクリートブロック重量は、現地調査より 2ton と想定できる。

したがって、本設計における護床コンクリートブロック重量は 2ton とする。

参考として、流速と護床ブロック重量との一般的な目安を下表に示す。

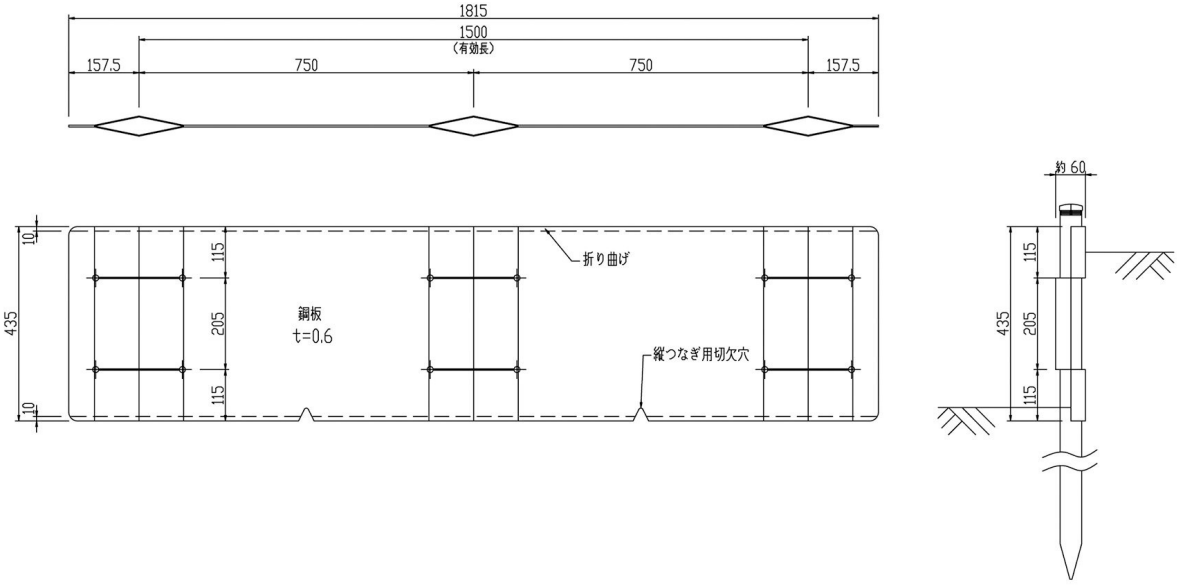
根固工の施工幅と重量

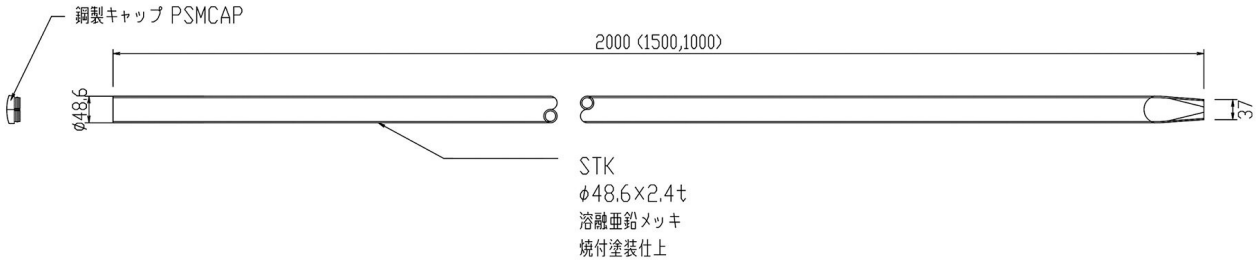
	高水時断面平均流速		
	2 m/s 未満	2~4 m/s 未満	4 m/s 以上
ブロック重量	0.5~2 t	1~4 t	2 t 以上
根固工の天端幅	2~10 m	4~12 m	5 m 以上

(注) 1．ブロックの重量は，河幅の小さい場合は小さい値を採用する。
2．乱積の場合の法勾配は標準的に 1：1.5 である。

出典：災害手帳(平成 17 年度版)

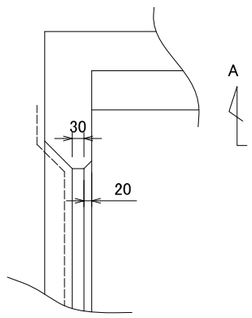
鋼板矢板


1815
1500
(有効長)
157.5
750
750
157.5
約 60
10
115
205
115
10
435
鋼板
t=0.6
折り曲げ
縦つなぎ用切欠穴
115
205
115
435

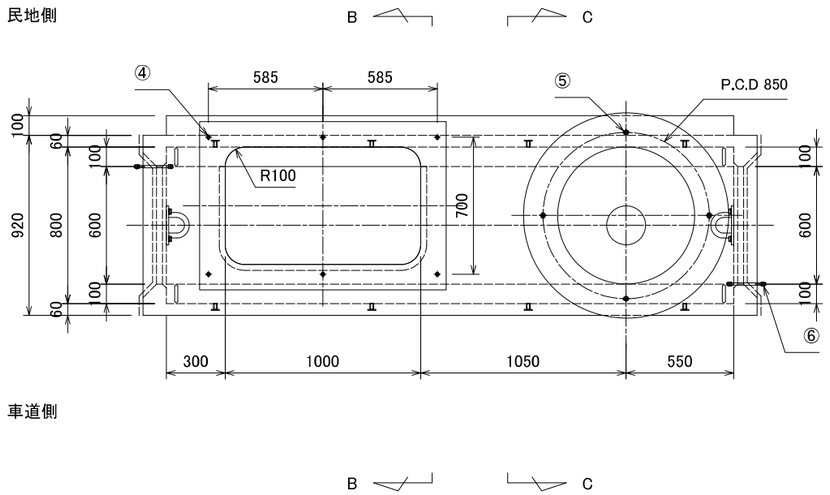

鋼製キャップ PSMCAP
2000 (1500,1000)
φ48.6
37
STK
φ48.6×2.4t
溶融亜鉛メッキ
焼付塗装仕上

E3桝構造図 S=1:15

ノックアウト部詳細 S=1:15



平 面 図



符号	名　称	数量	規　格	備考
①	本　体	1	レジンコンクリート	
②	吊下げフック	4	SS400亜鉛メッキ	φ16
③	後付けプーリングボルト	2	SS400亜鉛メッキ	φ25
④	機器据付用インサート	6	SUS304	M12
⑤	鉄蓋用インサート	4	SUS304	M16
⑥	アース端子	2	銅棒	φ12
⑦	インサートナット	24	SUS304	M12×30

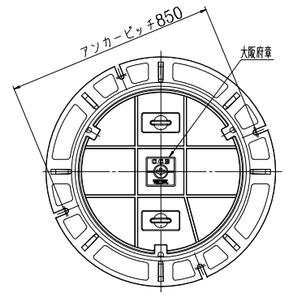
A

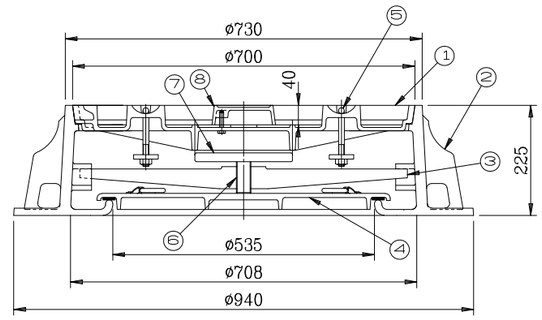
設計条件

設計荷重	活荷重	245kN（1輪 50kN）
	衝　撃	i = 0.1
構 造 形 式		工場製品 レジンコンクリート製箱型構造
内 空 寸 法		$800^{W} \times 2900^{L} \times 1500^{H}$
土の単位重量		$\gamma s = 19kN/m^3$
土 圧 係 数		Ka = 0.5
使用材料	レジンコンクリート	設計基準曲げ強度 σbk = 18.0MPa

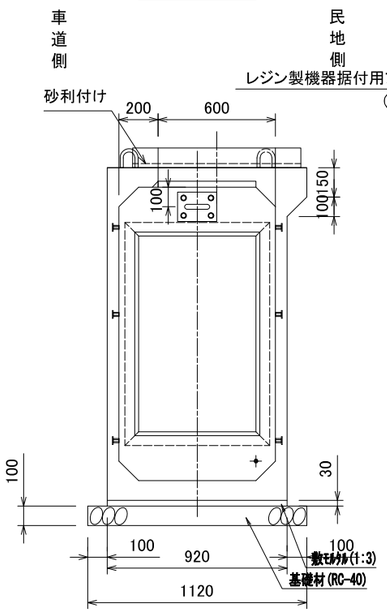
※註記

地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

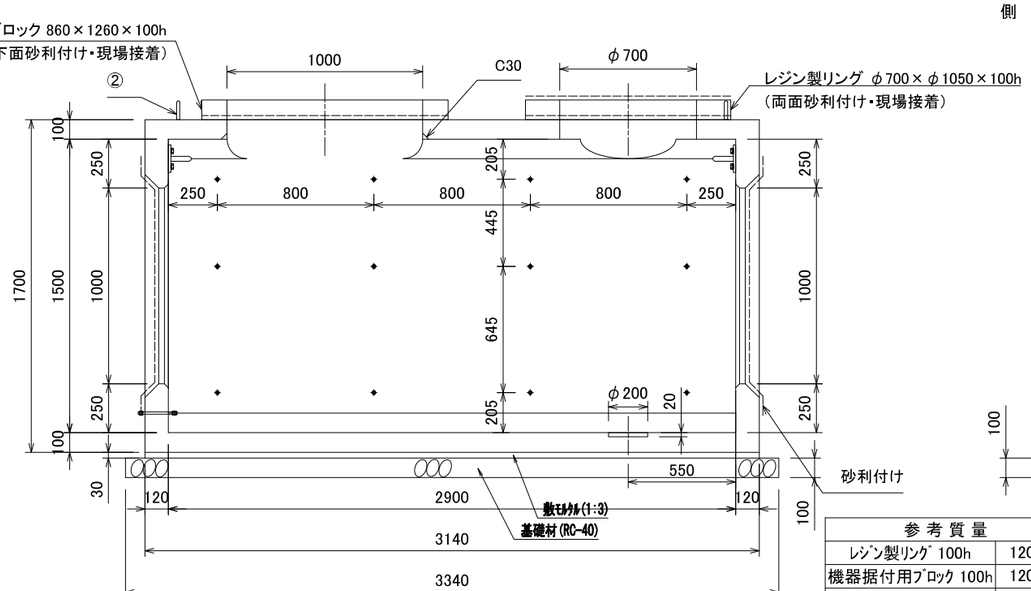




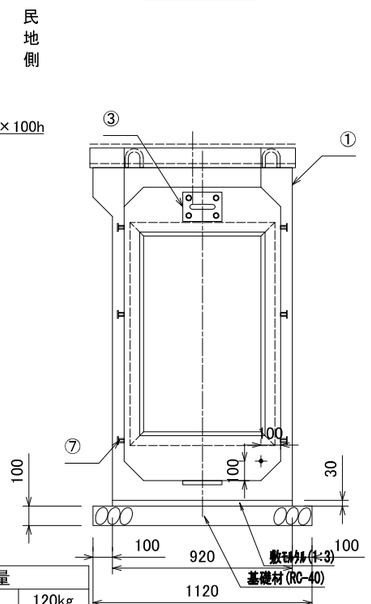
B－B断面図



A－A断面図



C－C断面図



設計質量
重　：36kg（充填後 64kg）
受枠：137kg
中蓋：22kg

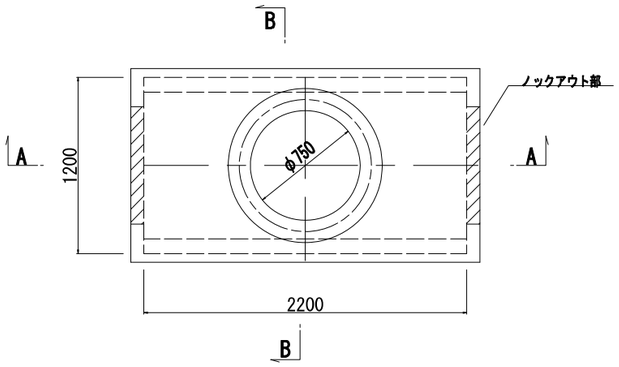
8 マーク座	FCD500	1		
7 締付ハンドル	FC200	1		
6 締付ボルト	ステンレス	1		
5 吊り上げ用把手	SS400	2	亜鉛めっき	
4 中蓋	FCD500	1	パッキング付	
3 押え金物	FCD500	1		
2 受枠	FCD600	1		
1 蓋	FCD700	1		
品番 部 品 名	材 質	個数	備 考	

参 考 質 量	
レジン製リング 100h	120kg
機器据付用ブロック 100h	120kg
本 体	3210kg
合 計	3450kg

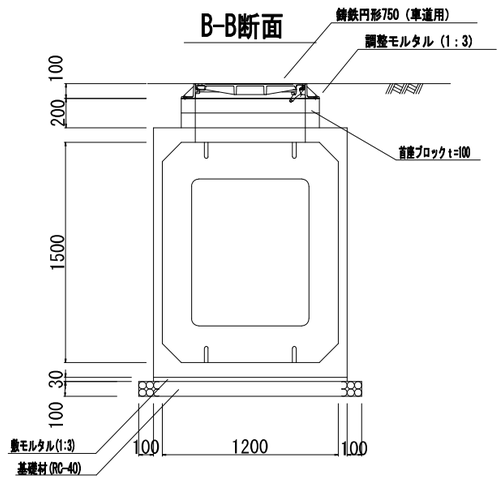
RT-S1桝構造図

RT桝S1型　S=1/20

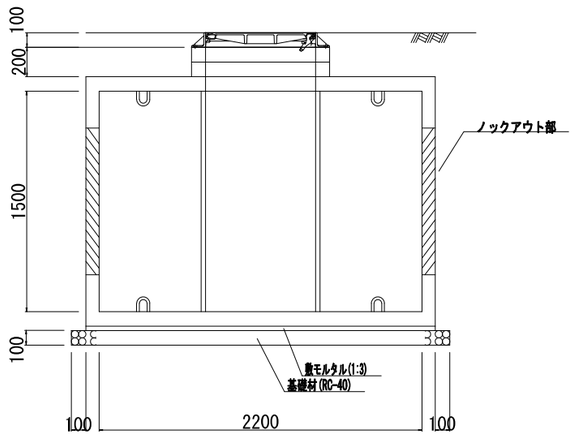
平 面 図



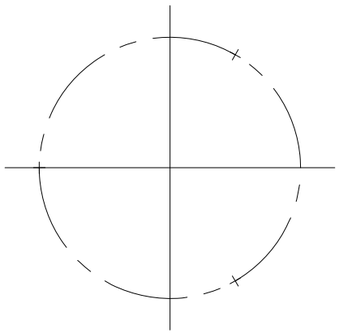
B-B断面

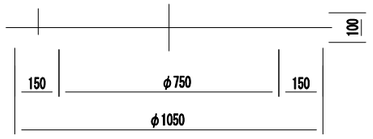


A-A断面



首座ブロック（車道用）　S=1/10



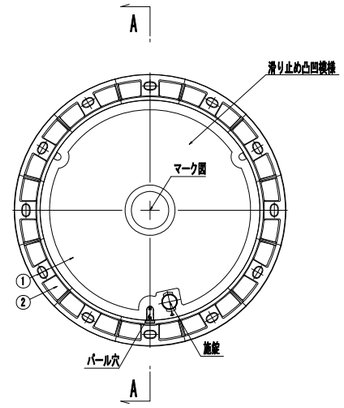


設計条件(車道)

設計荷重	活荷重	T-25(P=50kN)
	衝撃係数	i=0．4
内空寸法		1200W x 2200L x 1500H

※注記
地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

鋳鉄蓋円形７５０（車道用）S=1/10



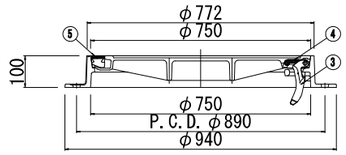
設計条件（車道）

設計荷重	活荷重	T-25(P=50kN)
	衝撃係数	i=0.4
	設計荷重	55kN

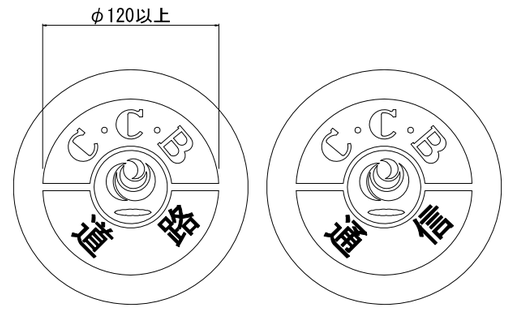
※アンカー穴寸法はアンカーピッチがズレた場合を考慮し、クリアランスをとること。
※施錠部は、下表の機能を有する構造とするが、細部の形状寸法は制約しない。
※落下防止対策として、片側蝶番構造とするが、細部の形状寸法については制約しない。
※鋳鉄蓋表面には、管理ナンバープレート(10桁)を設置するものとする。
※T桝の場合、シリンダー錠の設置の有無については、入線企業者と協議を行うこと。
※植樹帯等に設置する場合は、充填材料について、管理者と協議を行うこと。
※桝本体と蓋は、ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ等で固定すること。

品番	名　称	材　質	個数	備　考
①	蓋	FCD700以上	1	
②	受　枠	FCD500以上	1	
③	蝶番金物	FCD400以上	1	
④	蝶番押え	―	1	
⑤	ゴ ム 栓	CR	1	
⑥	回転カム	FCD又はSUS	1	
⑦	シリンダー錠	ステンレス	1	φ24X28
⑧	錠ホルダー	ステンレス	1	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ用ﾎﾞﾙﾄ付加工
⑨	ﾏｸﾞﾈｯﾄｷｬｯﾌﾟ	ステンレス	1	
⑩	ゴムキャップ	CR又はEPDM	1	

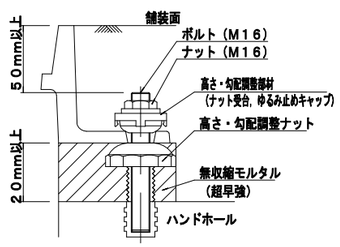
A-A断面



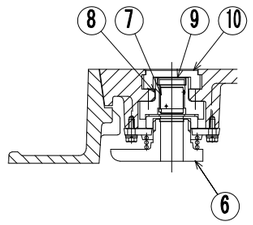
マーク図　S=1/2



鉄蓋固定構造図



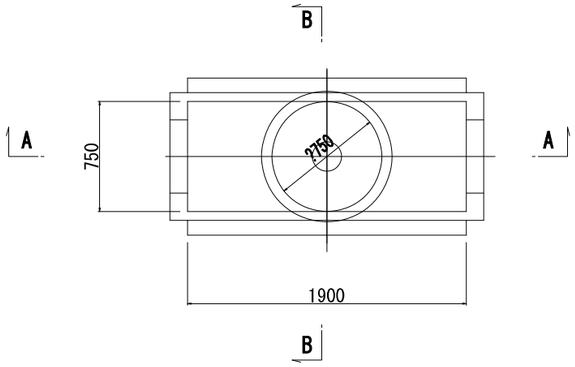
施錠部構造図



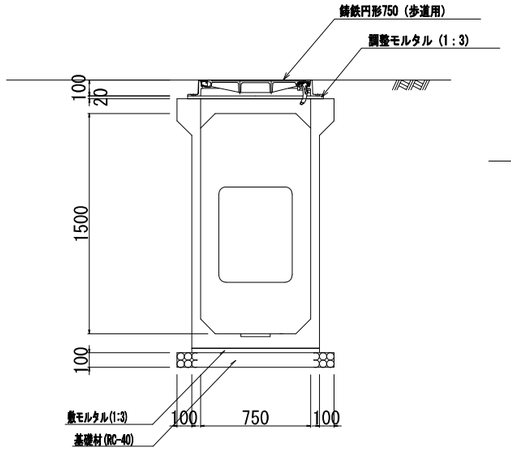
R-A1桝構造図

R桝A1型　S=1/20

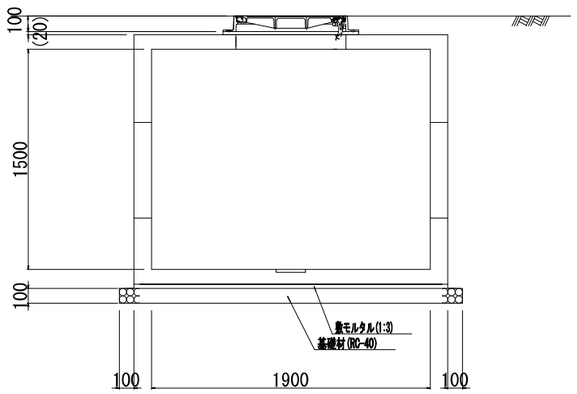
平面図



B-B断面



A-A断面



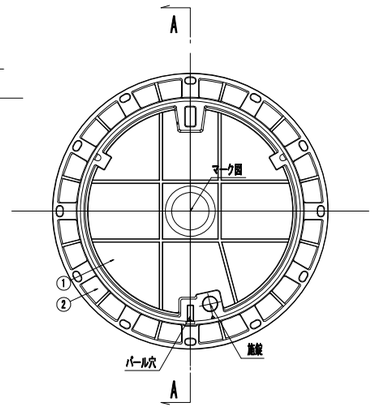
設計条件(歩道)

設計荷重	活荷重	T-25(P=50kN)
	衝撃係数	i=0．1
内空寸法		750W x 1900L x 1500H

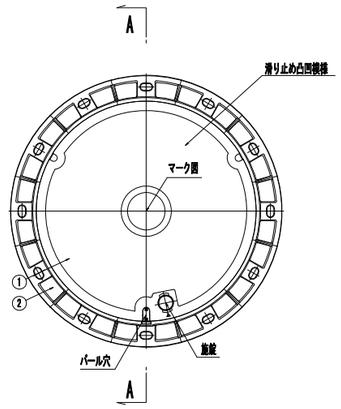
※注記
地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

鋳鉄蓋円形750（歩道用）　S=1/10

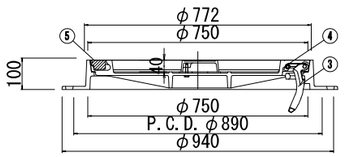
A1型(化粧蓋)



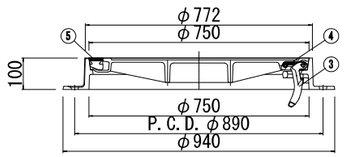
A2型(黒蓋)



A-A断面



A-A断面



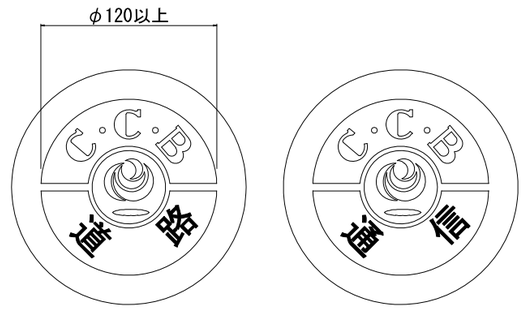
設計条件（歩道）

設計荷重	活荷重	T-25(P=50kN)
	衝撃係数	i=0.1
	設計荷重	55kN

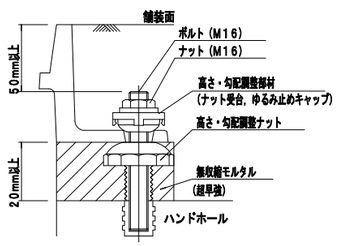
※アンカー穴寸法はアンカーピッチがズレた場合を考慮し、クリアランスをとること。
※施錠部は、下段の機能を有する構造とするが、桝部の形状寸法は制約しない。
※落下防止対策として、片側蝶番構造とするが、桝部の形状寸法については制約しない。
※鋳鉄蓋表面には、管理ナンバープレート(10桁)を設置するものとする。
※T桝の場合、シリンダー錠の設置の有無については、入線企業者と協議を行うこと。
※植樹帯等に設置する場合は、充填材料について、管理者と協議を行うこと。
※桝本体と蓋は、ｱﾝｶｰ・ﾅｯﾄ等で固定すること。

品番	名　称	材　質	個数	備　考
①	蓋	FCD700以上	1	
②	受　枠	FCD600以上	1	
③	蝶番金物	FCD400以上	1	
④	蝶番押え	―	1	
⑤	ゴ ム 栓	CR	1	
⑥	回転カム	FCD又はSUS	1	
⑦	シリンダー錠	ステンレス	1	φ24X28
⑧	錠ホルダー	ステンレス	1	ﾏｸﾞﾈｯﾄ用ﾎﾞﾙﾄ付加工
⑨	ﾏｸﾞﾈｯﾄｷｬｯﾌﾟ	ステンレス	1	
⑩	ゴムキャップ	CR又はEPDM	1	

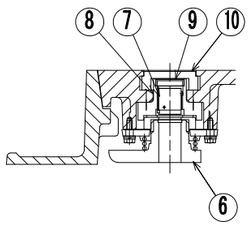
マーク図　S=1/2



鉄蓋固定構造図



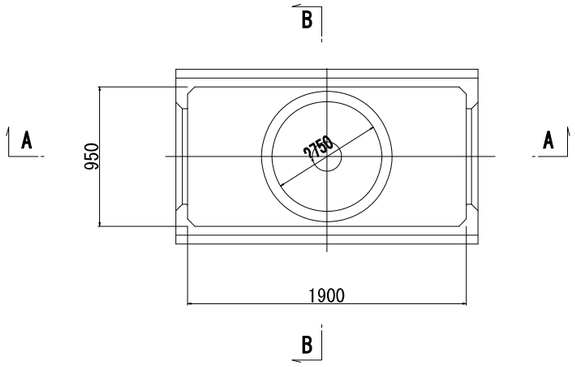
施錠部構造図



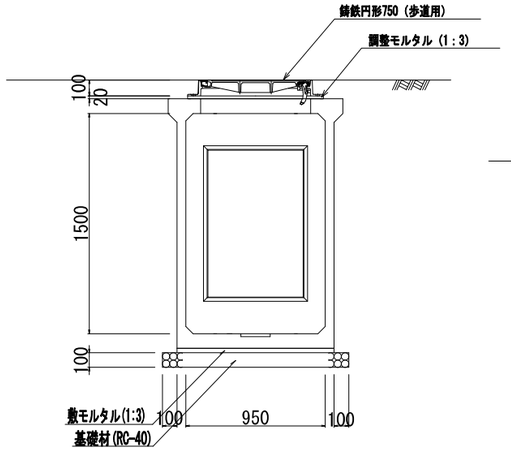
Ｔ－Ａ１桝構造図

T桝A1型　S=1/20

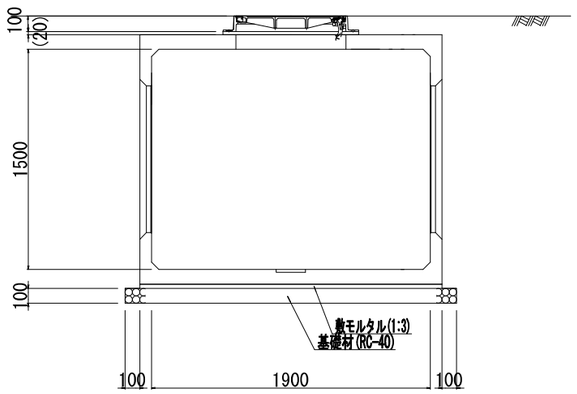
平 面 図



B-B断面



A-A断面



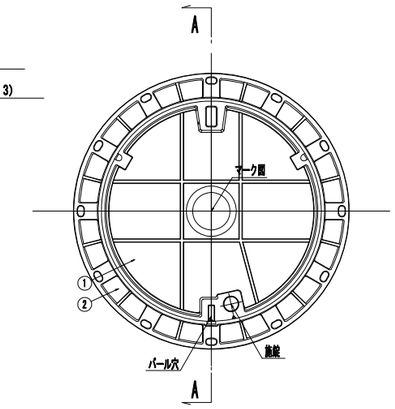
設計条件(歩道)

設計荷重	活荷重	T-25(P=50kN)
	衝撃係数	i=0．1
内空寸法		950W x 1900L x 1500H

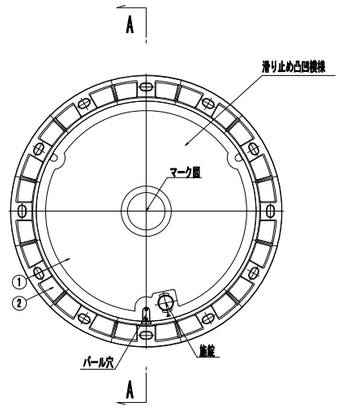
※注記
地下水圧を考慮する場合は、別途検討するものとする。

鋳鉄蓋円形750（歩道用）　S=1/10

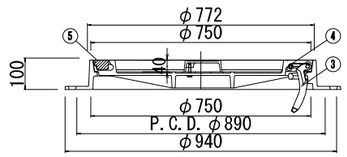
A1型(化粧蓋)



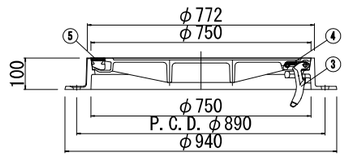
A2型(黒蓋)



A-A断面



A-A断面



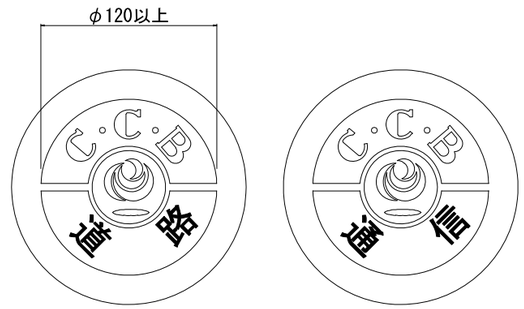
設計条件（歩道）

設計荷重	活荷重	T-25(P=50kN)
	衝撃係数	i=0.1
	設計荷重	55kN

※アンカー穴寸法はアンカーピッチが
ズレた場合を考慮し、クリアランスをとること。
※施錠部は、下段の機能を有する構造とするが、
嵌部の形状寸法は制約しない。
※落下防止対策として、片側蝶番構造とするが、
嵌部の形状寸法については制約しない。
※鋳鉄蓋表面には、管理ナンバープレート(10桁)
を設置するものとする。
※T桝の場合、シリンダー錠の設置の有無については、
入線企業者と協議を行うこと。
※植樹帯等に設置する場合は、充填材料について、
管理者と協議を行うこと。
※桝本体と蓋は、ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ等で固定すること。

品番	名　称	材　質	個数	備　考
①	蓋	FCD700以上	1	
②	受　枠	FCD500以上	1	
③	蝶番金物	FCD400以上	1	
④	蝶番押え	－	1	
⑤	ゴム栓	CR	1	
⑥	回転カム	FCD又はSUS	1	
⑦	シリンダー錠	ステンレス	1	φ24X28
⑧	錠ホルダー	ステンレス	1	ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ用ｶﾞｲﾄﾞ付加工
⑨	ﾏｸﾞﾈｯﾄｷｬｯﾌﾟ	ステンレス	1	
⑩	ゴムキャップ	CR又はEPDM	1	

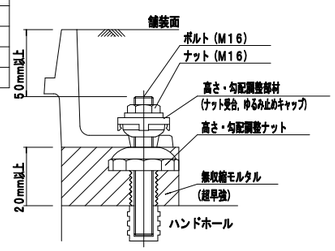
マーク図　S=1/2



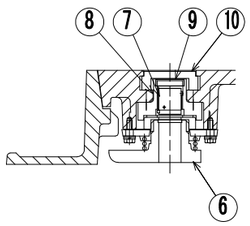
設計条件

設計荷重	活荷重	245kN（1輪 50kN）
	衝　撃	i = 0.1
内空寸法		800ᵂ x 2900ᴸ x 1500ᴴ
土の単位重量		γs = 19kN/㎥
土圧係数		Ka = 0.5
使用材料		設計基準曲げ強度σbk = 18.0MPa

鉄蓋固定構造図



施錠部構造図

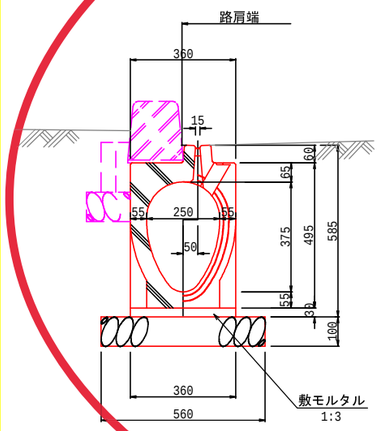


道路付属施設工構造図(2) S=1:20

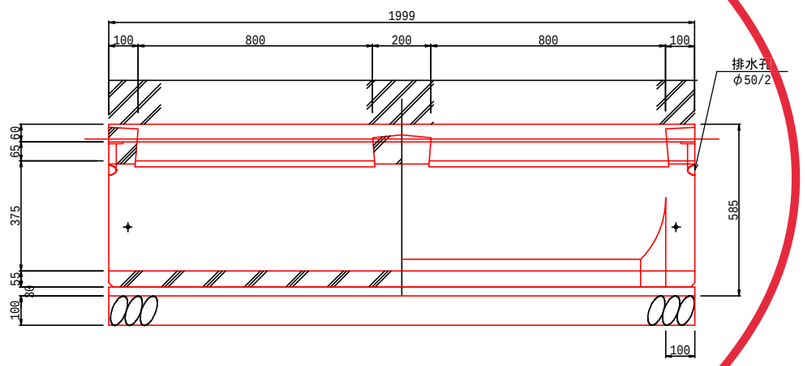
【参考図】

円形街渠

断面図

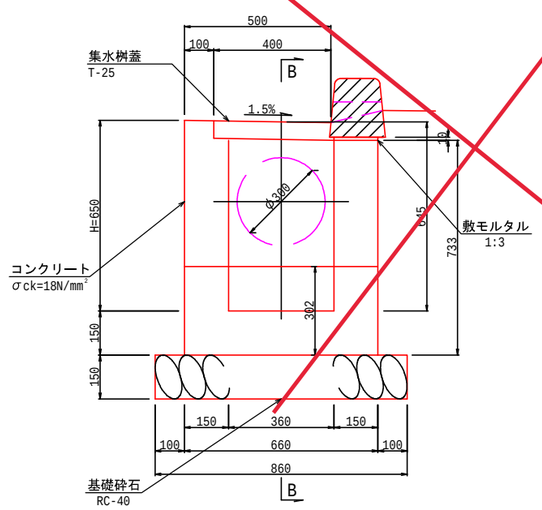


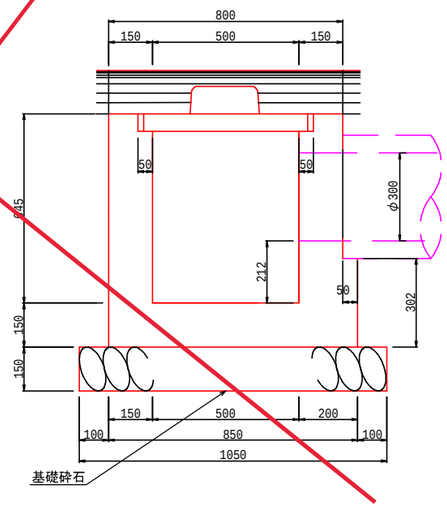
正面図



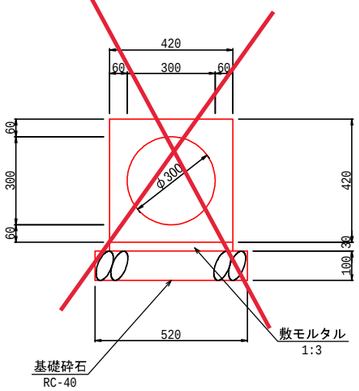
街渠桝A
(H=0.65m)

A-A

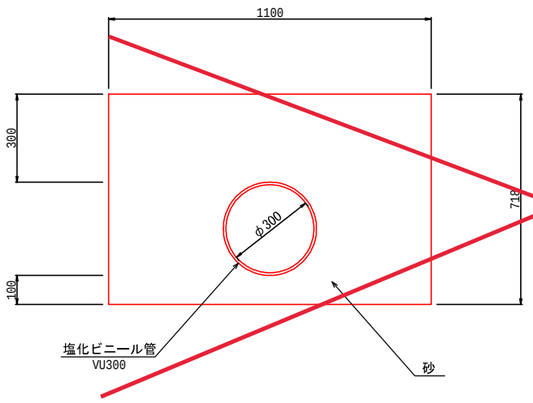




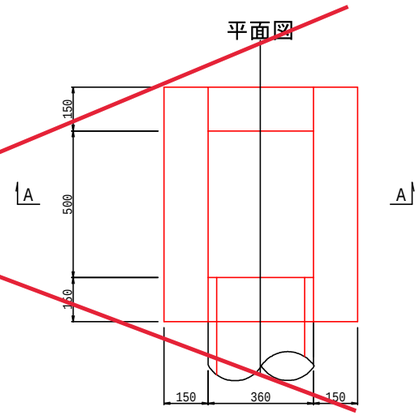
CSB管φ300



塩ビ管VUφ300



平面図

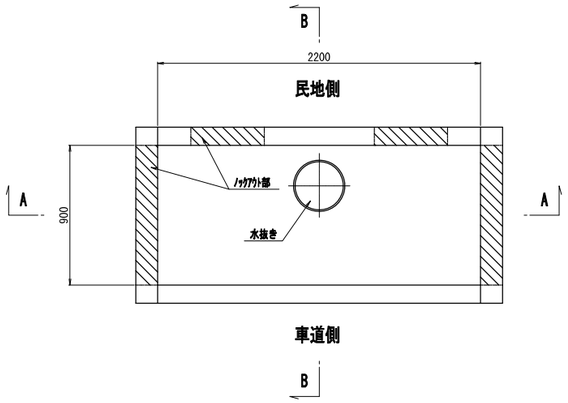


Ｅ２桝構造図

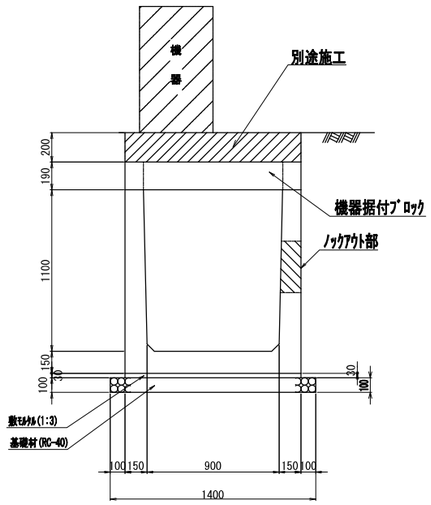
S=1/20

E桝2型 S=1:20

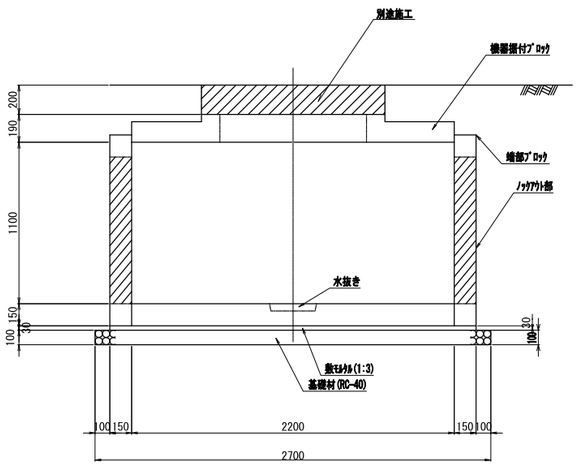
平 面 図



B-B断面



A-A断面

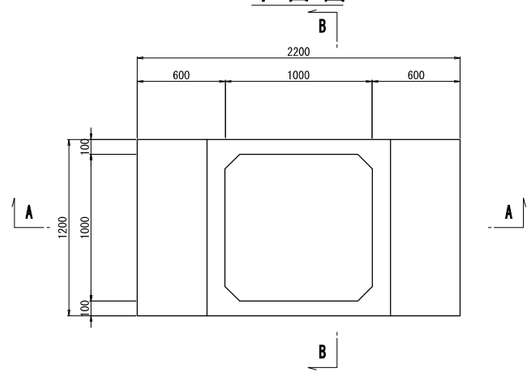


※桝の内空寸法は、呼称寸法とする。

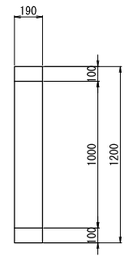
機器据付ブロック

（Ｅ桝２型用）

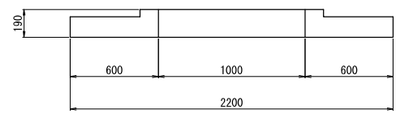
平 面 図



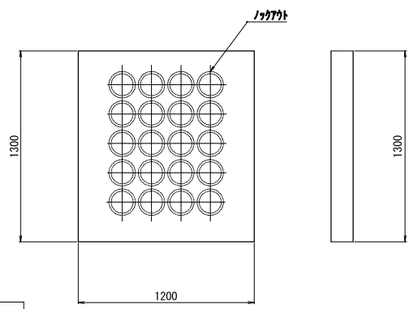
B-B断面



A-A断面

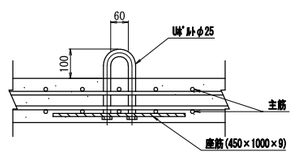


端部ブロック



設 計 条 件		
活 荷 重	T-25(P=50kN)	
衝 撃 係 数	i=0.1	
許 容 応 力 度		
コンクリート	設計基準強度	σck= 30N/mm²
	曲げ圧縮応力度	σca= 11N/mm²
	せん断応力度	τa = 0.5N/mm²
鉄 筋	引張応力度	σsa= 180N/mm²

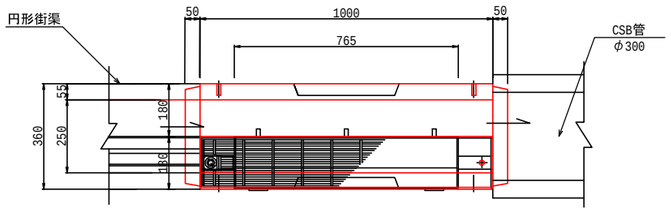
ケーブル引込金具詳細図 S=1:10



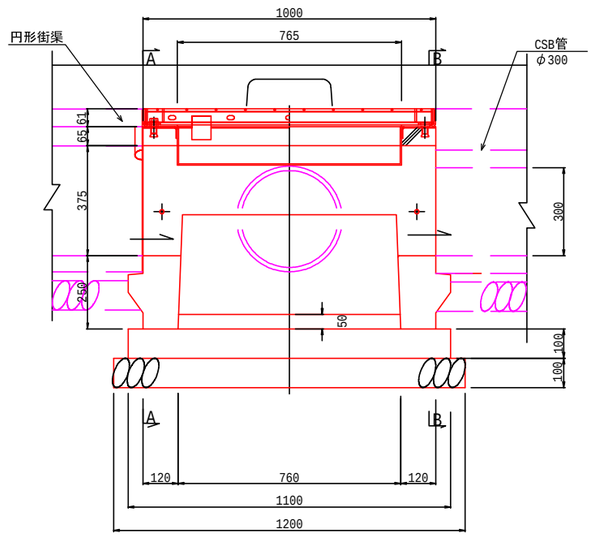
道路付属施設工構造図(3) S=1:20

【参考図】

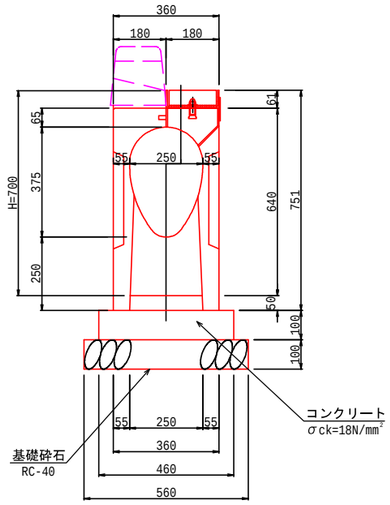
円形街渠桝A-1
(H=0.70m)



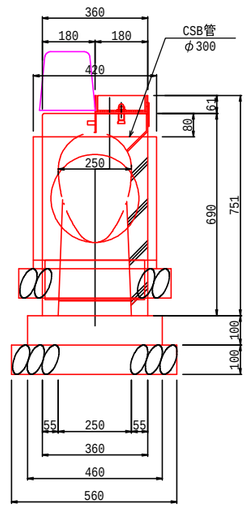
正面図



A-A

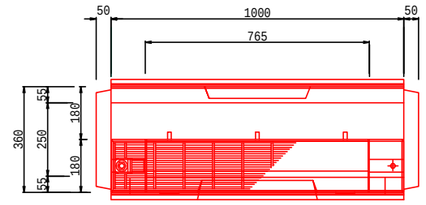


B-B

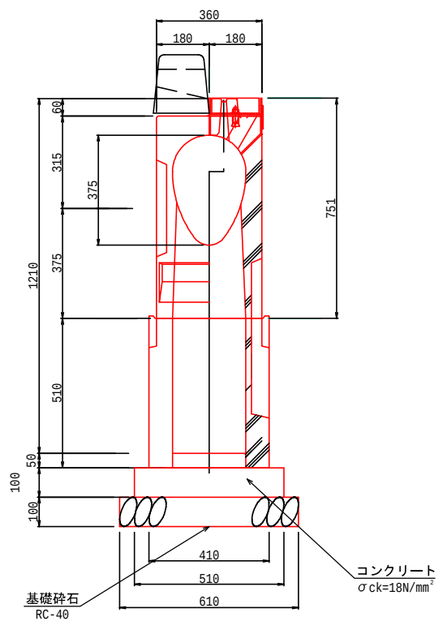


円形街渠桝A-2
(H=1.21m)

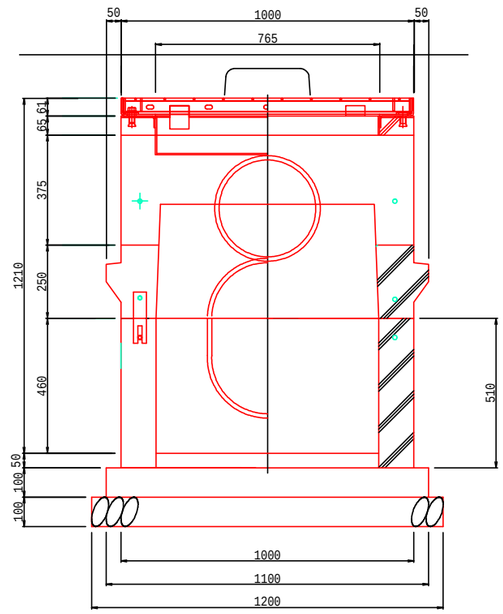
平面図



断面図

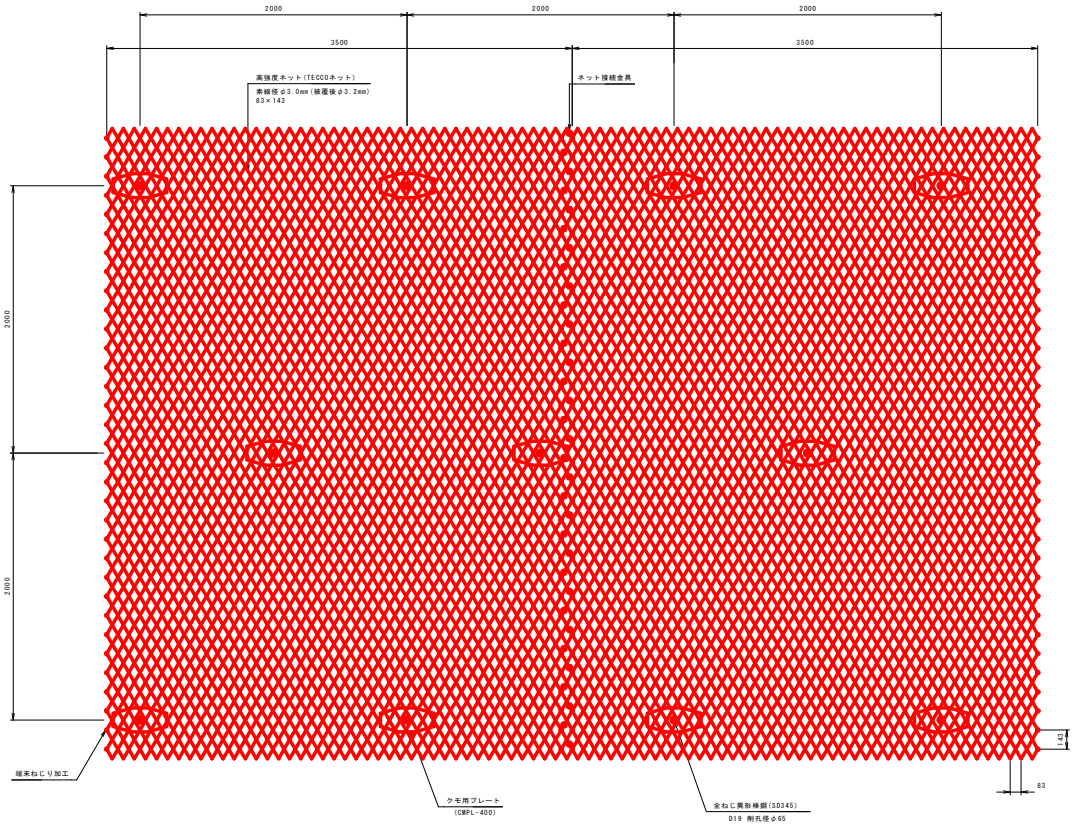


正面図

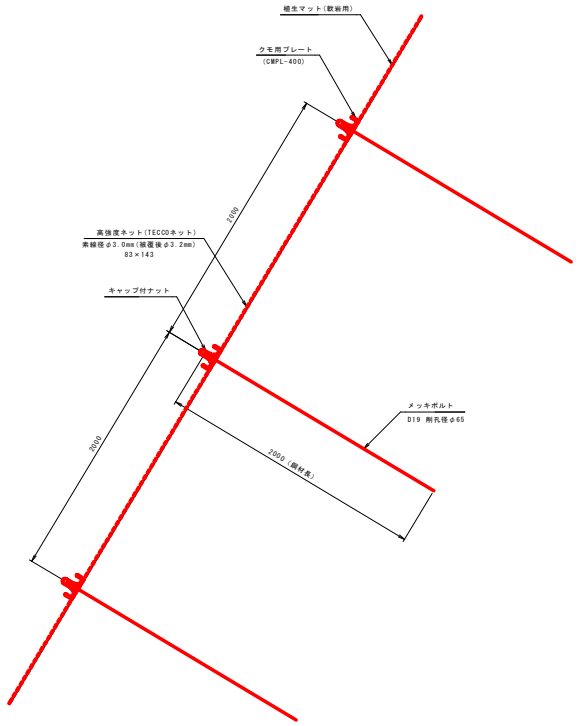


高強度ネット斜面安定工(B)構造図

展開図 S=1:20

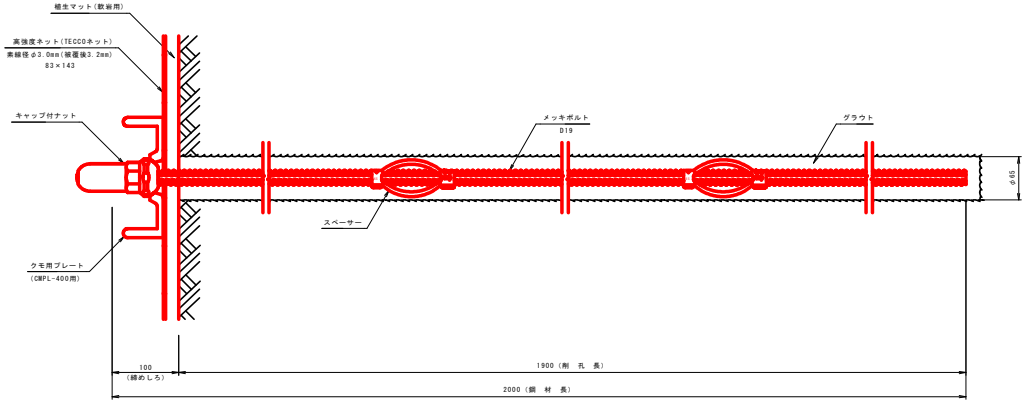


標準断面図 S=1:20

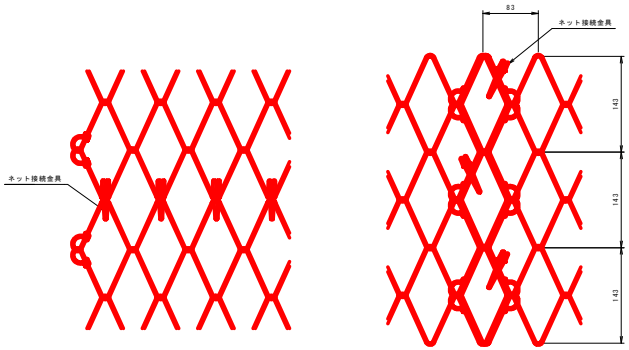


高強度ネット斜面安定工(B)詳細図

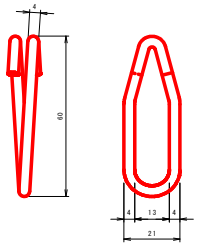
メッキボルト全体図（D19）　S=1:4



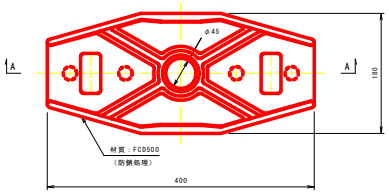
接続例　S=1:4



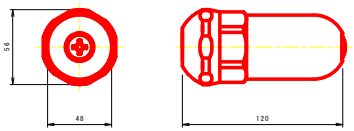
ネット接続金具　S=1:1



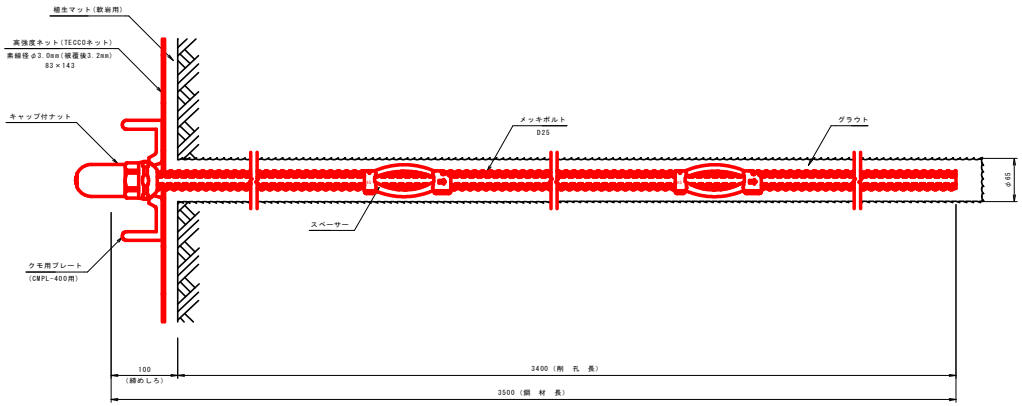
クモ用プレート　S=1:4
(CMPL-400)



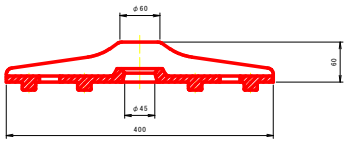
キャップ付ナット　S=1:2
(D25用)



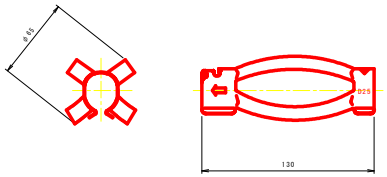
メッキボルト全体図（D25）　S=1:4



A-A断面図

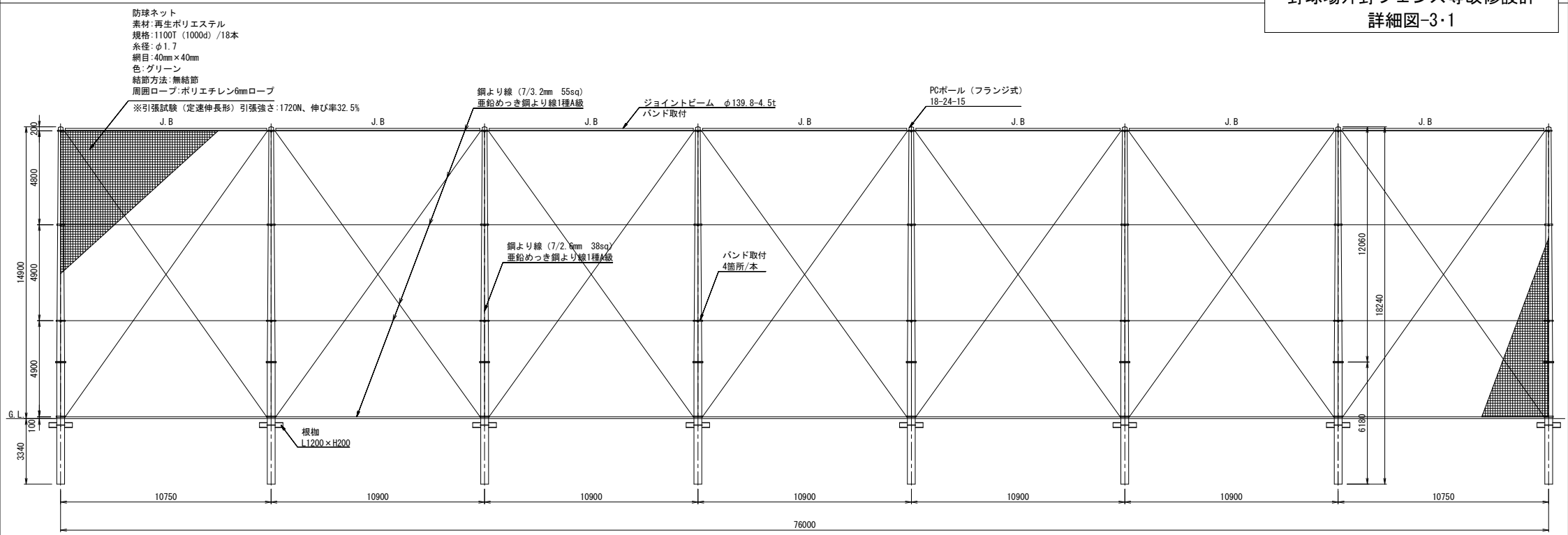


スペーサーD25-65　S=1:2
(電気メッキ)

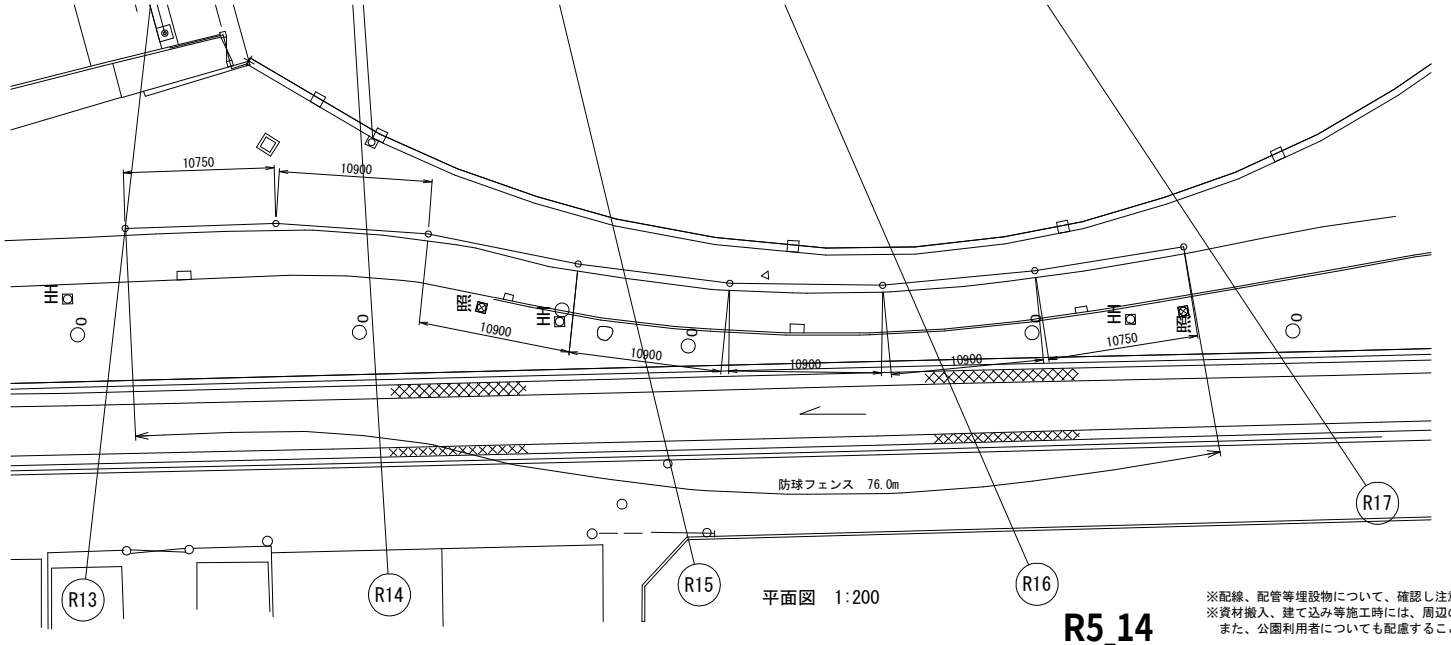


防球ネット ※H=14.9m

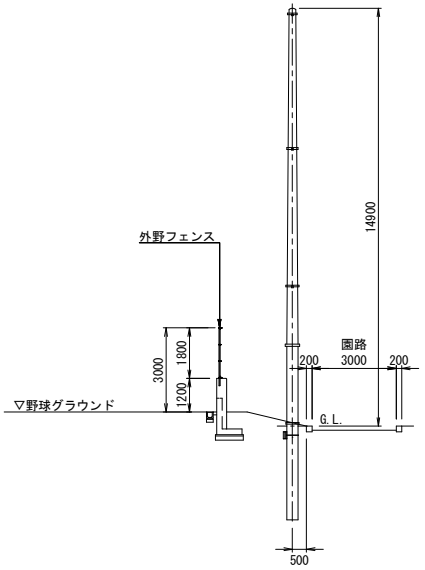
野球場外野フェンス等改修設計
詳細図-3・1



詳細図 1:100



平面図 1:200



側面図 1:100

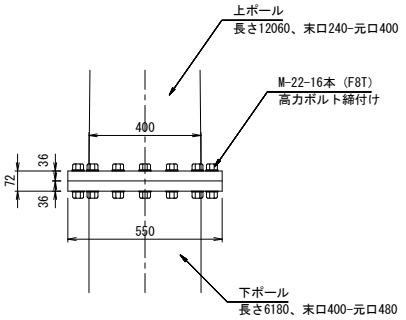
■構造設計
・地上部:建築基準法、同施行令
・基礎:電気設備、電気技術規定
・土質:軟弱土質（G）を想定

※配線、配管等埋設物について、確認し注意して掘削すること。
※資材搬入、建て込み等施工時には、周辺の既設構造物に留意すること。
また、公園利用者についても配慮すること。

R5_14

野球場外野フェンス等改修設計
詳細図-3･2

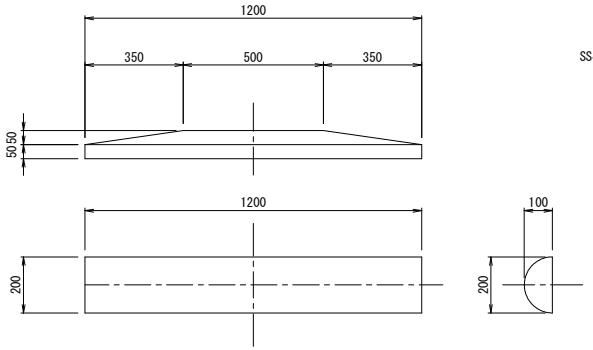
フランジハイポール



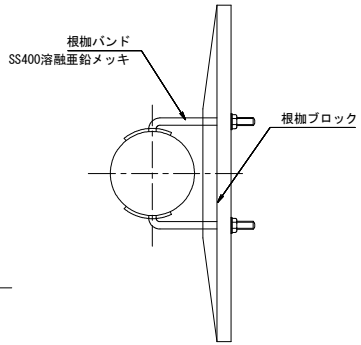
仕様（ポール）
・接合時長さ:18.240m
・ひび割れ試験荷重:15KN
・支持点におけるひび割れ試験曲げモーメント:224.8KN/m
（支持点の高さ3.0m、荷重点の高さ14.99m）

詳細図　1:10

根枷



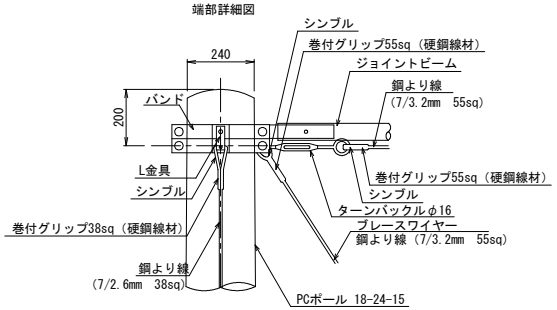
詳細図　1:10



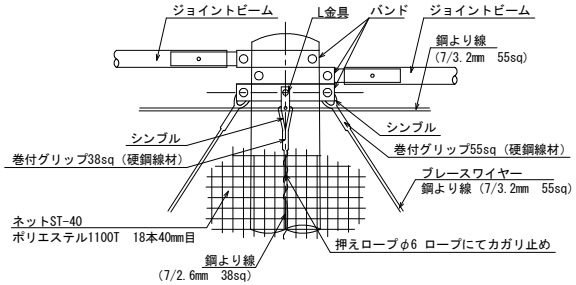
平面図　1:10

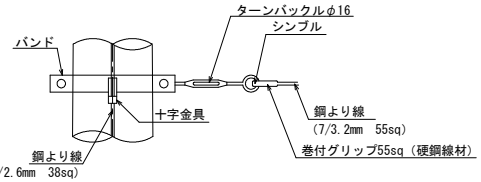
柱バンド取付

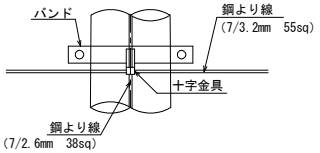
端部詳細図

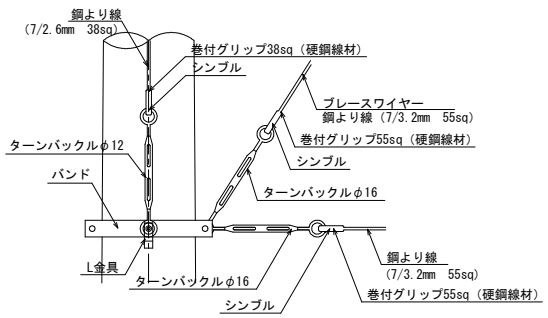


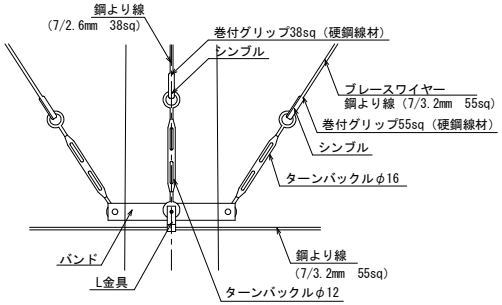
中間部詳細図





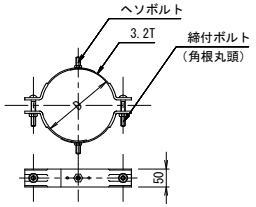






詳細図　1:10

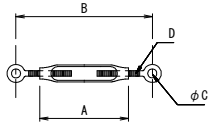
取付バンド



適用範囲（D）	締付ボルト	ヘソボルト
１３０～１８０	ＢＮ１６×１２０	ＢＮ×５０
１７０～２５０	ＢＮ１６×１２０	ＢＮ×５０
２４０～３２０	ＢＮ１６×１２０	ＢＮ×５０
３１０～３９０	ＢＮ１６×１２０	ＢＮ×５０

詳細図

ターンバックル



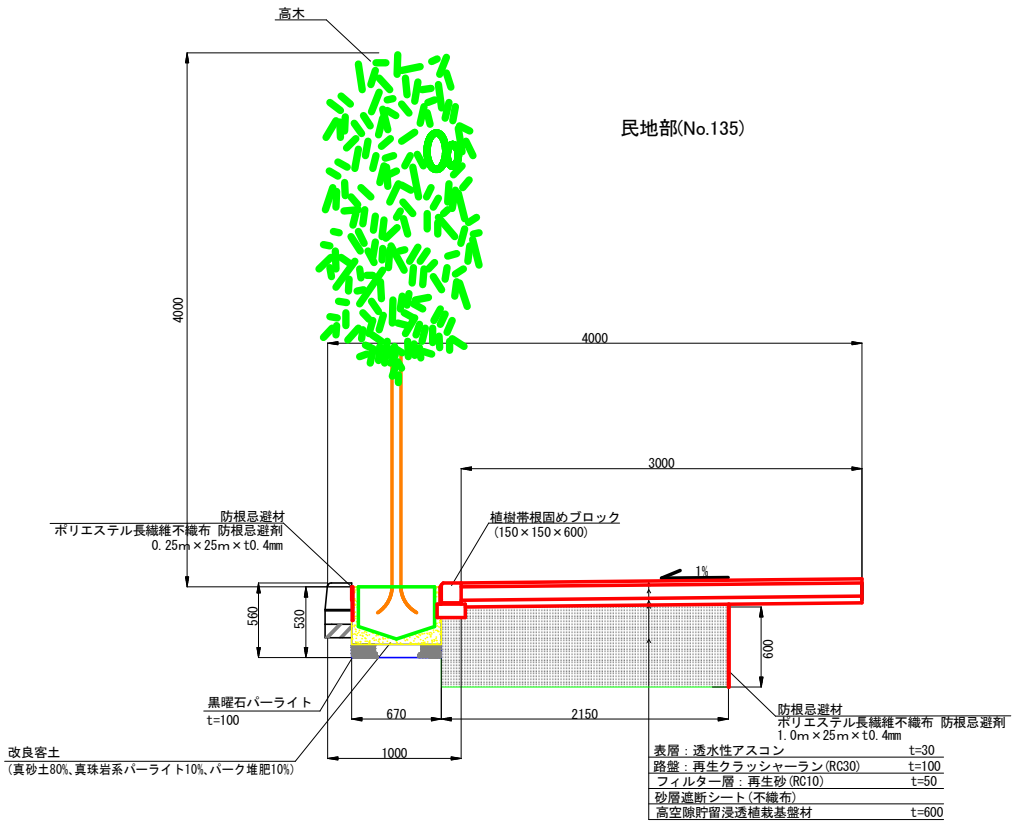
D	A	B		C
		最大	最小	
Ｍ１２	２００	３９０	２５５	２０
Ｍ１６	２５０	４９０	３００	２５

詳細図

R5_15

標準横断図(2)

S=1:20



鉢容量及び植穴容量

形状	幹周(cm)	鉢径(cm)	鉢の深さ(cm)	鉢穴径(cm)	植穴深さ(cm)	許容量(m3)	鉢穴容量(m3)
高木	10未満	33	25	69	37	0.017	0.09
	10以上 15 〃	38	28	75	40	0.028	0.14
	15 〃 20 〃	47	33	87	46	0.061	0.27
	20 〃 25 〃	57	39	99	53	0.11	0.44
	25 〃 30 〃	66	45	111	59	0.17	0.65
	30 〃 35 〃	71	48	117	62	0.21	0.76
	35 〃 45 〃	90	59	141	75	0.4	1.34
	45 〃 60 〃	113	74	171	90	0.74	2.28
	60 〃 75 〃	141	91	207	109	1.32	3.7
	75 〃 90 〃	170	108	243	128	2.08	5.45

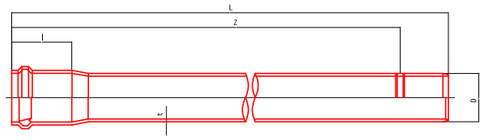
鉢容量及び植穴容量

形状	樹高(cm)	鉢径(cm)	鉢の深さ(cm)	鉢穴径(cm)	植穴深さ(cm)	許容量(m3)	鉢穴容量(m3)
中木	30未満	15	8	29	23	0.001	0.015
	30以上 50 〃	17	10	33	26	0.002	0.022
	50 〃 80 〃	20	12	37	28	0.004	0.030
	80 〃 100 〃	22	13	41	31	0.005	0.040
	100 〃 150 〃	26	16	46	35	0.008	0.057
	150 〃 200 〃	30	19	54	40	0.013	0.090
	200 〃 250 〃	35	23	61	46	0.022	0.133
	250 〃 300 〃	40	26	69	51	0.032	0.188

管路材詳細図(1)

VP(フリーアクセス)・ボディ管・ECVP

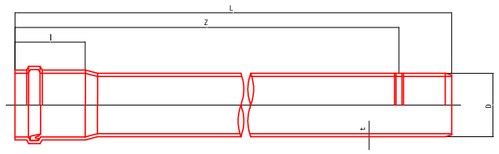
共用FA管（VP管　直管）



単位：mm

呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
	l（最大）	D	t（最小）	Z	L
150	225	165	8.9	5,000	5,165

ボディ管（VP管　直管）

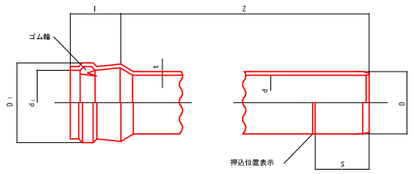


単位：mm

呼び径	長さ	外径	厚さ	有効長	全長
	l（最大）	D	t（最小）	Z	L
200	250	216	10.3	2,500 5,000	2,690 5,190
250	270	267	12.7	2,500 5,000	2,710 5,210

ゴム輪受口片受直管（ECVP）

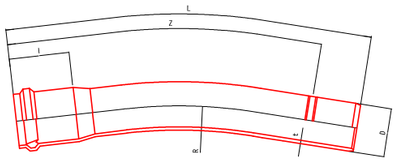
φ100・φ125はSVPと寸法が同一のため本図を共用とする。



単位：mm

呼び径	D		D1	d	d1±0.5	l±5	S±5	Z^{+30}_{-10}	t
	基本寸法	平均許容差	（参考値）	（参考値）					
75	89.0	±0.3	120.7	77	90.2	120	120	5,000	5.9 ±0.4
100	114.0	±0.4	150.0	100	115.5	130	132		7.1 ±0.5
125	142.5	±0.5	182.4	125	144.2	135	138		8.5 ±0.5
150	170.5	±0.6	213.0	150	172.3	142	145		10.0 ±0.6

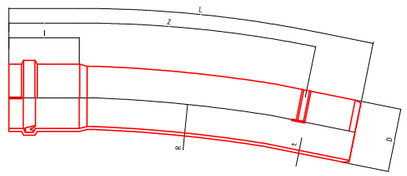
共用FA管（VP管　曲管）



単位：mm

呼び径	受口長	外径	厚さ	曲率半径	有効長	全長
	l（最大）	D	t（最小）	R	Z	L
150	225	165	8.9	5,000 10,000	1,000	1,165

ボディ管（VP管　曲管）

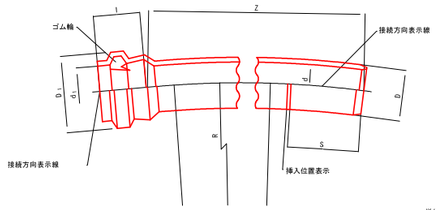


単位：mm

呼び径	長さ	外径	厚さ	曲率半径	有効長	全長
	l（最大）	D	t（最小）	R	Z	L
200	250	216	10.3	5,000 10,000	1,000	1,190
250	270	267	12.7			1,210

ゴム輪受口片受曲管（ECVP）

φ100・φ125はSVPと寸法が同一のため本図を共用とする。

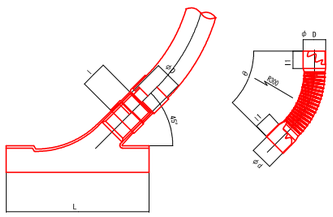


単位：mm

呼び径	D		D1	d	d1±0.5	l±5	S±5	Z^{+30}_{-10}	t	R（注単多型）
	基本寸法	平均許容差	（参考値）	（参考値）						
75	89.0	±0.3	120.7	77	90.2	120	120	1,000 2,000	5.9 ± 0.4	5,000 10,000
100	114.0	±0.4	150.0	100	115.5	130	132		7.1 ± 0.5	
125	142.5	±0.5	182.4	125	144.2	135	138		8.5 ± 0.5	
150	170.5	±0.6	213.0	150	172.3	142	145		10.0 ± 0.6	

注：外径Øは、差込み長さS部にのみ適用します。

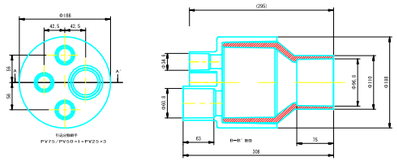
共用FA分岐管



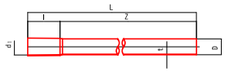
単位：mm

呼び径	本体部				曲管部				
	D(基本寸法)	l(参考)	t(参考)	L(参考)	θ(参考)	R(参考)	d(参考)	D1(参考)	l1(参考)
150×50	60	65	5.0	440	65°	300	60.8	60	63
150×75	96	－	6.5	486	45°	300	96.8	96	75

引込分散継手



さや管（SU管　直管）

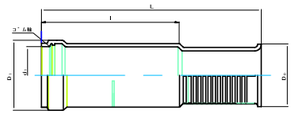


単位：mm

呼び径	受口内径	受口長	外径	厚さ	有効長	全長
	d1	l	D	t	Z	L
30	34.6	110	34	2.0	5,000	5,110
50	54.6		54			

ダクトスリーブ（ECVP）

φ100・φ125はSVPと寸法が同一のため本図を共用とする。



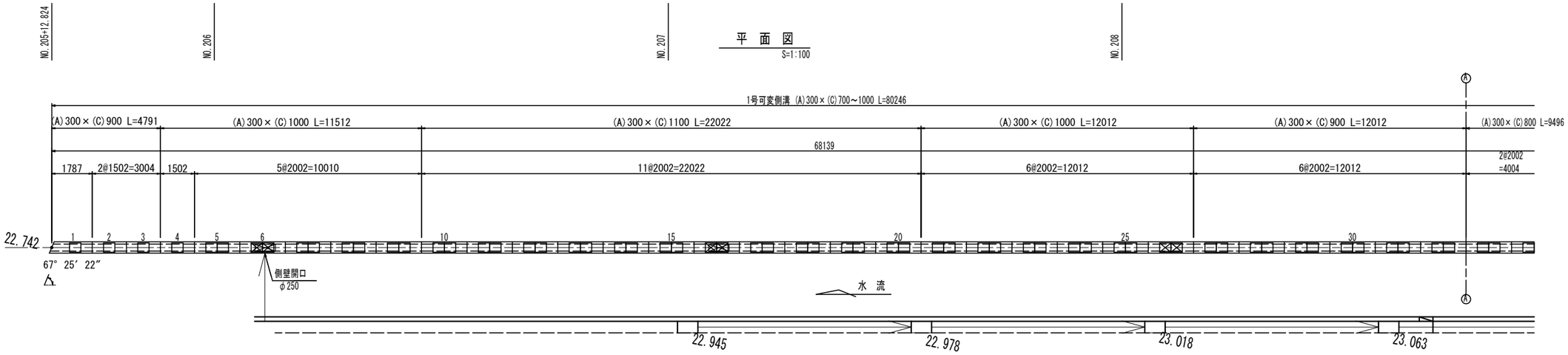
単位：mm

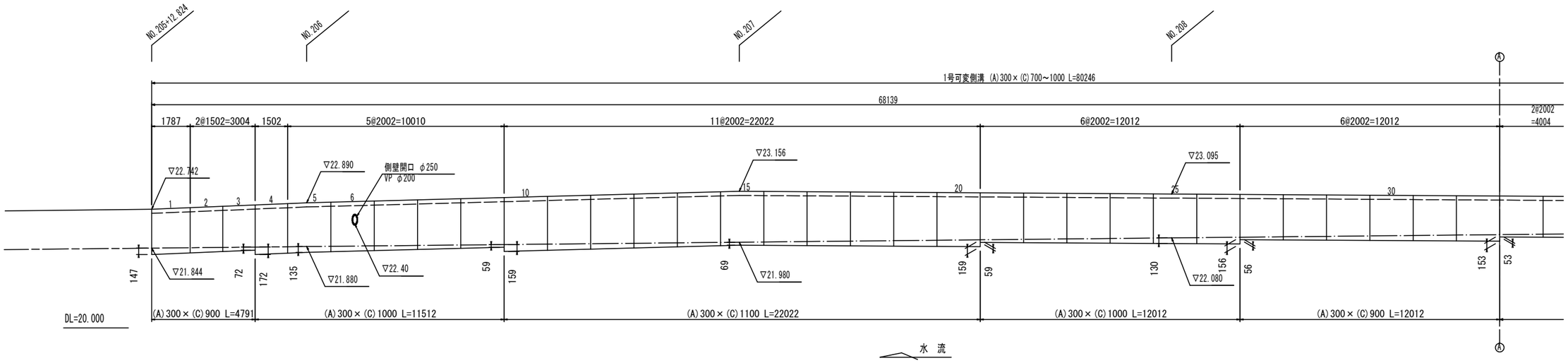
呼び径	（参考値）	D	t	L	30
100	117.0	142.2±0.5	286.5-2	450±2	135.5±5

注：許容差無記入箇所は実用上差し支えのない範囲とする。

可変側溝割付図(1)

1号 (1/2)



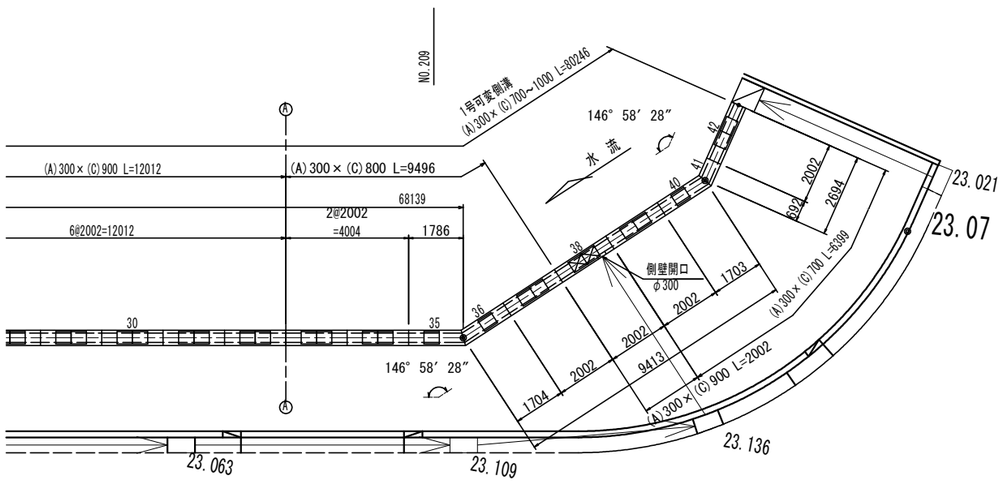


可変側溝割付図(2)

1号 (2/2)

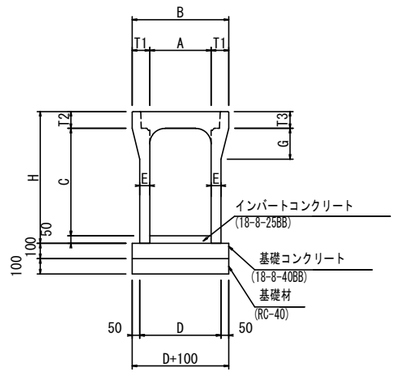
平 面 図

S=1:100



標準断面図

S=1:20

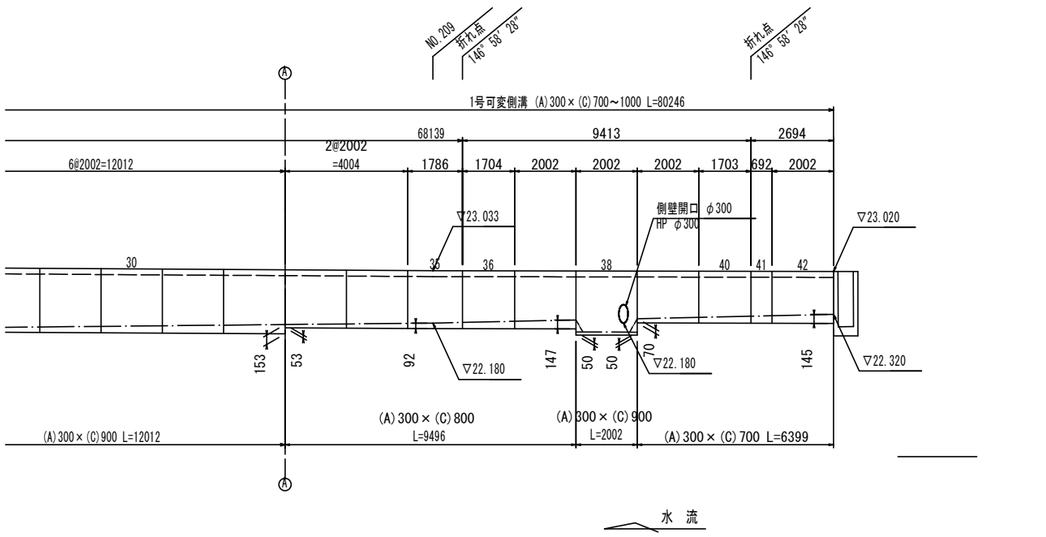


寸 法 表-可変側溝

サ イ ズ A × C	寸法仕様(mm)							
	H	T1	T2	T3	B	D	E	G
300 × 700	845	100	95	95	500	430	65	140
300 × 800	945	100	95	95	500	430	65	140
300 × 900	1045	100	95	95	500	450	75	150
300 × 1000	1145	100	95	95	500	450	75	150
300 × 1100	1245	100	95	95	500	450	75	150

側 面 図

H=1:100
V=1: 50



製品数量表

一式当り

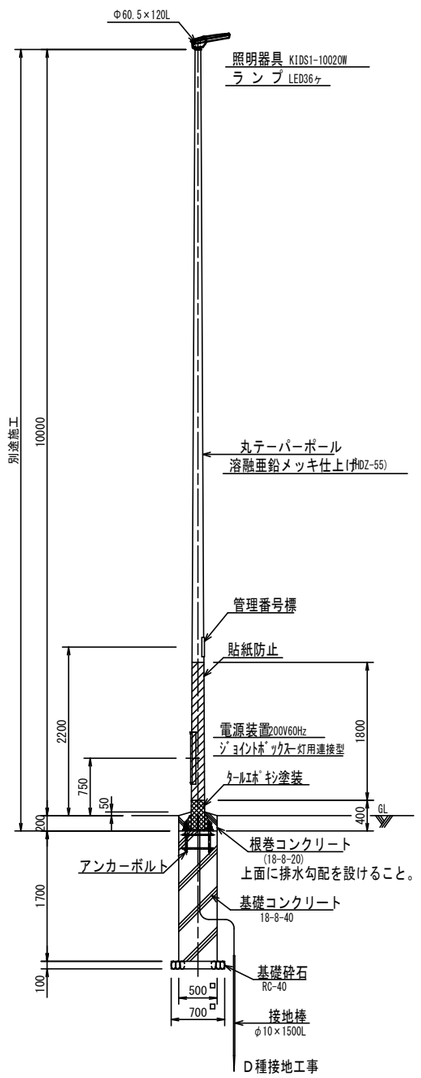
製品番号	サ イ ズ (A) × (C) × (L)	規 格	数 量	参考質量	摘 要
1号自由勾配側溝					
	300× 700×2000	標 準	2	620 kg	
40	× 1627 1775	斜 切	1	560 kg	斜切・短切用 蓋1枚
41	× 616 764	斜 切	1	250 kg	斜切・短切用 蓋掛け無
	800×2000	標 準	3	680 kg	
35	× 1710 1858	斜 切	1	660 kg	斜切・短切用 蓋1枚
36	× 1628 1776	斜 切	1	620 kg	斜切・短切用 蓋1枚
	900×2000	標 準	6	830 kg	
38	×2000	側壁開口	1	820 kg	φ300
2,3	×1500	短 切	2	650 kg	斜切・短切用 蓋1枚
1	× 1681 1889	斜 切	1	780 kg	斜切・短切用 蓋1枚
	1000×2000	標 準	10	900 kg	
6	×2000	側壁開口	1	890 kg	φ250
4	×1500	短 切	1	700 kg	斜切・短切用 蓋1枚
	1100×2000	標 準	11	970 kg	
		合 計	42 本		
	グレーチング 300用	歩道用	8	12 kg	
	コンクリート蓋 300用	歩道用	67	32 kg	

※製品1本につき2mmの延び考慮。

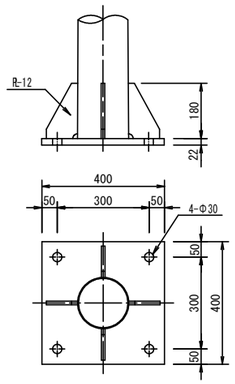
照明柱構造図

照明柱詳細図 S=1/40

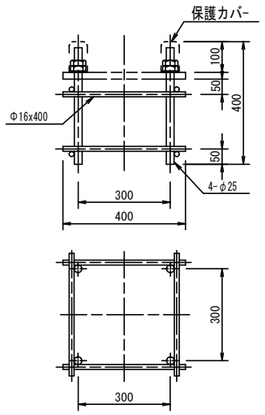
車道照明



ベースプレート詳細図 S=1/10

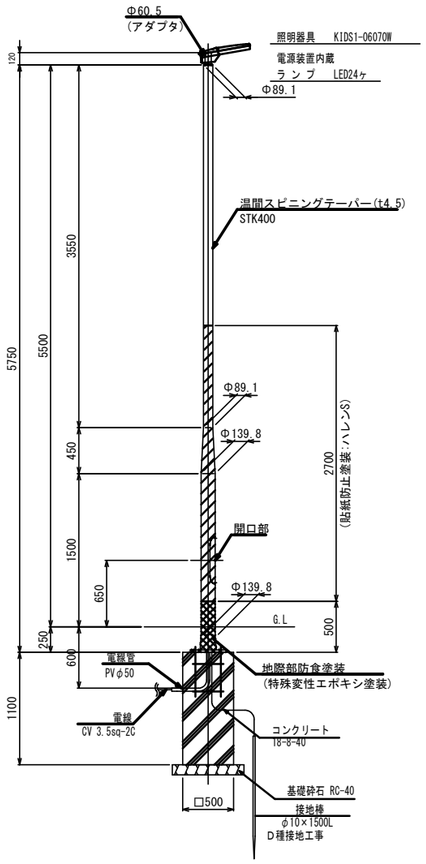


アンカーボルト詳細図 S=1/10

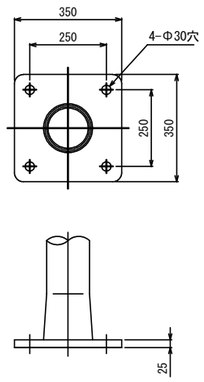


照明柱詳細図 S=1/30

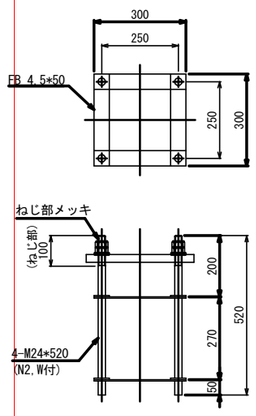
歩道照明



柱脚部詳細 S=1/10



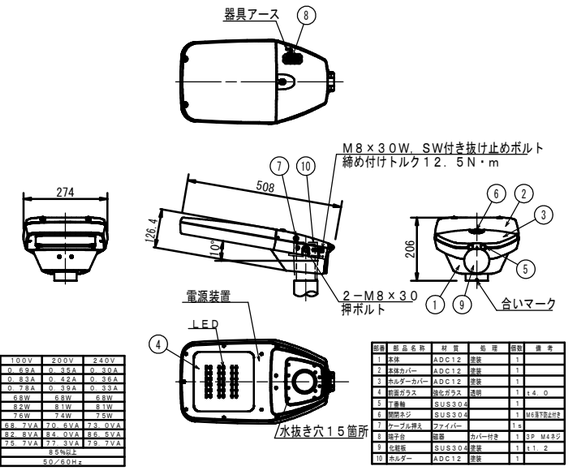
アンカーフレーム詳細 S=1/10



ＬＥＤ照明器具参考図 S=1/10

器具形式：KIDS1-10020W　　適合ランプ：LED36粒

局部照明用



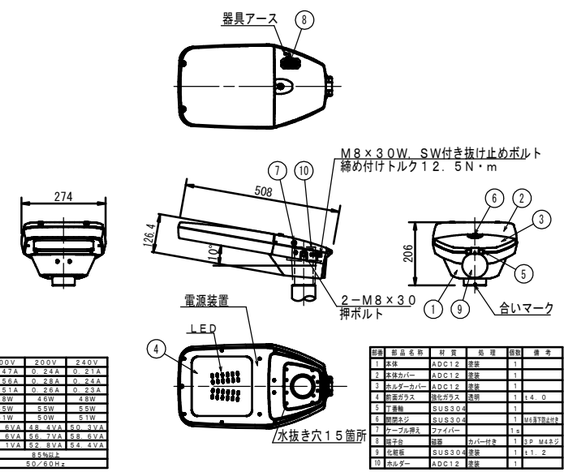
電気特性(KIDS1-10020W)				
定格電圧		100V	200V	240V
入力電流	点灯初期値	0.69A	0.35A	0.30A
	1万時間経過値	0.83A	0.42A	0.36A
	1万時間平均	0.78A	0.39A	0.33A
入力電力	点灯初期値	68W	68W	68W
	1万時間経過値	82W	81W	81W
	1万時間平均	76W	74W	75W
入力容量	点灯初期値	68.7VA	70.6VA	73.0VA
	1万時間経過値	82.8VA	84.0VA	86.5VA
	1万時間平均	76.7VA	77.3VA	79.7VA
力率		85%以上		
周波数		50/60Hz		

部番	部品名称	材質	処理	個数	備考
1	本体	ADC12	塗装	1	
2	本体カバー	ADC12	塗装	1	
3	ホルダーカバー	ADC12	塗装	1	
4	前面ガラス	強化ガラス	透明	1	t4.0
5	丁番軸	SUS304		1	
6	開閉ネジ	SUS304		1	M6首下長さ付き
7	ケーブル押え	ファイバー		1	t3
8	端子台	樹脂	カバー付き	1	3P M4ネジ
9	化粧板	SUS304	塗装	1	t1.2
10	ホルダー	ADC12	塗装	1	

ＬＥＤ照明器具参考図 S=1/10

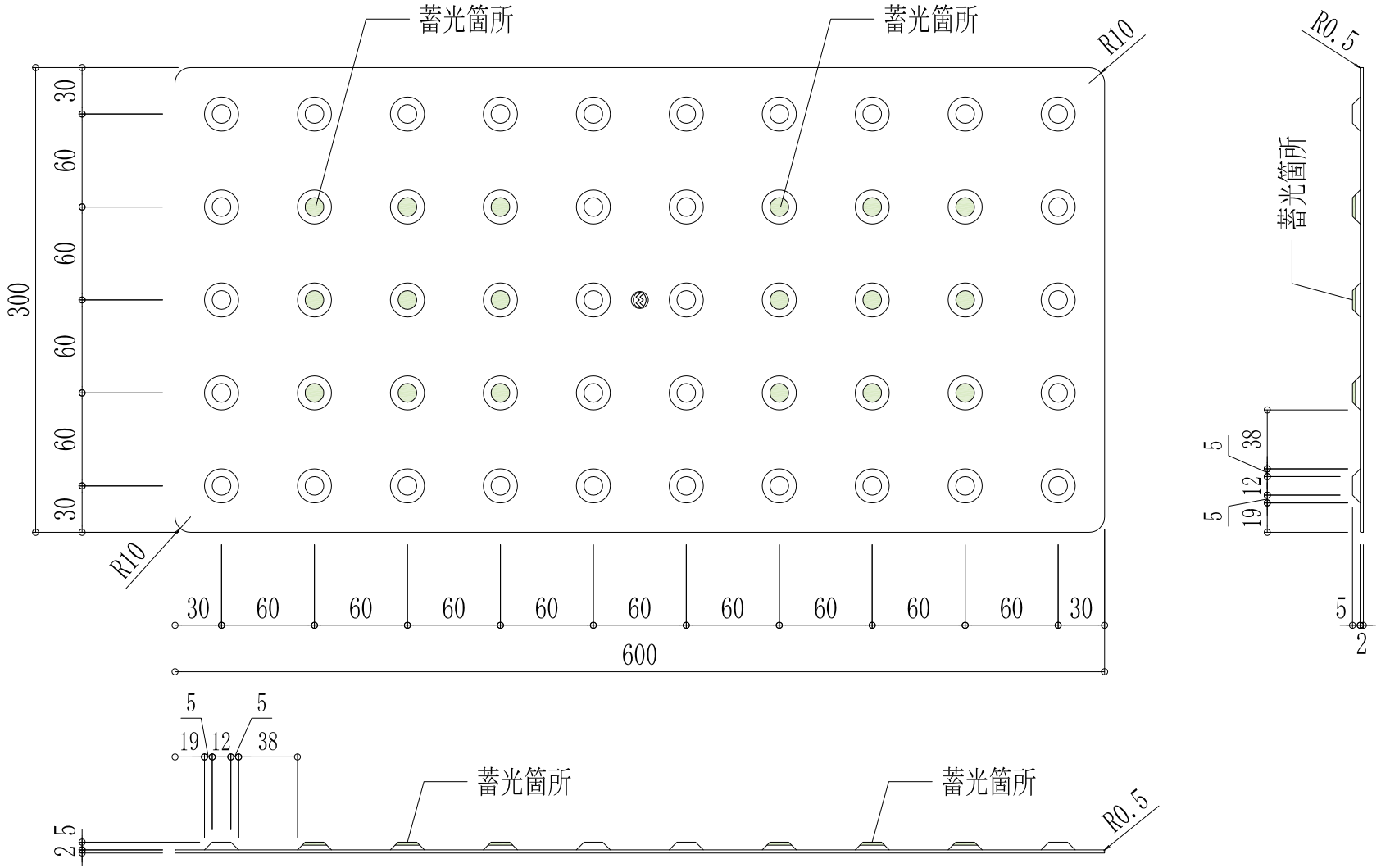
器具形式：KIDS1-06070W　　適合ランプ：LED24粒

歩道照明用



電気特性(KIDS1-06070W)				
定格電圧		100V	200V	240V
入力電流	点灯初期値	0.47A	0.24A	0.21A
	1万時間経過値	0.56A	0.28A	0.24A
	1万時間平均	0.51A	0.26A	0.23A
入力電力	点灯初期値	46W	46W	46W
	1万時間経過値	55W	55W	55W
	1万時間平均	51W	50W	51W
入力容量	点灯初期値	46.6VA	48.4VA	50.3VA
	1万時間経過値	55.6VA	58.7VA	58.6VA
	1万時間平均	51.1VA	52.8VA	54.4VA
力率		85%以上		
周波数		50/60Hz		

部番	部品名称	材質	処理	個数	備考
1	本体	ADC12	塗装	1	
2	本体カバー	ADC12	塗装	1	
3	ホルダーカバー	ADC12	塗装	1	
4	前面ガラス	強化ガラス	透明	1	t4.0
5	丁番軸	SUS304		1	
6	開閉ネジ	SUS304		1	M6首下長さ付き
7	ケーブル押え	ファイバー		1	t3
8	端子台	樹脂	カバー付き	1	3P M4ネジ
9	化粧板	SUS304	塗装	1	t1.2
10	ホルダー	ADC12	塗装	1	



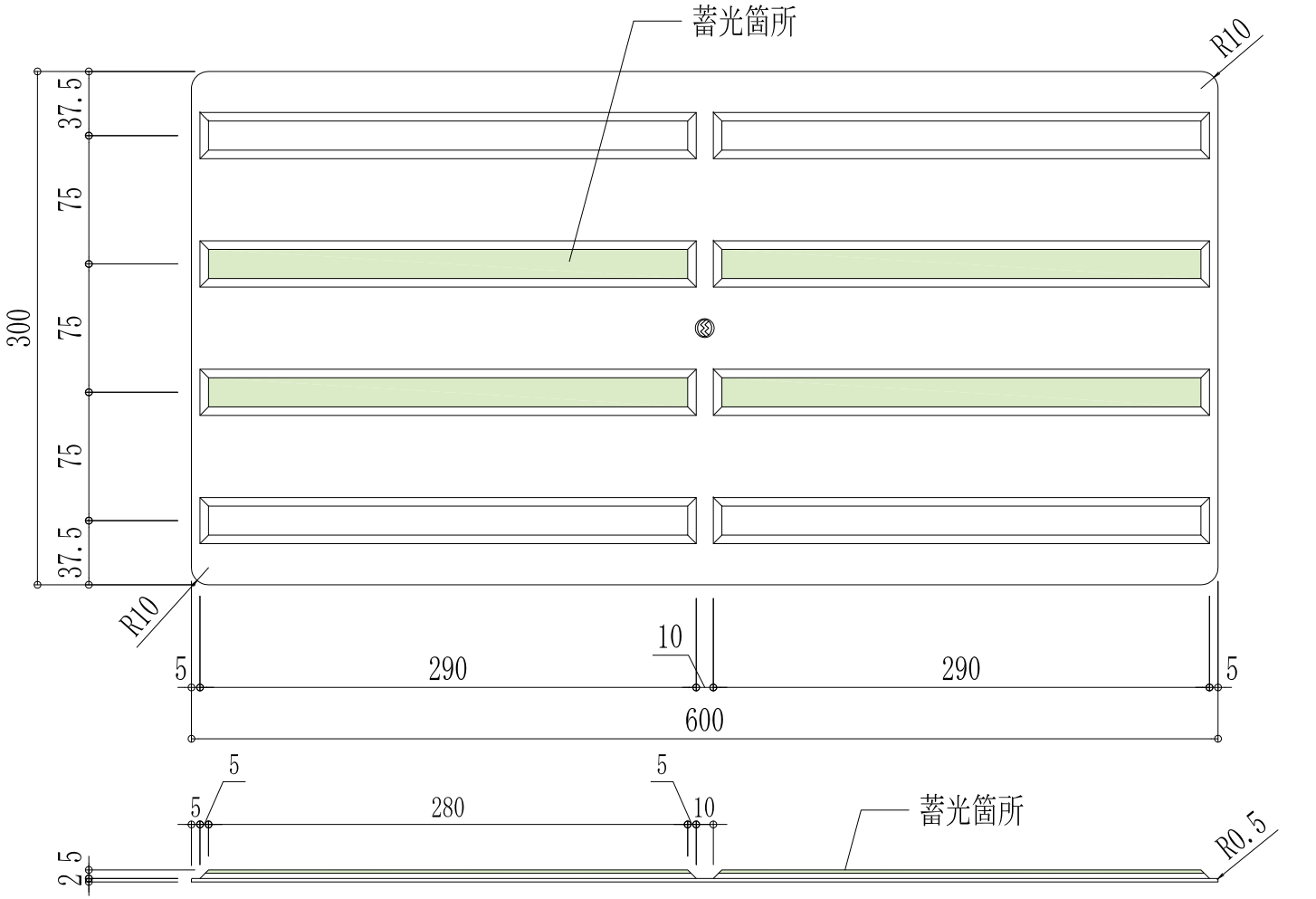
※ 四辺R0.5

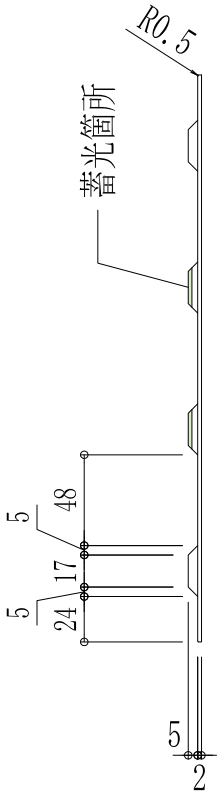
＜ 屋外標識　JIS Z 9098規格値 ＞		
区分	励起時間	720分後輝度
II 類	60分	10mcd/㎡以上
I 類	60分	3mcd/㎡以上、10mcd/㎡以上

照射条件：キセノンランプ紫外線強度400μW/cm2で60分間照射

＜ MブレイルLシリーズの輝度　屋外標識　JIS Z 9098 ＞				
輝度［ mcd/㎡ ］				区分
20分後	60分後	120分後	720分後	
180	59.2	28.7	3.6	I 類

※ 本試験結果は測定値であり、保証値ではありません。





※ 四辺R0.5

＜ 屋外標識　JIS Z 9098規格値 ＞		
区分	励起時間	720分後輝度
II 類	60分	10mcd/㎡以上
I 類	60分	3mcd/㎡以上、10mcd/㎡以上

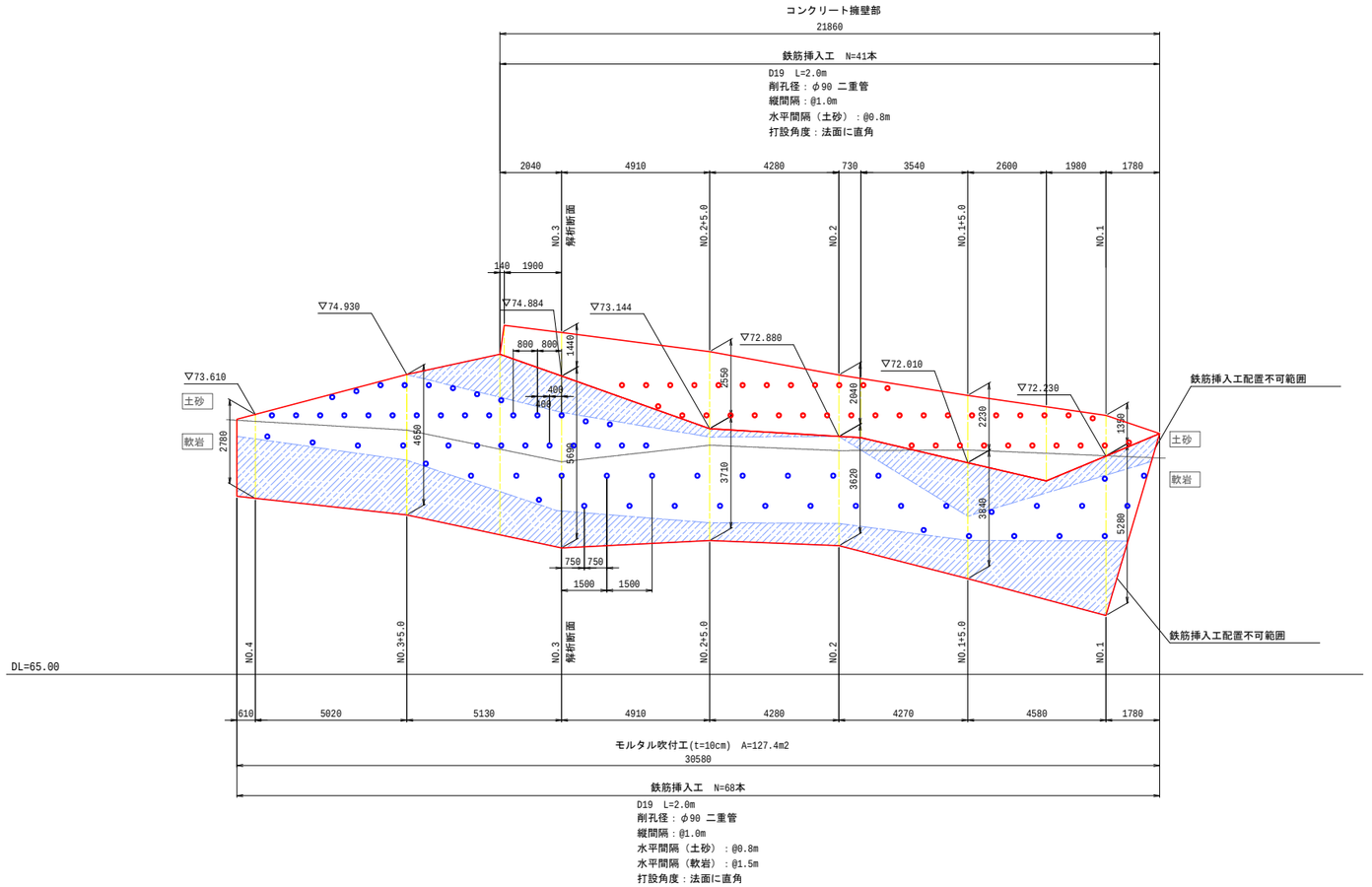
照射条件：キセノンランプ紫外線強度400μW/cm2で60分間照射

＜ MブレイルLシリーズの輝度　屋外標識　JIS Z 9098 ＞				
輝度［ mcd/㎡ ］				区分
20分後	60分後	120分後	720分後	
180	59.2	28.7	3.6	I 類

※ 本試験結果は測定値であり、保証値ではありません。

鉄 筋 挿 入 工 展 開 図

S=1/100



数量表（コンクリート擁壁部） 1式当り

名 称		規 格	単位	数量	備 考
鉄筋挿入工	○	D19 L=2.0m(余長0.1m含む)	本	41	SD345
削孔長		φ90 二重管（コンクリート）	m	26.6	
		φ90 二重管（土砂）	m	38.6	
		φ90 二重管（軟岩）	m	12.7	
		合計	m	77.9	
グラウト材		σck=24N/mm2	m3	0.7	

数量表（モルタル吹付部） 1式当り

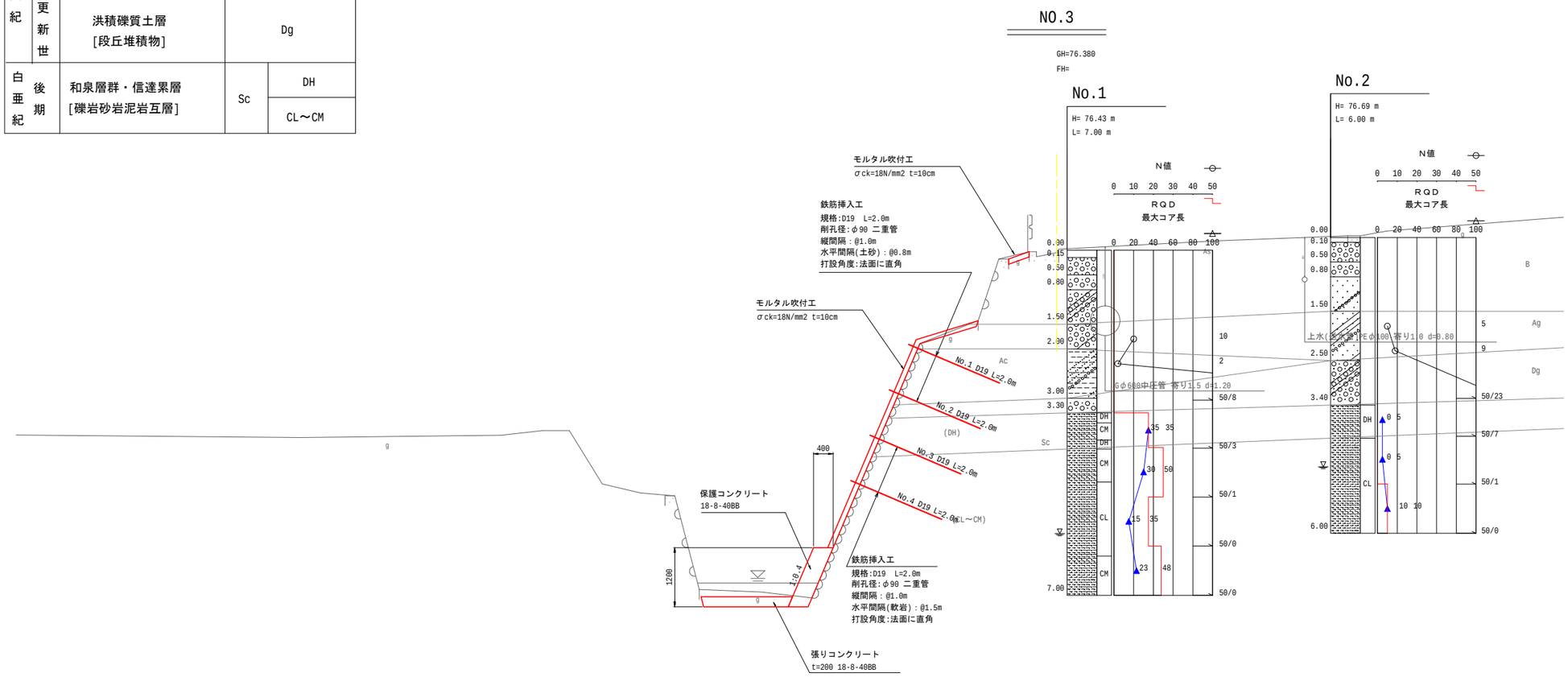
名 称		規 格	単位	数量	備 考
鉄筋挿入工	○	D19 L=2.0m(余長0.2m含む)	本	68	SD345
削孔長		φ90 二重管（コンクリート）	m	0.0	
		φ90 二重管（土砂）	m	25.8	
		φ90 二重管（軟岩）	m	96.6	
		合計	m	122.4	
グラウト材		σck=24N/mm2	m3	1.1	
法面面積			m2	127.4	求積
モルタル吹付工		t=10cm（ラス網含む）	m2	127.4	

地層記号凡例

地質時代		地層名	地層記号	
現世		盛土	B	
第四紀	完新世	沖積礫質土層	Ag	
		沖積粘性土層	Ac	
	更新世	洪積礫質土層 [段丘堆積物]	Dg	
白亜紀	後期	和泉層群・信達累層 [礫岩砂岩泥岩互層]	Sc	DH
				CL～CM

標 準 断 面 図

S=1/50



鉄筋挿入工　設計条件

項　目		モルタル吹付部	備　考
補強材の許容引張り応力度	(N/mm)^2	200.0	
グラウトの設計基準強度	(N/mm)^2	24	
補強材と注入材の許容付着応力	(N/mm)^2	1.6	
周面摩擦抵抗の安全率		2.0	
法面工の低減係数		0.4	
補強材の引張力の低減係数		0.7	
削孔径	(mm)	90	
地山と注入材の周面摩擦抵抗値	(N/mm)^2	0.064	B
		0.064	Ag
		0.010	Ac
		0.360	Dg
		0.800	DH
		0.800	CL～CM

確認試験荷重

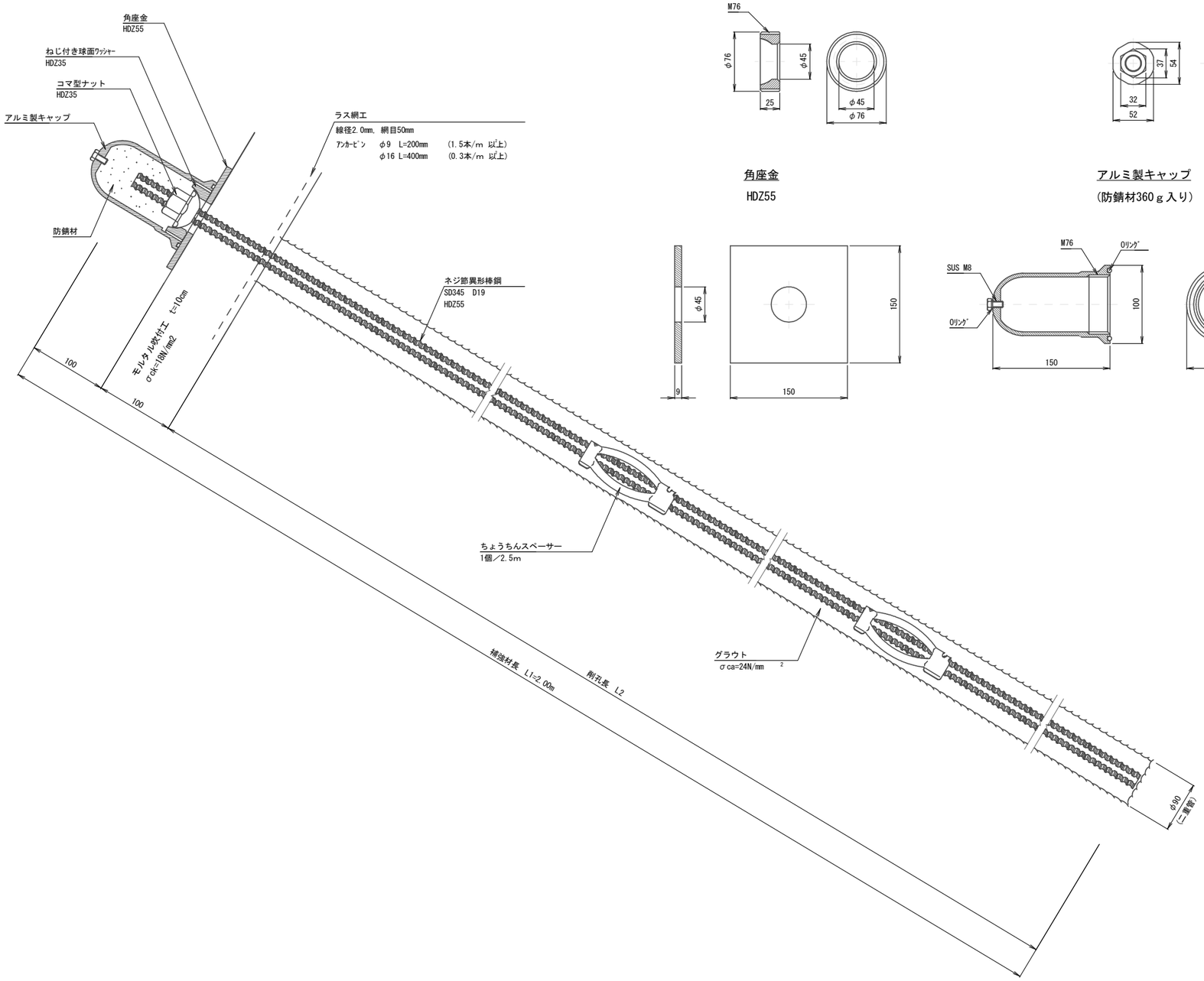
補強材	モルタル吹付部	備　考
	Td(kN/本)	
NO. 1	0.936	
NO. 2	36.022	
NO. 3	36.022	
NO. 4	36.022	

※Td: 1本当りの設計引張り力(kN/本)

鉄筋挿入工構造図

S=1/3

断　面　図

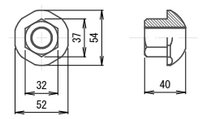


ねじ付き球面ワッシャー

HDZ35

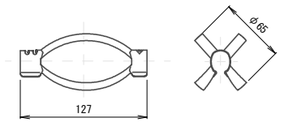
コマ型ナット

HDZ35
(D19用)



ちょうちんスペーサー

電気メッキ
(D19用)

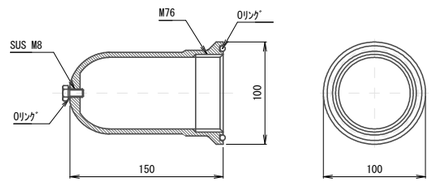


角座金

HDZ55

アルミ製キャップ

(防錆材360ｇ入り)



【特記事項】

※補強材の防食として亜鉛メッキ処理を以下の使用により行うこと。

ナット　　：JIS H 8641,2種HDZ35

プレート、鉄筋：JIS H 8641,2種HDZ55

※スペーサー設置間隔は2.5mピッチとし、最低２箇所以上配置すること。

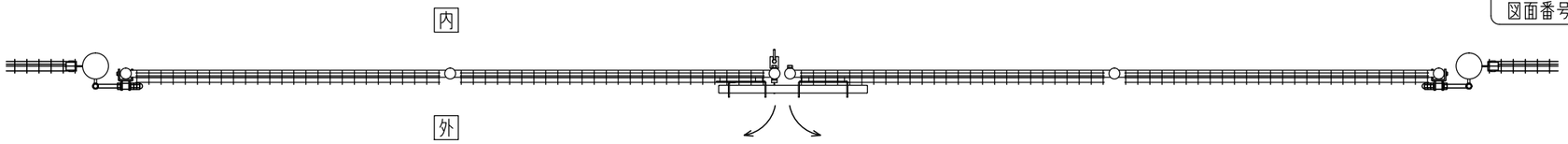
※補強材はネジ節異形棒鋼もしくは異形棒鋼と同等以上(SD345以上)のものを使用すること。

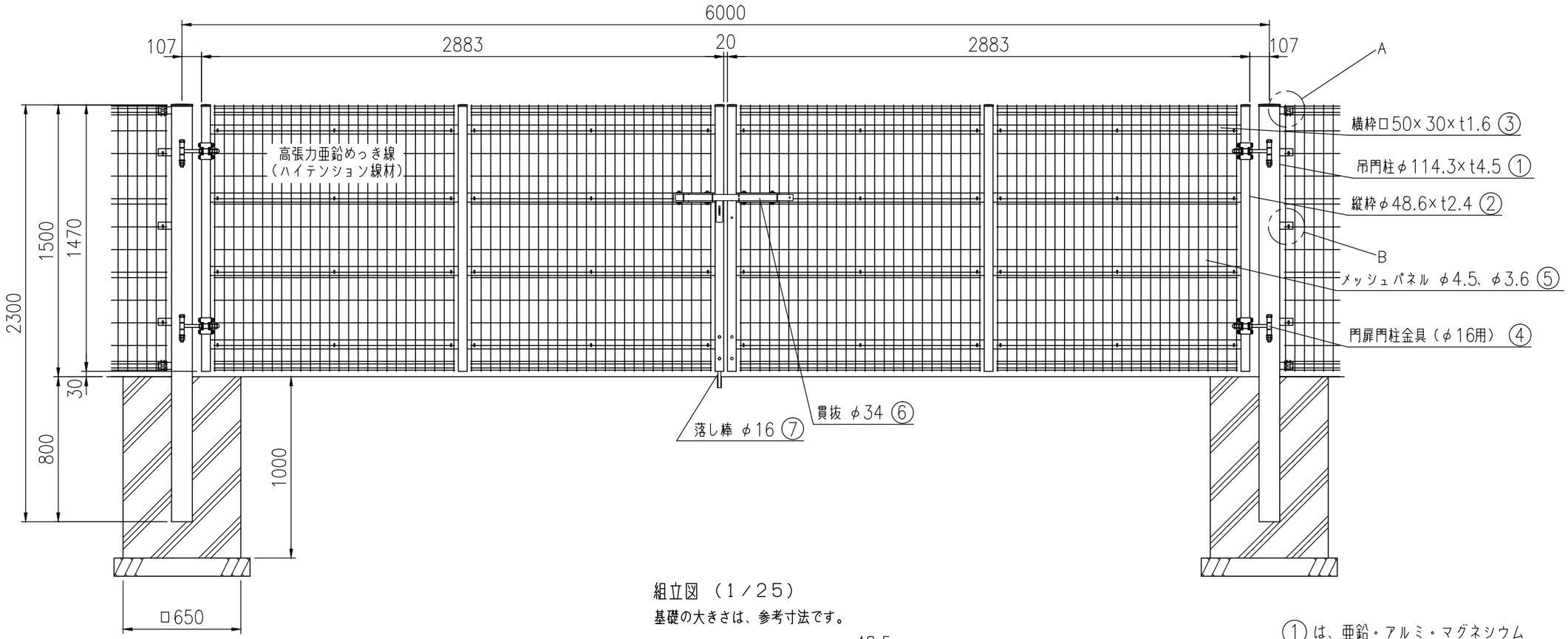
※モルタル吹付には2～4㎡に1箇所，水抜きパイプ（φ40～50mm)を設置すること。

※コンクリート擁壁部はモルタル吹付を行わない。

品　種	G0
タイプ	門扉（両開）
品　番	#1500
幅	6000
図面番号	KEMH00678A

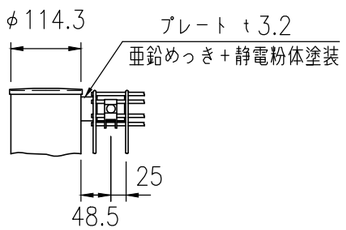
外開き、外貫抜、内落し棒



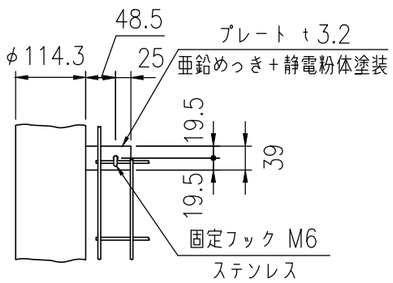


組立図 （1／25）

基礎の大きさは、参考寸法です。



A部詳細図 （1／10）



B部詳細図 （1／10）

① は、亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき＋静電粉体塗装

② ～ ④ は、亜鉛めっき＋静電粉体塗装

⑤ は、亜鉛めっき＋流動浸漬塗装

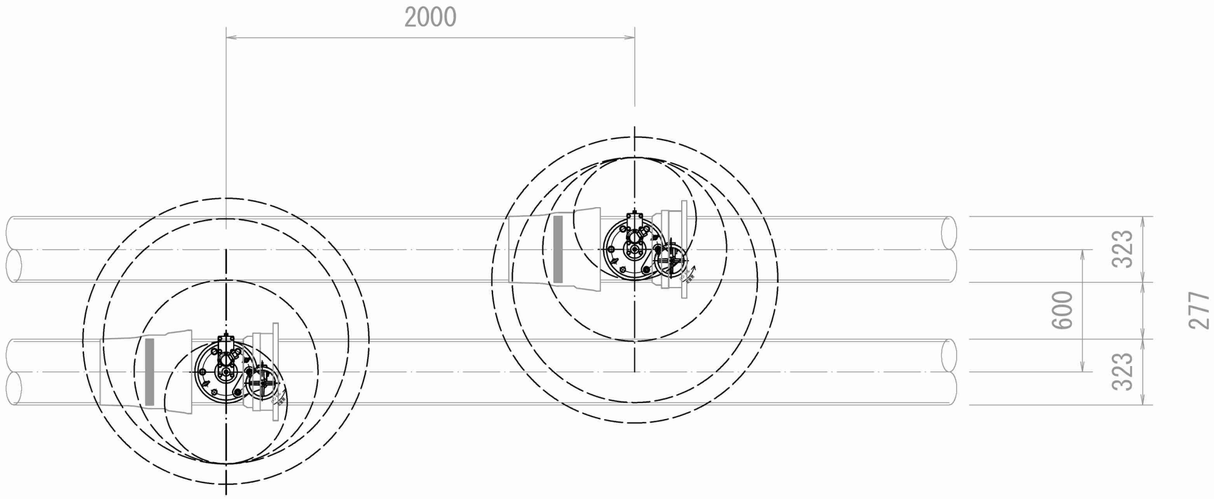
⑥ ～ ⑦ は、溶融亜鉛めっき

仕切弁室構造図

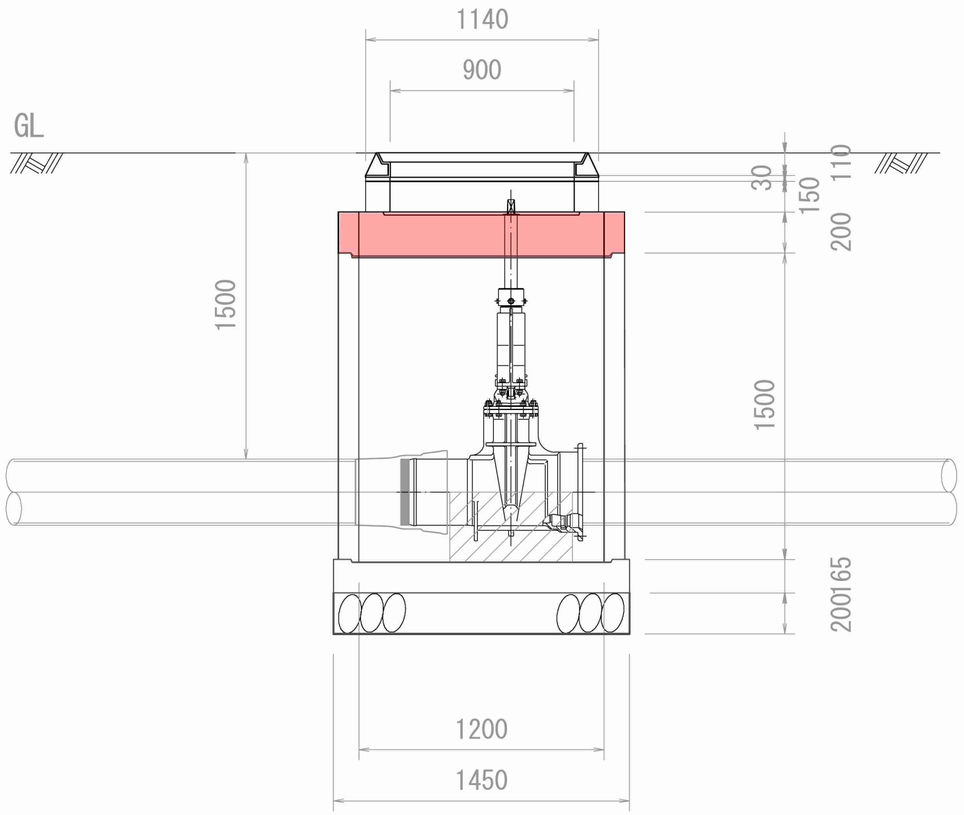
＜2号組立人孔＞
（親子蓋）

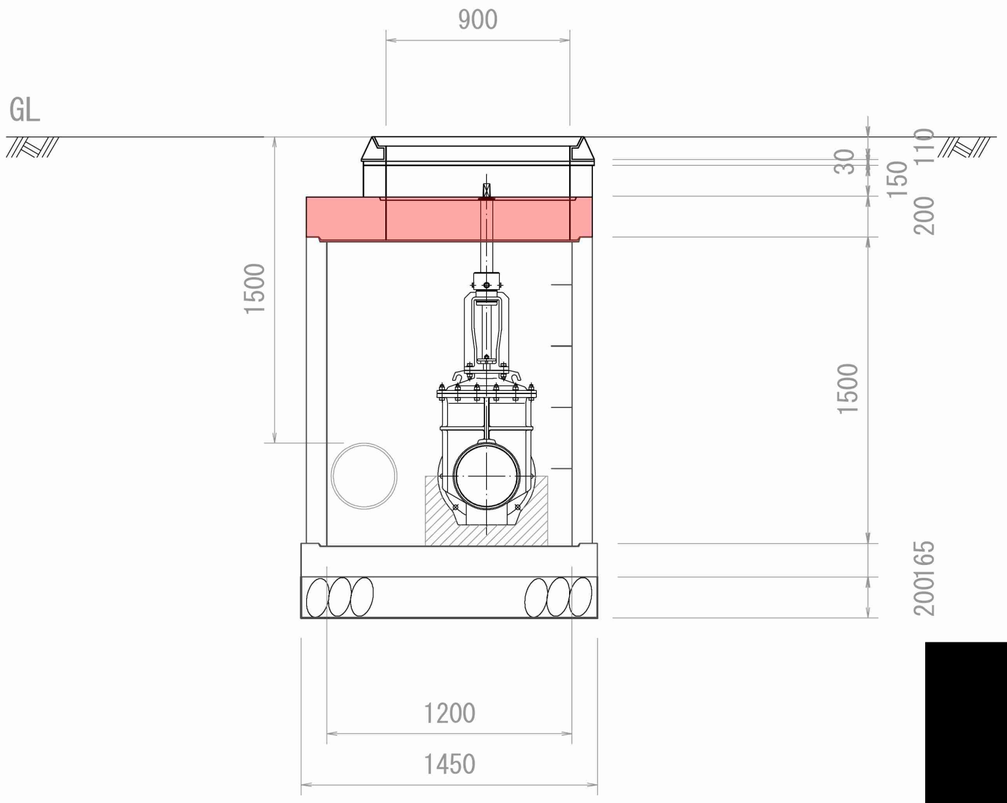
S=1:15

平面図



縦断面図





[redacted]